

フルカラー版

機動戦士ガンダム

13

THE ORIGIN

—ルウム編・前—

安彦良和

原案
矢立肇・富野由悠季
メカニックデザイン
大河原邦男



これまでのあらずど

歴史の陰で暗躍する

シヤア・アズナブル

彼の復讐への暗き情念は

歴史の潮流を

加速させていく



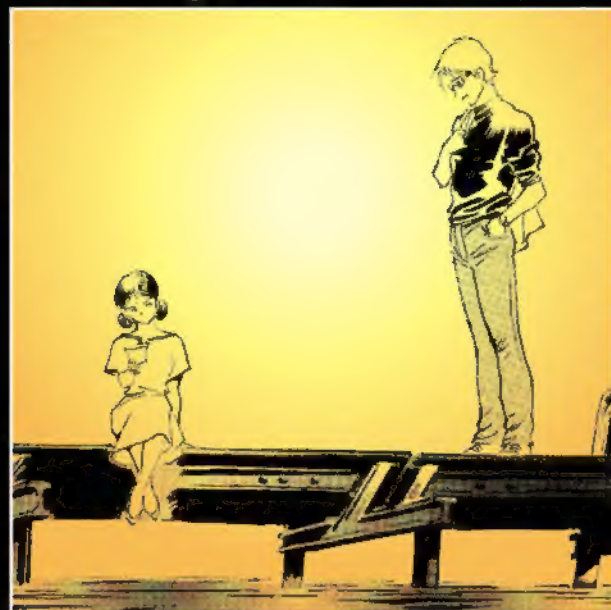
宇宙世紀0068、宇宙移民者の地球連邦政府からの独立を掲げていたムンゾ自治共和国議長長ジオン・ズム・ダイクンが急死を遂げた。

ジオンの遺児キヤスバルとアルティシアは、ムンゾの実権を狙うザビ家から逃れるため、名を変えて地球そしてテキサスコロニーへと移り住み、その地で一時は平穏な日々を過ごしていた。だがムンゾに残された母の死が二人の下に伝えられた時、キヤスバルはザビ家への復讐を決意する。

キヤスバルは、親友シヤア・アズナブルに成りすましてジオン共和国と化した故郷に向かい、士官学校に入学。そこでザビ家の末弟ガルマとの運命的な出会いを果たす。

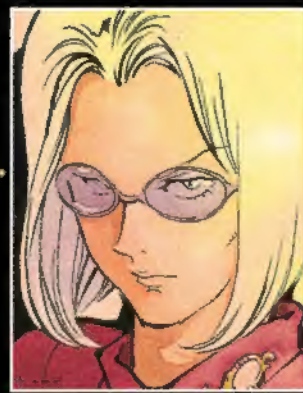
やがてジオン国内の連邦政府への反感がピークに達したその時、シヤアはガルマを扇動して、士官学校生による連邦軍治安部隊制圧計画を実行に

→↓南米ジャブローに降り立ったシヤアは夜の街でマフィアに利用される少女、ララァ・スンと運命的な出会いを果たす。

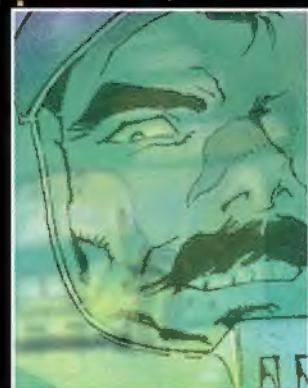




↓→ミノフスキー博士を奪還するため、キシリアはランバ・ラル率いるMS部隊を出動させた。



←↓月面で激突する両軍のMS。ジオン軍MSザクの機動力の前に連邦軍は大敗を喫する。



人類は この宇宙さえ 戦場に変えようとしていた

移した。作戦は成功し、連邦政府への不満にあえいでいた市民は彼らを英雄として称える。だがシャアは連邦政府との関係を悪化させたかどで一兵卒に格下げされ、予備役に編入されてしまう。

時は流れ、宇宙世紀0078。ジオンと連邦政府は一触即発の関係と化していた。そんな中、ジオンの新型兵器MSの開発責任者ミノフスキー博士の亡命をめぐり、月面でジオン軍と連邦軍が衝突する。軍に復帰したシャアやランバ・ラルらが操るジオンのMSは、連邦の鉄騎兵大隊を壊滅させ、その戦闘力の高さを見せつけた。これにより連邦軍は独自のMS開発計画「RX計画」の発動を決意する。そして運命の宇宙世紀0079 1月3日――。

ついにジオン公国は連邦政府に宣戦を布告した。戦力では圧倒的に連邦軍に劣るジオン軍であったが、ジオン公国ギレン総帥はその戦力差を覆す、悪魔の作戦を計画していた……。

↓宇宙世紀0079 1月3日、ドズル艦隊が地球連邦宇宙軍巡洋艦隊を撃破。



←同日キシリア少将率いる強襲部隊がグラナダ、フォンブラウンを制圧する。ジオン軍の電撃作戦の前に連邦軍はなすすべがなかった。

機動戦士ガンダム THE ORIGIN¹³ —ルウム編・前—

C O N T E N T S

SECTION I ————— 005

SECTION II ————— 057

SECTION III ————— 101

SECTION IV ————— 149



—ルウム編・前—

SECTION
I



サイド2は
てんごうか
天の業火で
や
灼かれた
のだ!!

スペースノイドの大義に
はんぎやく
反逆した者への
せいとう
正当な償いだ!!

かれら
彼等は
みずか
自ら求めた罰を
ぱつ
受けたのだ!!



罪なき
ハッテ
市民の
死に

涙する者は
いるか!?

当然だ!!

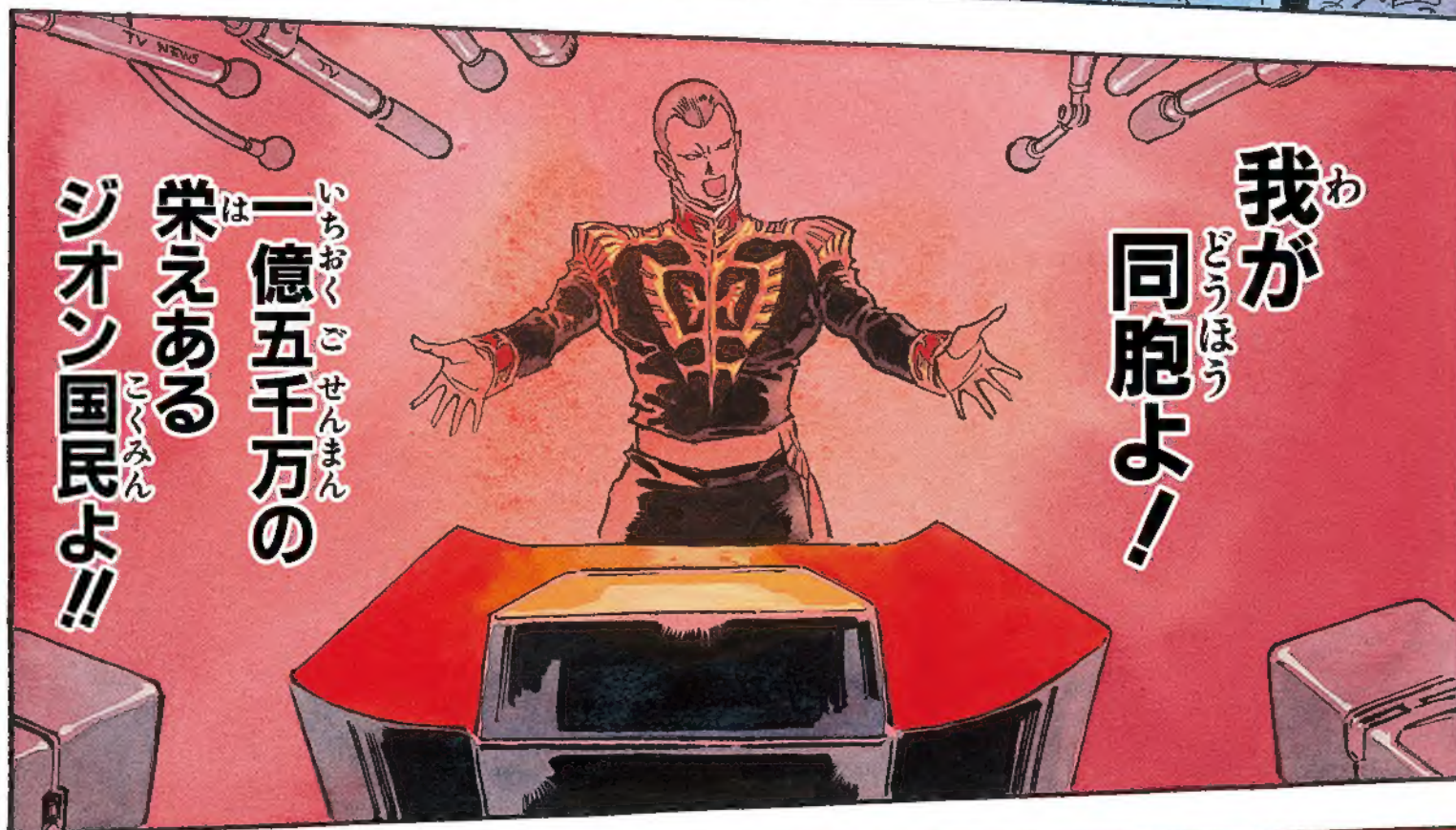
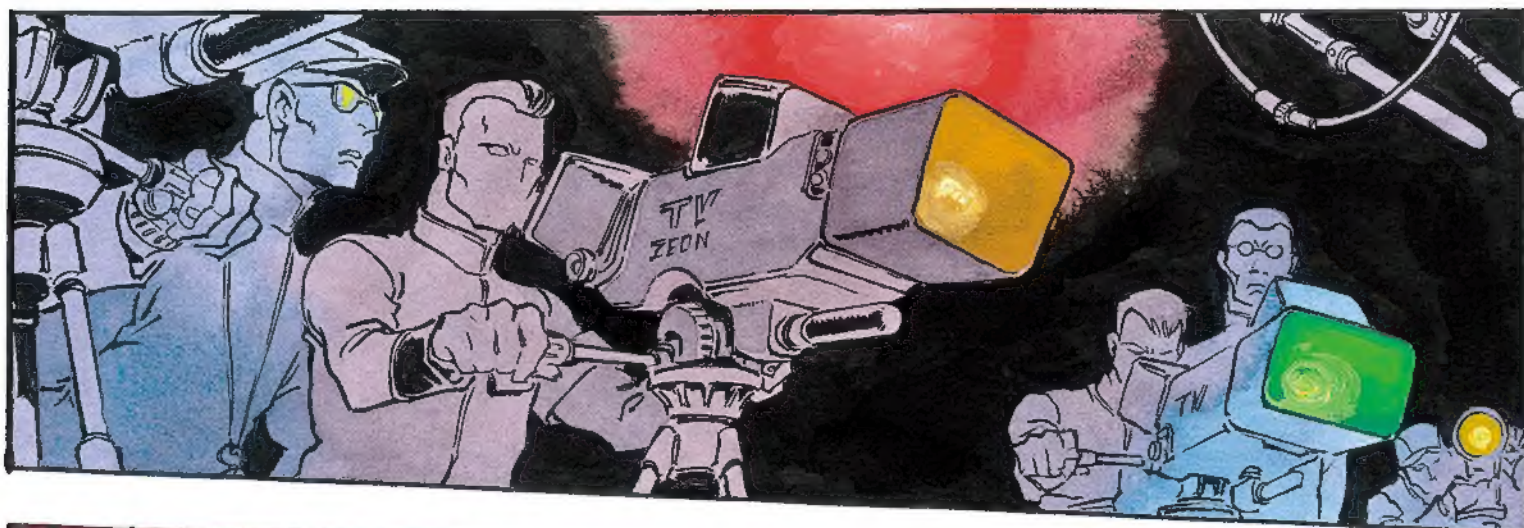
哀れみ深い我が
ジオン国民は彼等の
為に泣き彼等の為に
祈るだろう!

同時に我が
国民は
満腔の怒りを

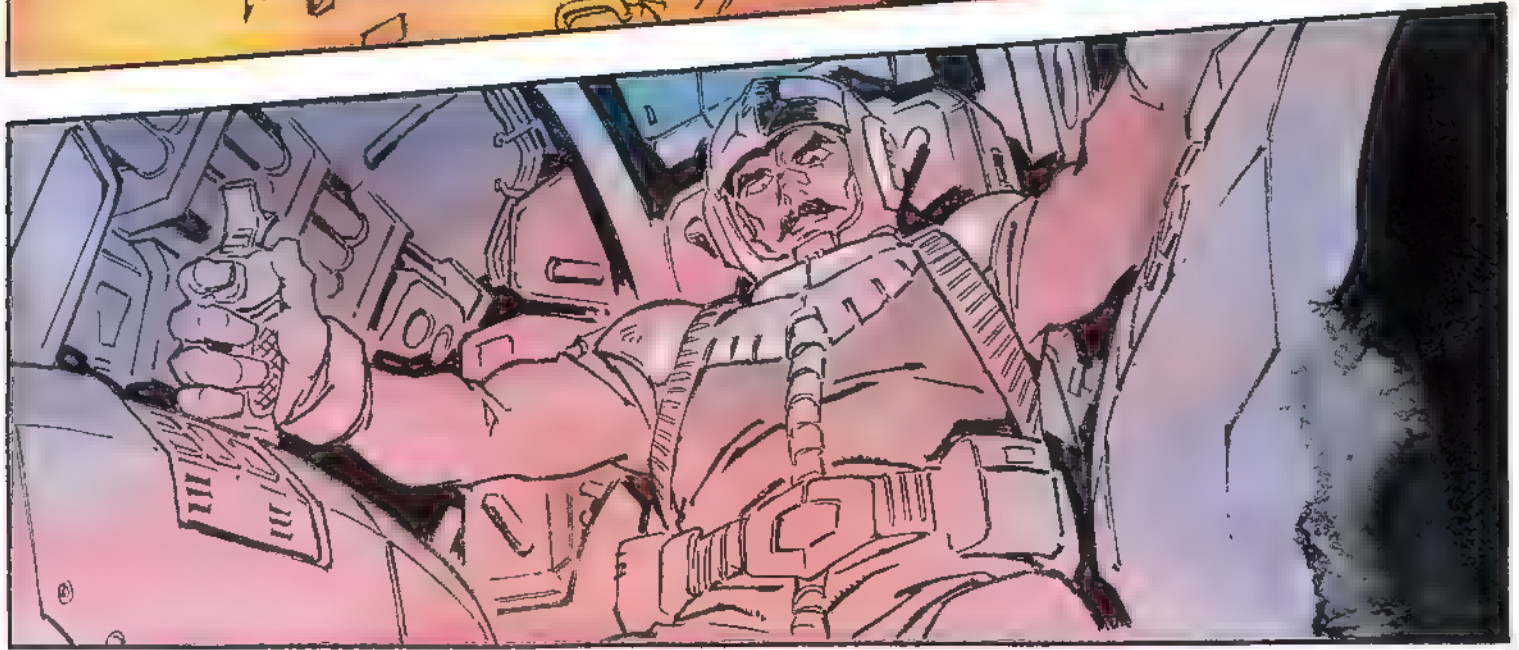
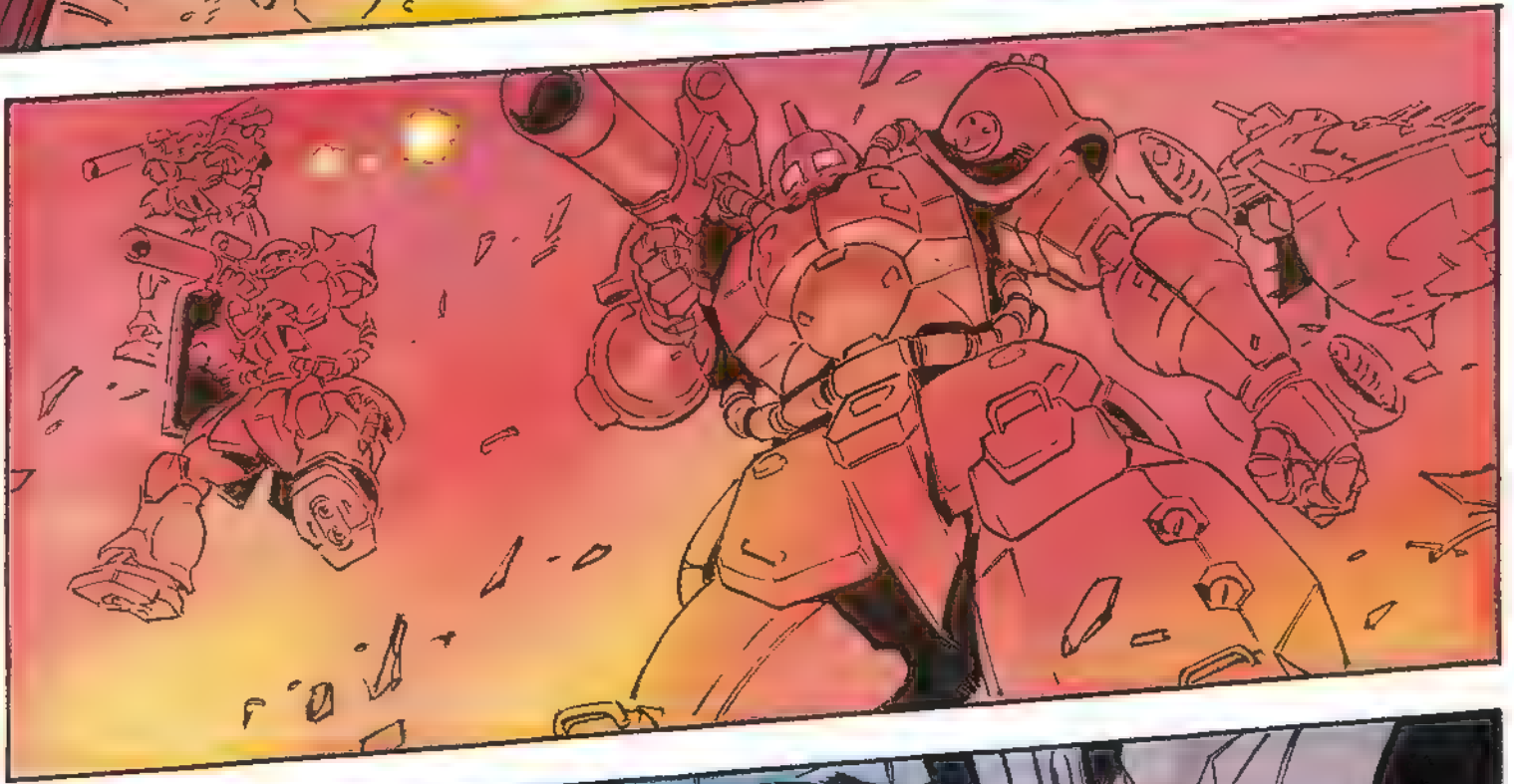
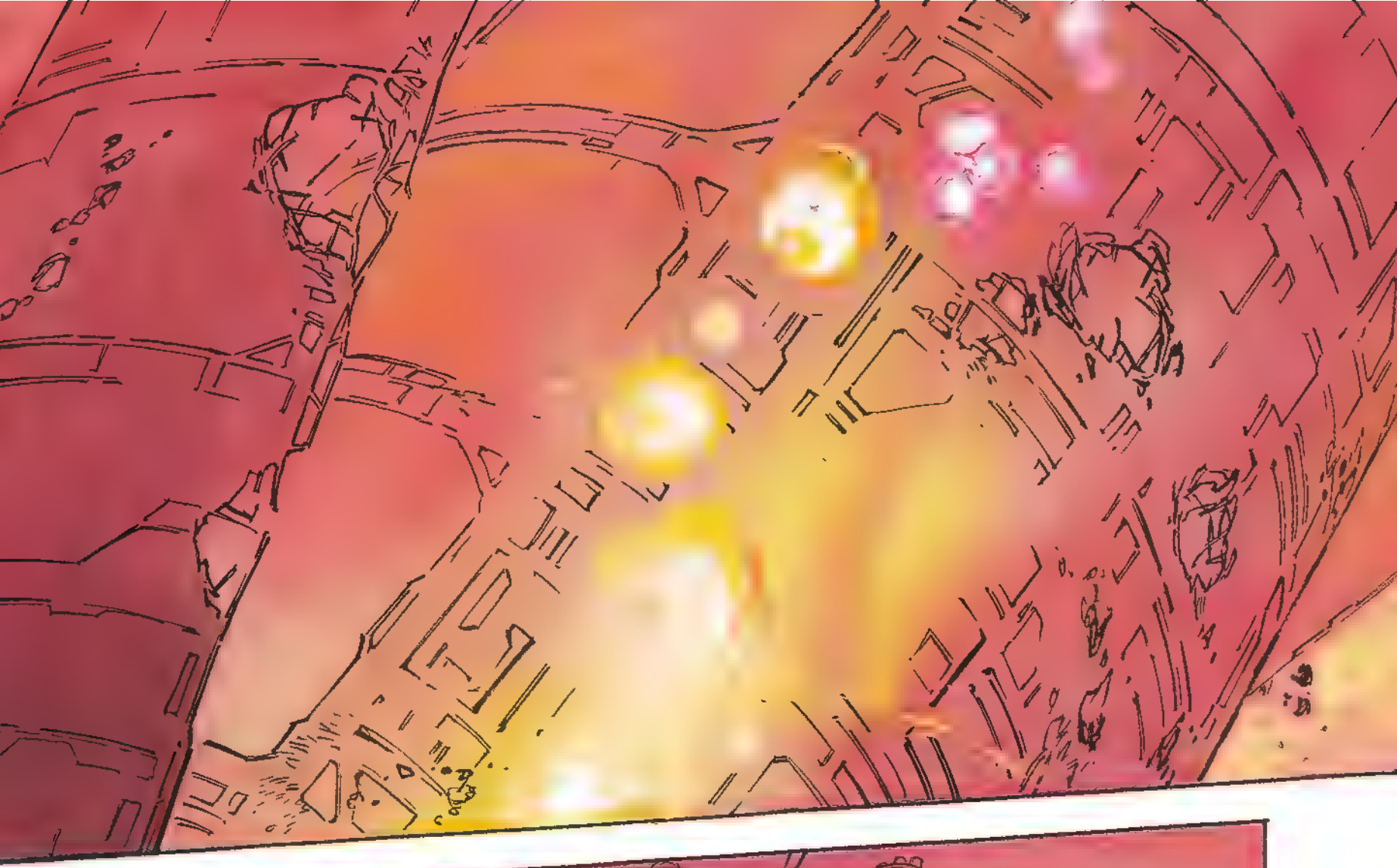
邪悪な
地球連邦に
向けなければ
ならないっ!!

スペースノイドを
離反させ!

愚かな
ハッテ指導部を
そそのかして
我々に敵対させた
連邦こそが
真の敵なので
あるっ!!

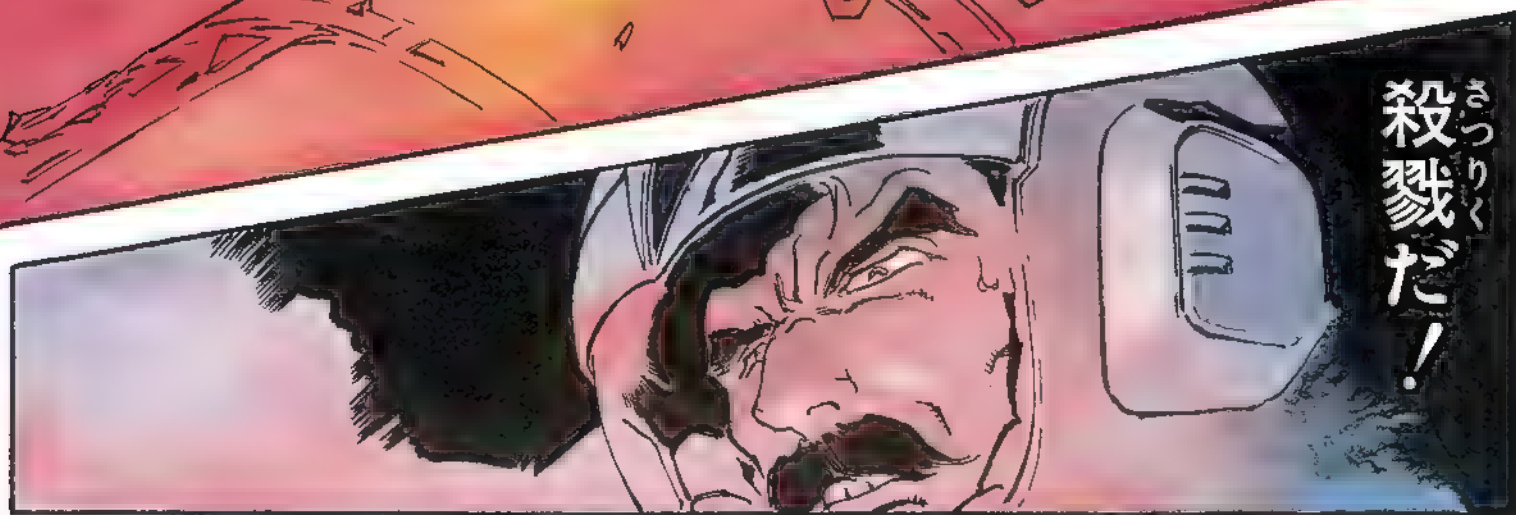
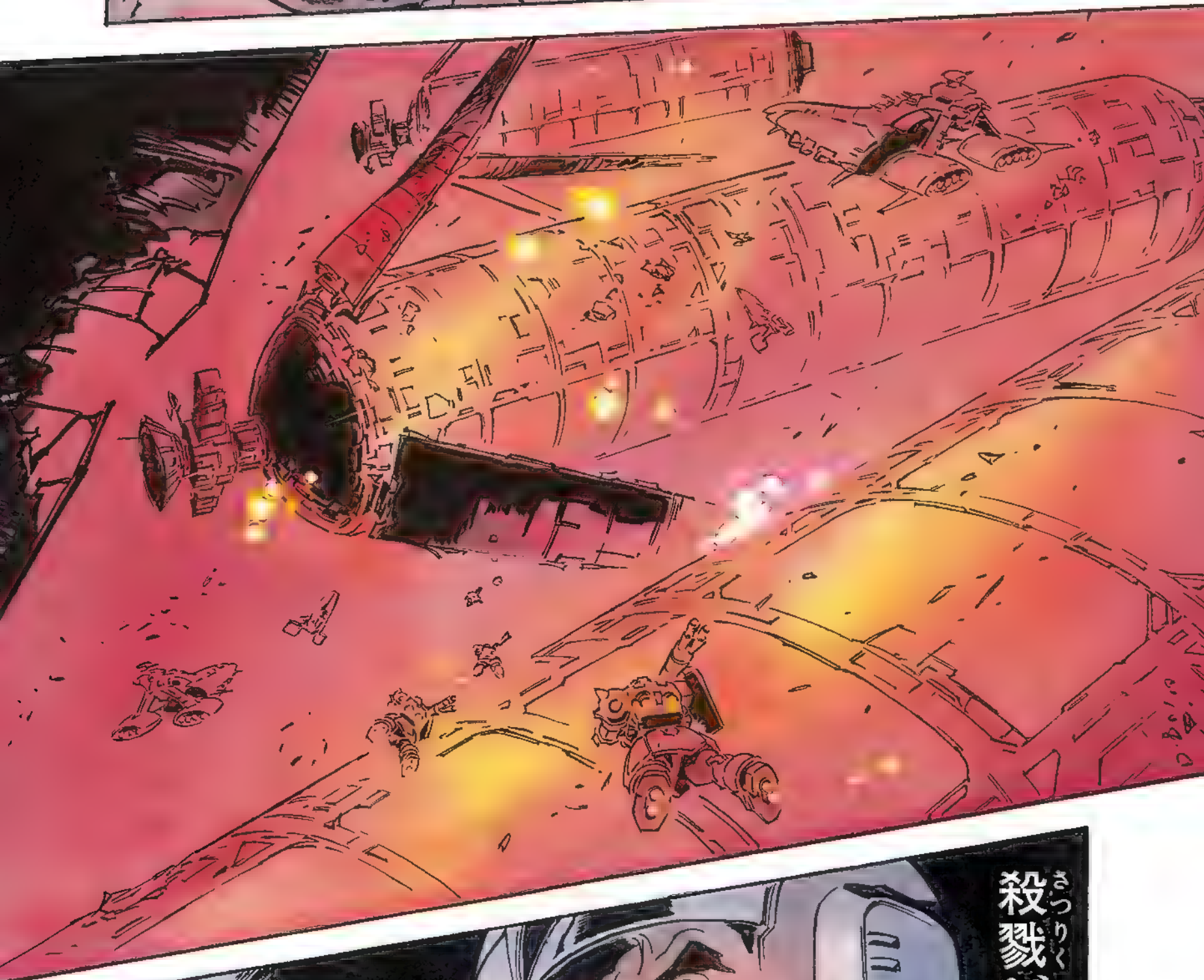




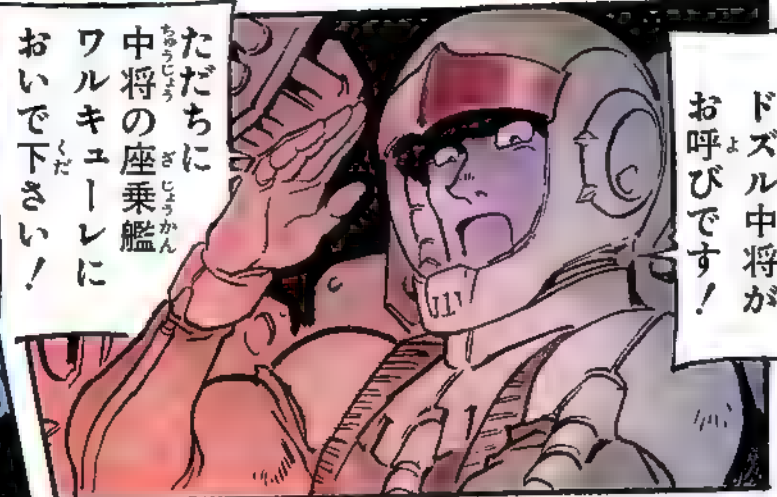
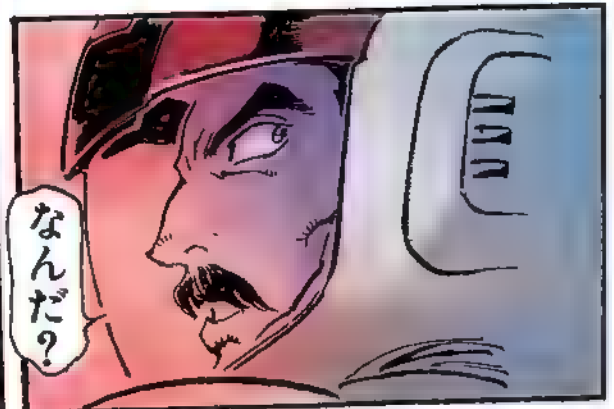
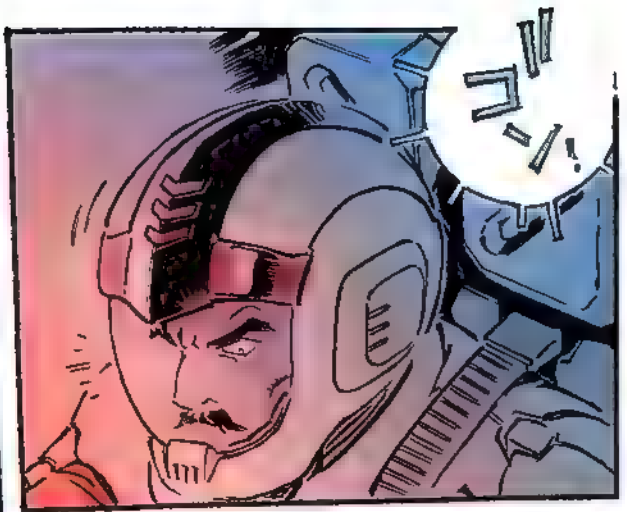
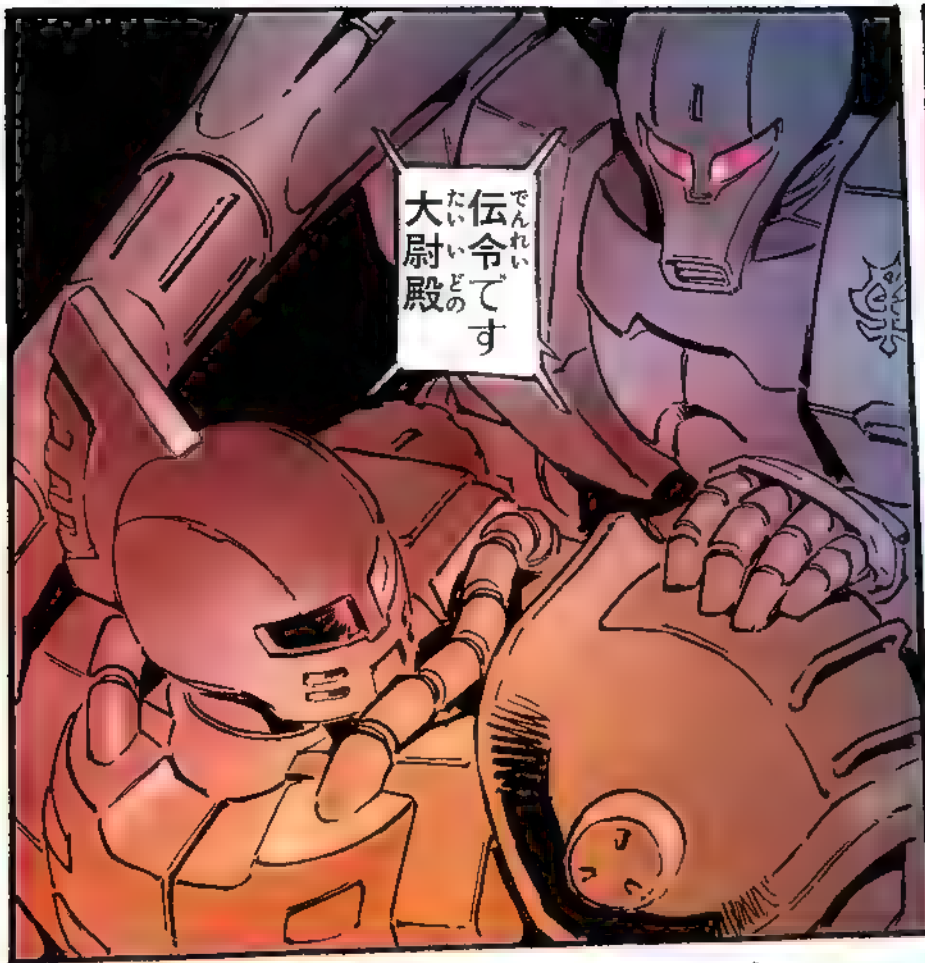




これは
戦争では
ない…



さつりく
殺戮だ！



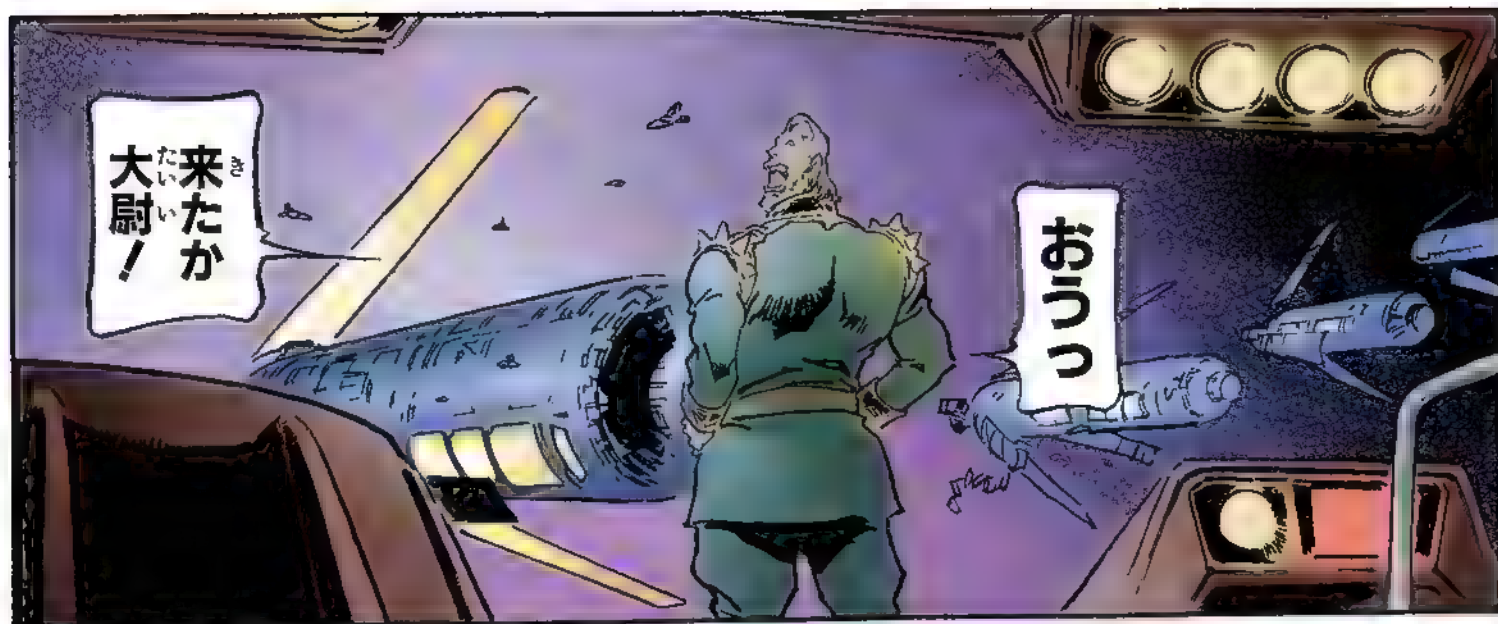
ドズル中將が
お呼びです!

ワルキューレ
だと?

ただちに
中將の座乗艦
ワルキューレに
おいで下さい!

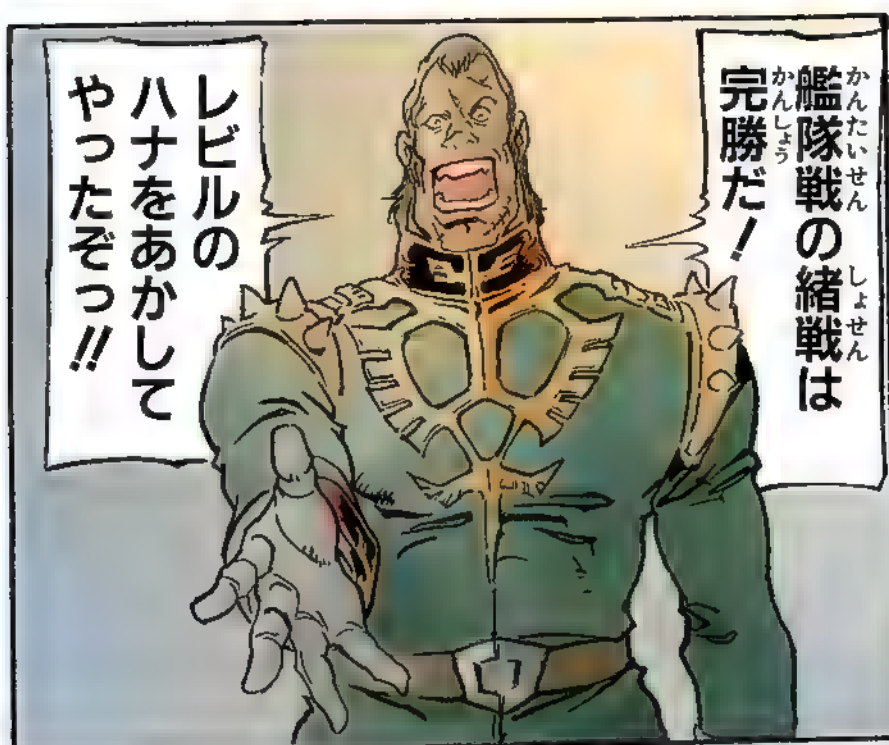
ドズル閣下が
ここへ来て
いるのか?





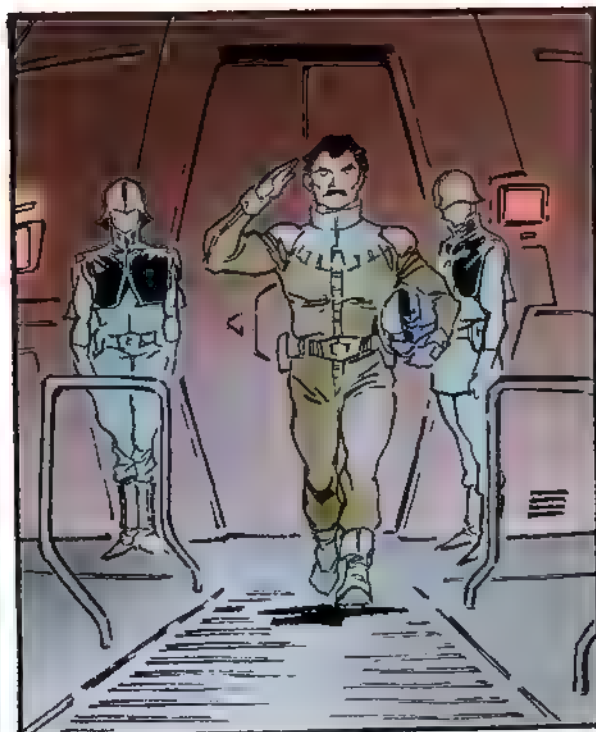
来たか
大尉!

おっ



レビルの
ハナをあかして
やったぞっ!!

艦隊戦の緒戦は
完勝だ!



シケた
顔だっ

なんだっ

それは
どーも...

戦勝を
喜べんのか?!



それを
言うな

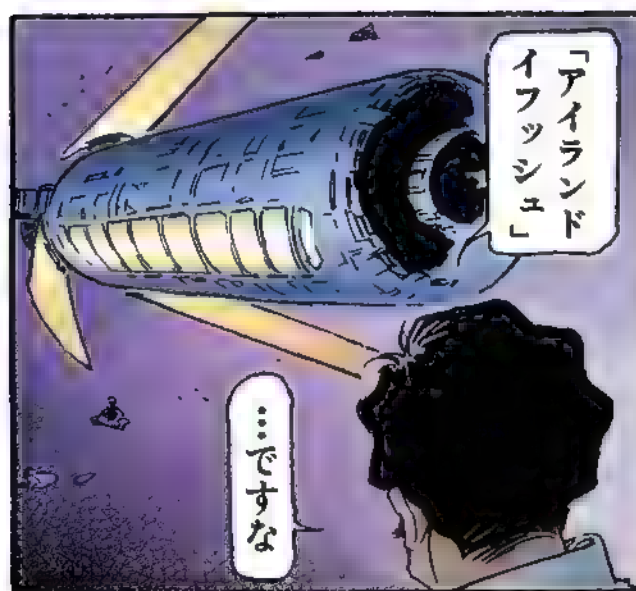
せんせん
宣戦する
必要さえ
なかった...

ハッテの防衛隊
なぞカタチ
だけのものです



願わくば

そつちの戦闘に
さんか
参加したかった
ですな...



「アイランド
イフッシュ」

...ですな



ハッテの戦力は
とるに足らなくても
連邦の拠点となれば
あなどれん!

ほか
他のサイドに対して
しめしがつかんと
いうこともあるっ!



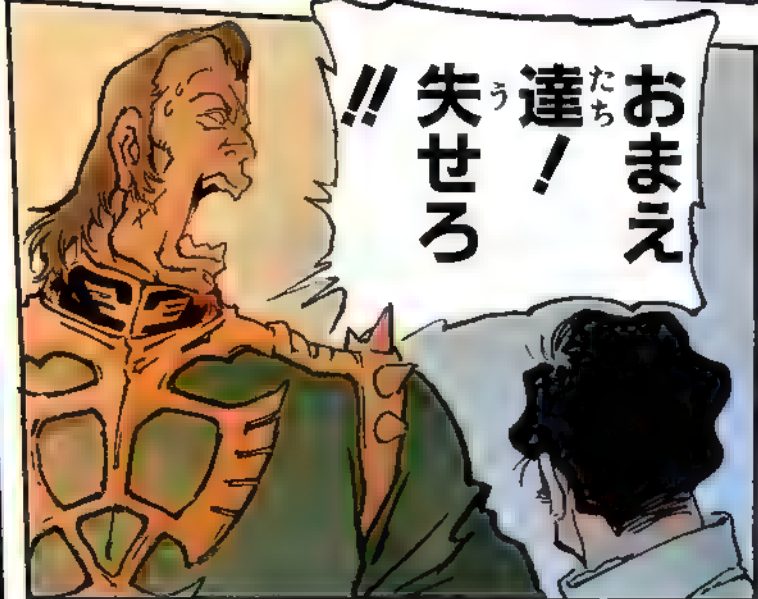
それよ!

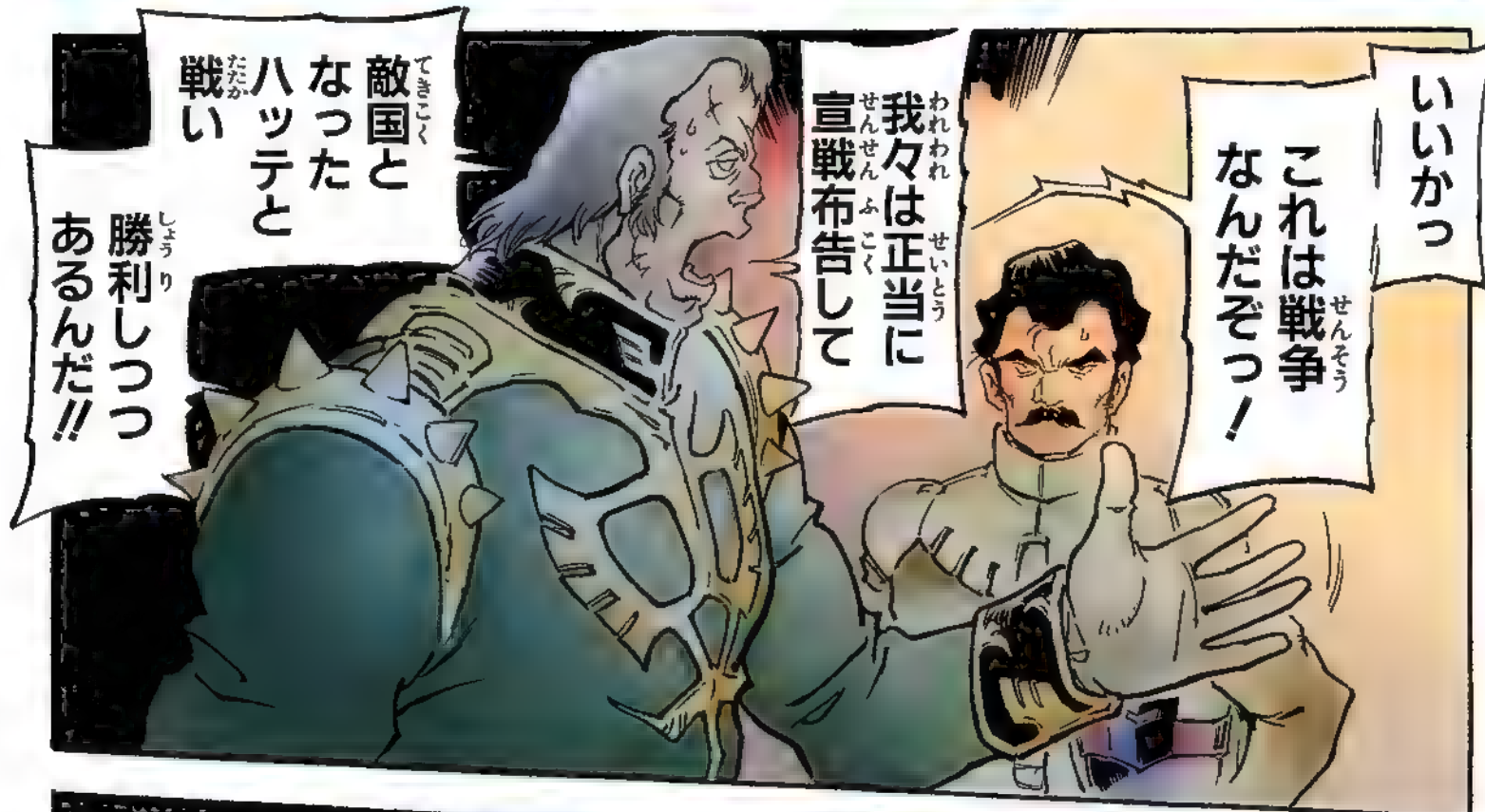
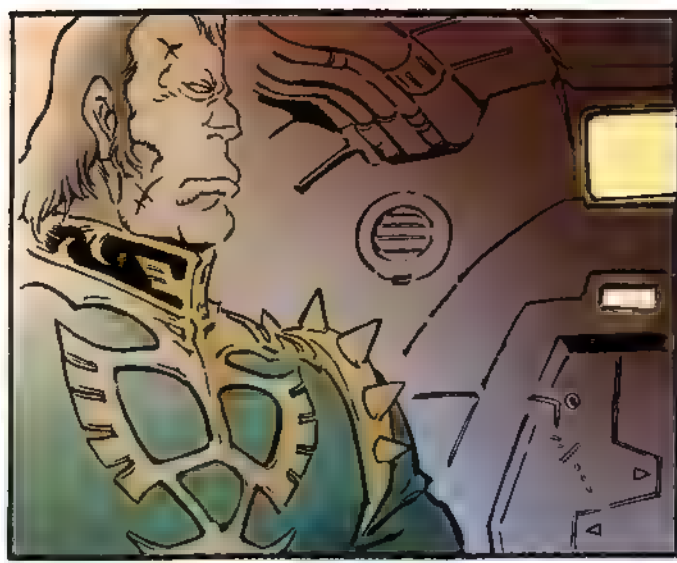
きさまを
呼んだ用は

まだその命令が
ないというのはい

指令があれば
半日で陥とせ
ますが

無傷で残って
いるのはあの
パンチだけです





サイド2の
島のひとつに
外部エンジンと
取り付け

SIDE2
L4

軌道から
はずし

地球の
引力圏まで
運び...

ジャブローの
真上に

EARTH

落とす!!

わかるな?

ジャブローは

ぺしゃんこ
だ



あつ 厚さ一〇〇〇Mの
がんばん 岩盤で護られ
かくとうげき 核攻撃にも
た 耐えられる
ジャブローも
これなら
もたん

いちげき 一撃で
ほうかい 崩壊！

れんぼうぐん 連邦軍の
しきちゆうすう 指揮中枢は
そくし 即死して



せんそう 戦争
は

おわ 終わ
る！



いとわ お断りする！！



さよう！

まかの 麾下の
モビルス
部隊を使
い

やれと？

それを

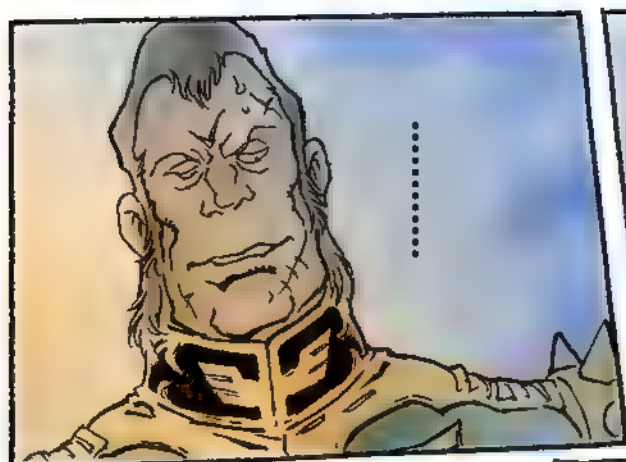


なるほど
ギレン殿なら
考えそうな
ことだ!

だが

武人のあなたが
口にすべき計画
ではないっ!

悪魔のする事だ
それはっ!!

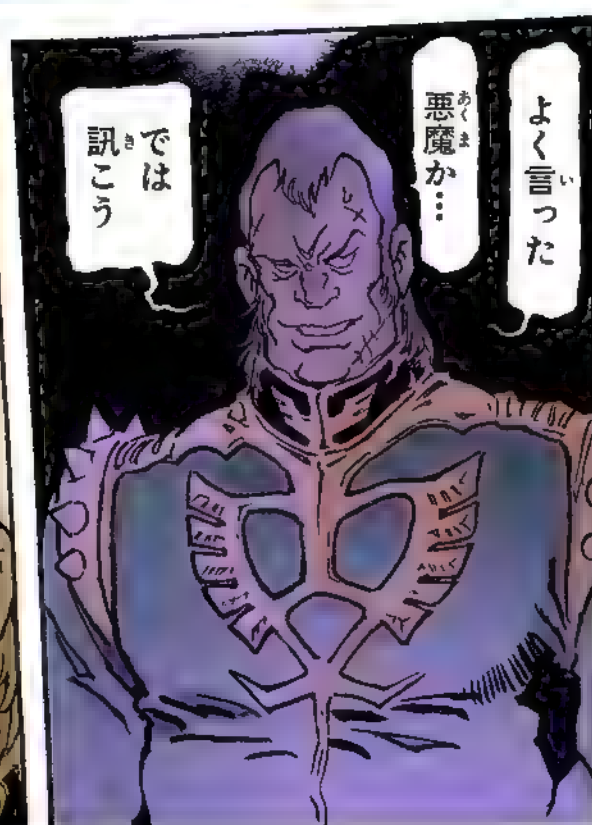


おちぶれたとは
いえラル家の
家名を継ぐ者

そこまで
堕ちたくは
ないっ



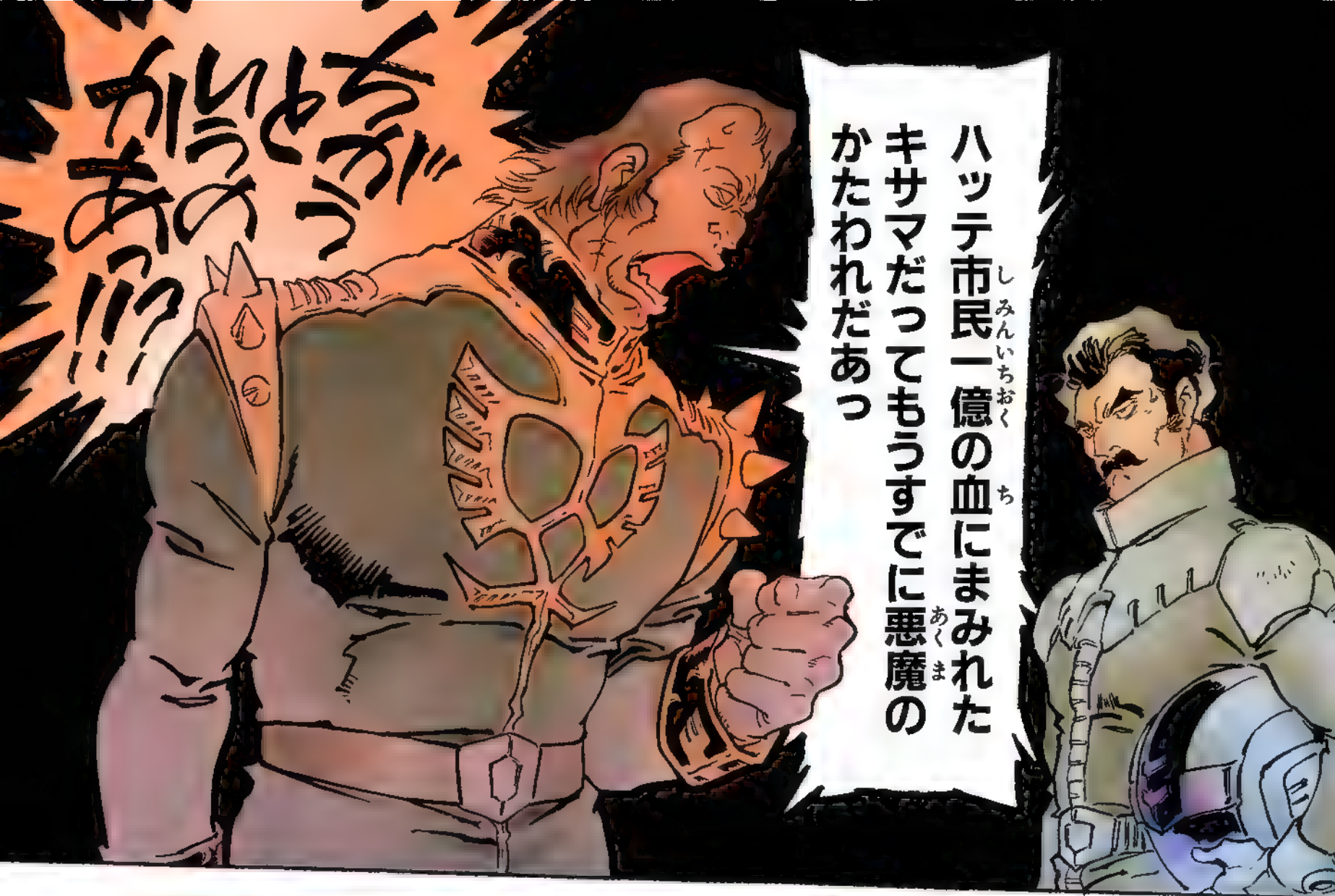
おまえは
悪魔では
ないの
かあっ!?



よく言った

悪魔か...

では
訊こう



ハッテ市民一億の血にまみれた
キサマだってもうすでに悪魔の
かたわれだあつ



ならばっ

降伏を拒み連邦の
援軍を待つ連中を
生きのびさせる
ことはできんっ!

アイランド・イフツシュの
連中はどのみち
みんな...死ぬ

考えてもみる
ラル大尉

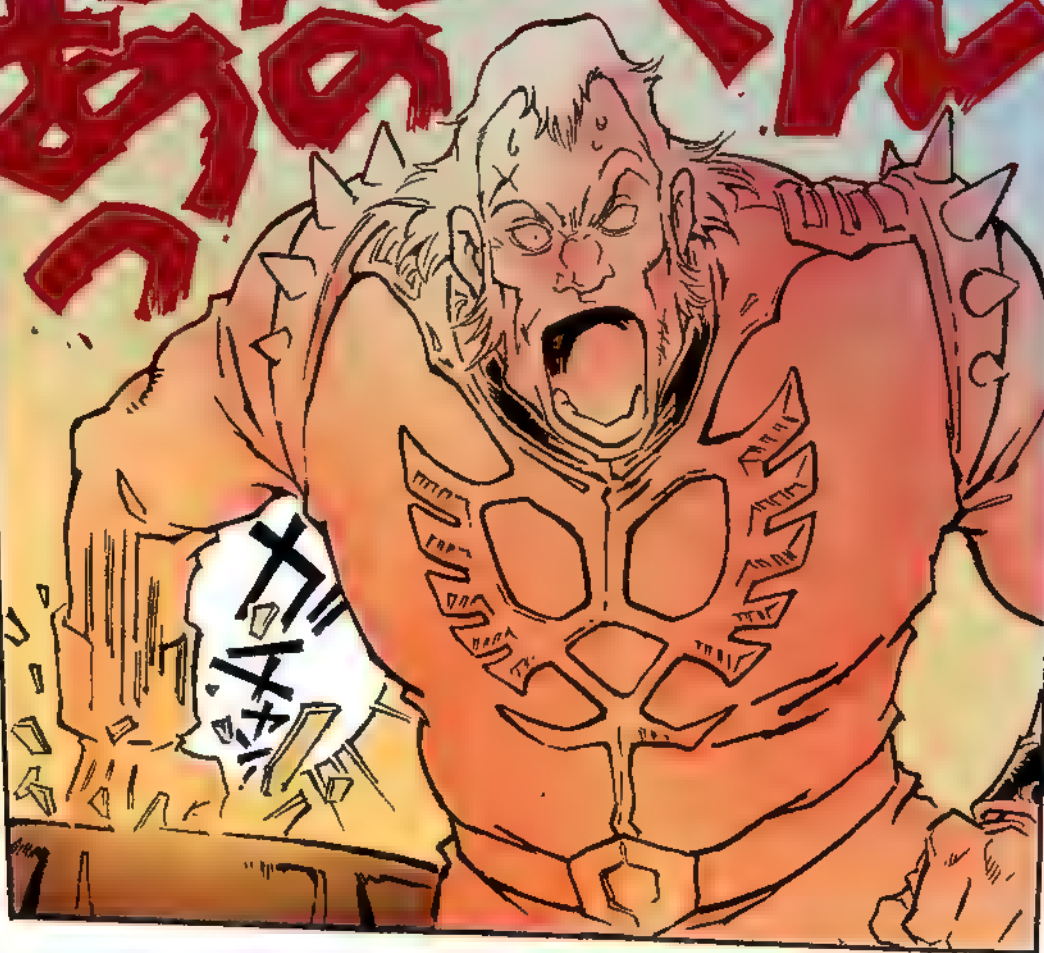


やつらの死で
戦争を
終らせる
のは

やつらをただ
無駄に死なせ
ないだけ却って
理性ある行為
だと思わんか?

.....

おれは
みんな
の
ため
に
死
ん
だ
ん
だ



おも
い
ま
せ
ん
っ
!!



この
戦争は

狂っ
て
い
る
よ

ド
ズ
ル
閣
下
:



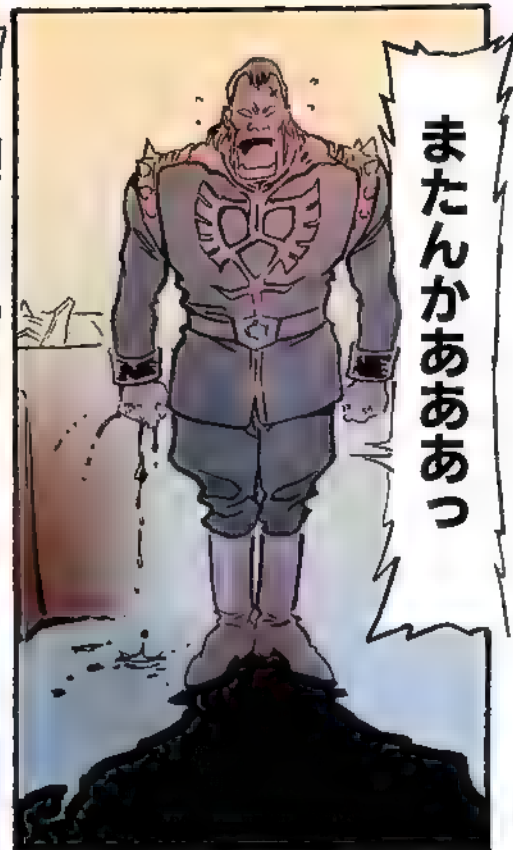
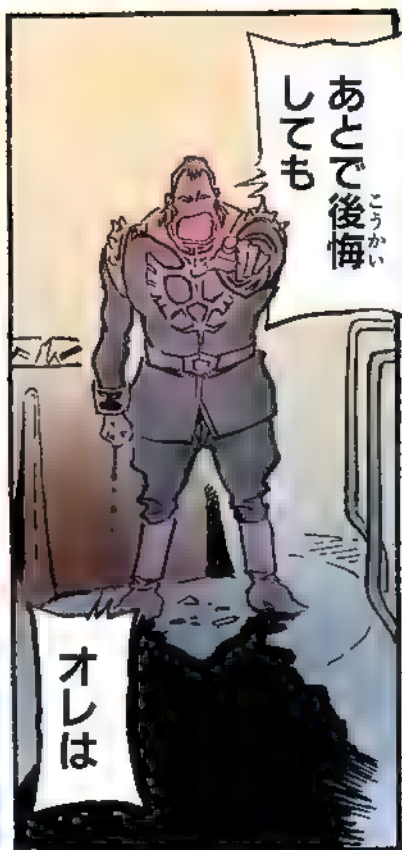
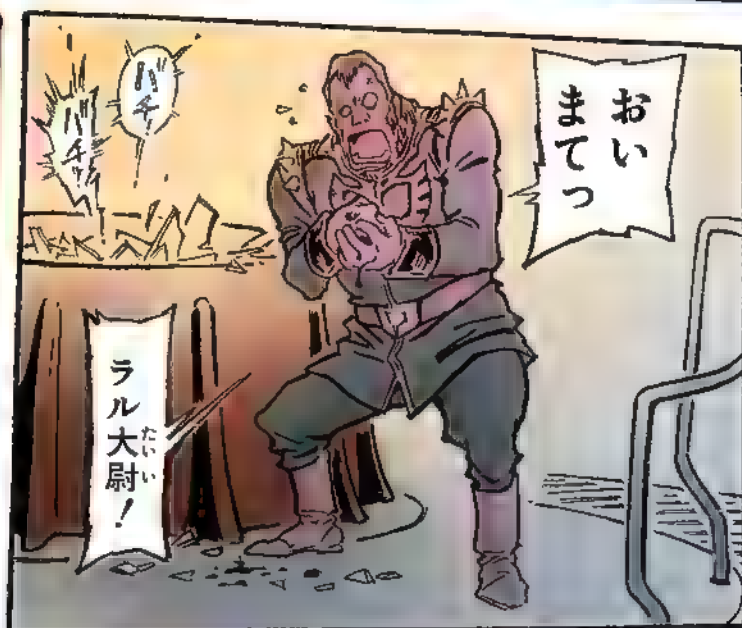
命
ず
る
戦
争
と
は
思
え
ん
!

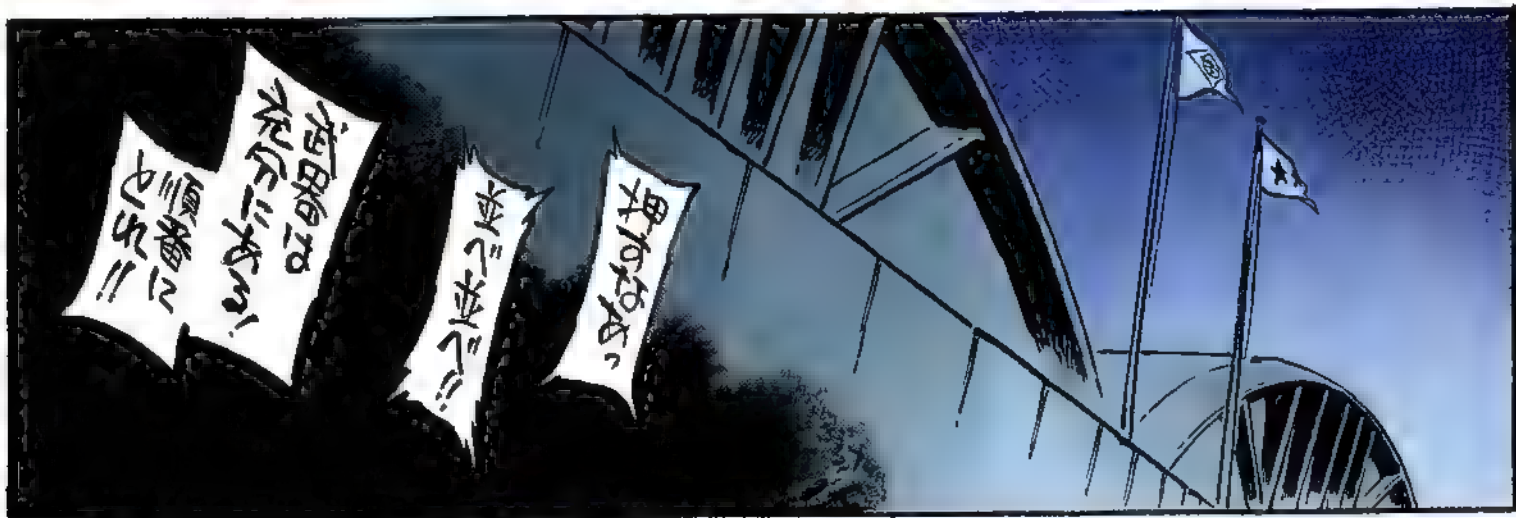
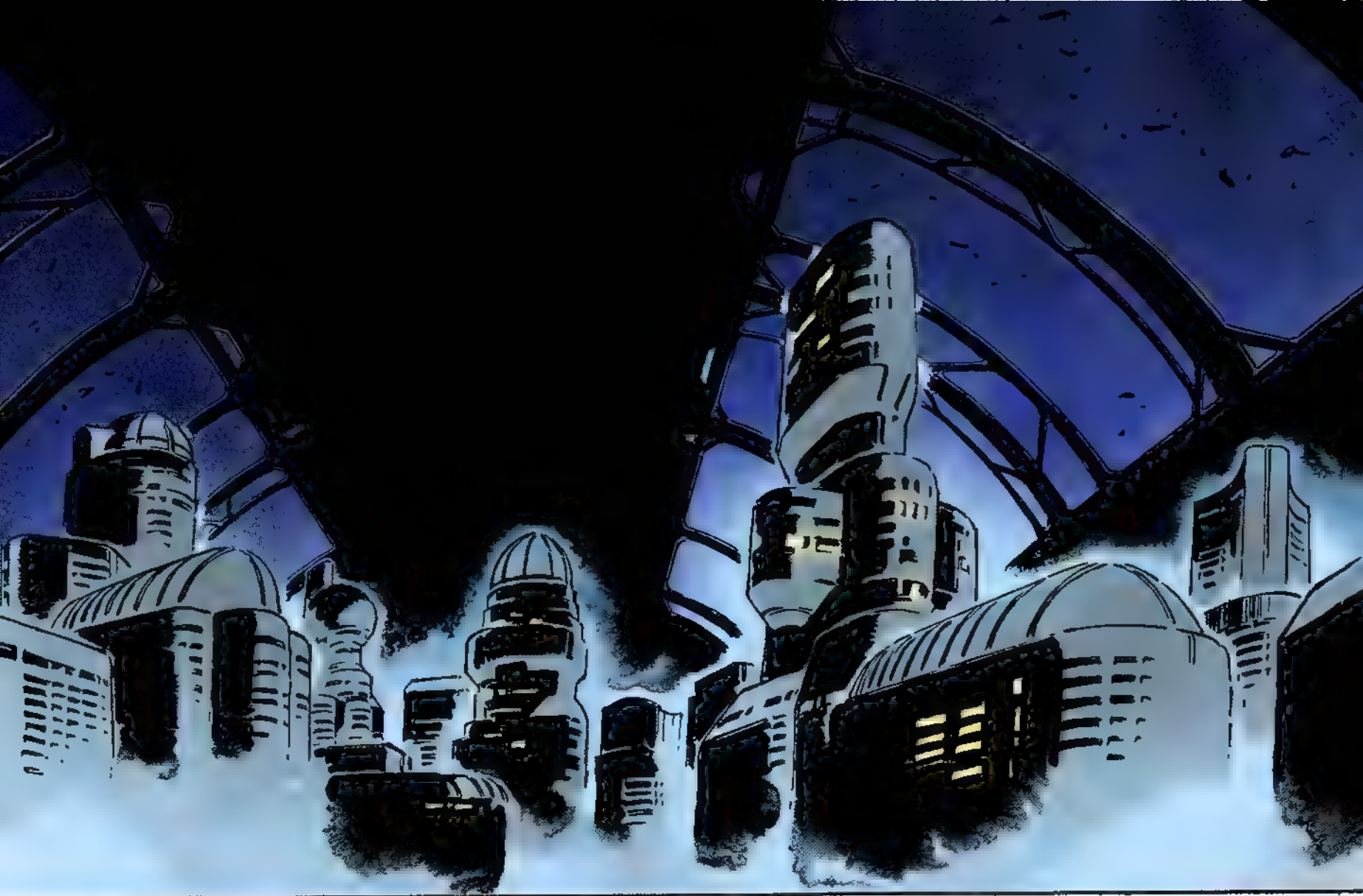
ジ
オ
ン
・
ズ
ム
ダ
イ
ク
ン
の

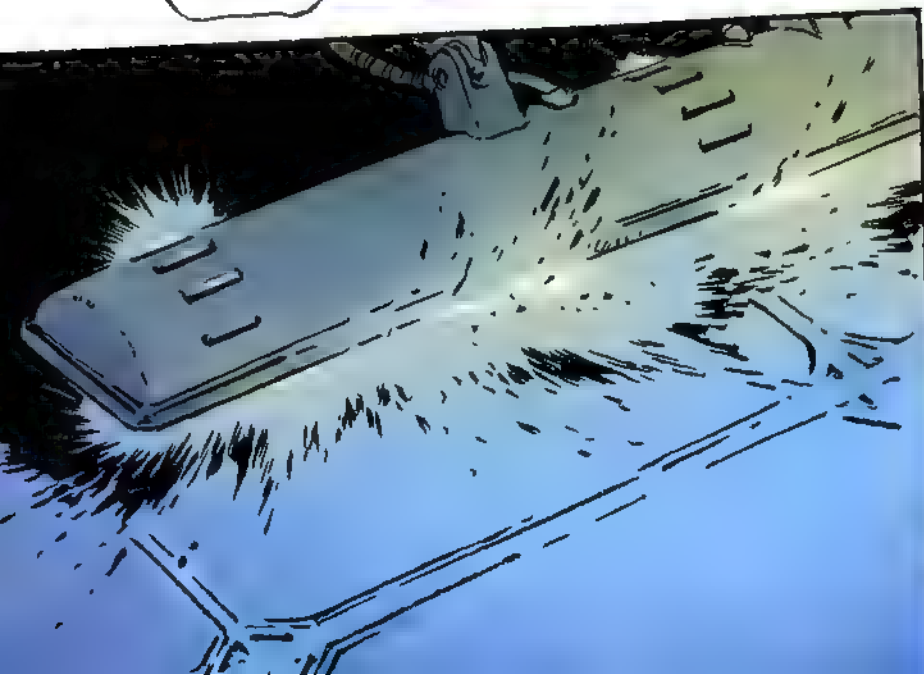
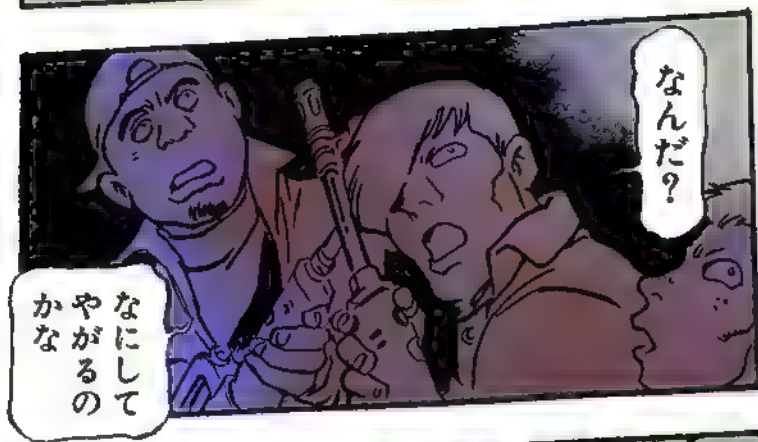
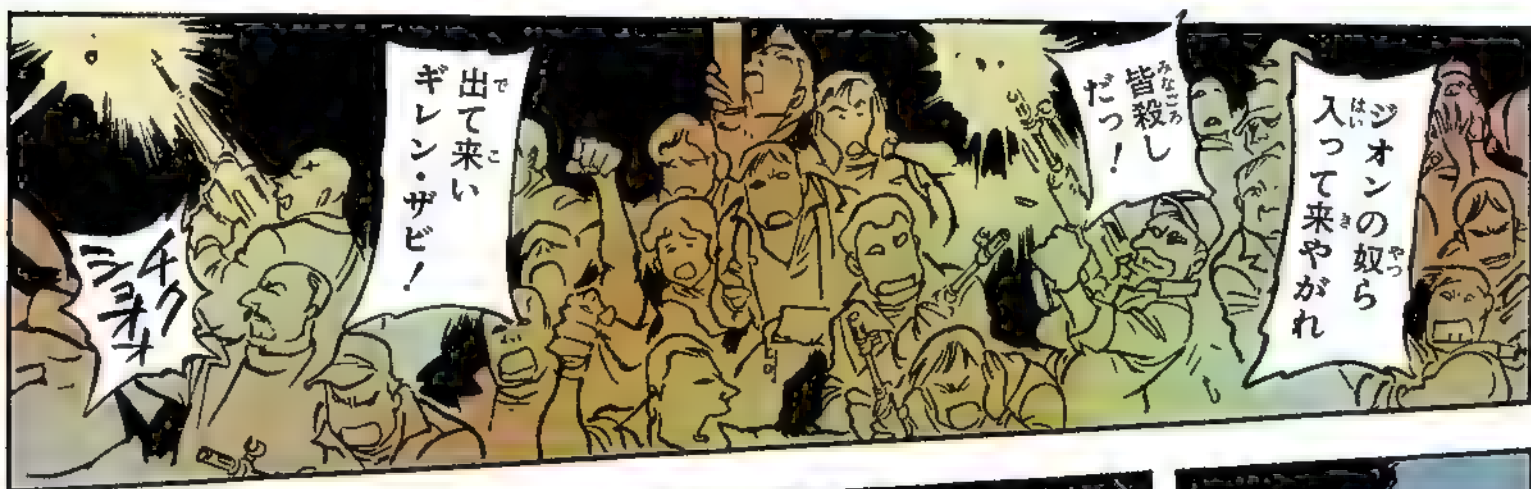


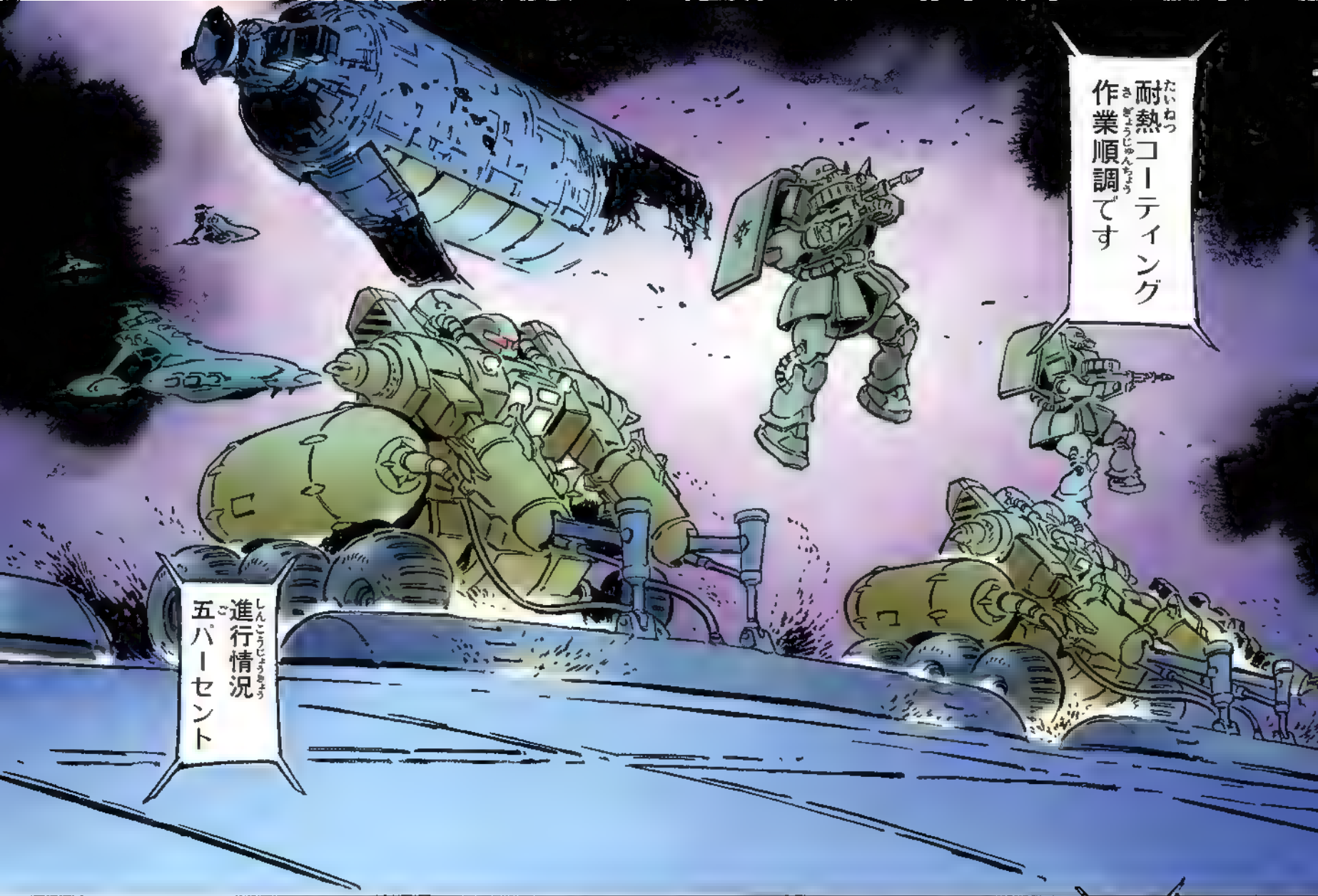
オ
レ
は
降
り
る





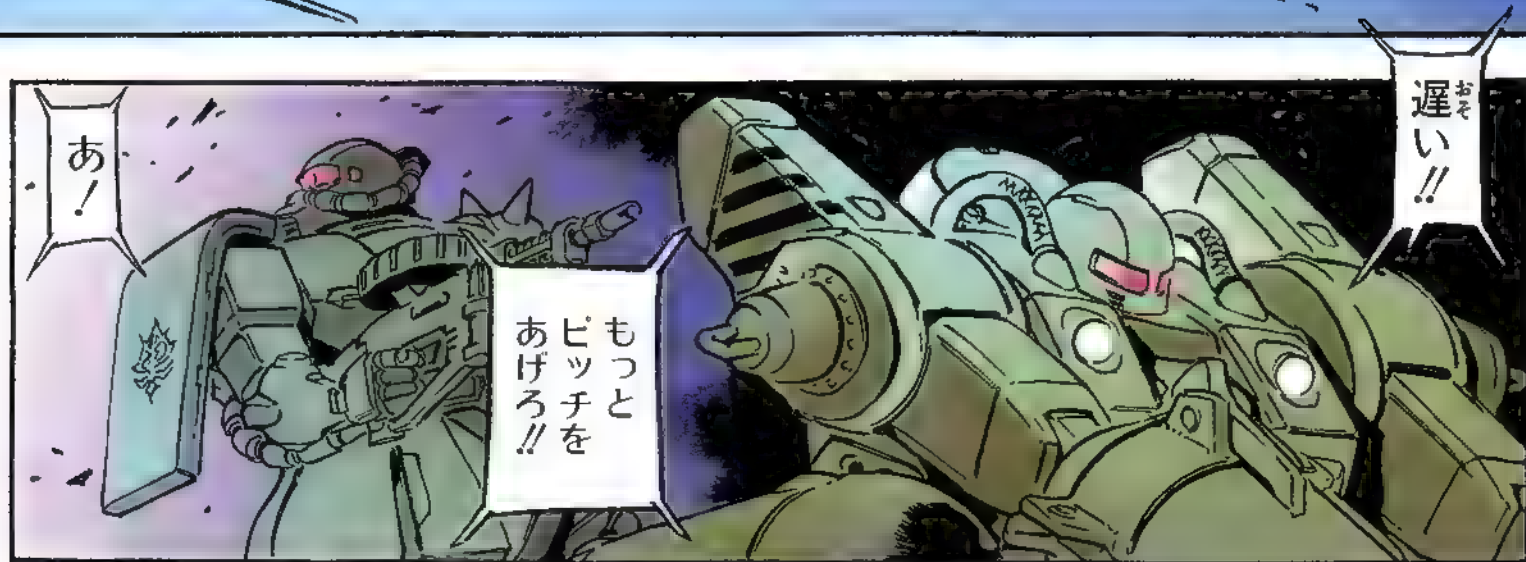






耐熱コーティング
作業順調です

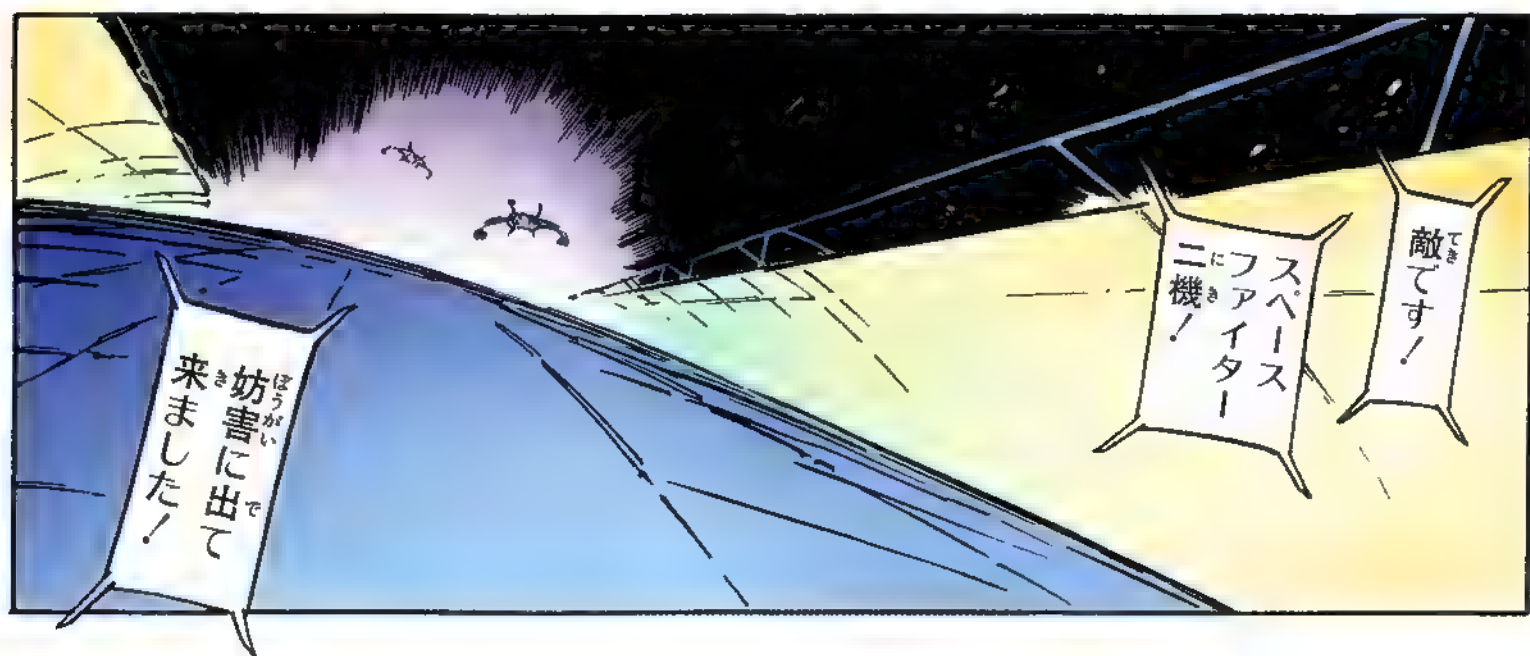
進行状況
五パーセント



遅い!!

もっと
ピッチを
あげろ!!

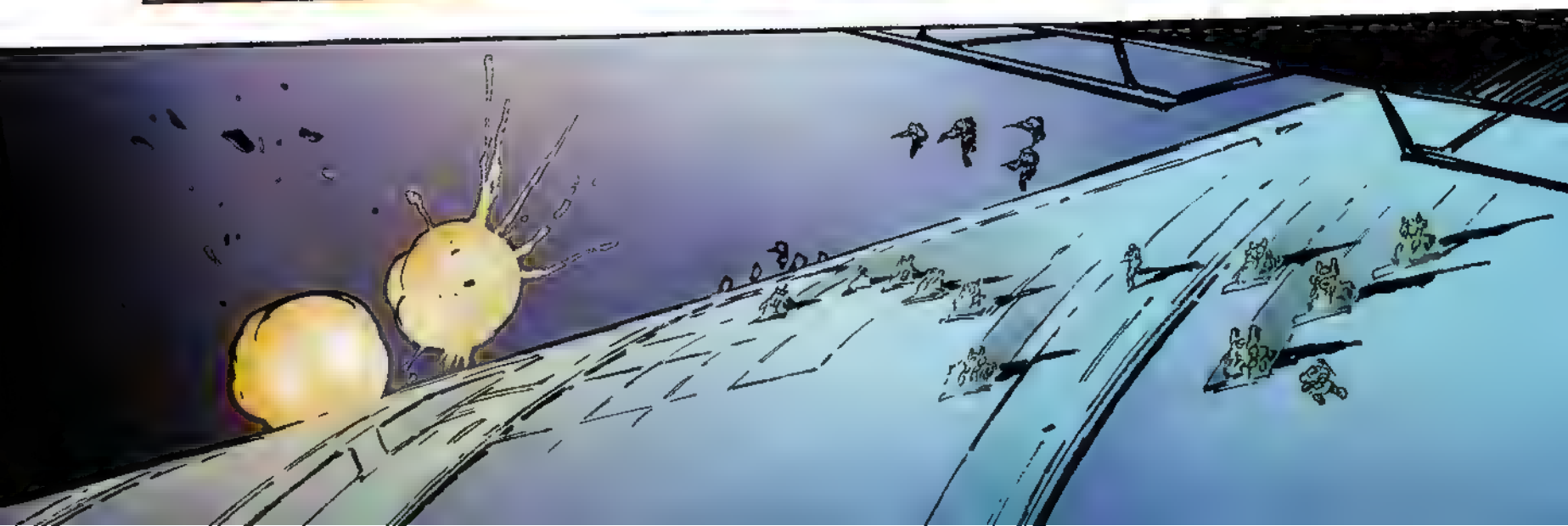
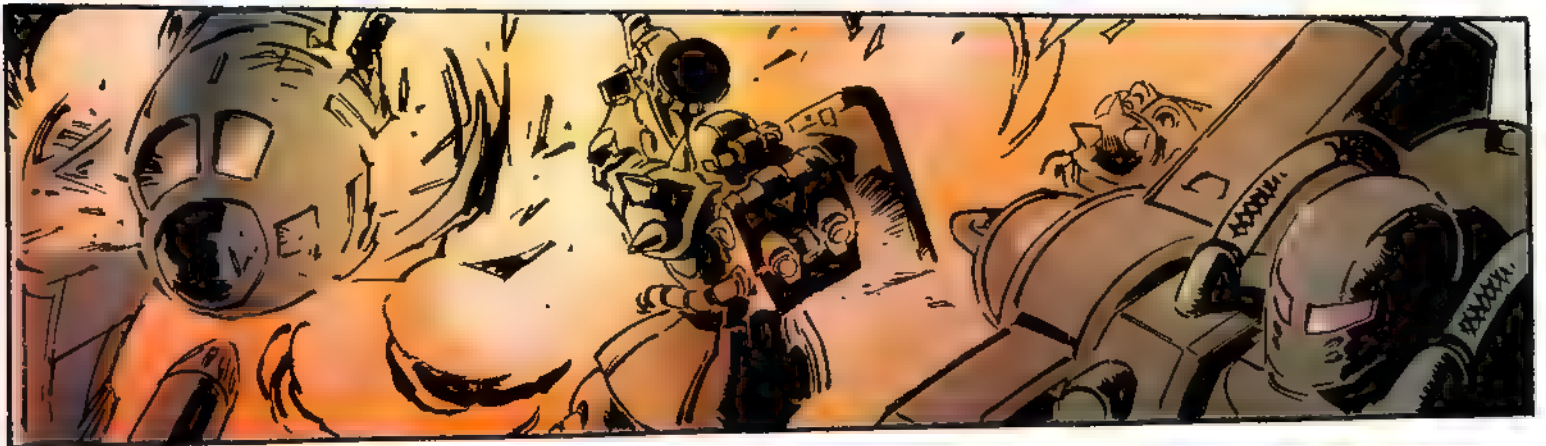
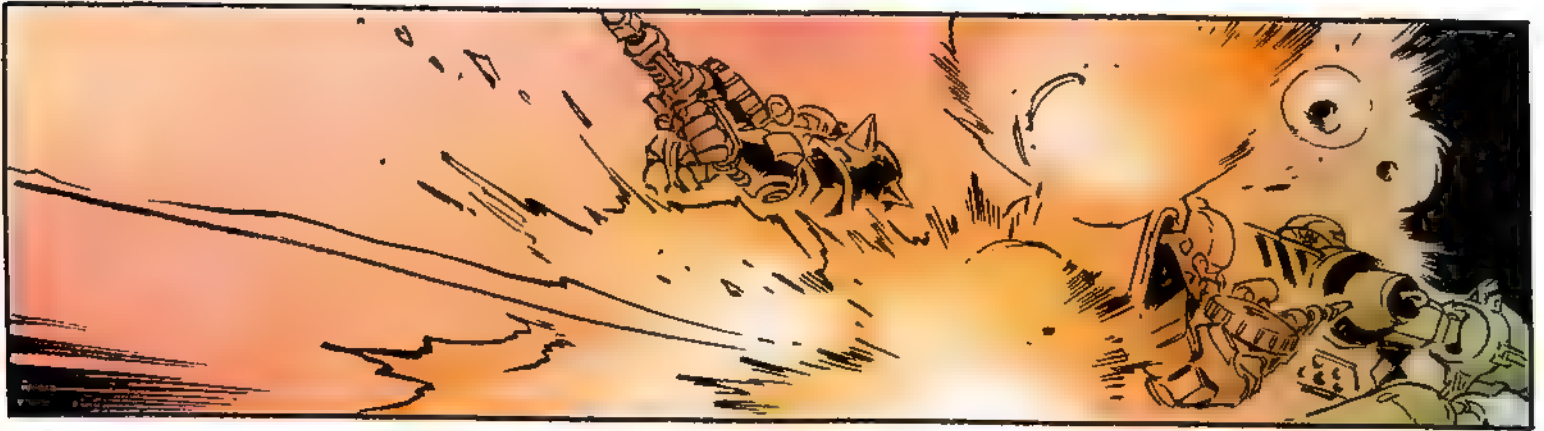
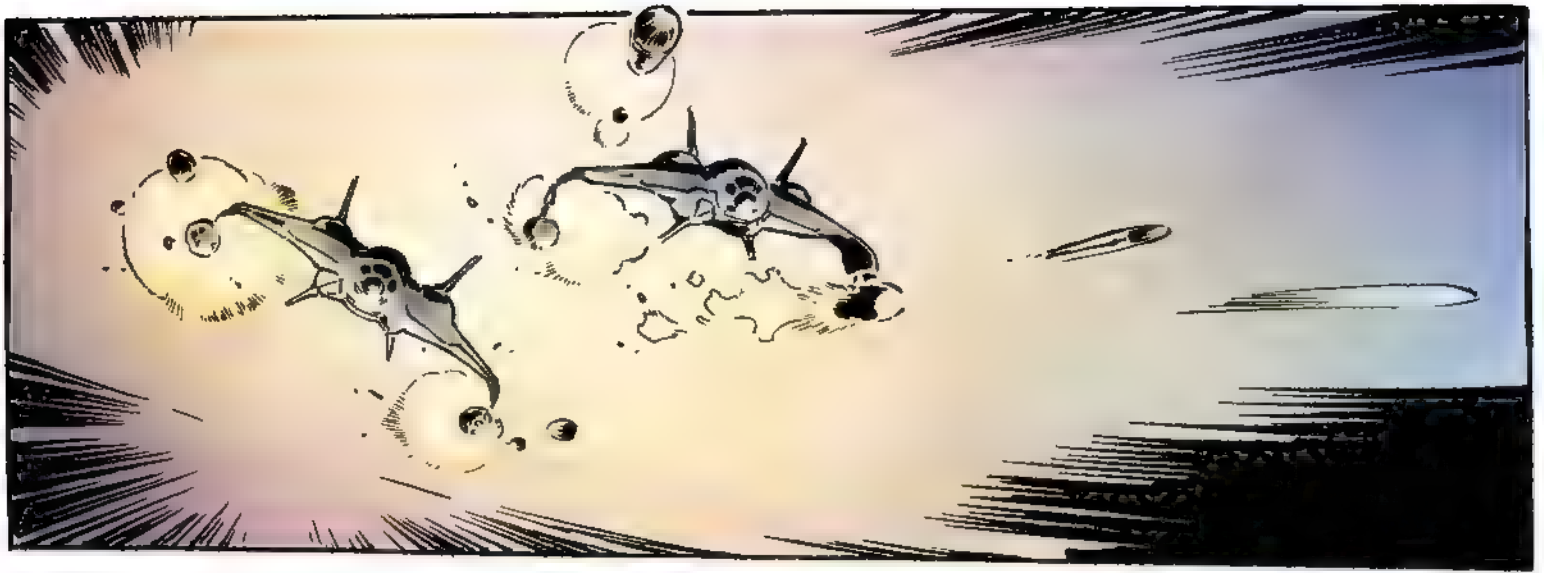
あ!

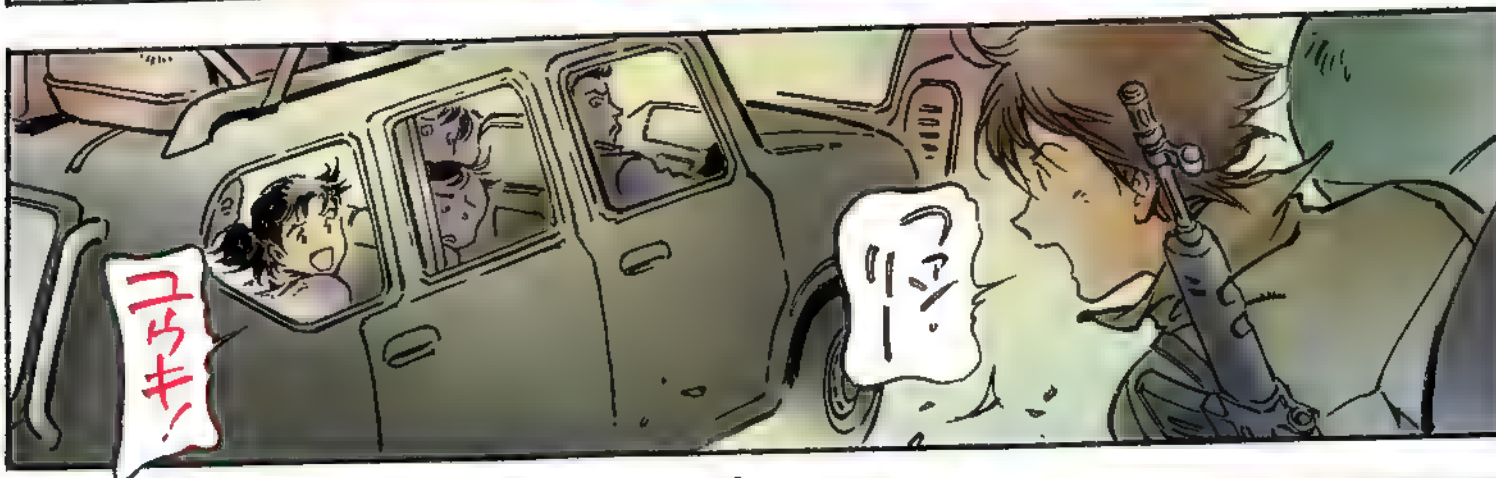
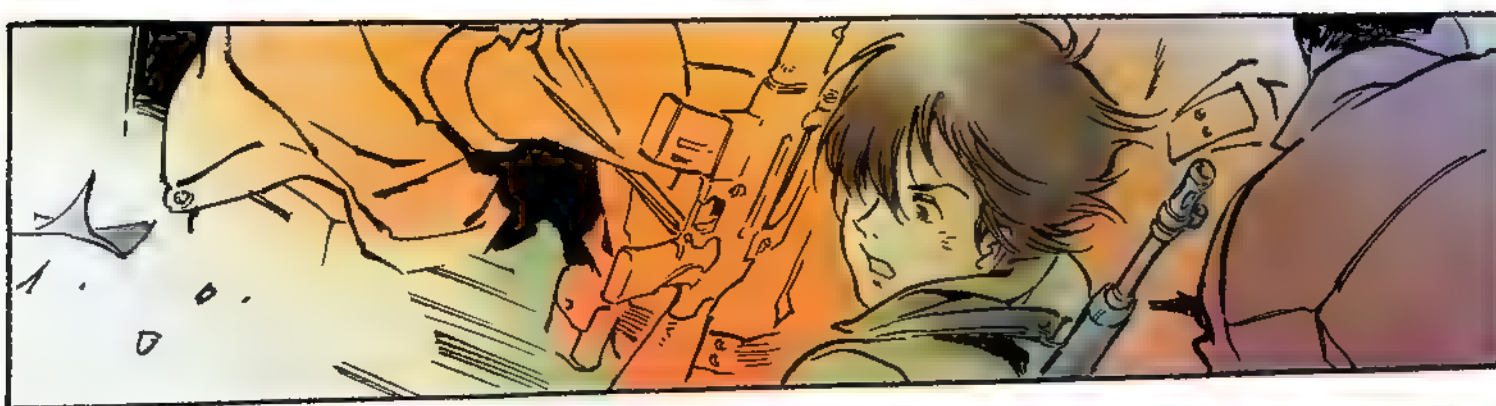


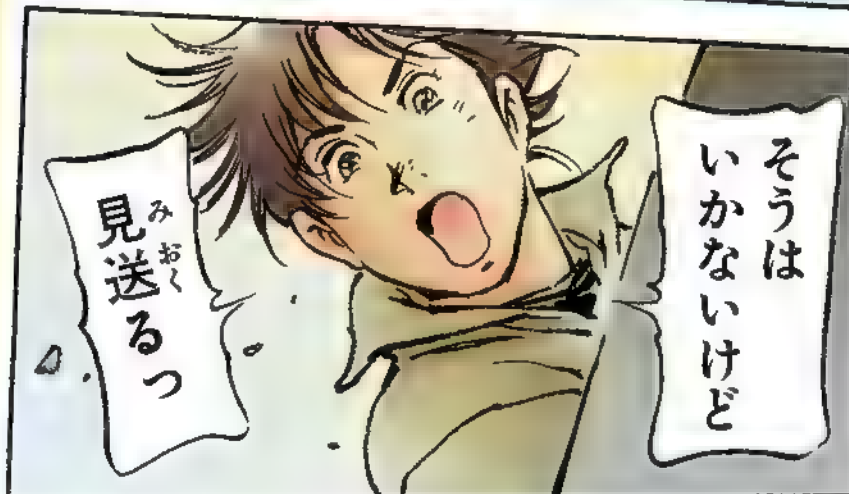
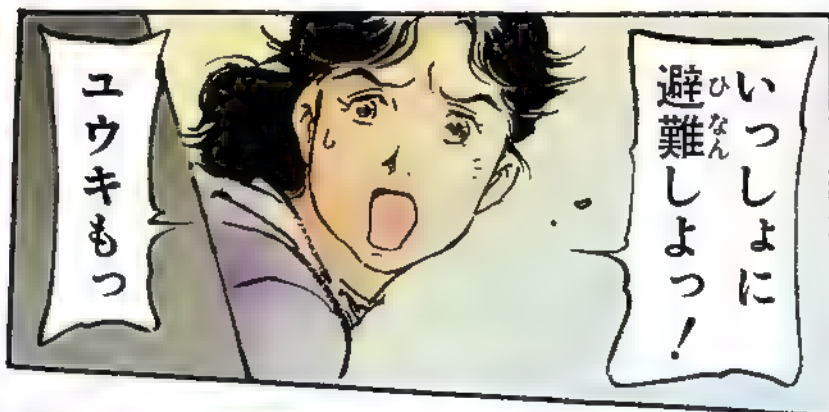
敵です!

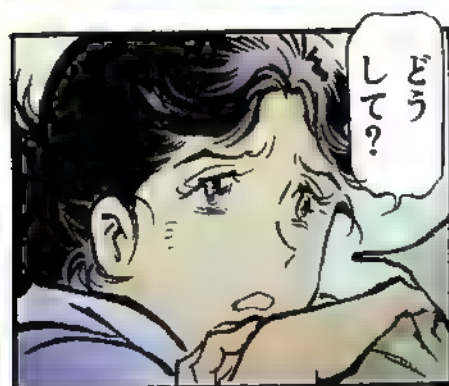
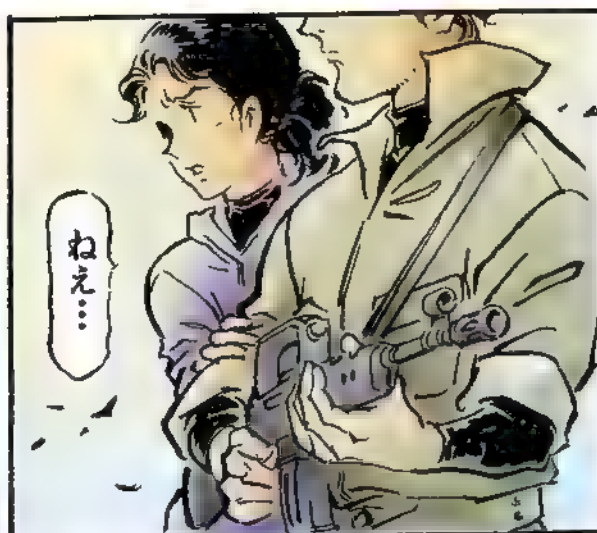
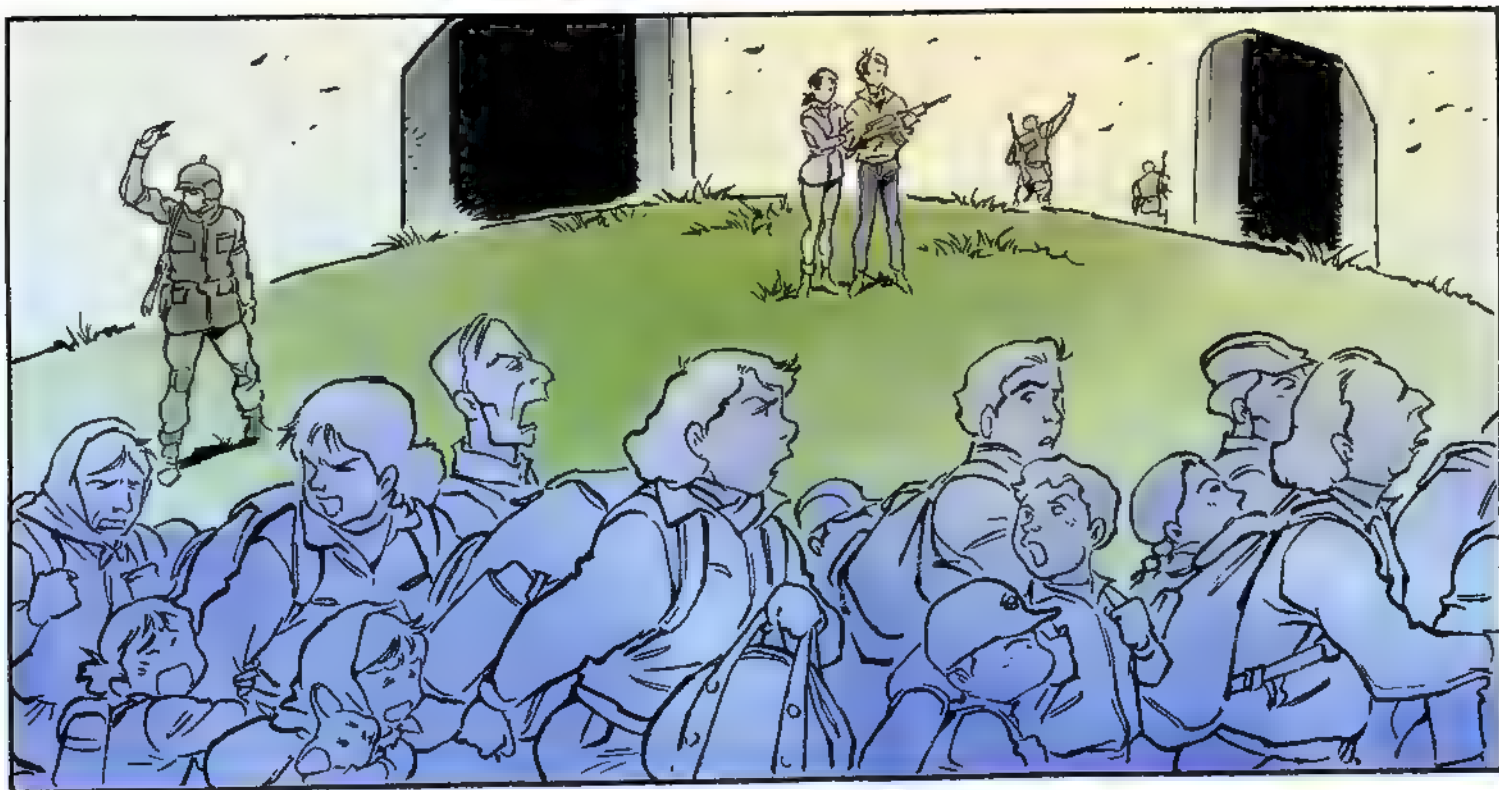
スペース
ファイター
二機!

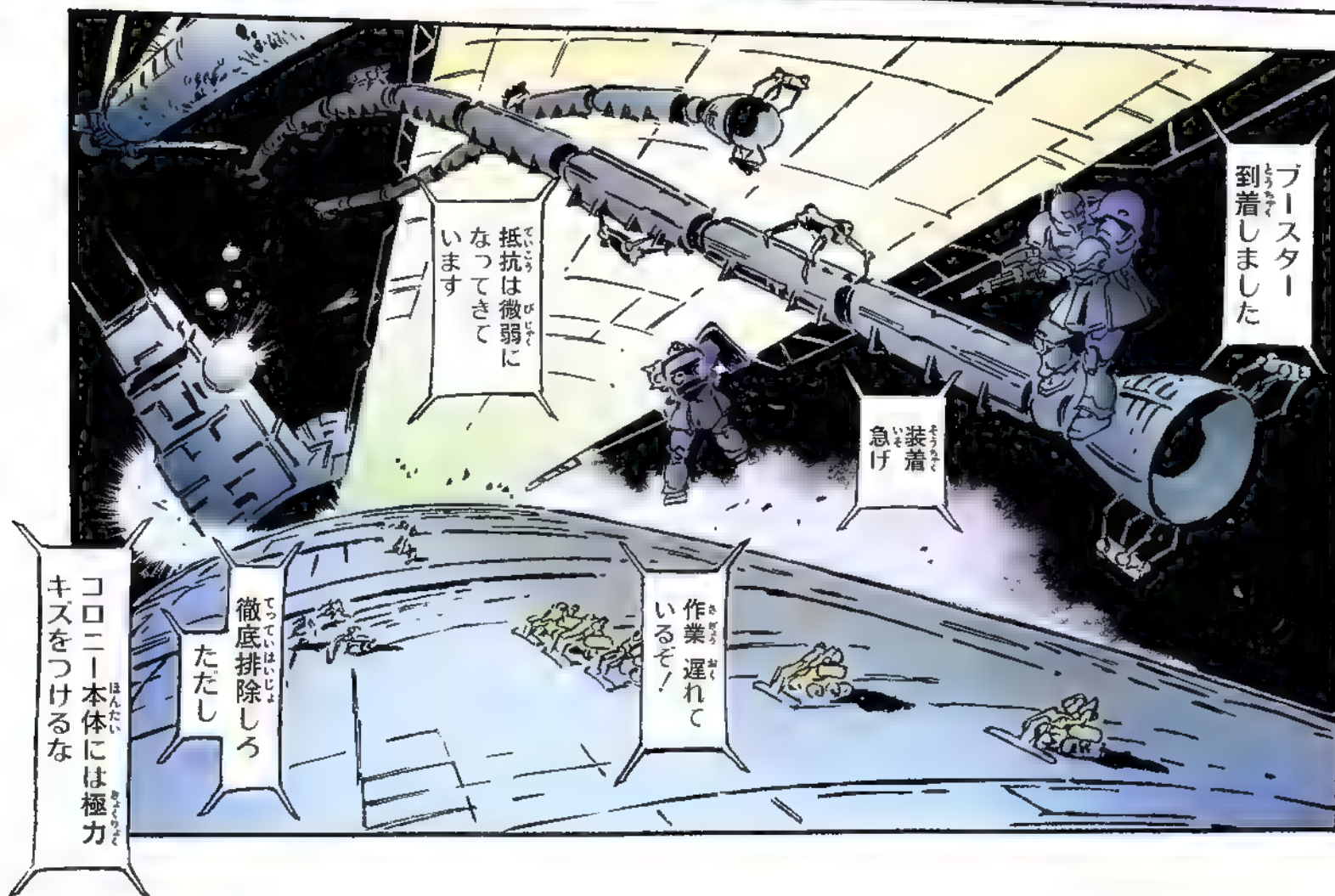
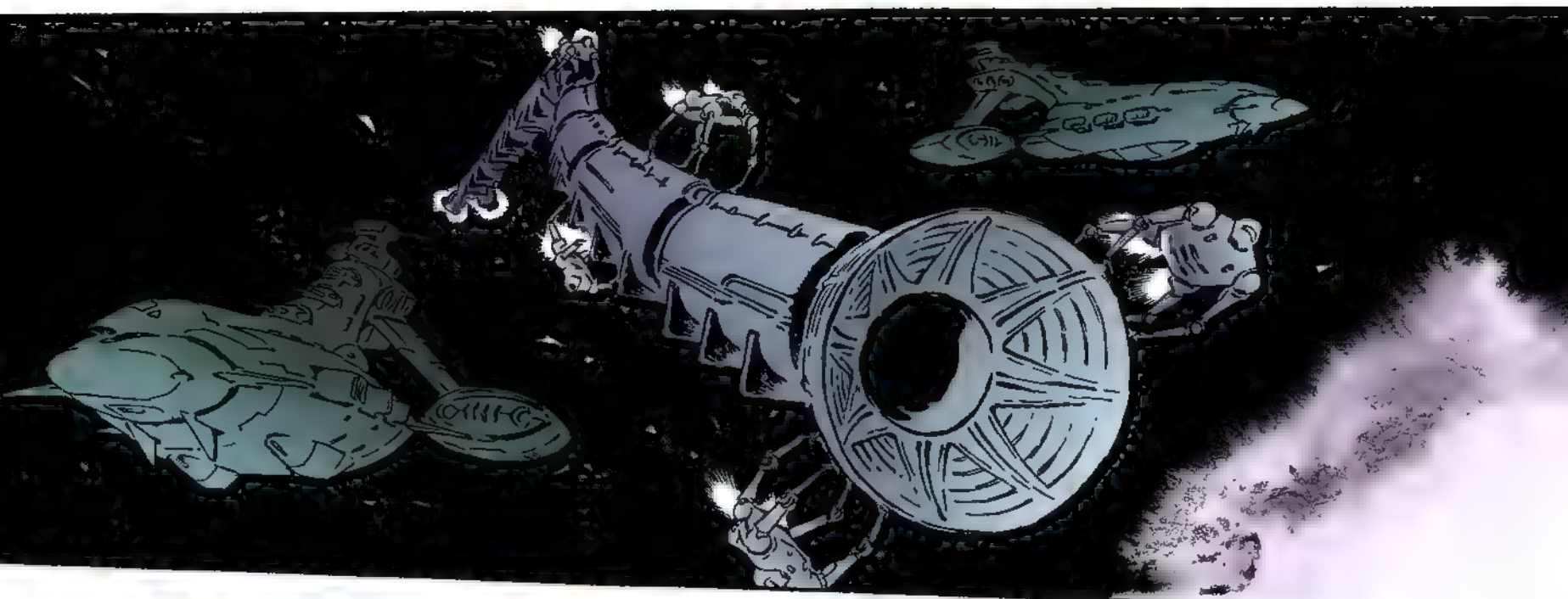
妨害に出て
来ました!

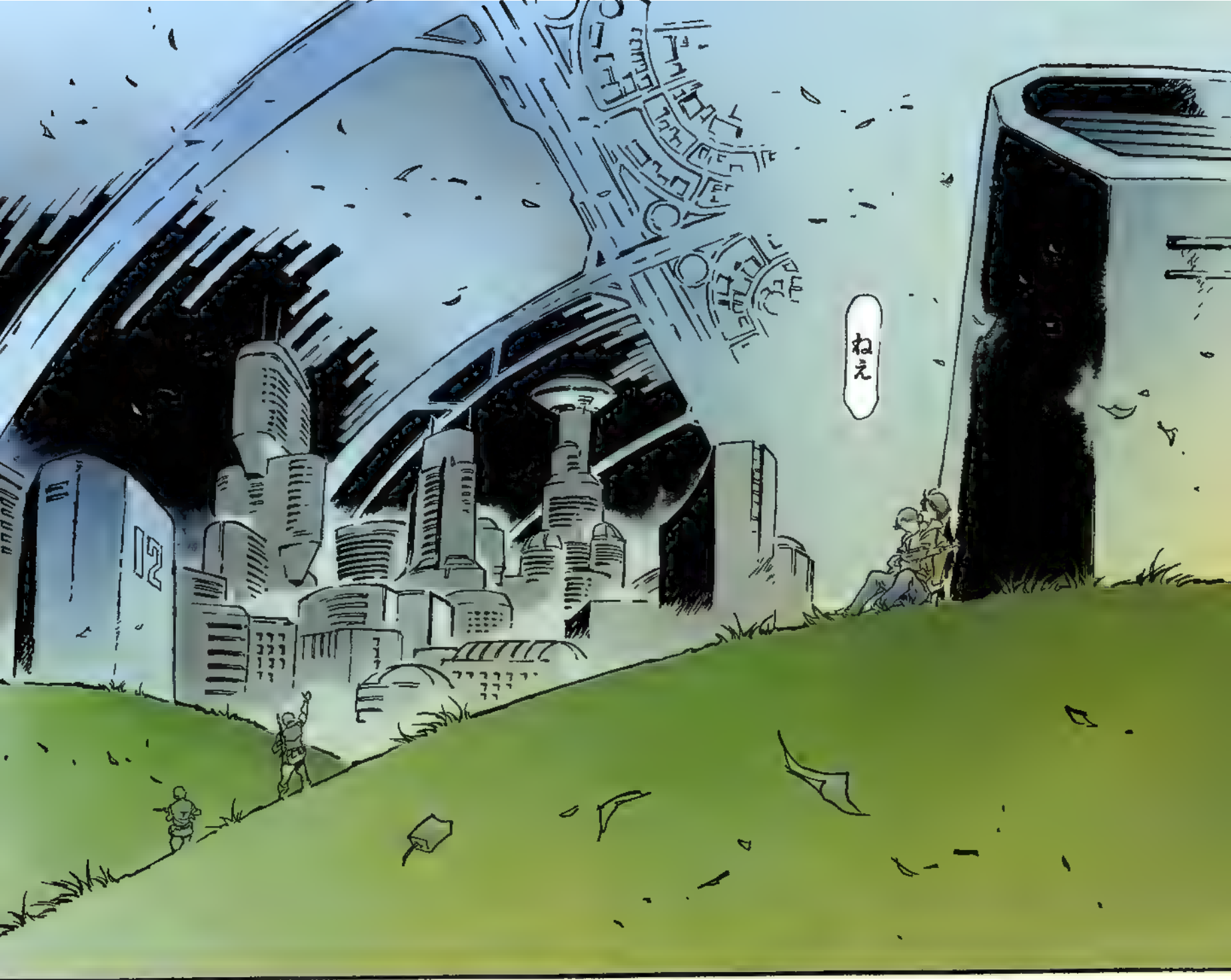










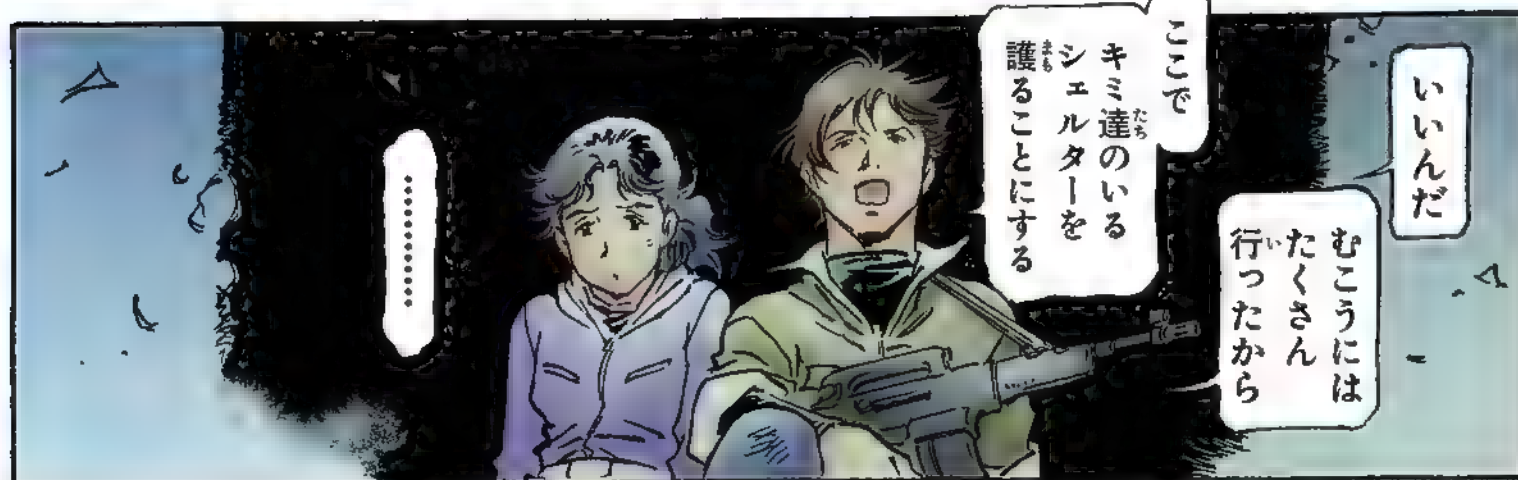


ねえ



行かなくて
いいの？

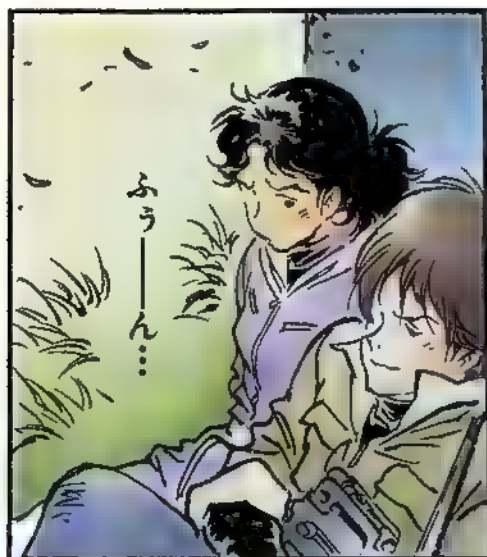
ドッキング
ベイ...



いいんだ

むこうには
たくさん
行ったから

ここで
キミ達の
いる
シエルターを
護ることに
する

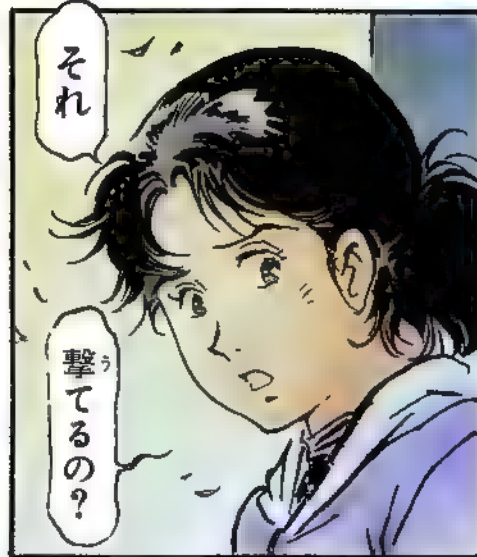


ふうーん…



ギターより
カンタンだ

撃てるぞ



それ

撃てるの？



ねえ…

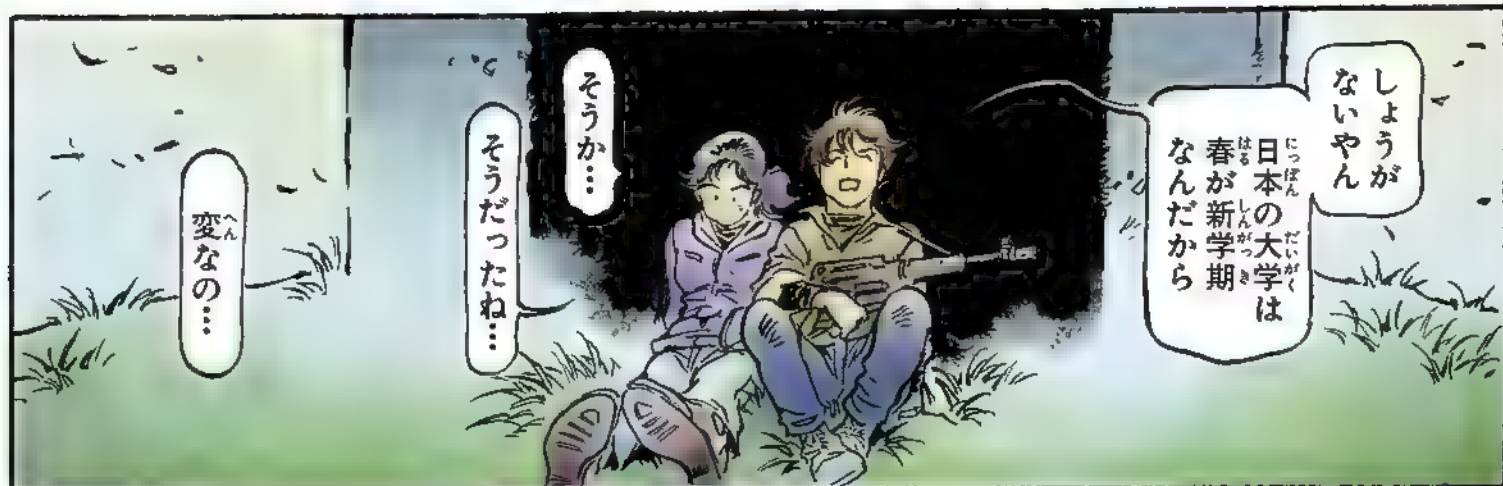
ユウキも早く
地球へ行っちゃえば
よかつたネ

なんで？

こんなことに
なっちゃった
から…

せつかく留学
決まってたのに

タッキーもジョセフも
もう地球に行って
いるんだよね…



しょうが
ないやん

日本の大学は
春が新学期
なんだから

そうか…

そうだったね…

変なの…



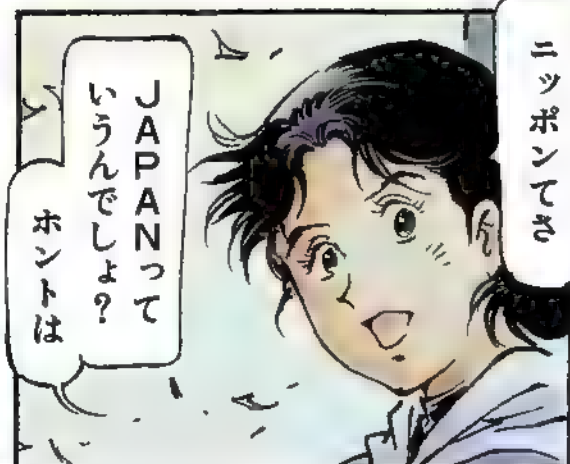
どおして
そうなった
のかナア…



「JAPAN」は
外国名

え〜

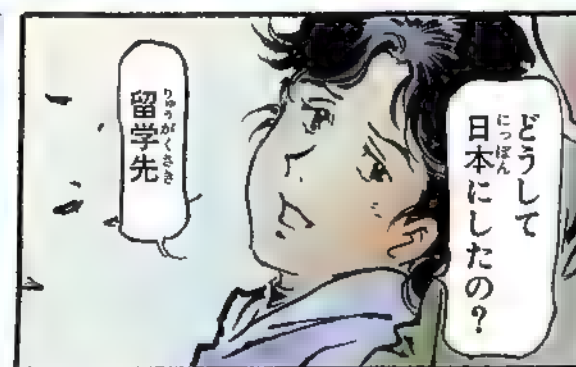
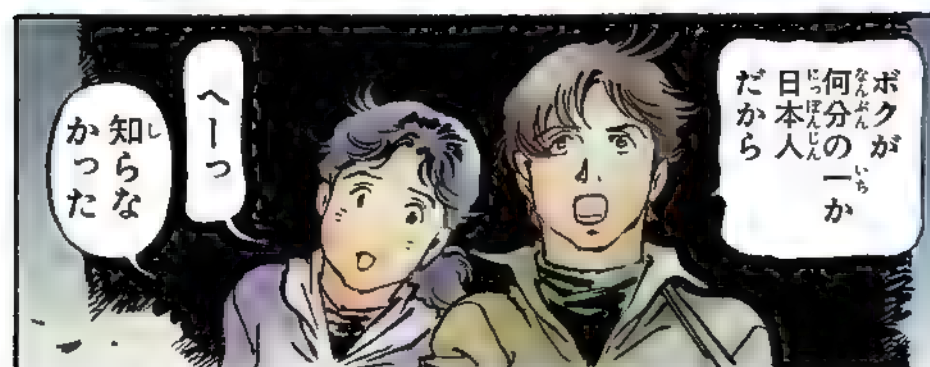
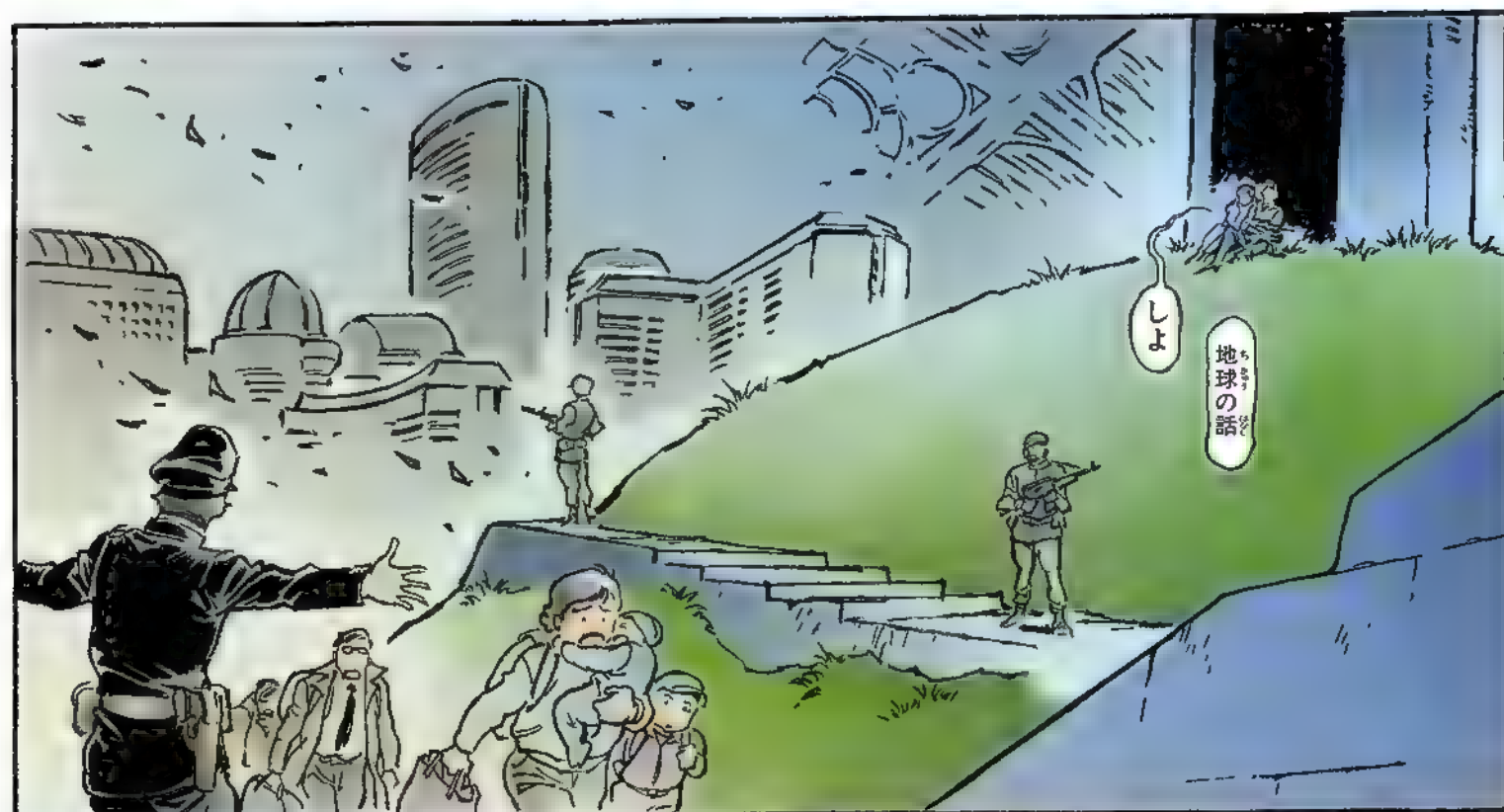
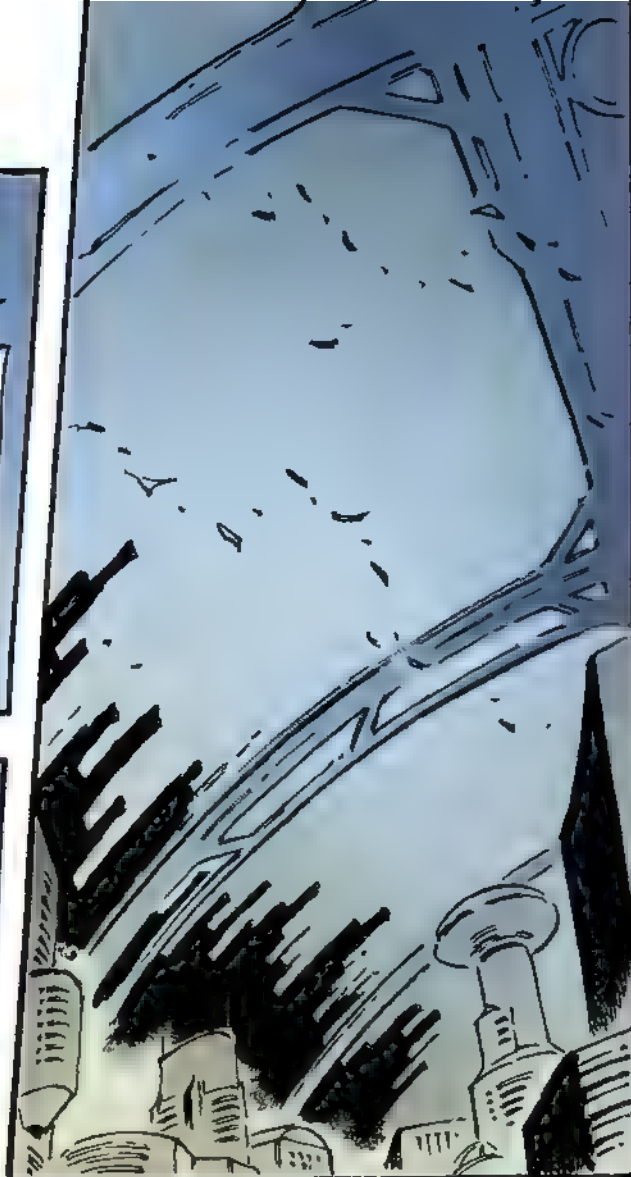
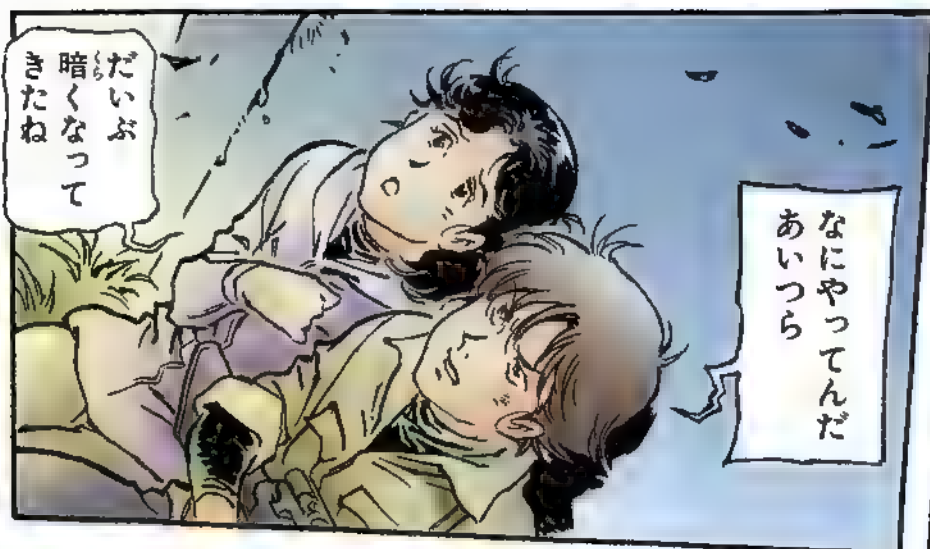
「ニッポン」が本当



ニッポンてさ

JAPANって
いうんでしょ？

ホントは





「ユキ…」
SNOW

日本には
ユキが降る

サクラの花びらって
ユキみたいに
散るんでしょ？

そう
だと思っ
うよ

きつと

いい
なああ…

わたしも
行きたいな

地球に

行こうか

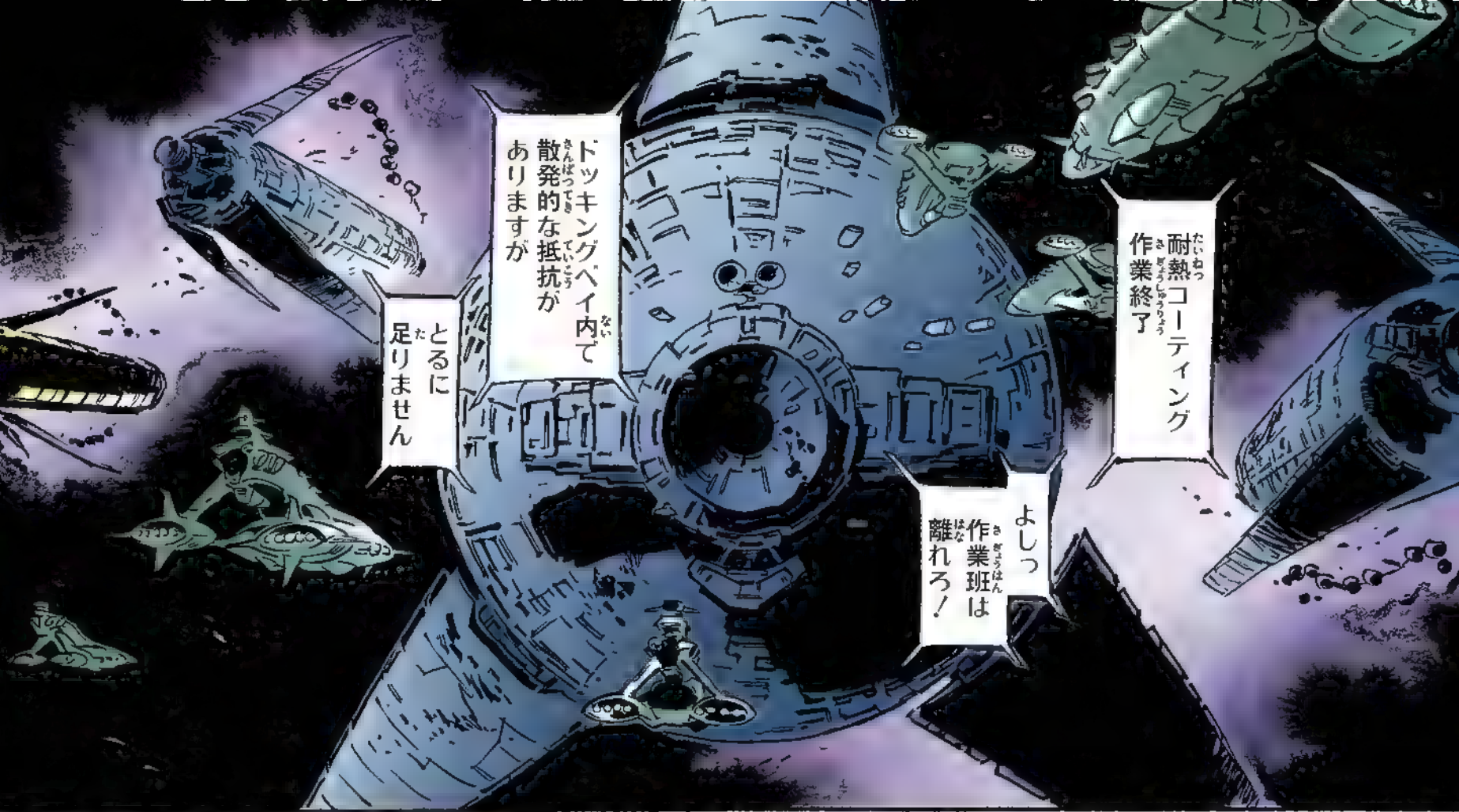
こんなことが
終わったら

いっしょに？

うん！

いっしょに…



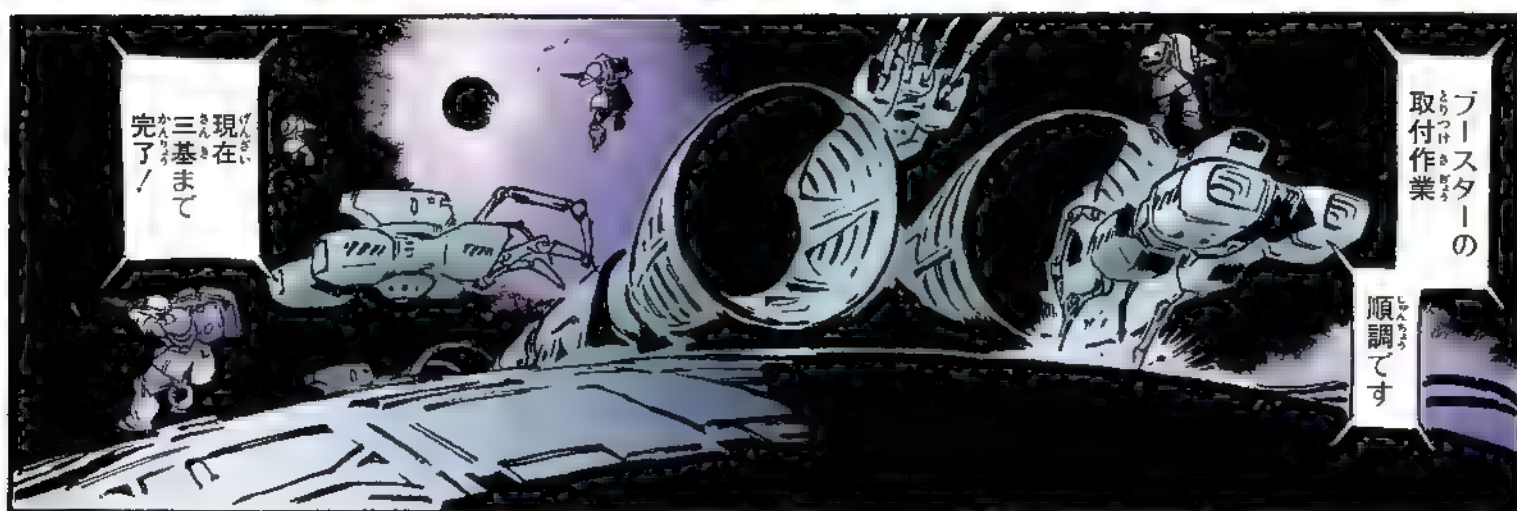


耐熱コーティング
作業終了

よしっ
作業班は
離れろ！

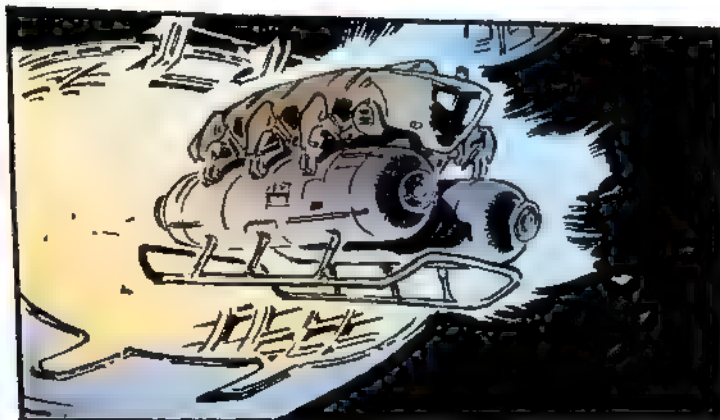
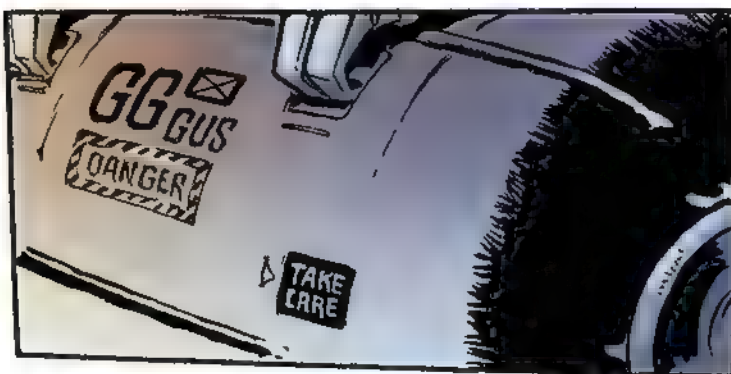
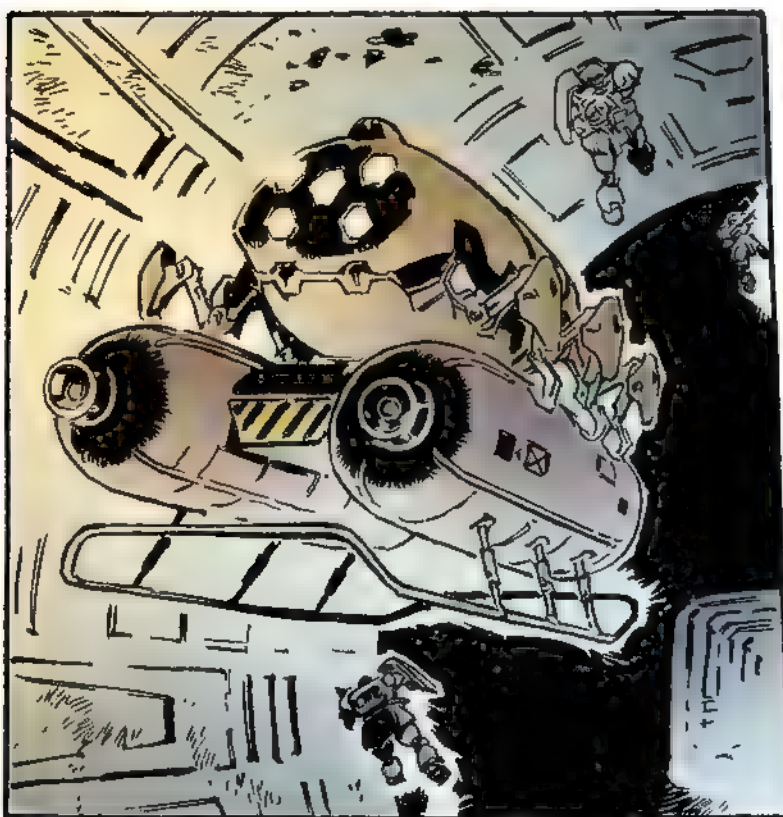
ドッキングベイ内で
散発的な抵抗が
ありますが

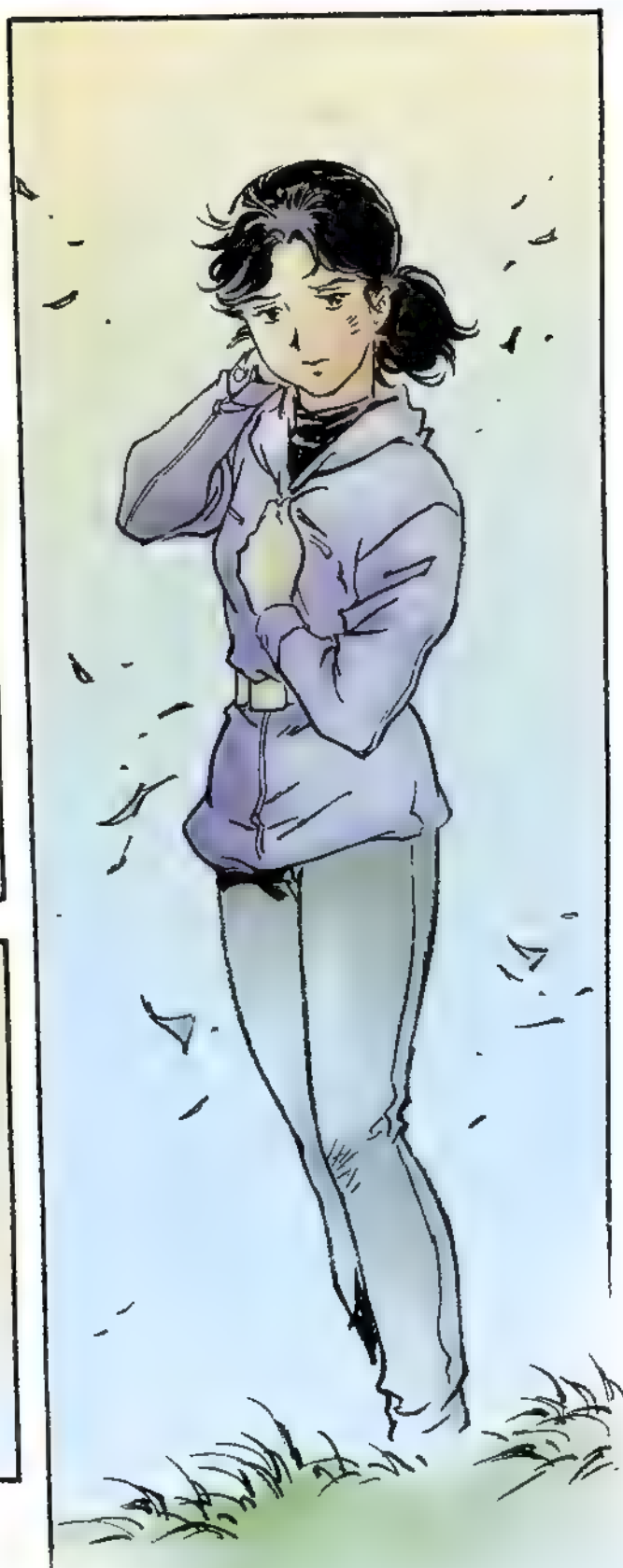
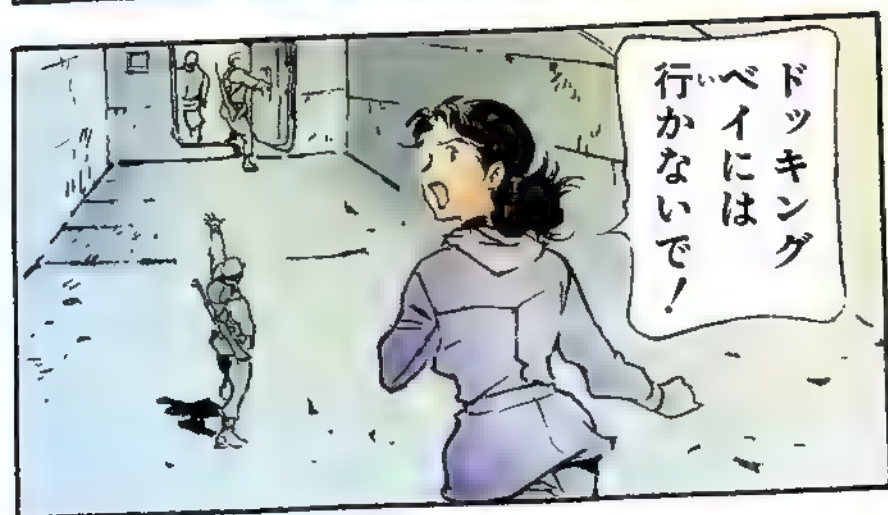
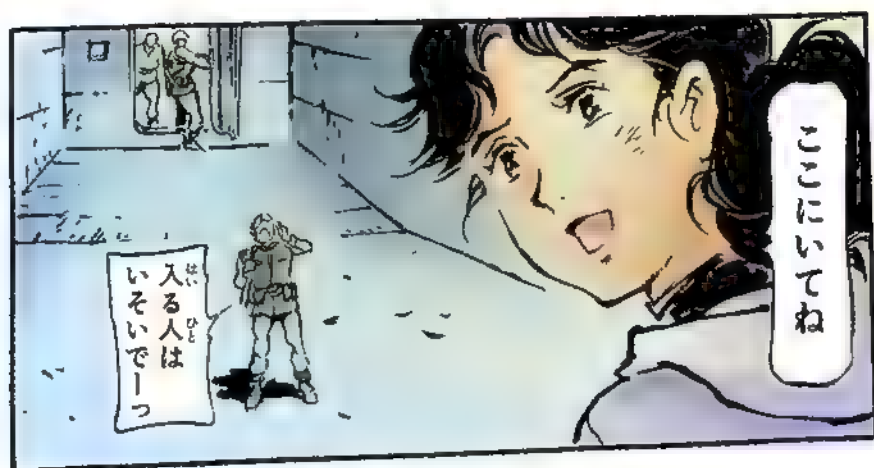
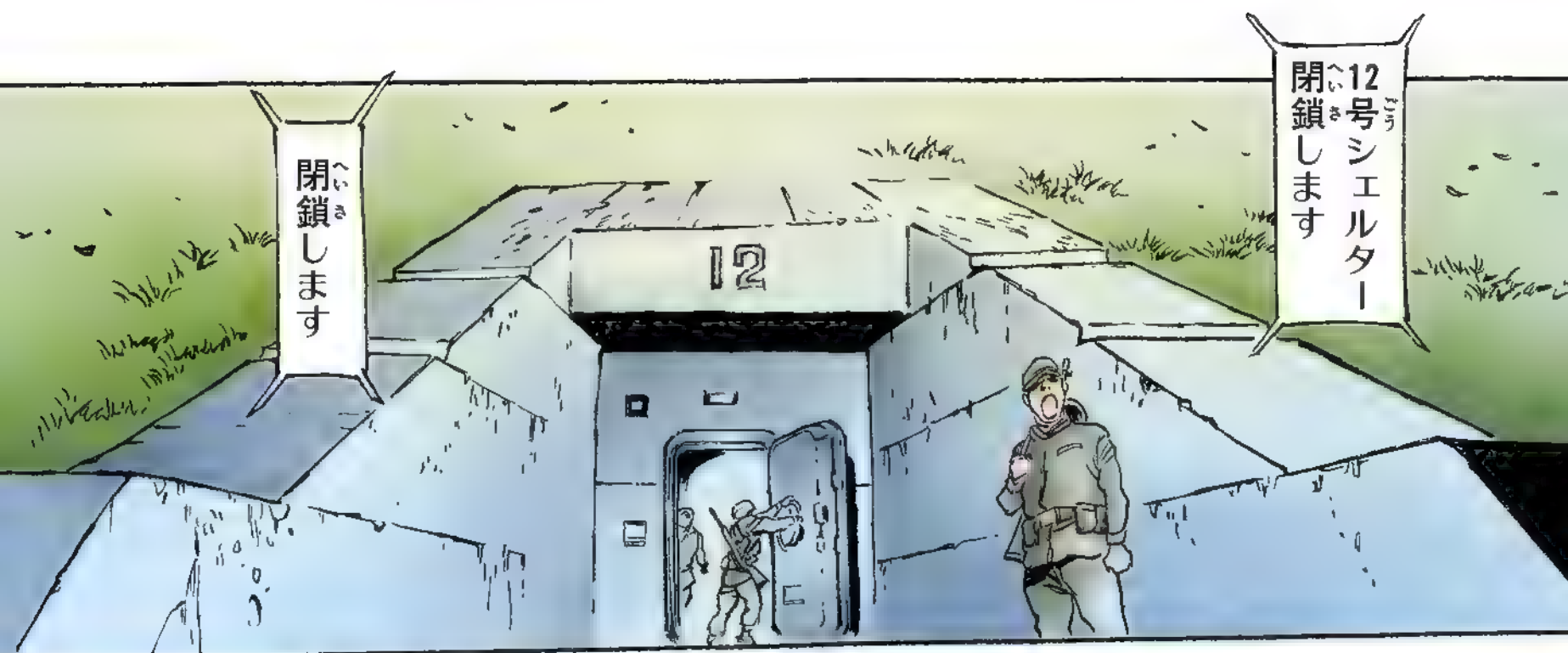
とるに
足りません

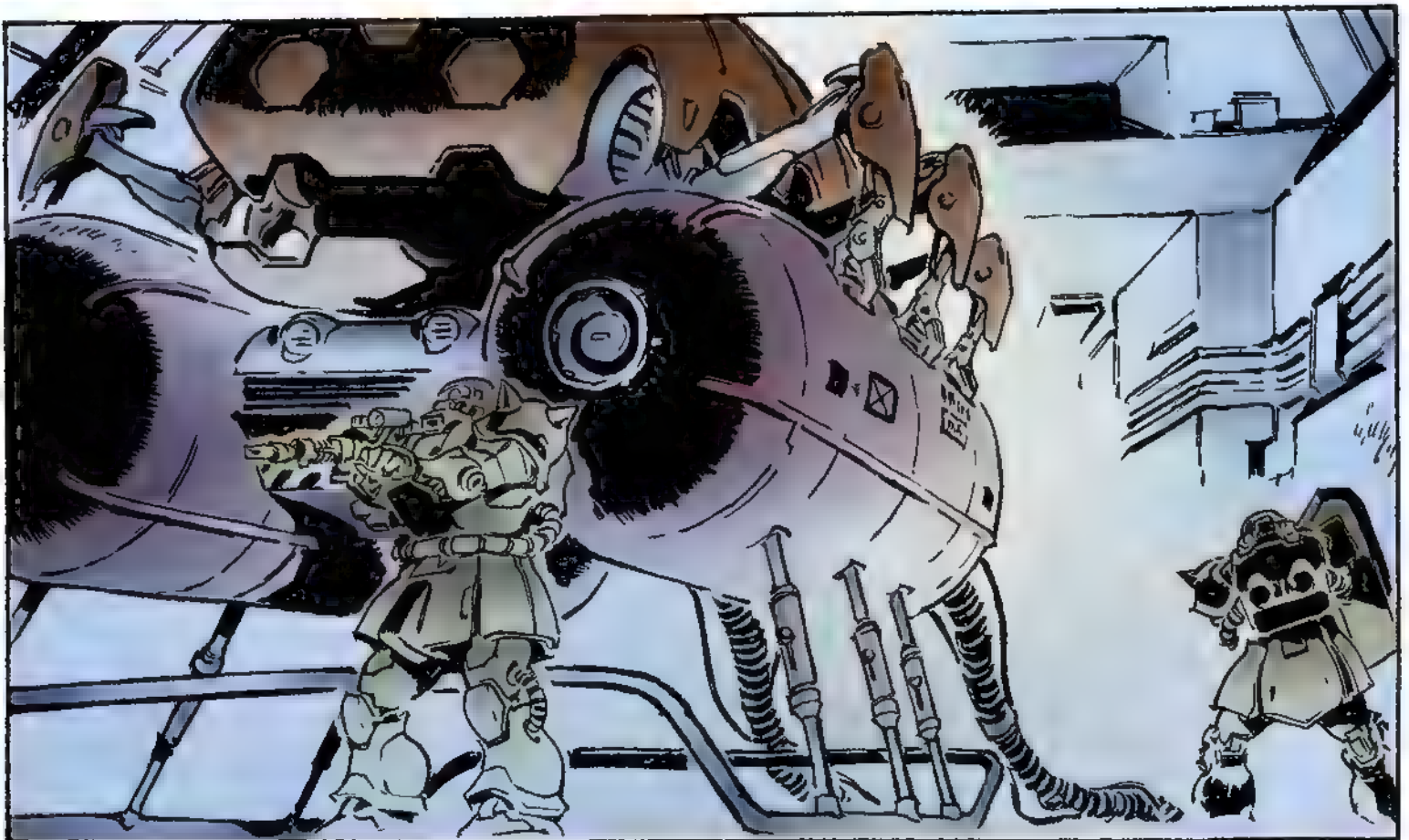
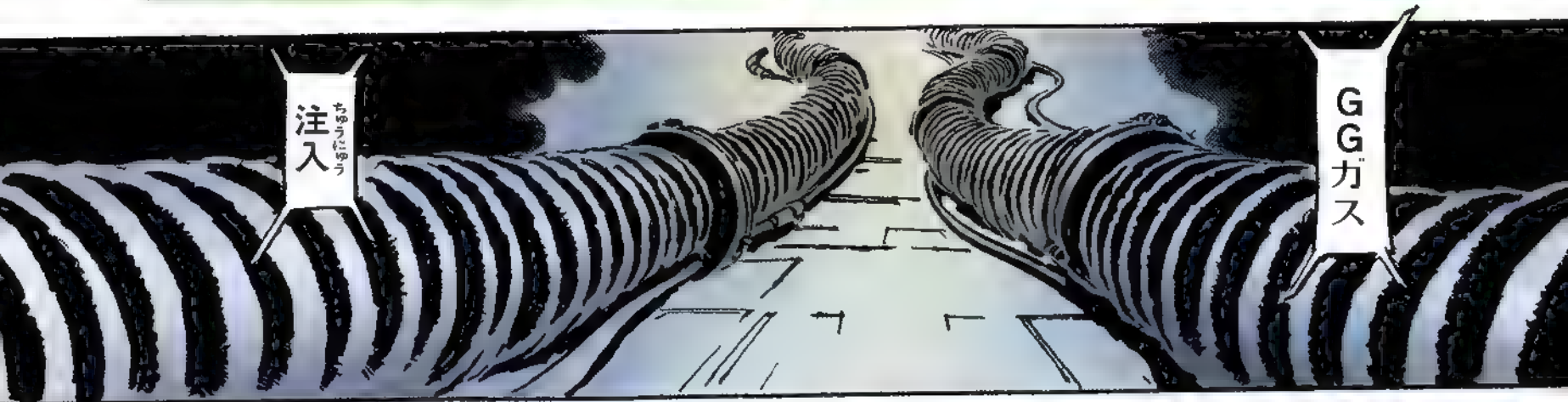


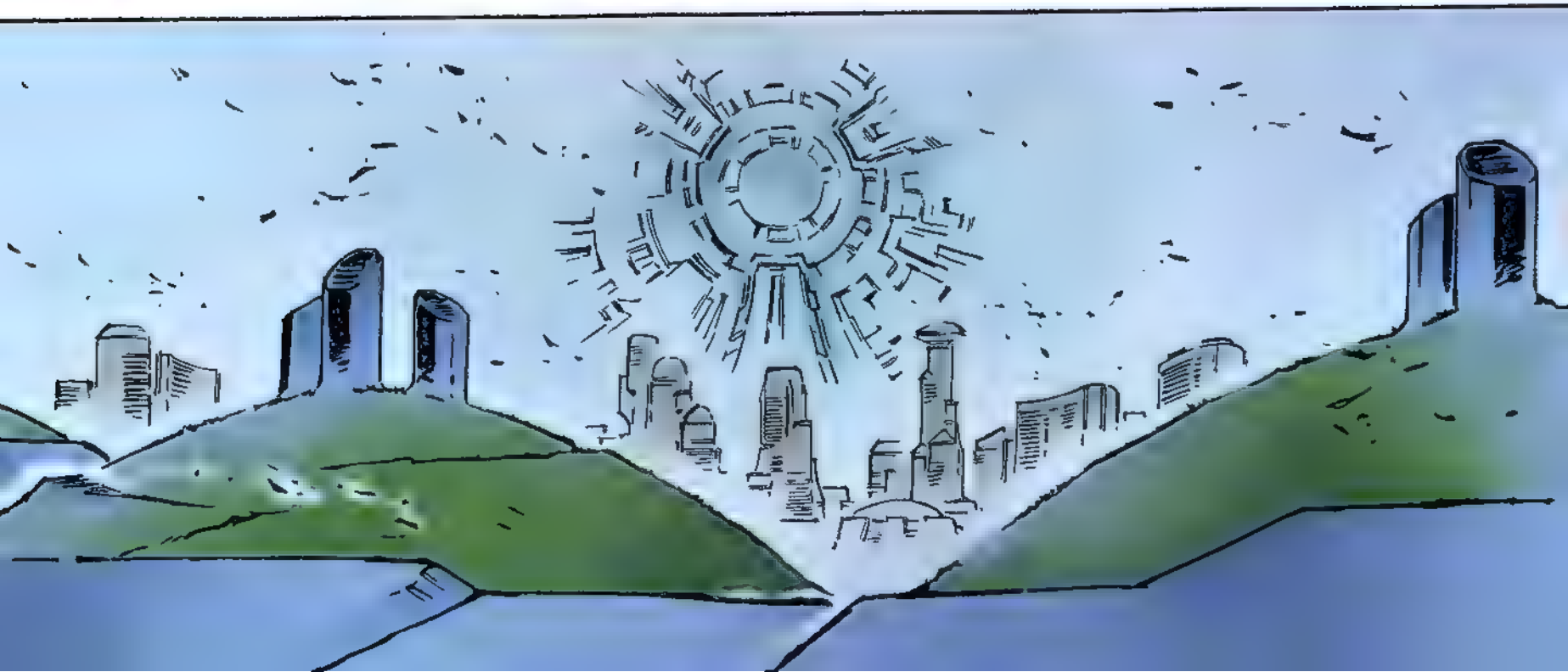
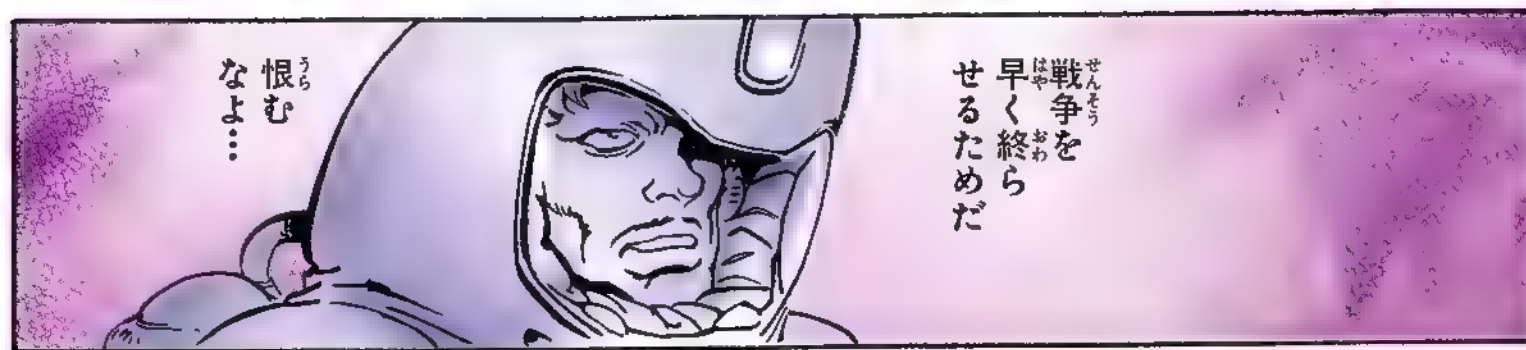
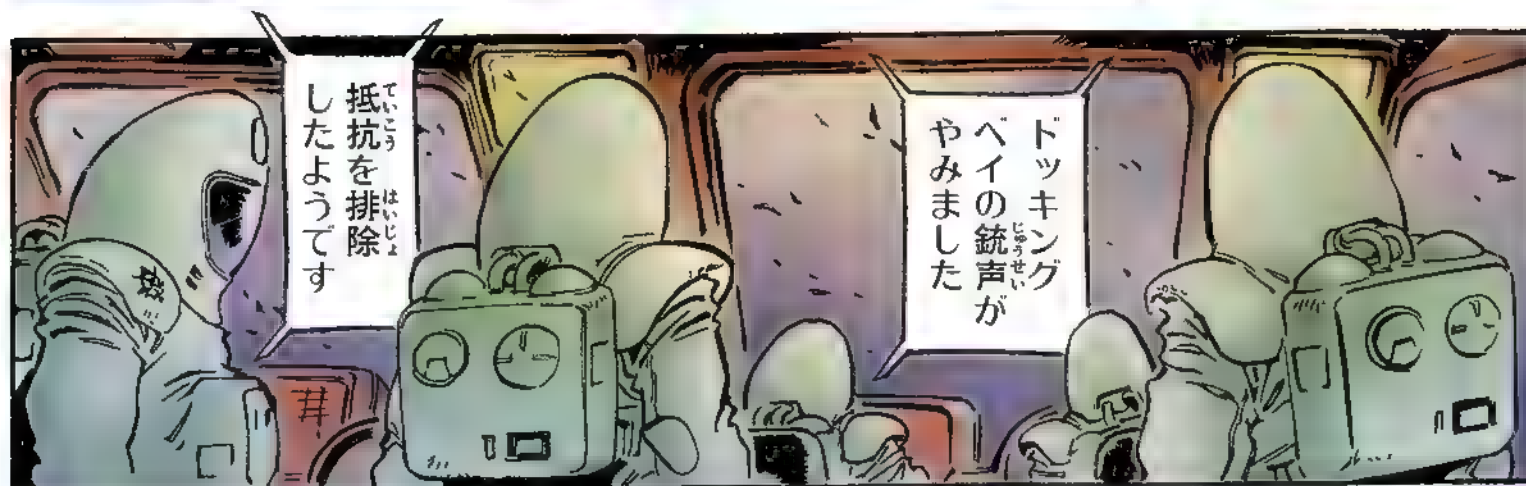
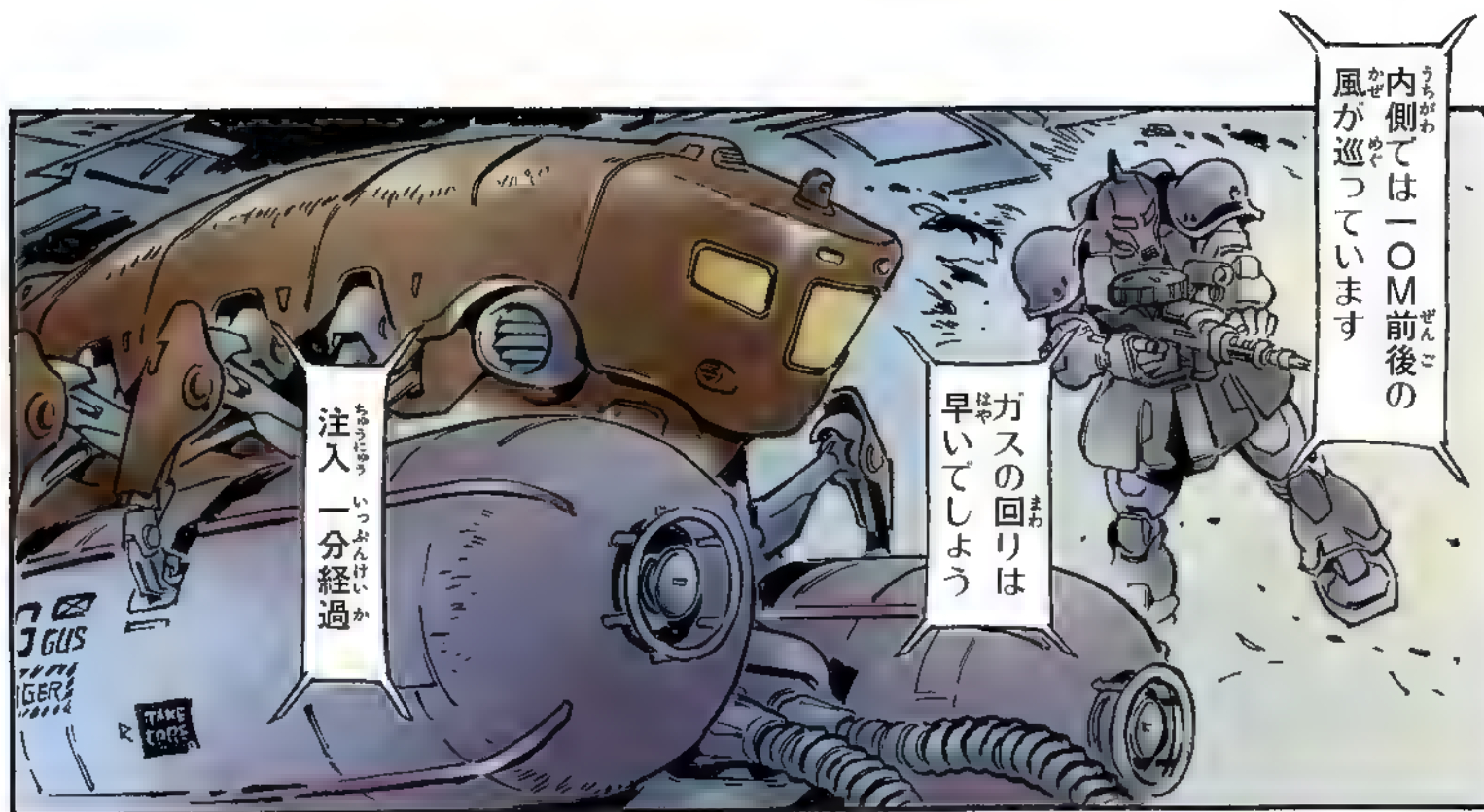
ブラスターの
取付作業
順調です

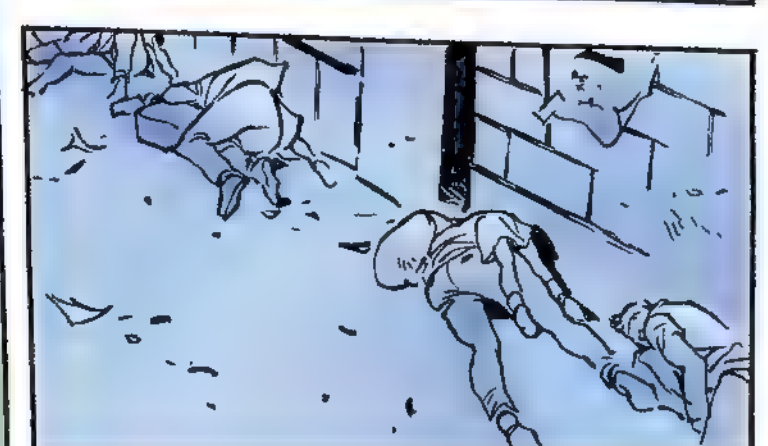
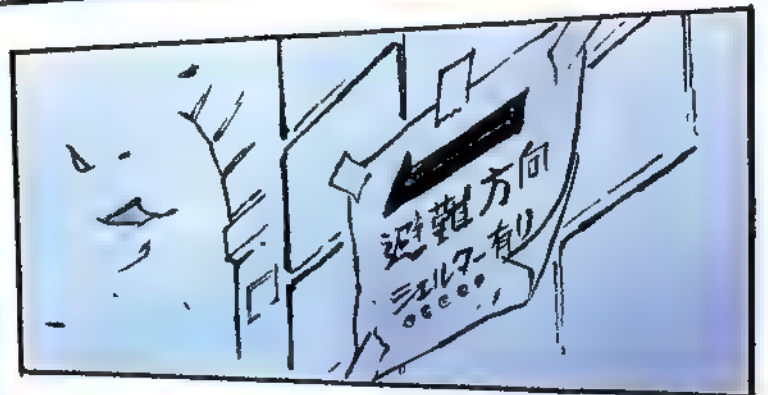
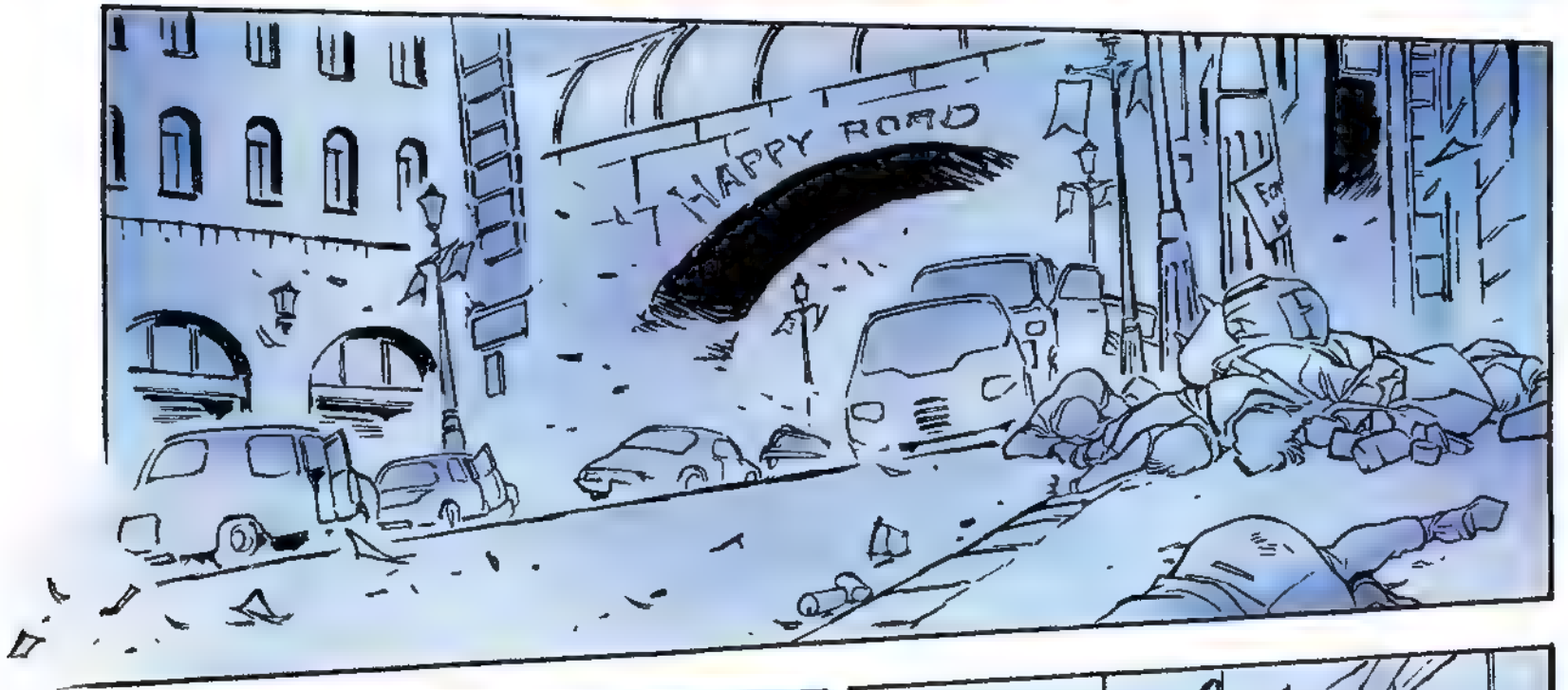
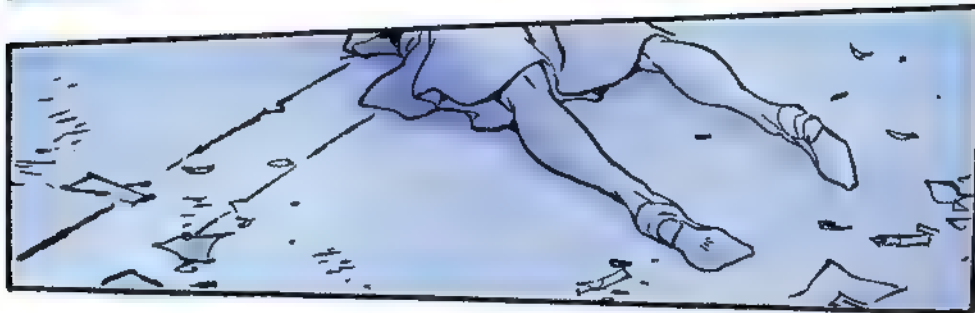
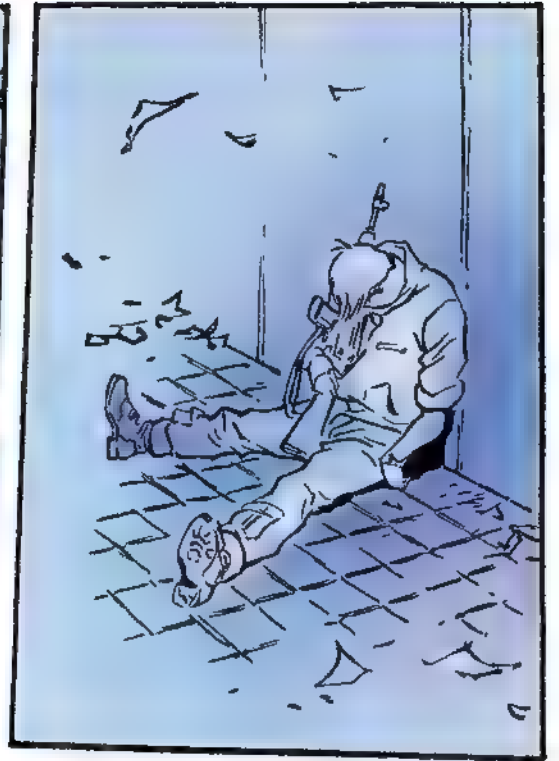
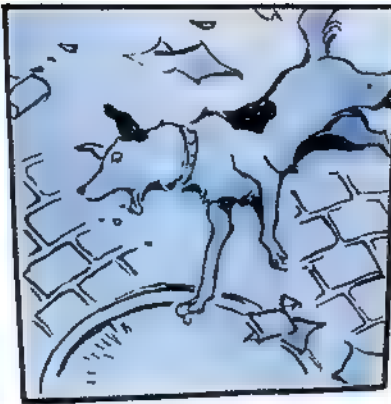
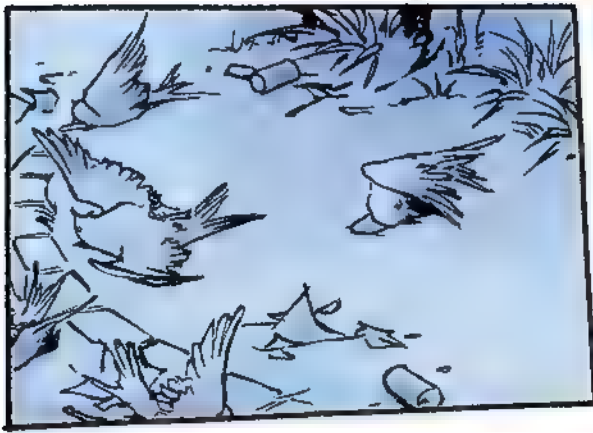
現在
三基まで
完了！

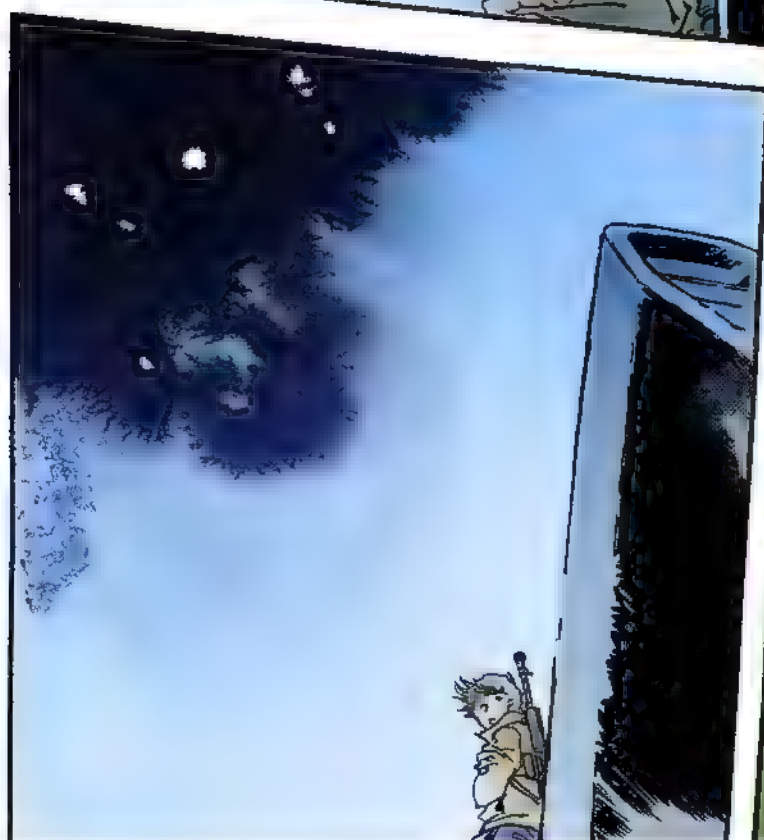
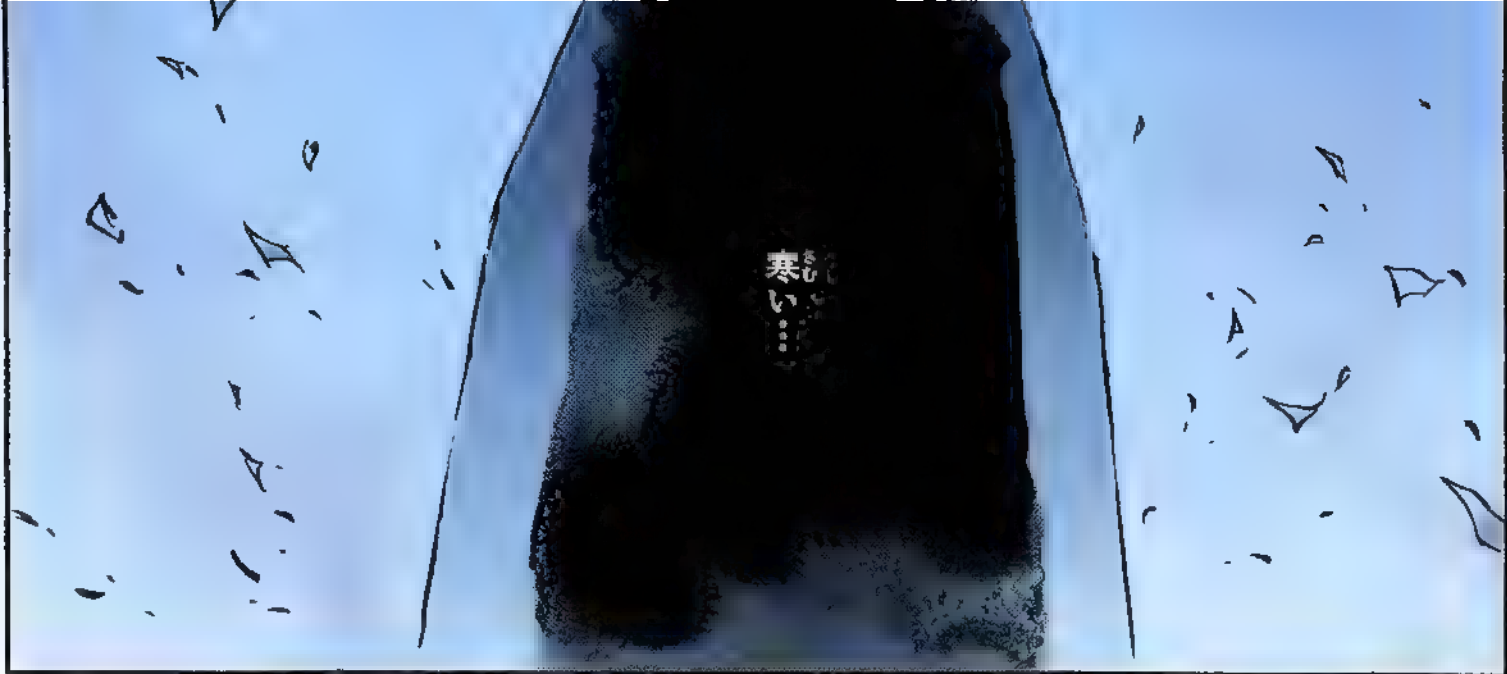


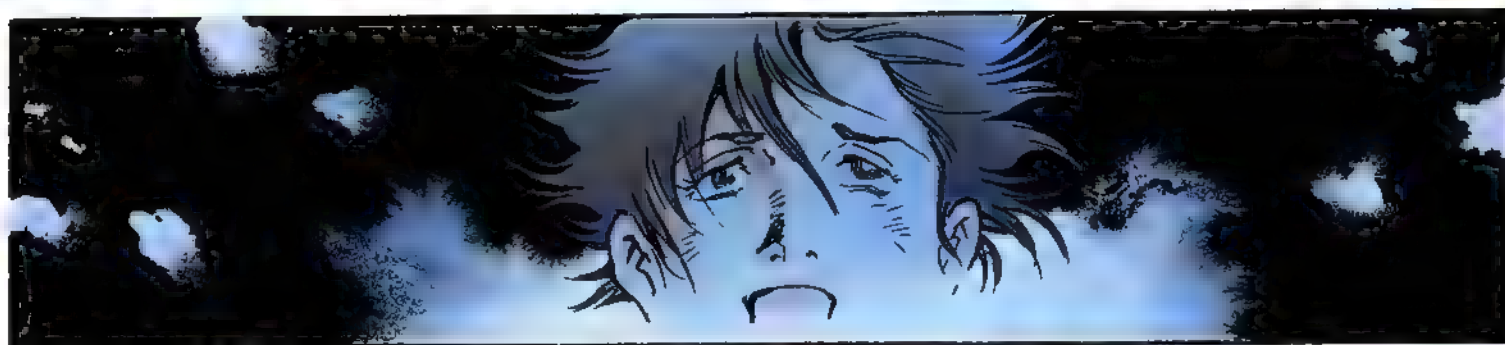


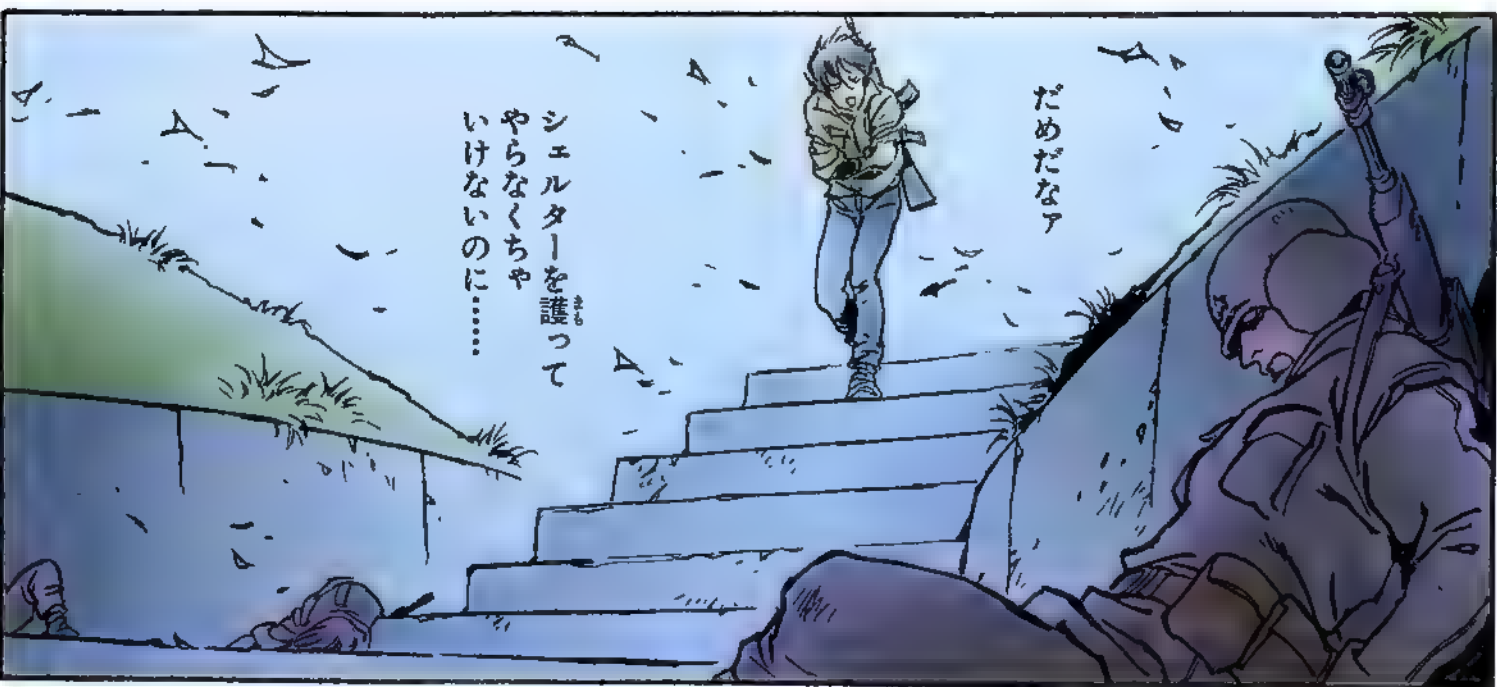
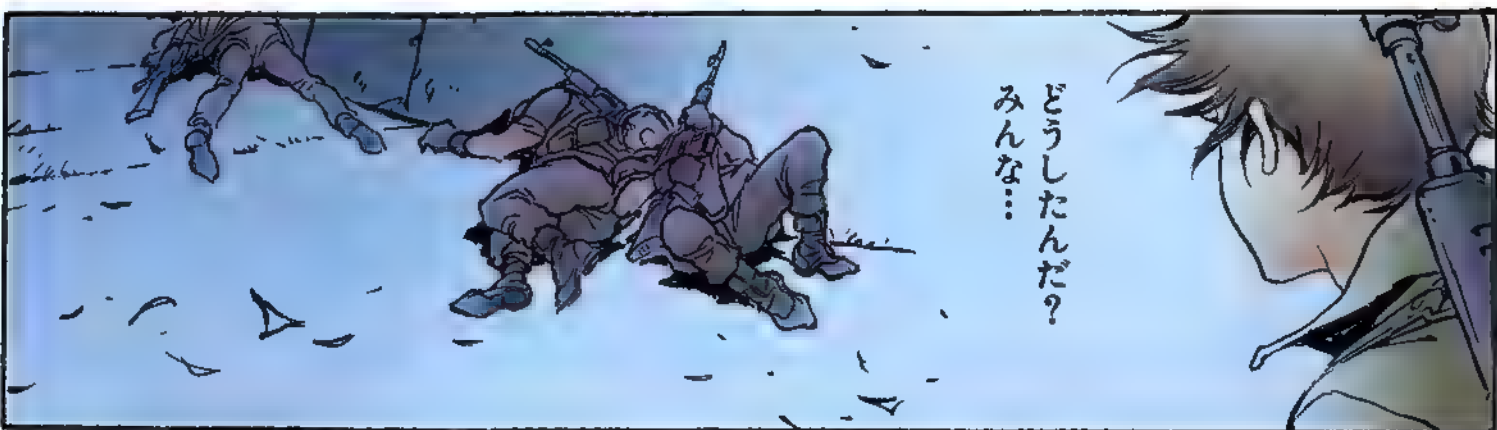
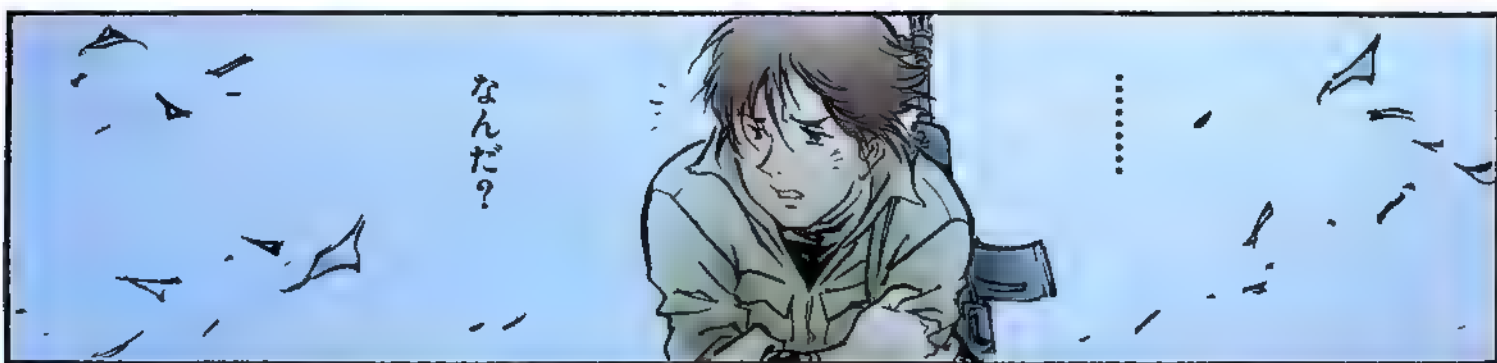
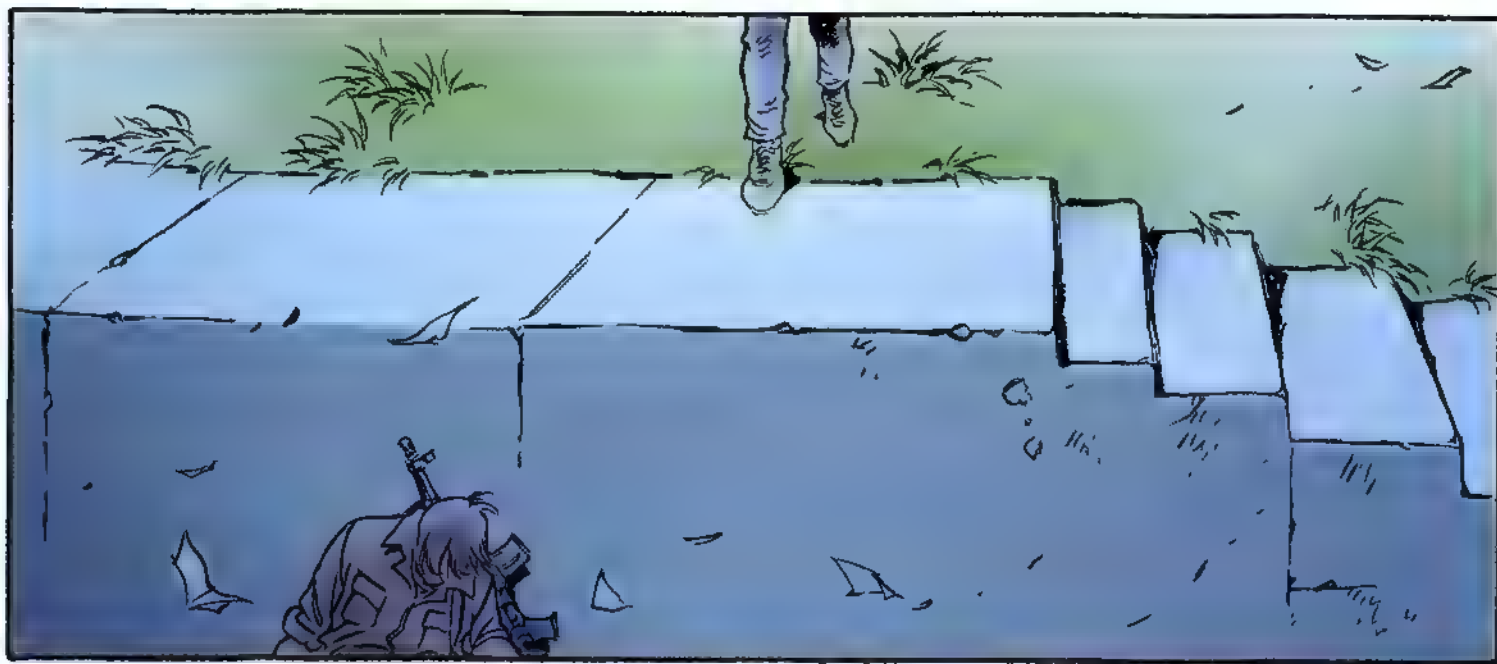


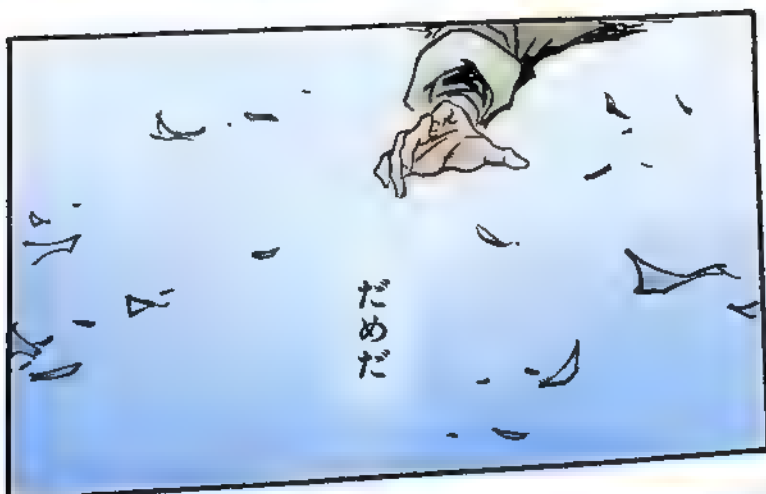
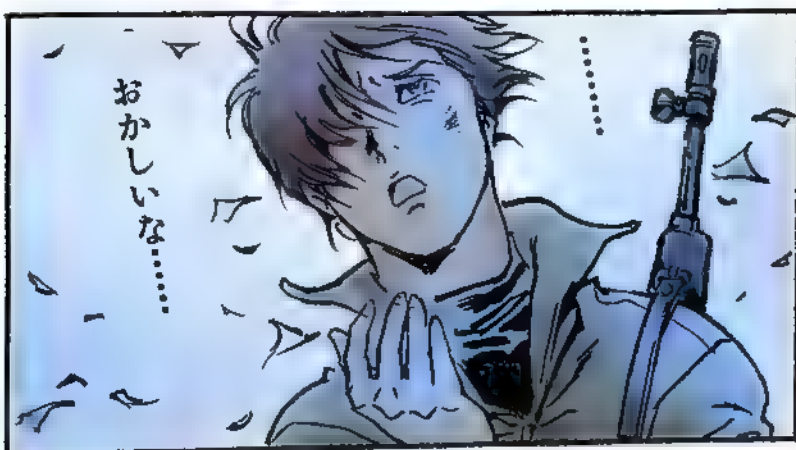










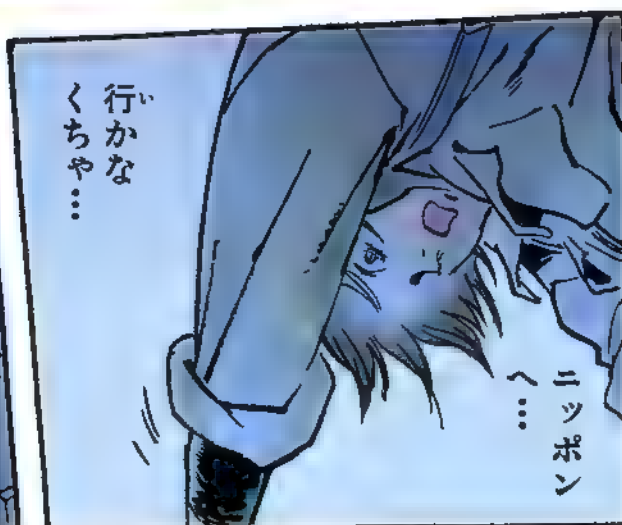




ボクは今
大事な体
なんだ

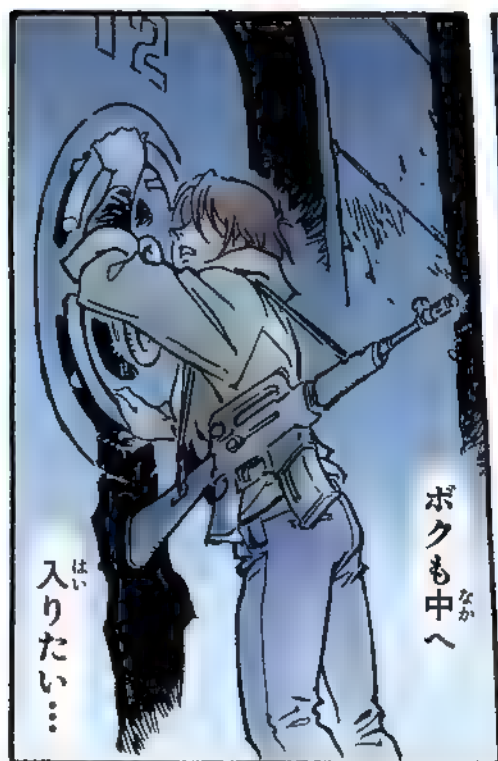


サクラが
散って
しまわない
うちに…



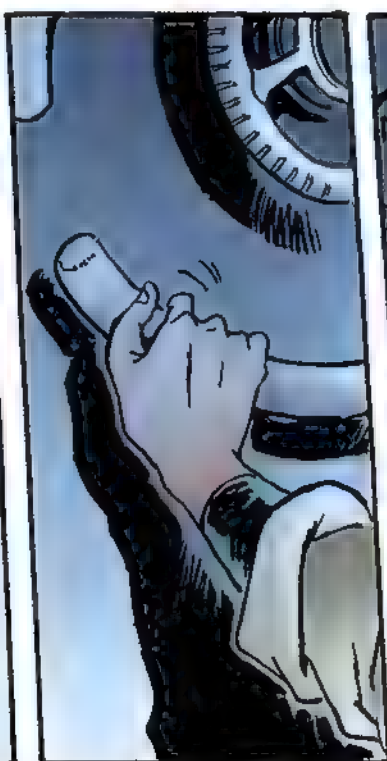
行かな
くちや…

ニッポン
へ…



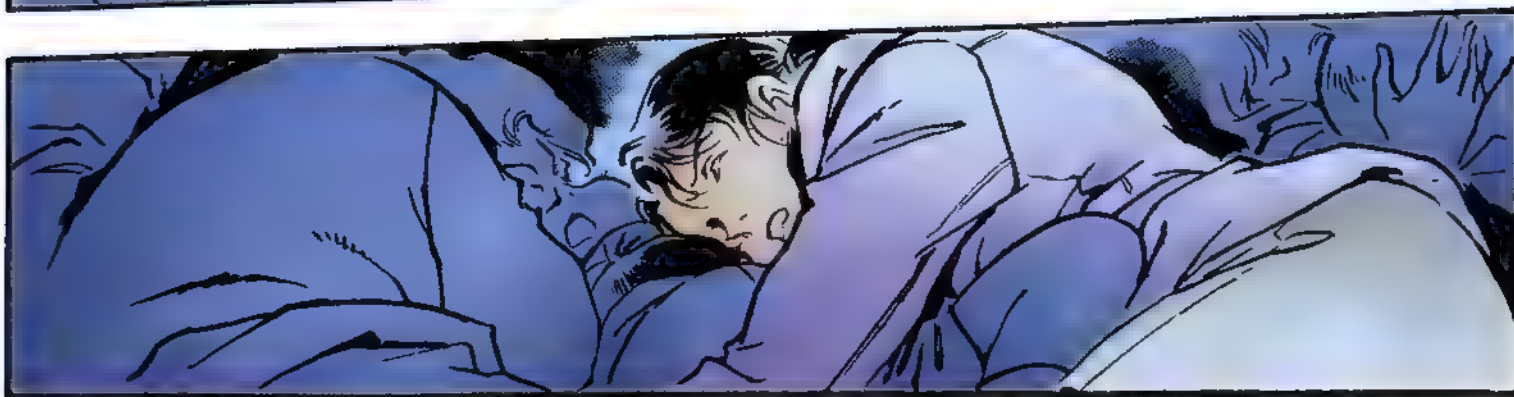
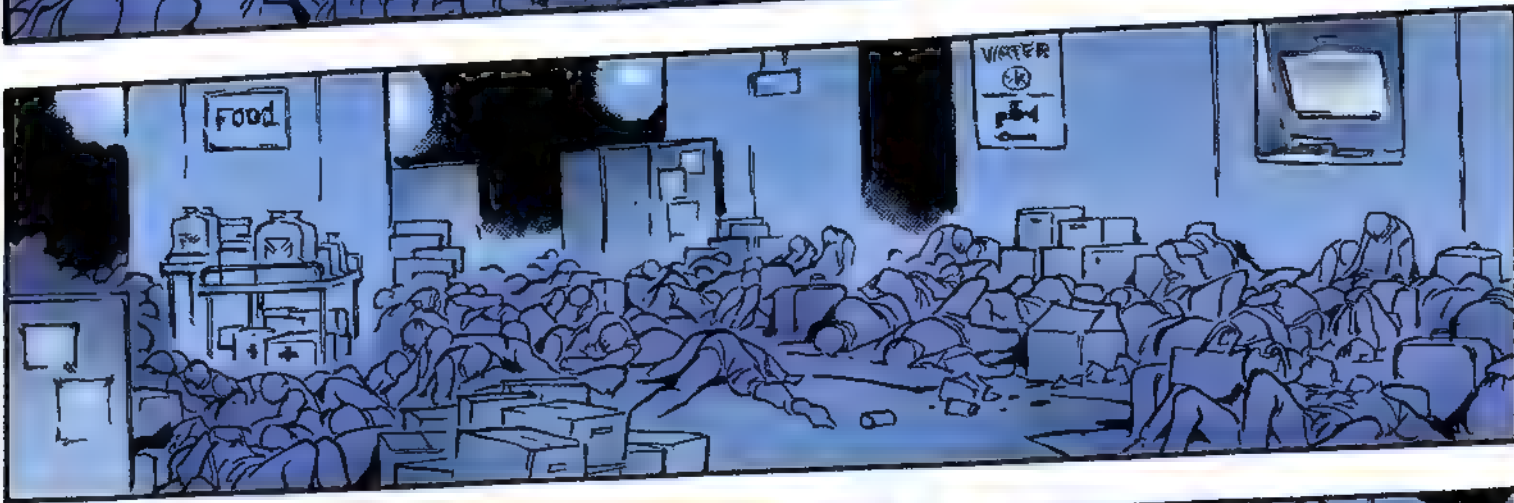
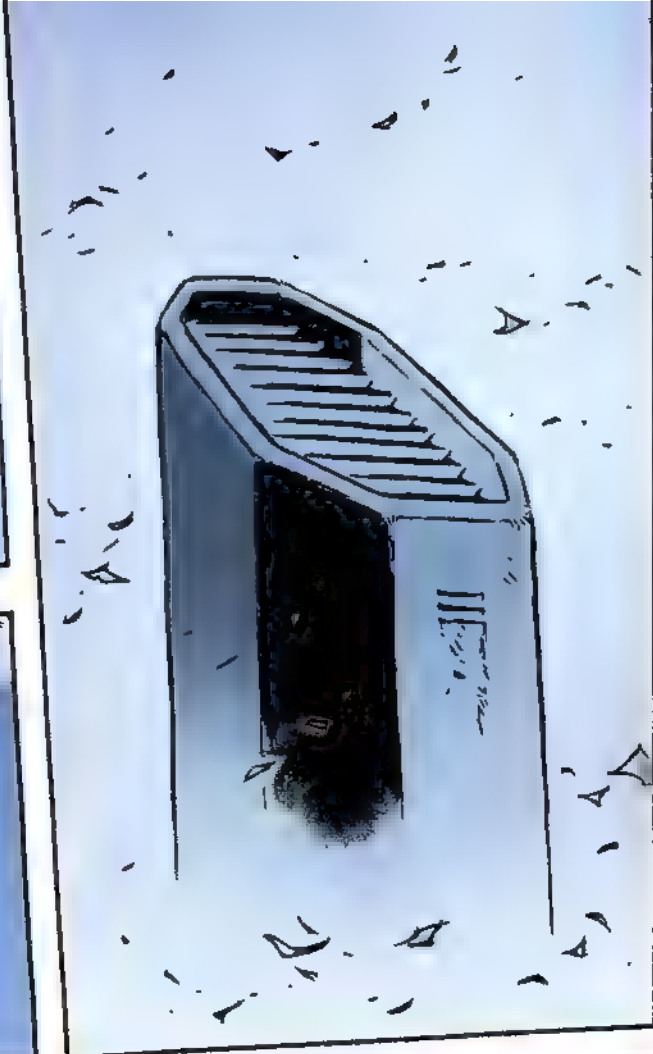
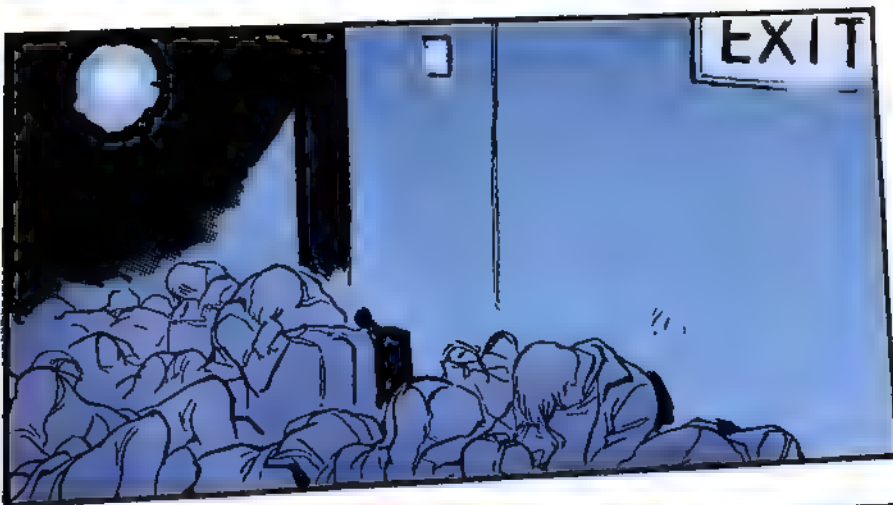
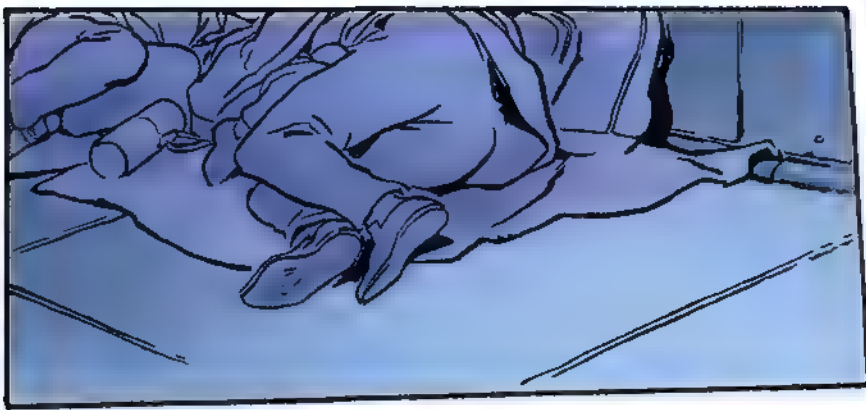
ボクも中へ

入りたい…



あああ…
でもダメだ

寒い…!



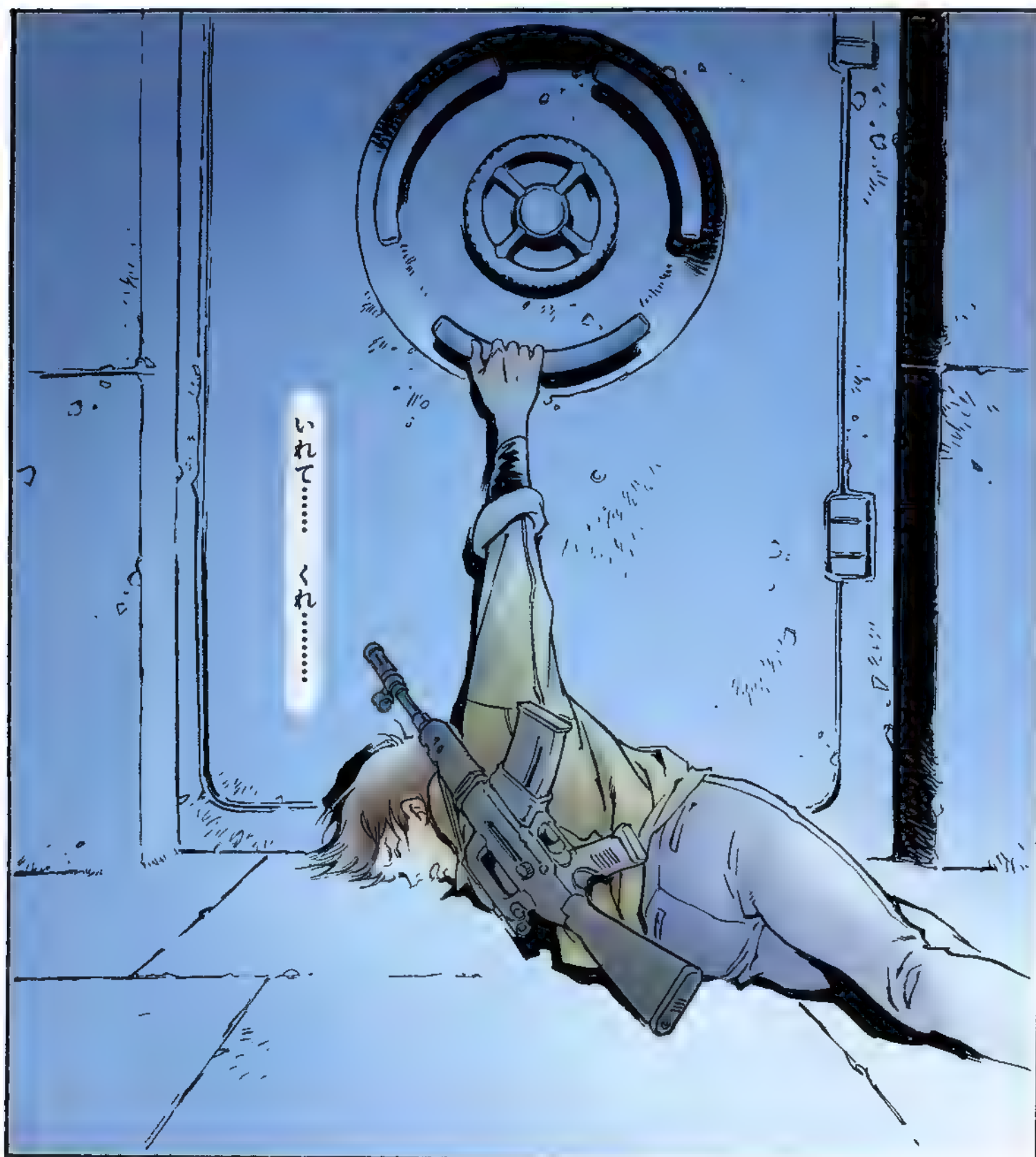
聞こえる？
ファン・リー……

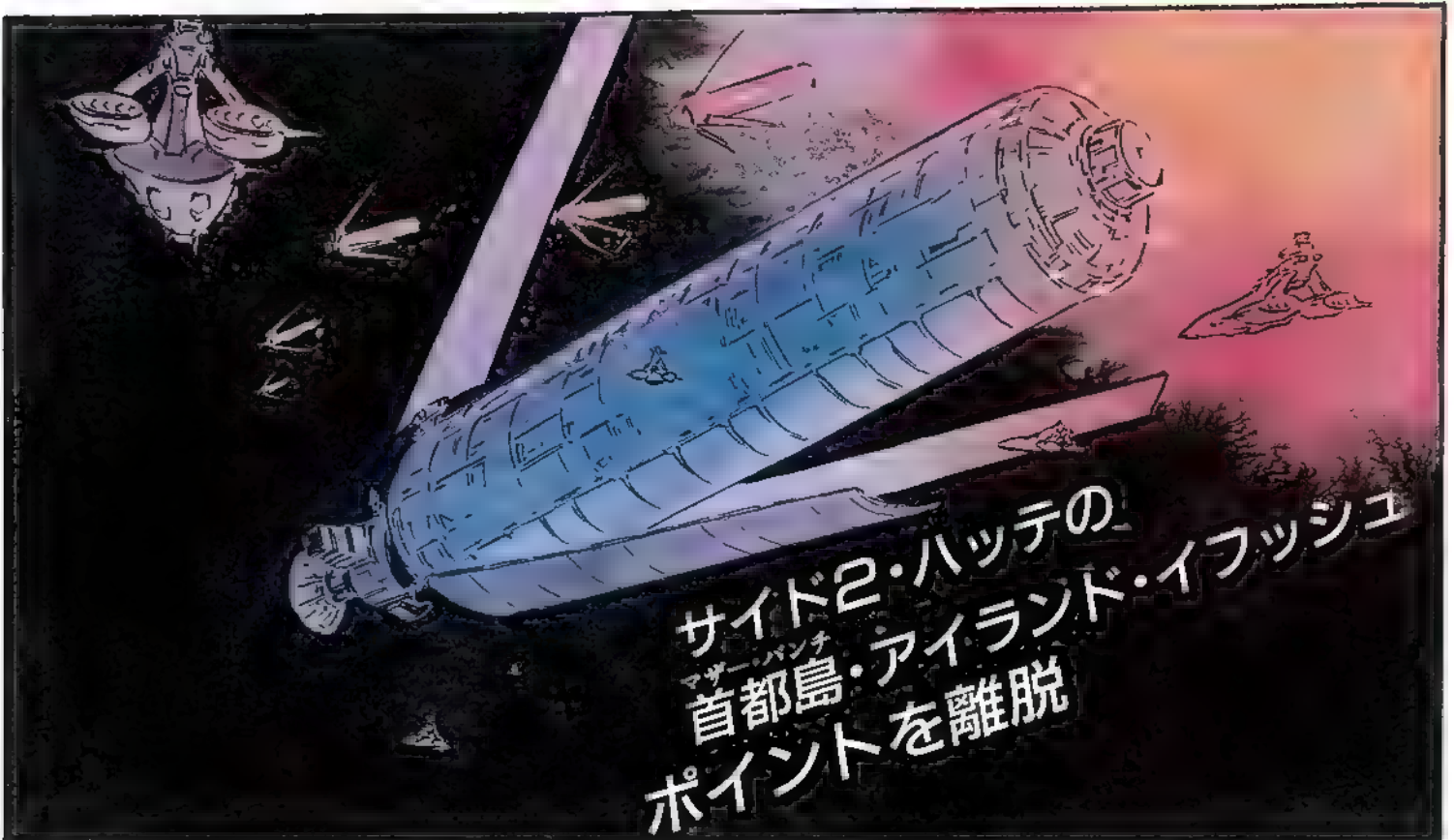
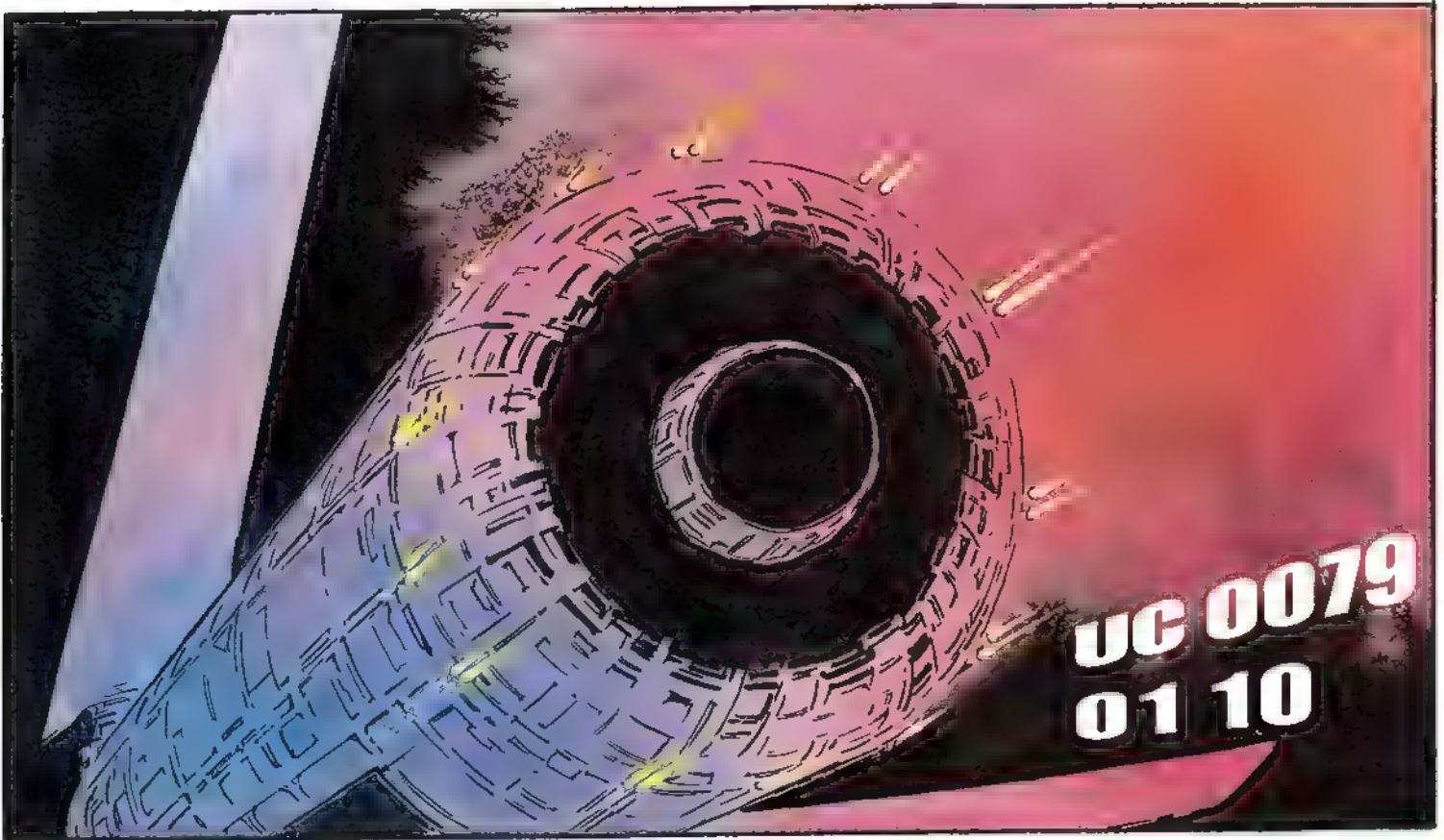
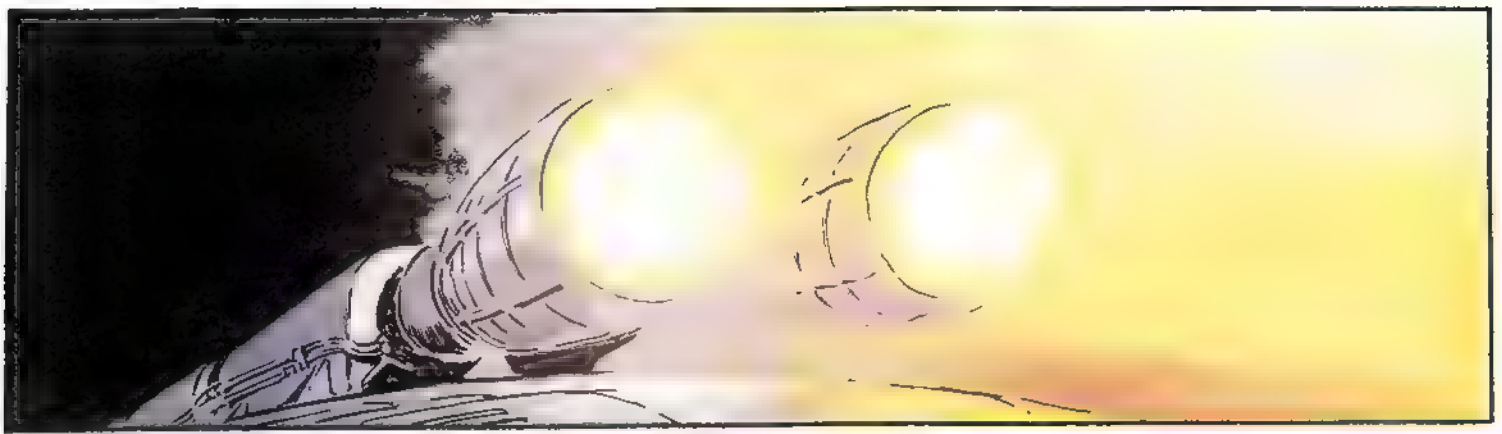
あ
開けてくれ
……

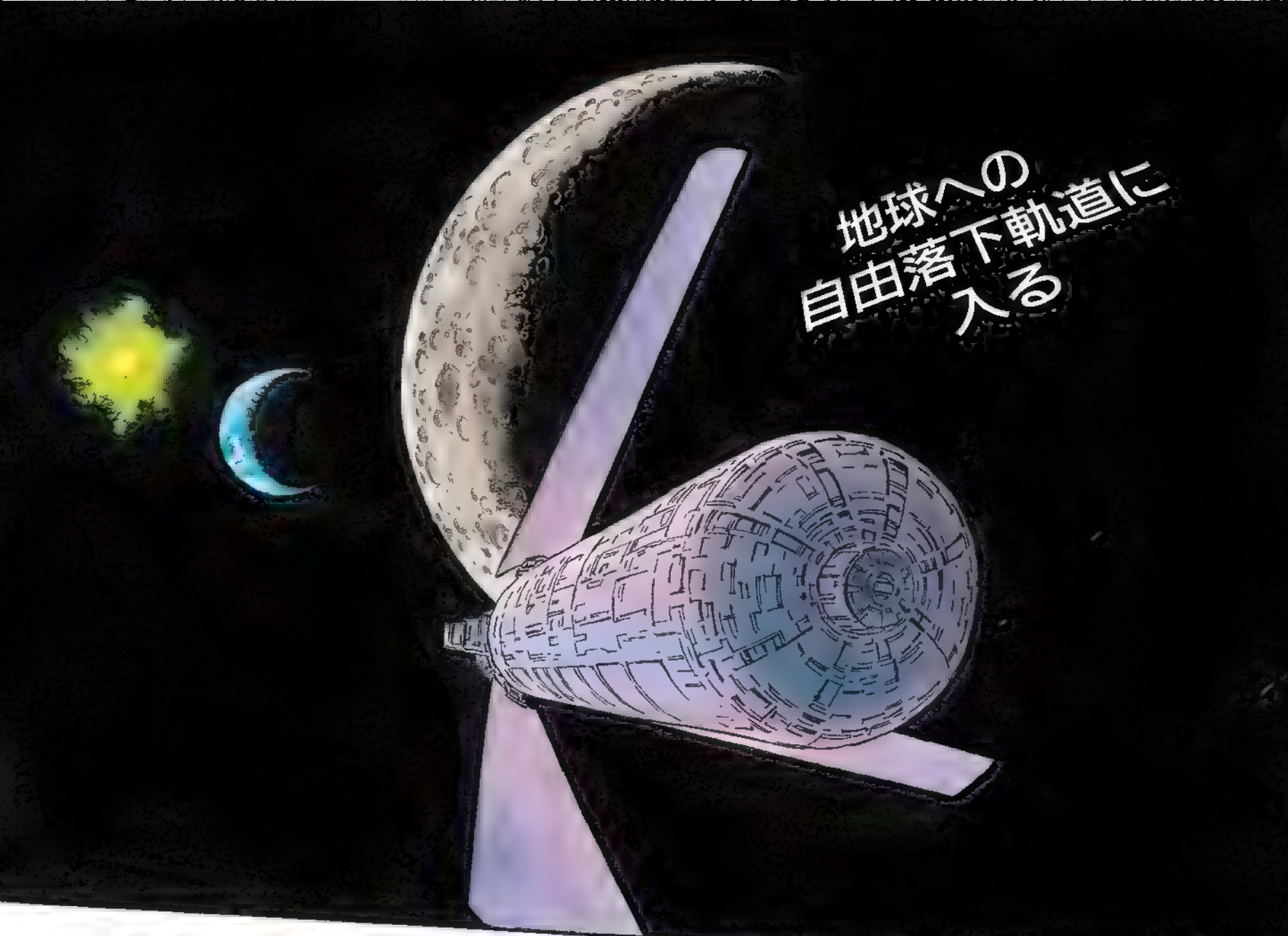
ボクも

なか
中に……

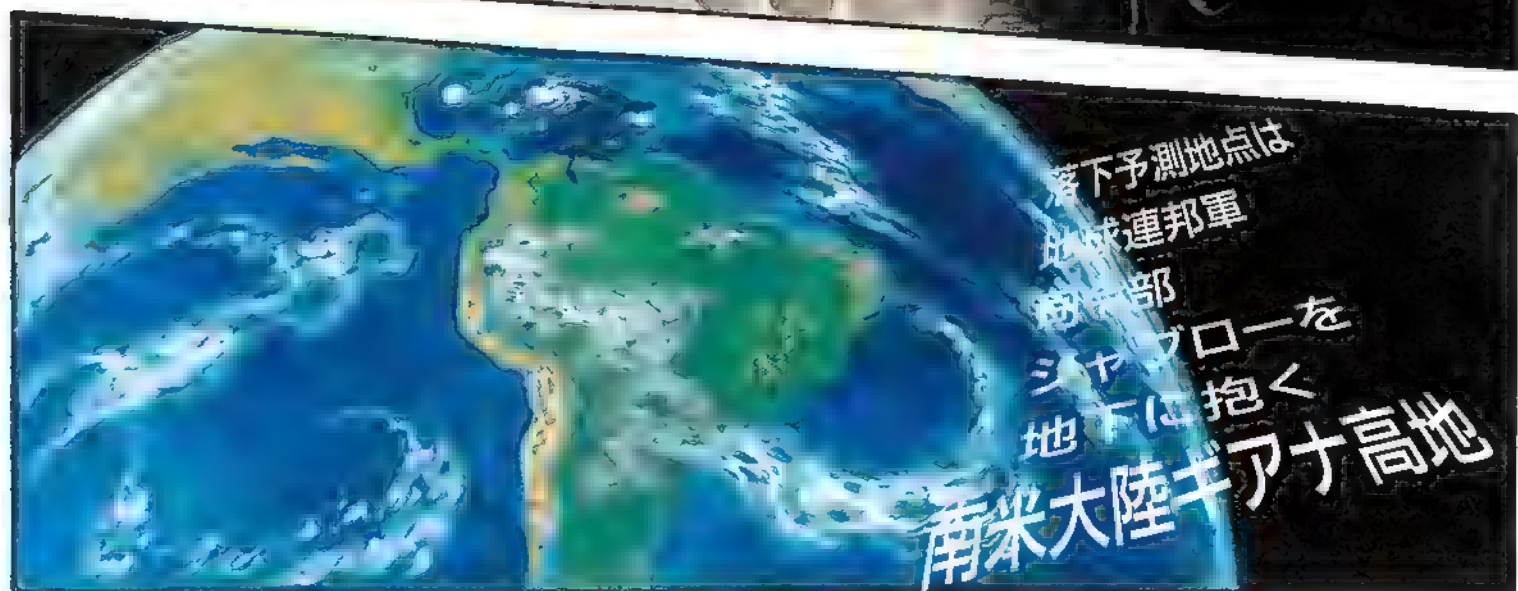
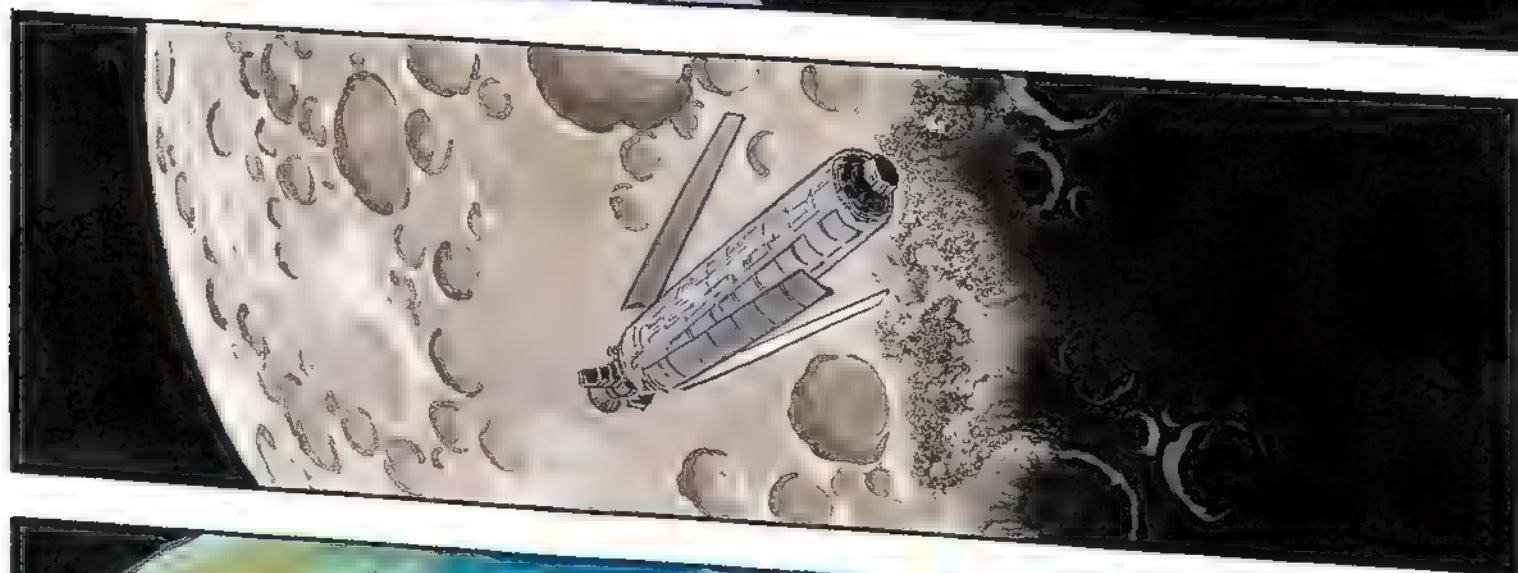
いれて…… くれ……







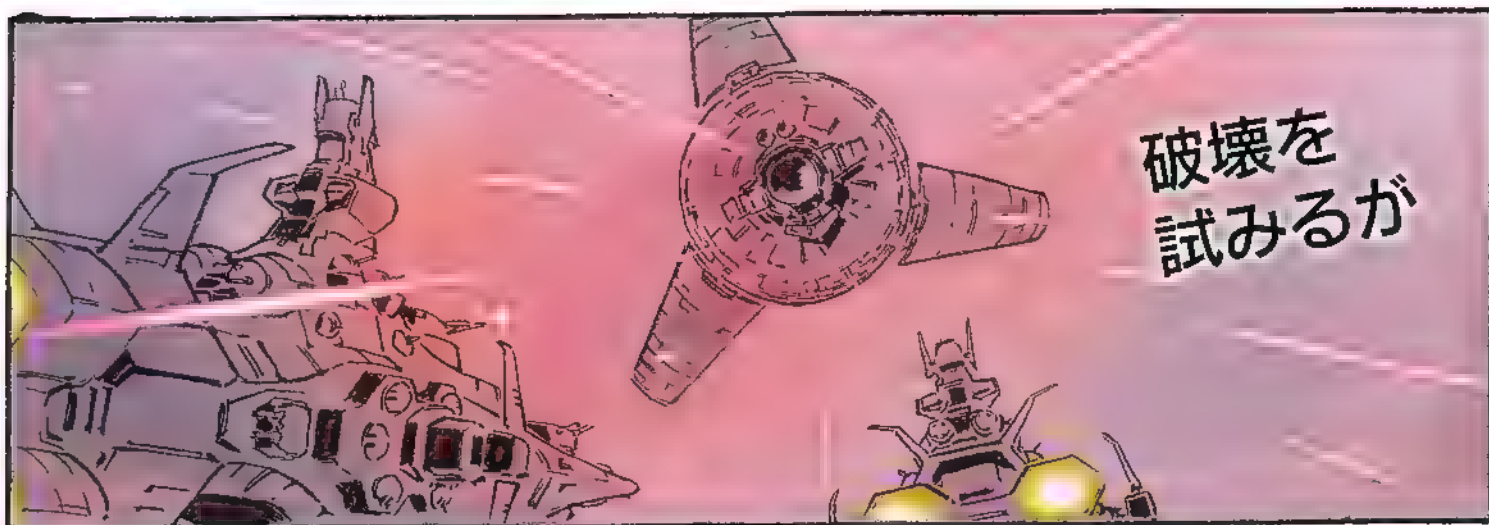
地球への
自由落下軌道に
入る



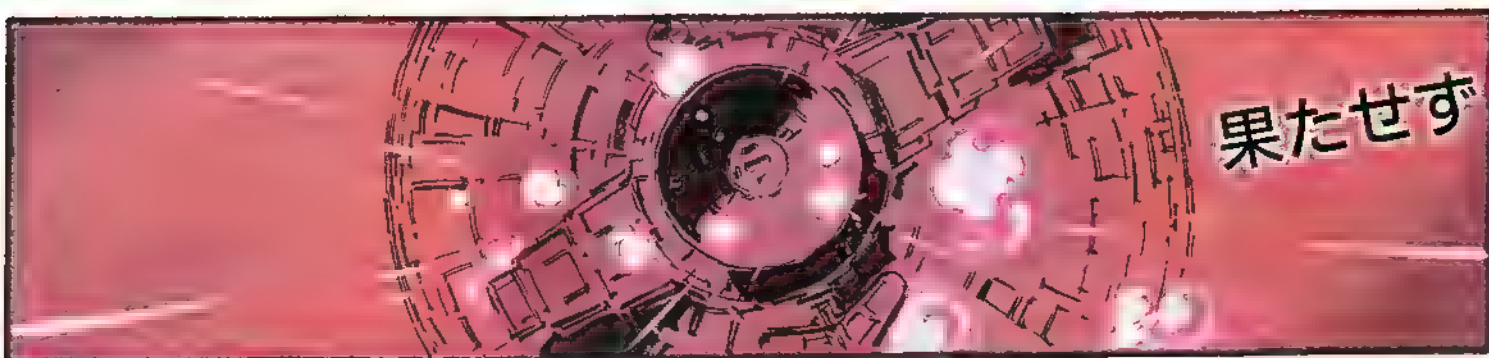
落下予測地点は
地球連邦軍
防衛部
シャブローを
地下に抱く
南米大陸ギアナ高地



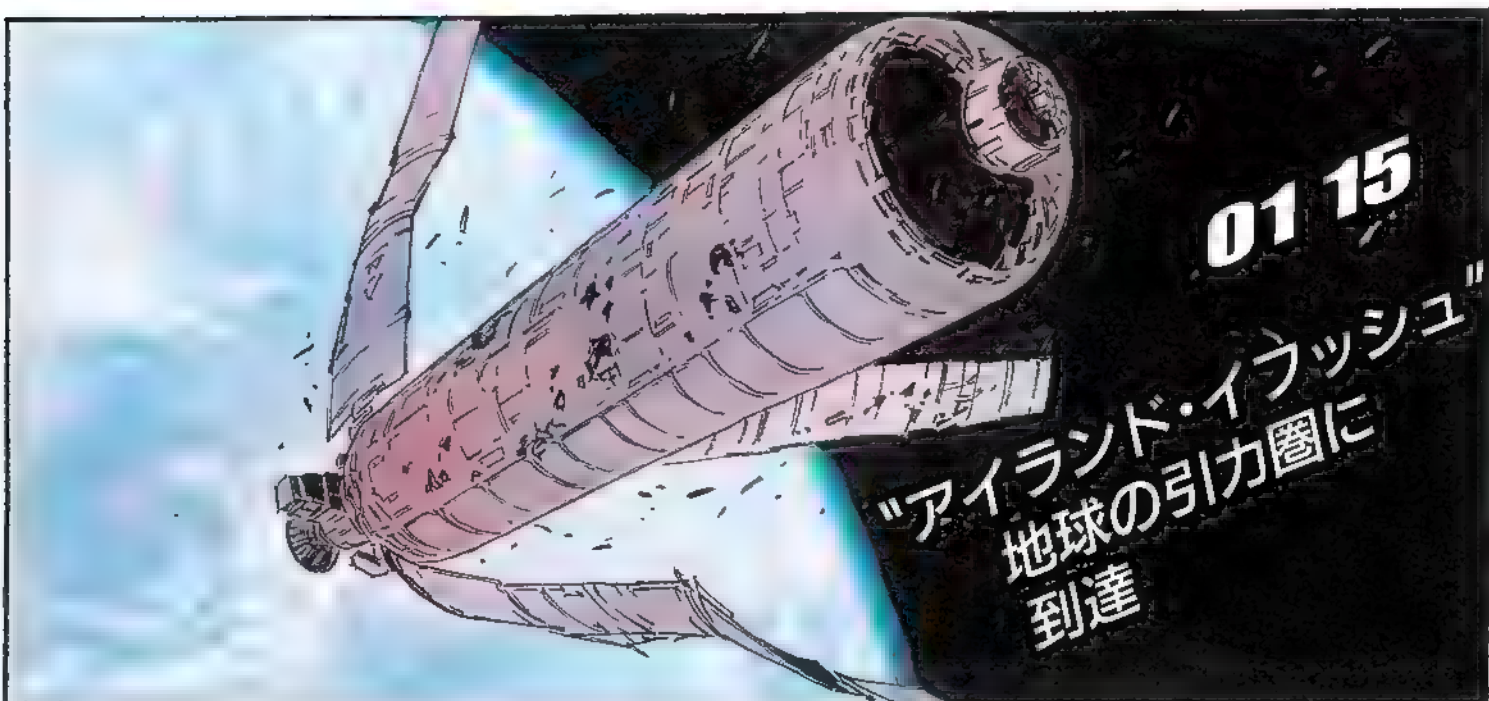
ジオン軍との会戦地点へ
向かいつつあったティターンズ艦隊
艦隊は急遽目的を変更...



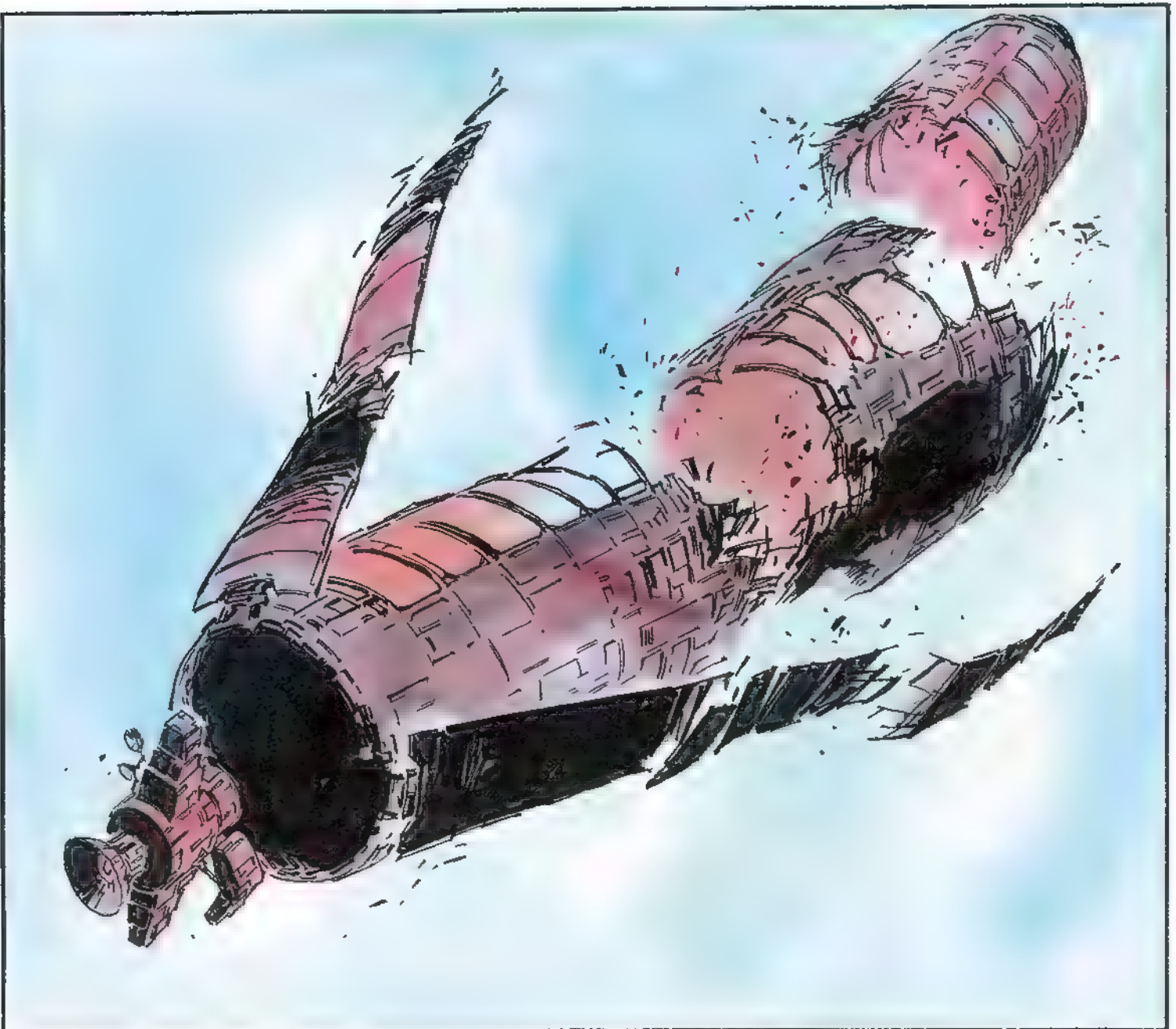
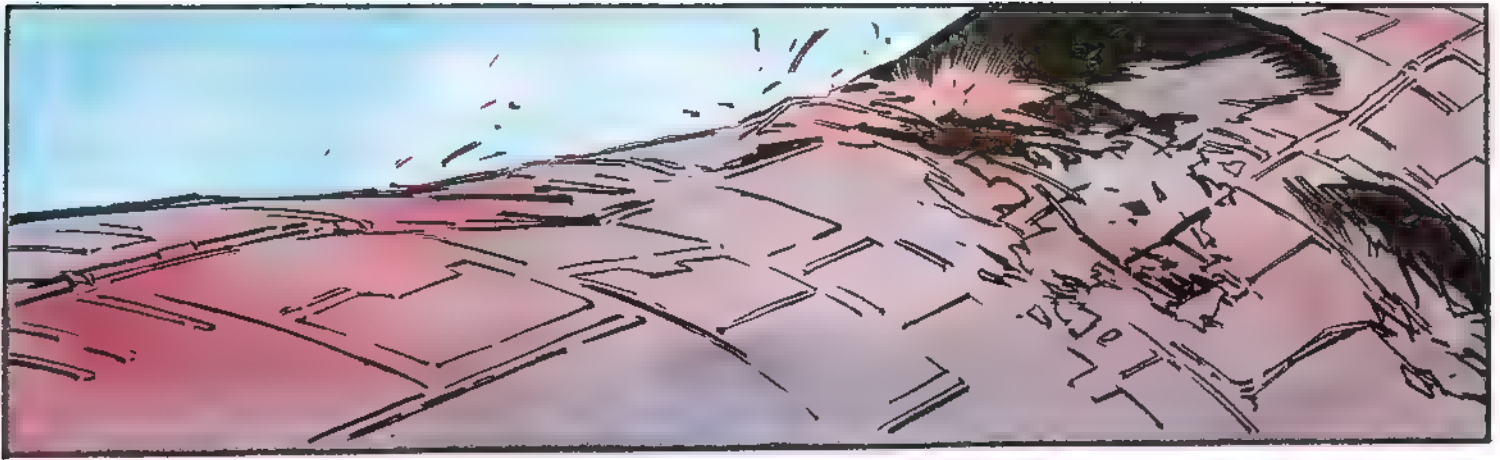
破壊を
試みるが

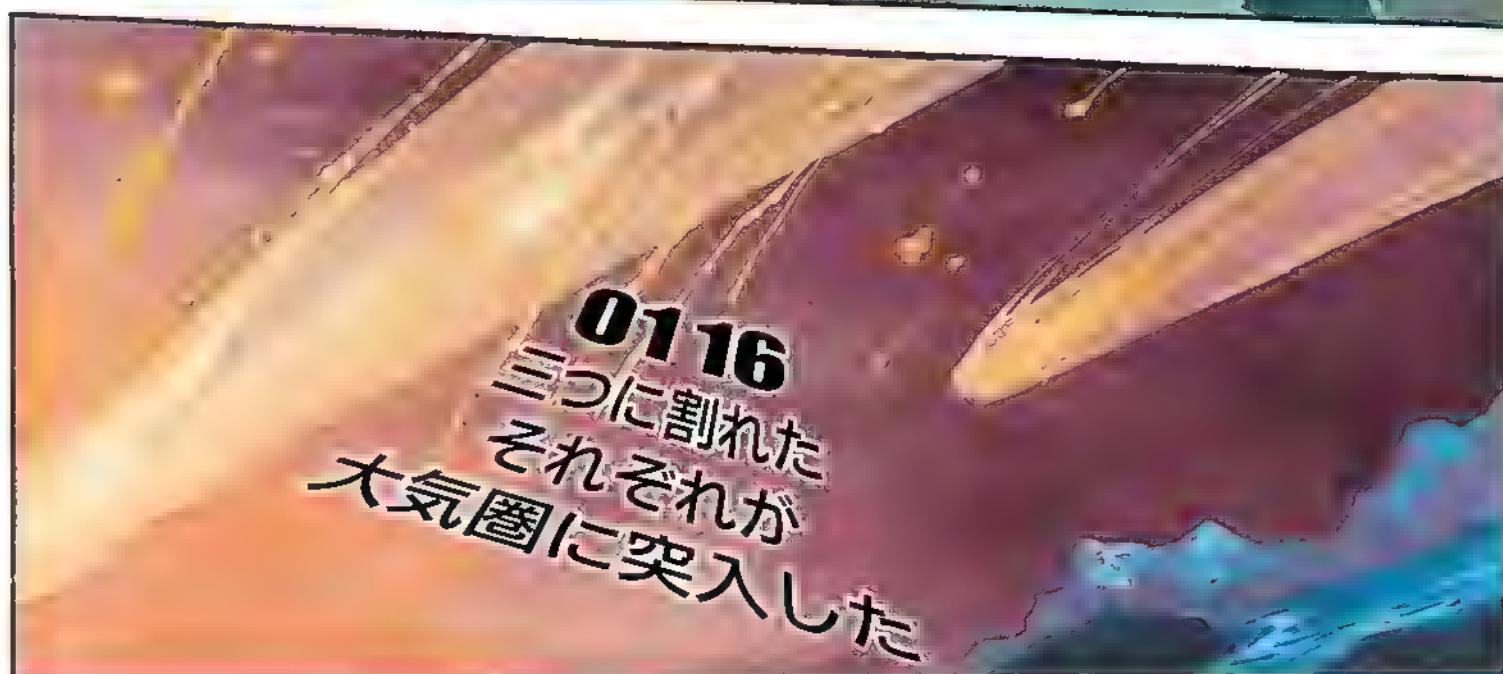


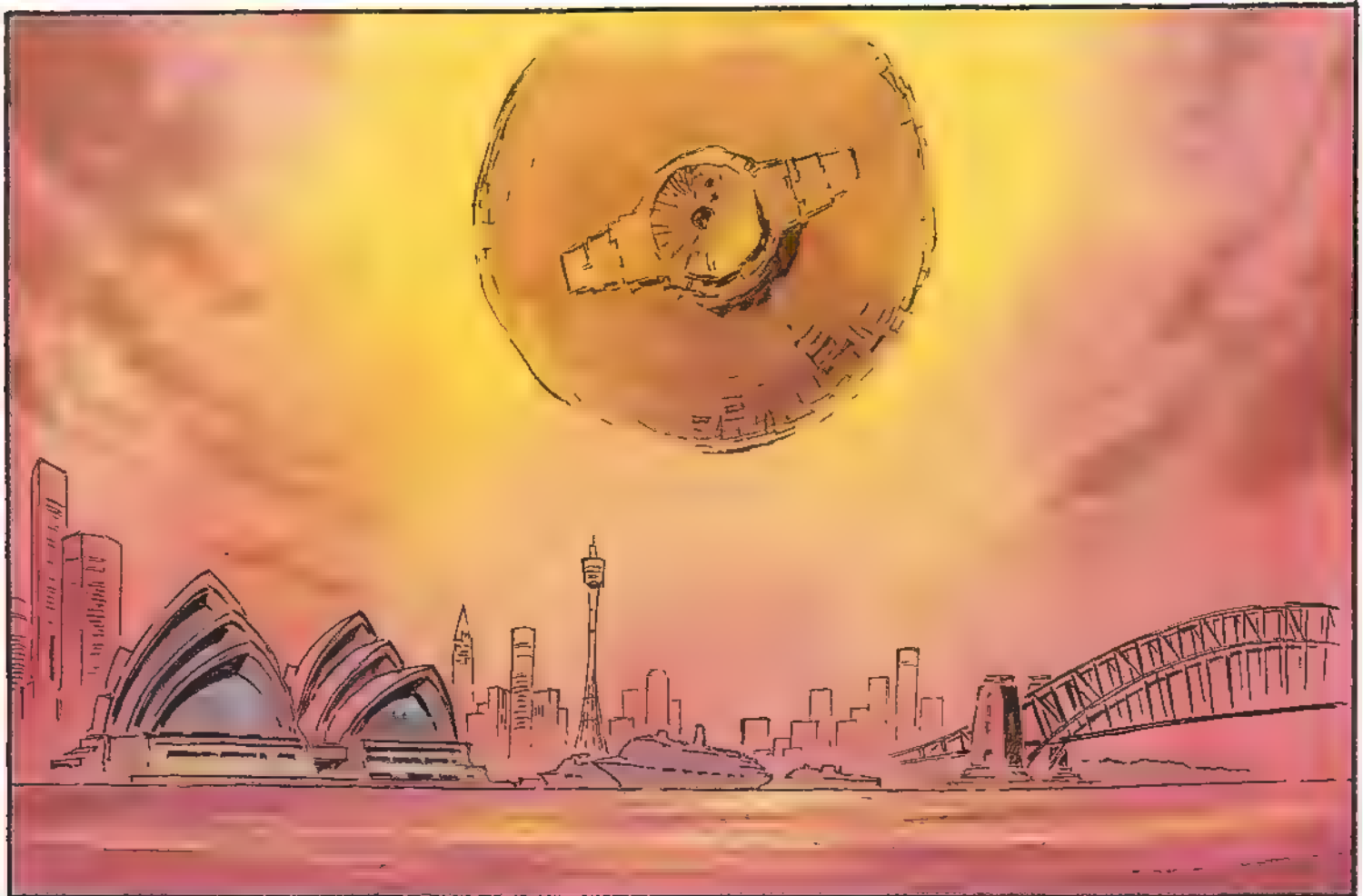
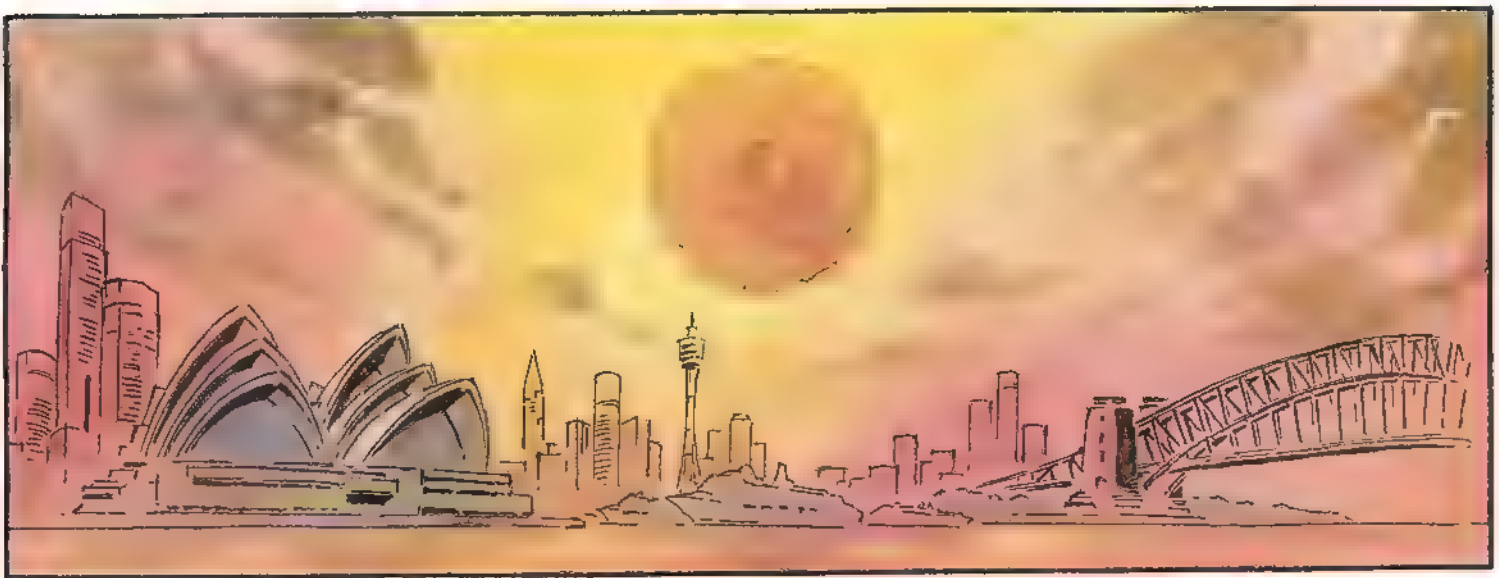
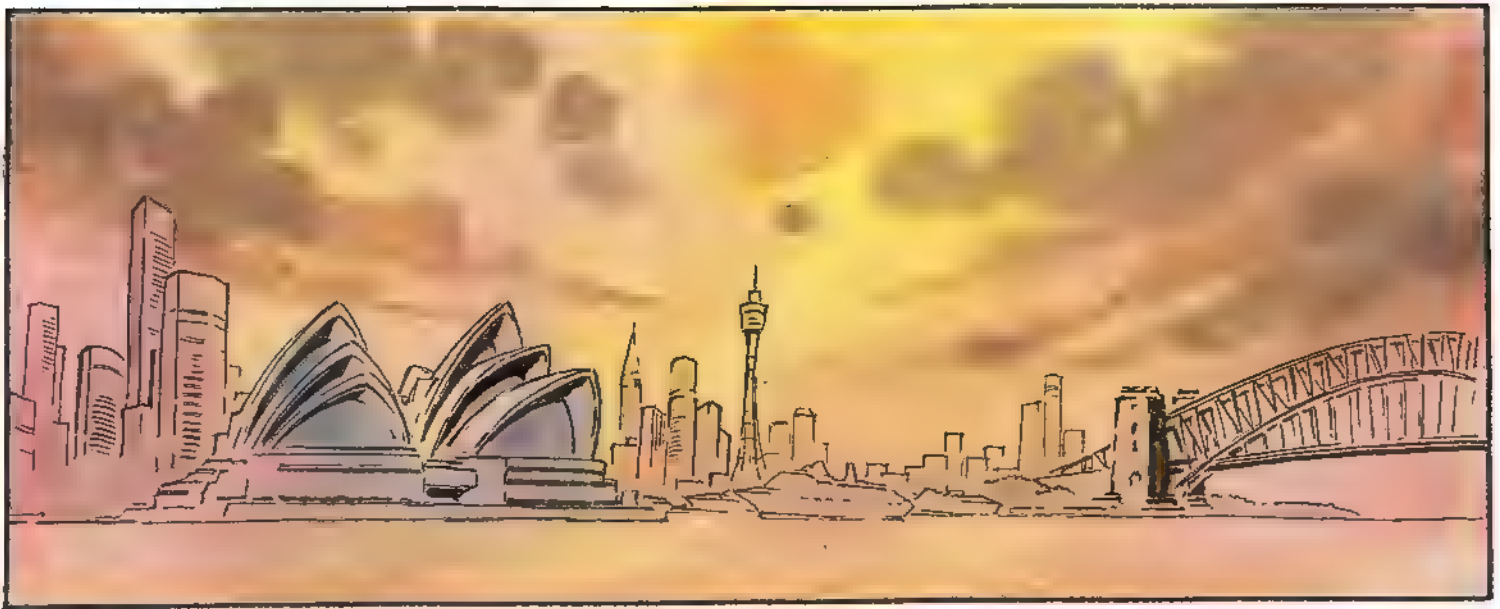
果たせず

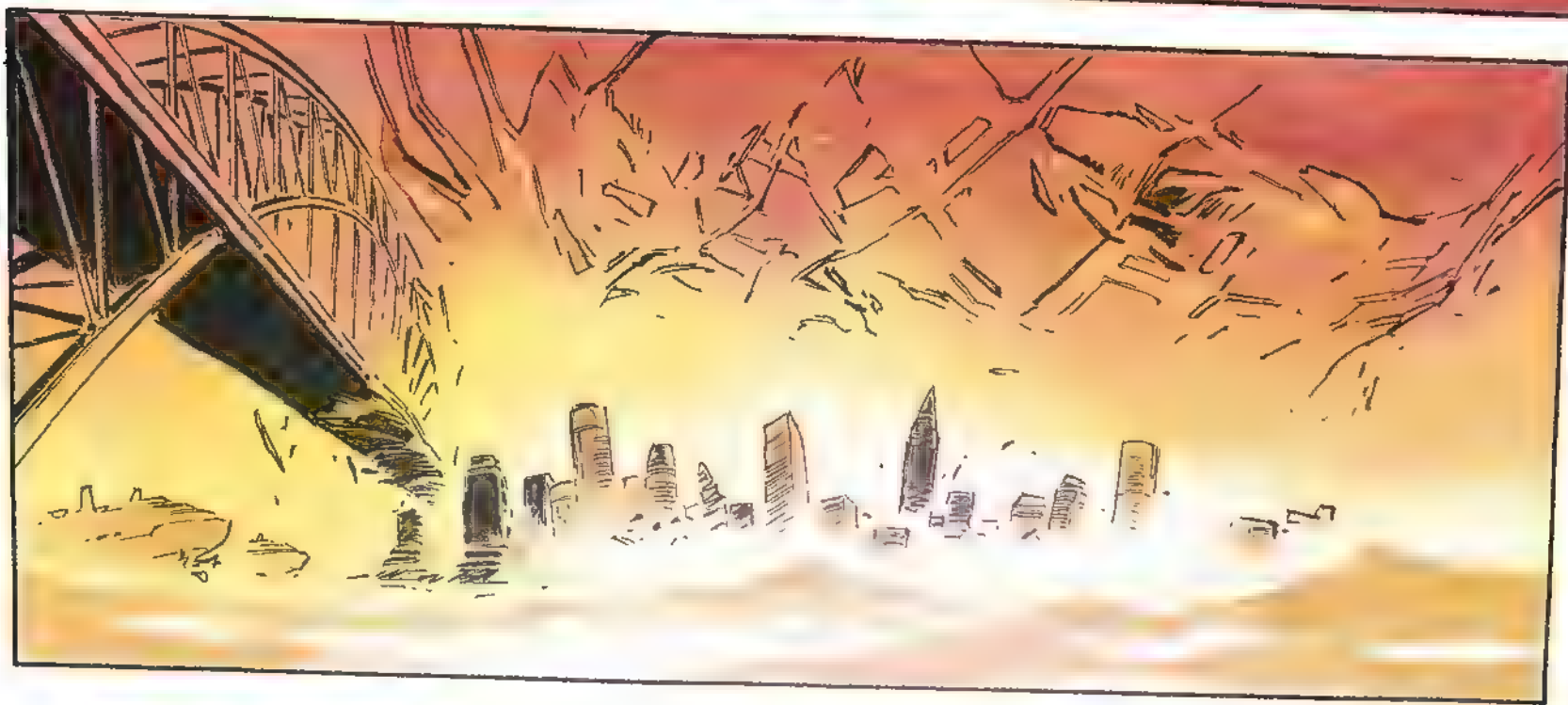
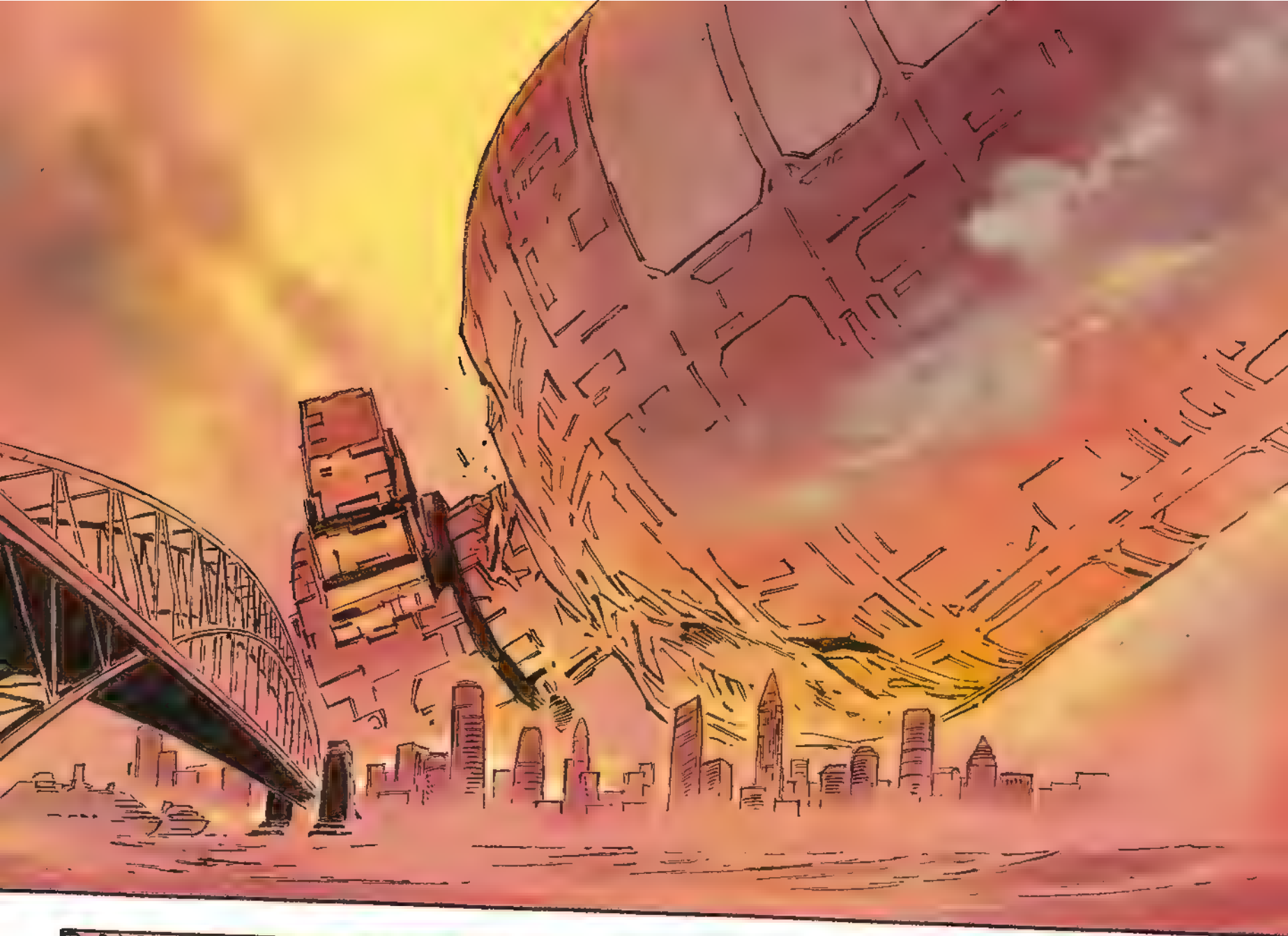


01 15
"アイランド・イブッシュ"
地球の引力圏に
到達







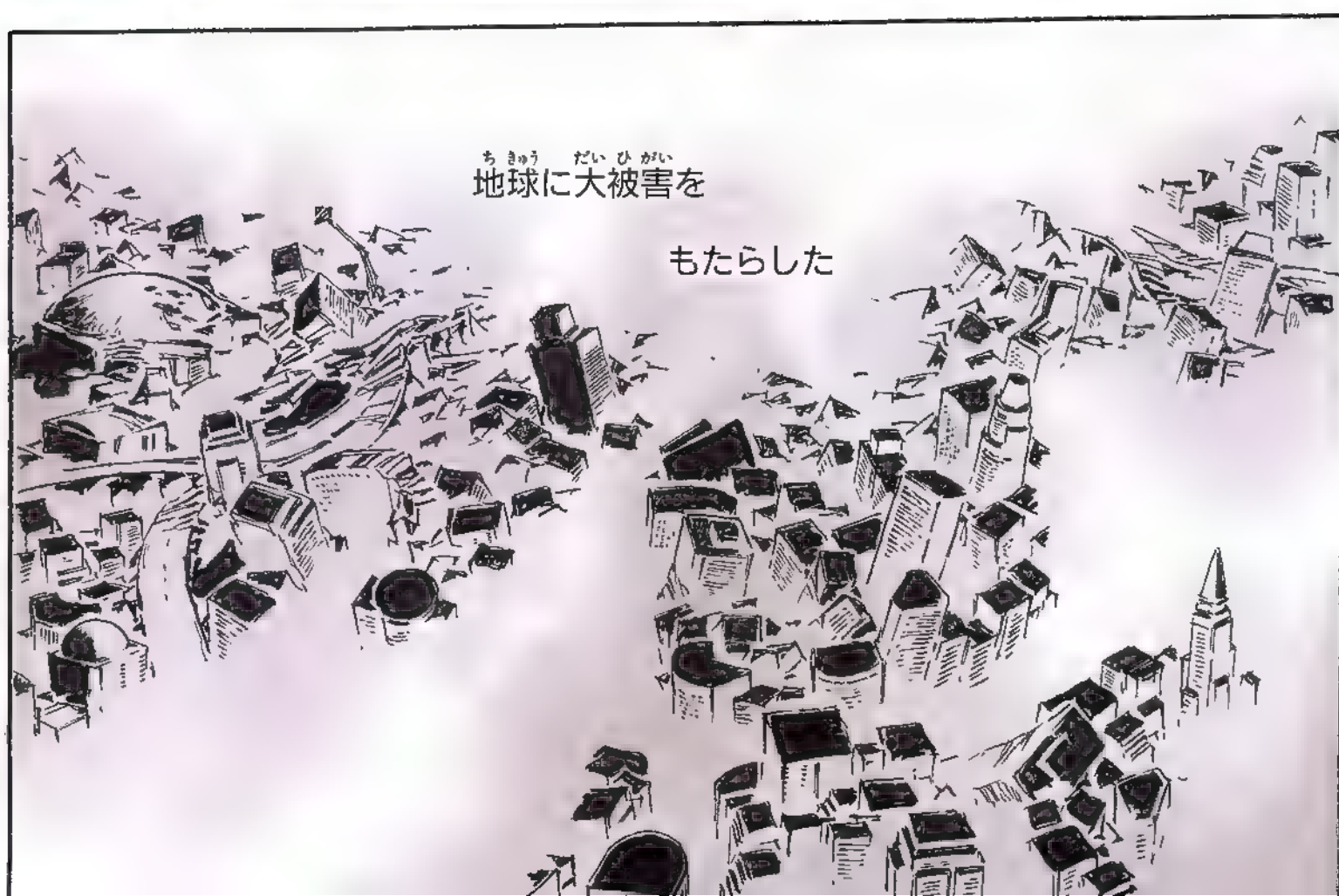
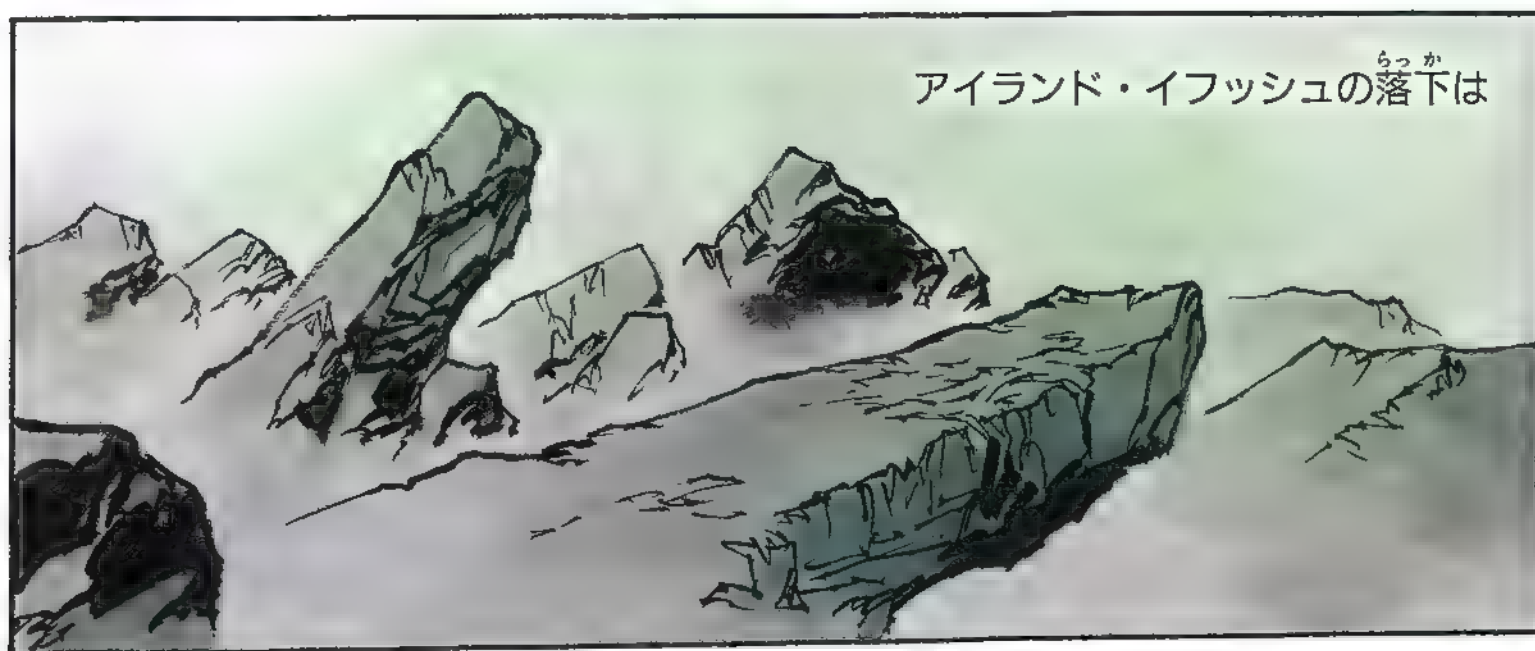
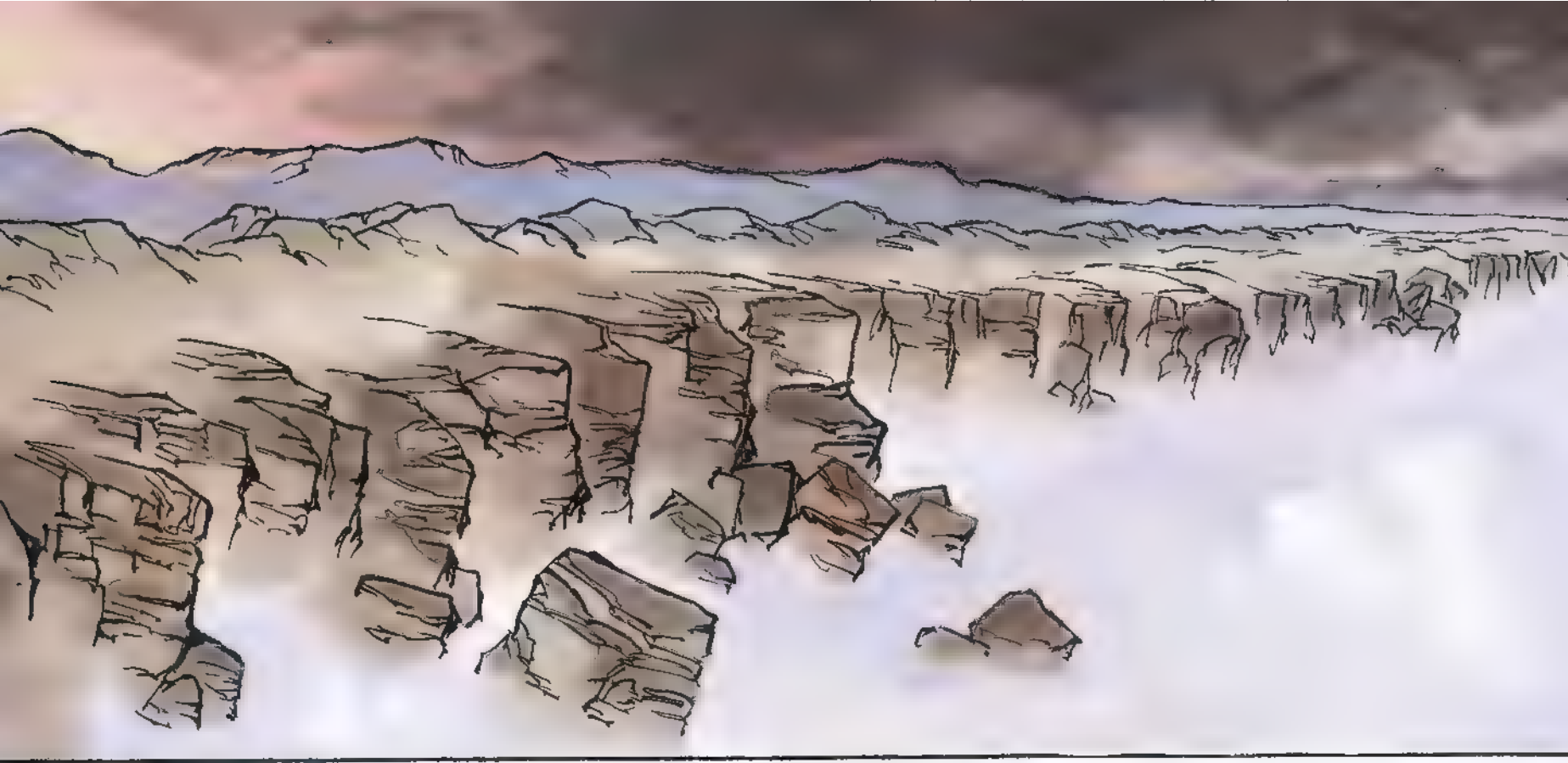


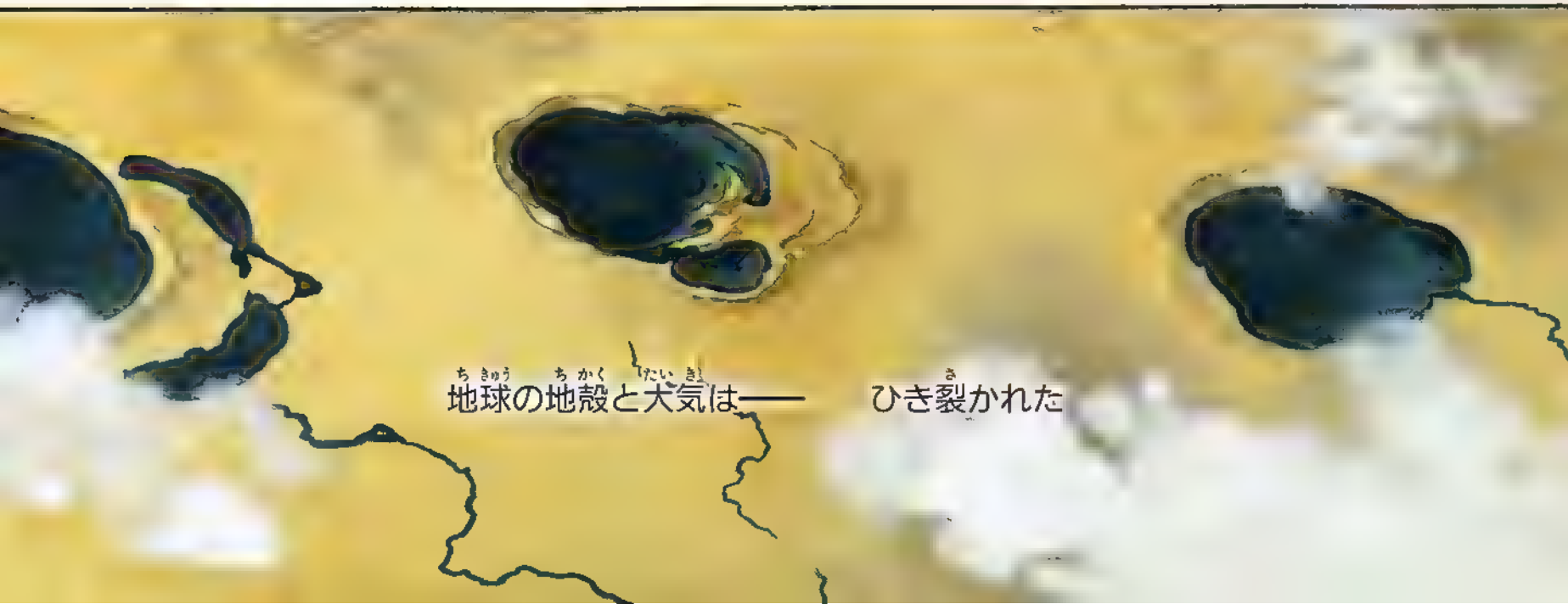
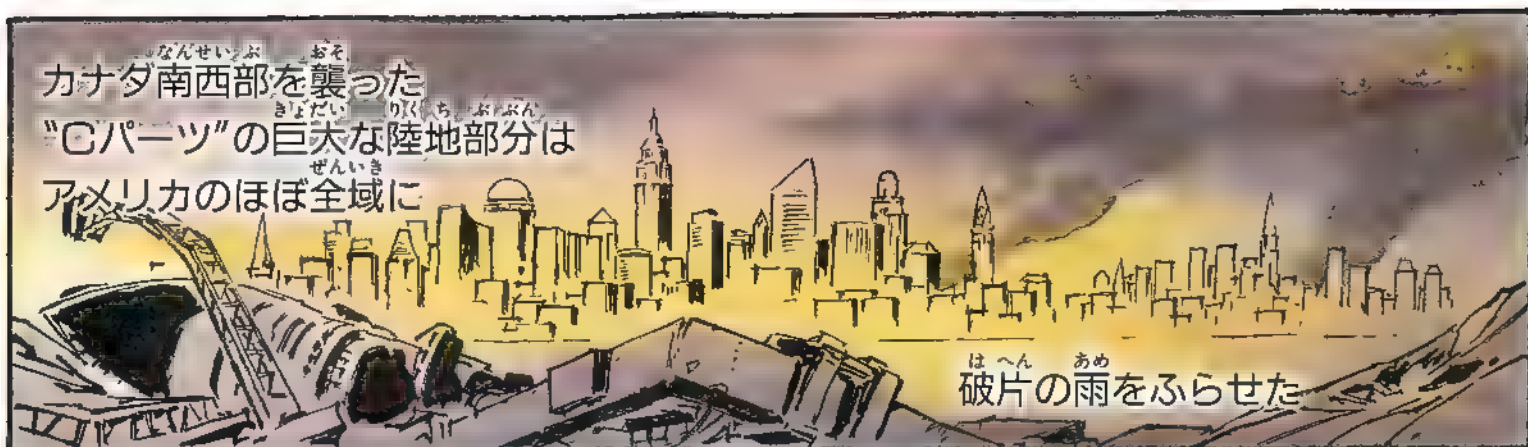
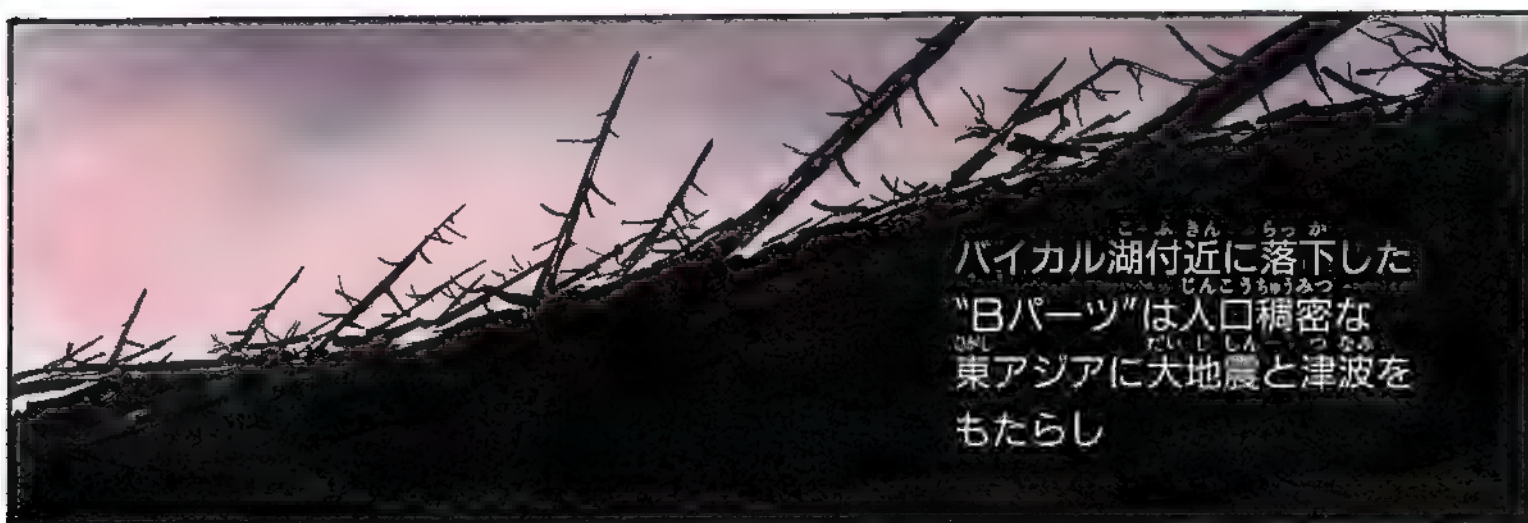
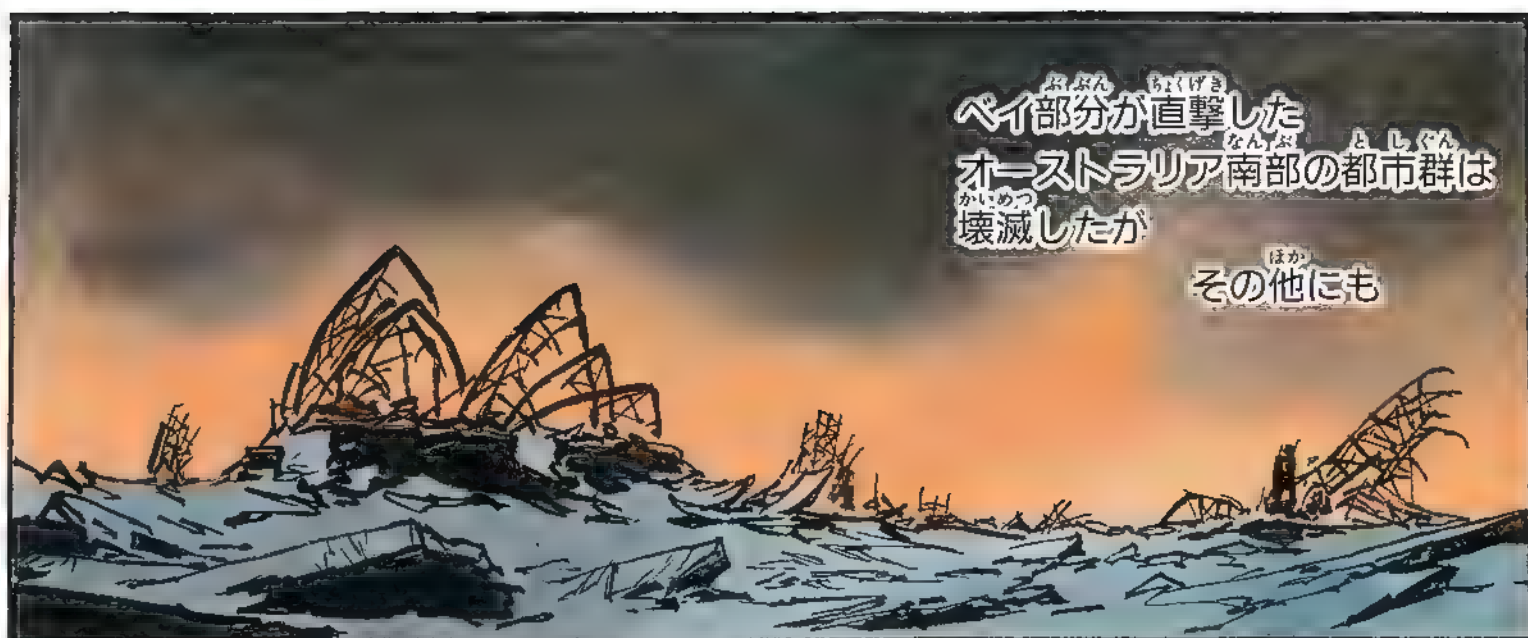


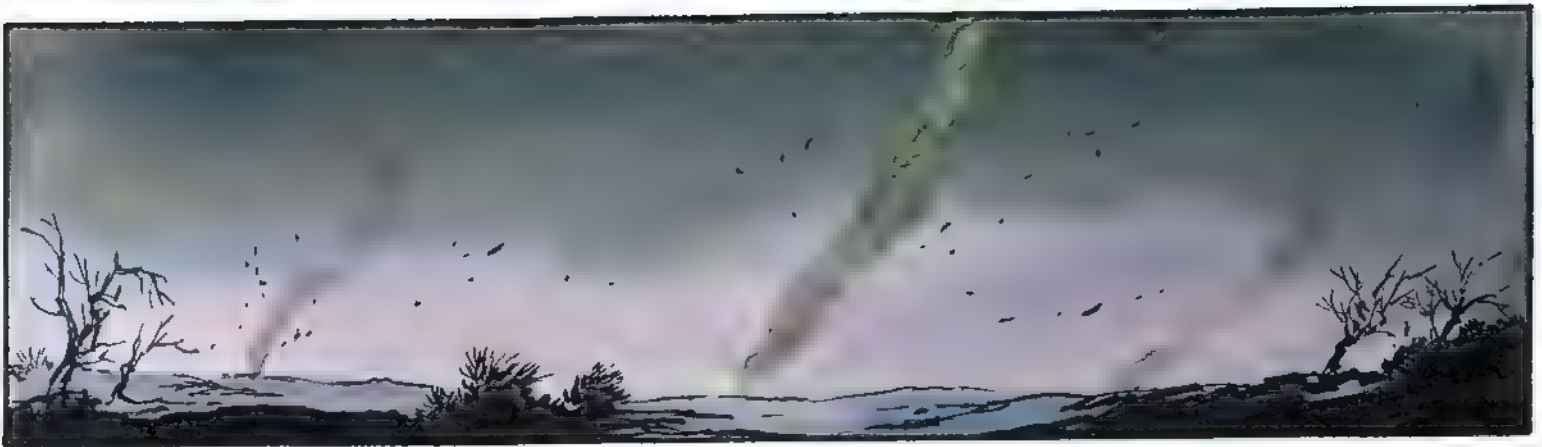
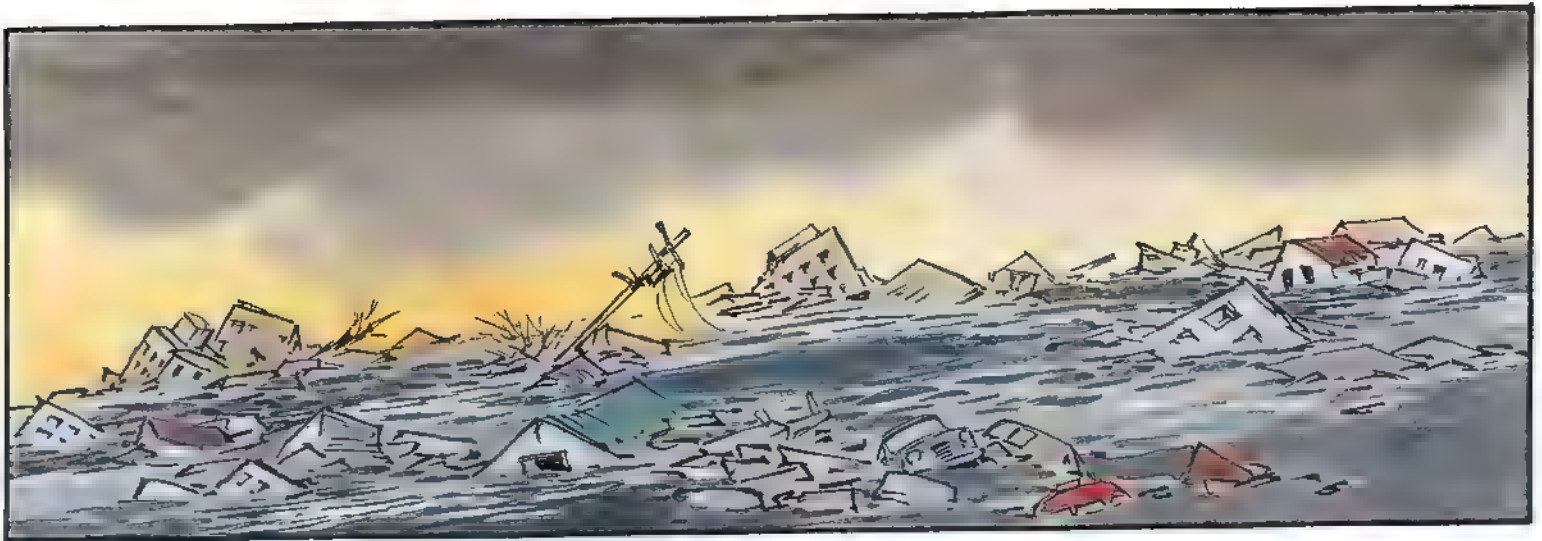
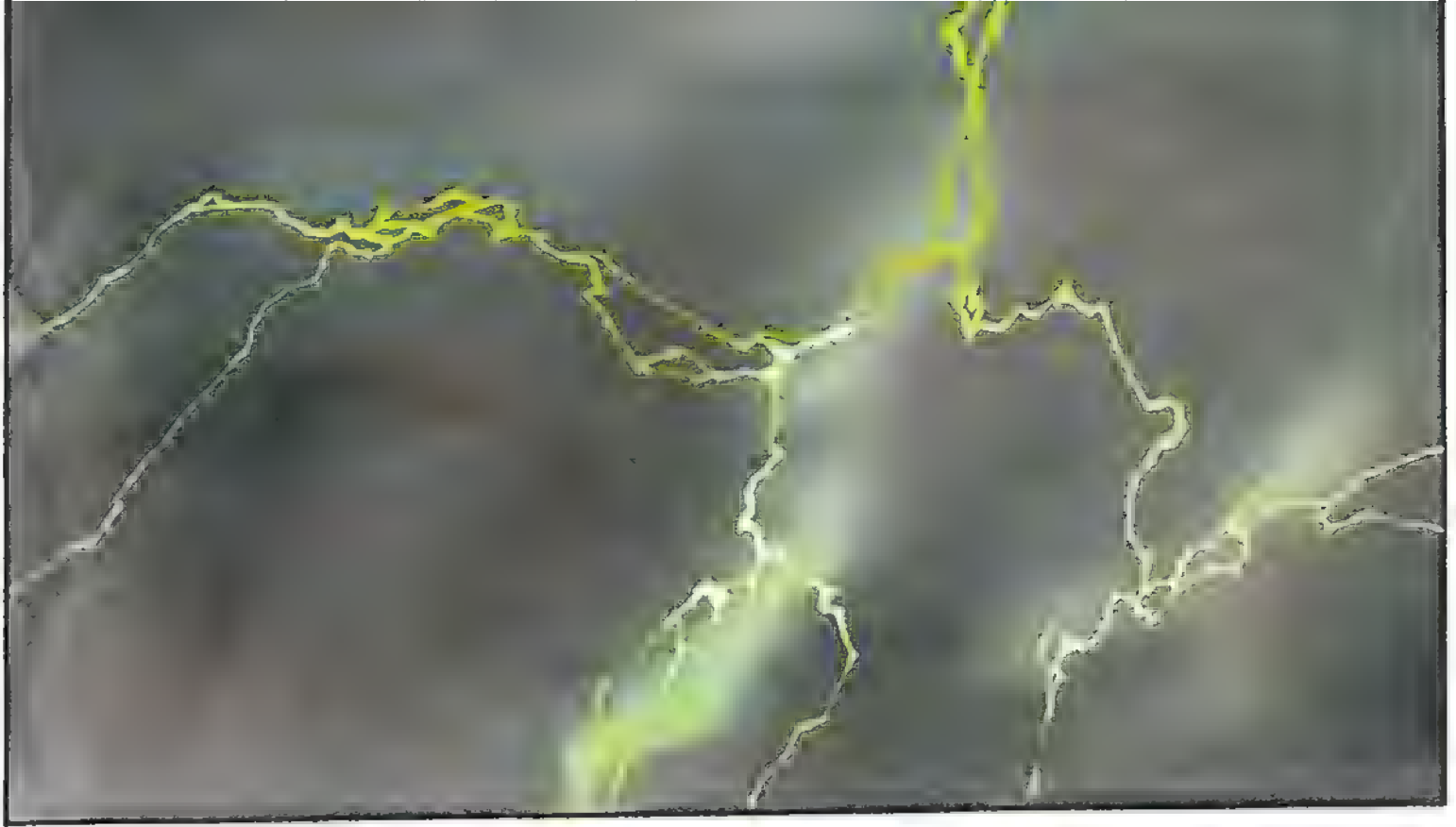
—ルウム編・前—

SECTION
II



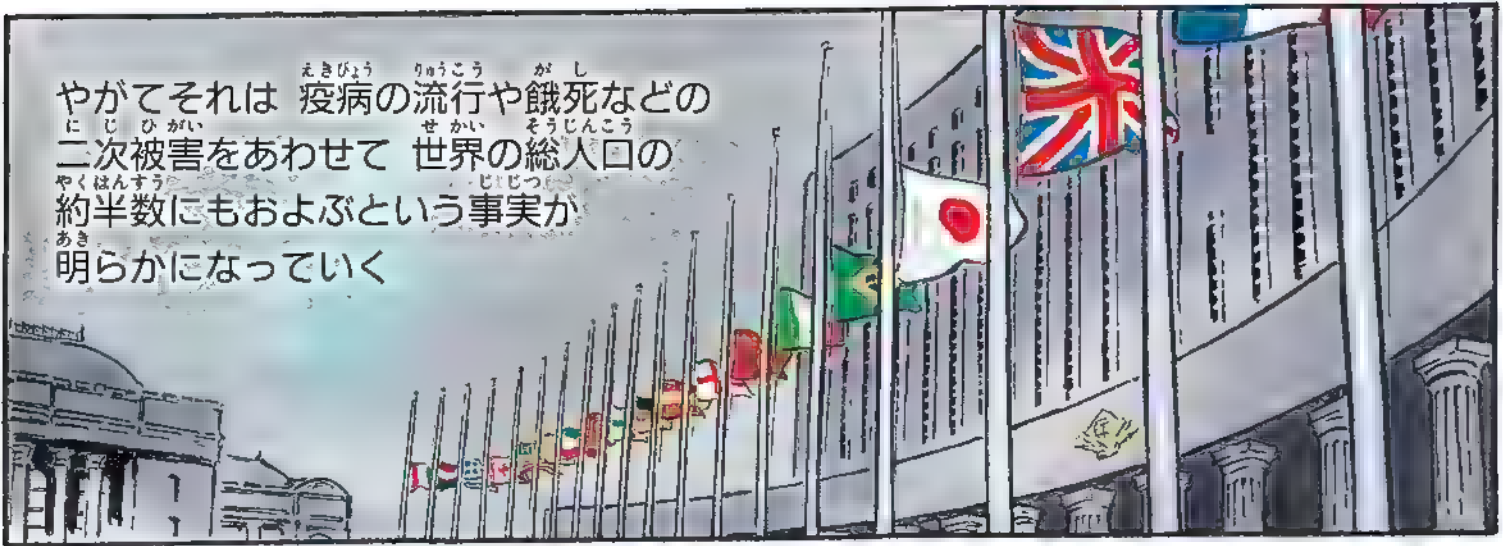






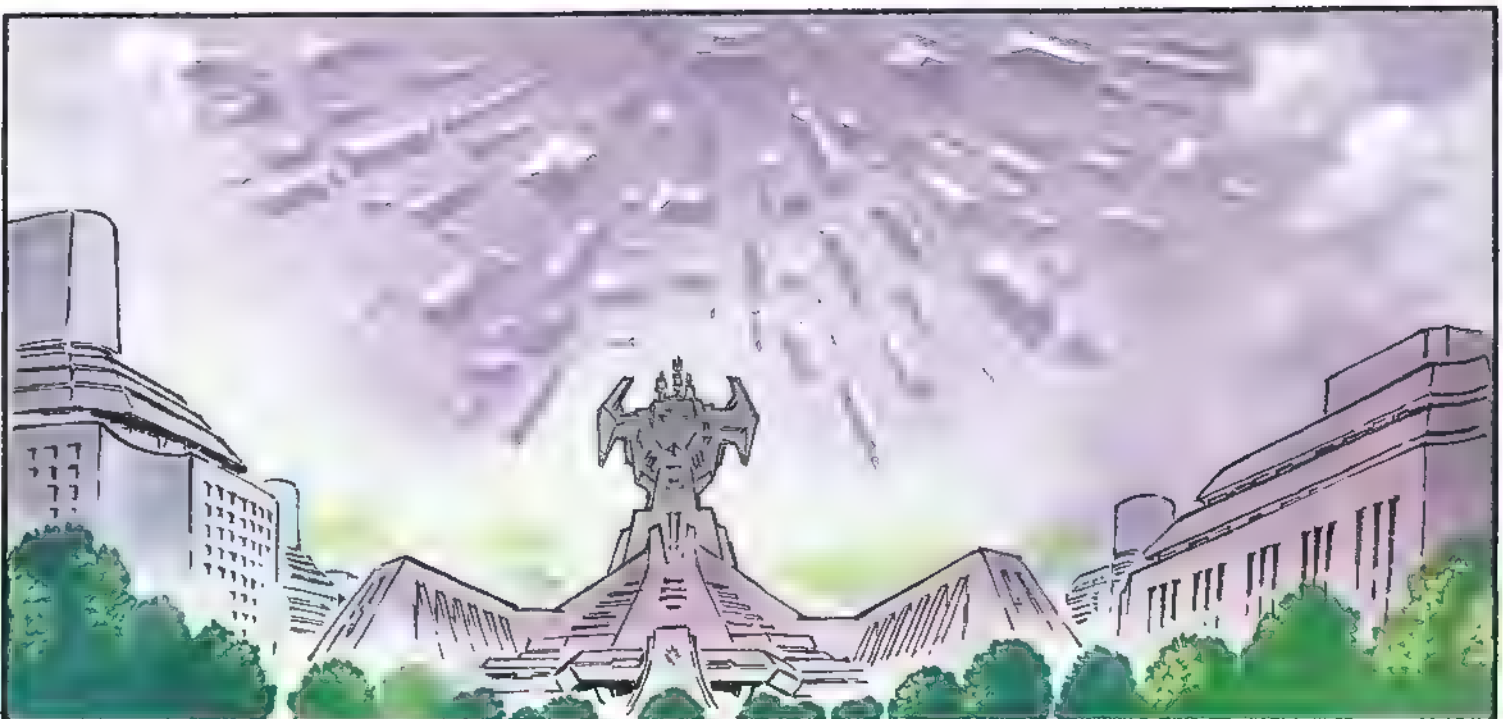


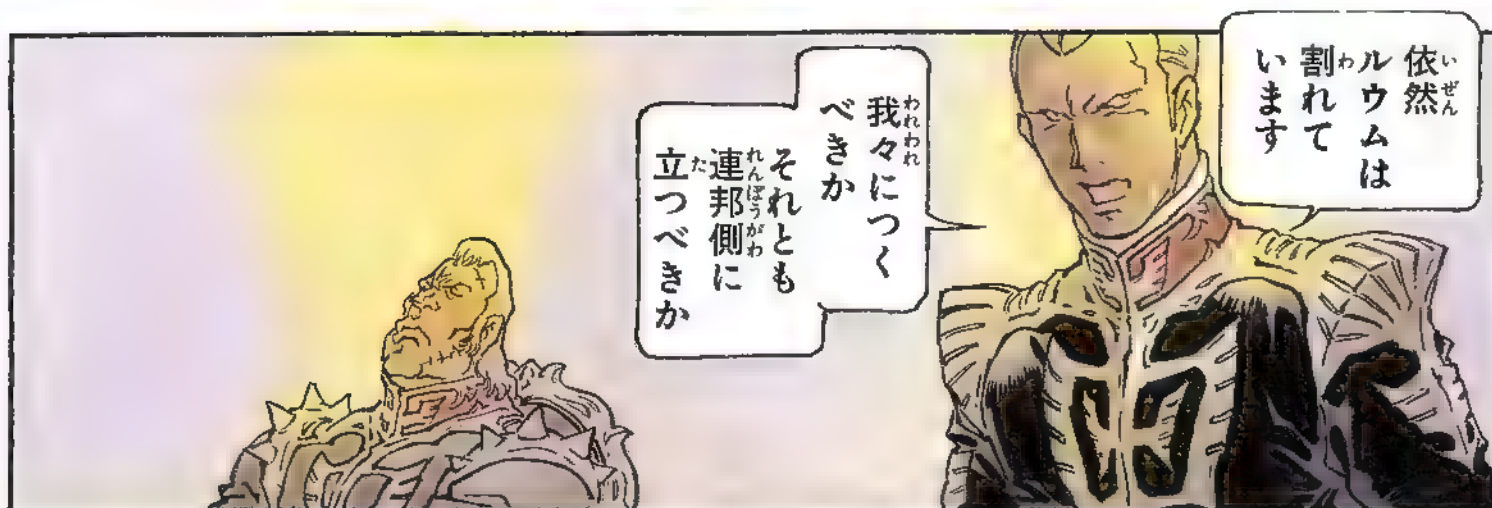
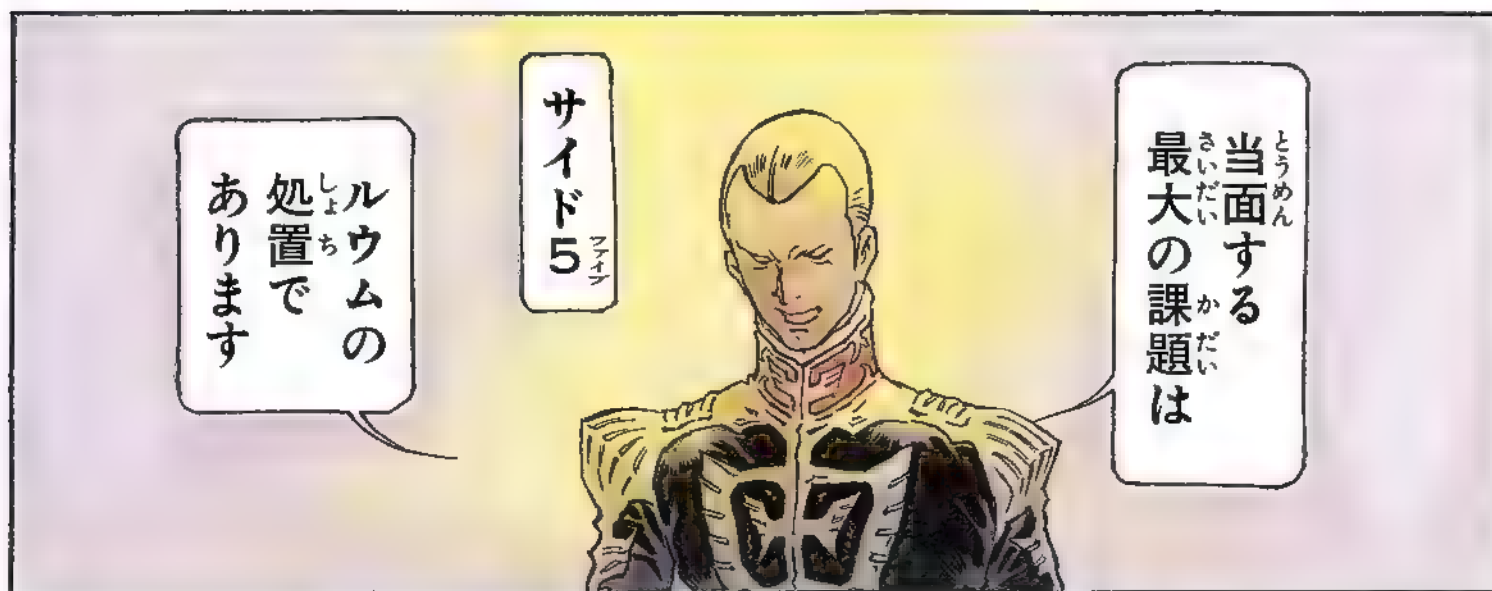
この全地球的大惨事による
死者の数はあまりにも膨大
であるために
しばらくの間
把握されなかったが

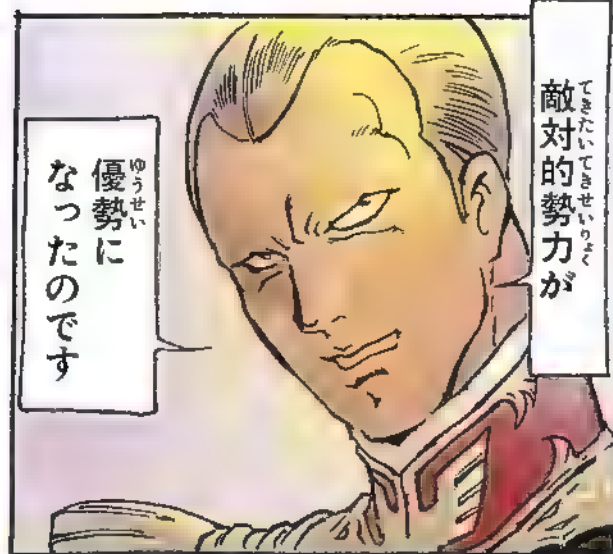
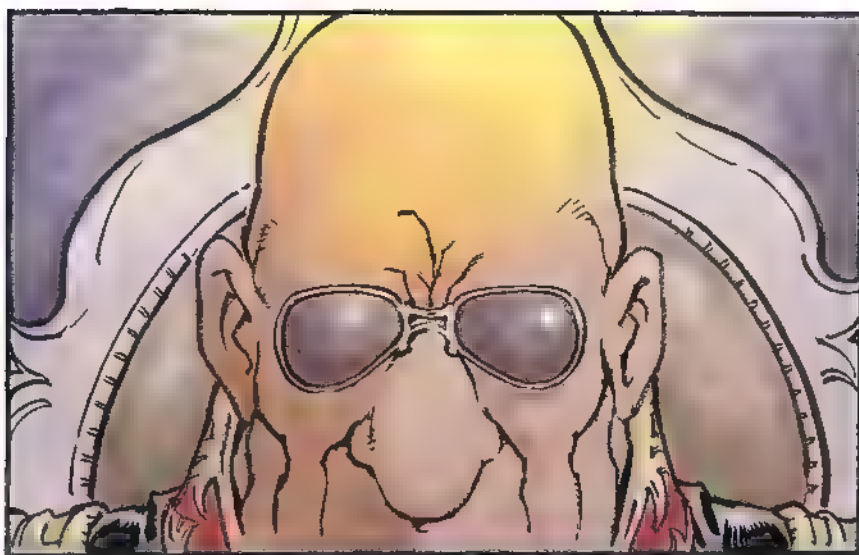


やがてそれは 疫病の流行や餓死などの
二次被害をあわせて 世界の総人口の
約半数にもおよぶという事実が
明らかになっていく

戦争は しかし
始まったばかりだった
開戦からハッテ制圧までの緒戦は
後に『一週間戦争』と
呼ばれるようになる

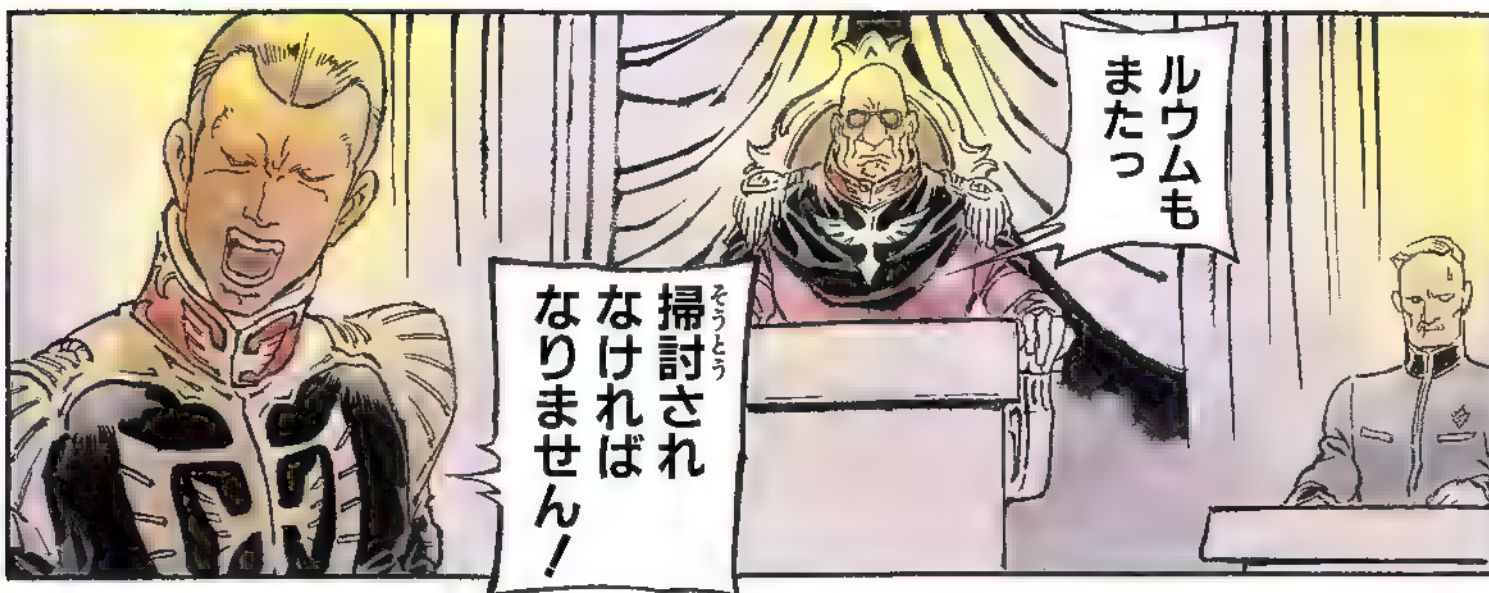






敵対的勢力が
てきたいてきせりよく

優勢に
なつたのです



ルウムも
またっ

掃討され
なければ
なりません！
そうとう



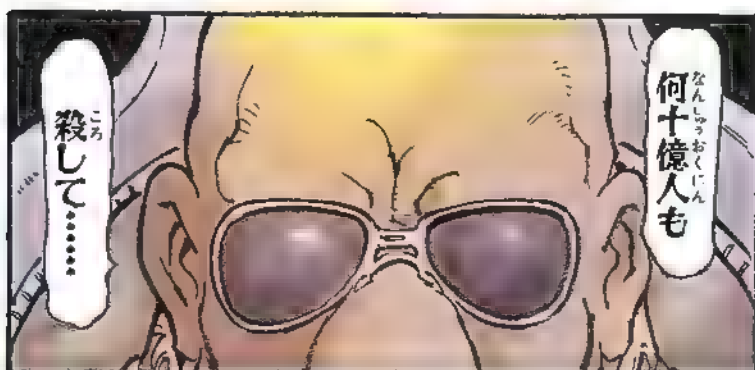
ここで立ち
ど
停まることは
ゆる
許されません！

ルウムこそ最も
重要なキーストーンに
なります



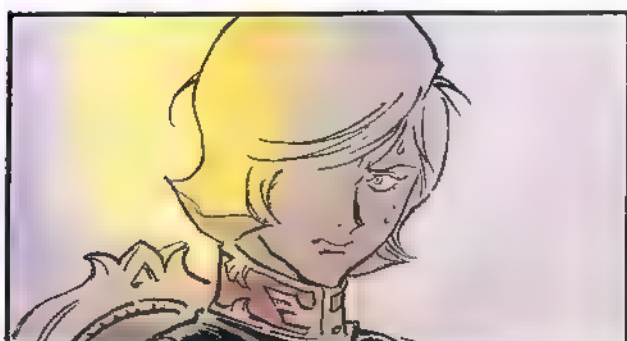
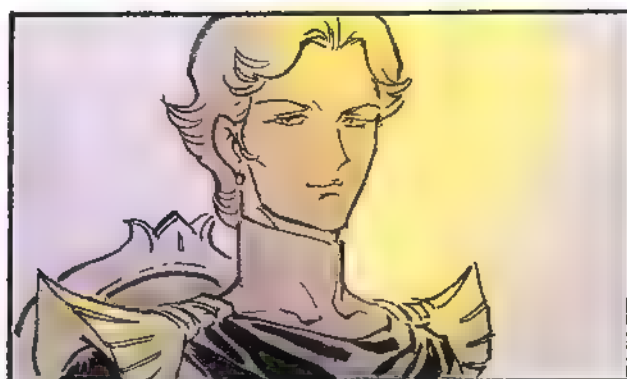
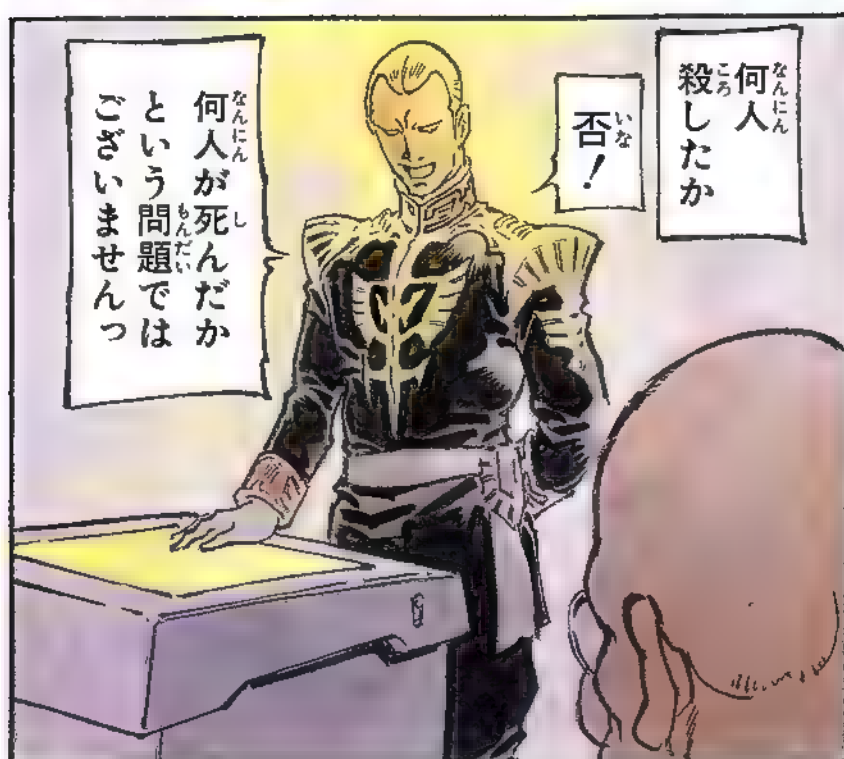
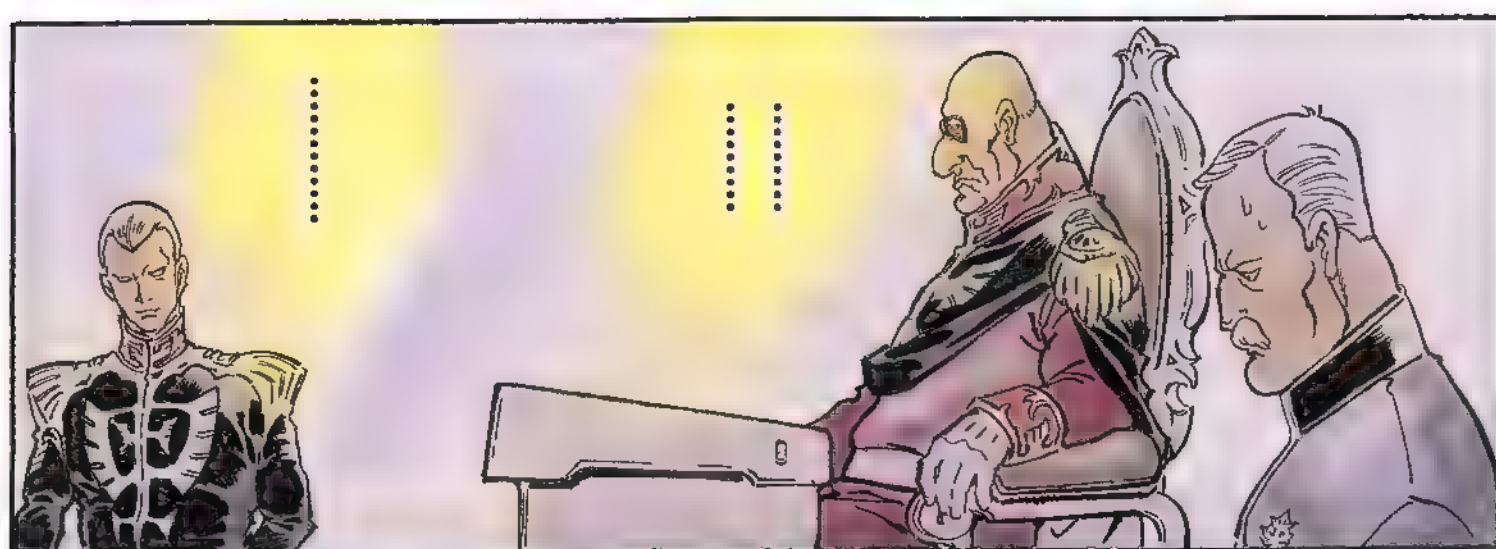
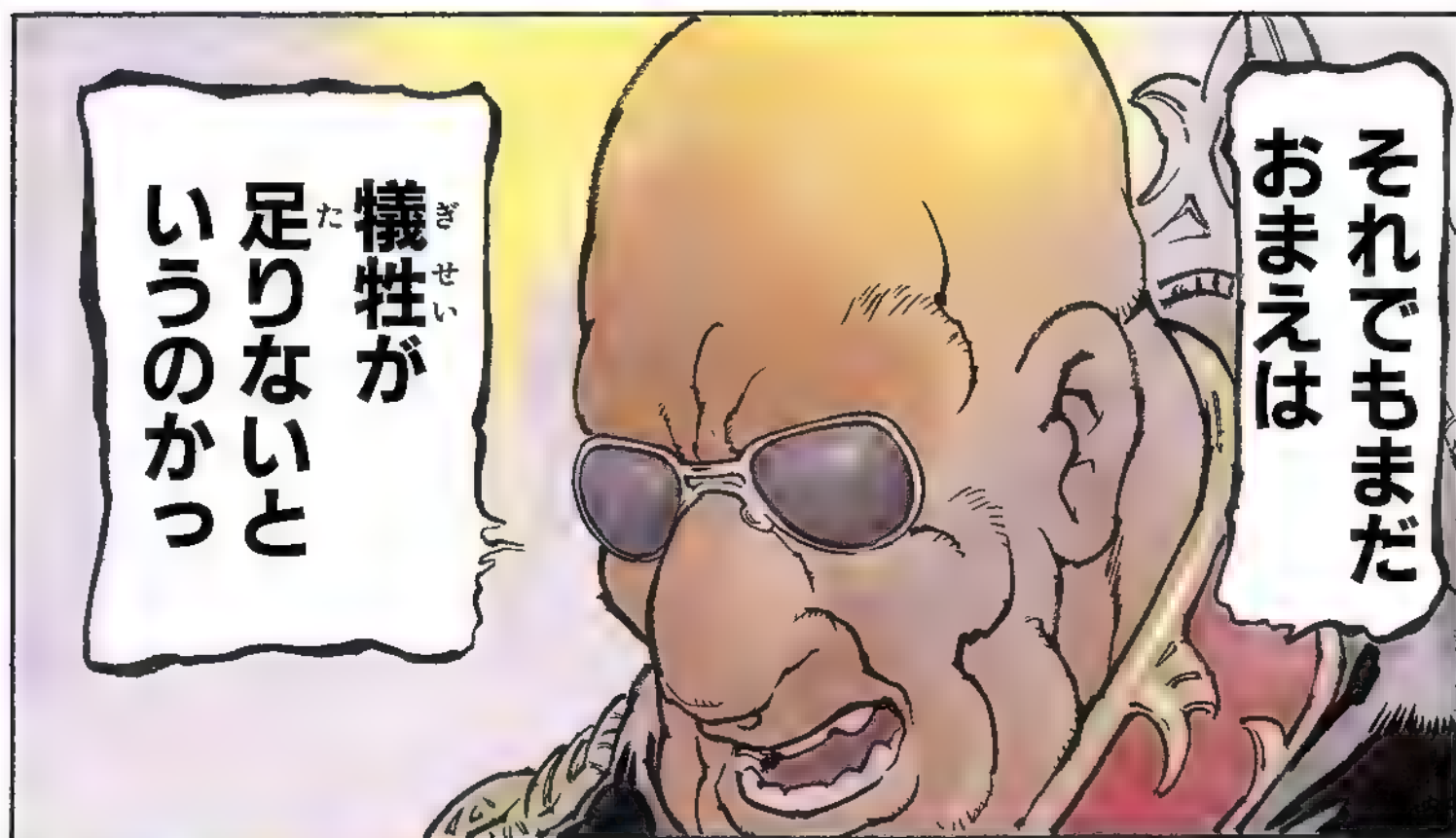
この戦争に
せんそう

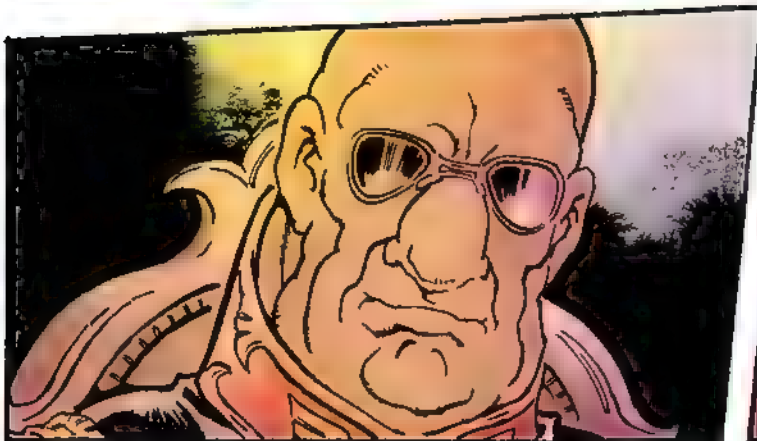
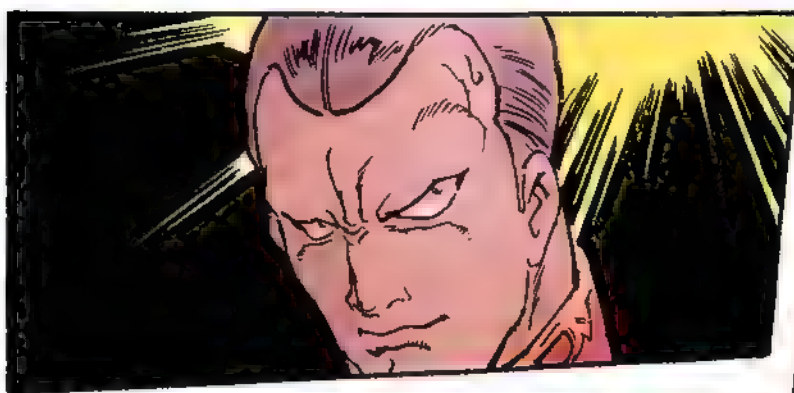
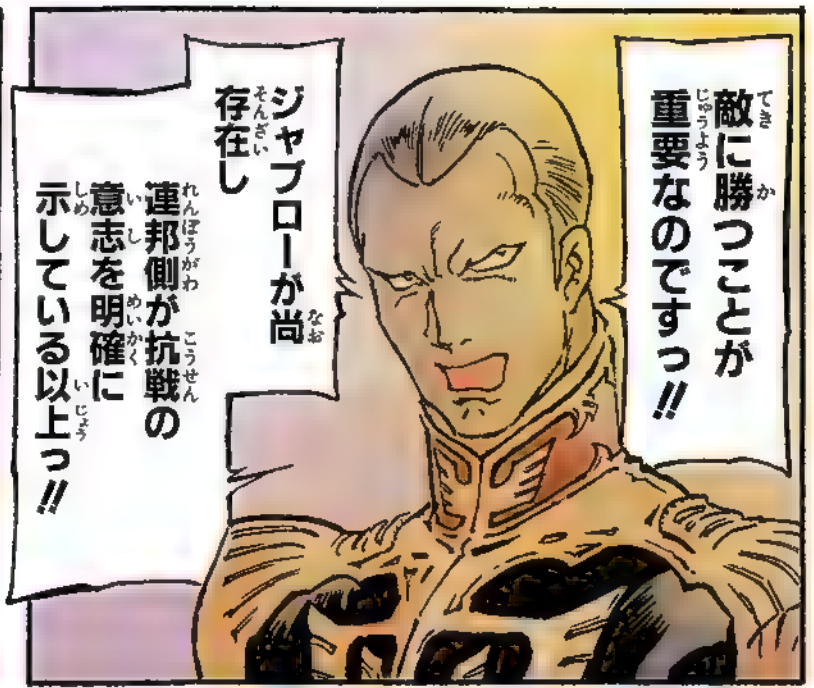
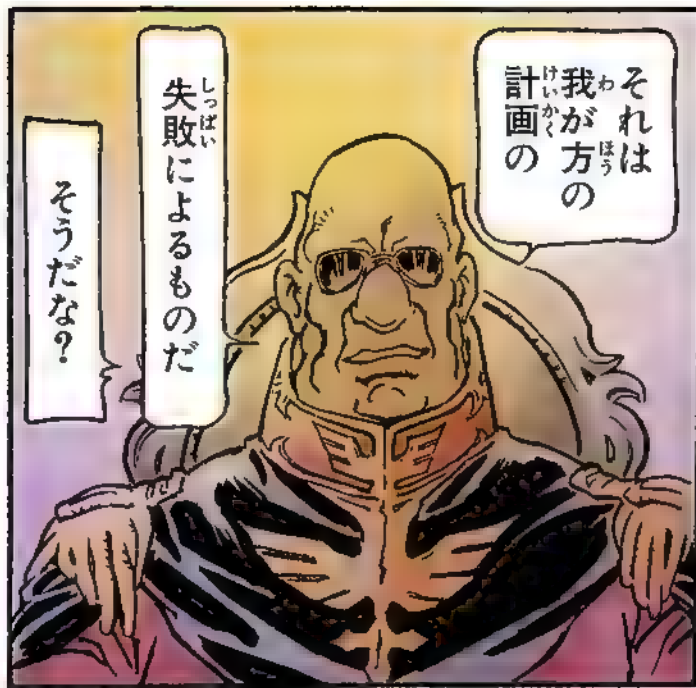
勝利せんと
するならば！
しょうり

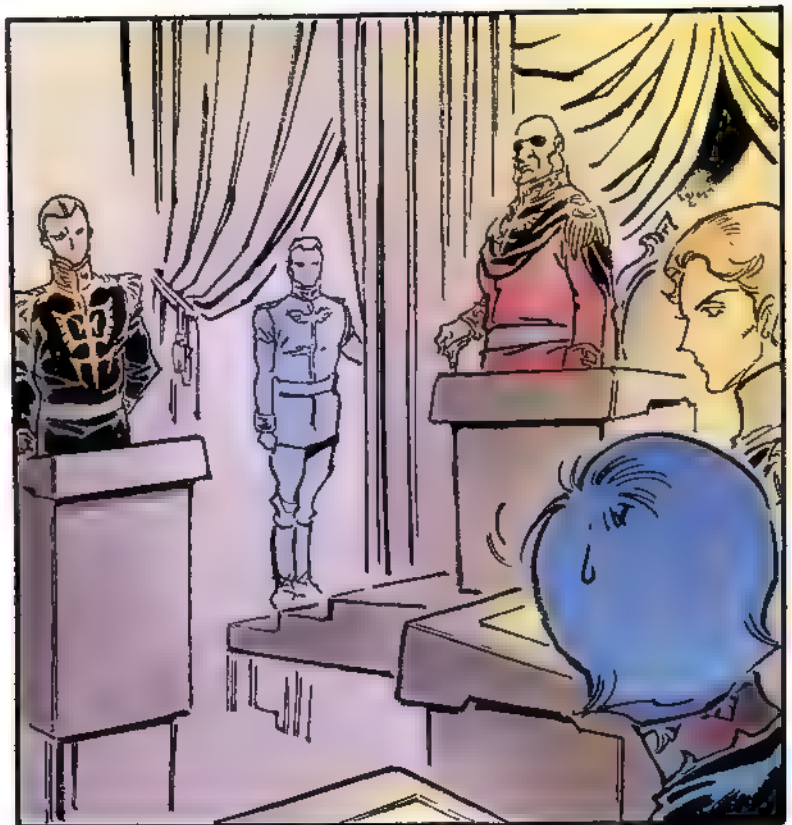
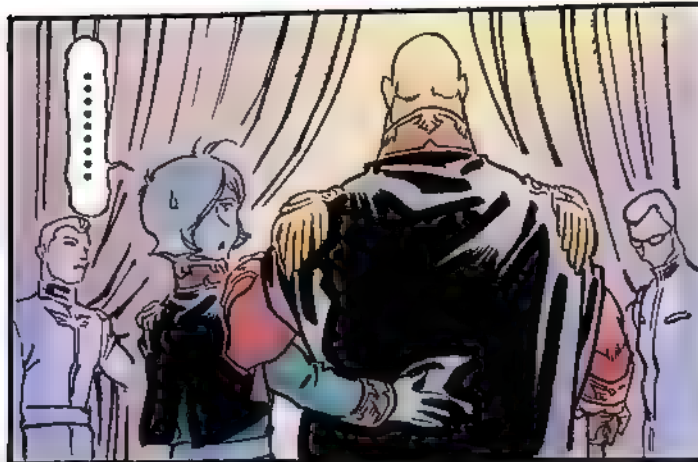
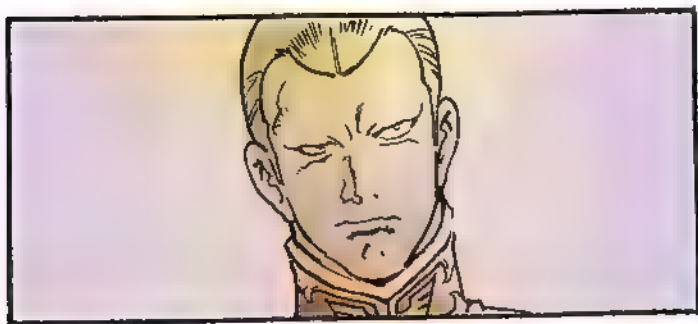
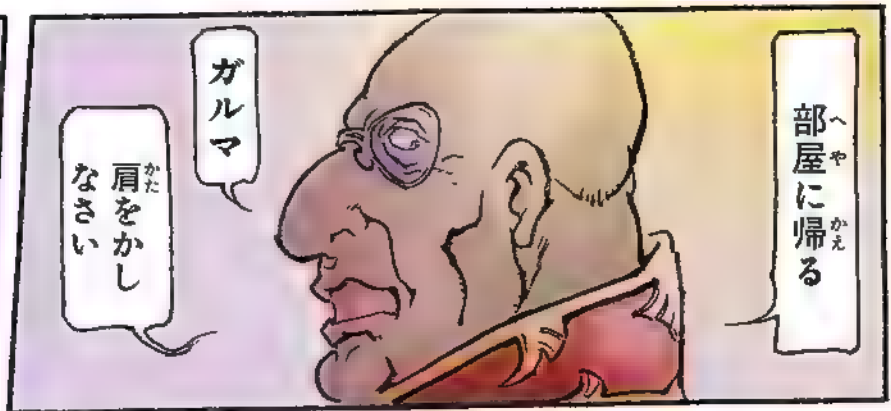
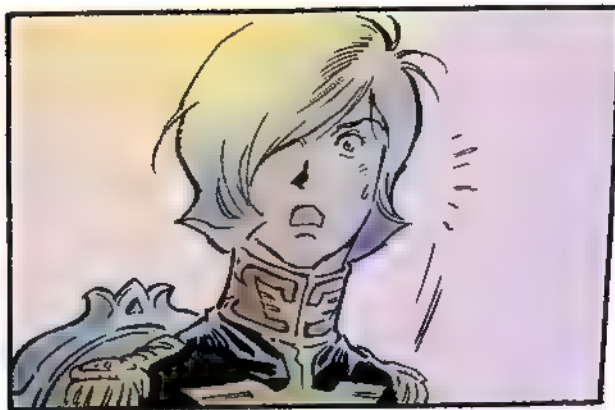
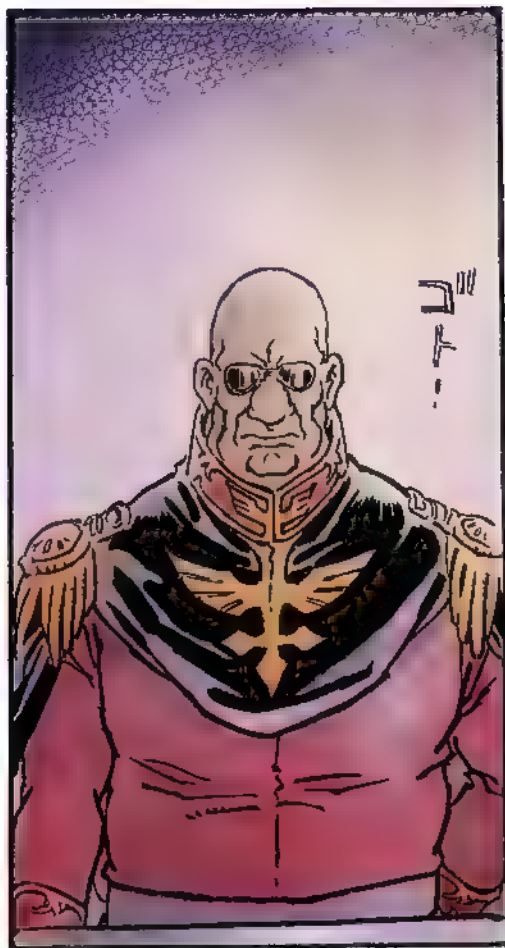


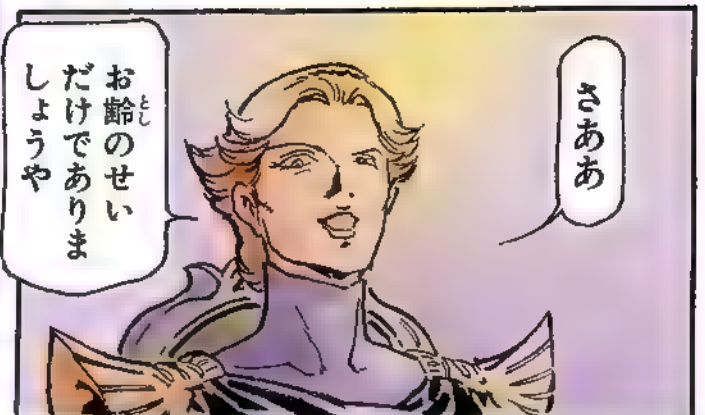
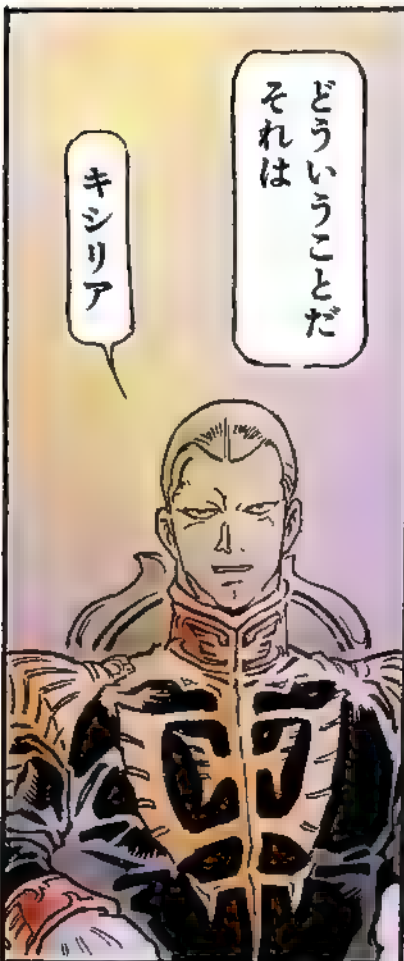
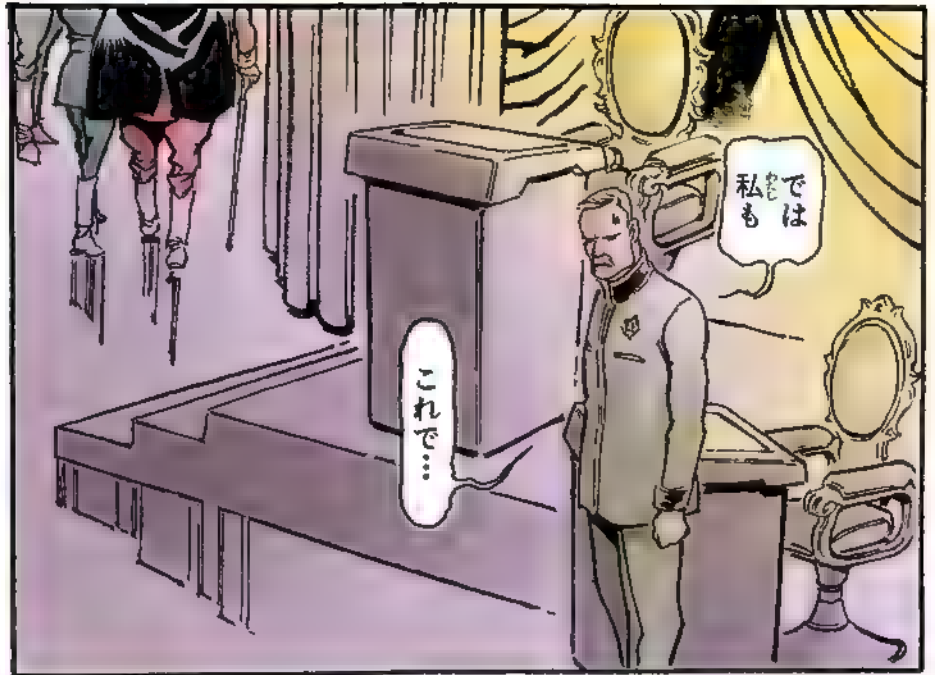
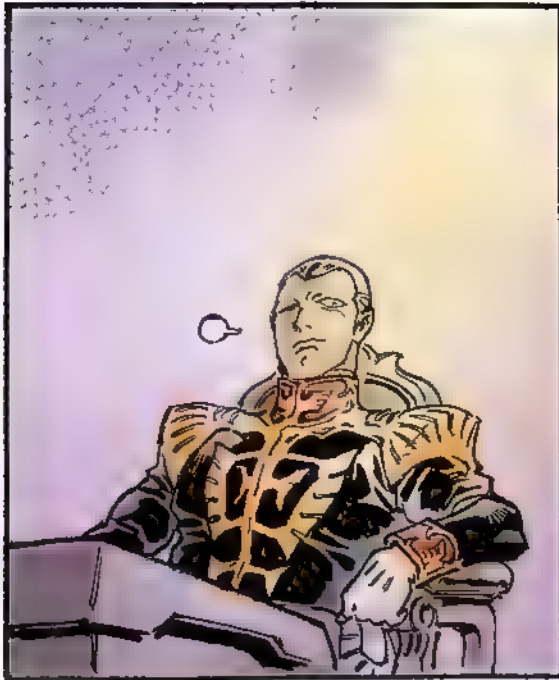
何十億人も
なんしゅうおくじんも

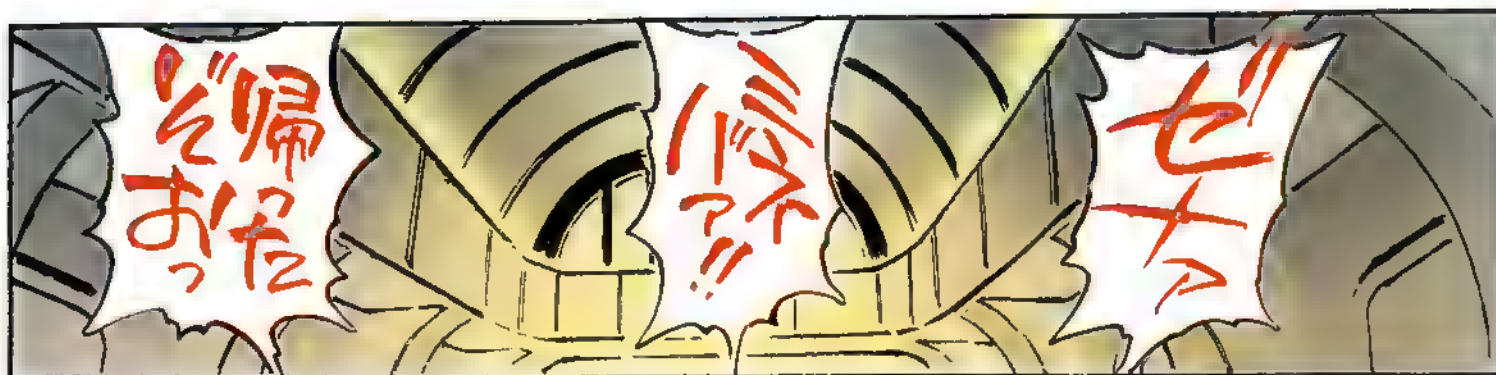
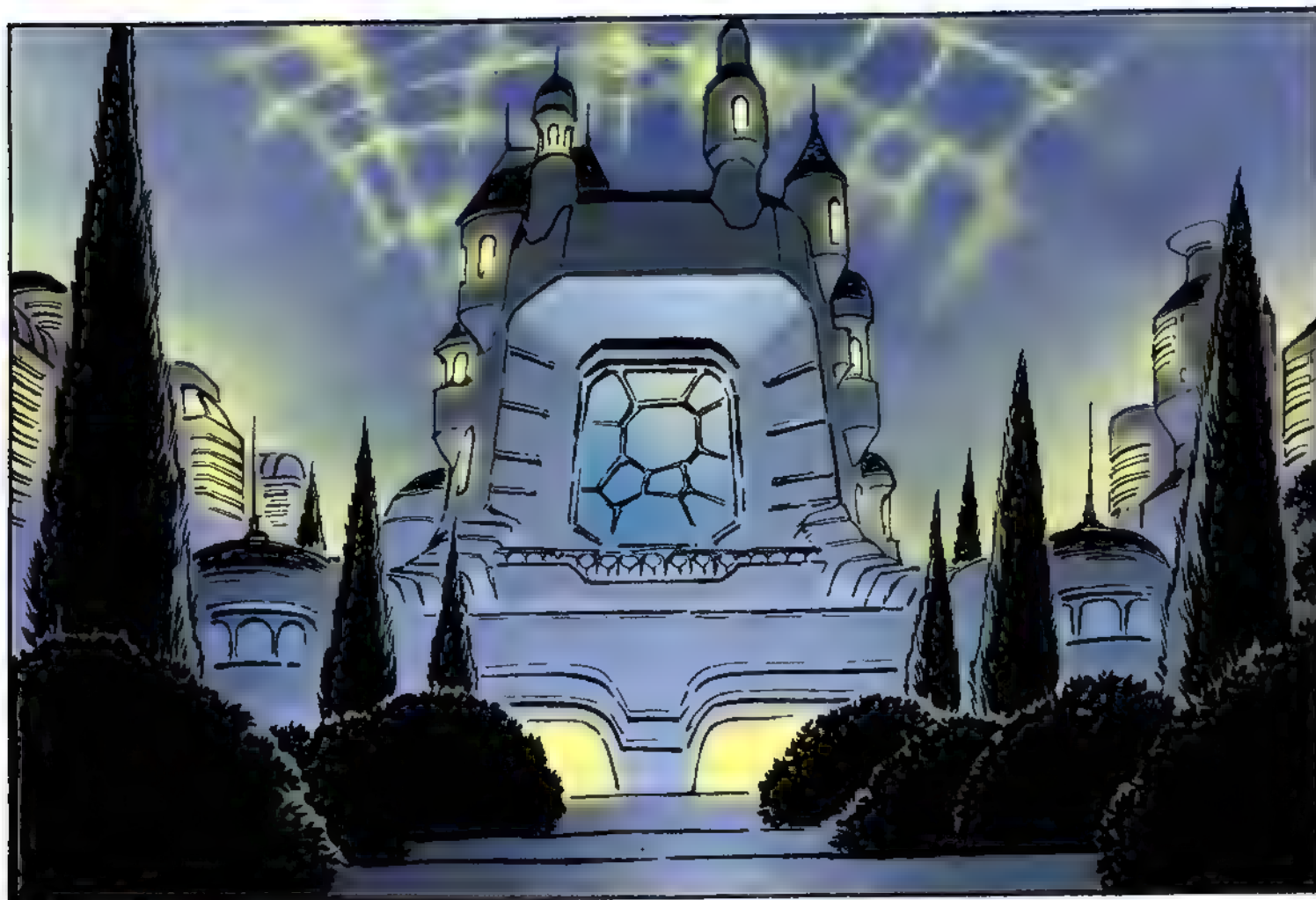
殺して……
ころして……

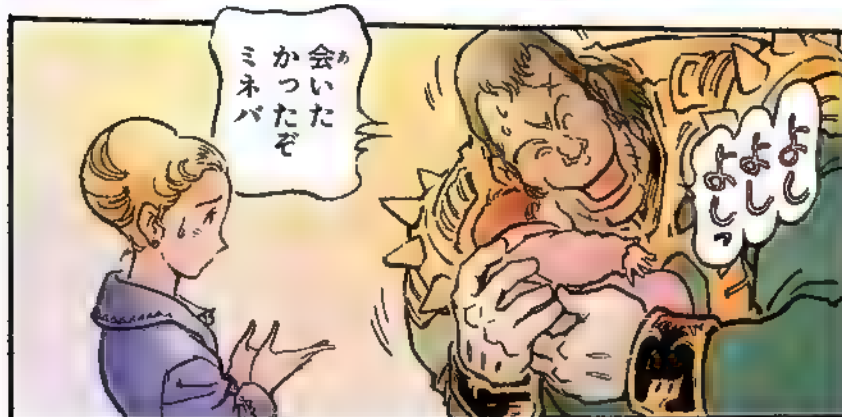
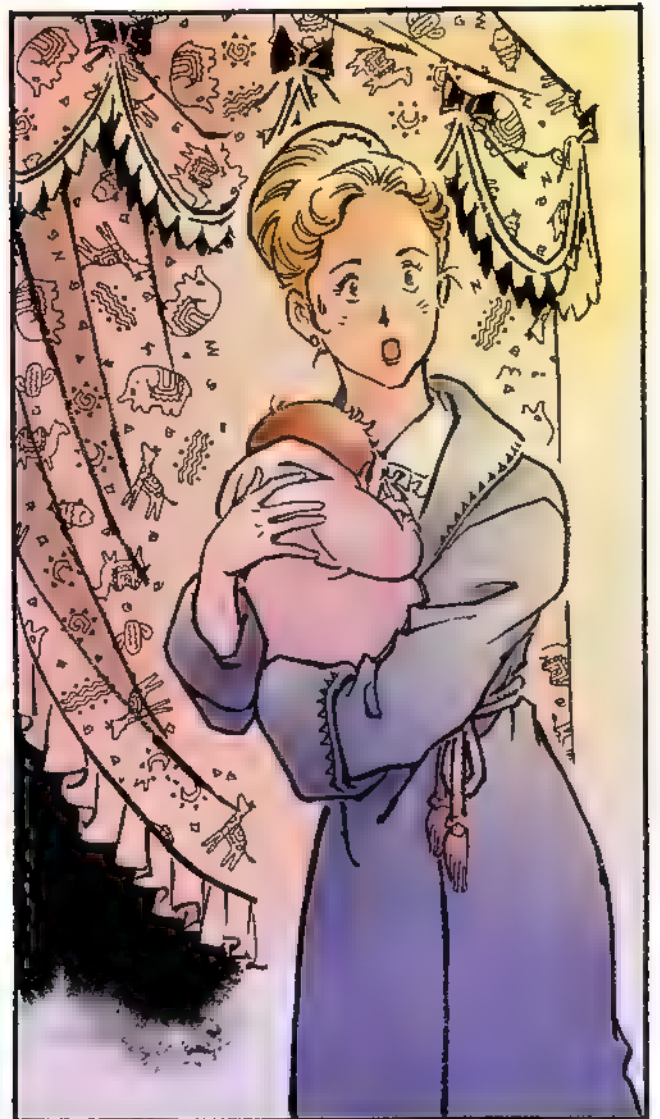
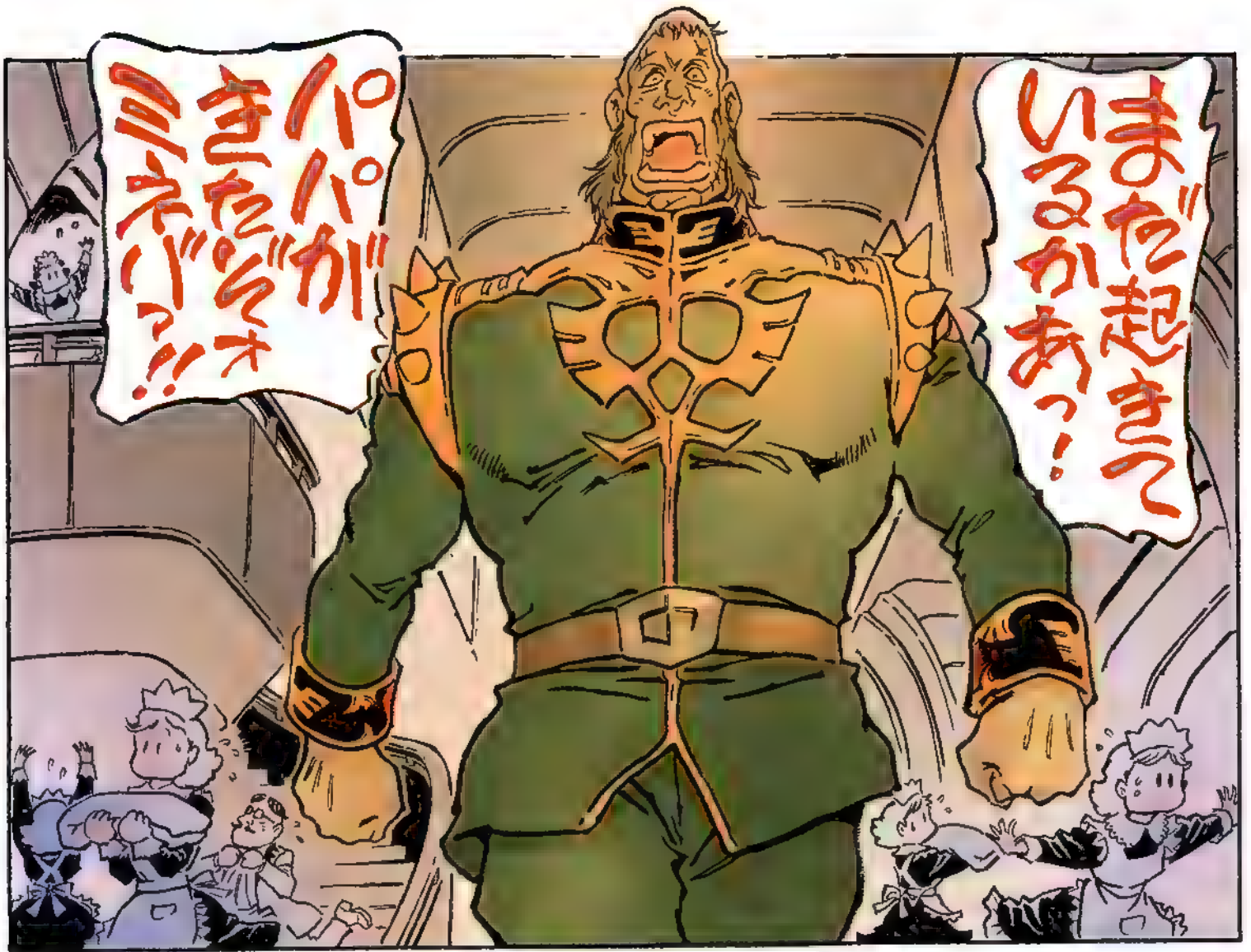


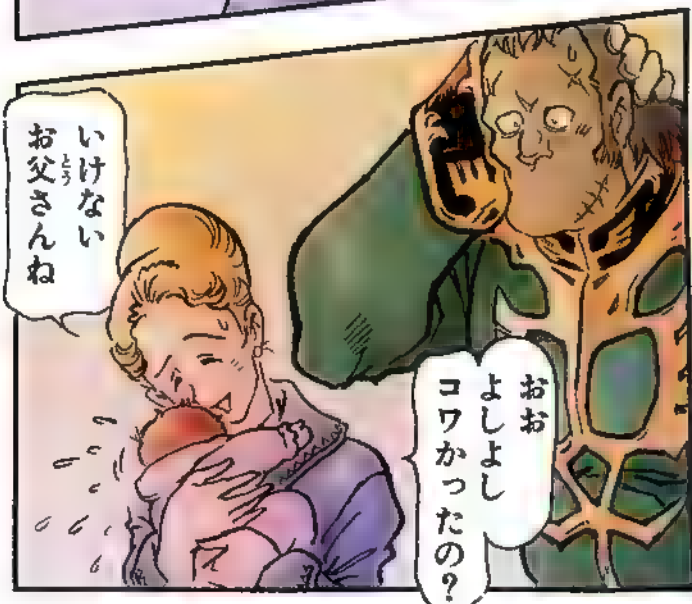
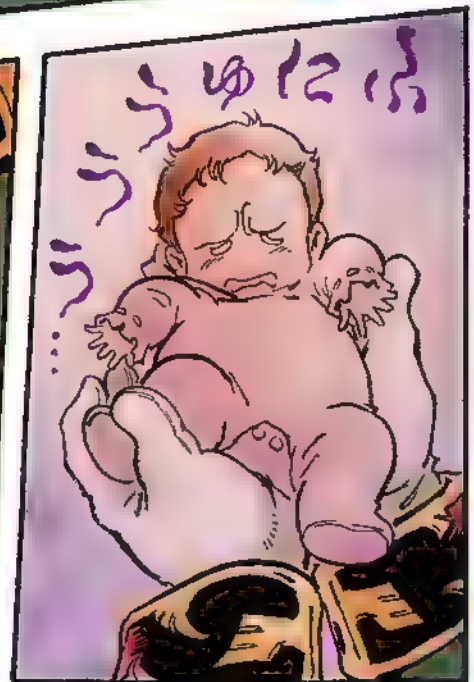
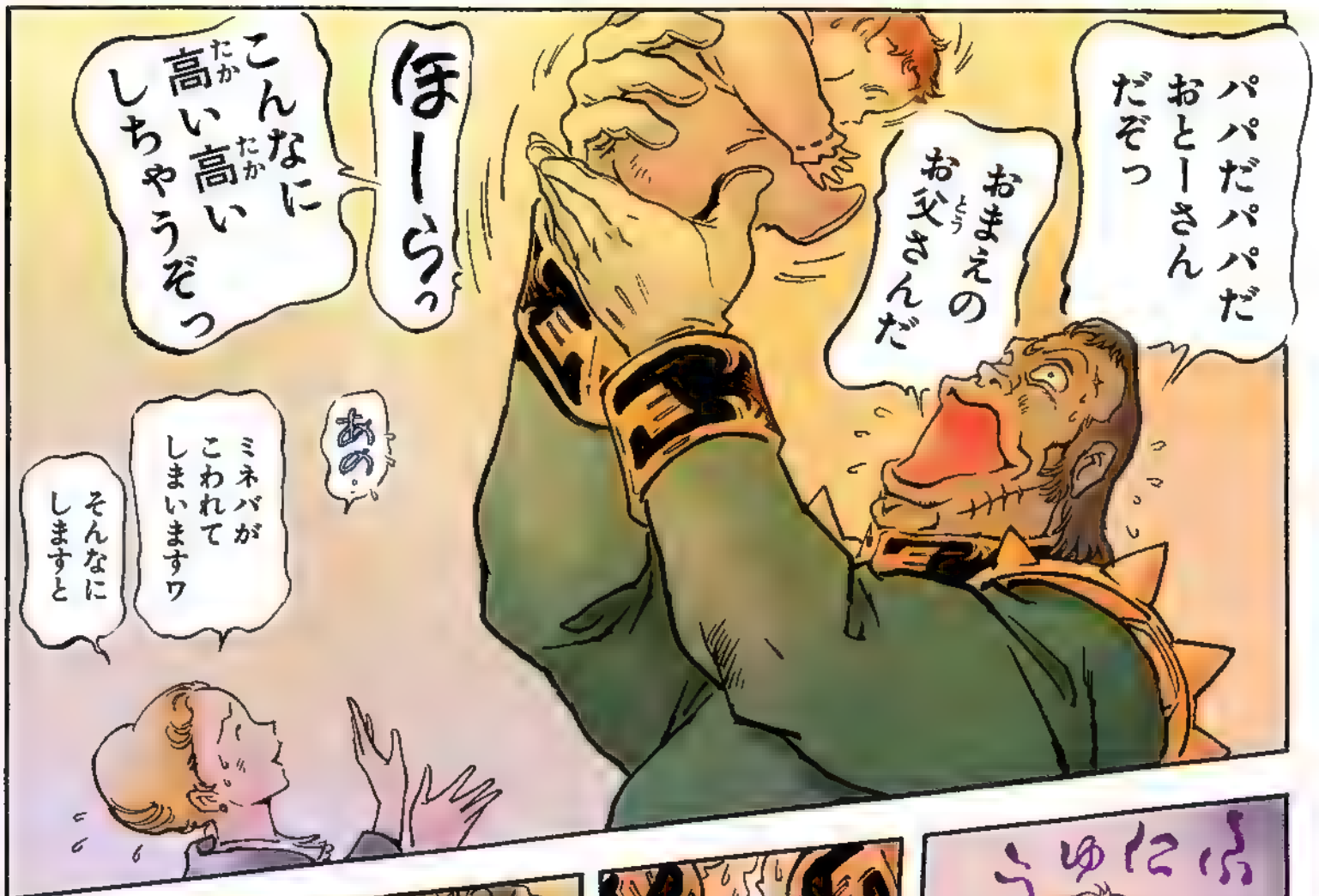
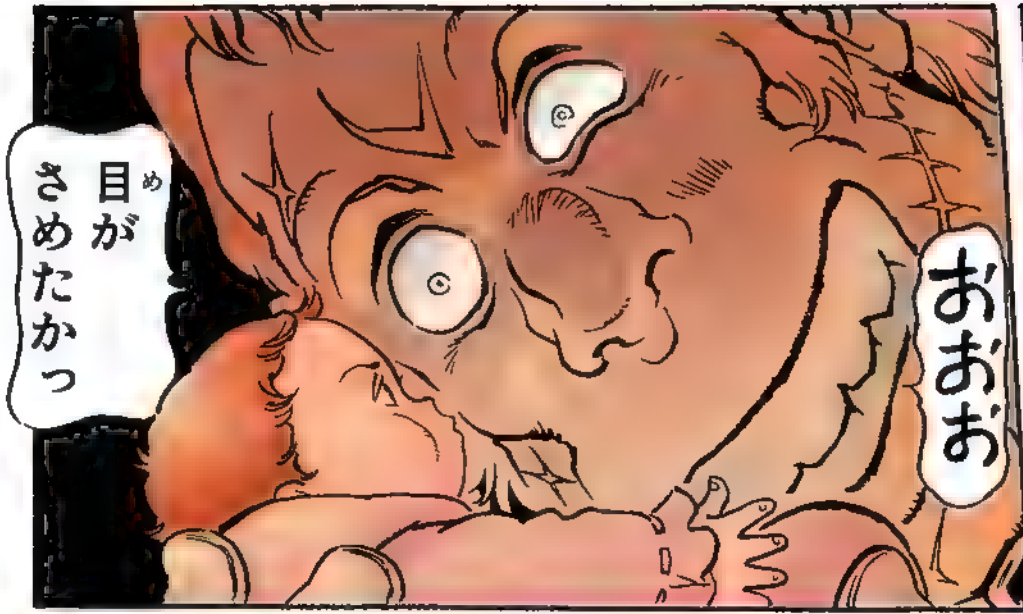
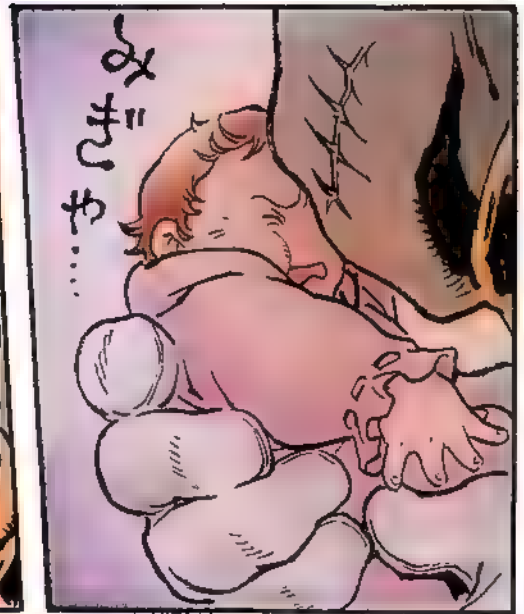


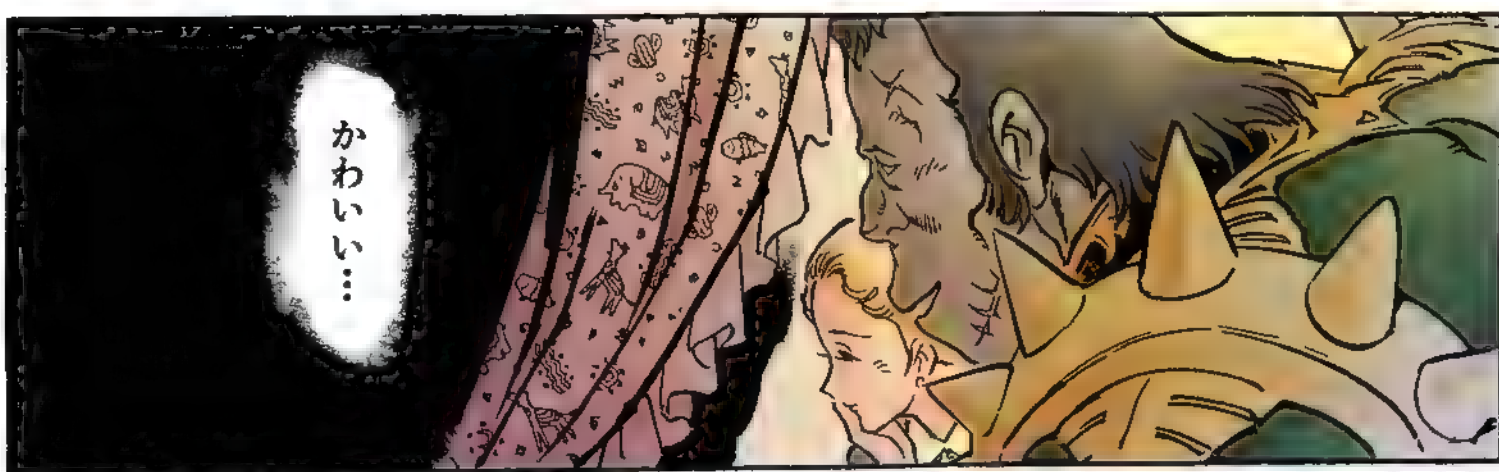


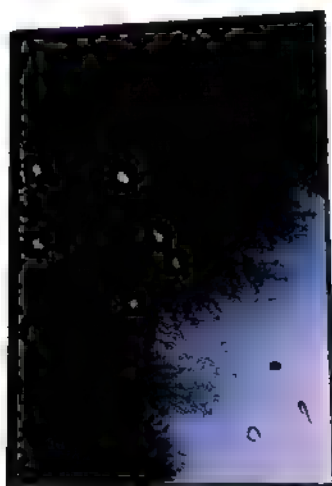
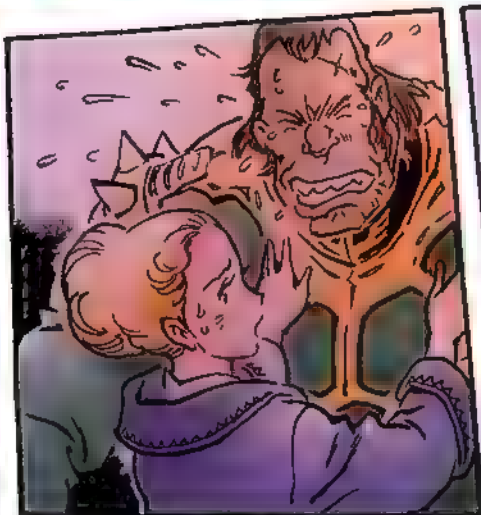
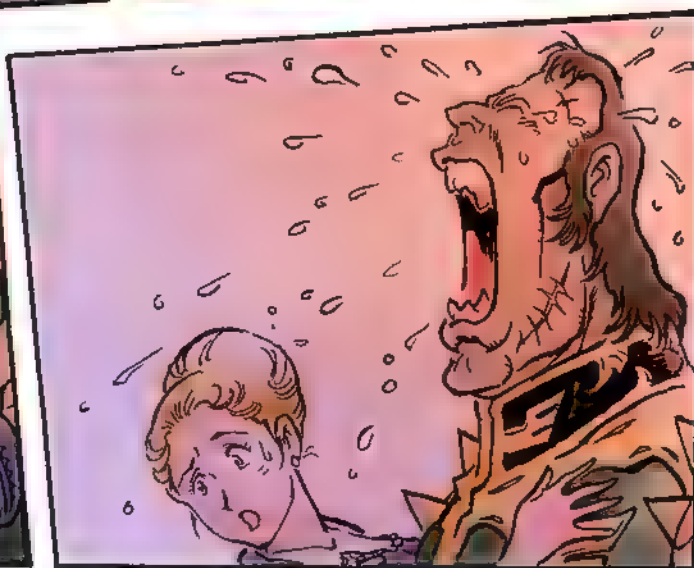
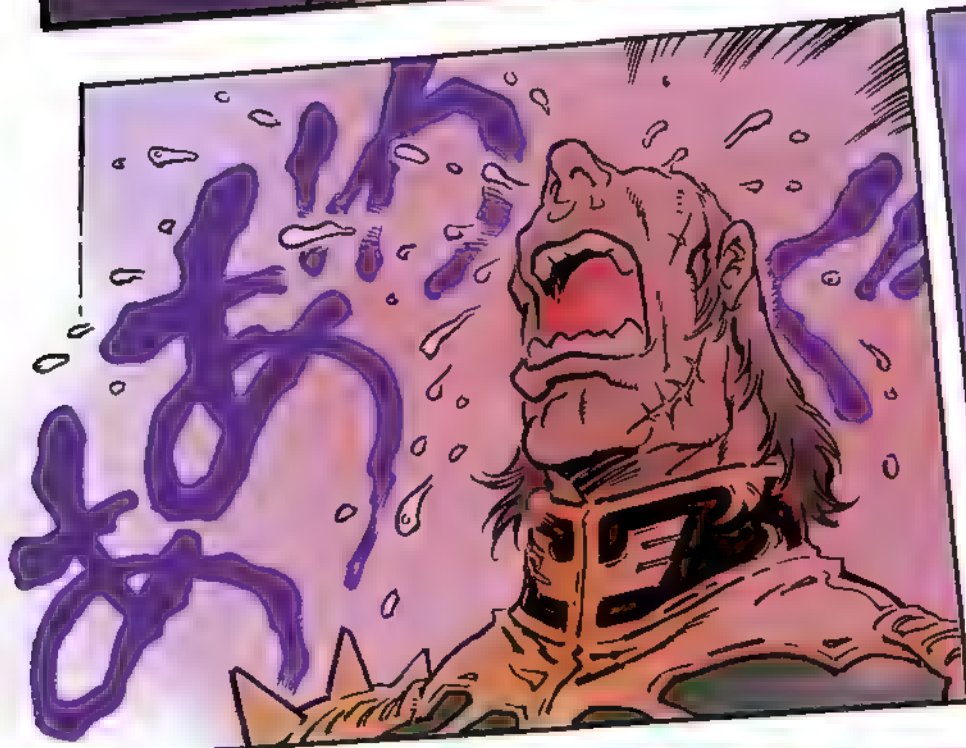
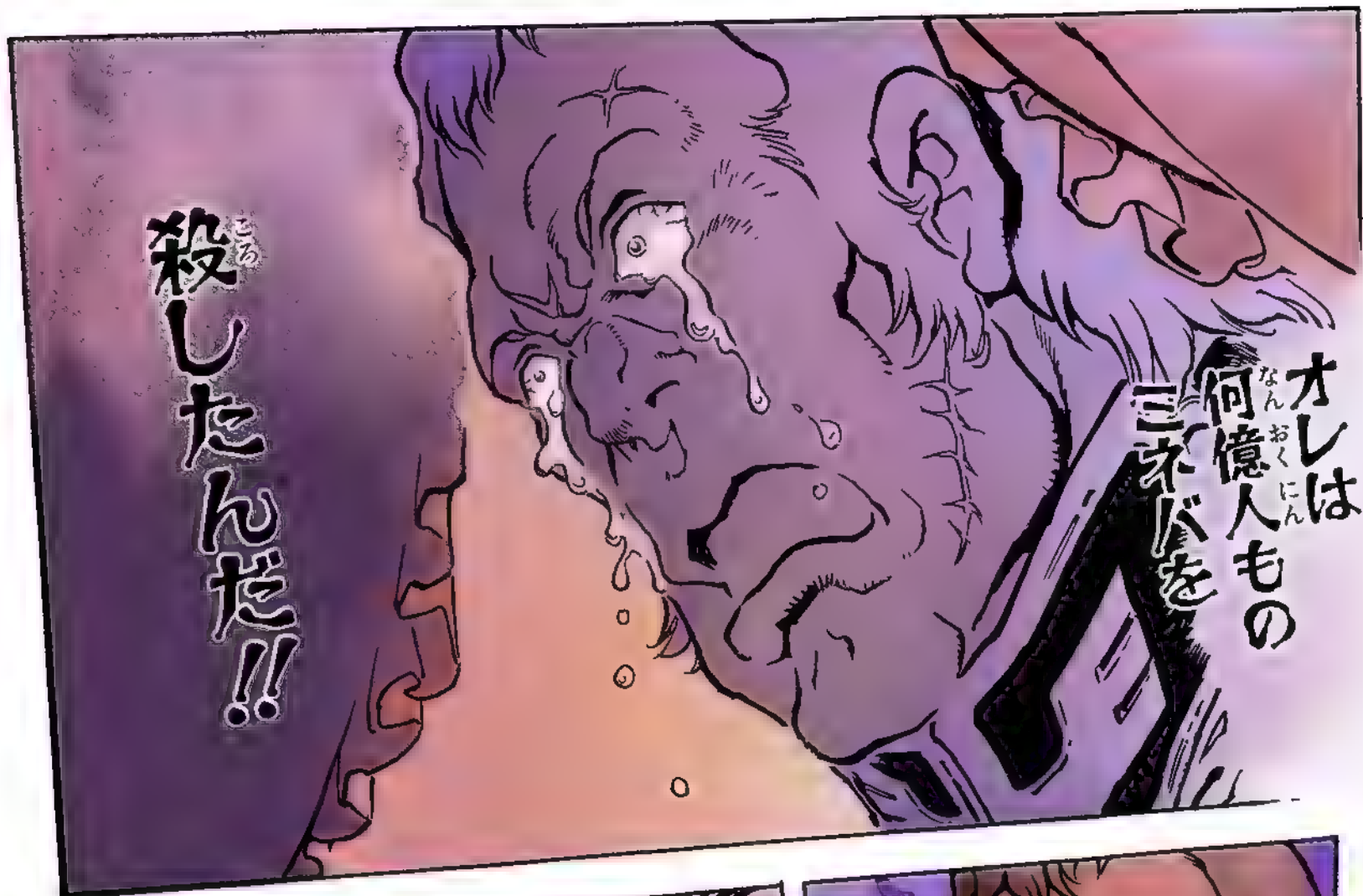


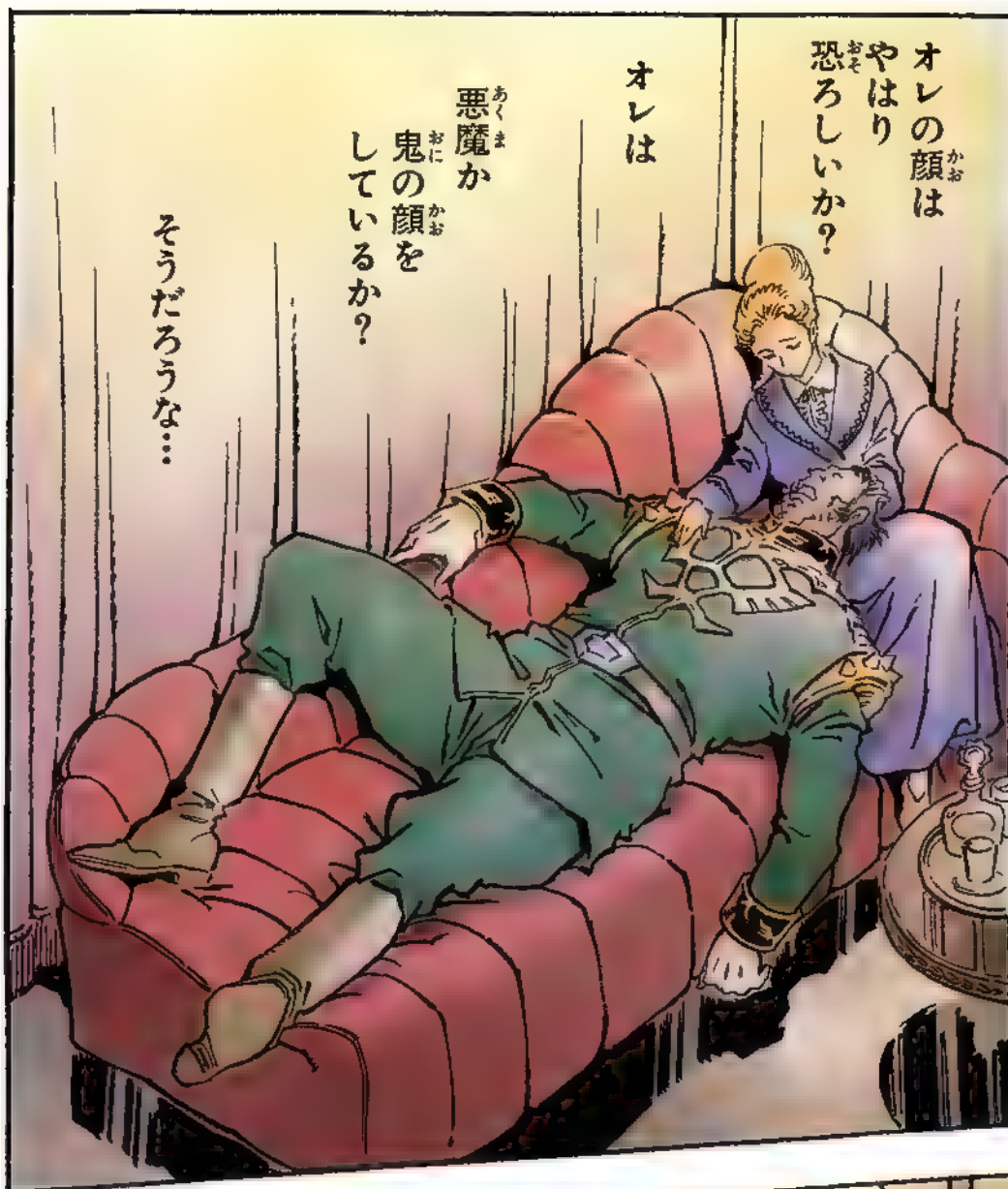










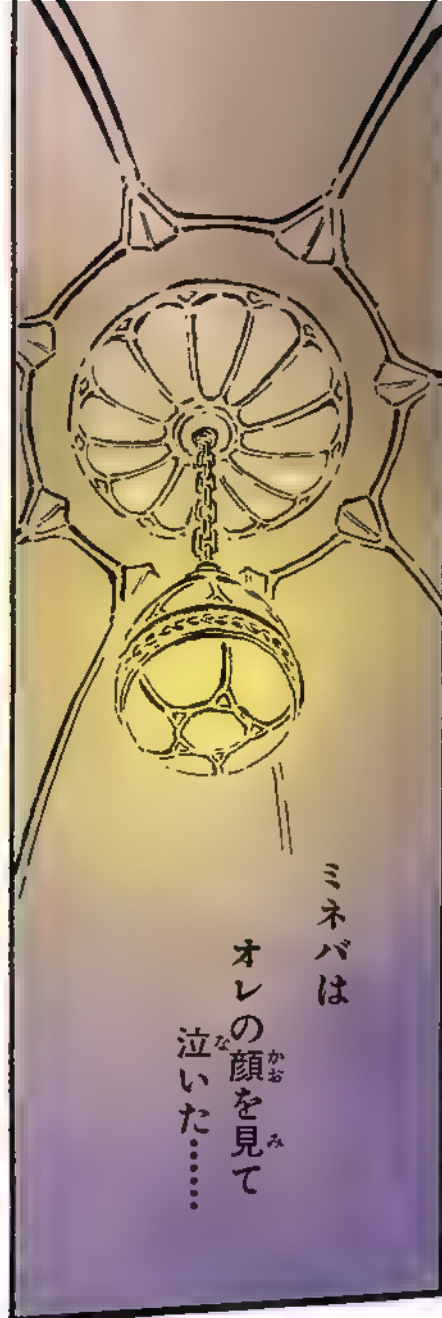


オレの顔は
やはり
恐ろしいか？

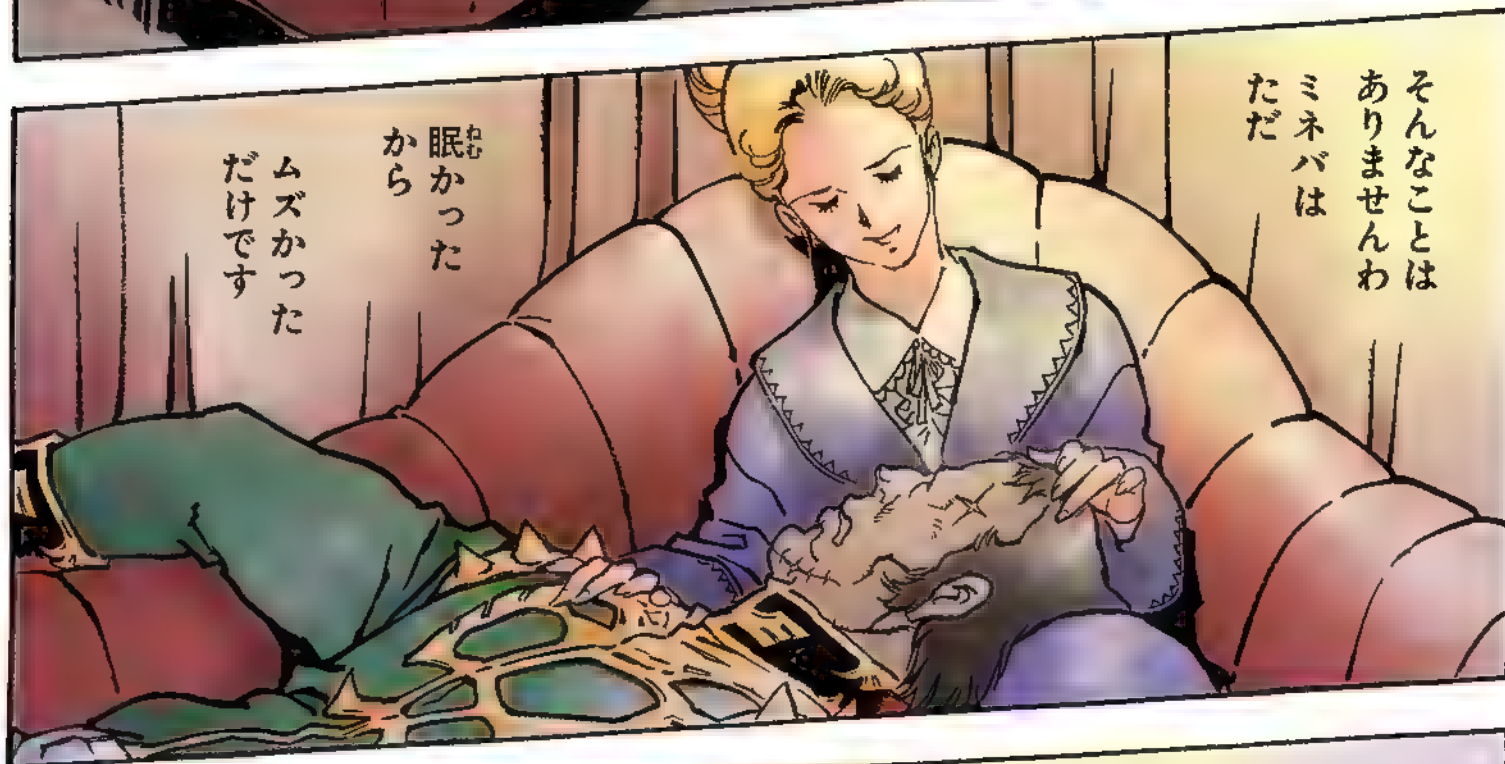
オレは

悪魔か
鬼の顔を
しているか？

そうだろうな...

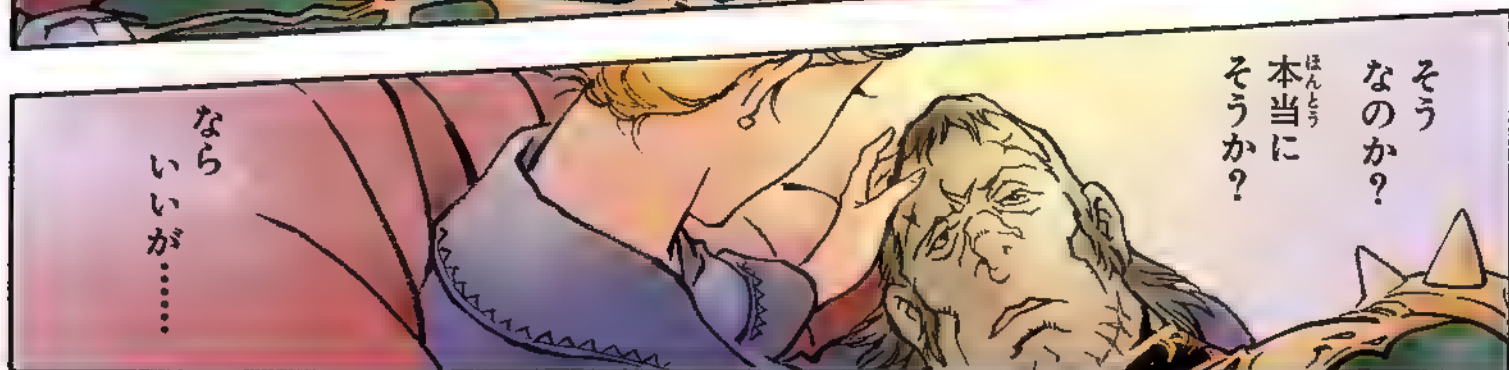


ミネバは
オレの顔を見て
泣いた...



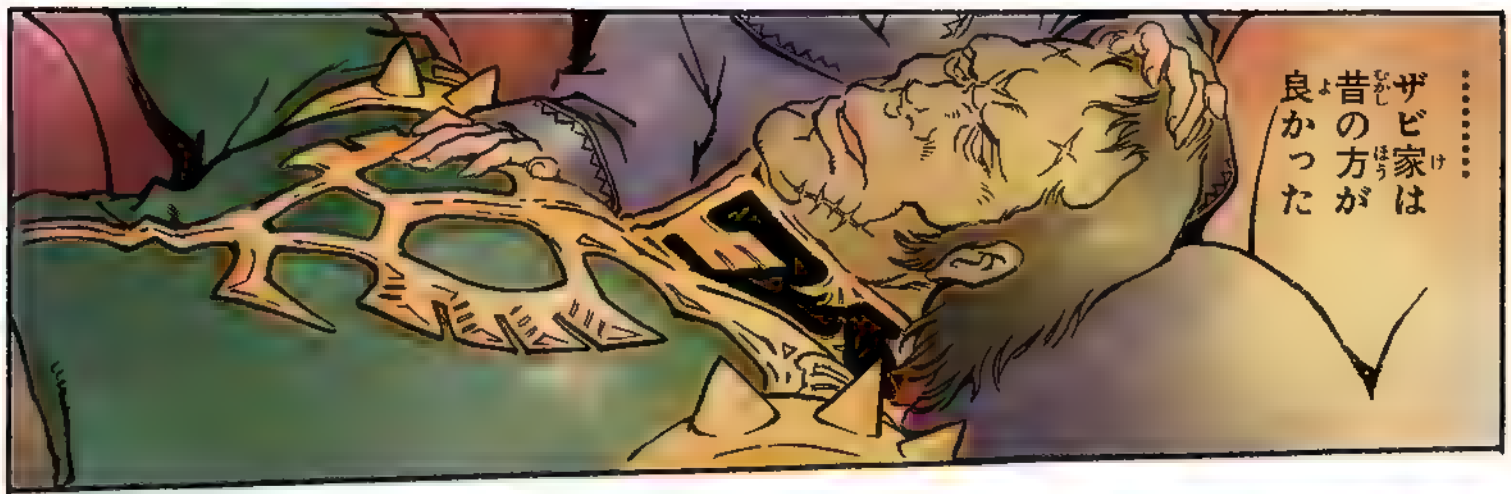
そんなことは
ありませんわ
ミネバは
ただ

眠かった
から
ムズかった
だけです

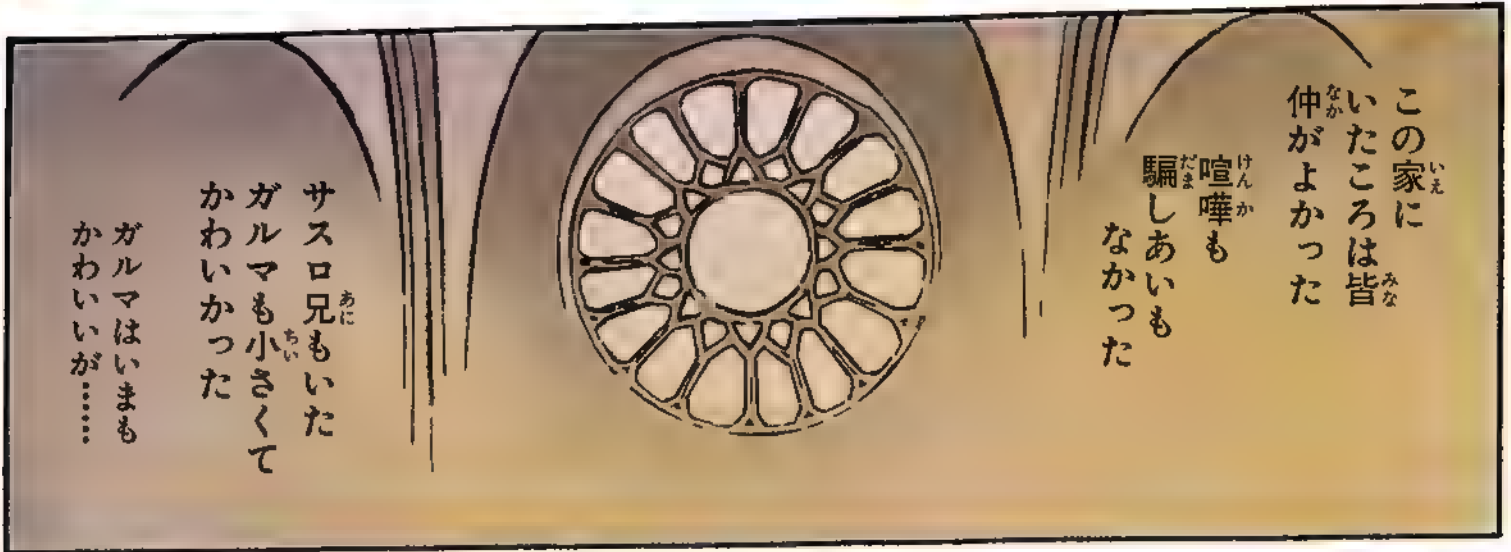


そう
なのか？
本当に
そうか？

なら
いいが...

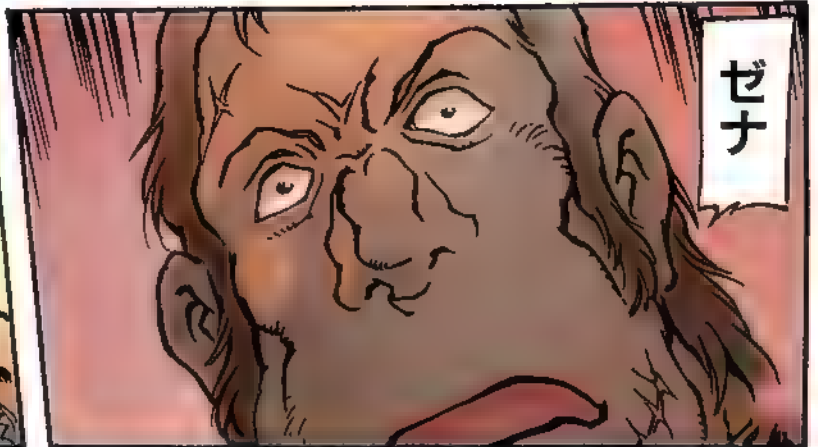
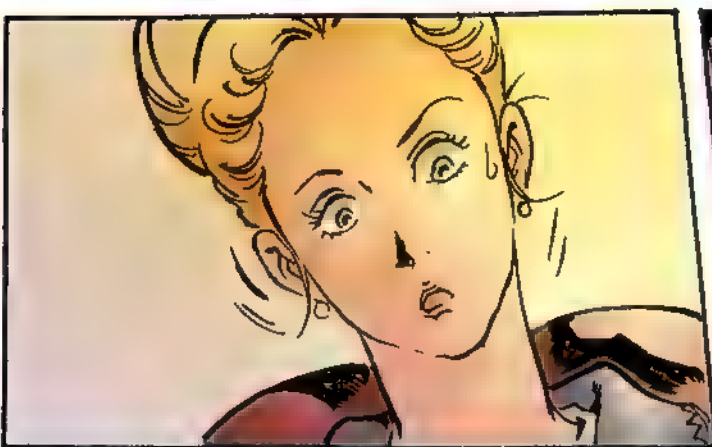


.....
ザビ家は
昔の方が
良かった

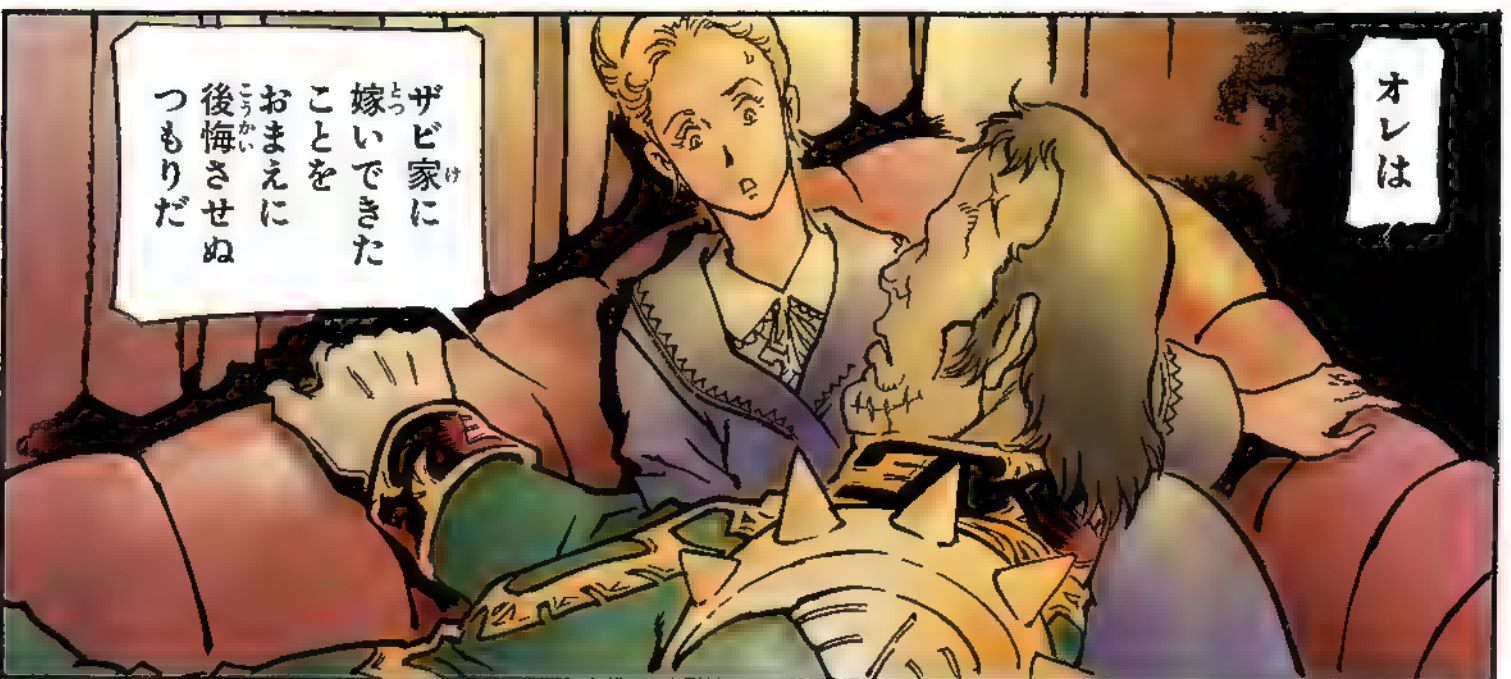


この家に
いたころは皆
仲がよかった
喧嘩も
騙しあいも
なかった

サスロ兄もいた
ガルマも小さくて
かわいかった
ガルマはいまも
かわいいが.....

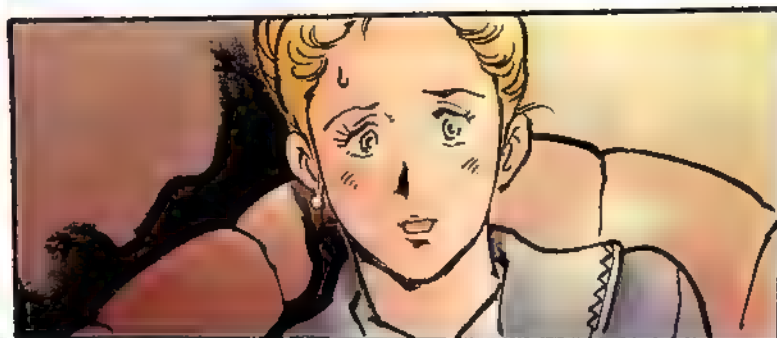
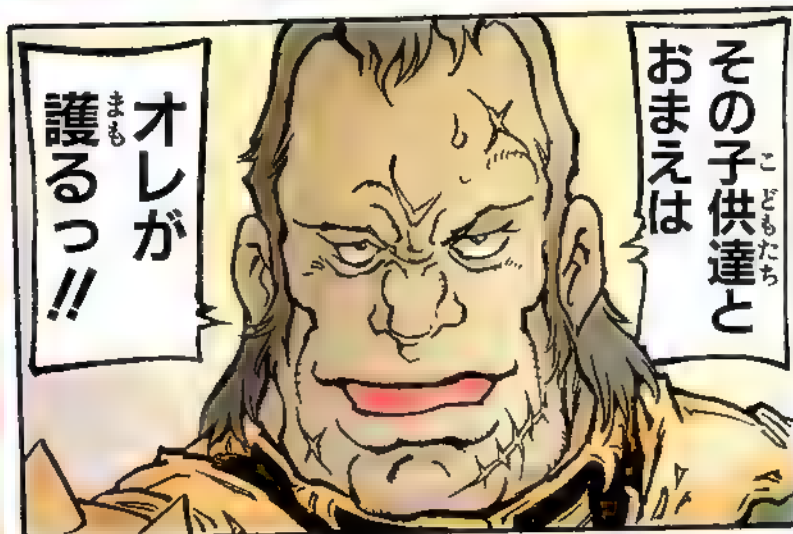
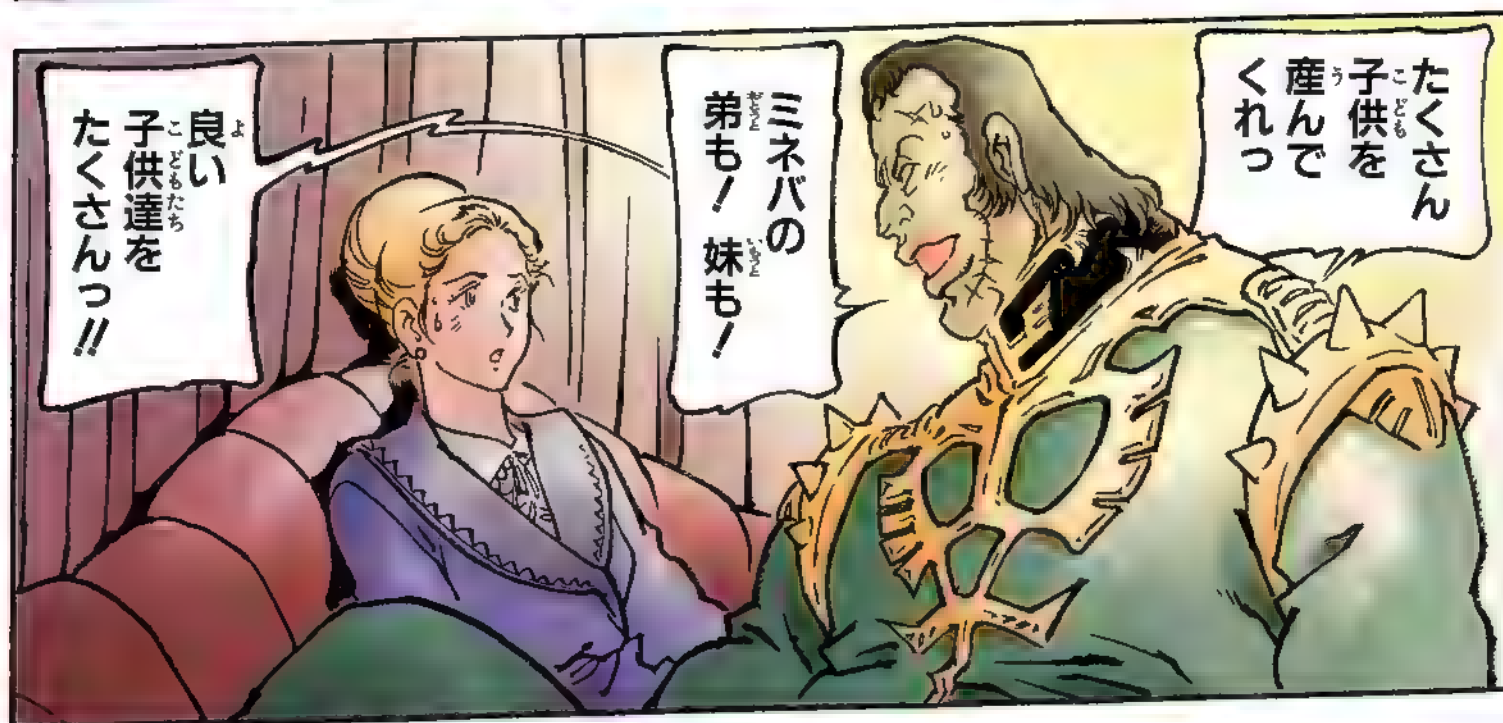
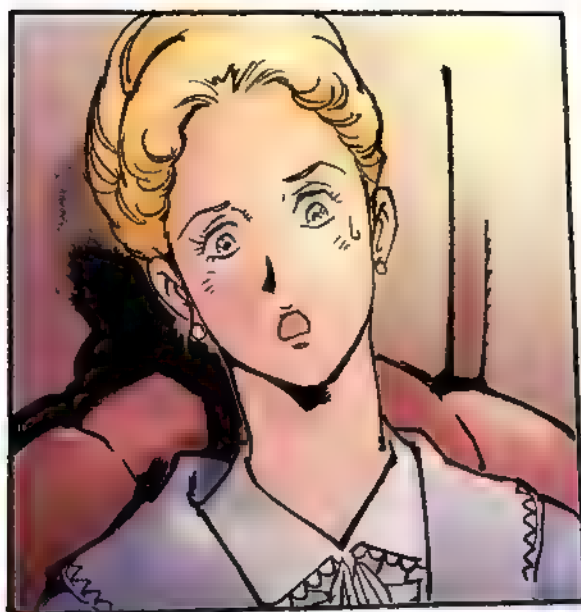


ゼナ



オレは

ザビ家に
嫁いできた
ことを
おまえに
後悔させぬ
つもりだ



そうかつ

これが戦いの
真実だつ

愛する者が
おればこそ人は
戦わねばならぬ!!

ハツテの奴等も
連邦もつ

弱かったから
いけないんだ!!

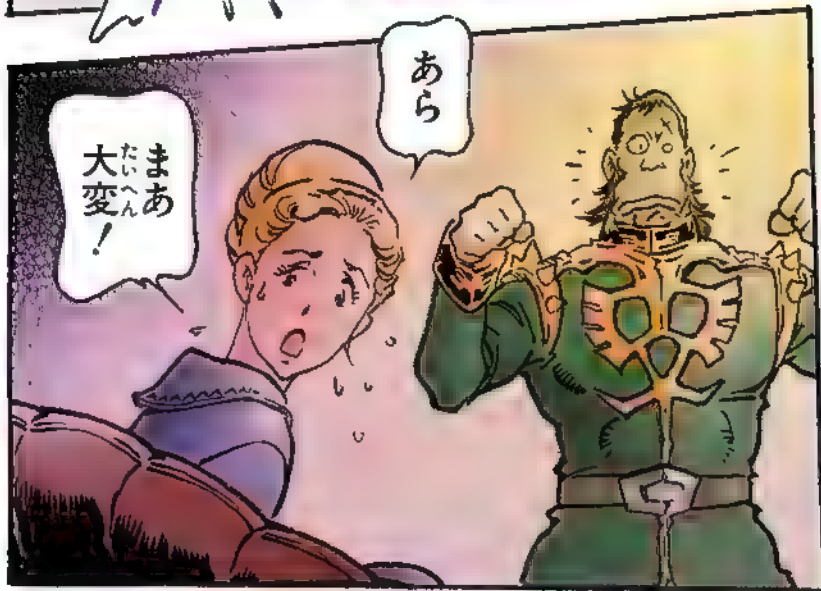
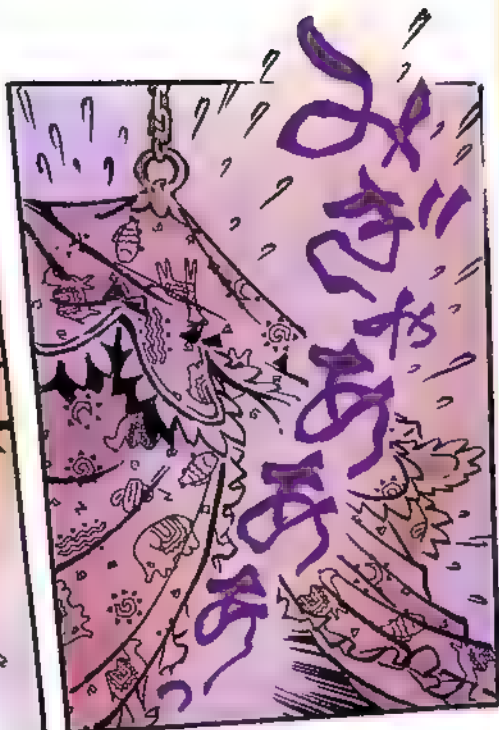
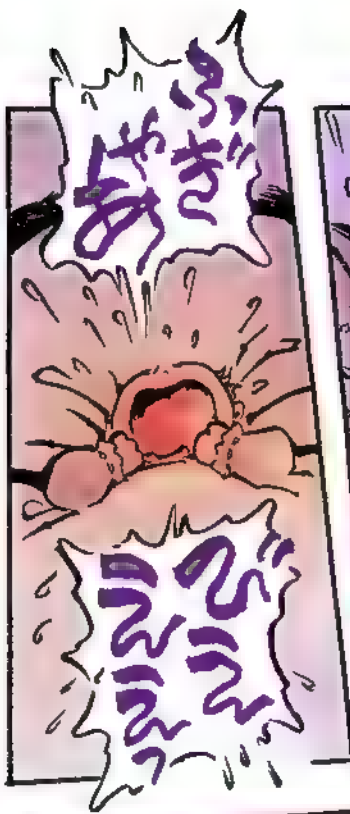
奴等は奴等の
ミネバを護り
きれなかった!

フザマと
いうべきだ!

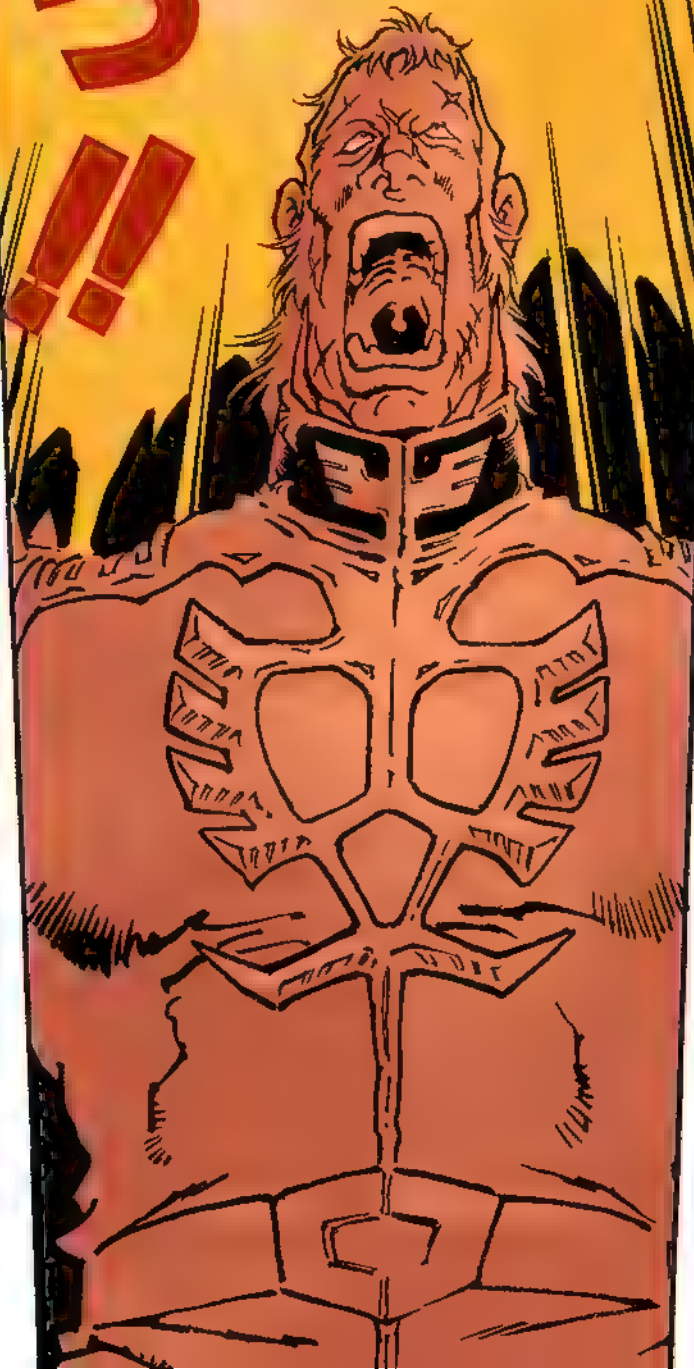
オレは
奴等とは
ちがうぞつ!!

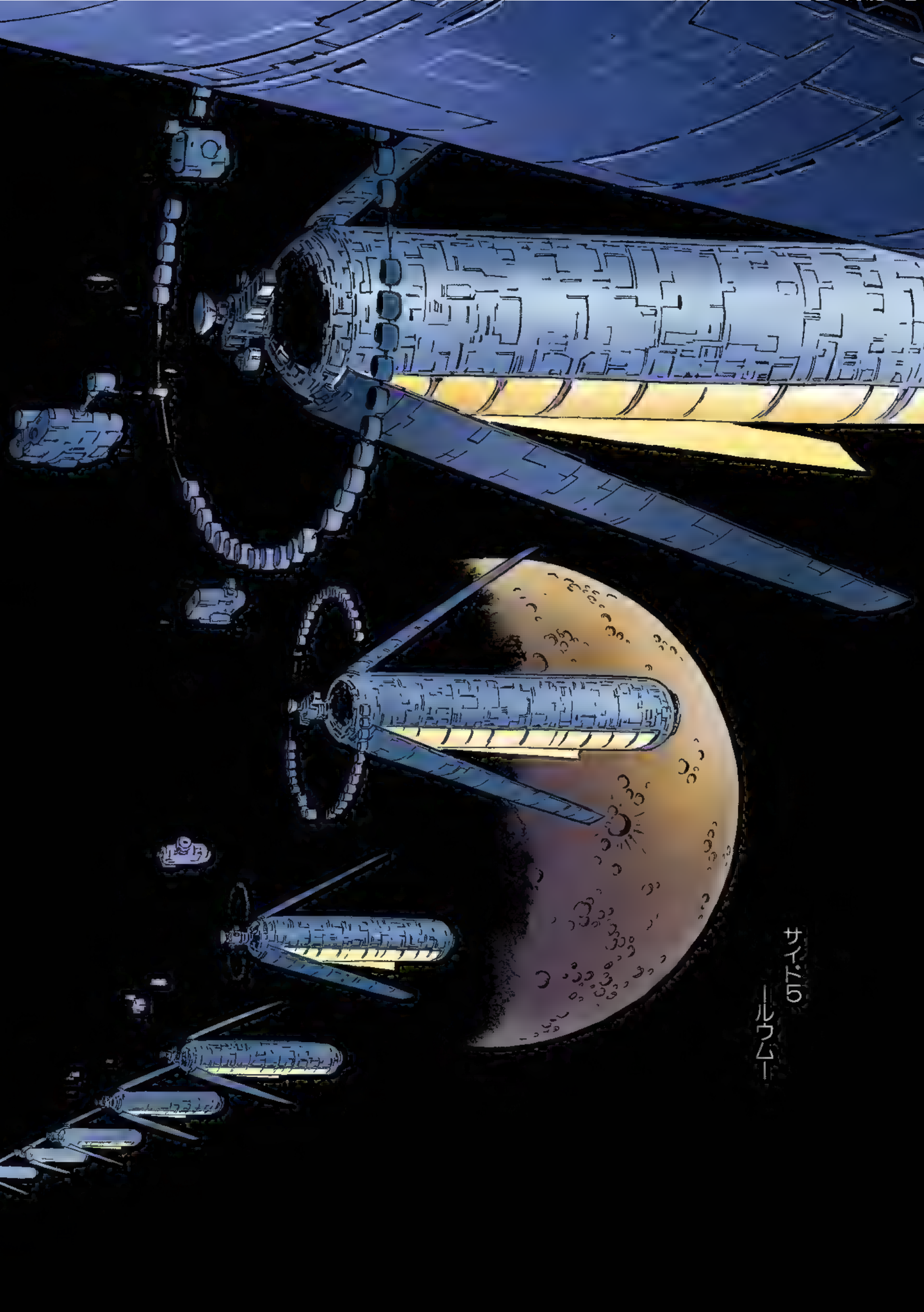
叩き潰して
やるつ!!

オレのミネバと
ゼナに連邦の
奴等には指一本
触れさせんぞつ!!

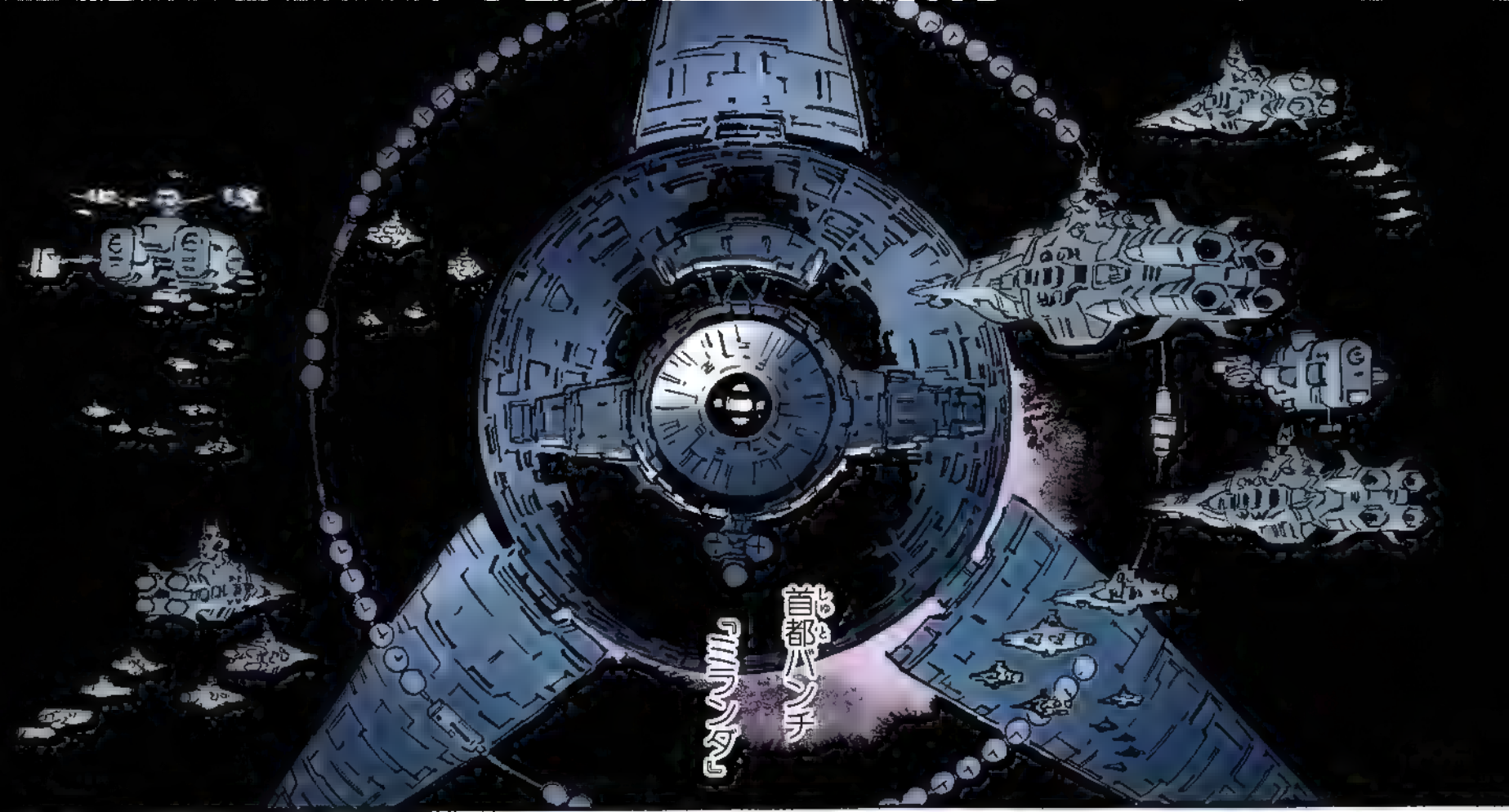


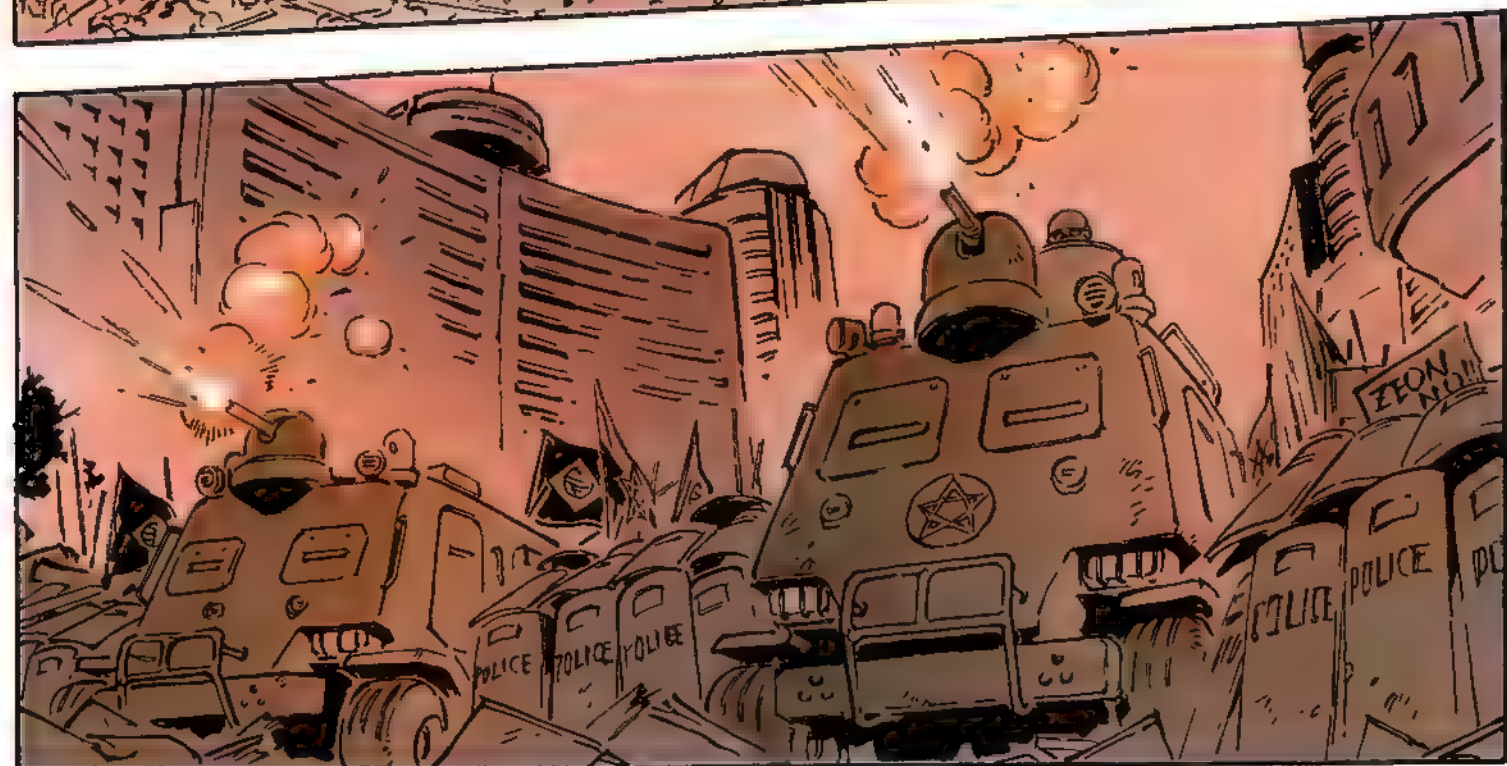
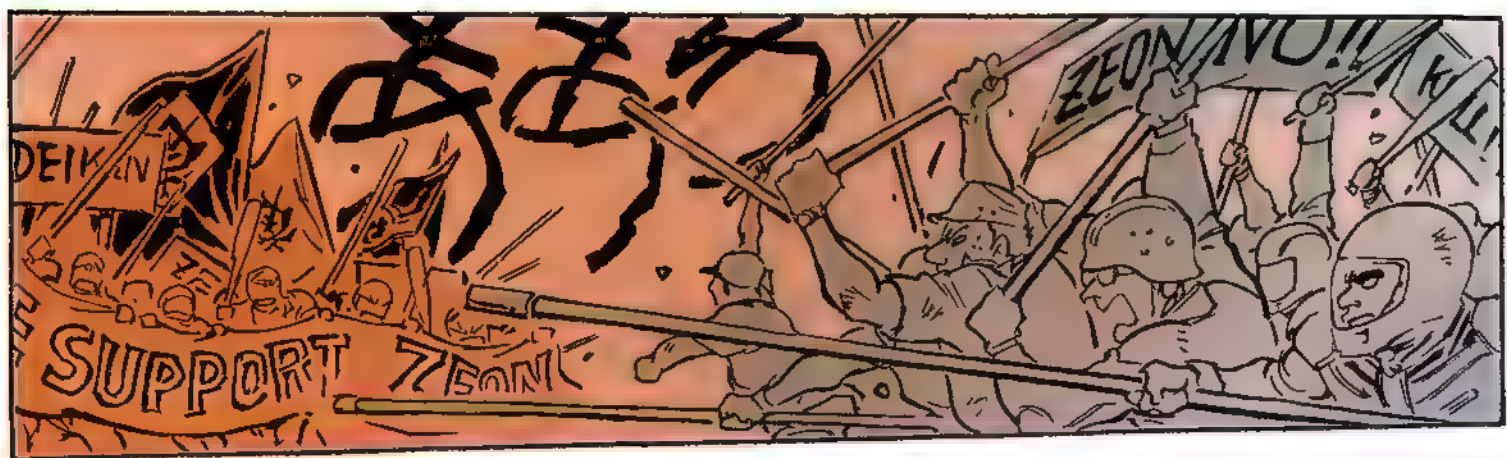
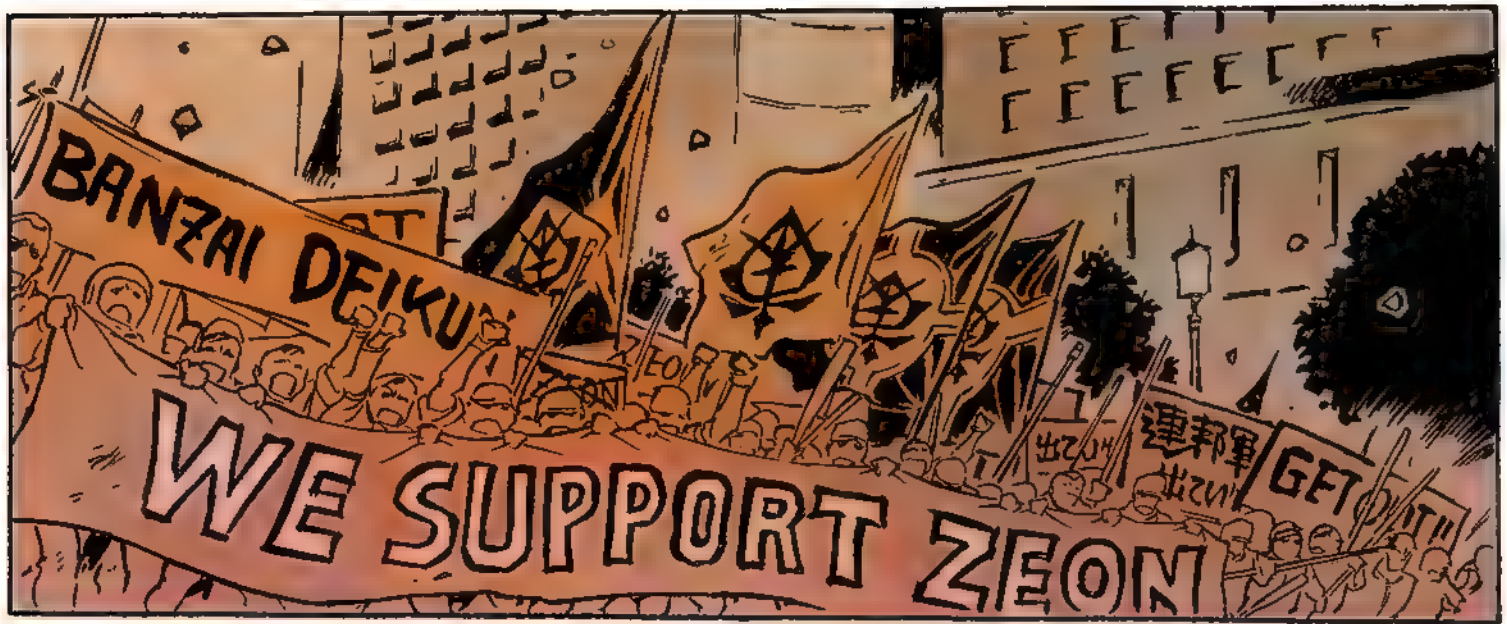
オレは
負けん
ぞおおおっ!!

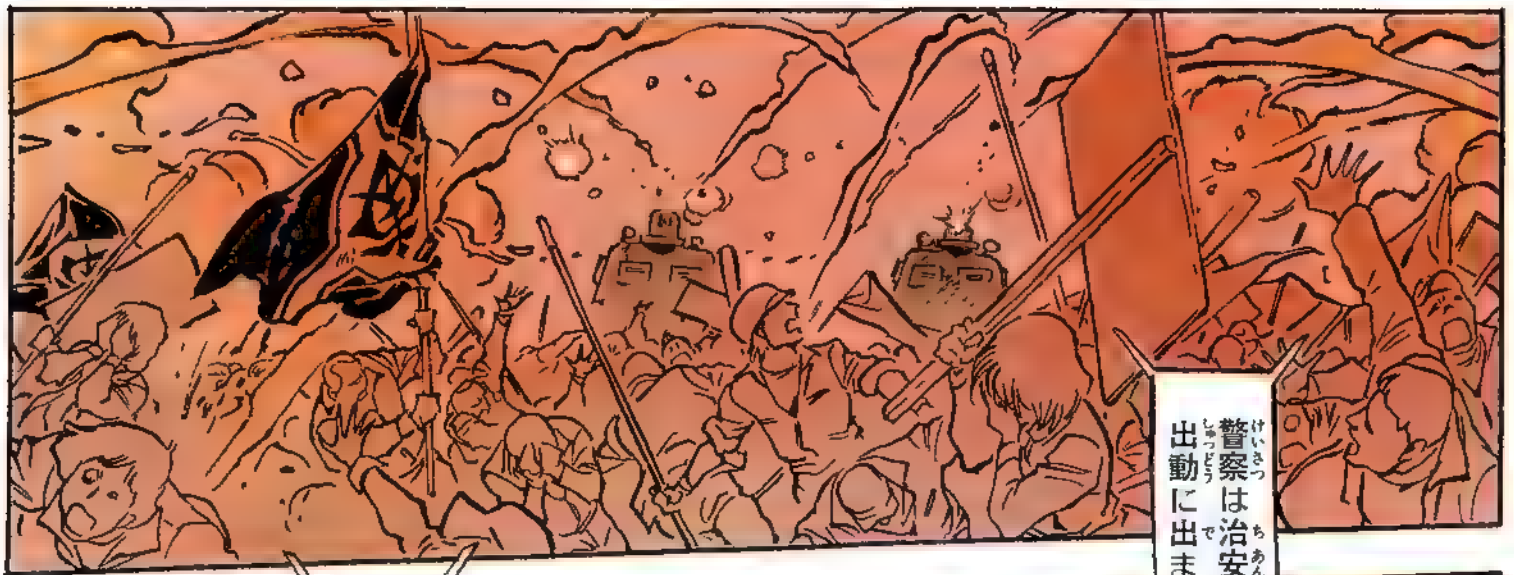




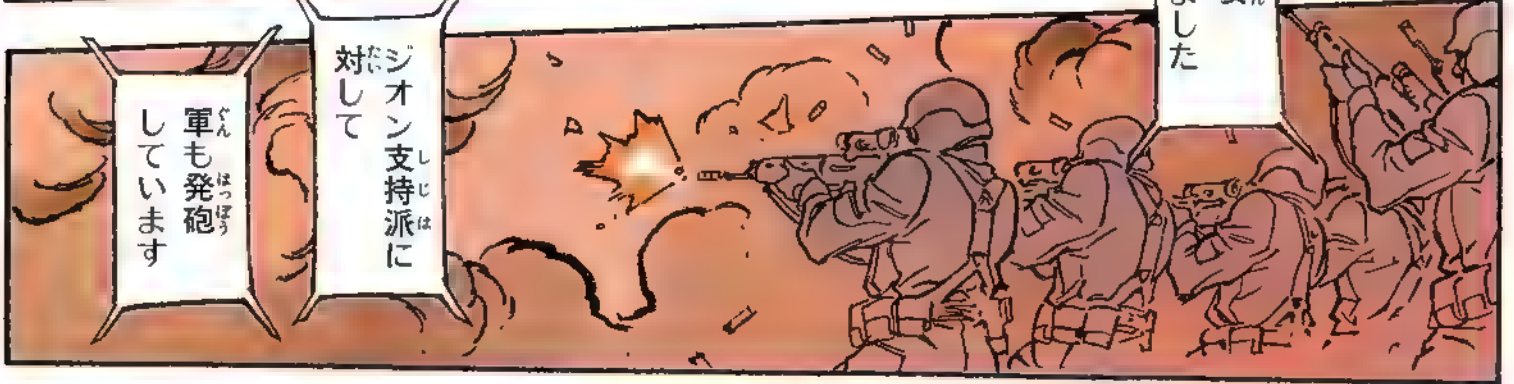
ハイ・ル
—ル—
57.10





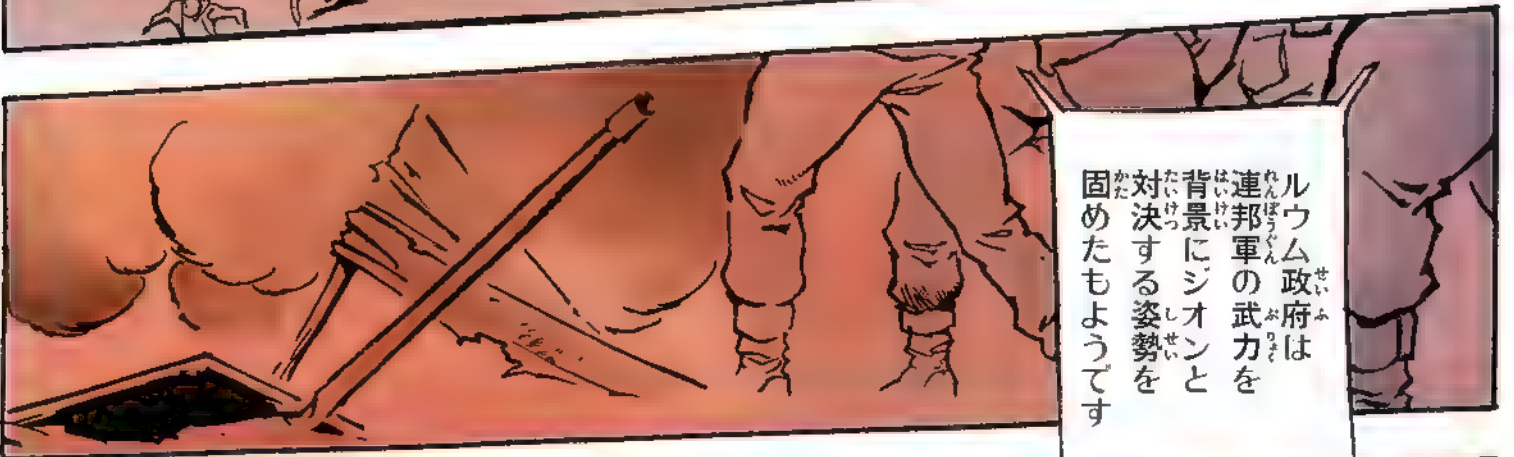


警察は治安
出動に出ました



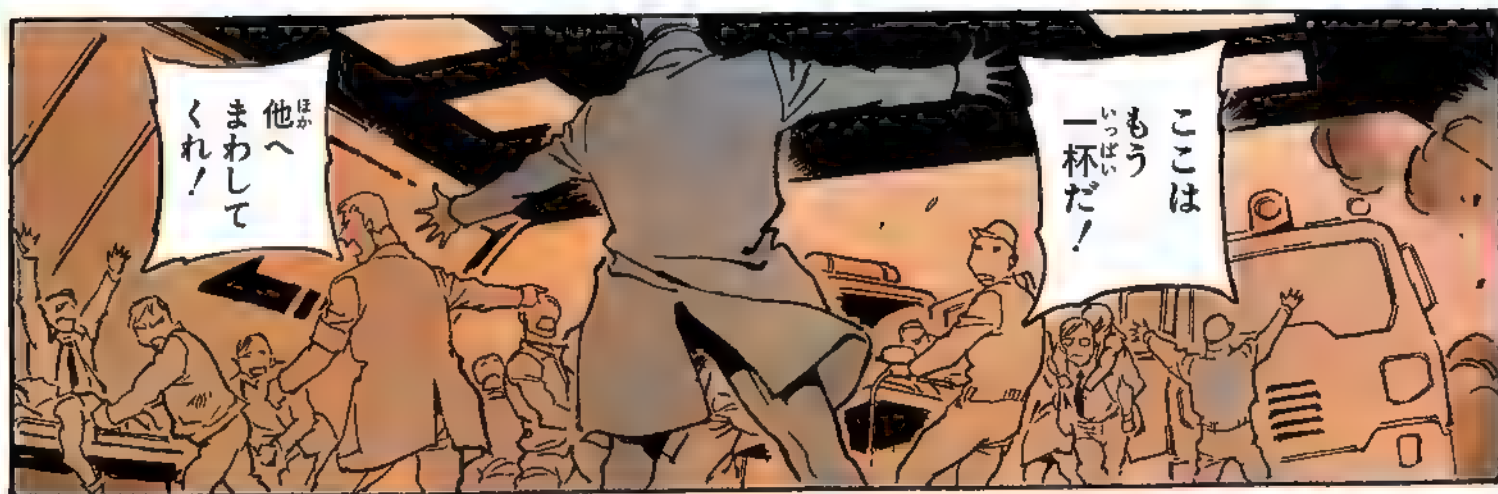
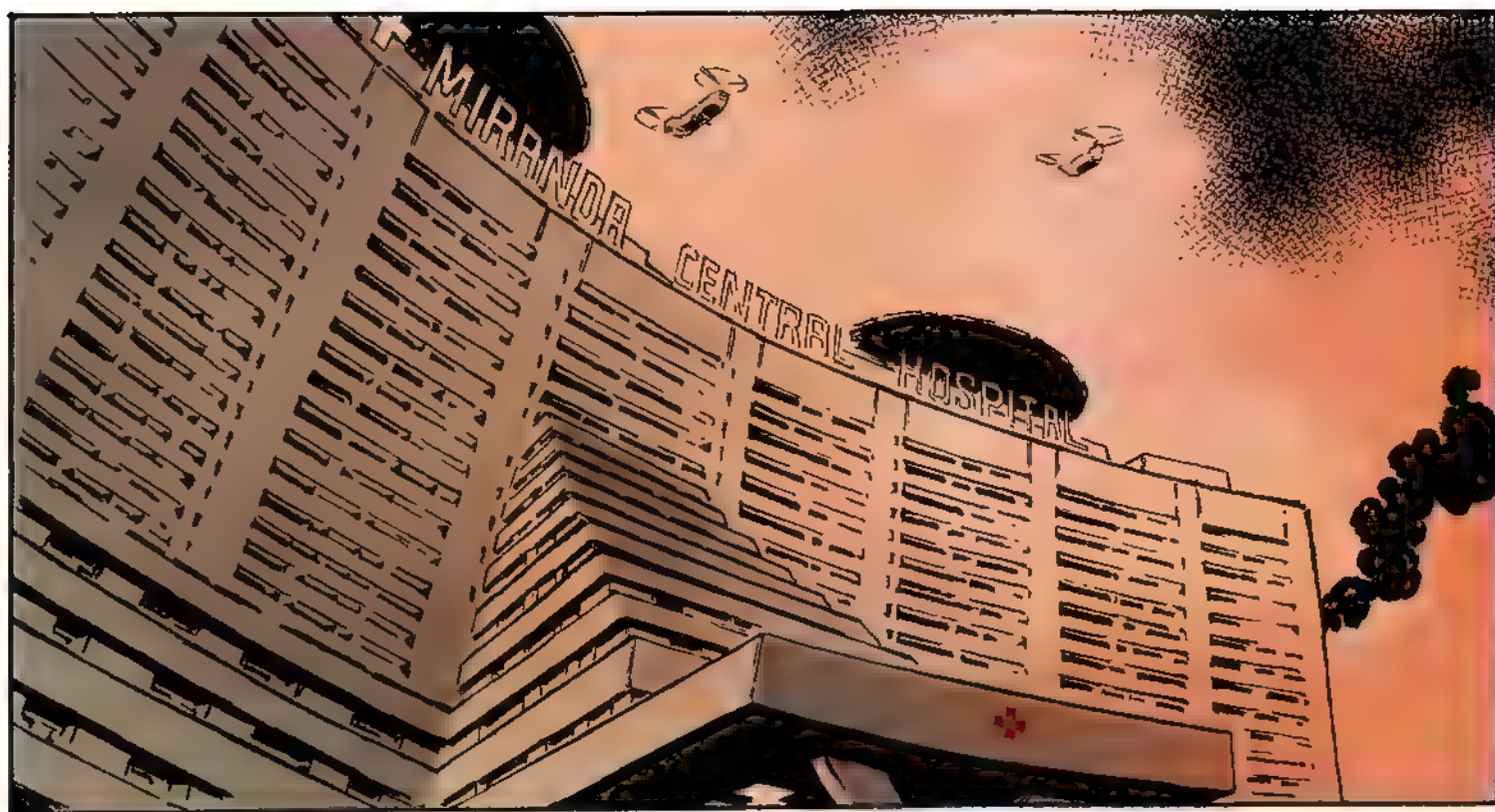
ジオン支持派に
対して

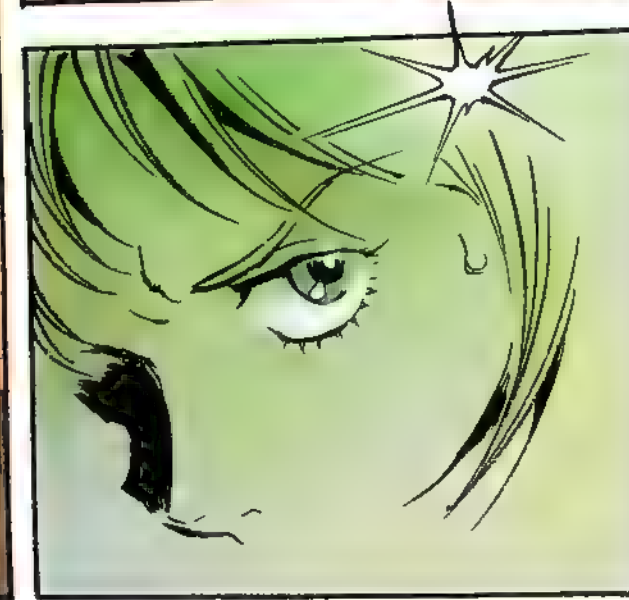
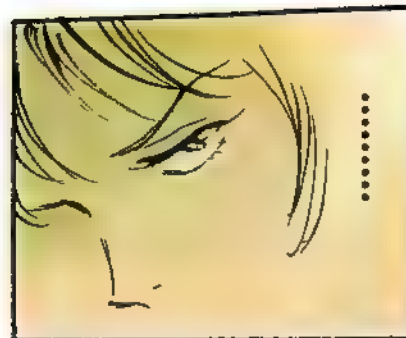
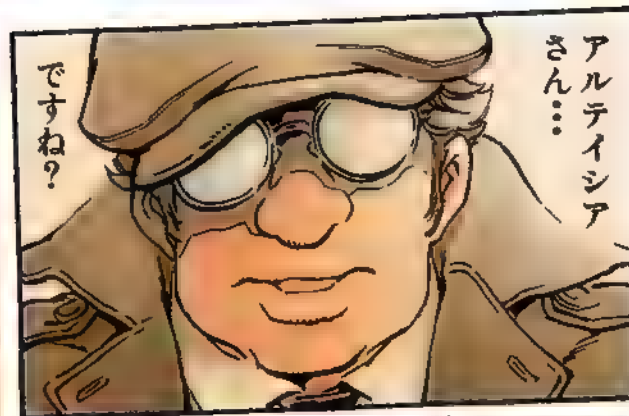
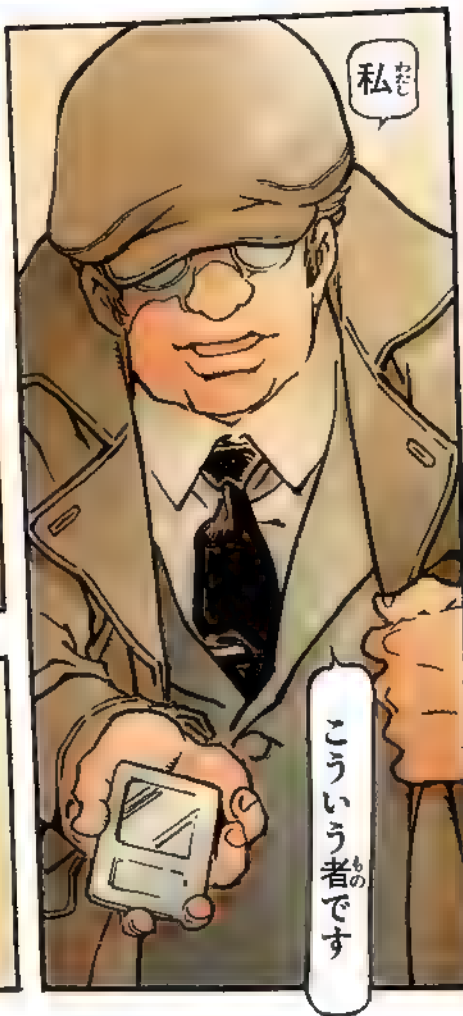
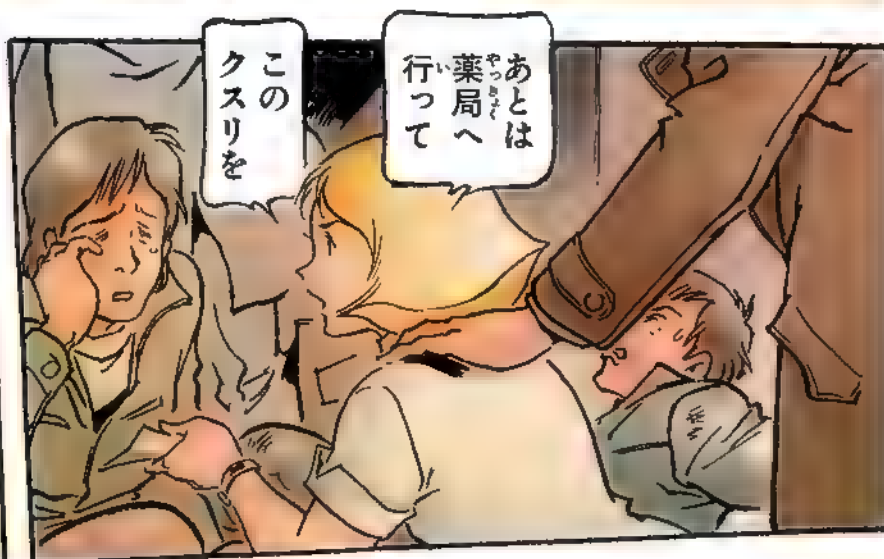
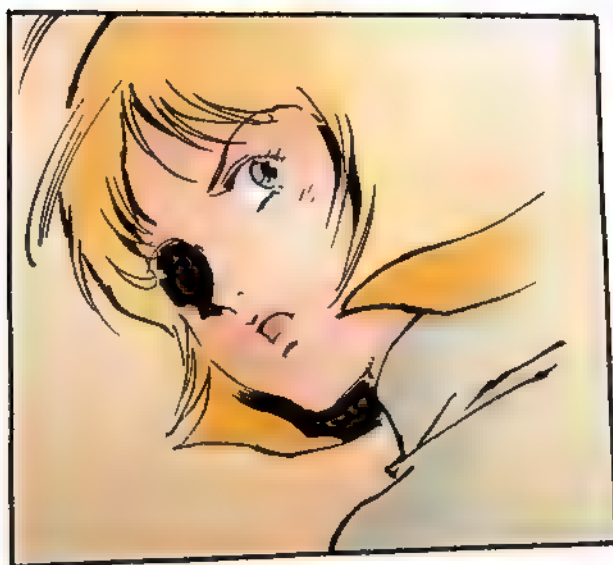
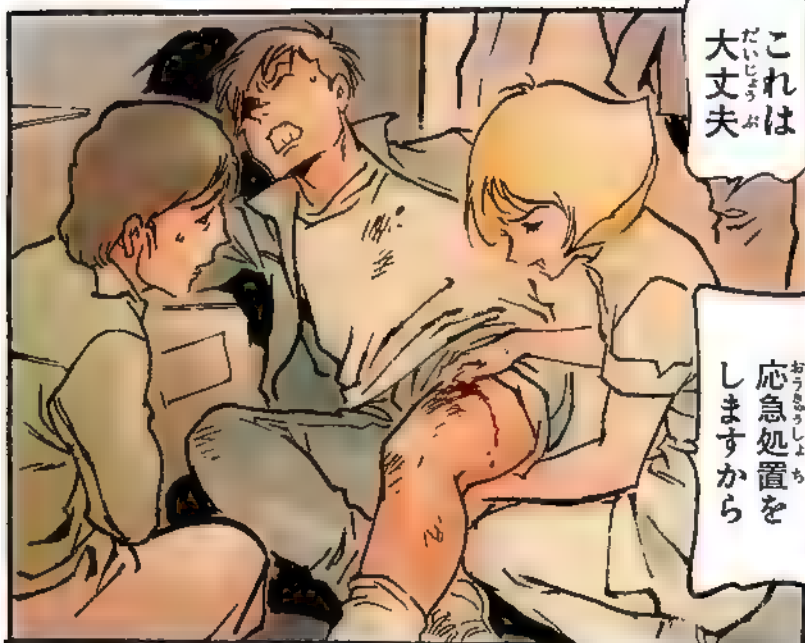
軍も発砲
しています

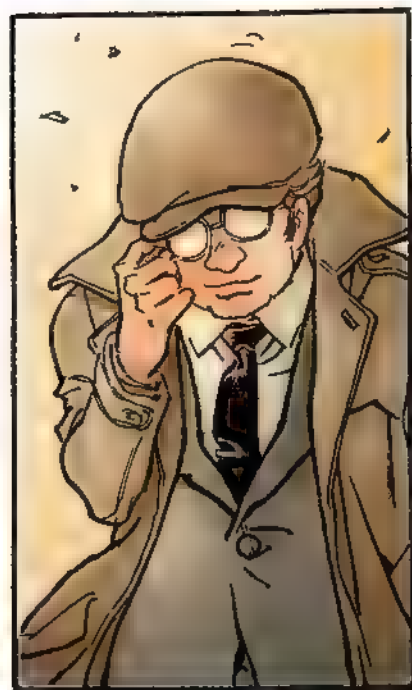
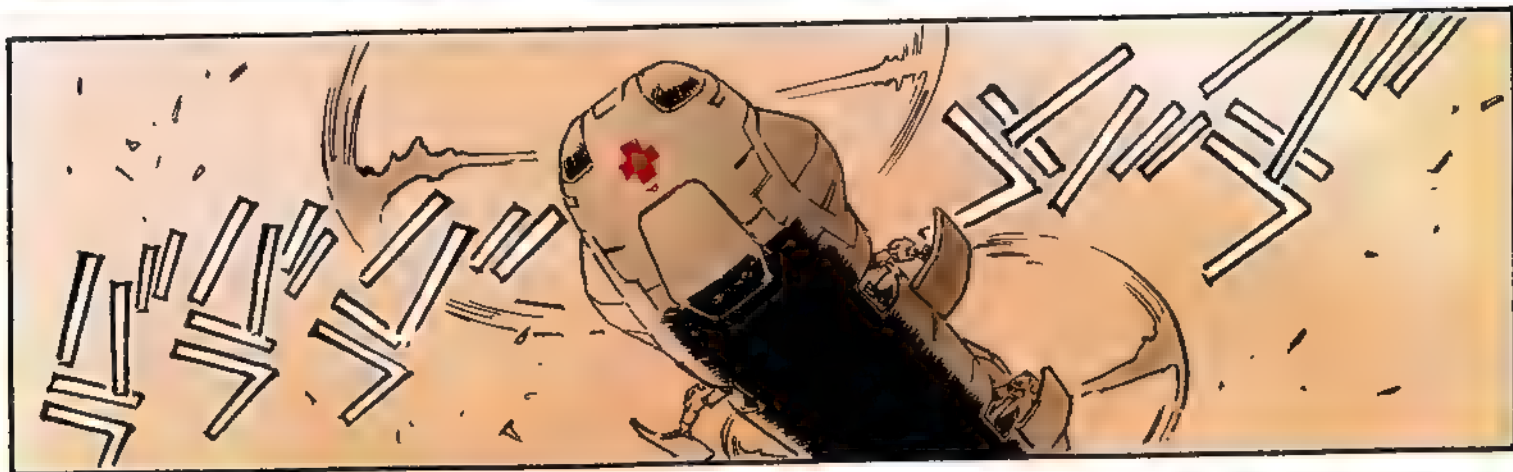
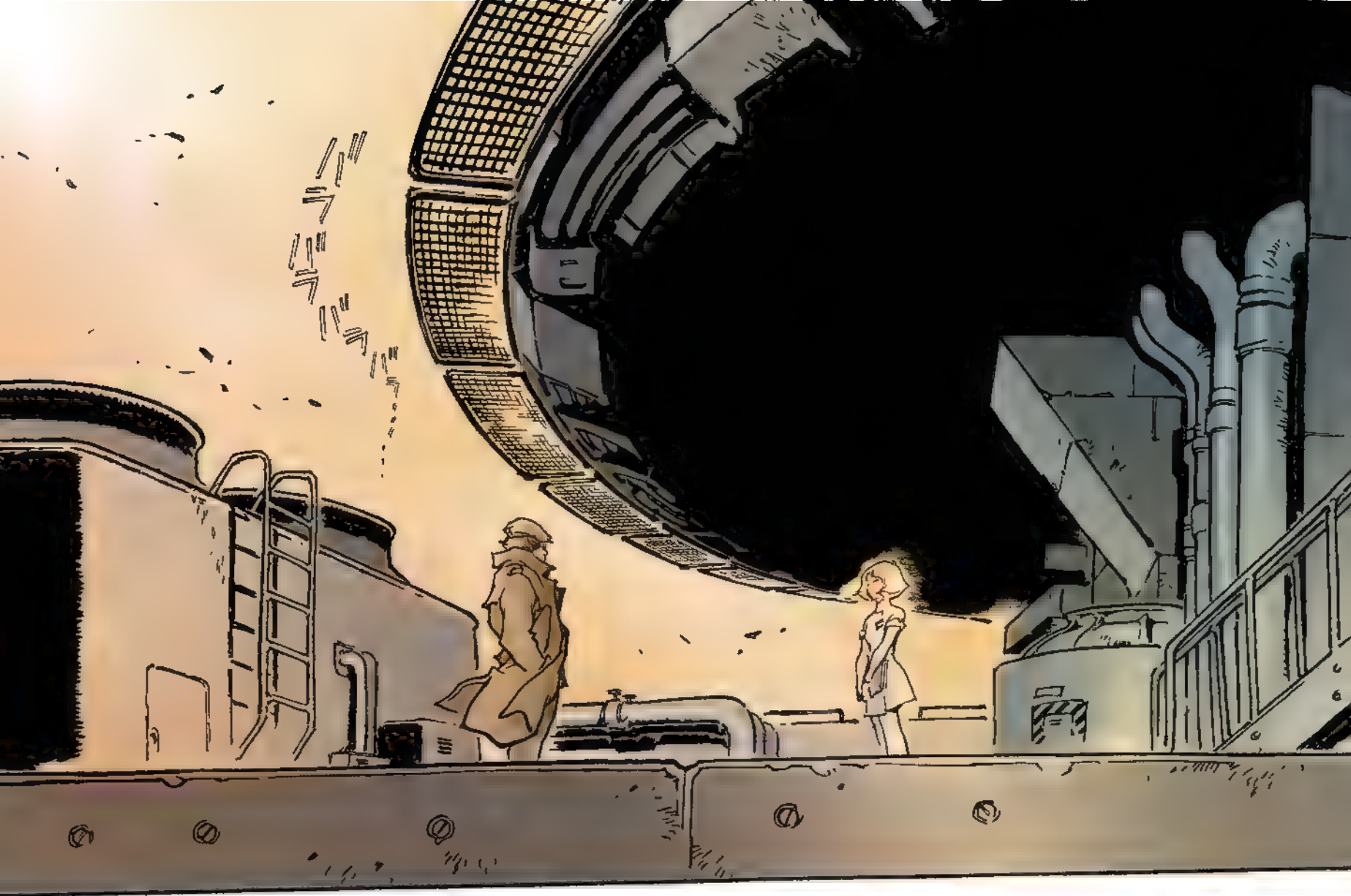


ルウム政府は
連邦軍の武力を
背景にジオンと
対決する姿勢を
固めたもようです



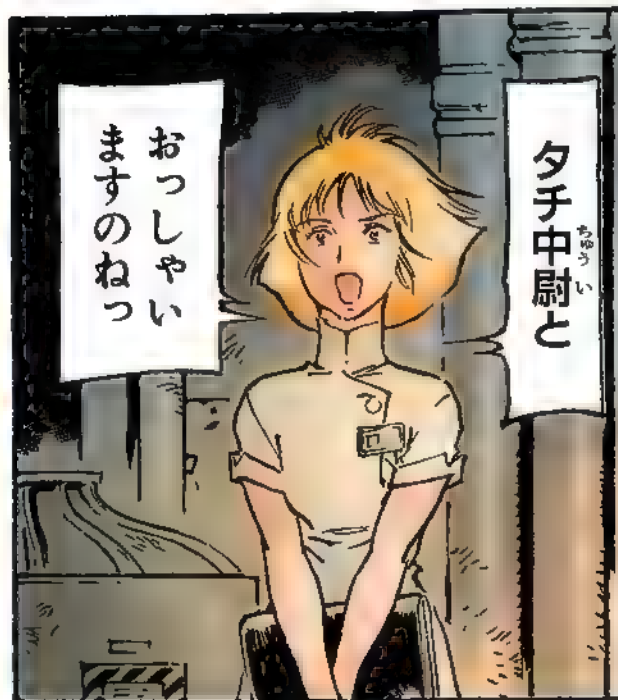






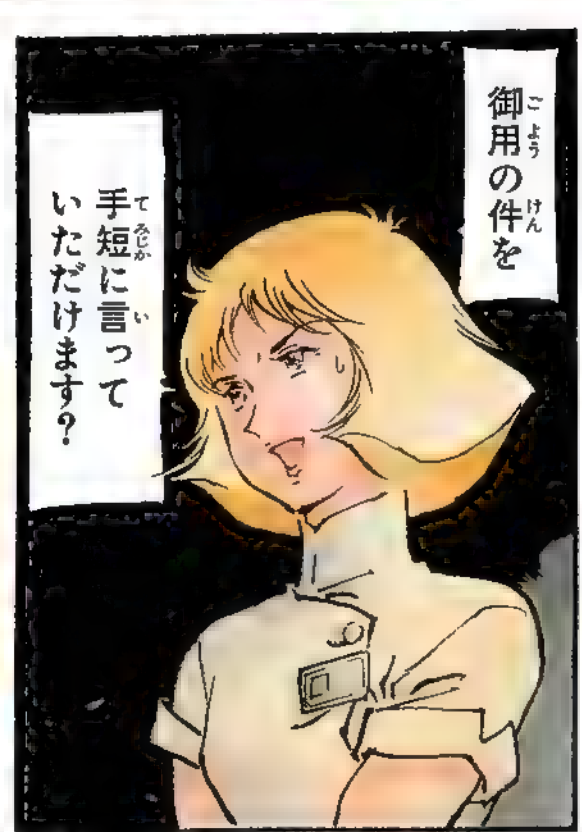
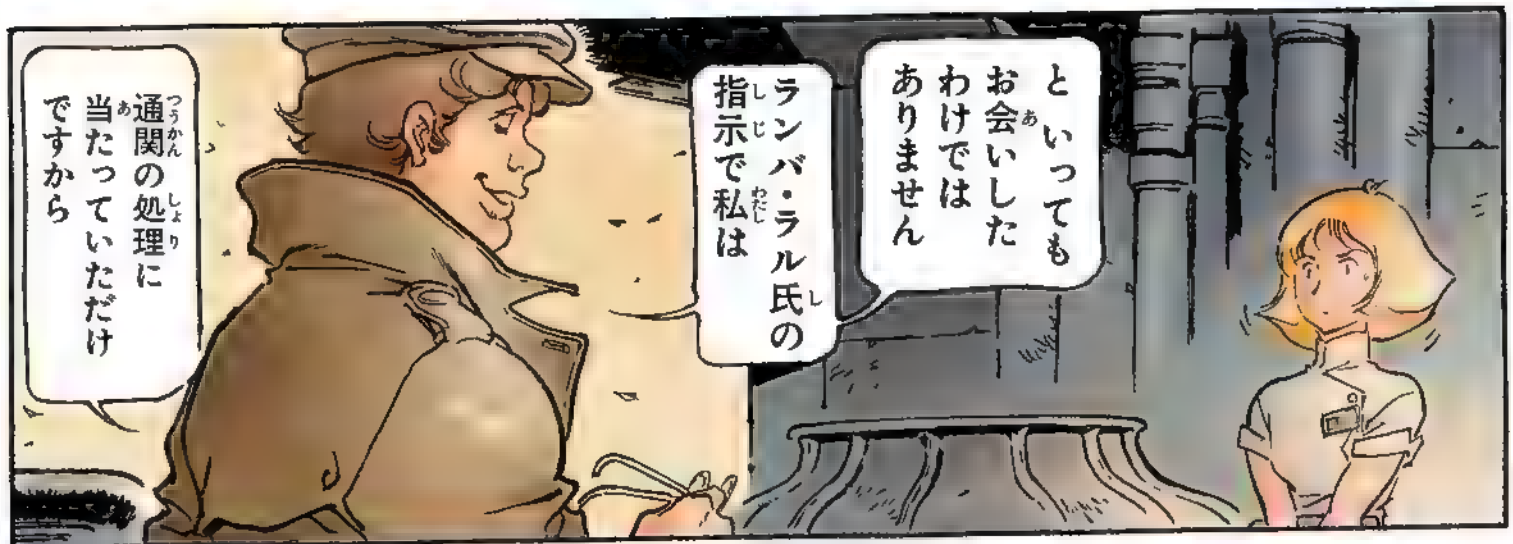
かわった
かたねっ
はじめてです

諜報部に
IDカードを
みせられたのは



夕子中尉と

おっしやい
ますのねっ



こんな時
ですから

でも

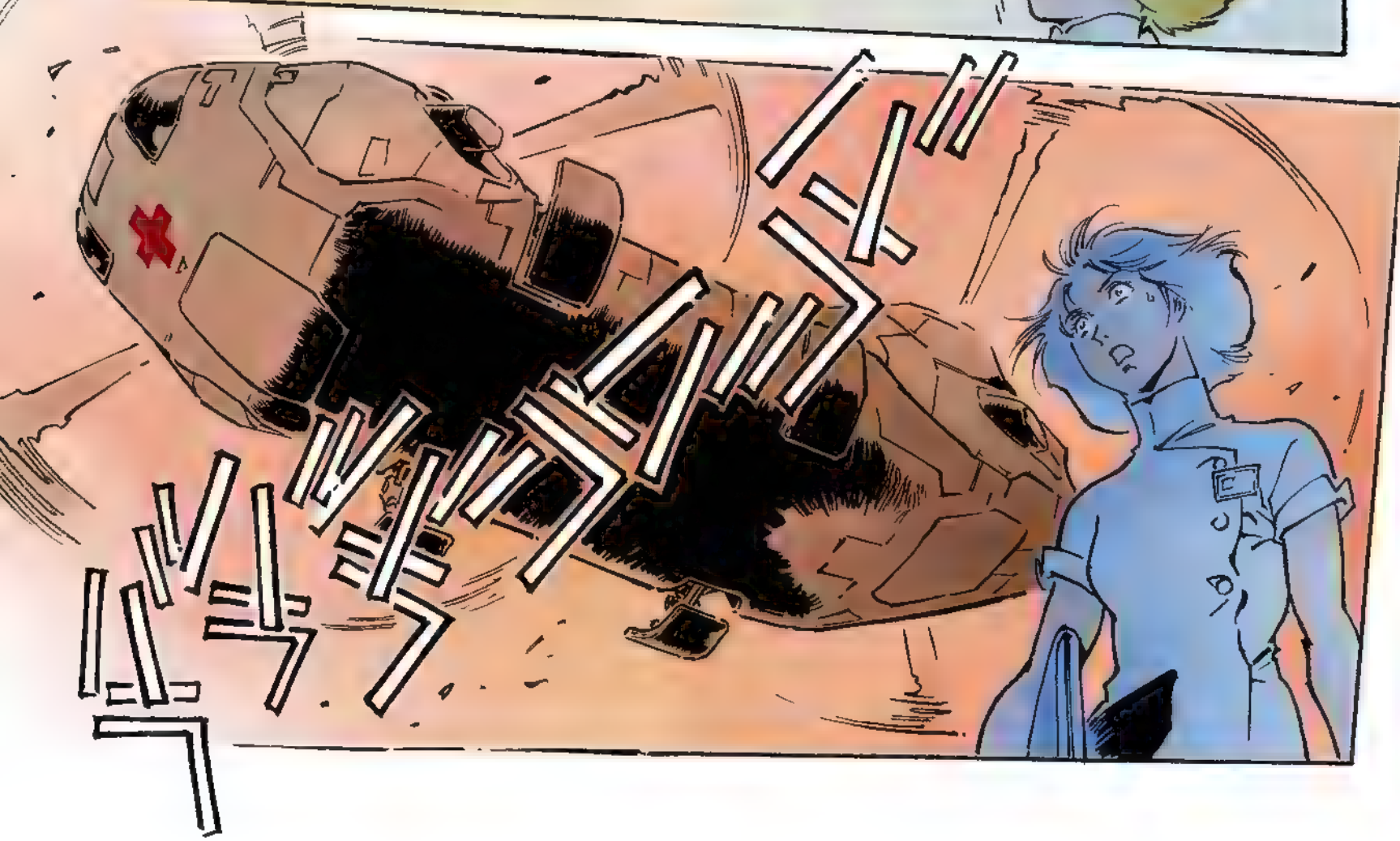
こんな時で
でもなければ
あなたに会うことは
できなかったのです

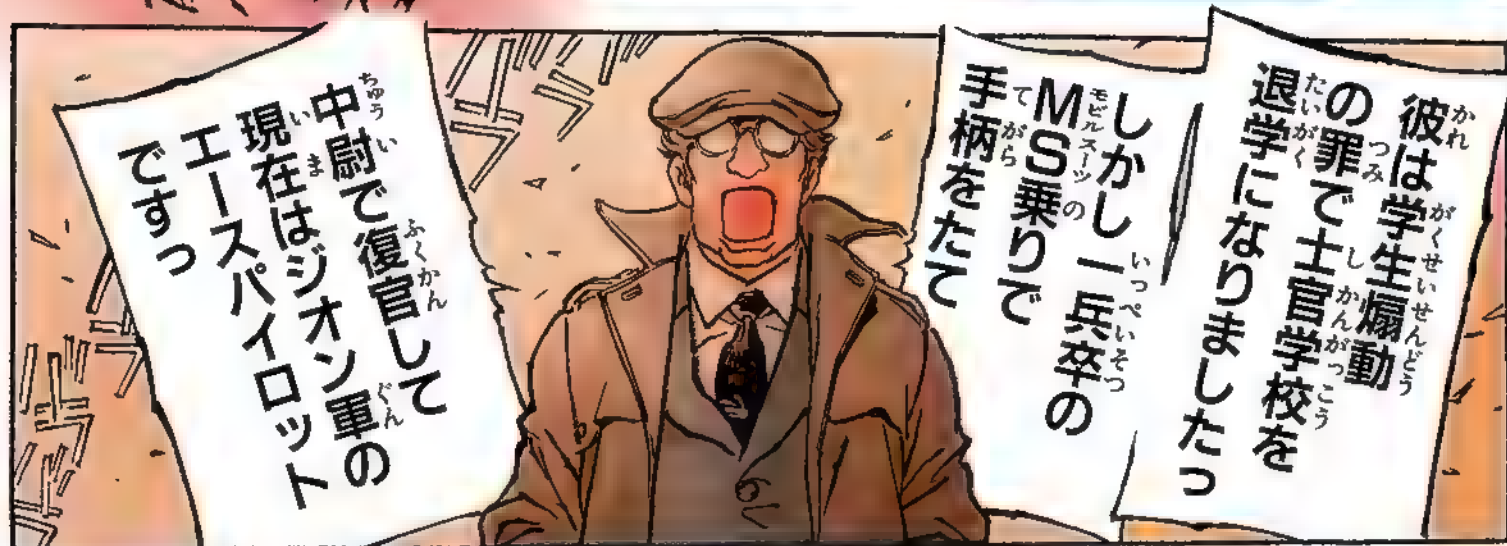
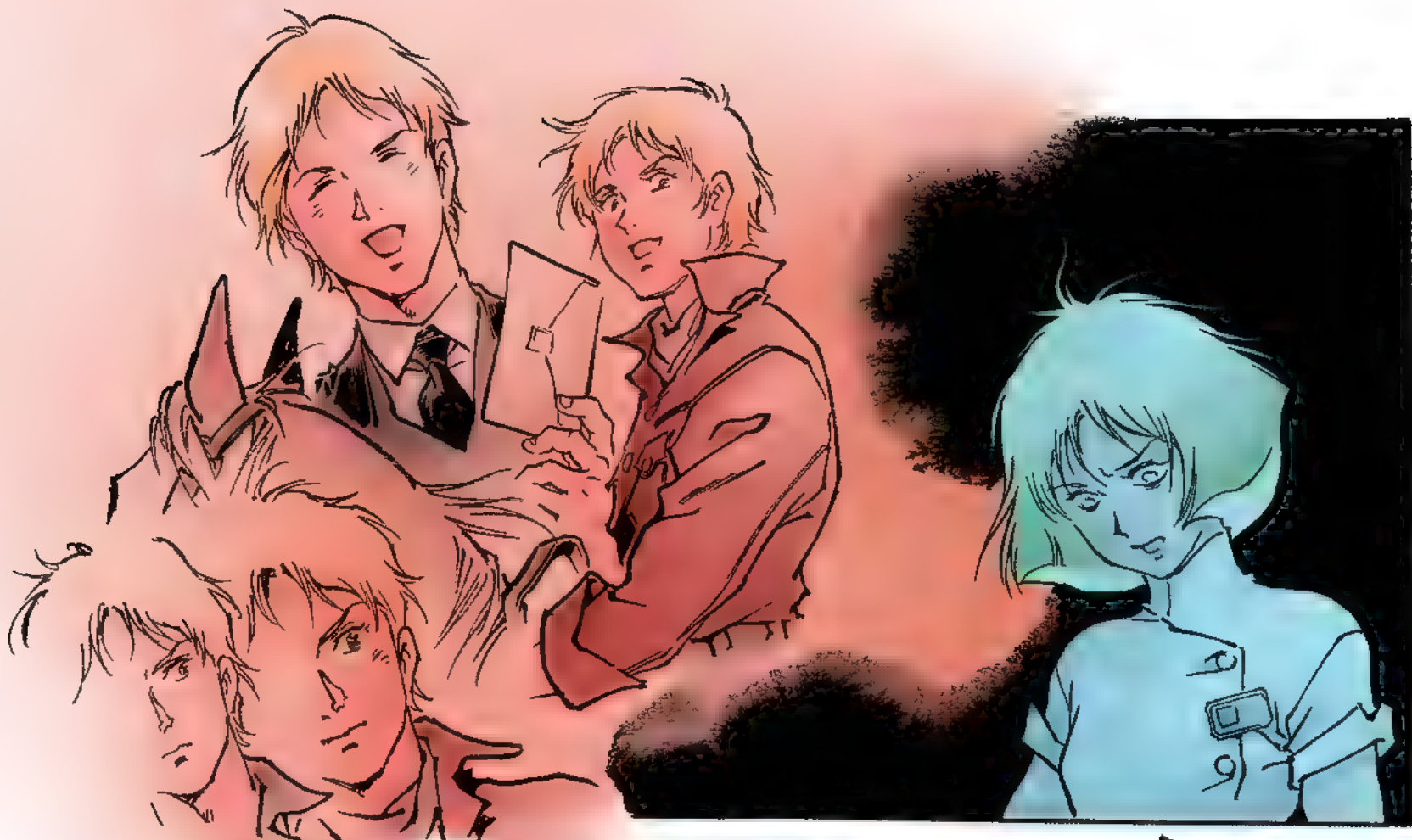
諜報部員といっても
キシリア機関をだし
抜くことは

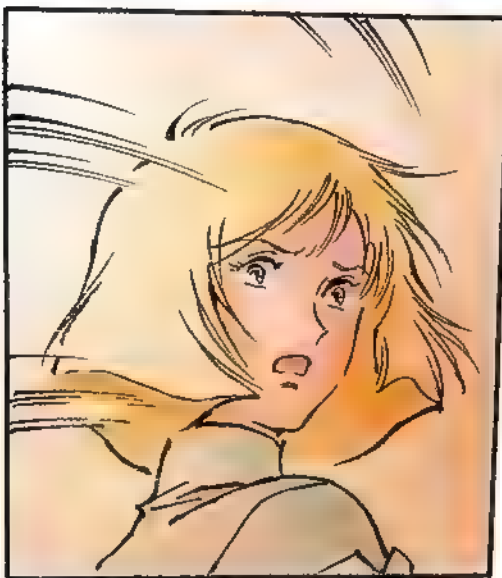
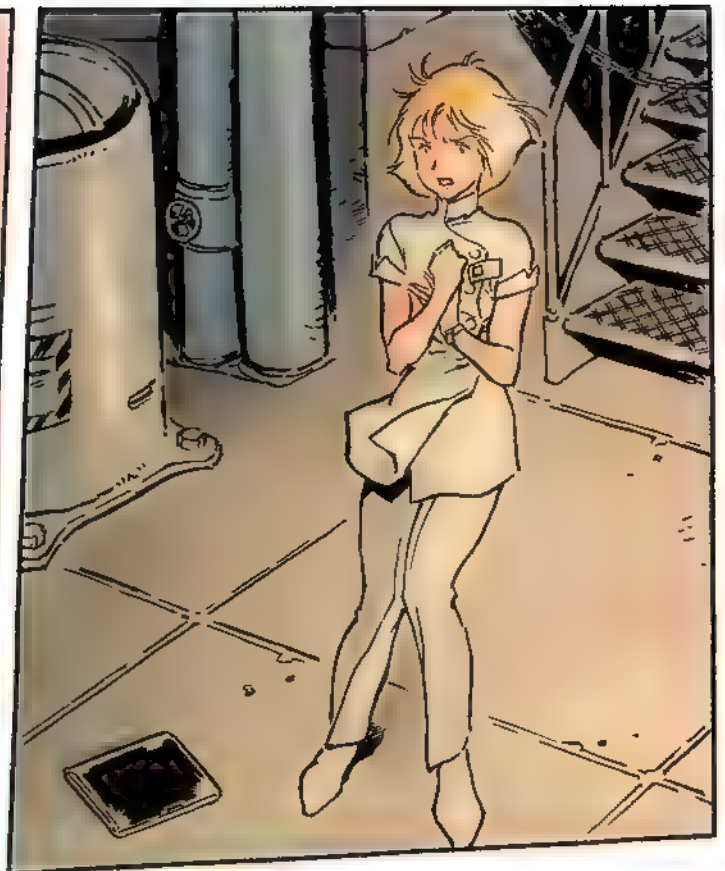
カンタンでは
ないのですよ

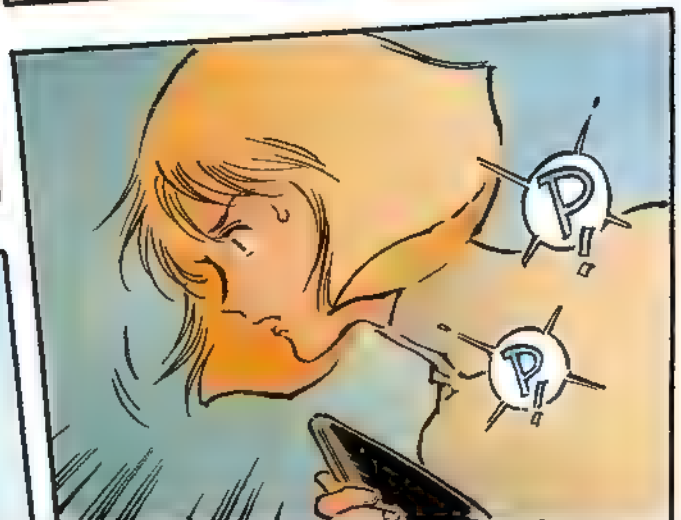
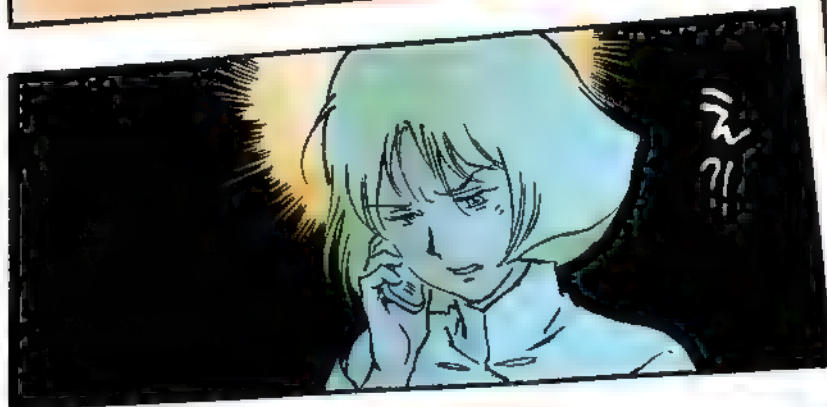
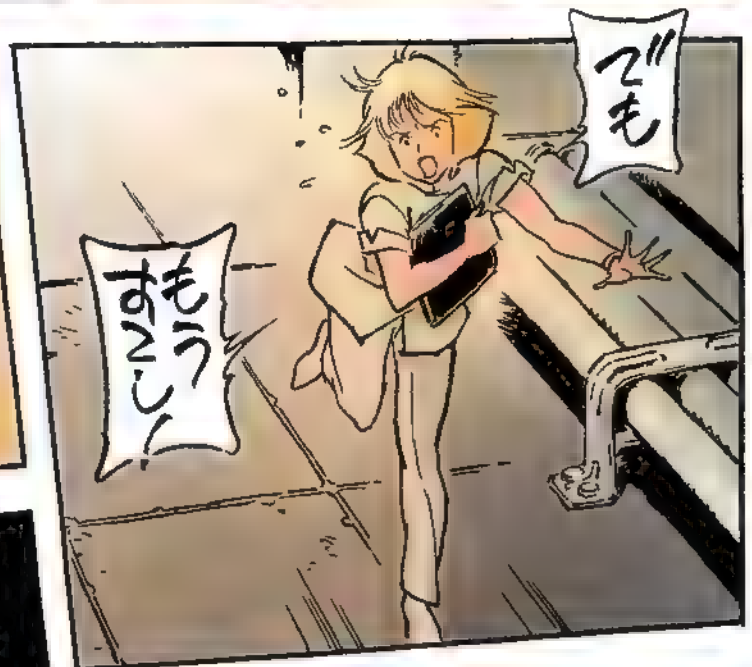
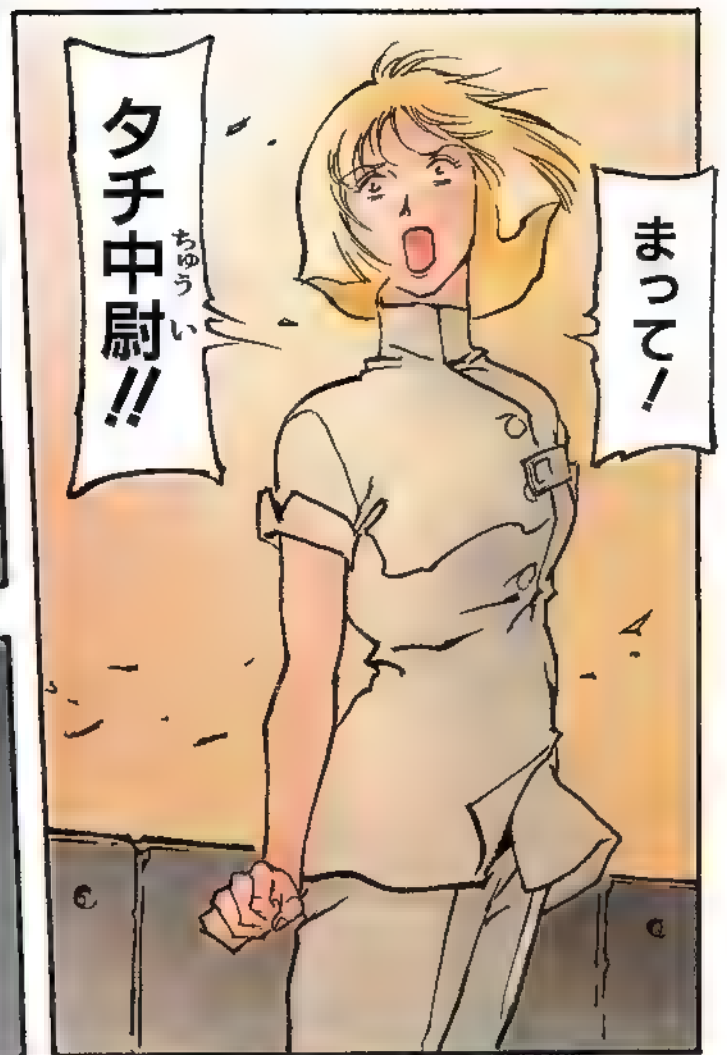
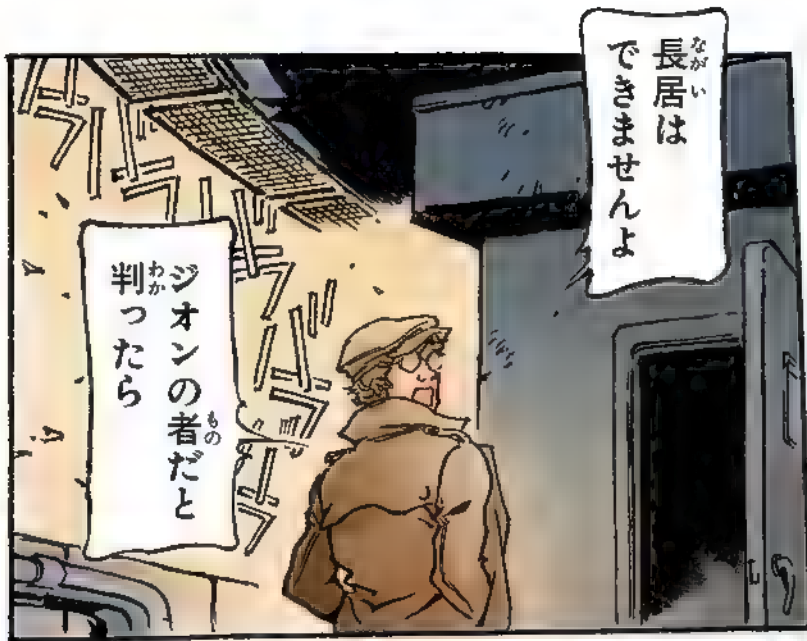
シャア・アズナブルという男を

ぞんじ
ご存知
ですねっ







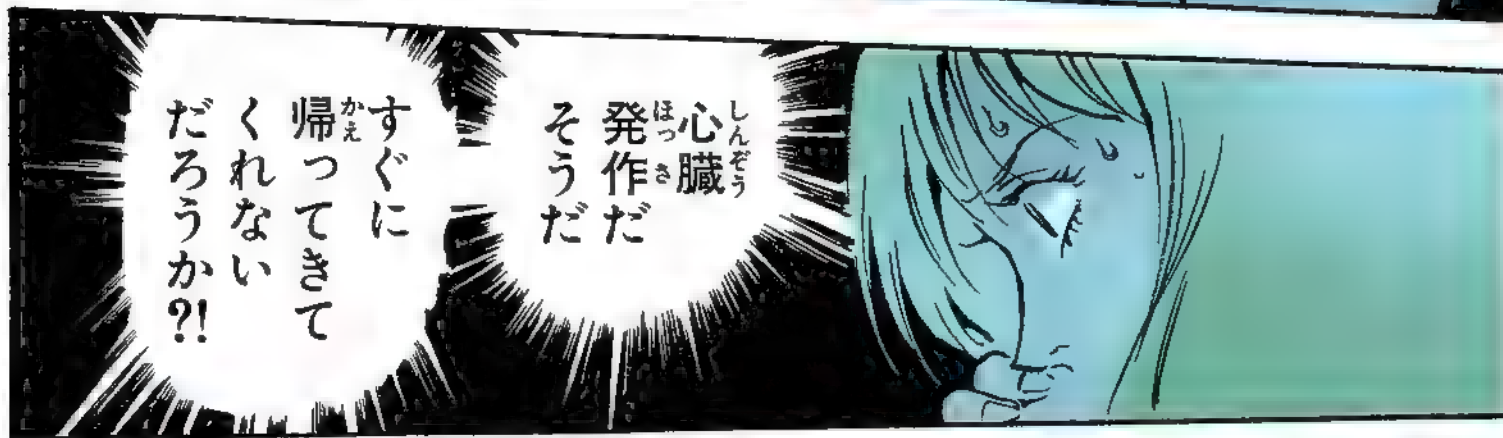




お父^{とう}
さんが

セイラ
さんっ

お倒れ^{たお}に
なった!!



すぐ^{かえ}に
帰^{かえ}ってき
てく
れな
い
だ
ろ
う
か
?!

心臓^{しんぞう}
発作^{はっさく}
だ
そ
う
だ



もしもしっ

もし...

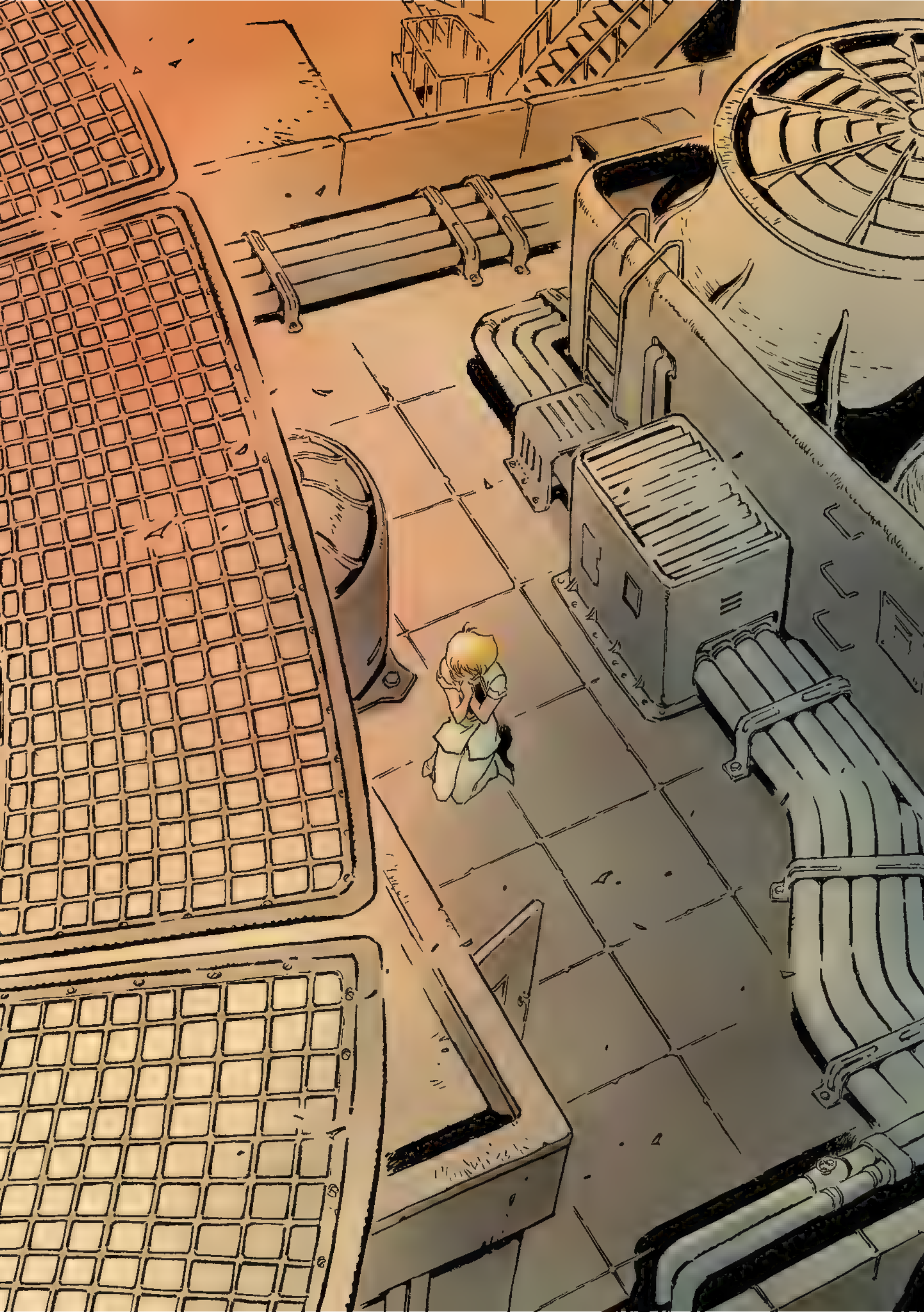


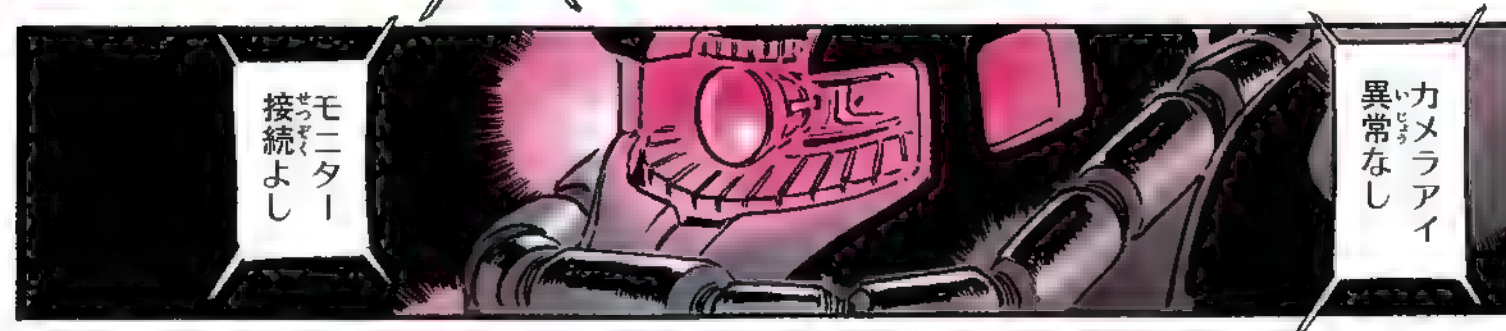
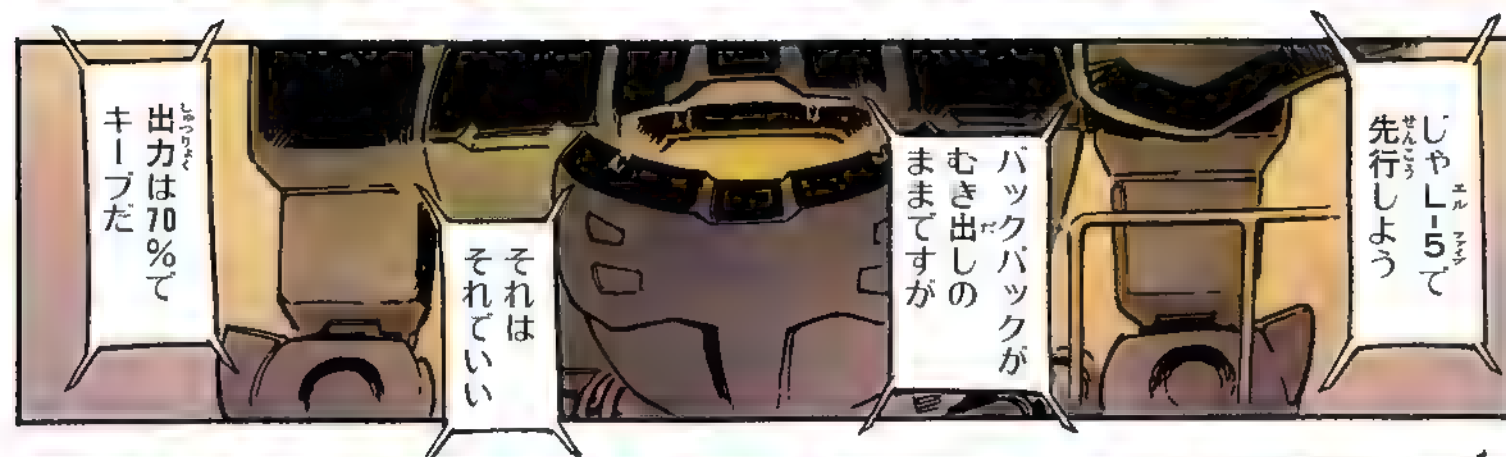
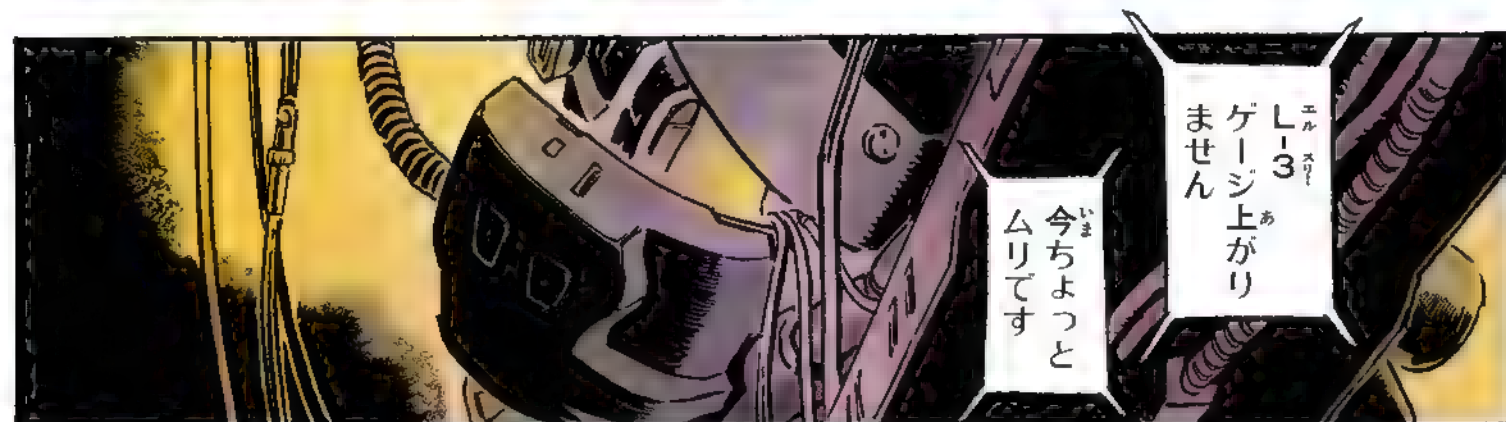
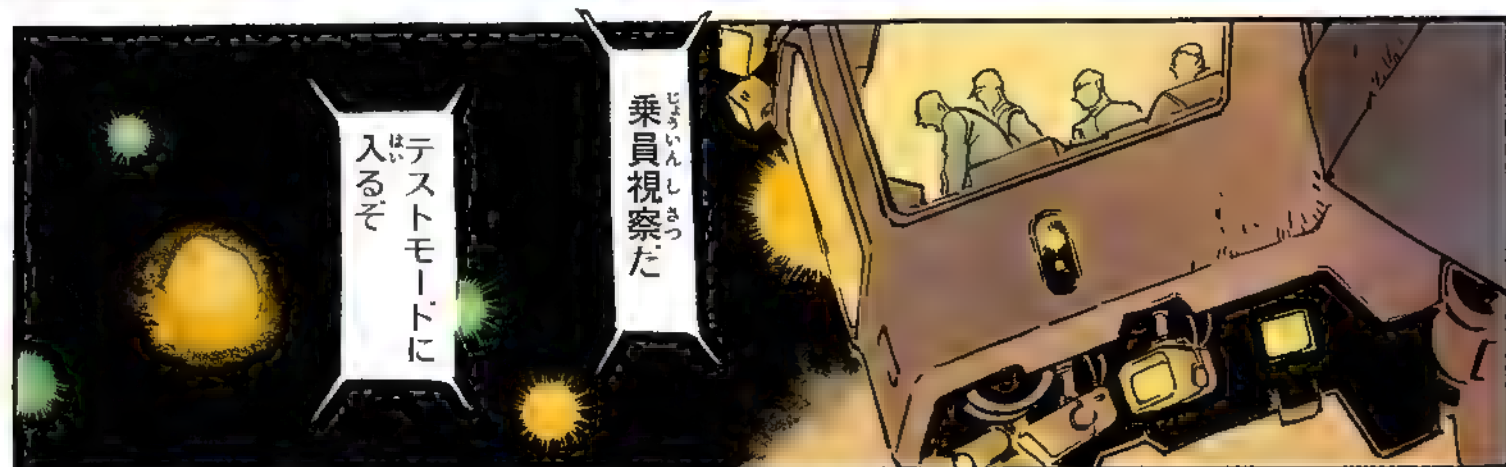
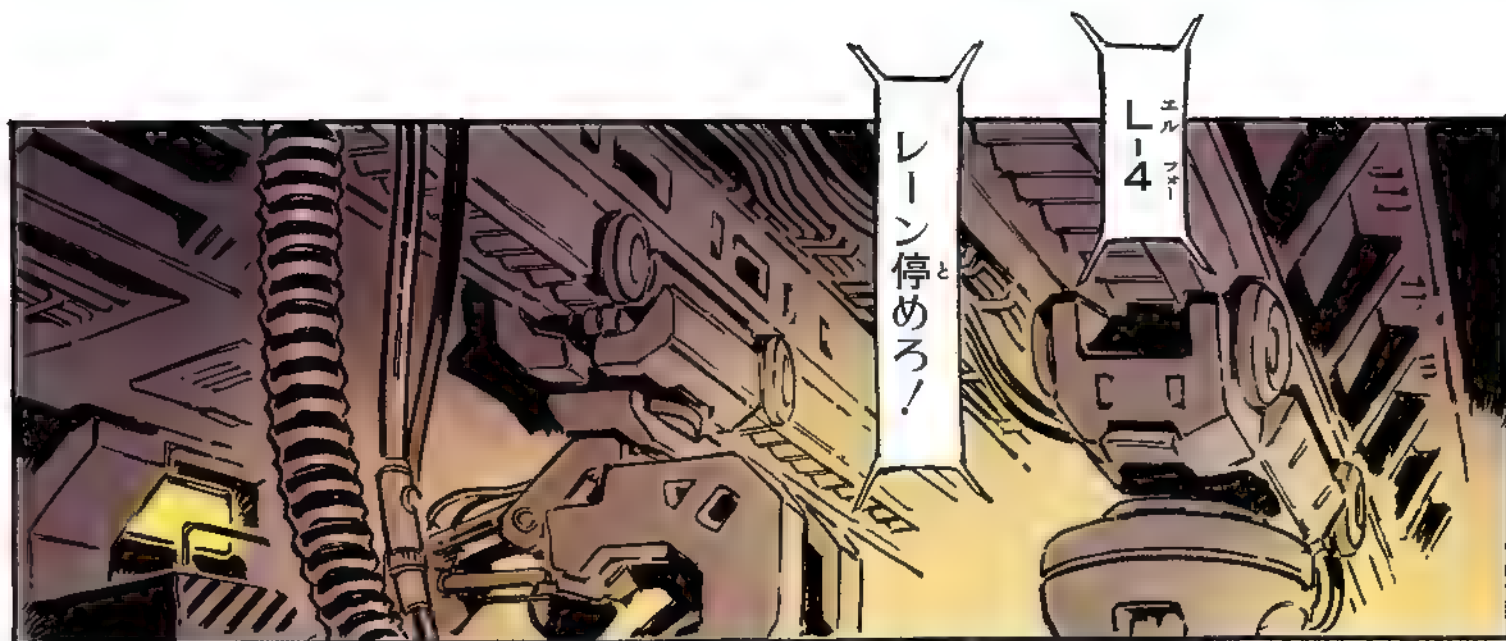
私^{わたし}だ
っ
アズナブルだ!
ロジエ・アズナブル!!

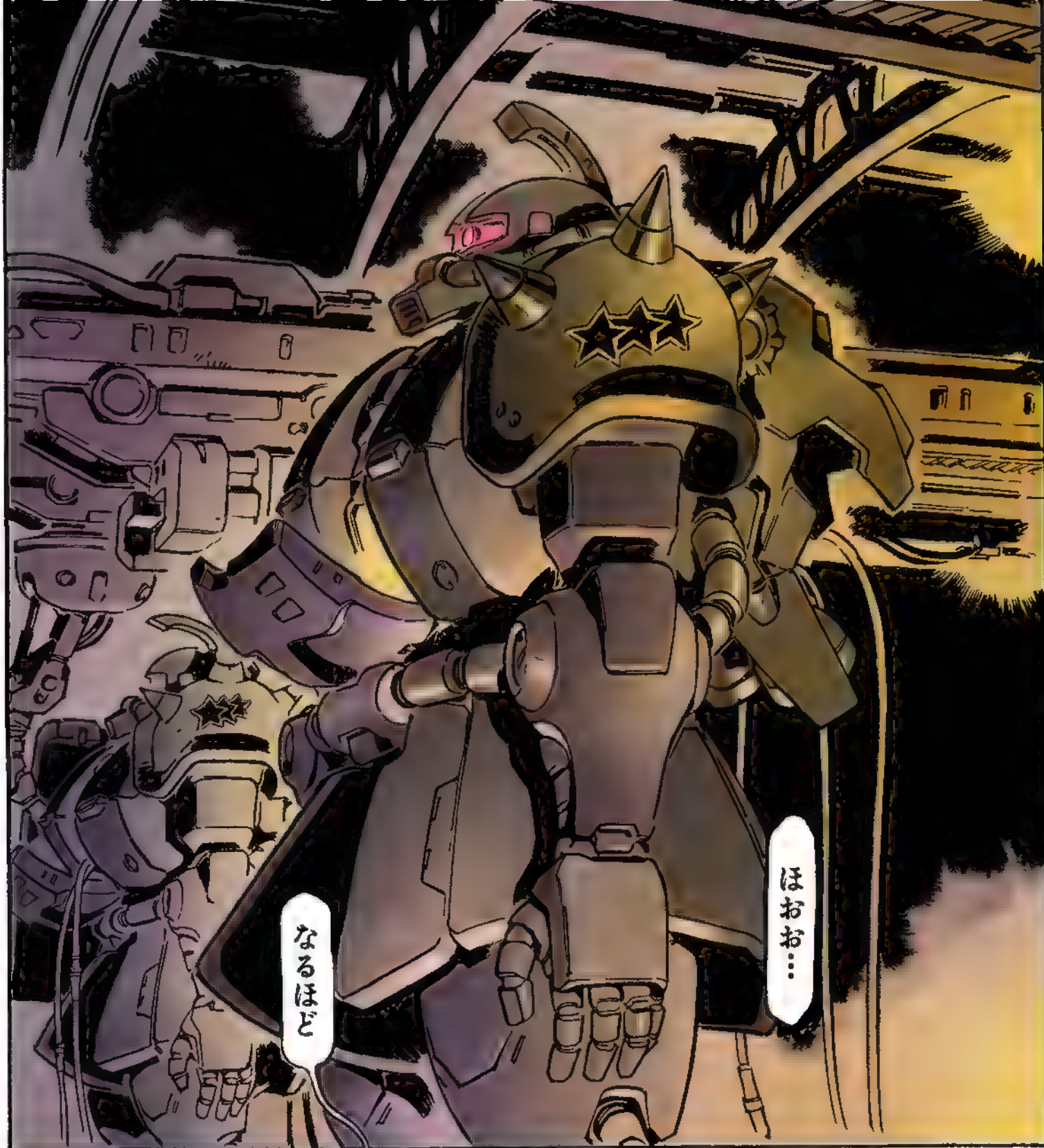


もしもし
セイラさん

聞^きこえて
いる
ねっ
?!







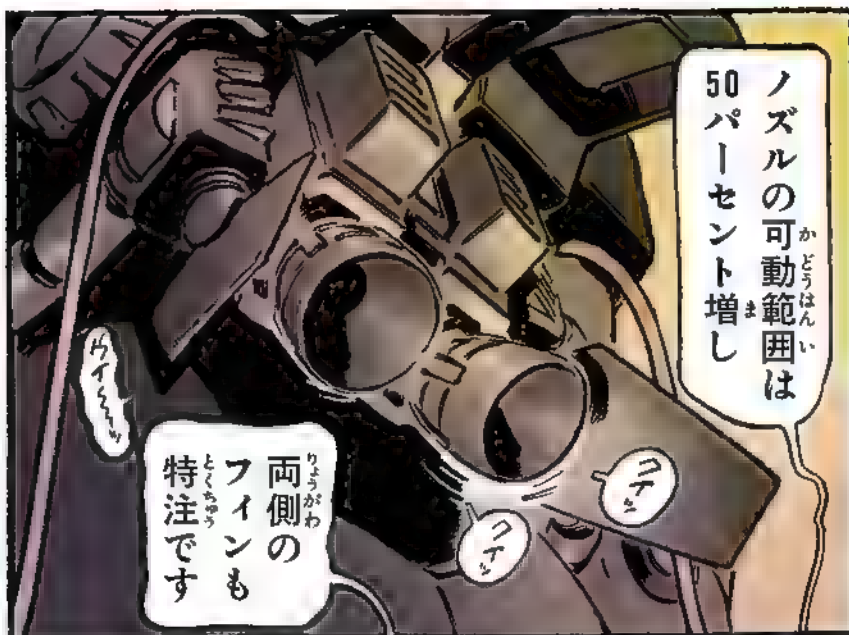
まだ作業中ですが

バックパックには強化型のエンジンがつきます

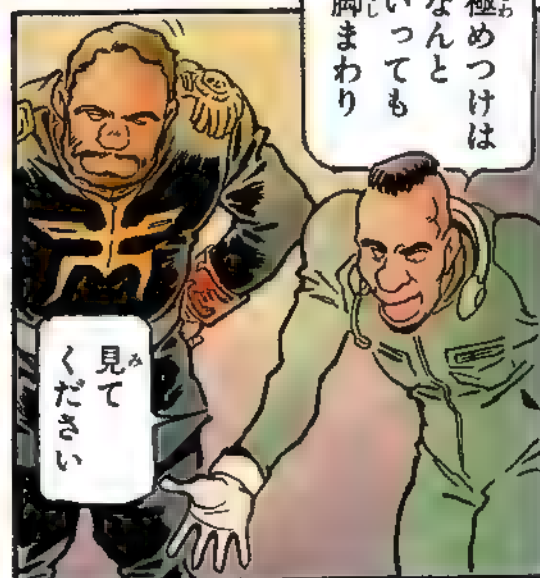


ノズルの可動範囲は50パーセント増し

両側のフィンも特注です

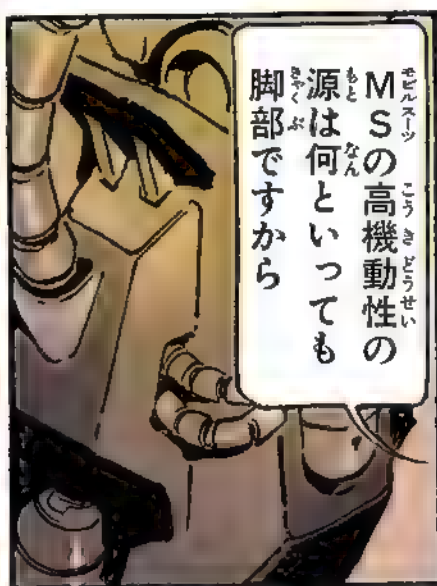


極めつけはなんと脚まわり



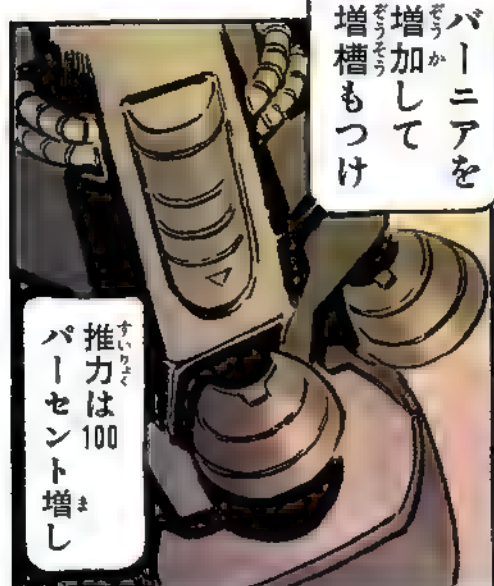
見てください

MSの高機動性の源は何といっても脚部ですから



パーニアを増加して増槽もつけ

推力は100パーセント増し



本番ではもちろんこれに特殊装甲がバッチリ!

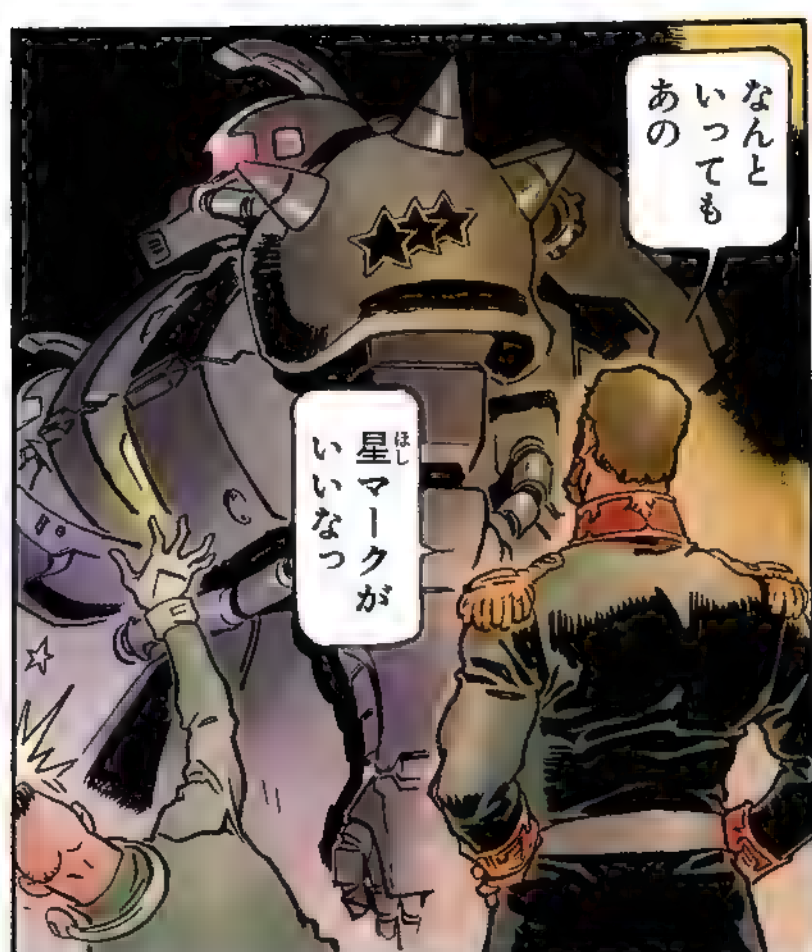


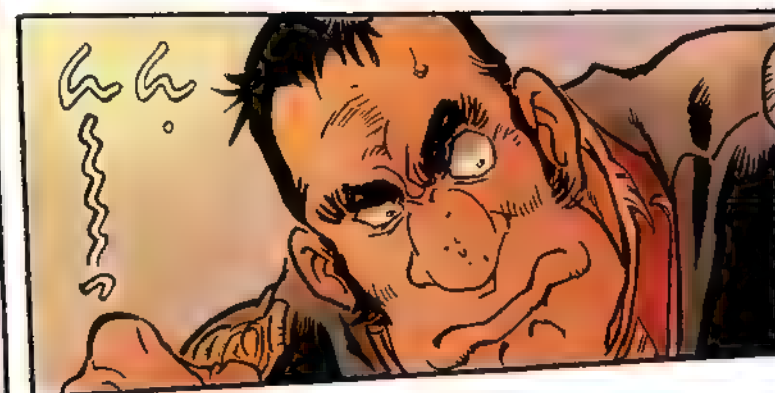
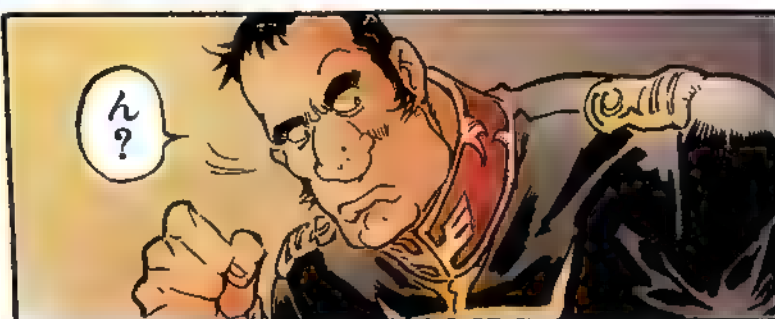
うむっ

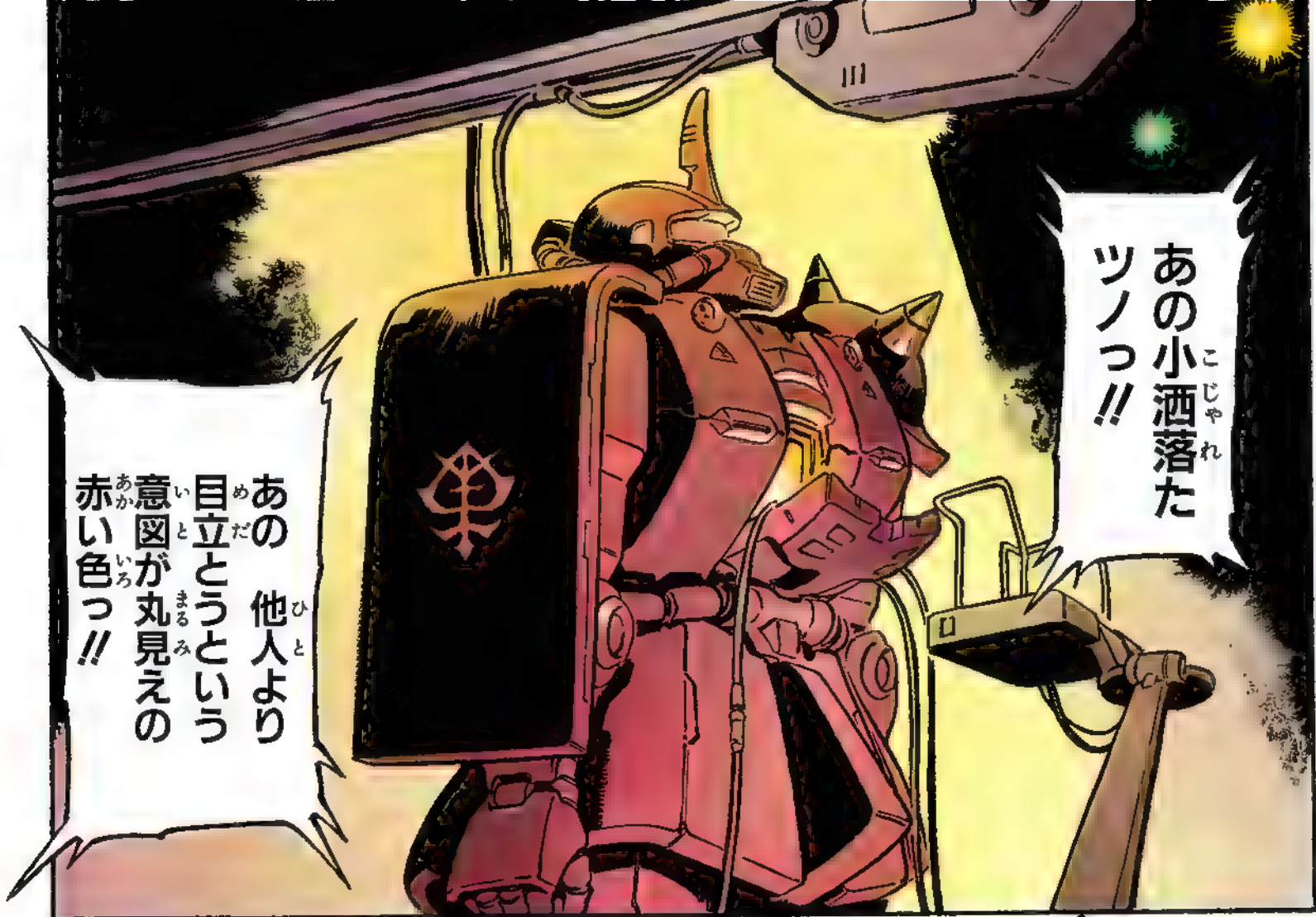
気に入った!

なんとあのも

星マークがいいなっ

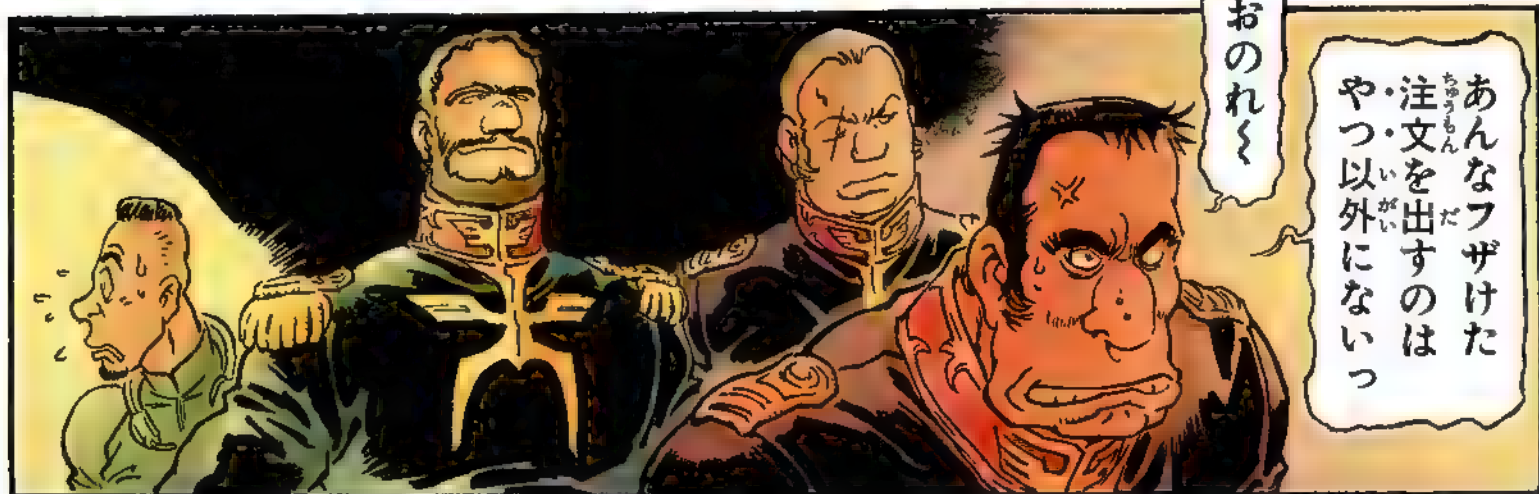






あの小洒落た
ツノっ!!

あの 他人より
目立とうという
意図が丸見えの
赤い色っ!!



おのれ

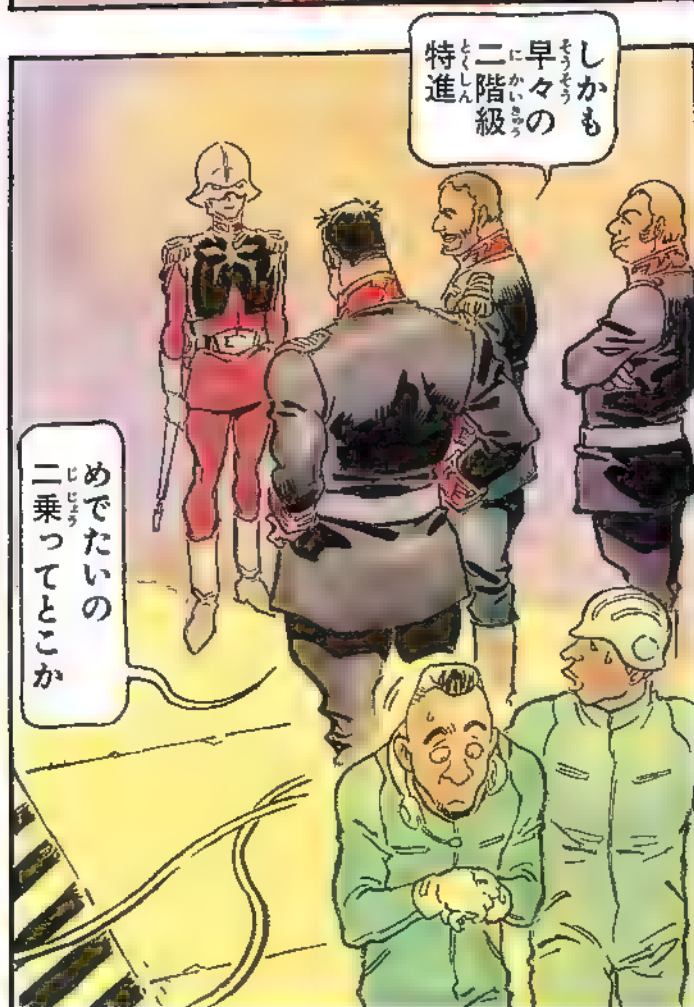
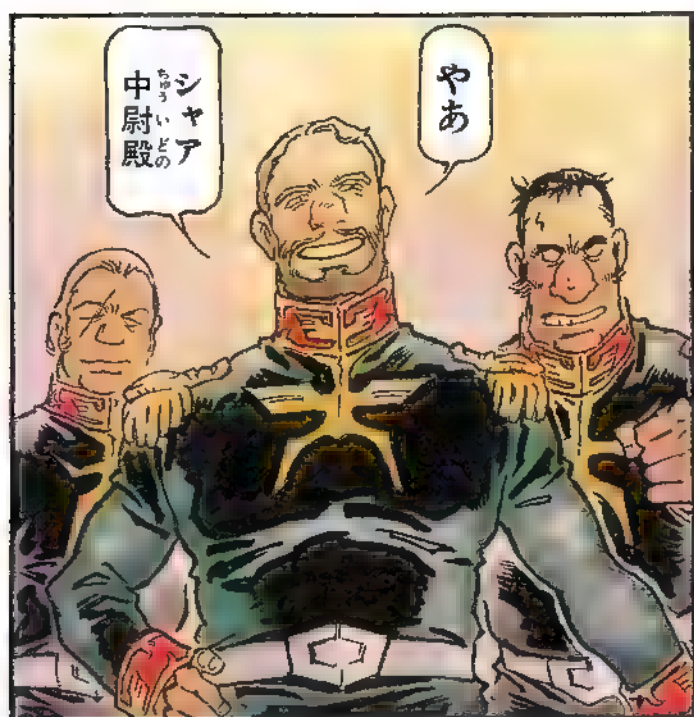
あんなフザけた
注文を出すのは
やつ以外にないっ

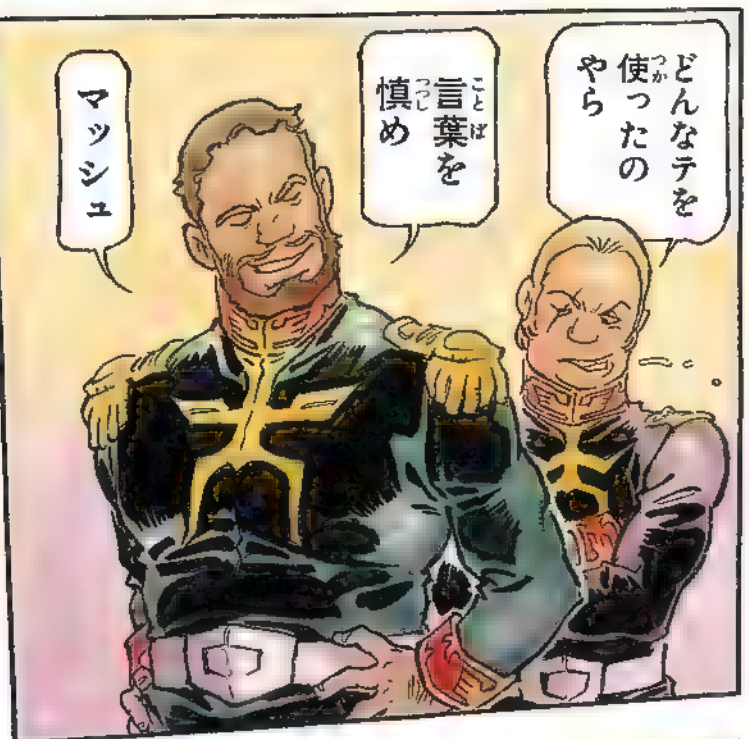
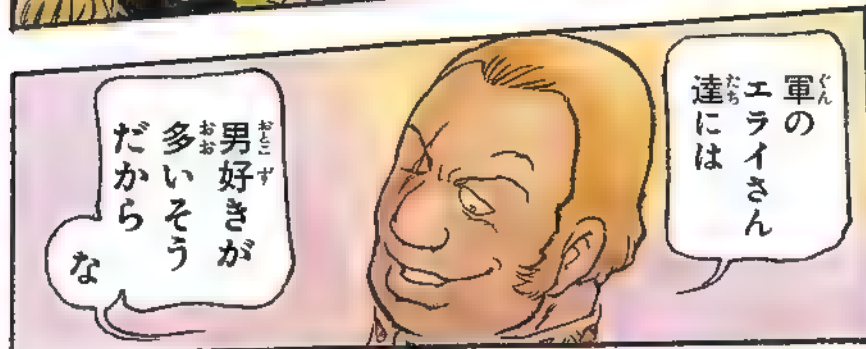
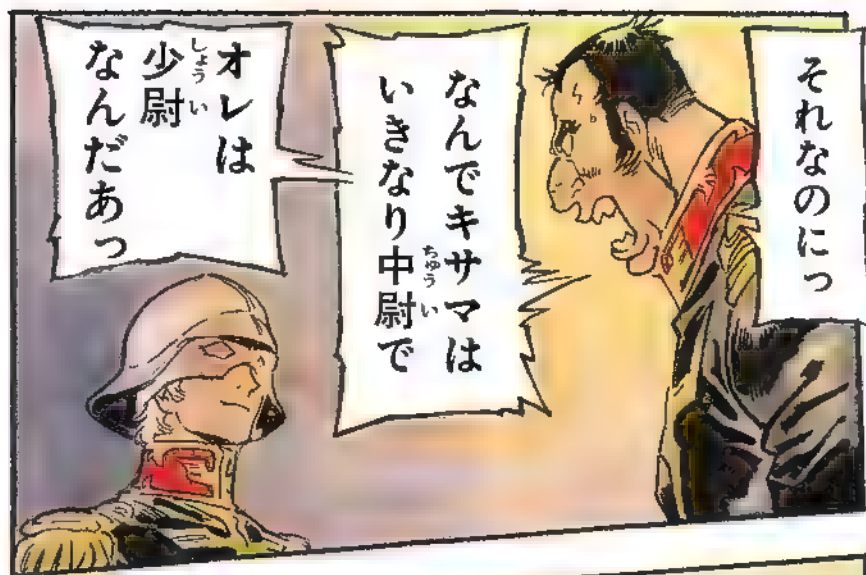


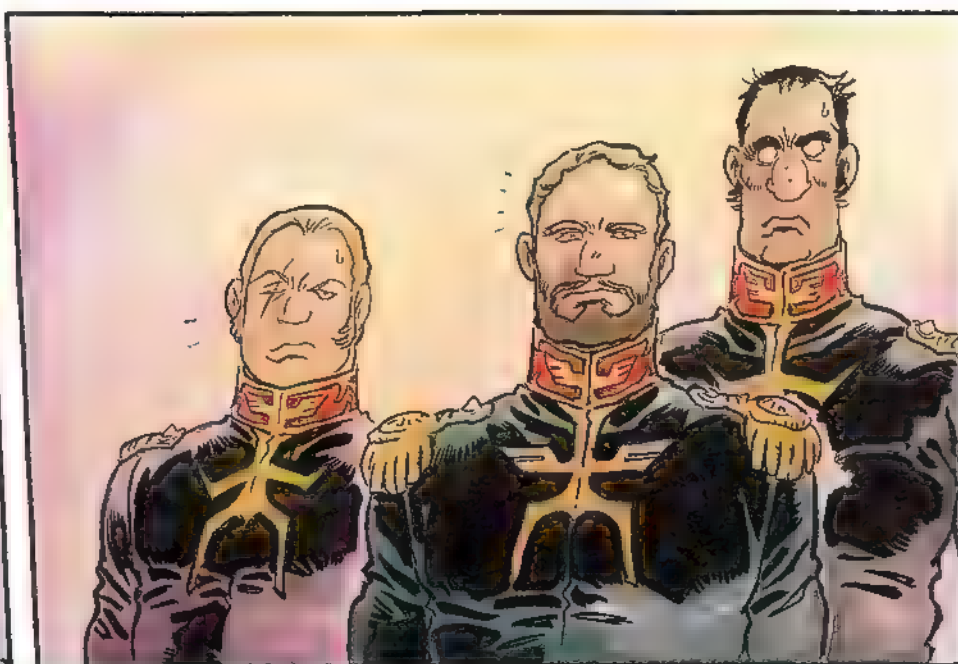
やあ

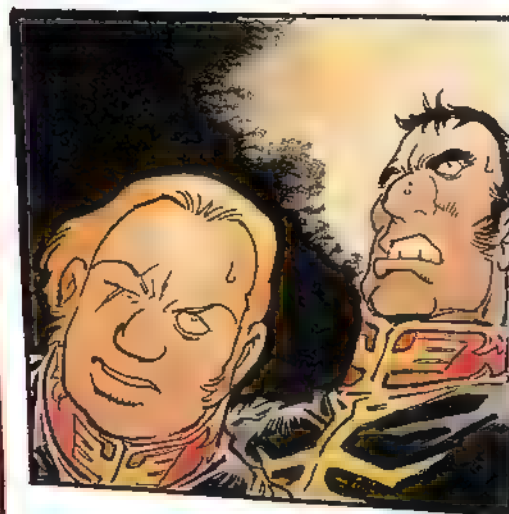
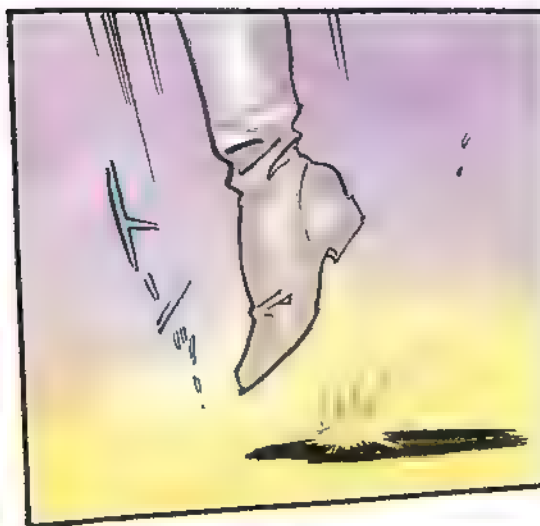
あなたがたも
視察ですか





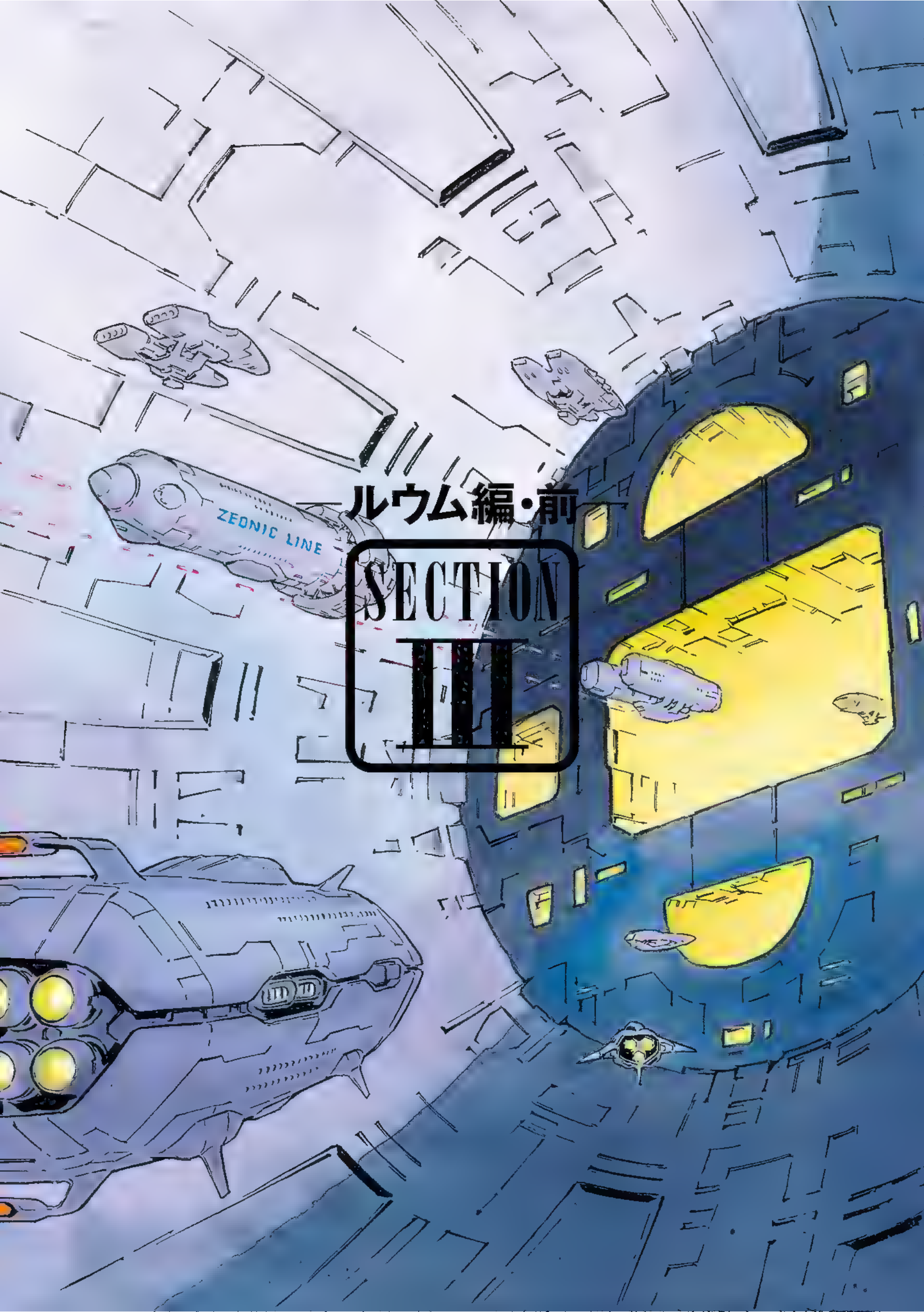


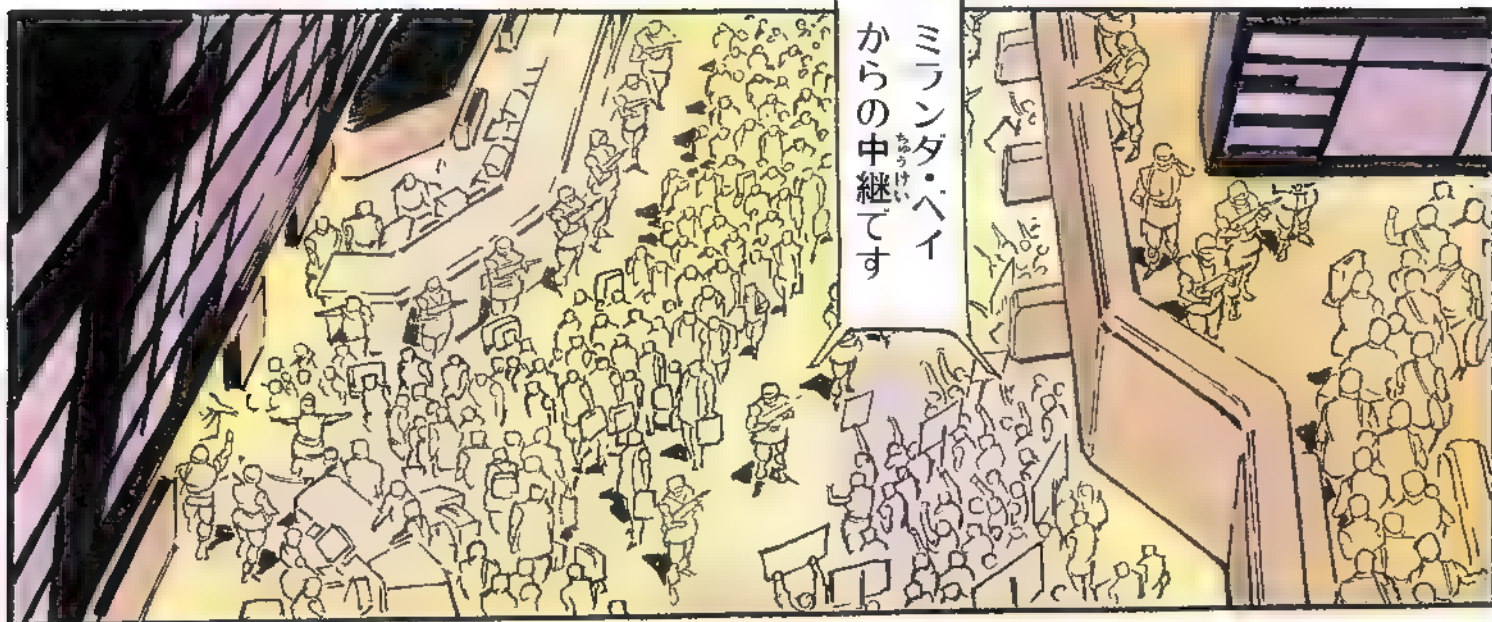




ルウム編・前

SECTION
III





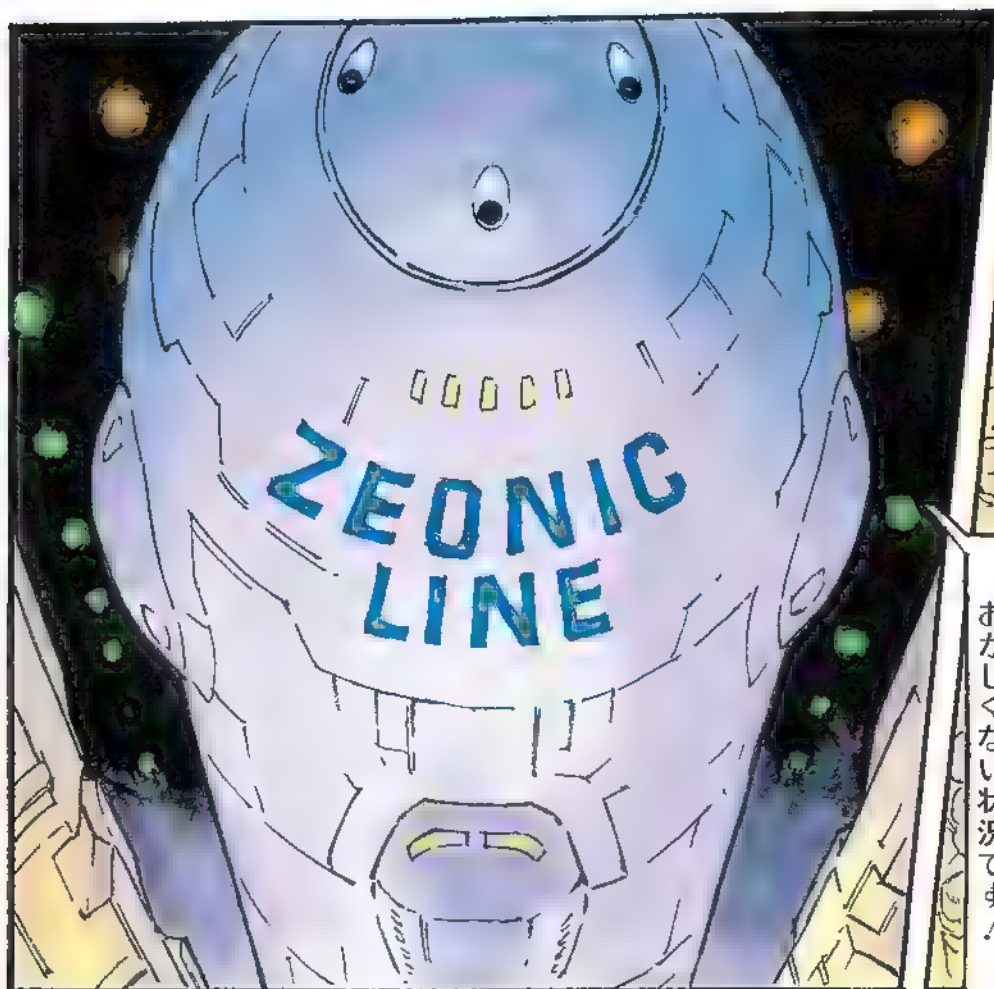
ミランダ・ベイ
からの中継です



軍と警察の
厳戒態勢の中
ジオン派市民の
脱出が続いて
います！

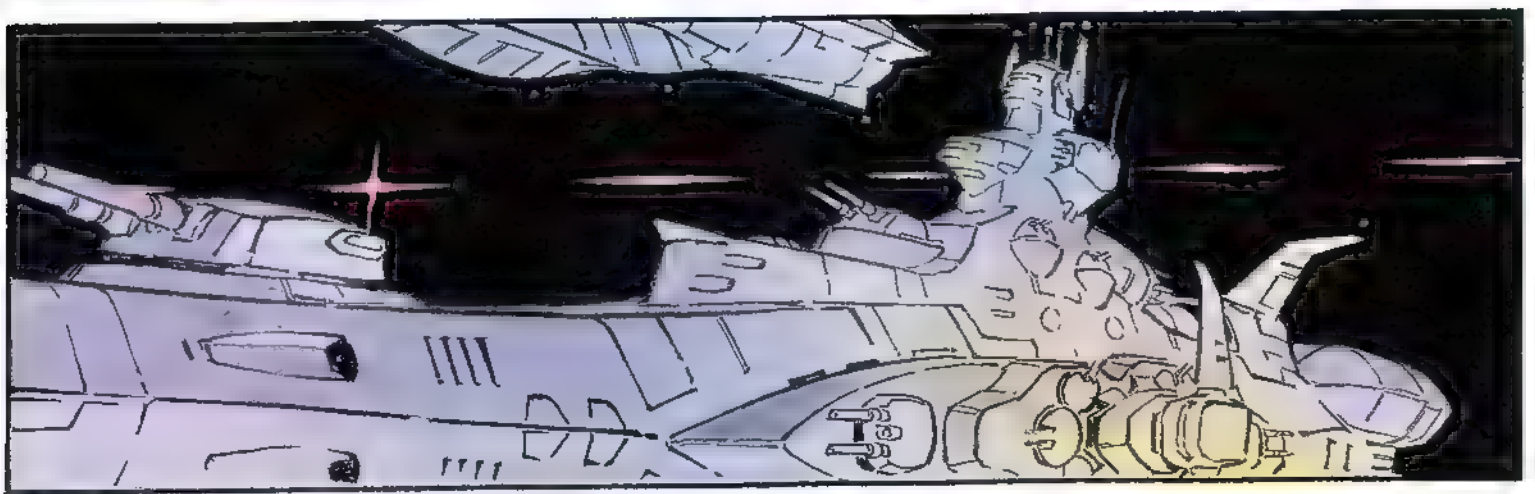
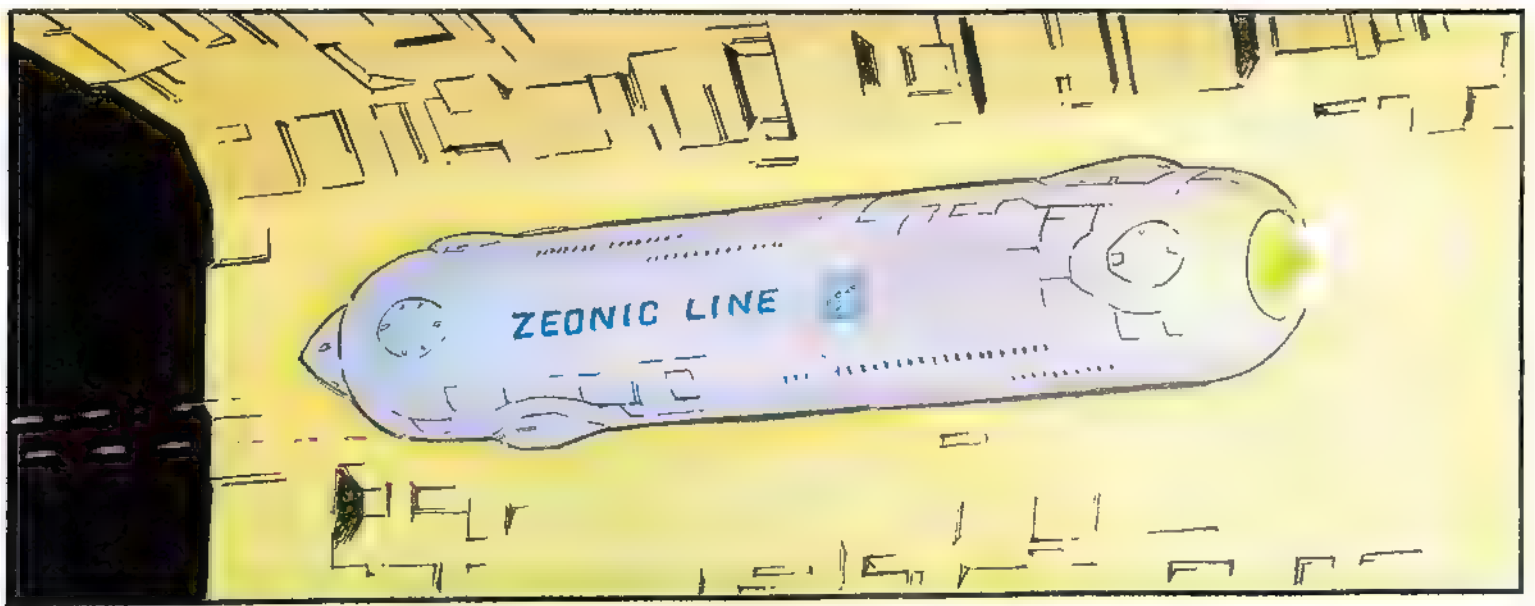
殺気だつて
います！

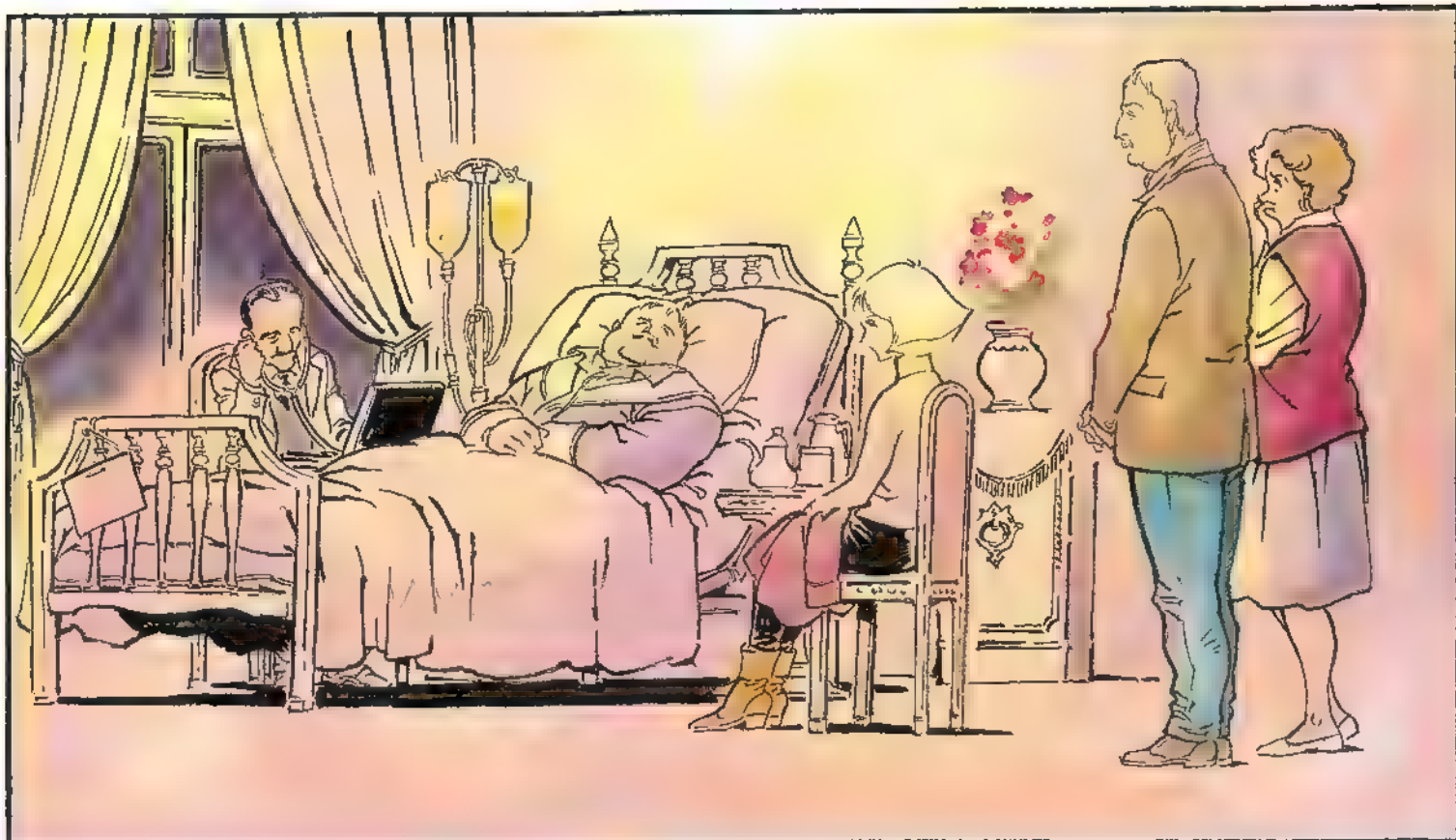
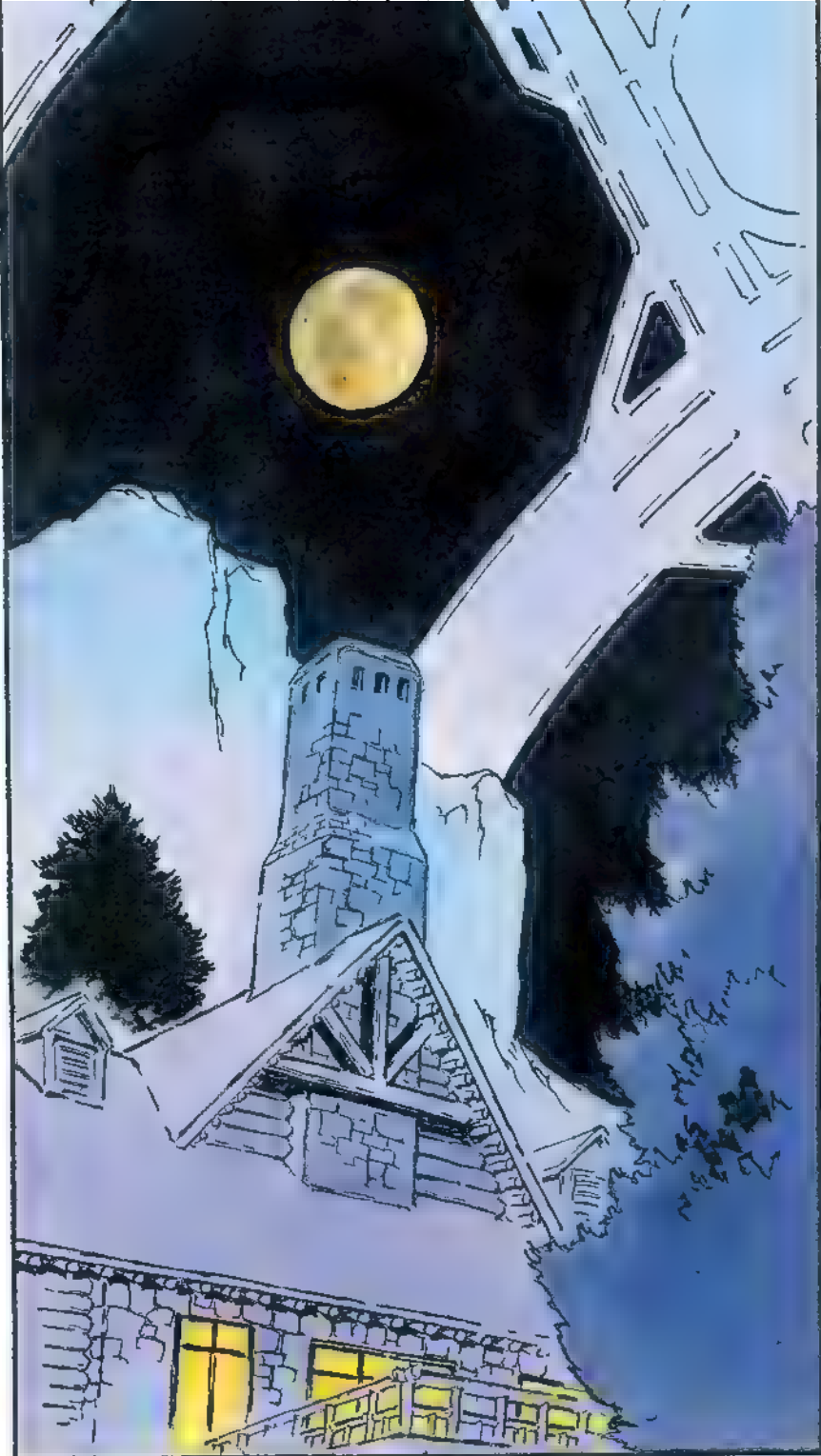
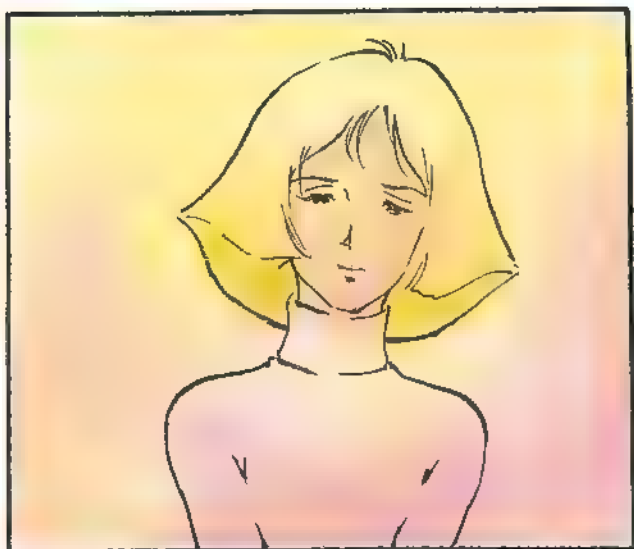
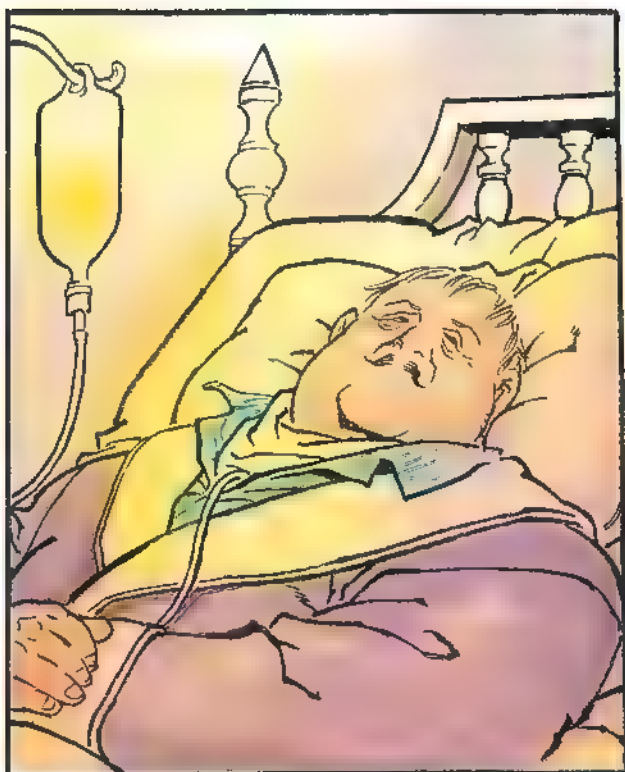
ルウム空域が
戦場になること
もはや避けられ
ない情勢になっ
ているからです！

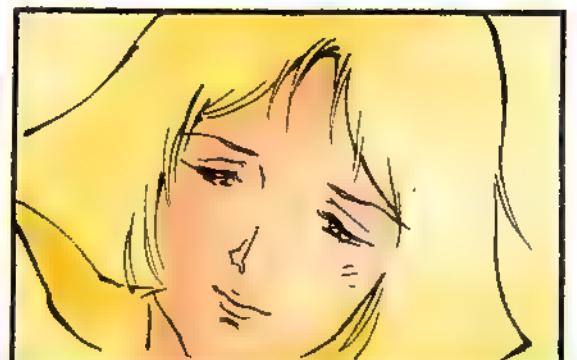
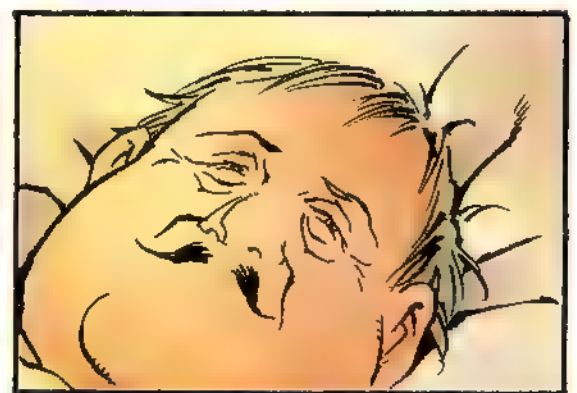
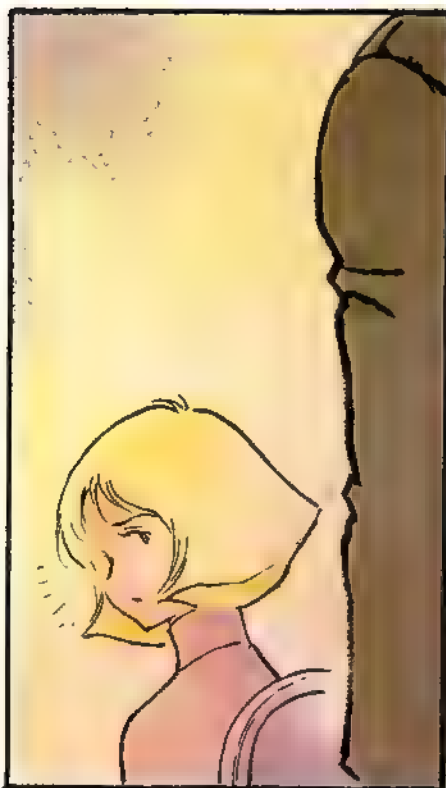
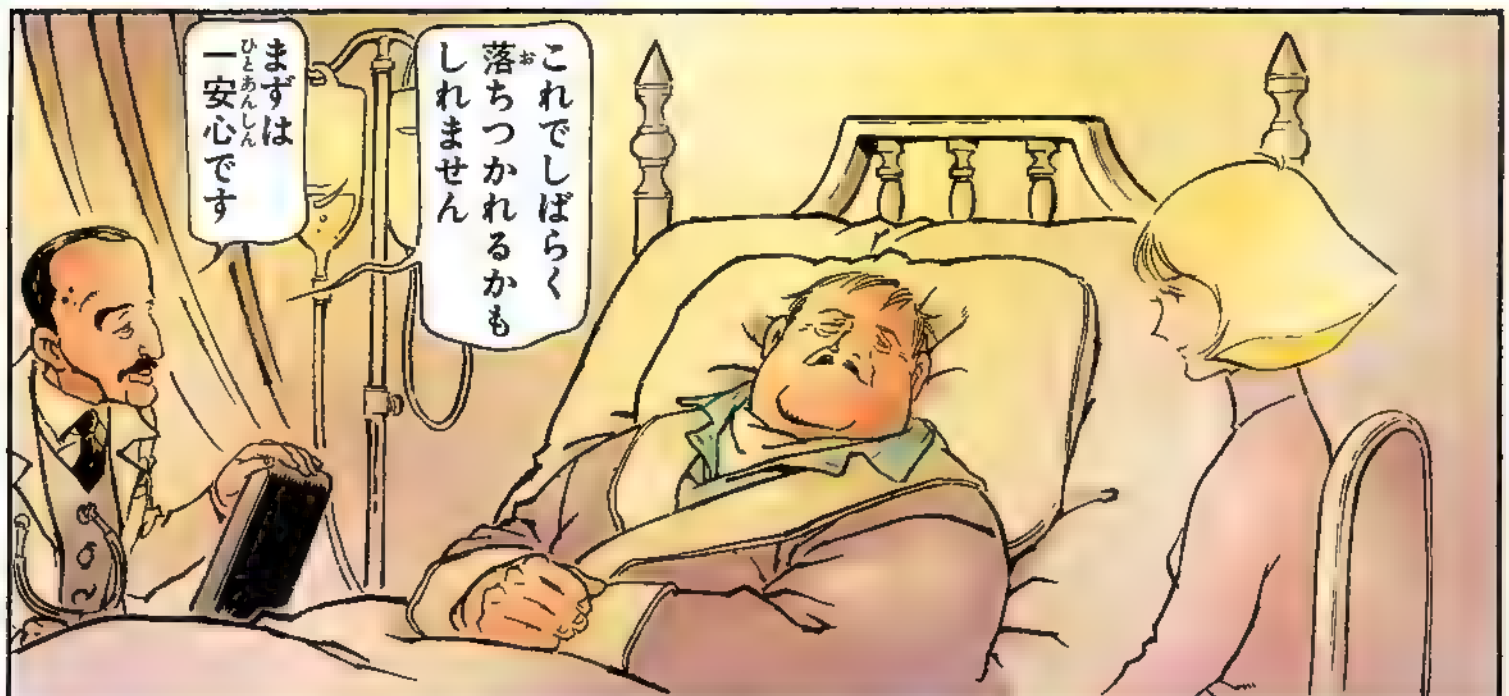
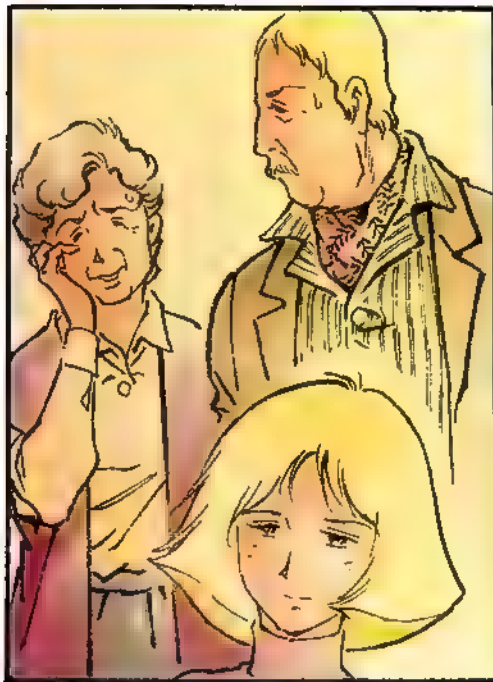


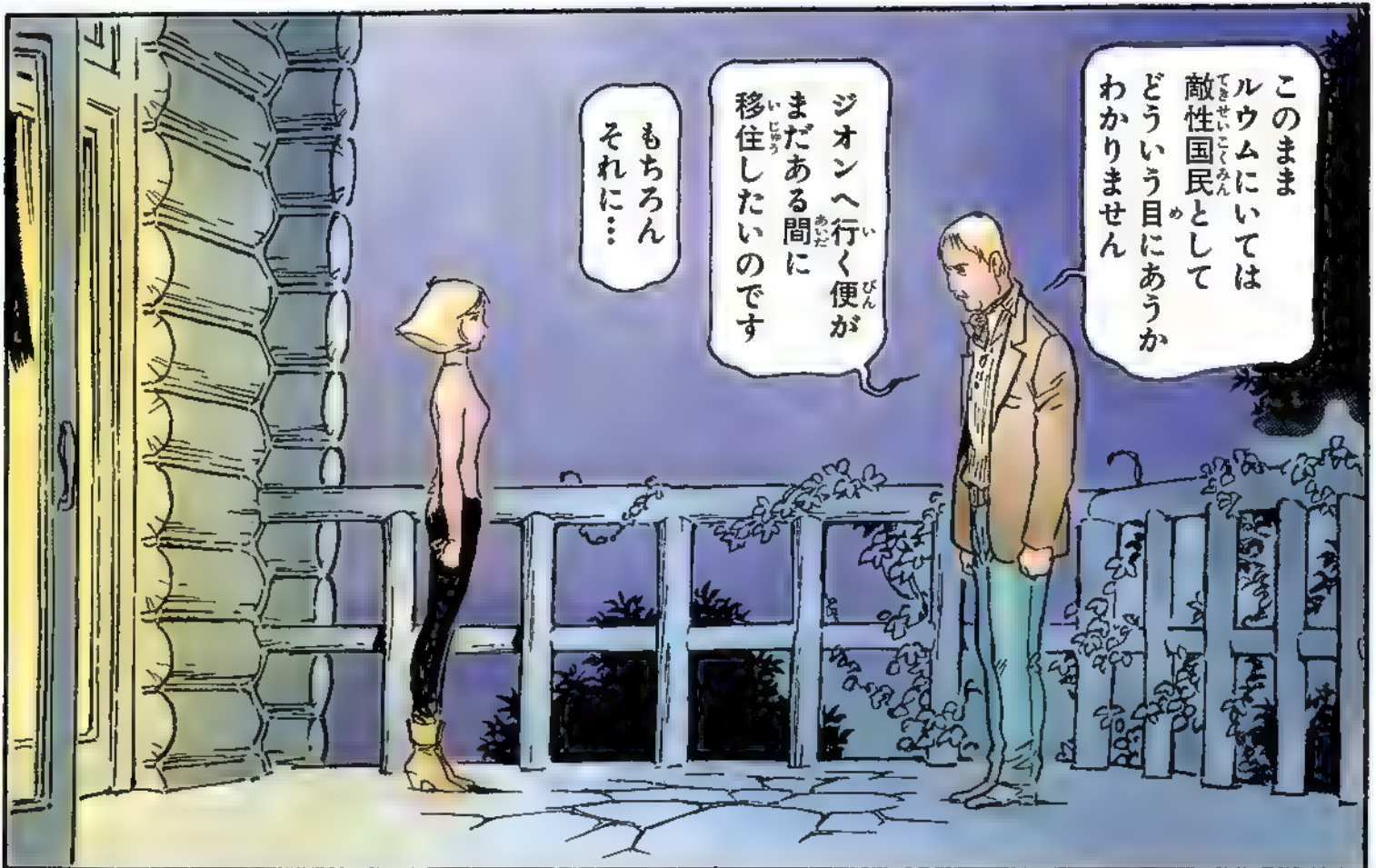
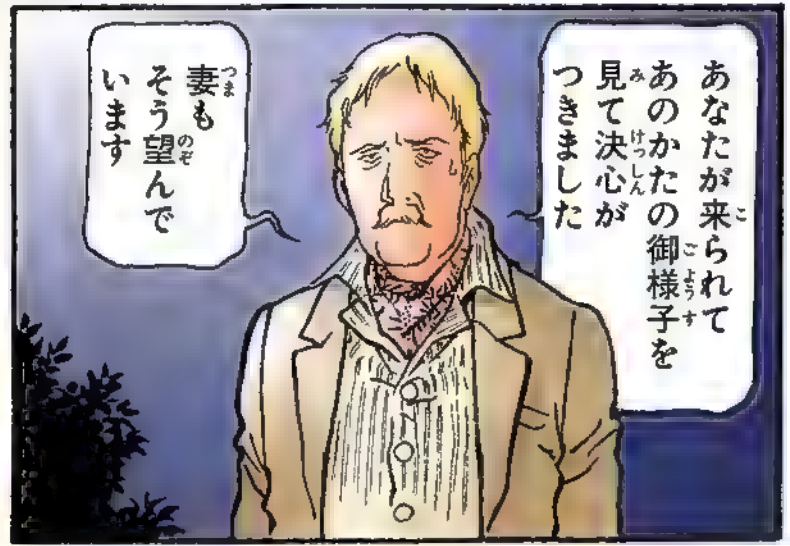
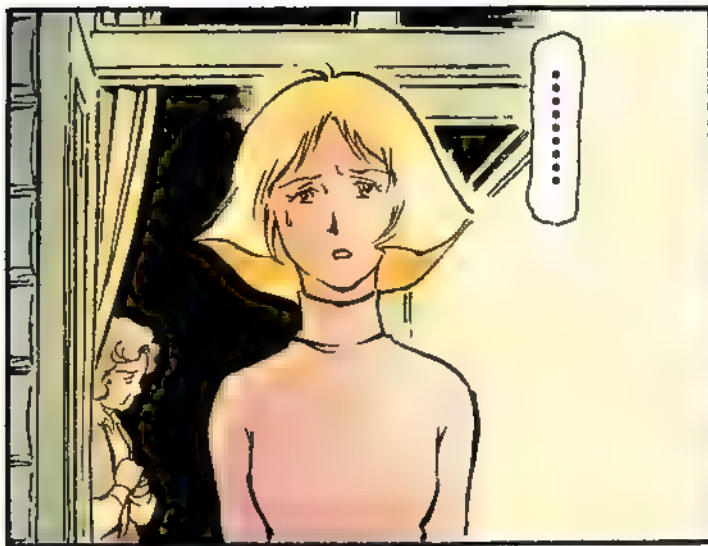
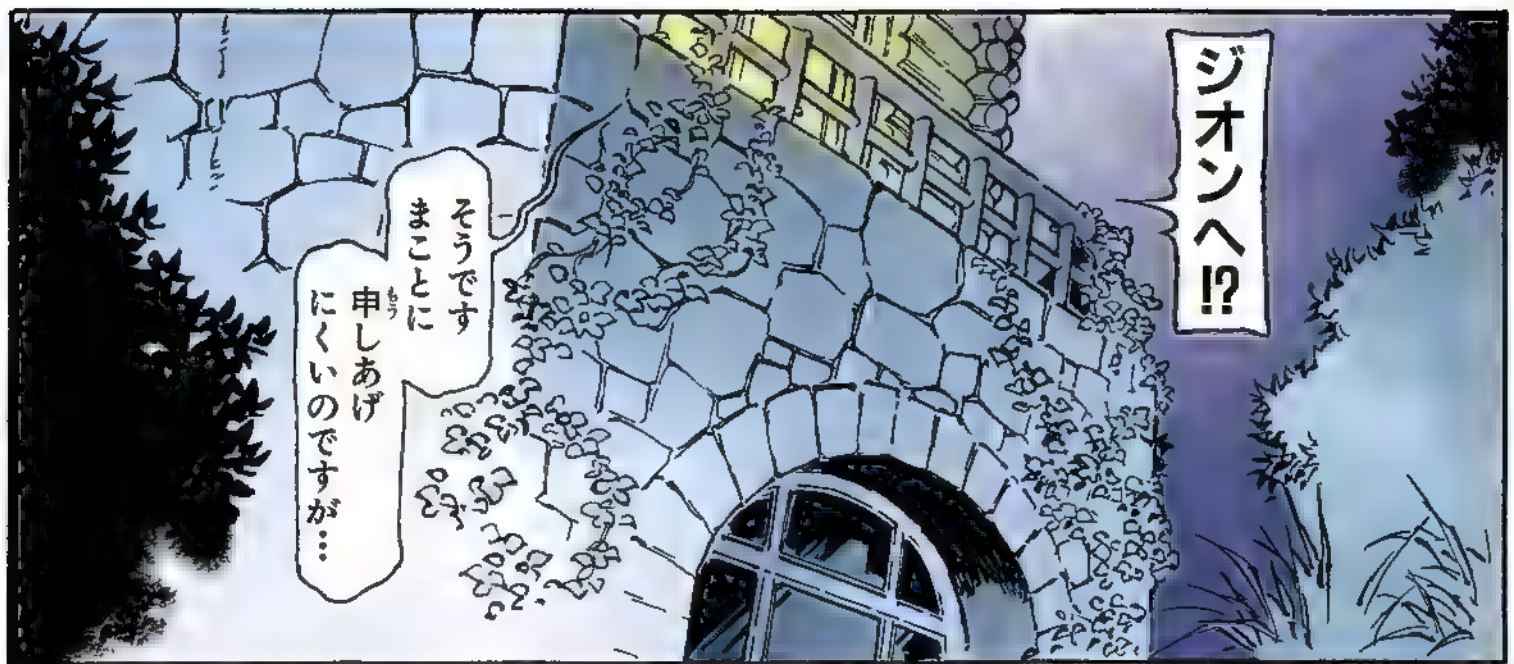
ハツテの悲劇が
人々から正気を
奪っています

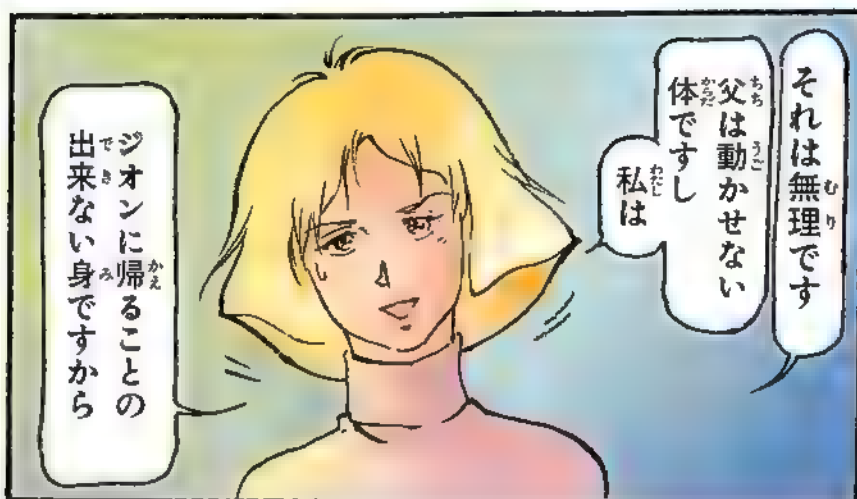
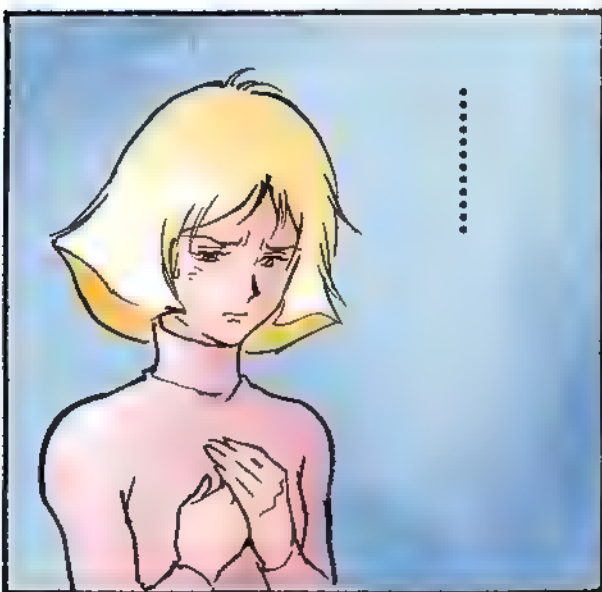
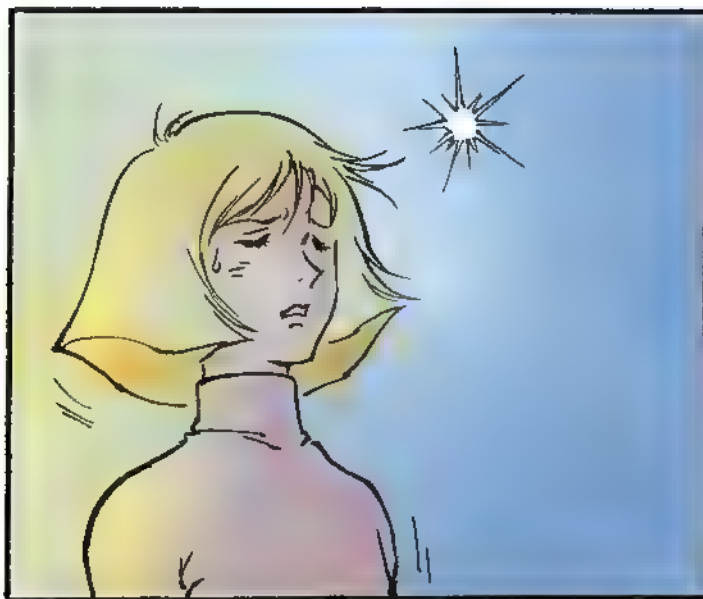
いつ大虐殺というよう
な事態が発生しても
おかしくない状況です！







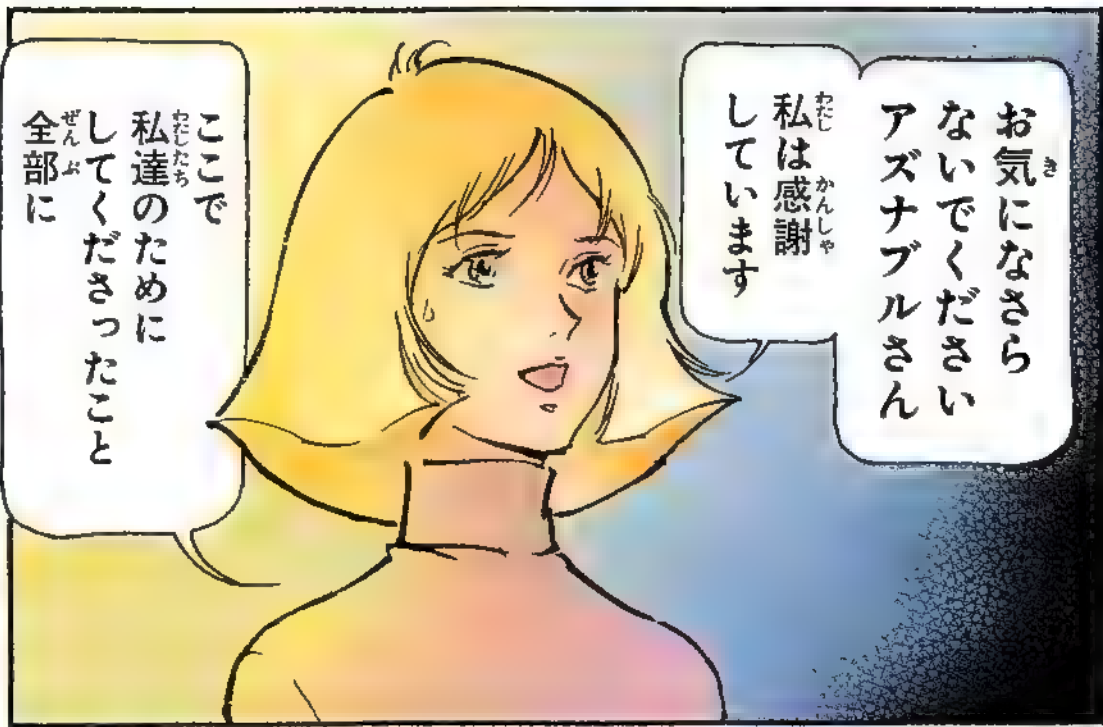






ありがたい
お言葉です

なによりの



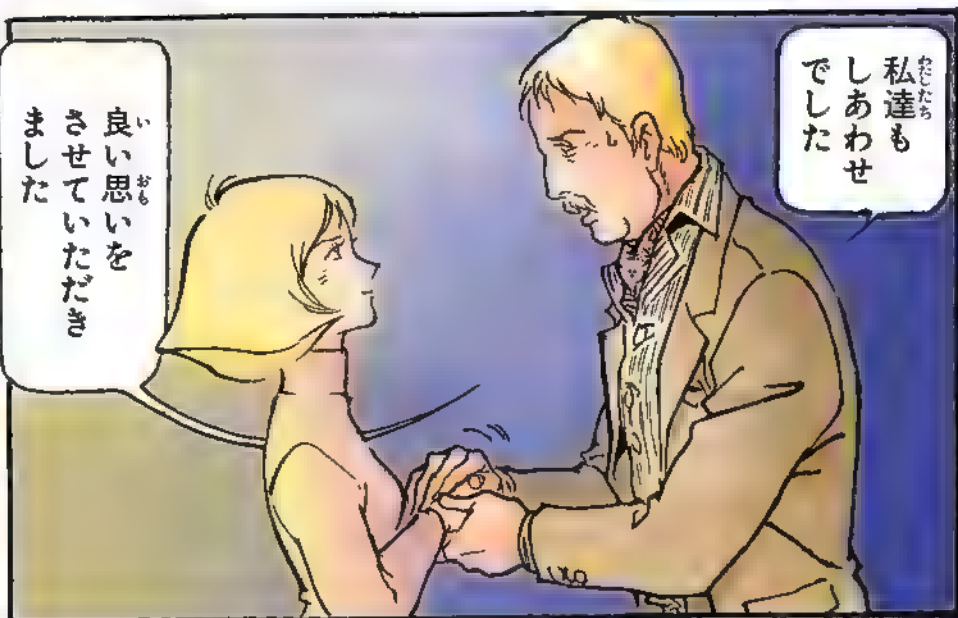
お気になさ
ないでくだ
さい
アズナブルさん
私は感謝
しています

ここで
私達のため
に
してくださ
ったこと
全部に



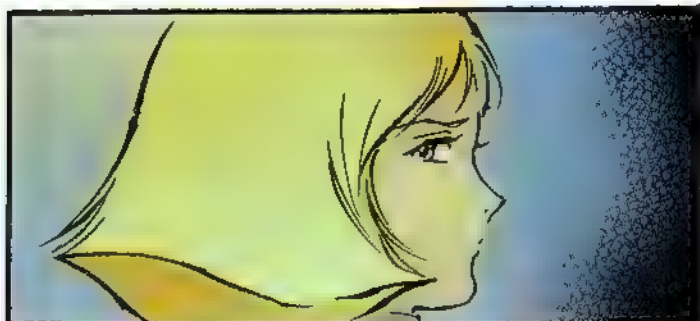
戦争が終つたら
あれも連れて
きつと帰ります

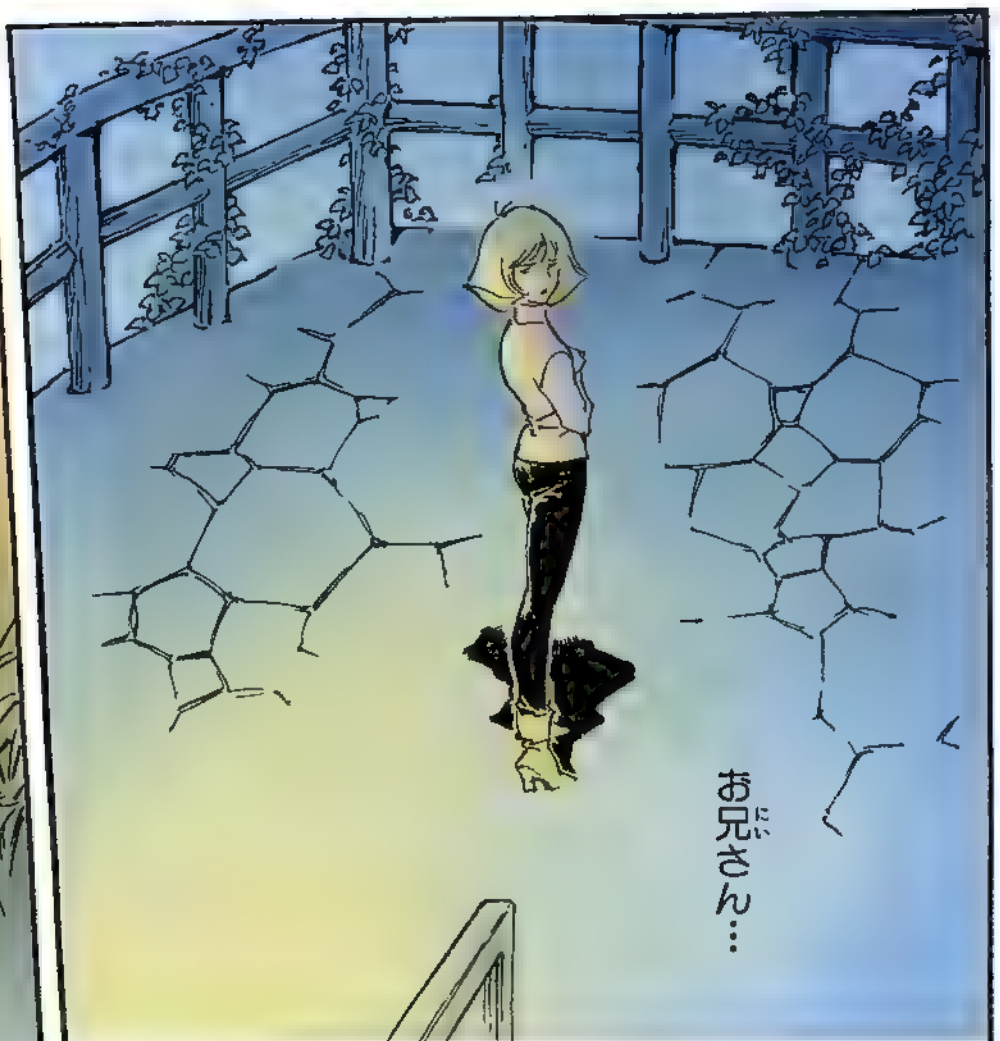
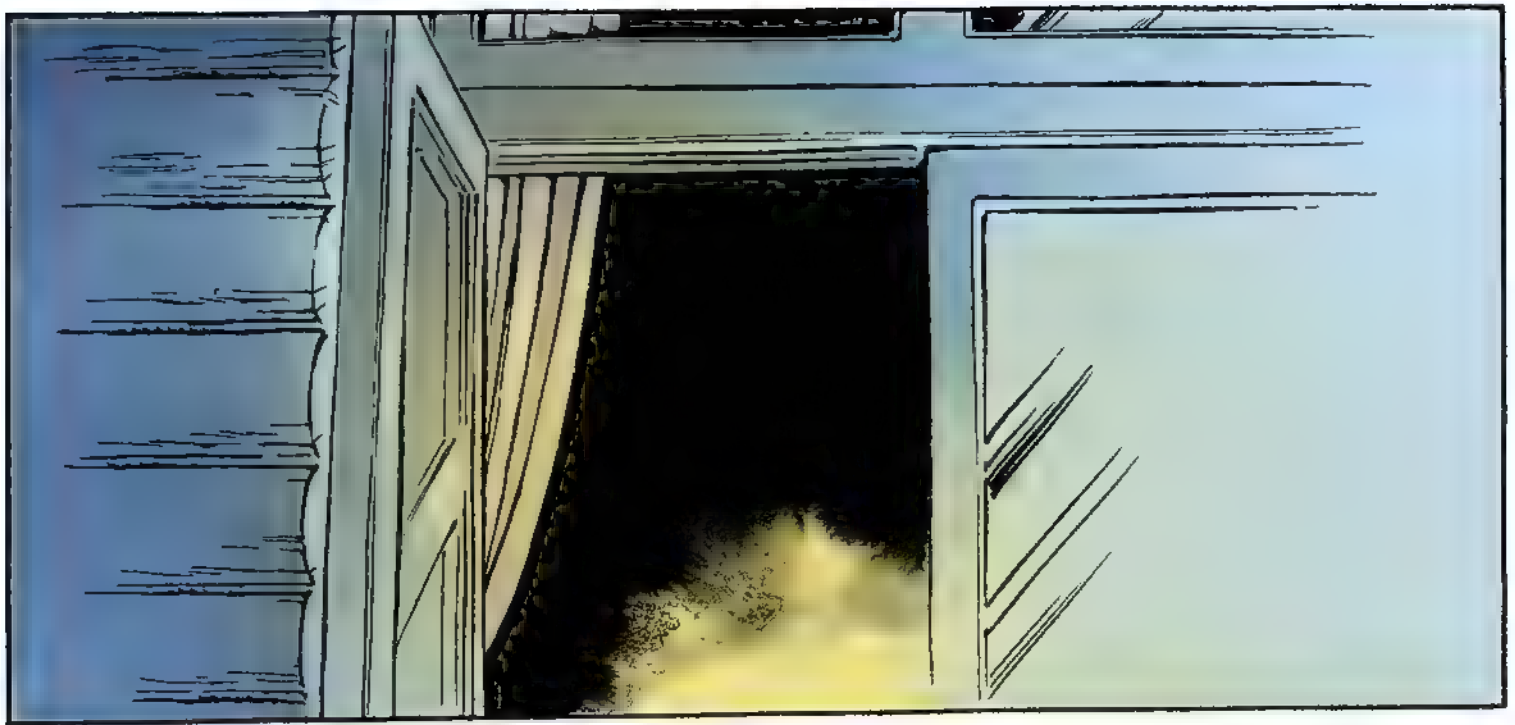
またお会いできると
信じています



私達も
しあわせ
でした

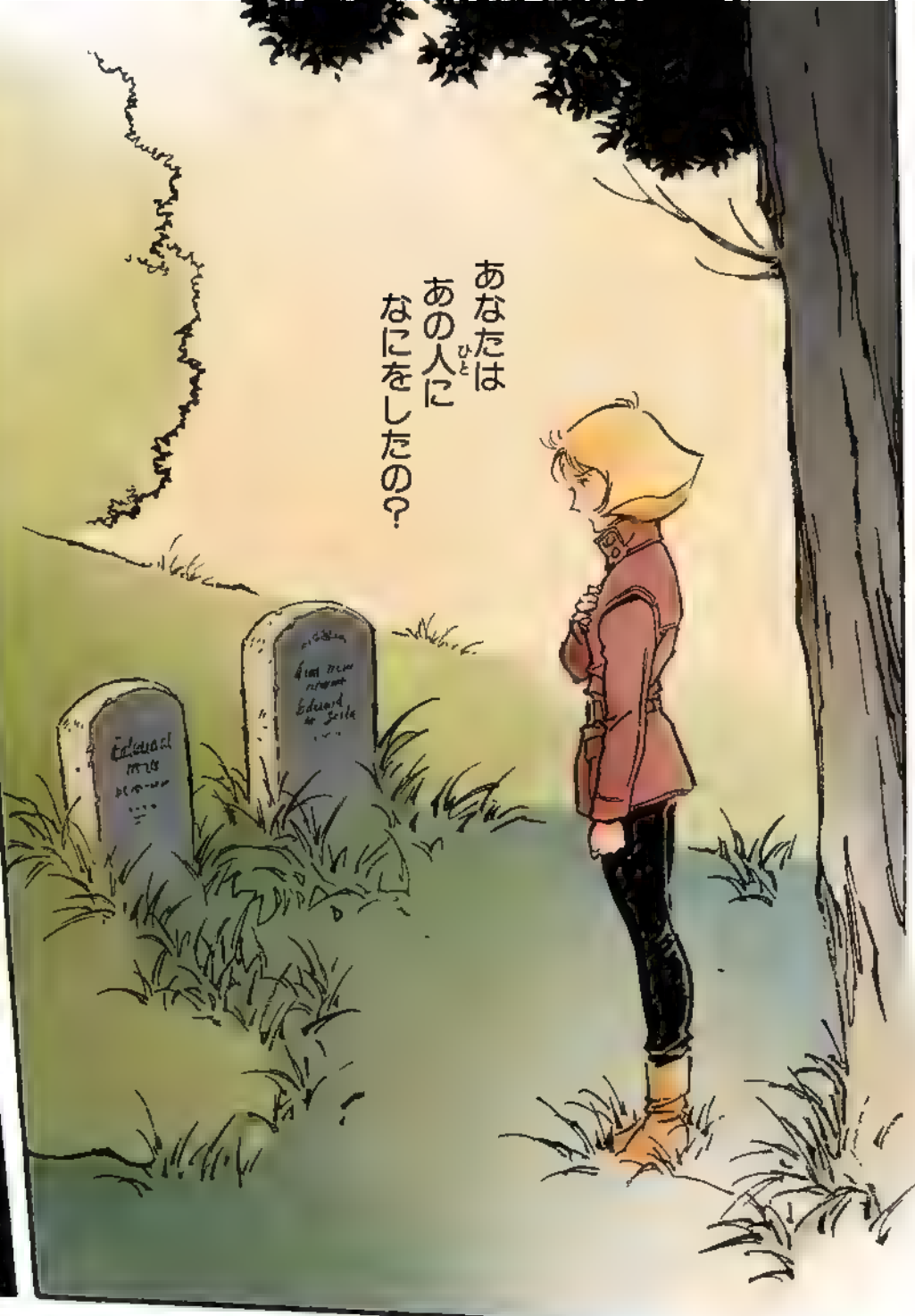
良い思いを
させていた
だき
ました





お兄さん…

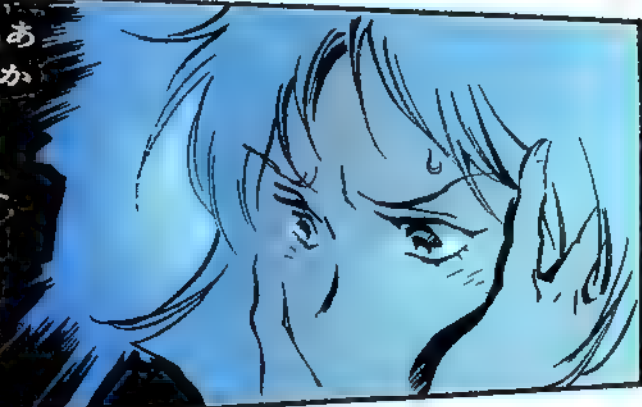
あなたは
あの^{ひと}人に
なにをしたの？



シヤア・
アズナブル^{そんじ}とい^{おんじ}男^{おんじ}を
ご存^{ぞん}知^しです^{おんじ}ね^{おんじ}



あか^{あか}い^{あか}彗^{すい}星^{せい}と
し^しょう^{しょう}称^{しょう}され^{しょう}て
いま^{いま}す



この^{おんじ}男^{おんじ}に
ち^ちゅう^{ちゅう}い^い注^{ちゅう}意^いして^いい^いて
くだ^{くだ}さい

お兄^{にい}さん^{さん}の
キヤスバル・レム
ダイクンは

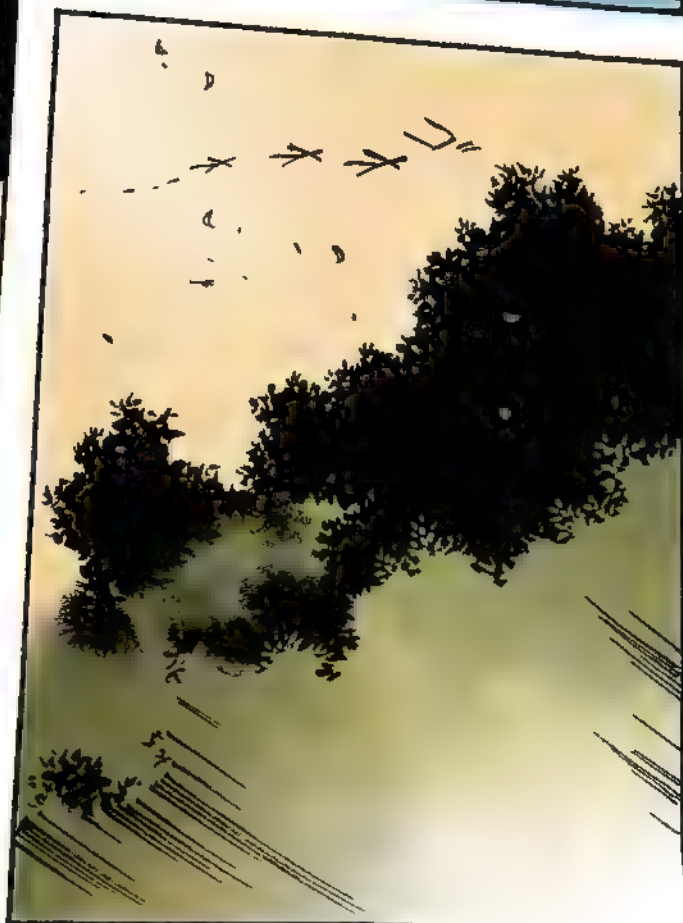
生^いきて
いま^{いま}す

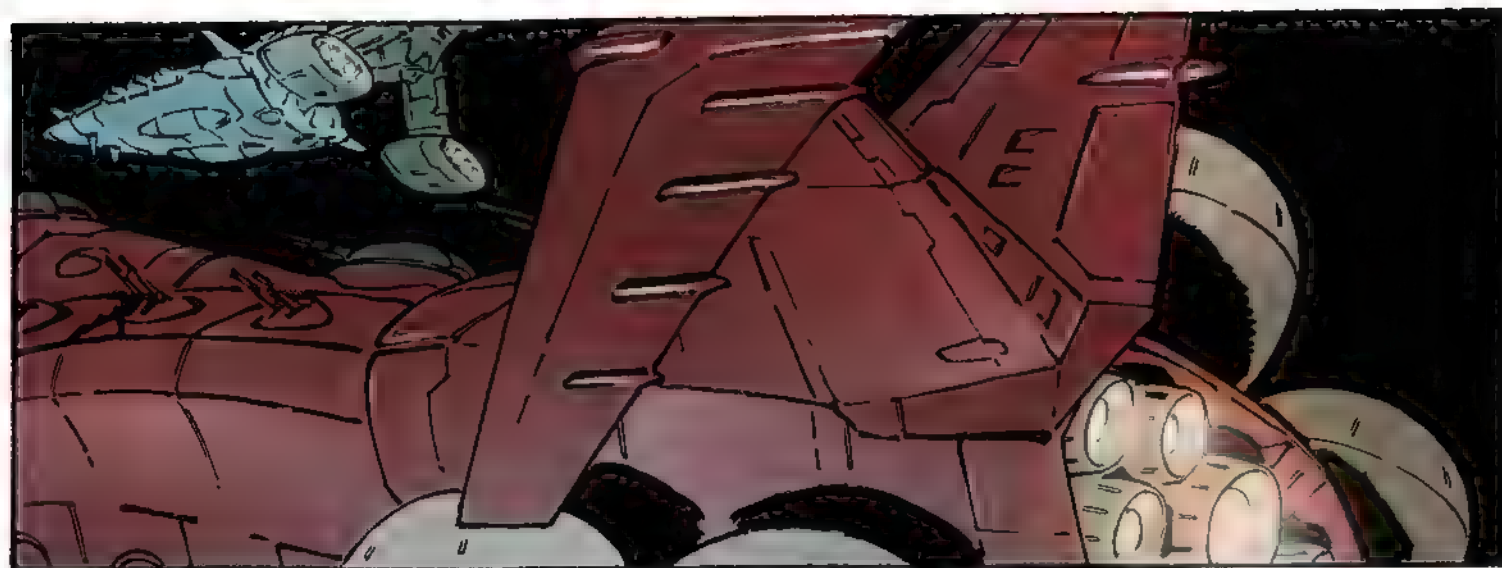
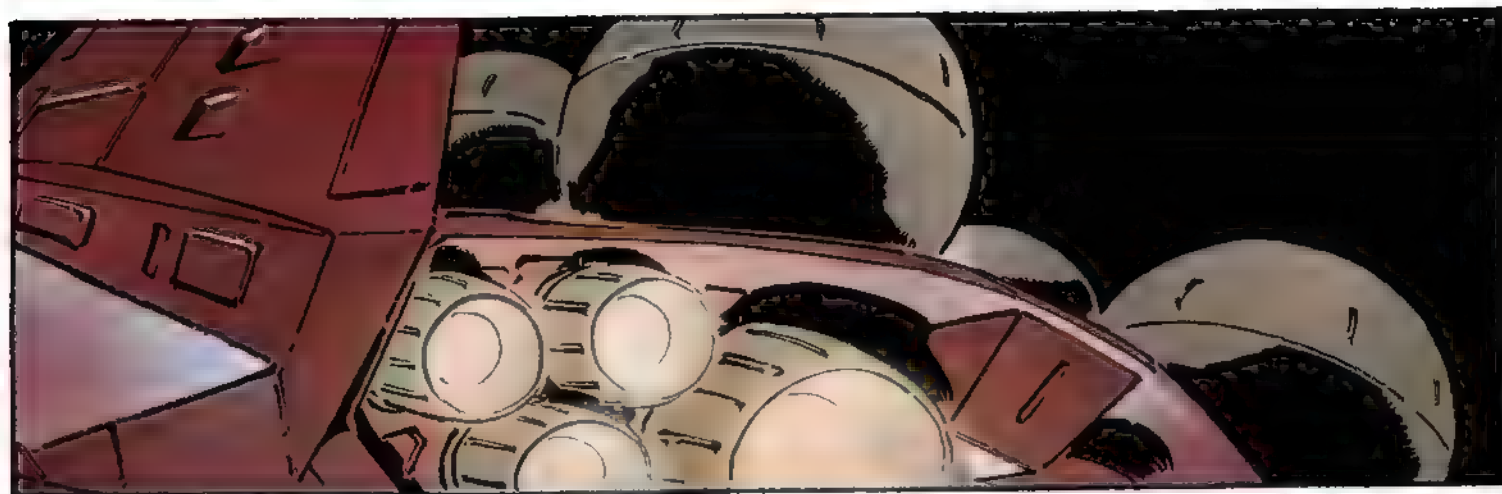
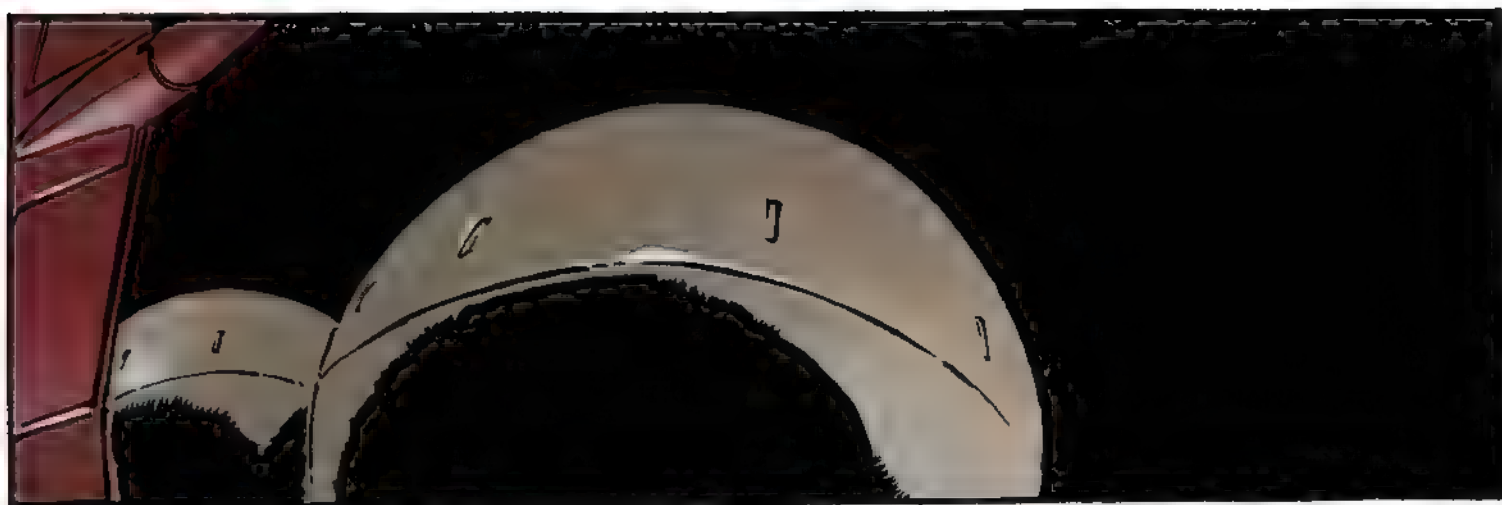


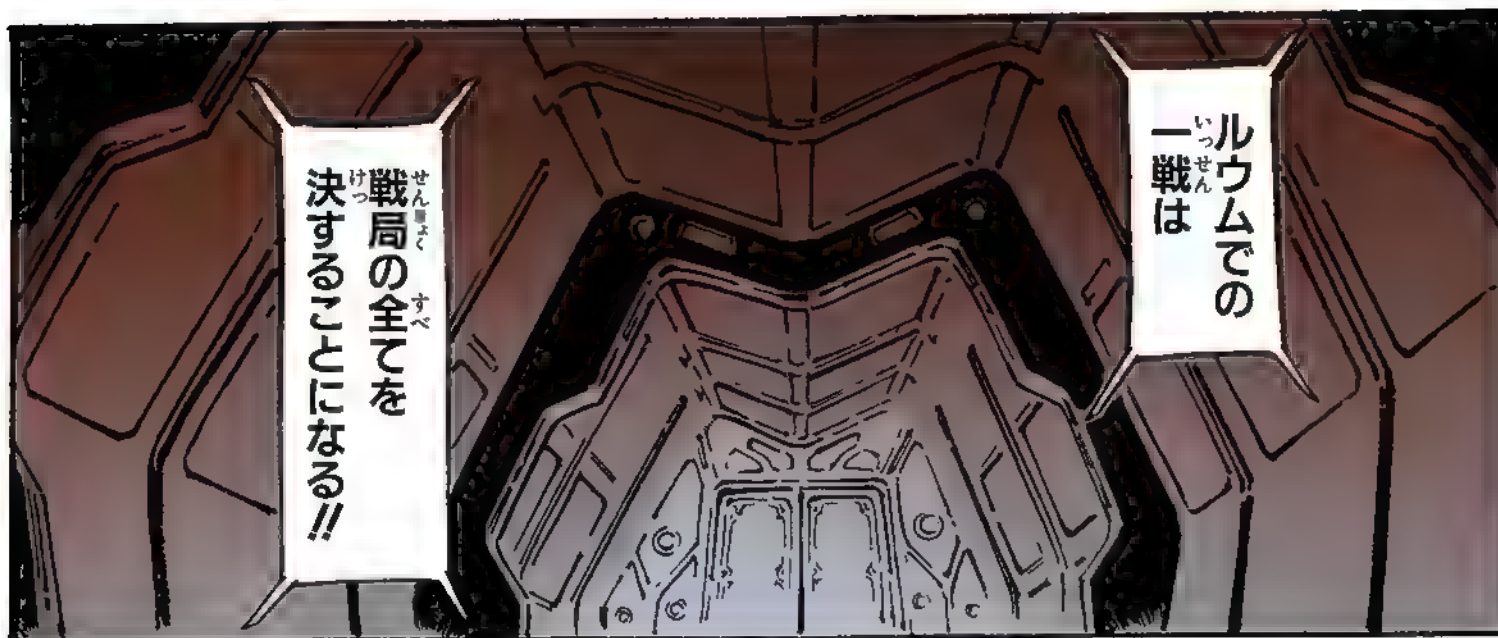
生^いきて
いま^{いま}す

生^いきて
いま^{いま}す

生^いきて

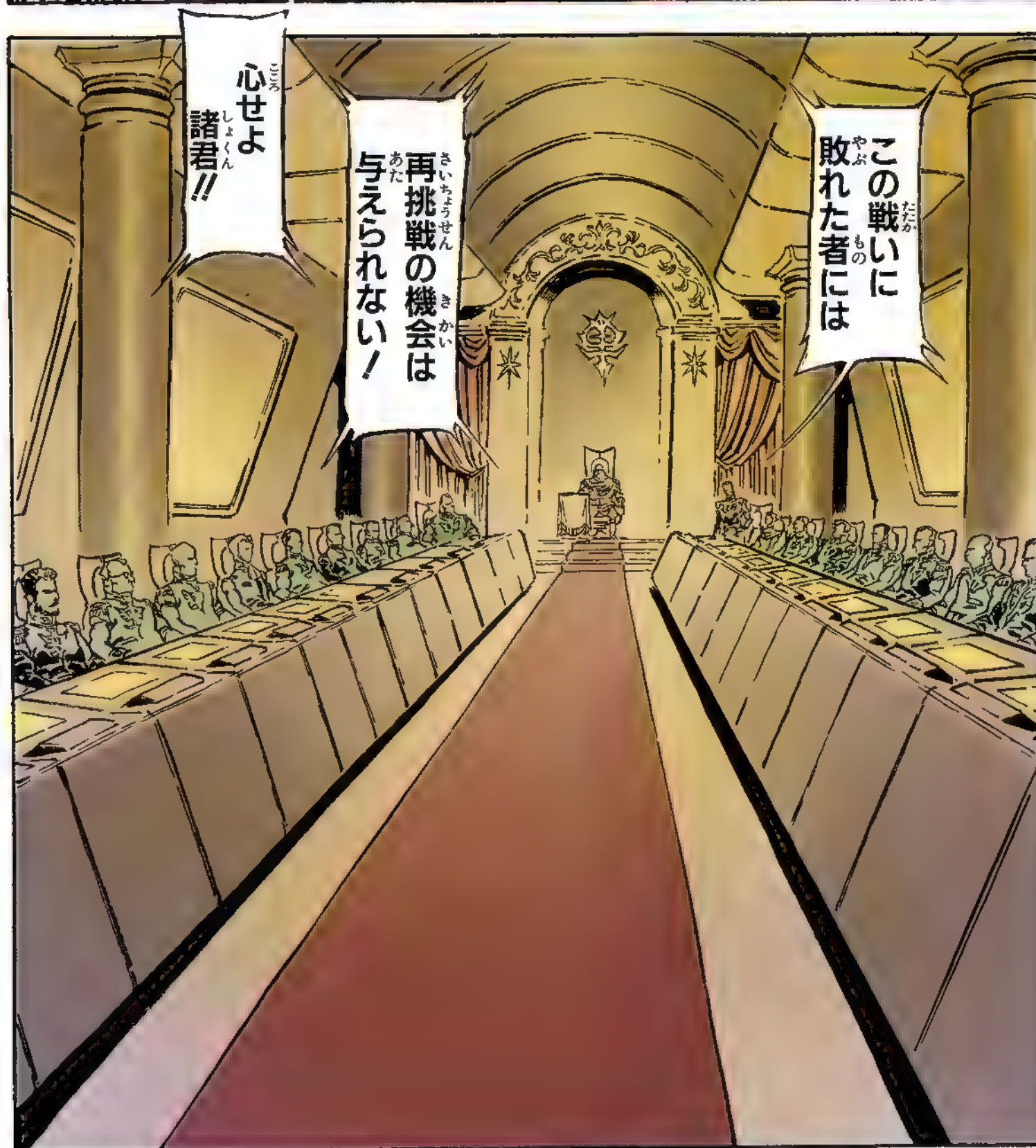
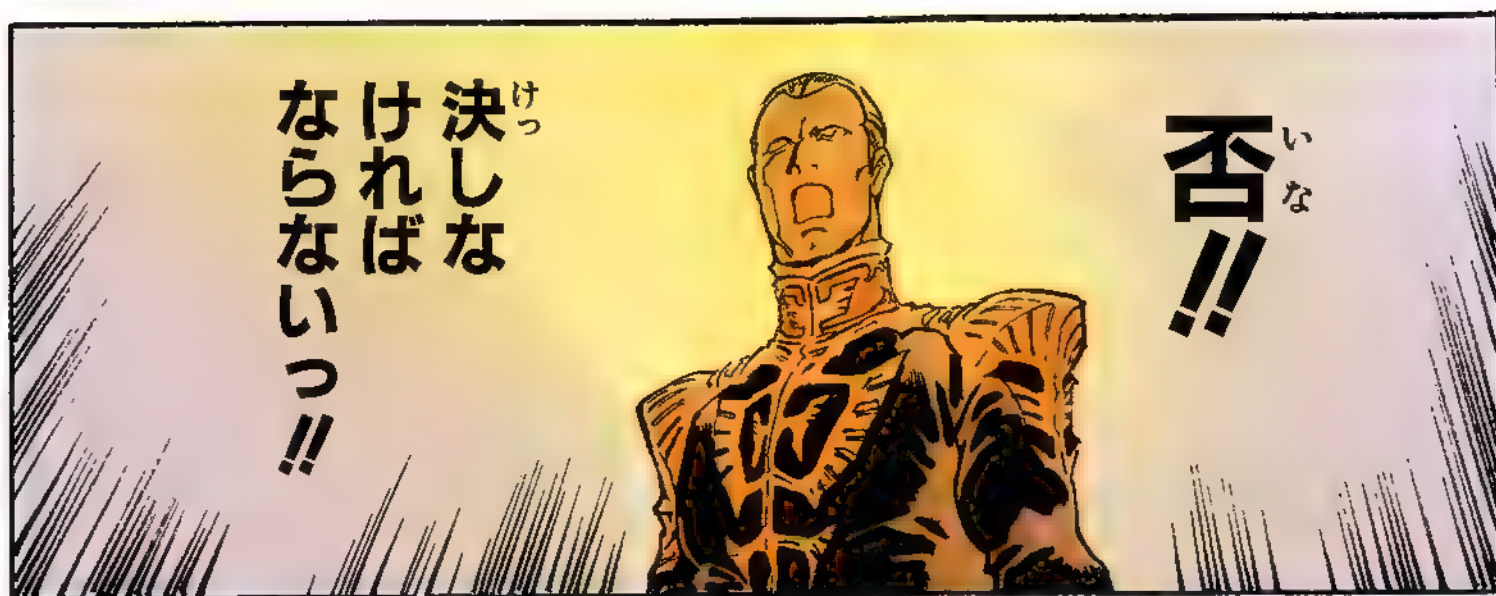


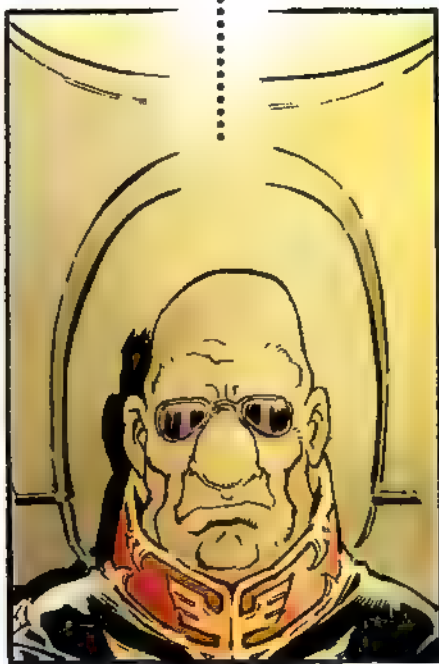




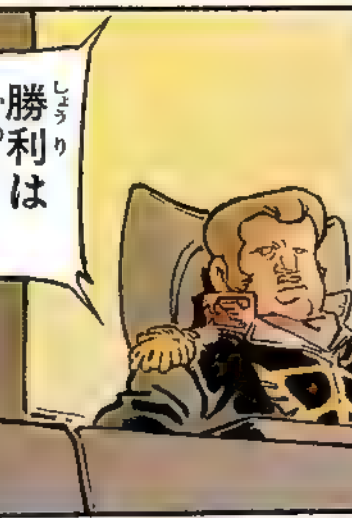
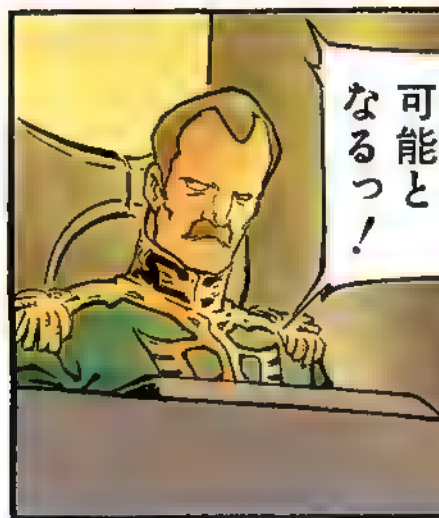
ルウムでの
一戦は

戦局の全てを
決することになる!!

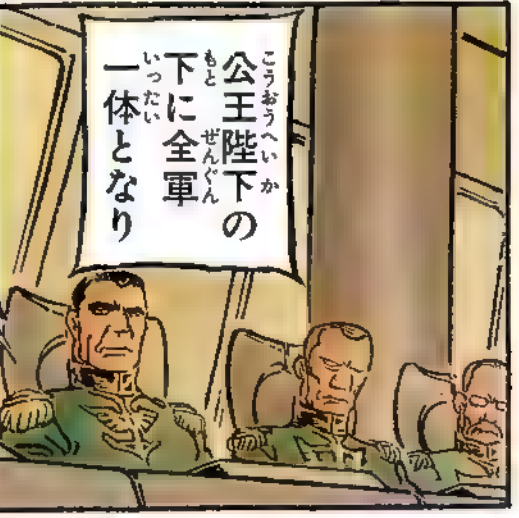




連邦宇宙軍は
烏合の衆であるが
ブリテイツシュ作戦で
受けた痛手の
報復の意志に
燃えているだろう

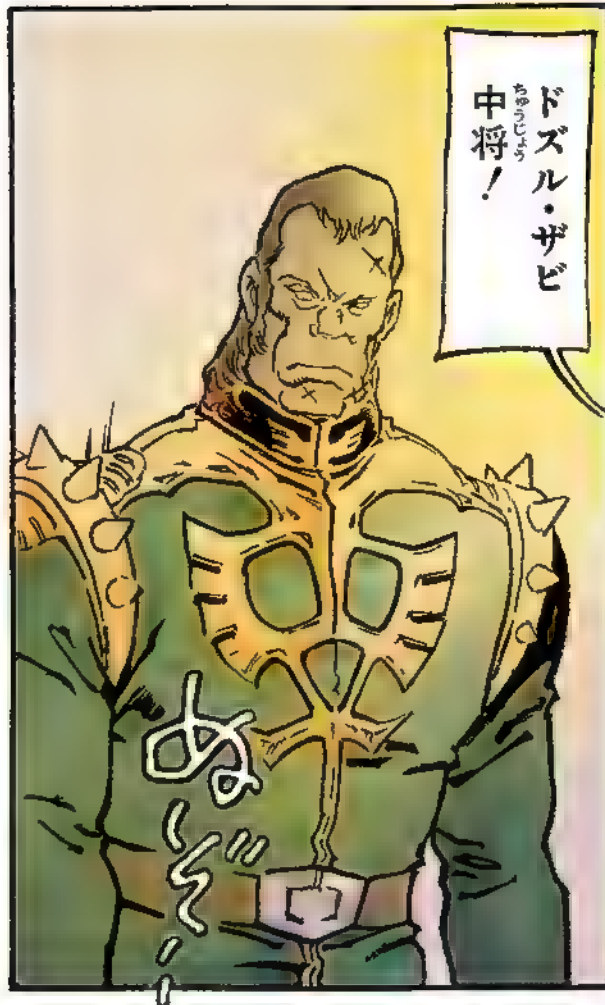


公国の興廃を
賭けて戦つてのみ



公王陛下の
下に全軍
一体となり

勝利は
可能と
なるっ！



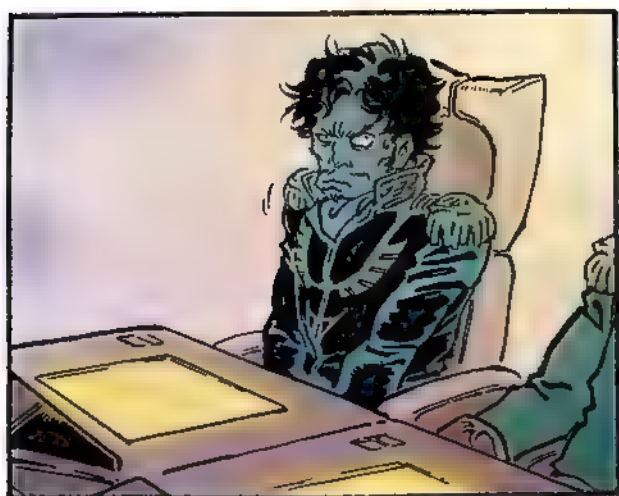
ドズル・ザビ
中将！

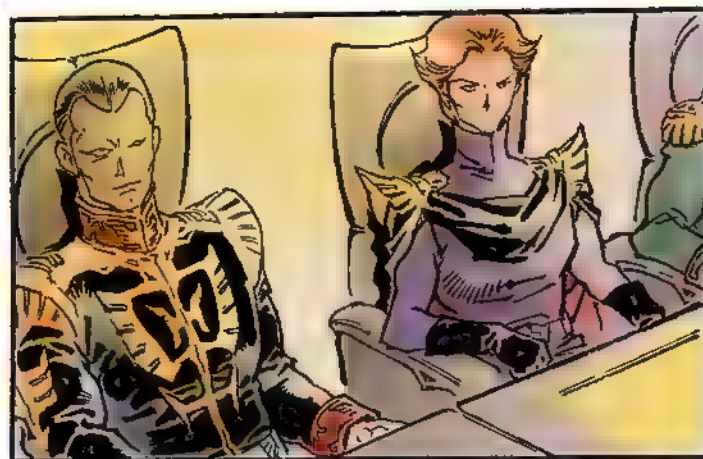
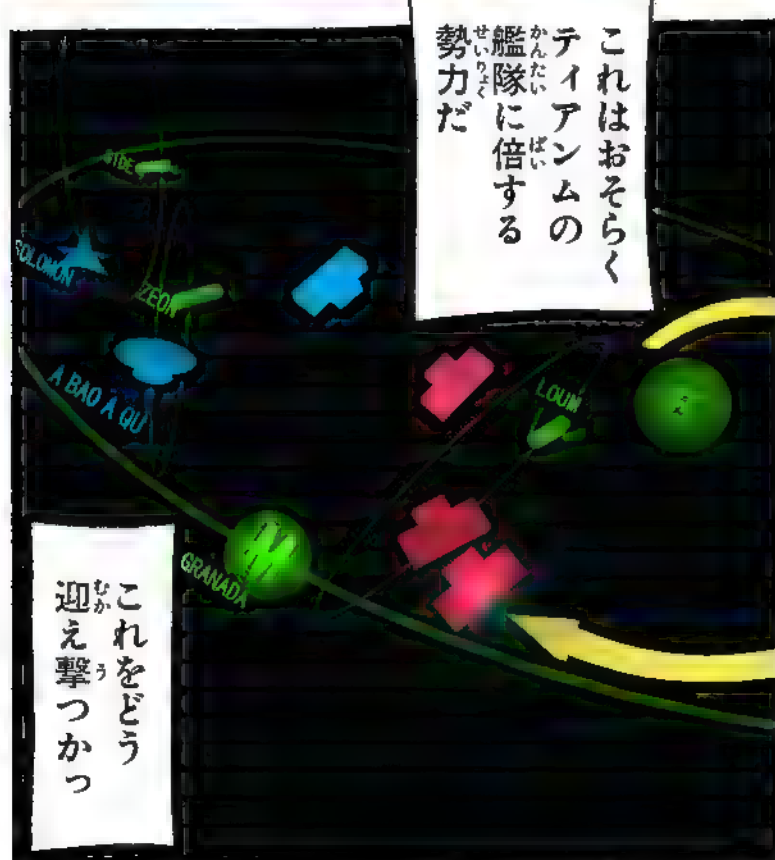
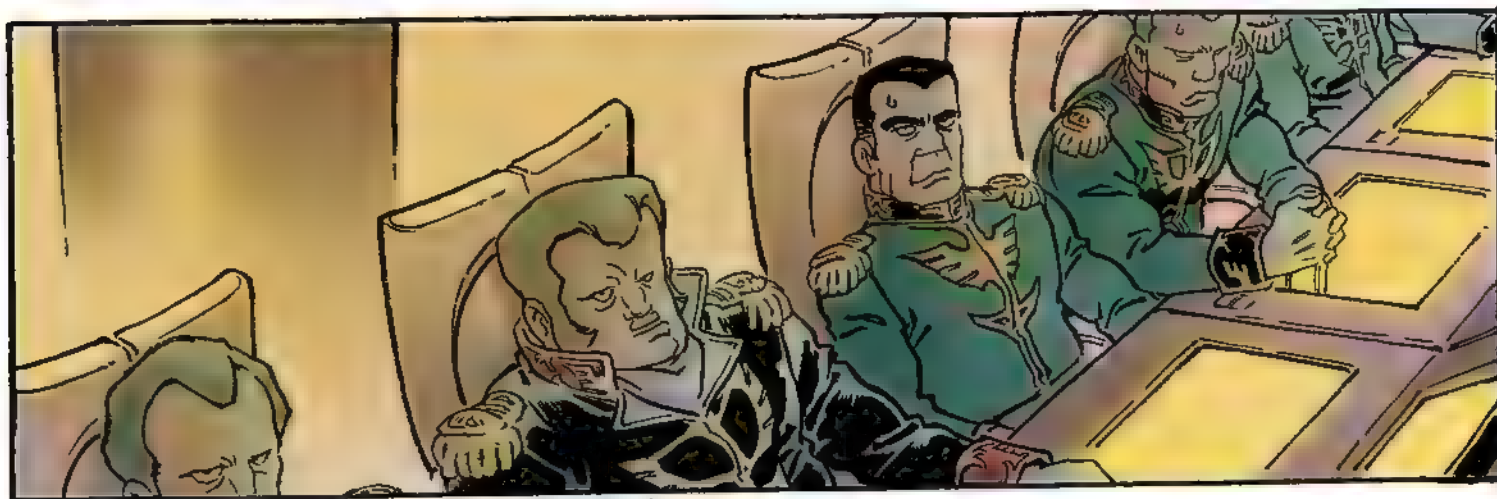
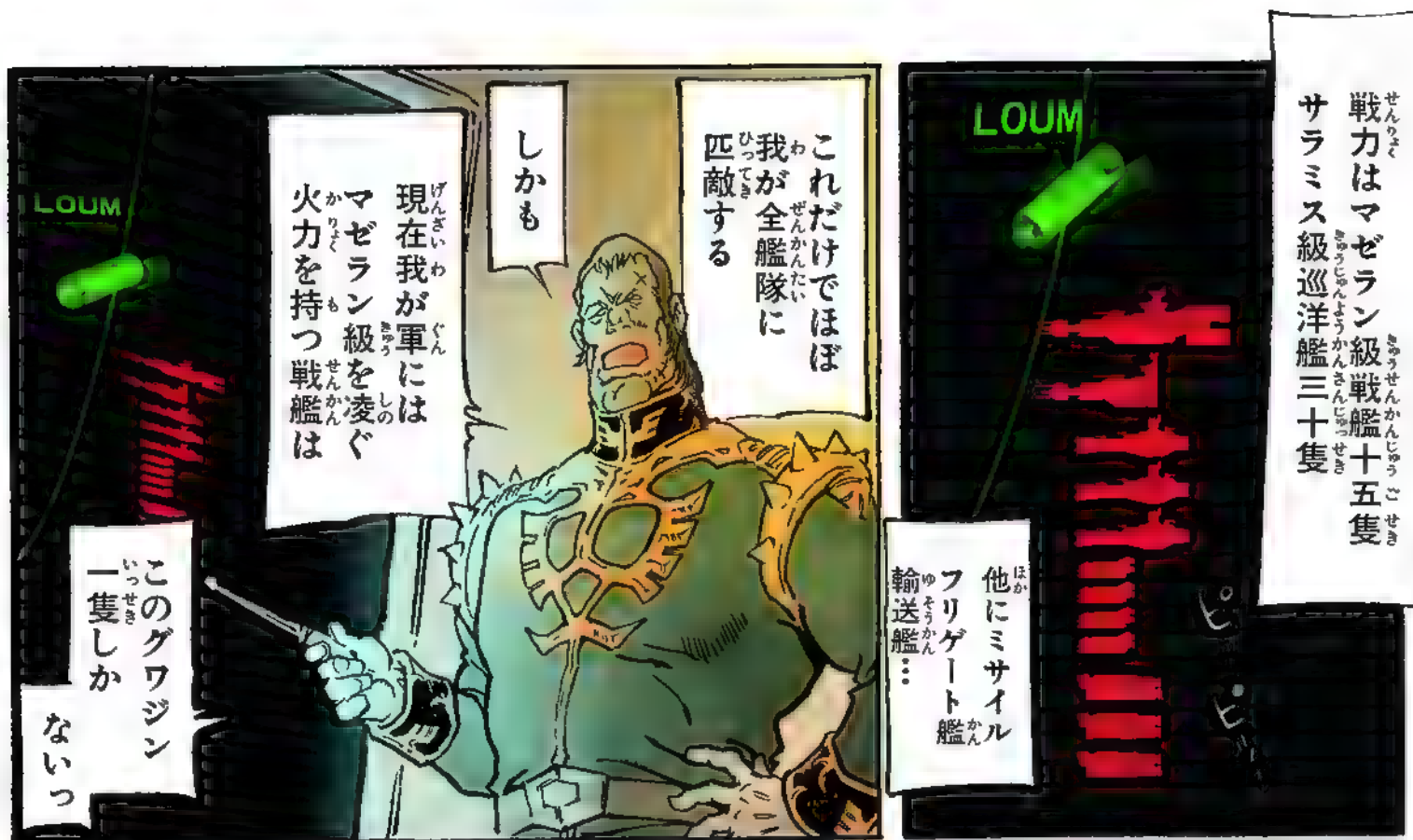


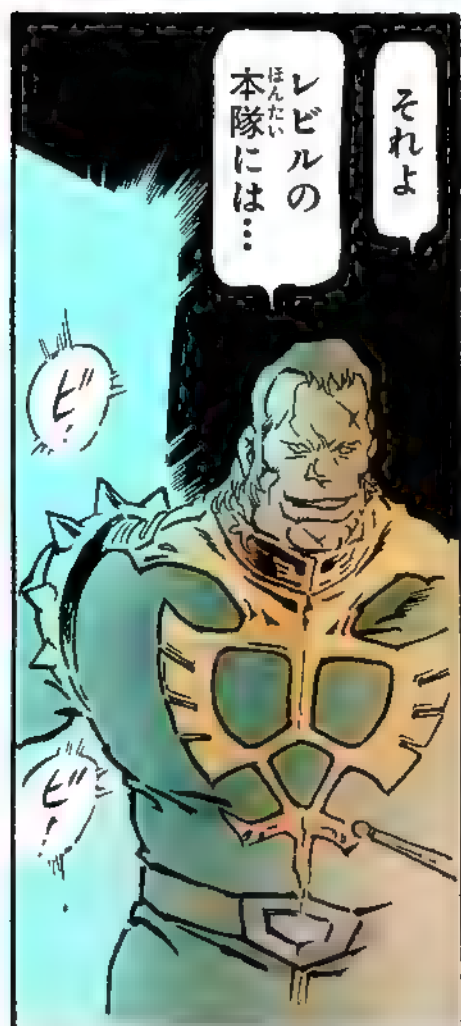
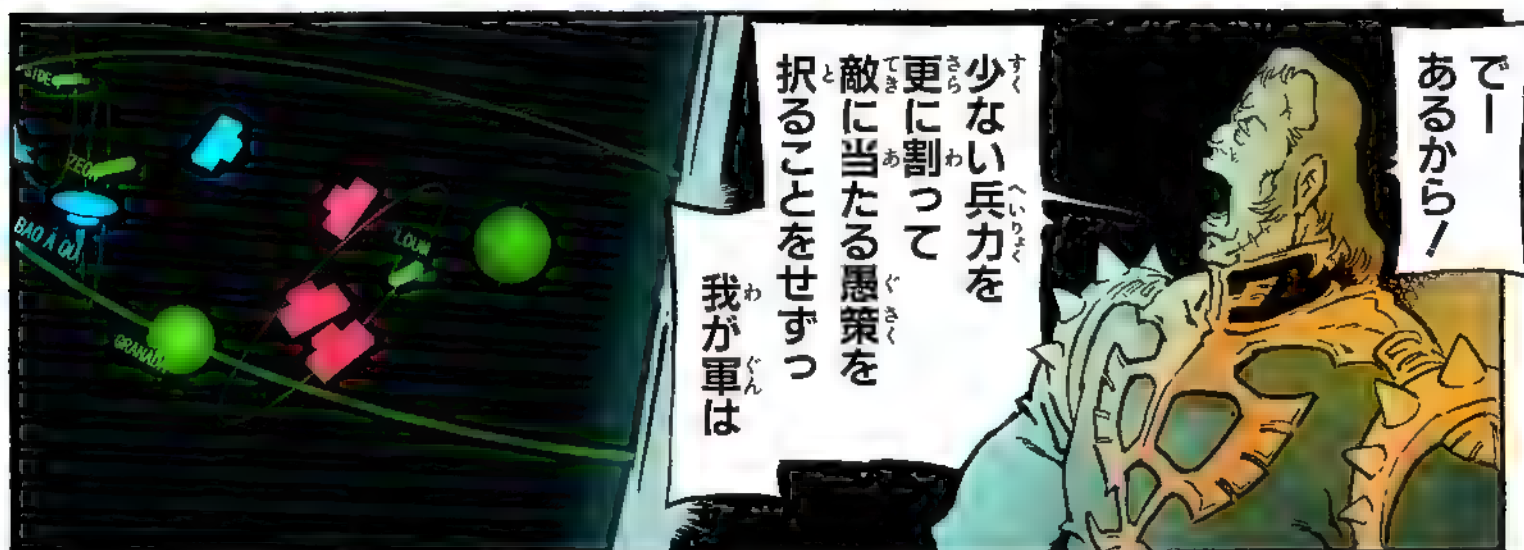
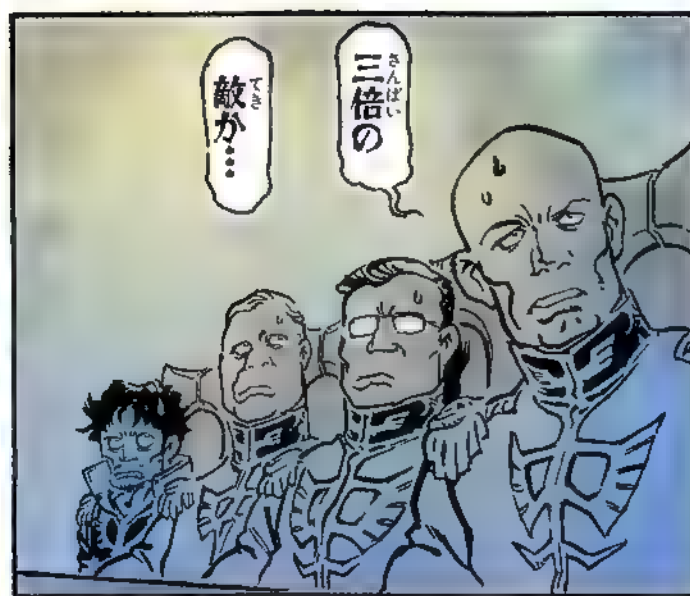
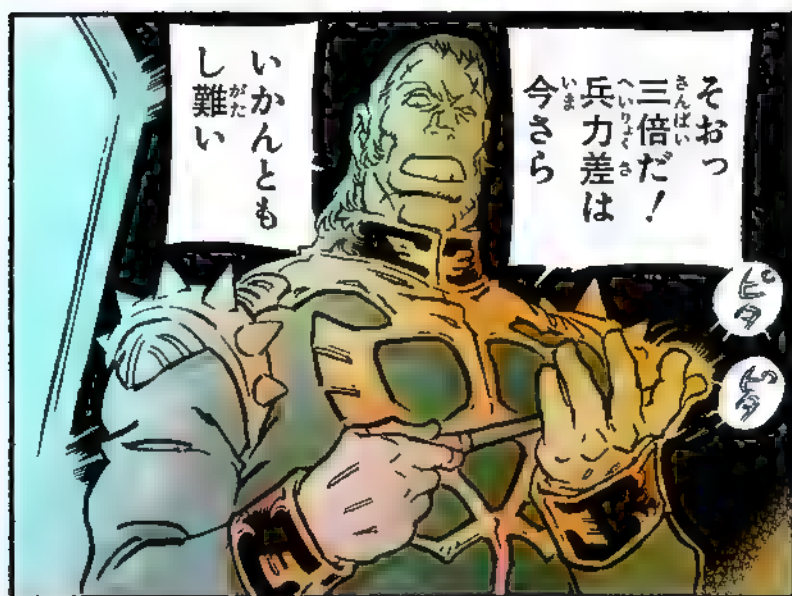
艦隊
総司令

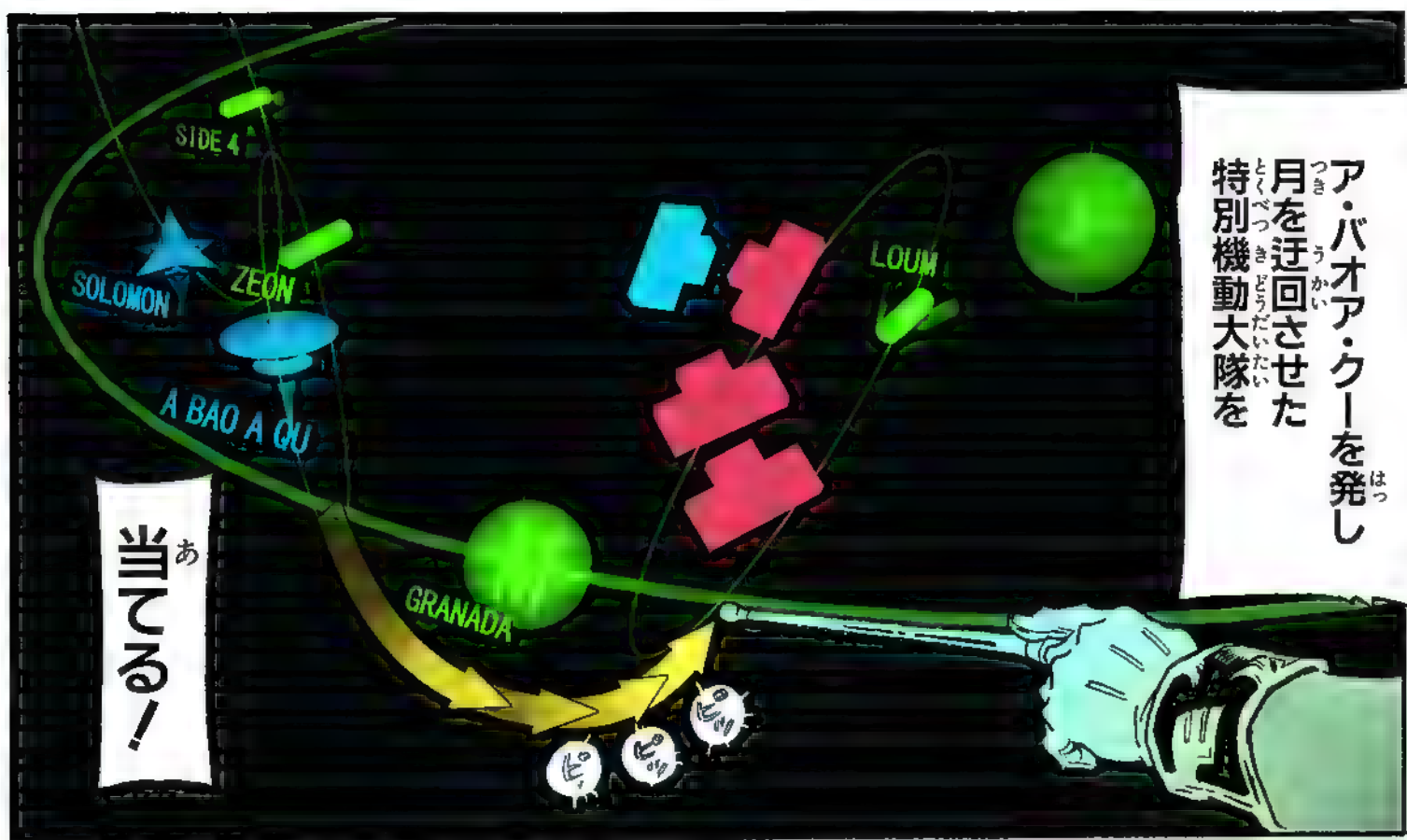
作戦説明だ

では

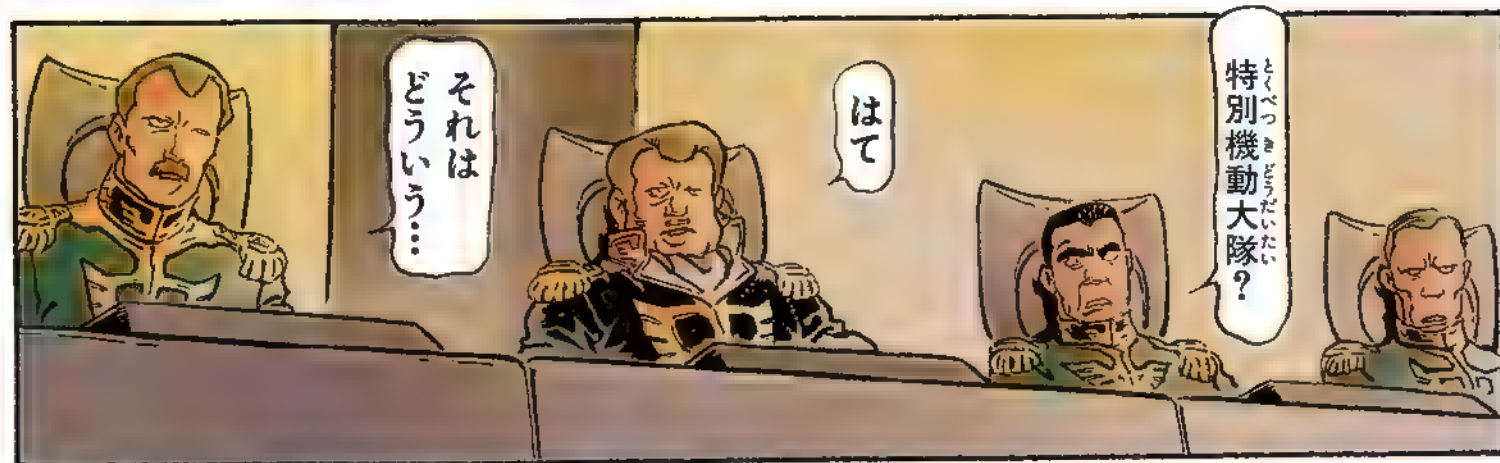








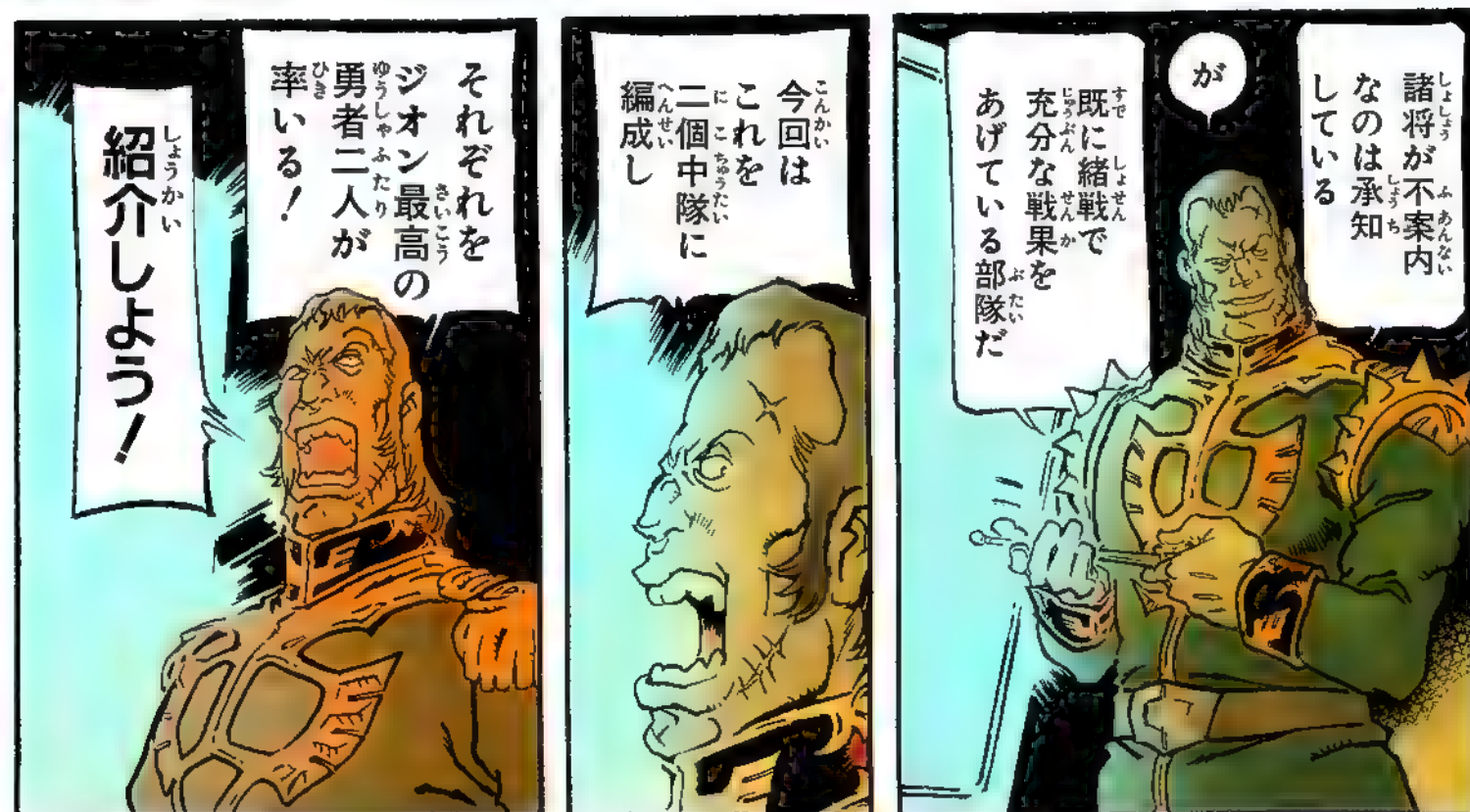
ア・バオア・クーを^{はっ}発し
月^{つき}を迂回^{うかい}させた
とくべつきどうだい
特別機動大隊を



とくべつきどうだい
特別機動大隊？

はて

それは
どういう…



諸将^{しよしょう}が不案内^{ふあんない}
なのは承知^{しやうち}
している

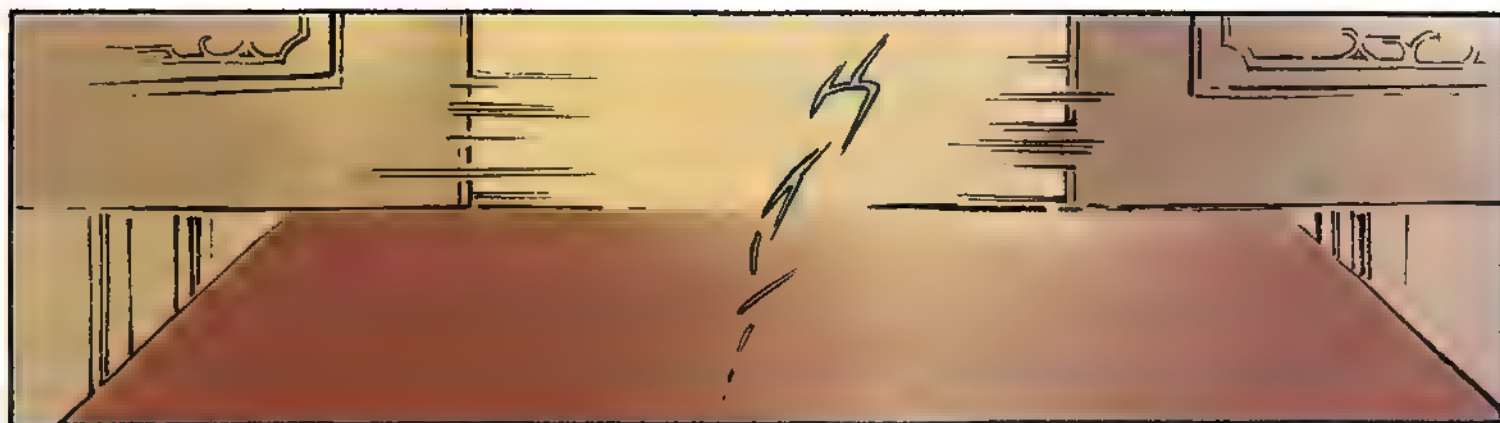
が

既に^{すで}緒戦^{しよせん}で
充分な戦果^{せんか}を
あげている部隊^{ふたい}だ

今回は^{こんかい}
これを^{これ}
二個中隊^{にこちゆうたい}に
編成^{へんせい}し

それぞれを
ジオン最高^{さいこう}
の勇者^{ゆうしゃ}二人^{ふたり}が
率^{ひき}いる！

紹介^{しょうかい}しよう！

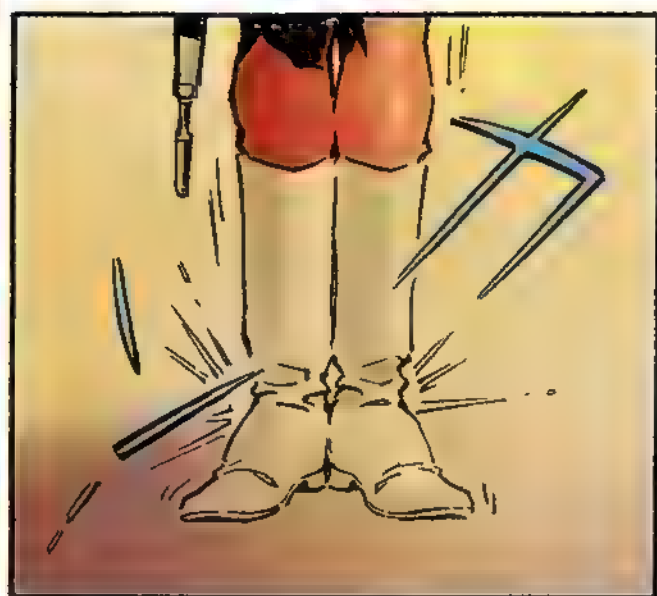


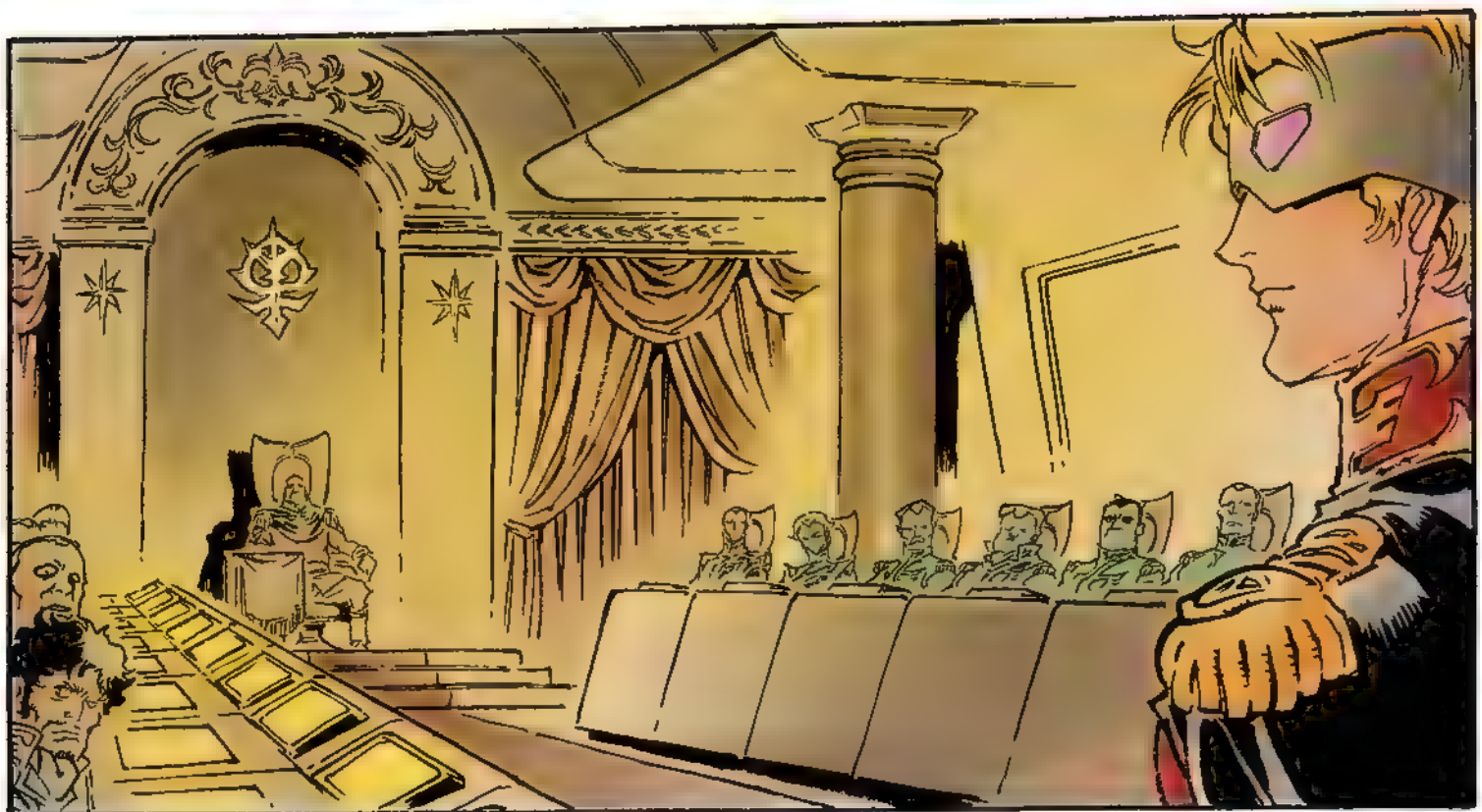
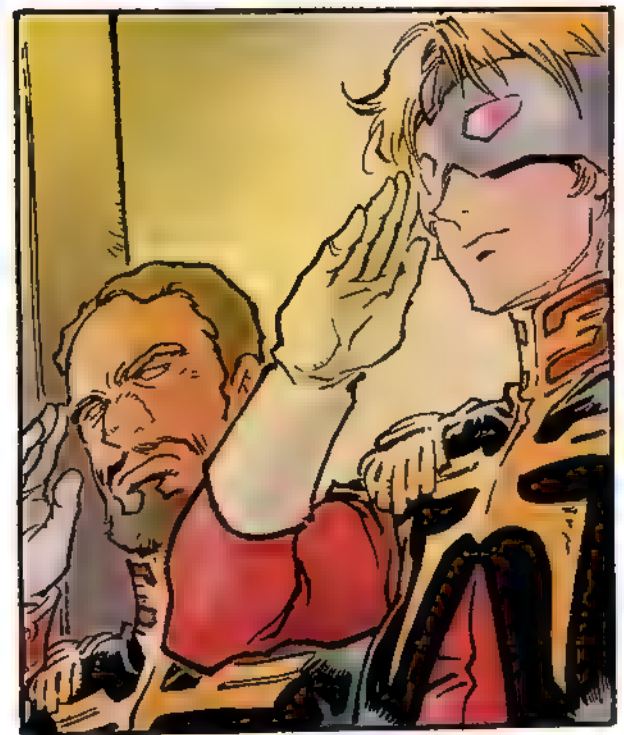
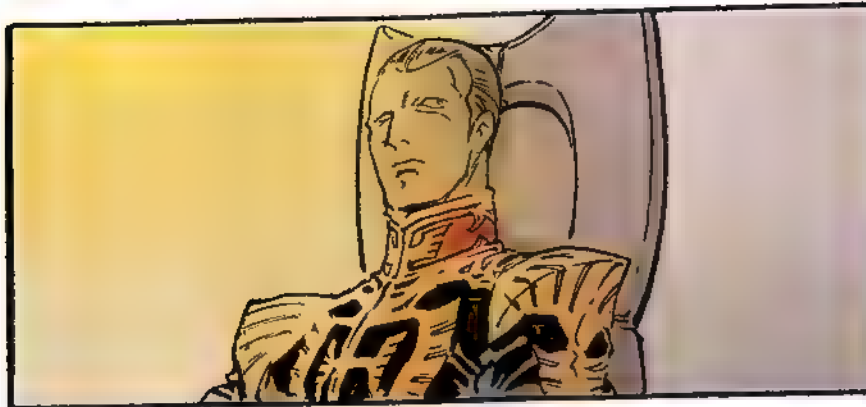
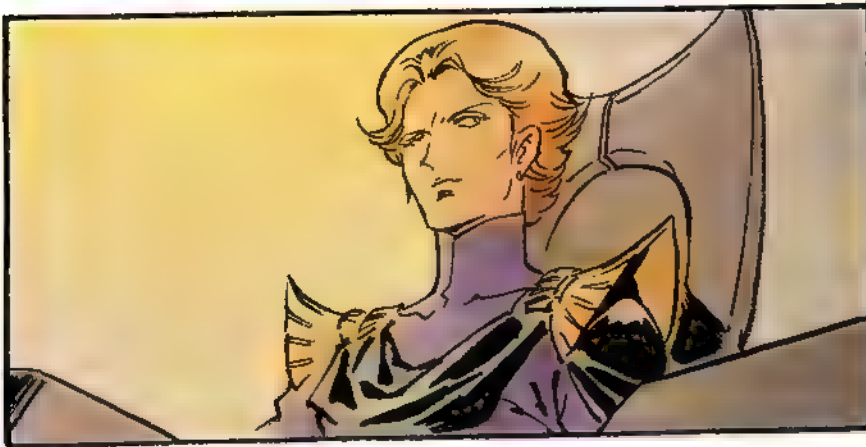
ミゲル・
ガイア中尉と
シャア・アズナブル
中尉だ！

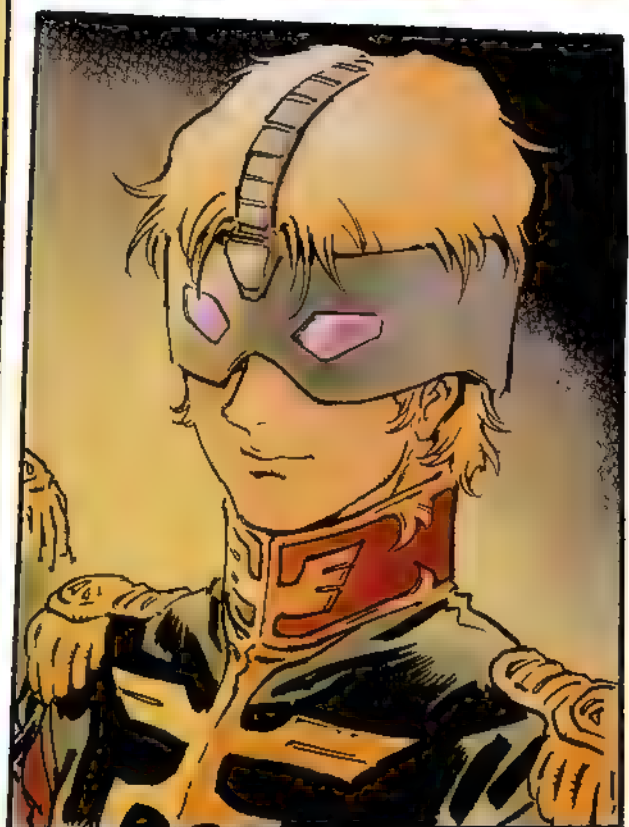
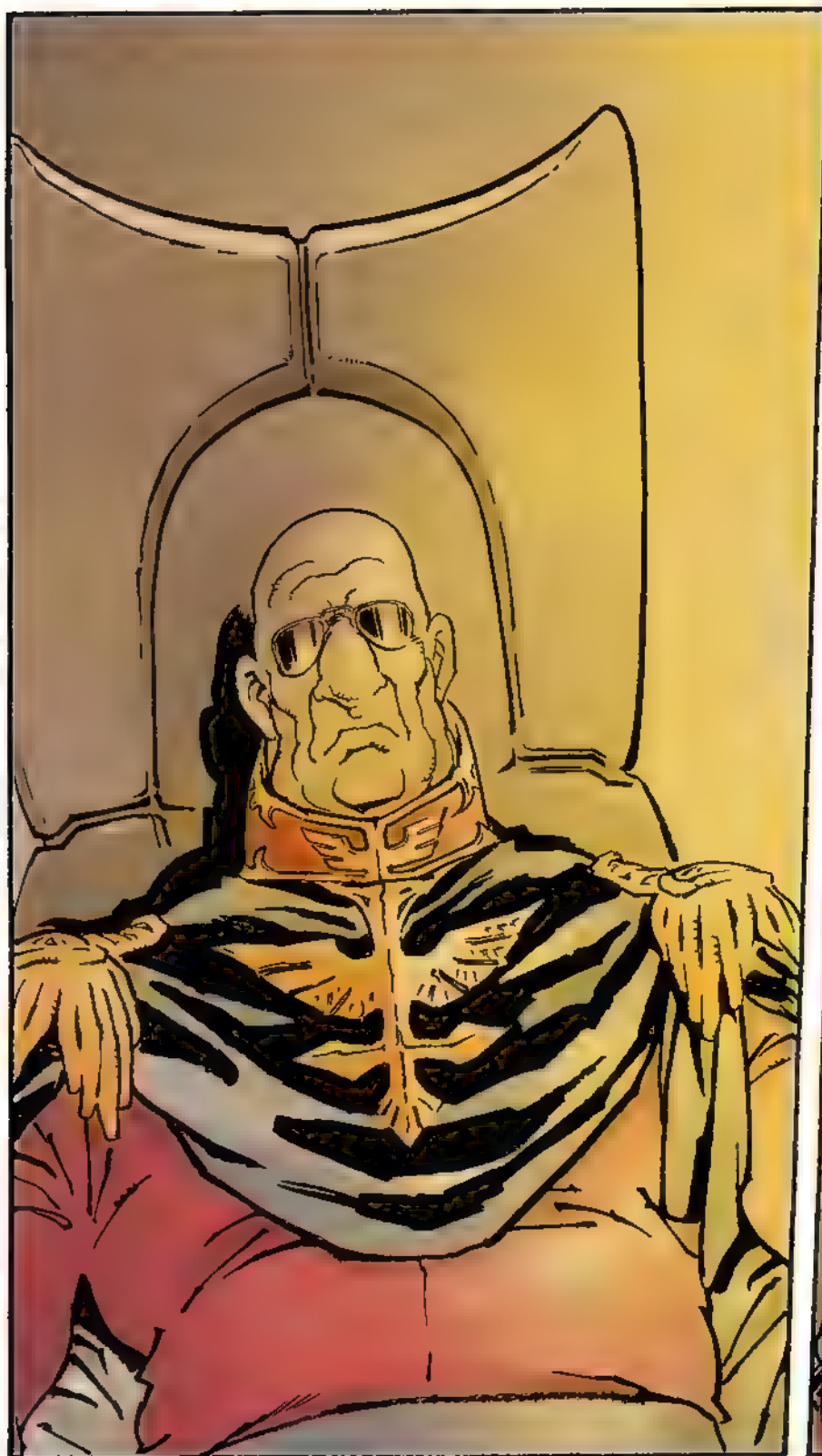
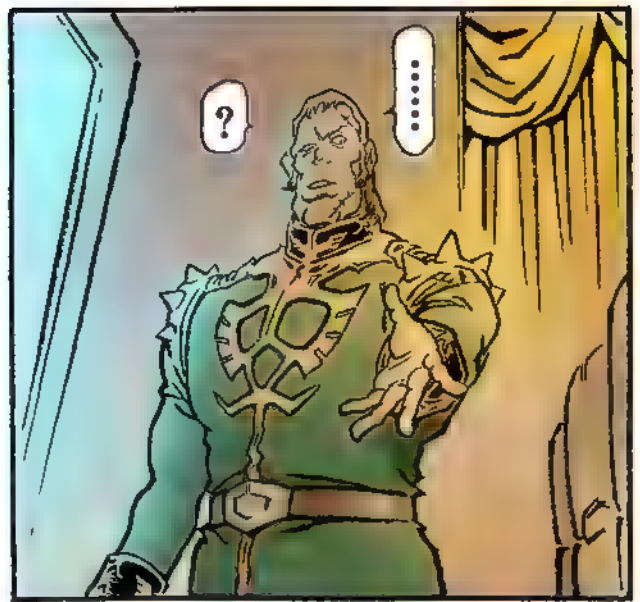
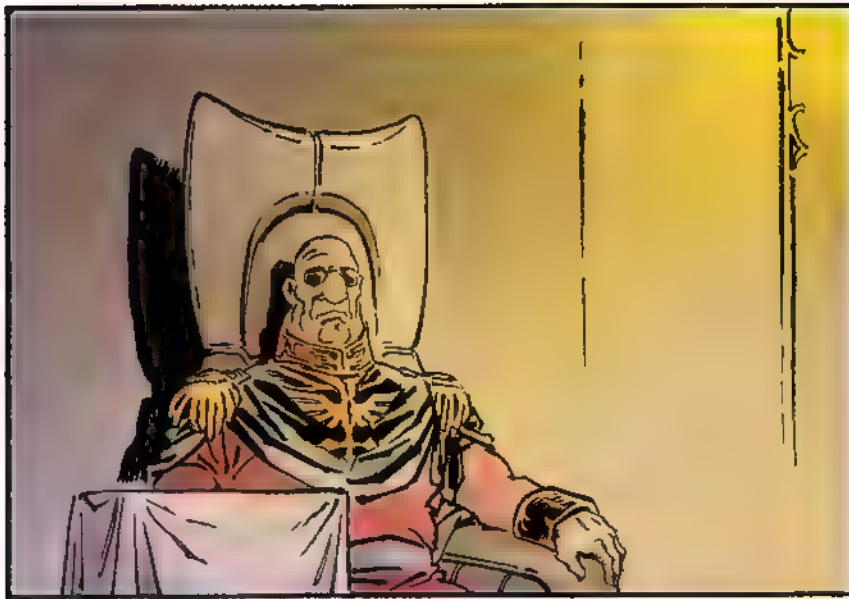


中尉

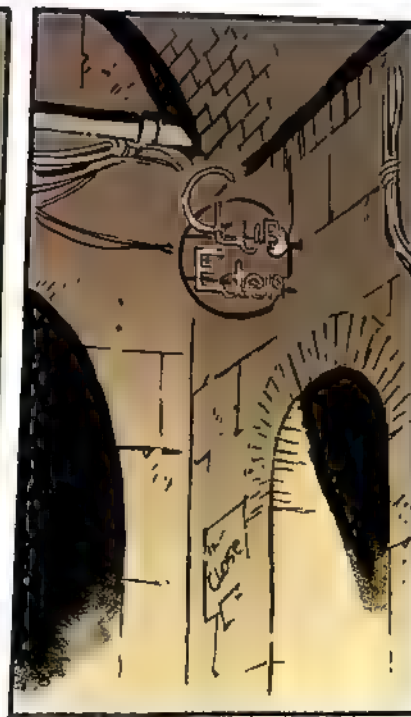
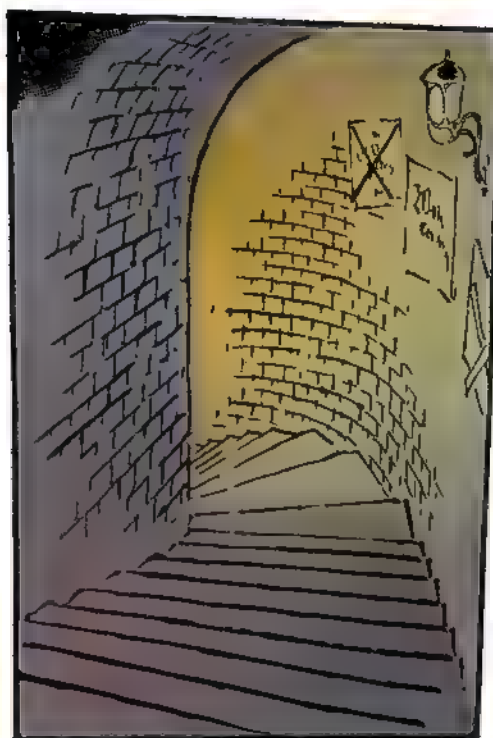
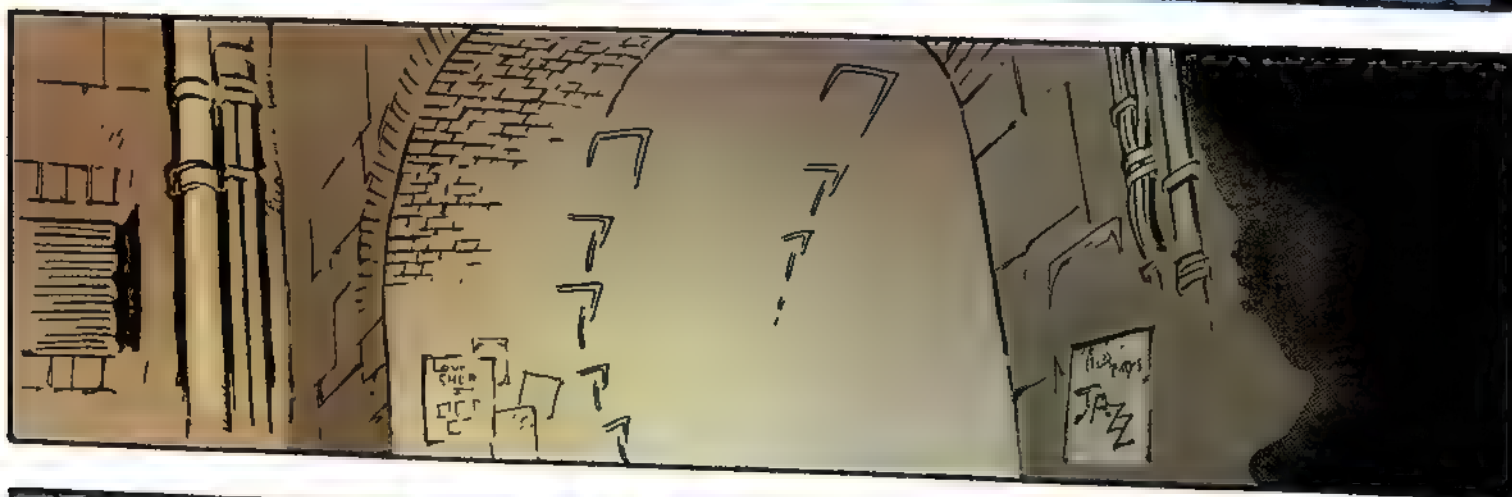
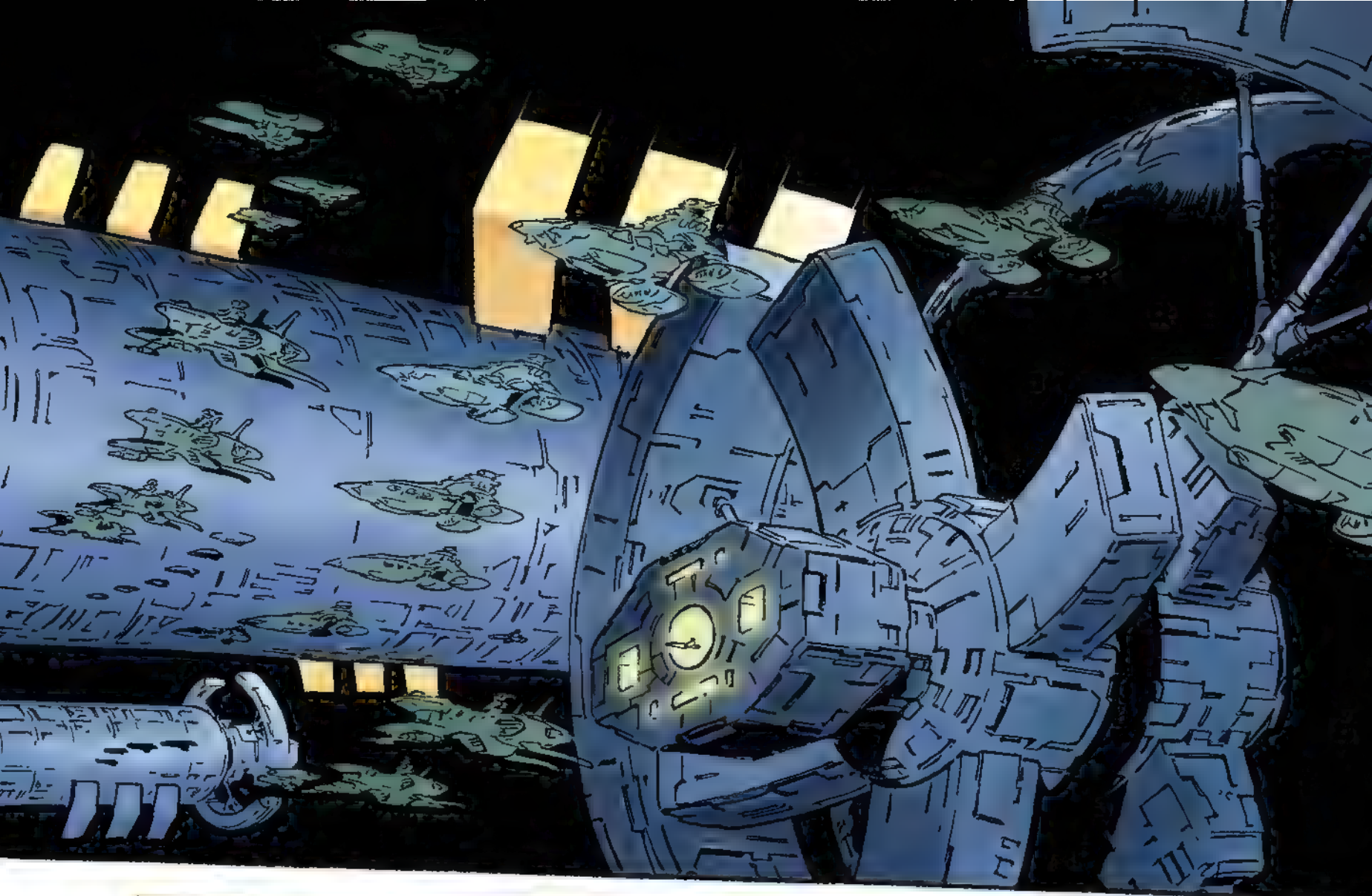
だど？

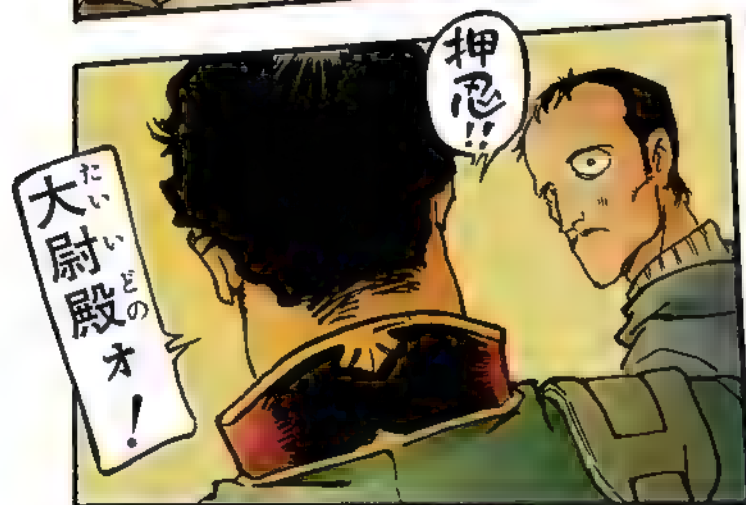
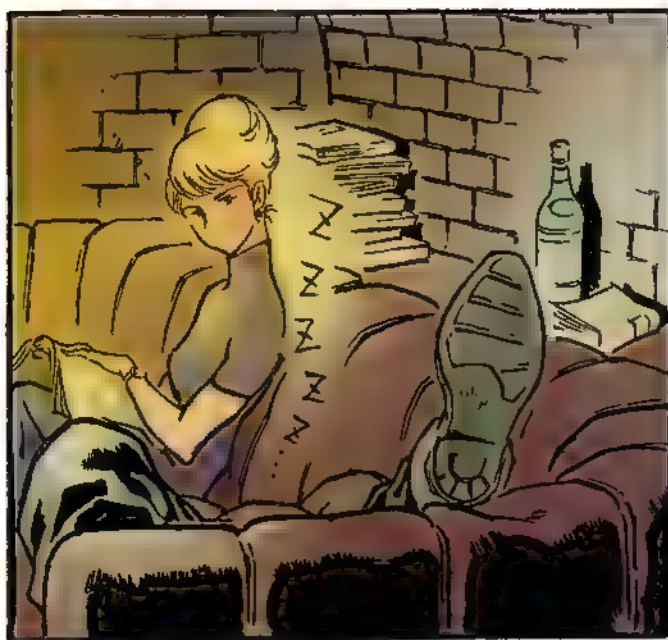
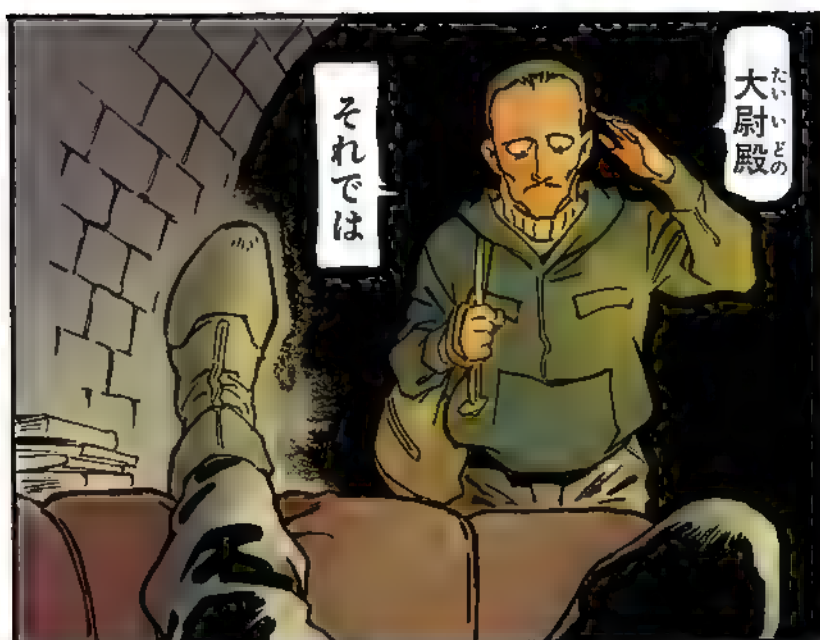














よく来たな
またあ
まあ坐れ

飲もう



久しぶり
だなア!

コズン



そうはいかないんです
MS部隊
総動員でね

じきに
輸送船団が
出ちまうん
ですよ



ラル大尉
殿に
敬礼ッ!

これより
ルウム戦線に
出動しますッ

コズン・グラハム
曹長ッ



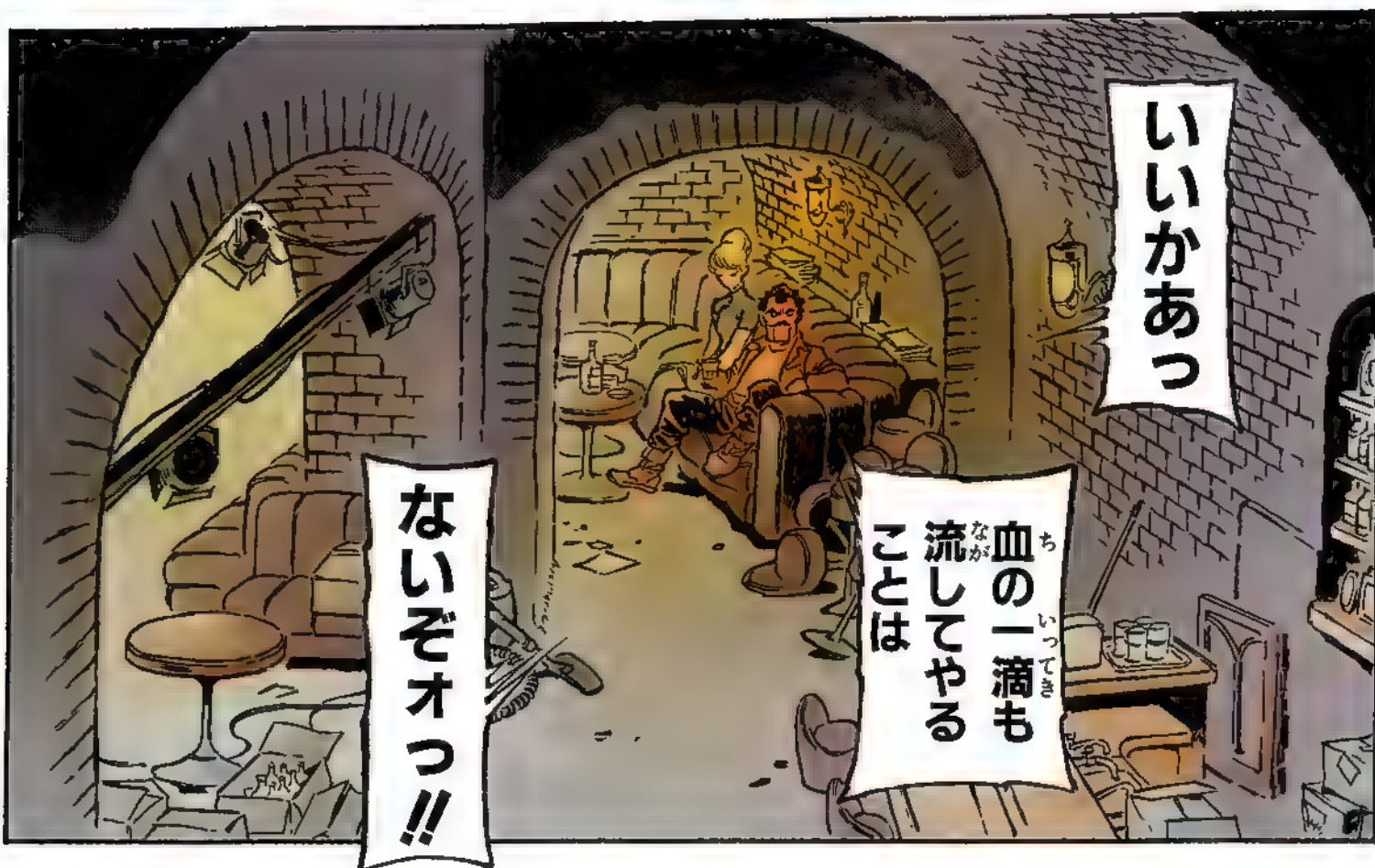
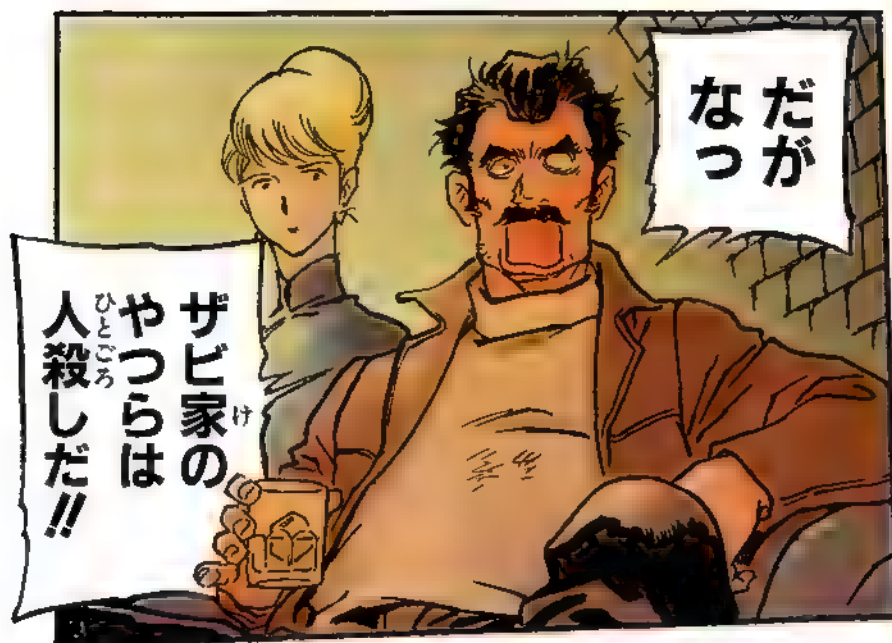
志願したん
ですがね

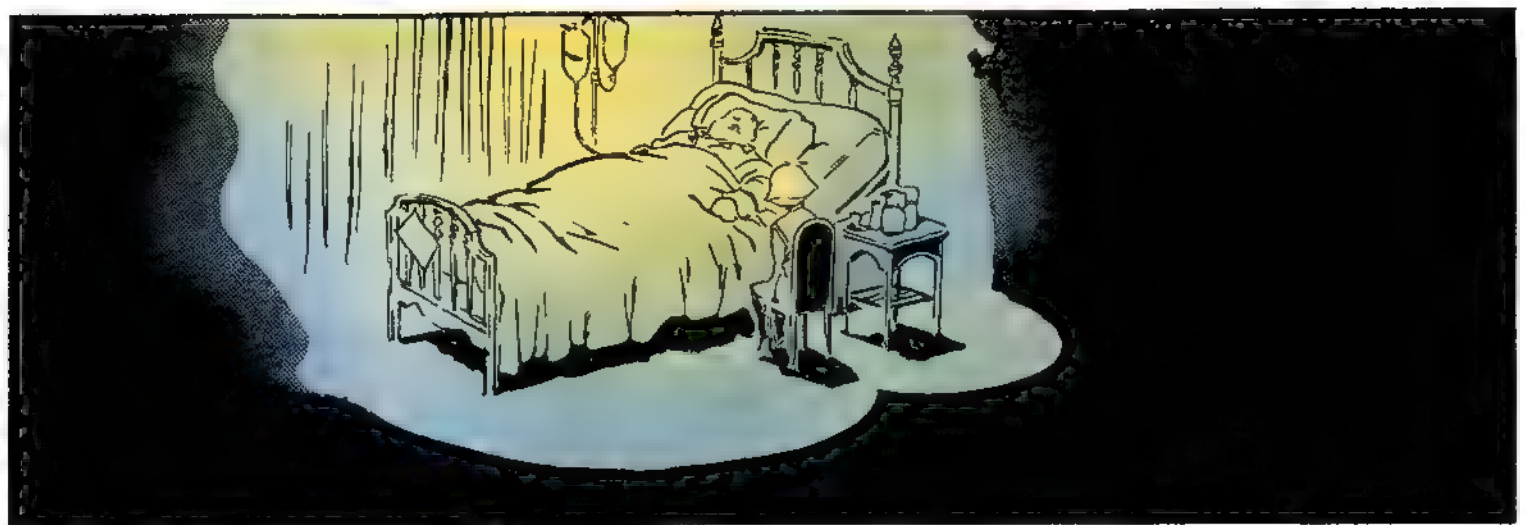
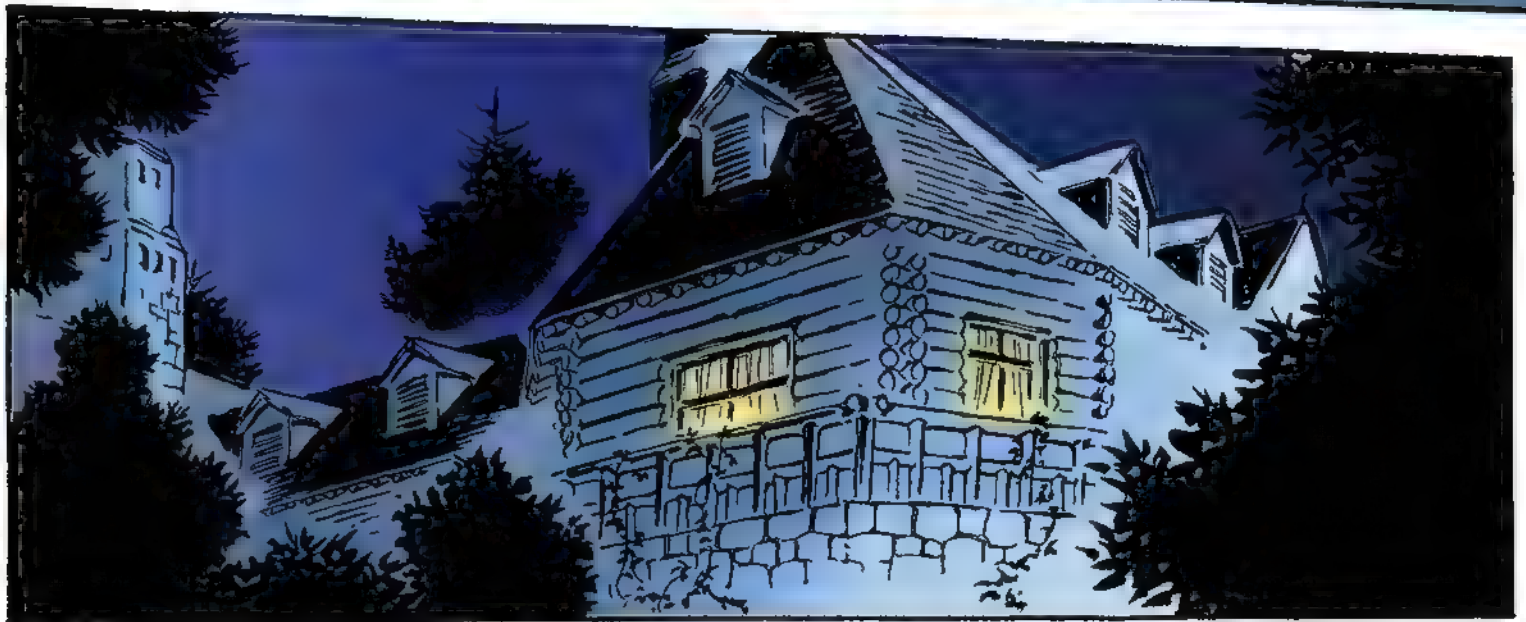
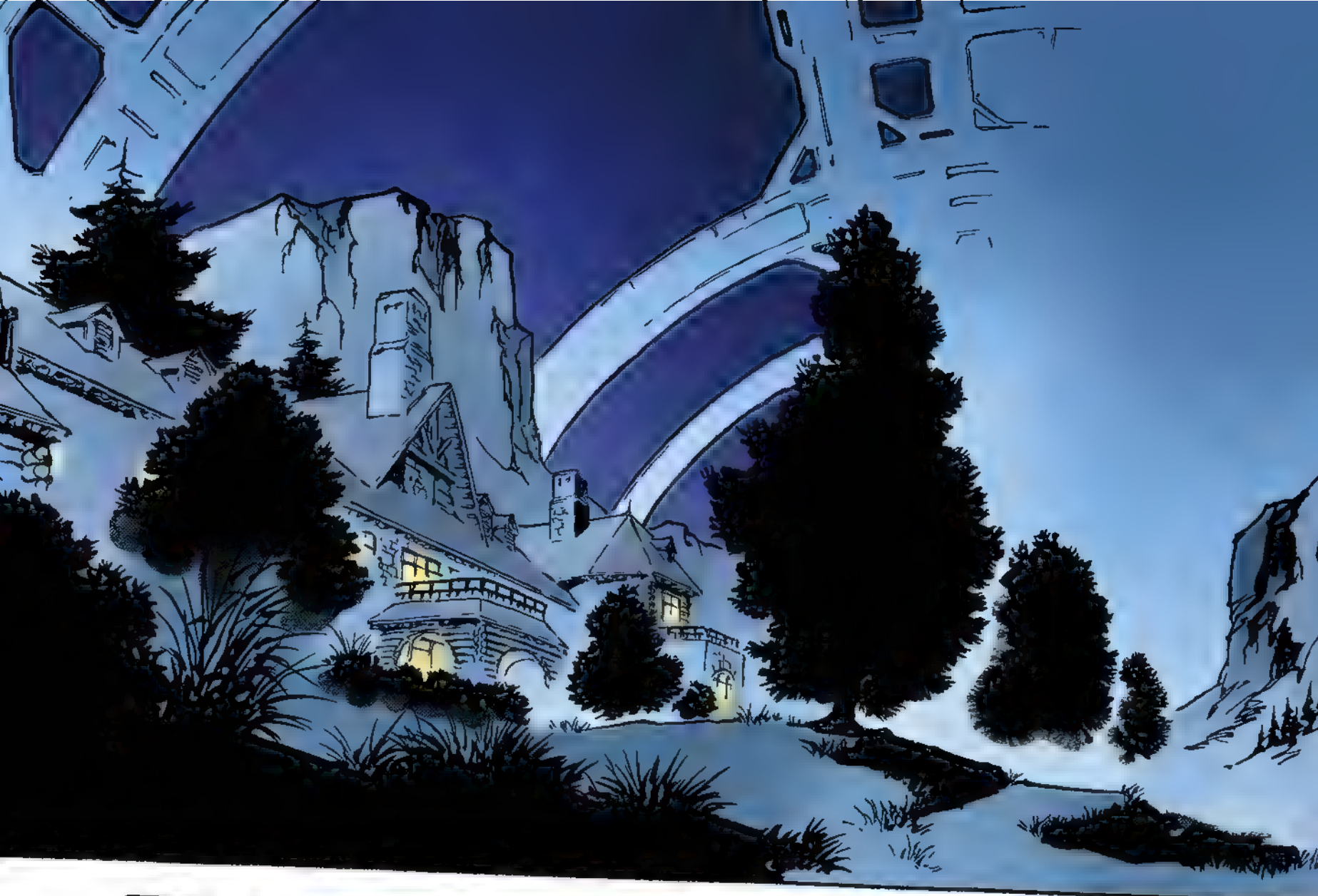
ザク乗りに
なりやまた
一緒に戦れる
かと思つて

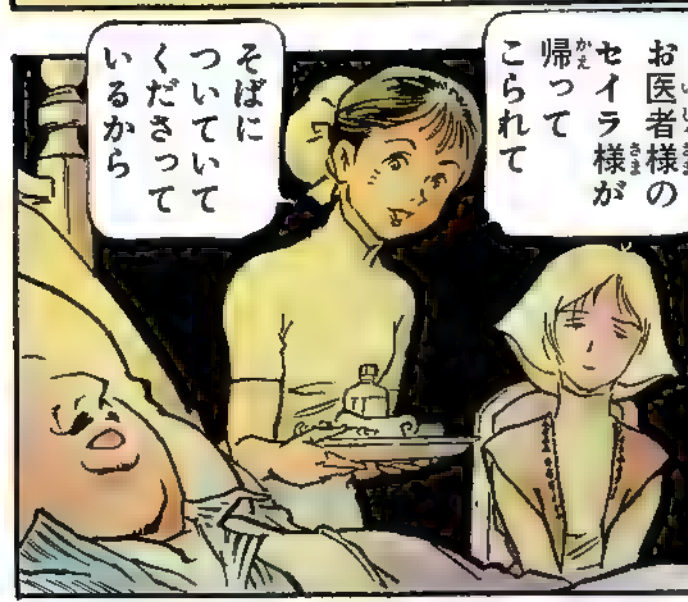
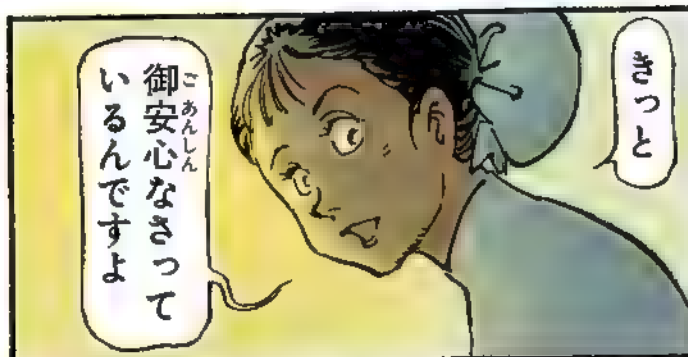
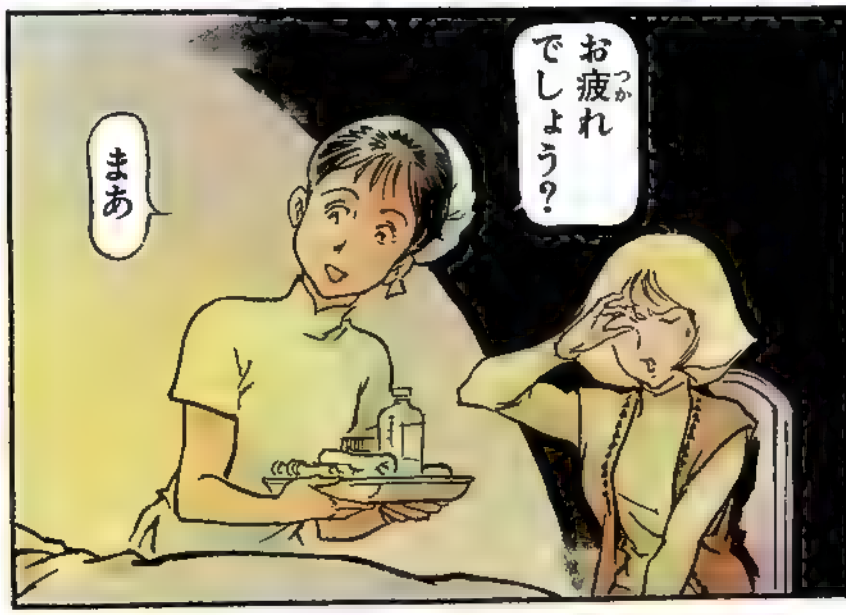


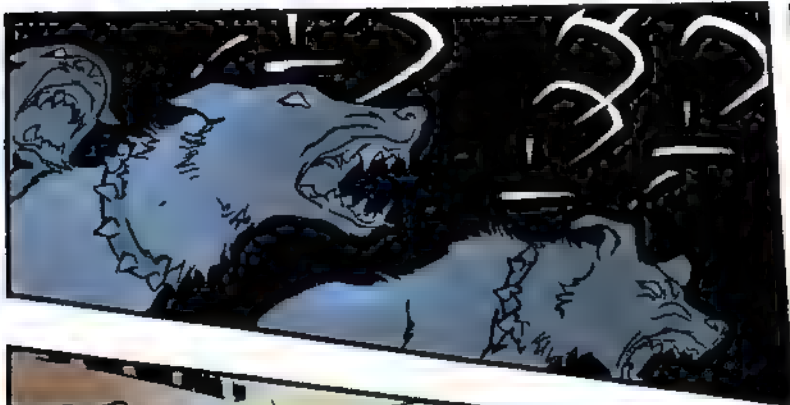
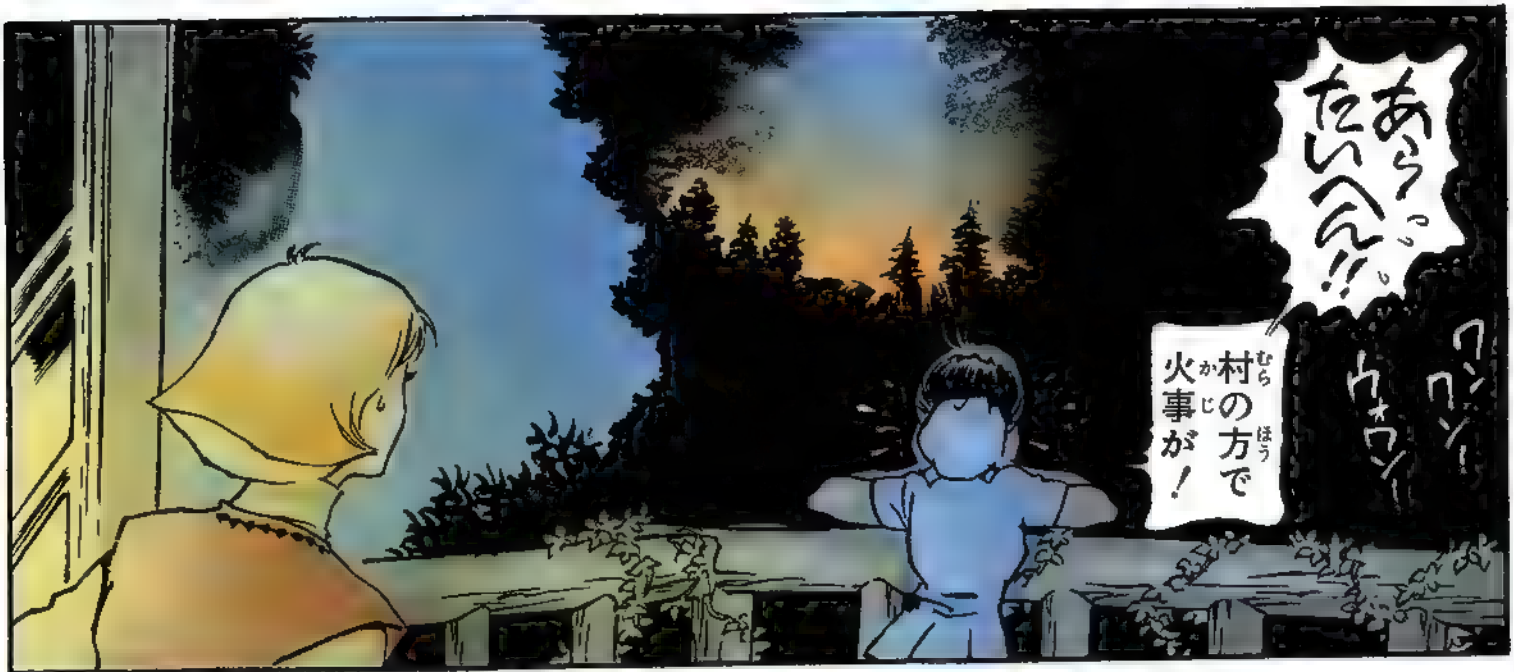
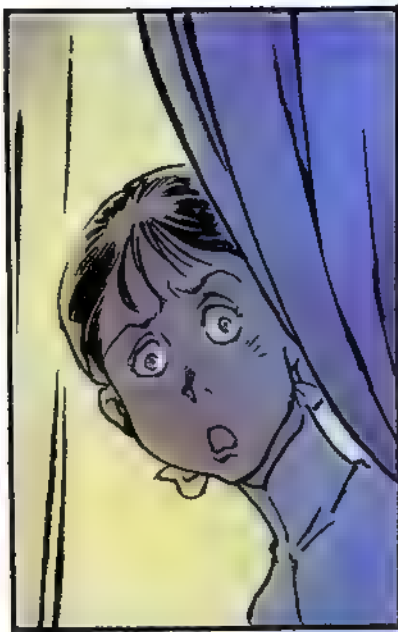
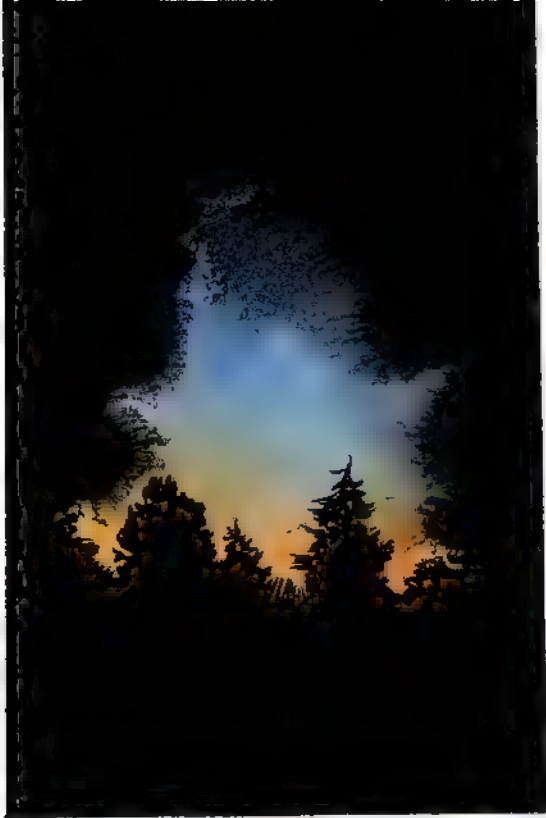
大尉殿も
人が悪い

先に降りちまう
なんて



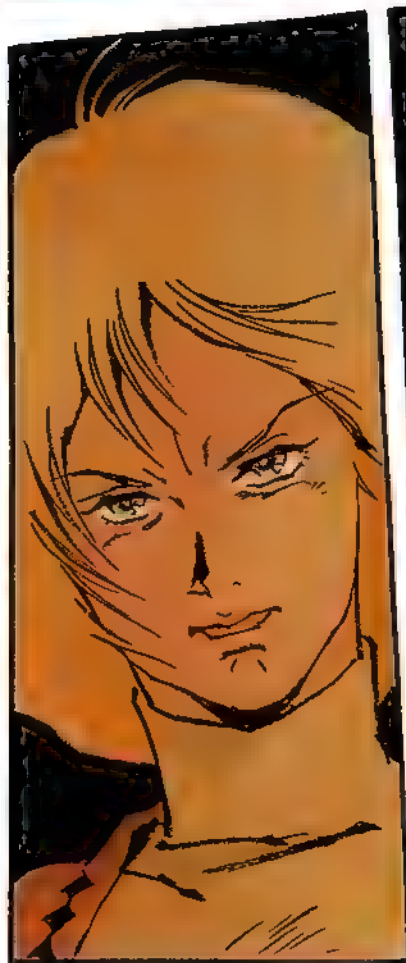
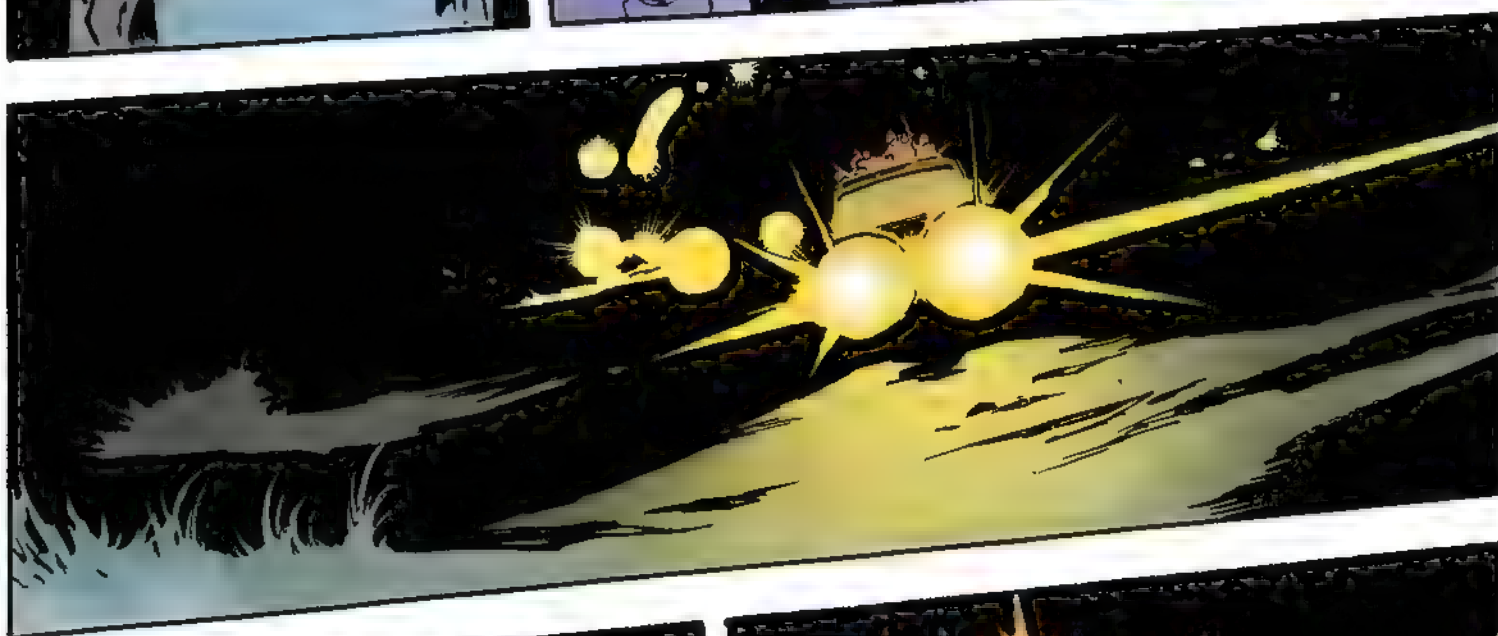
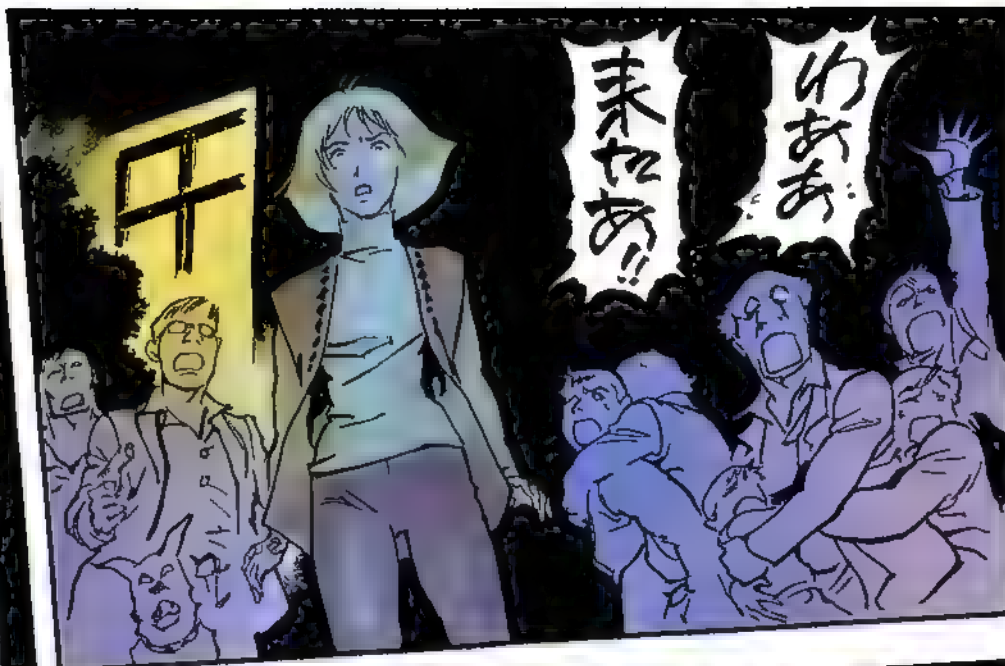
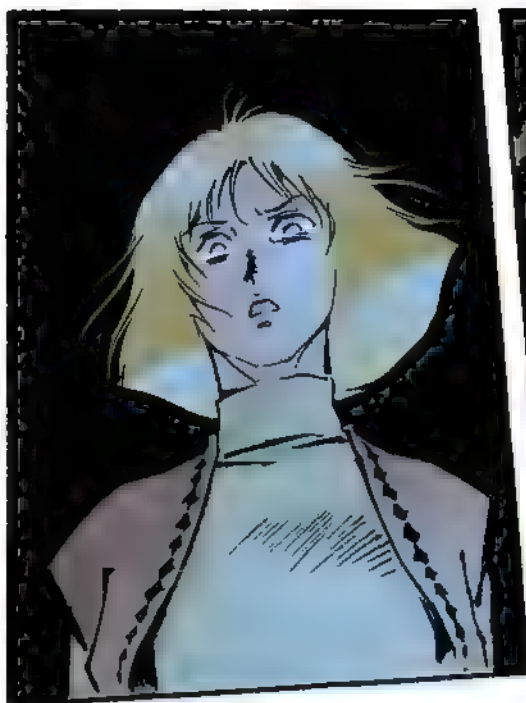












バリケードを

つくり
なさいっ!!



ドアと

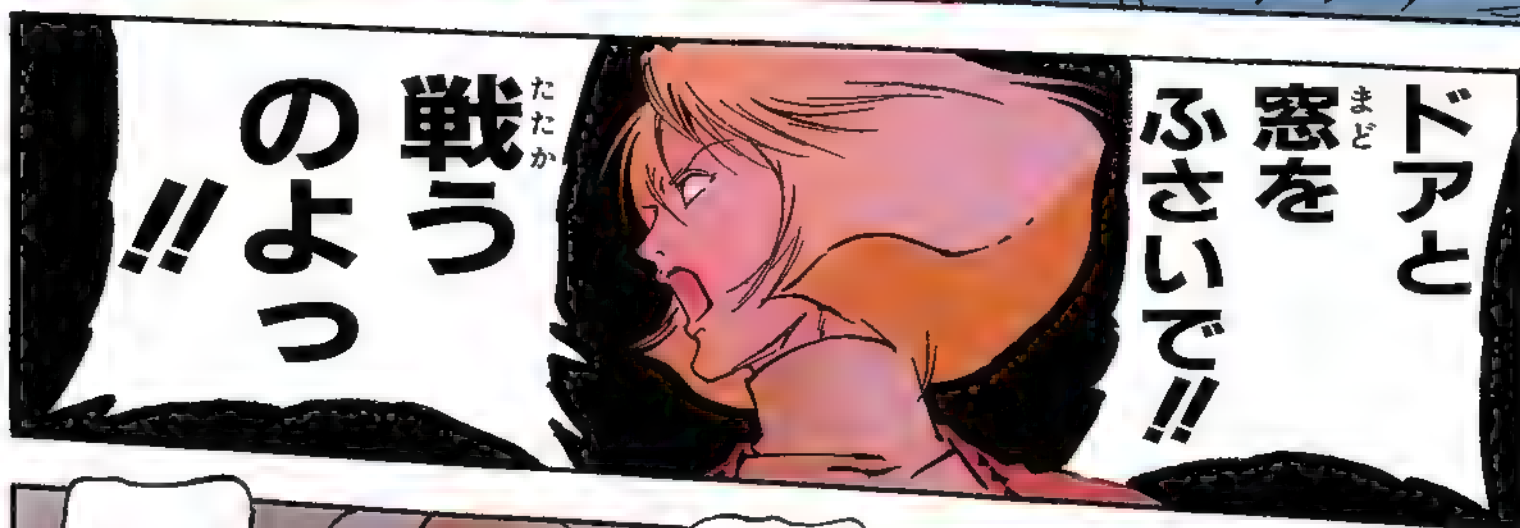
窓を

ふさいで!!

戦う

のよう

!!

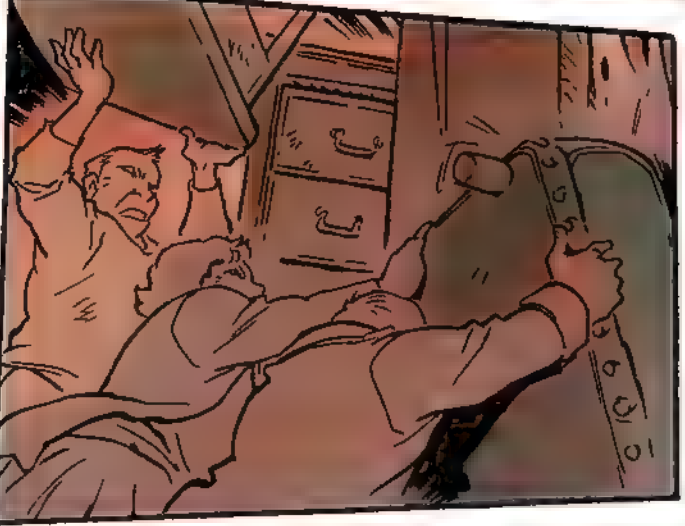
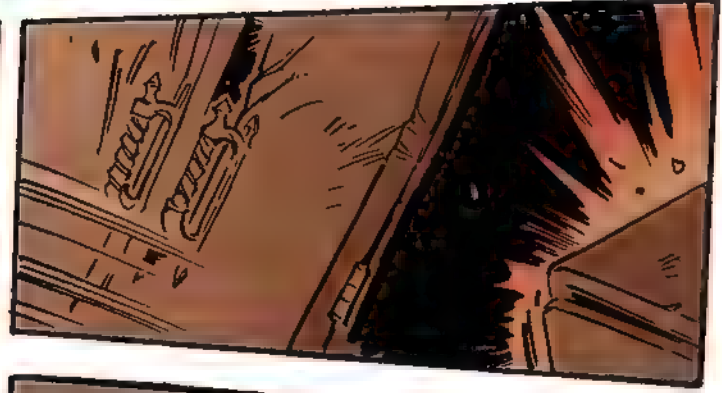
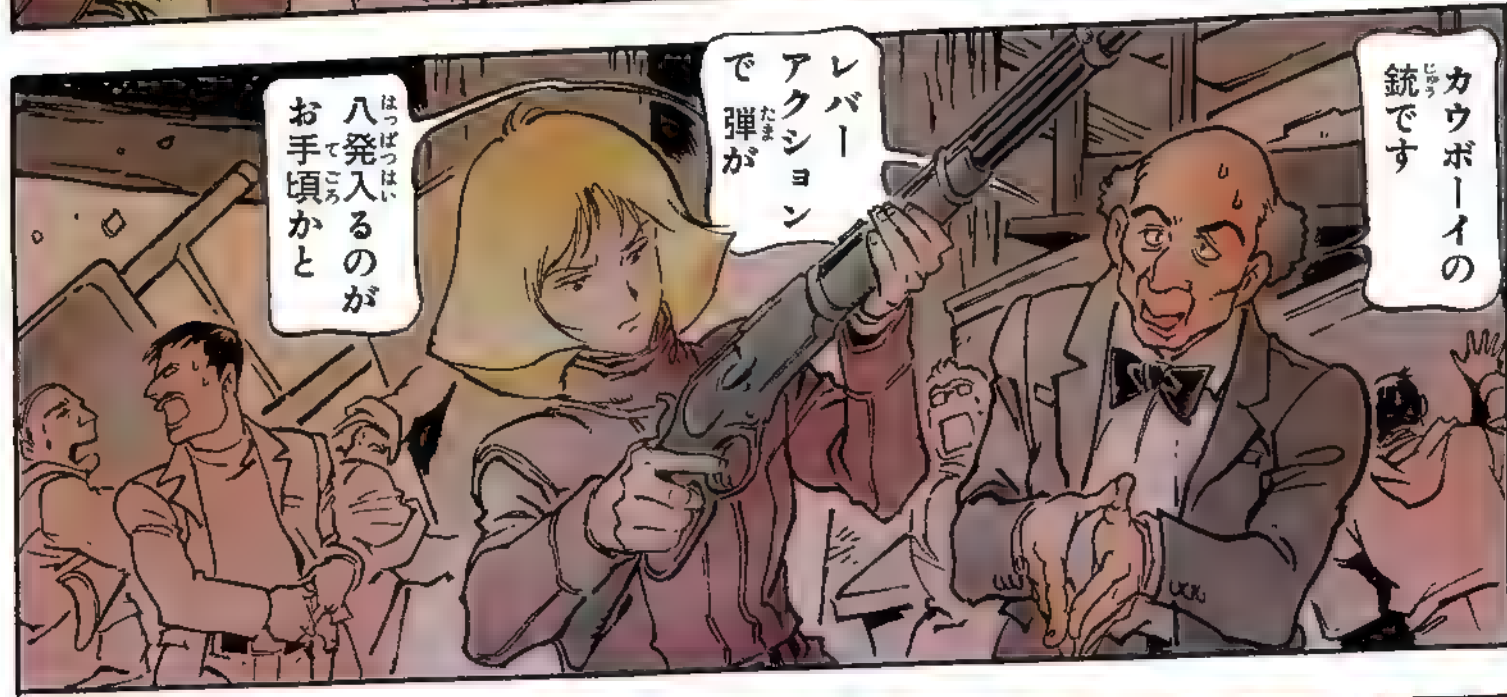
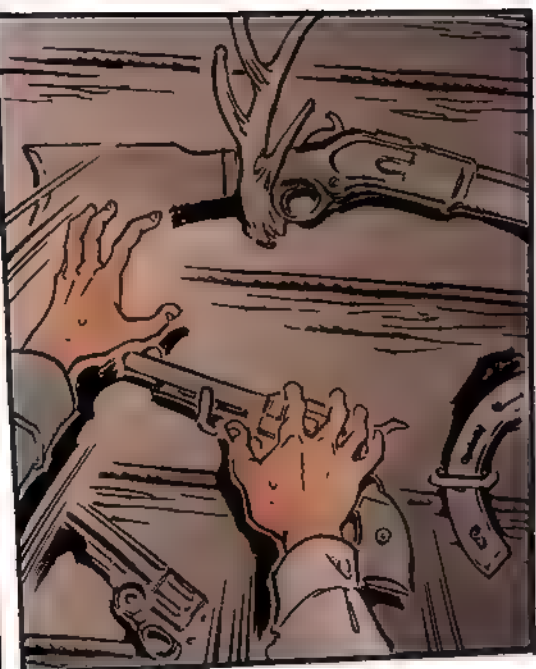
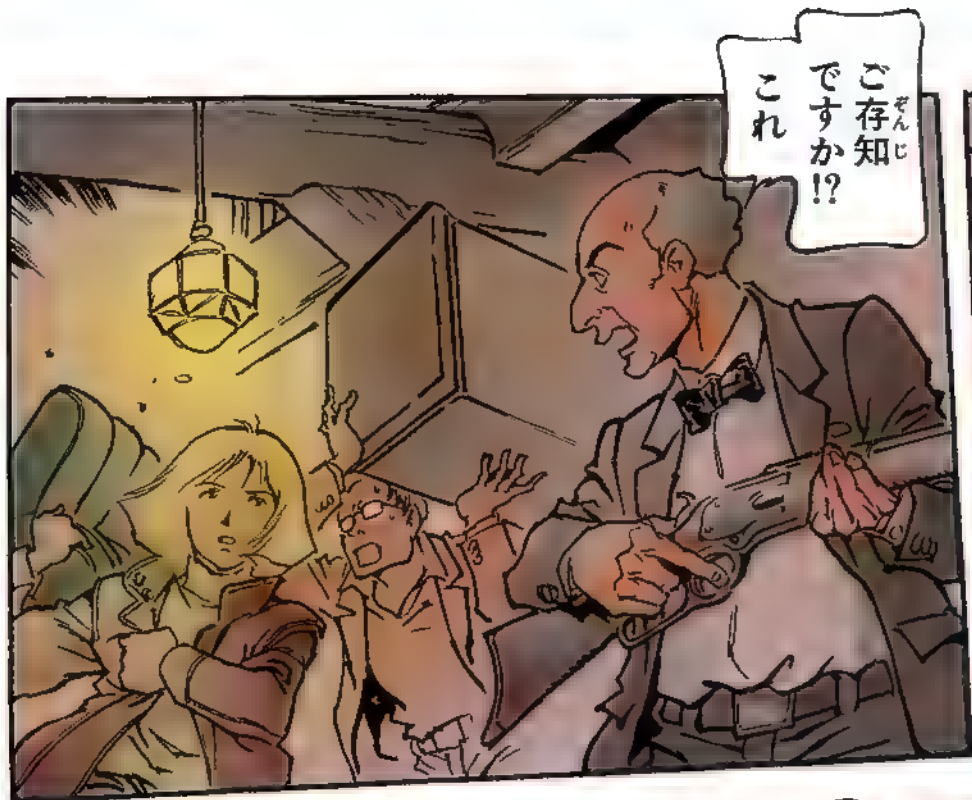


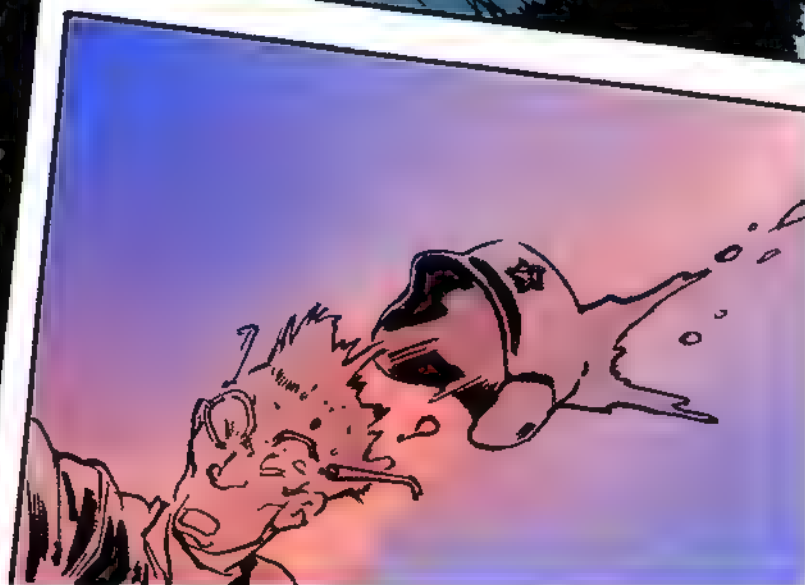
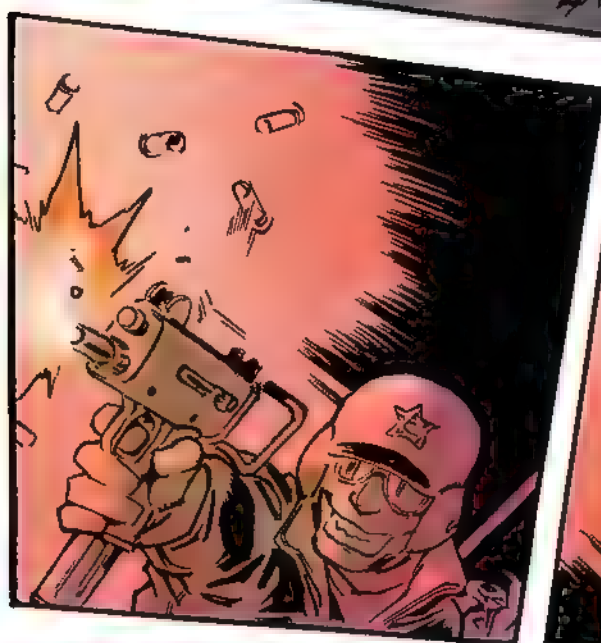
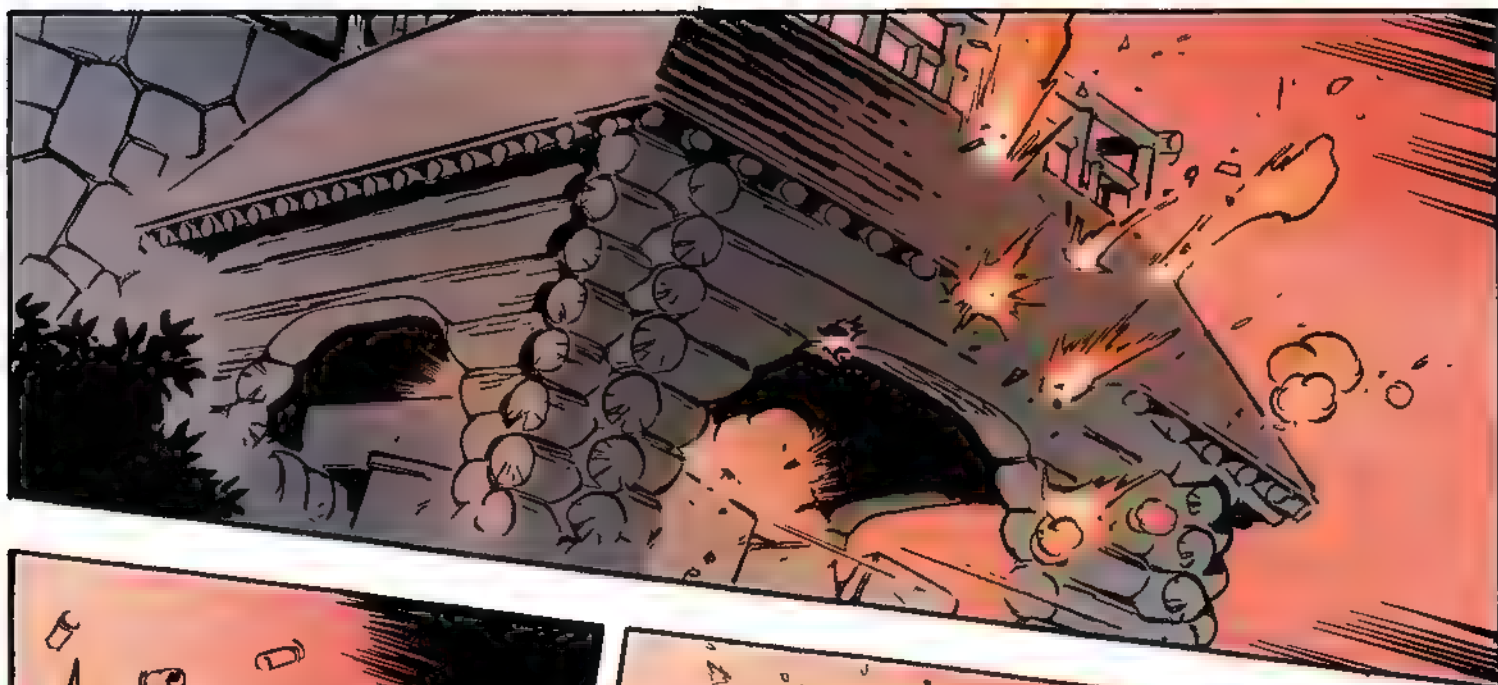
武器は!?

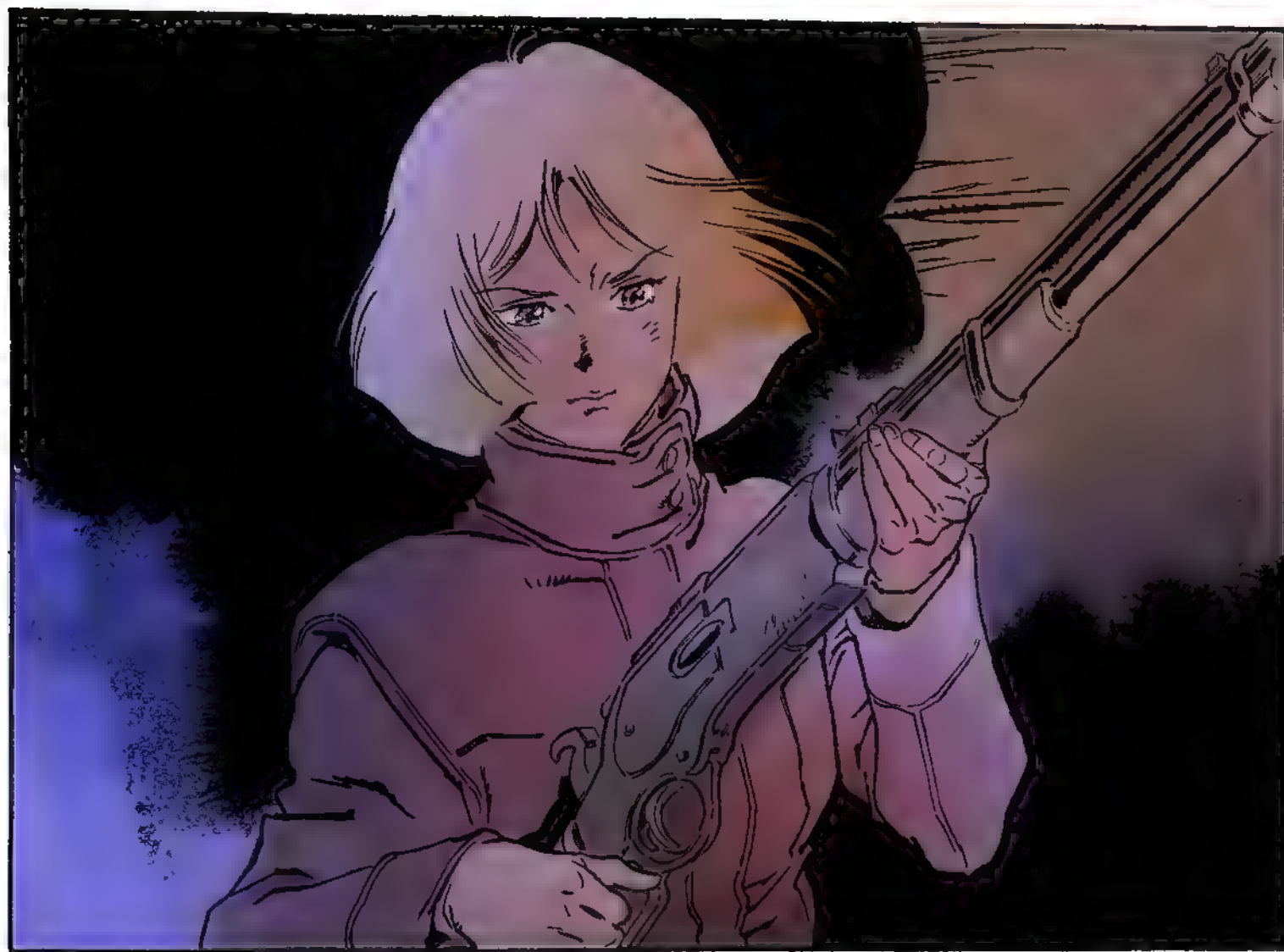
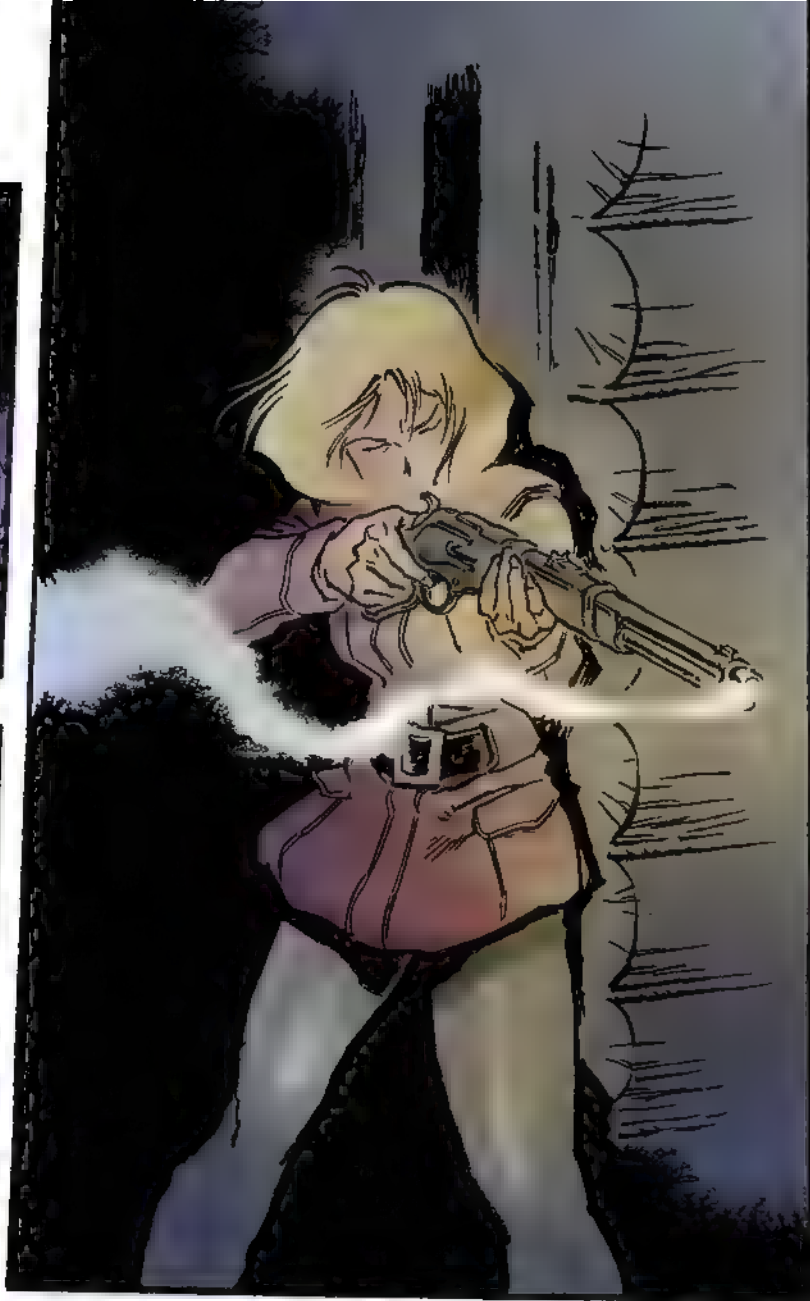
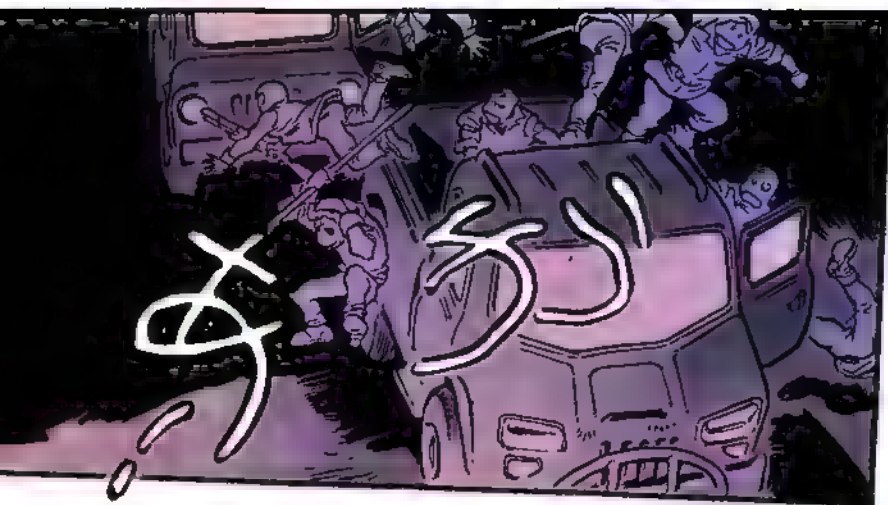
いろいろ
あります

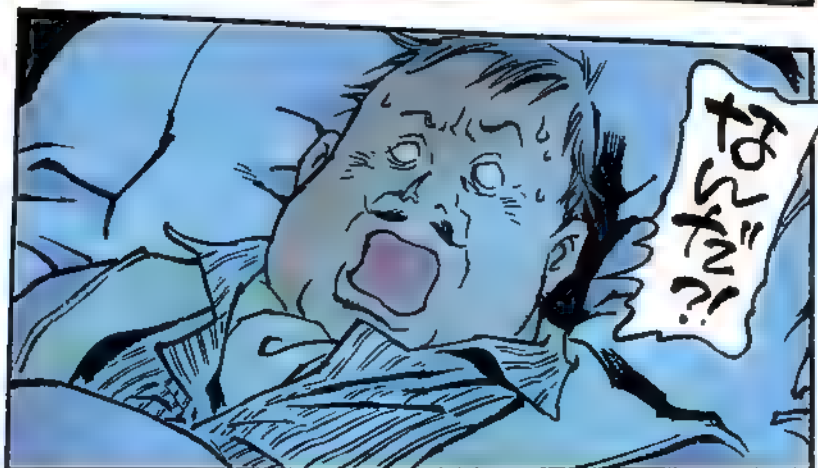
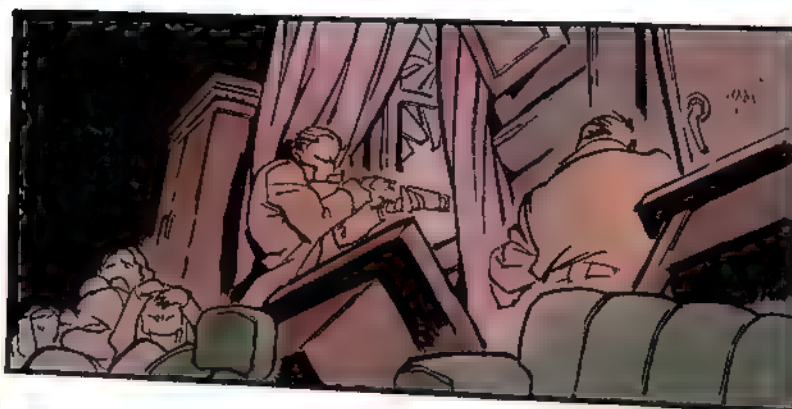
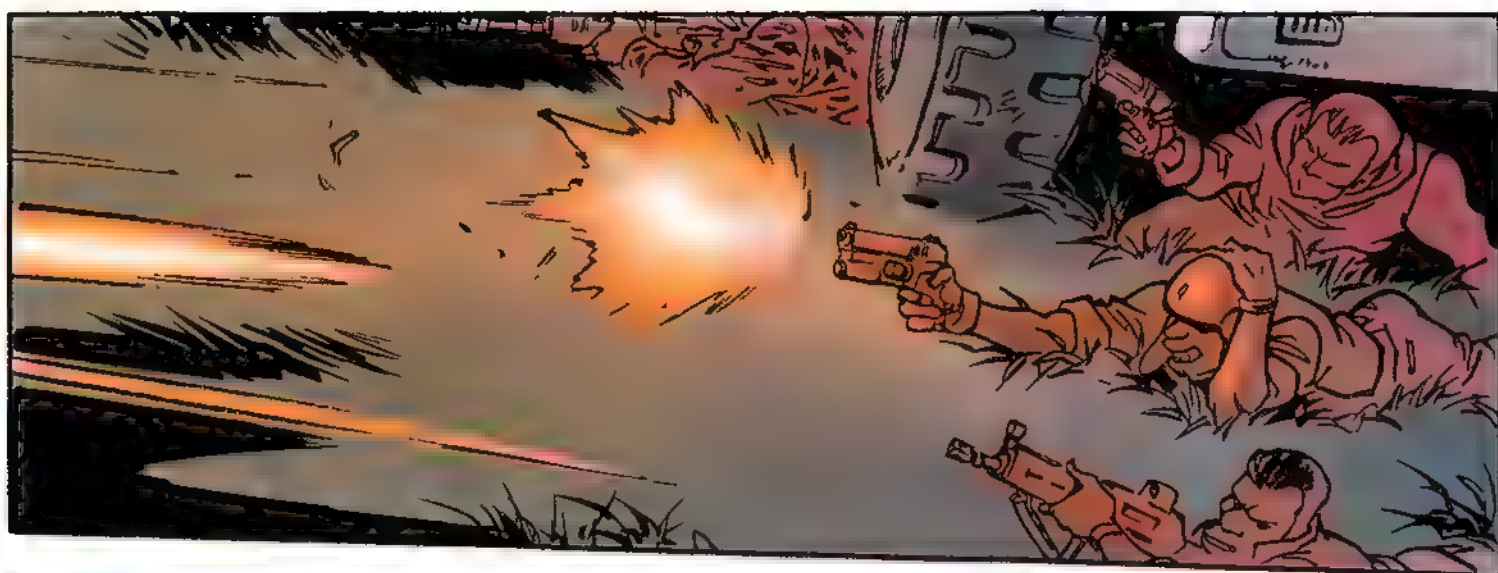
古いもの
ならっ

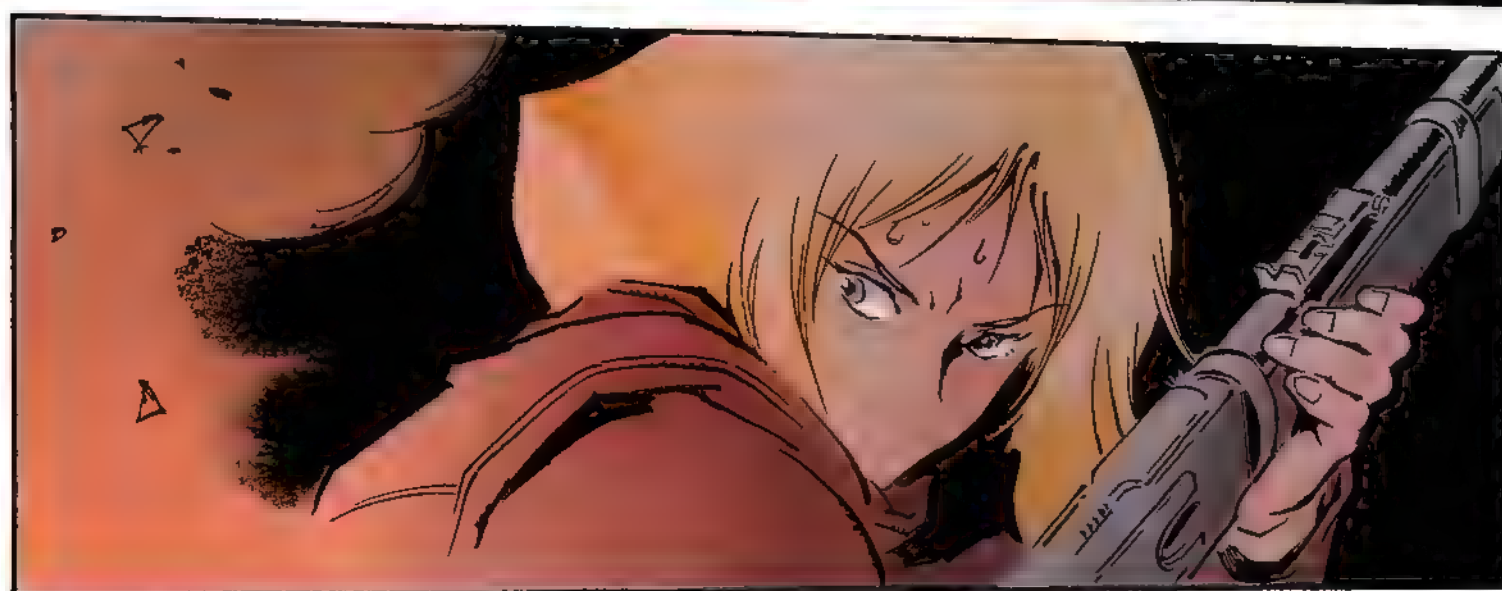
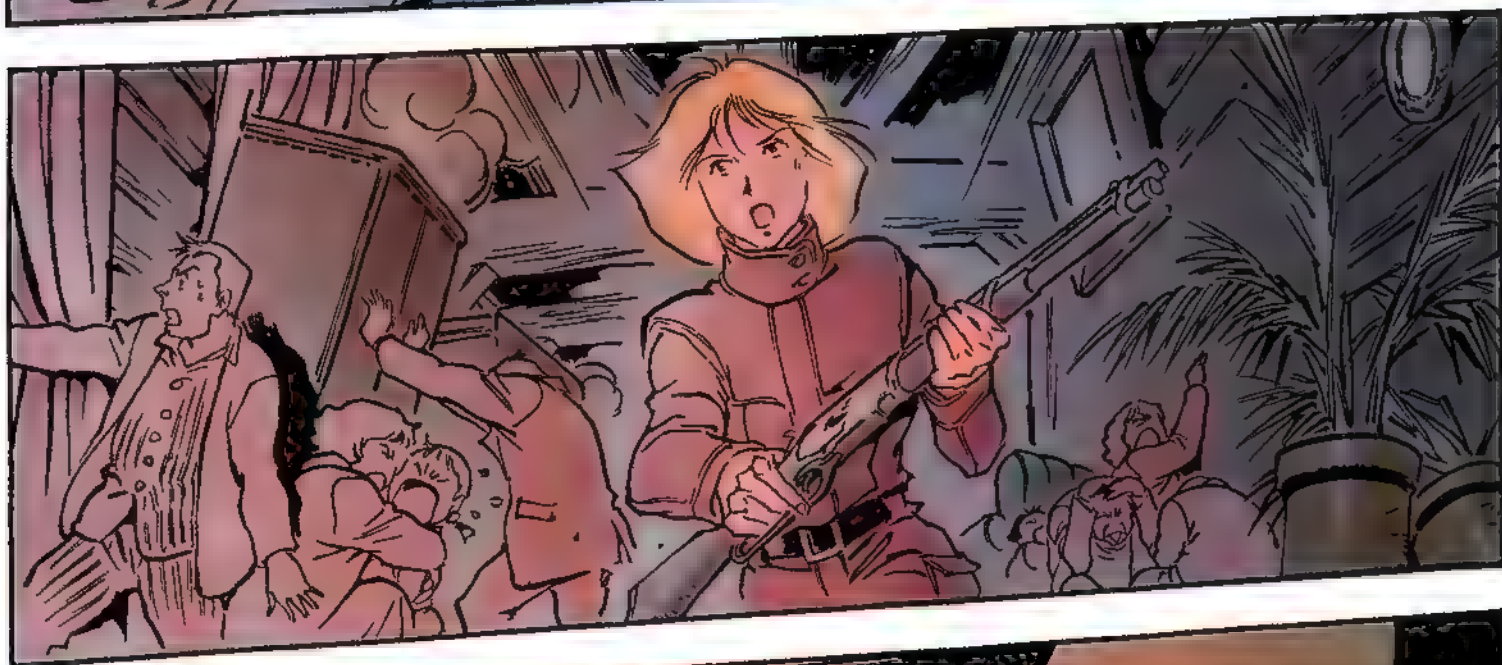


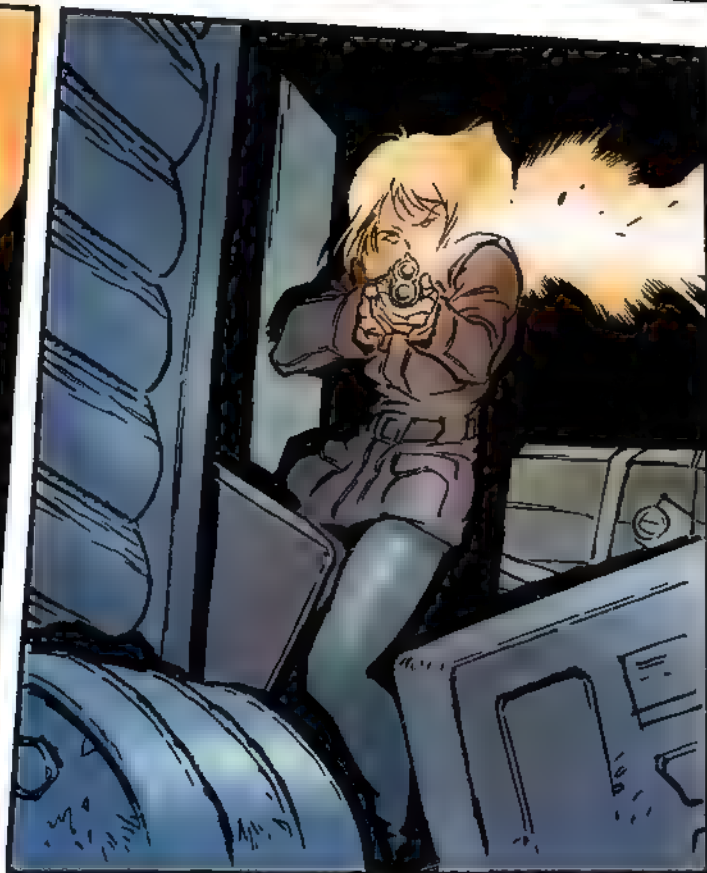
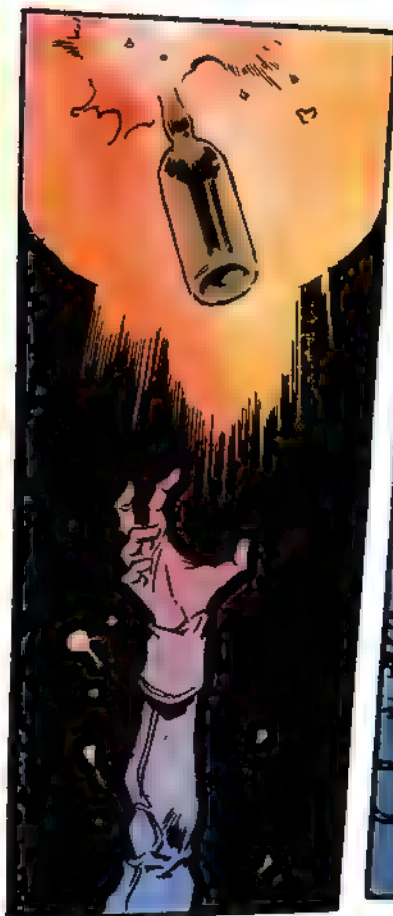
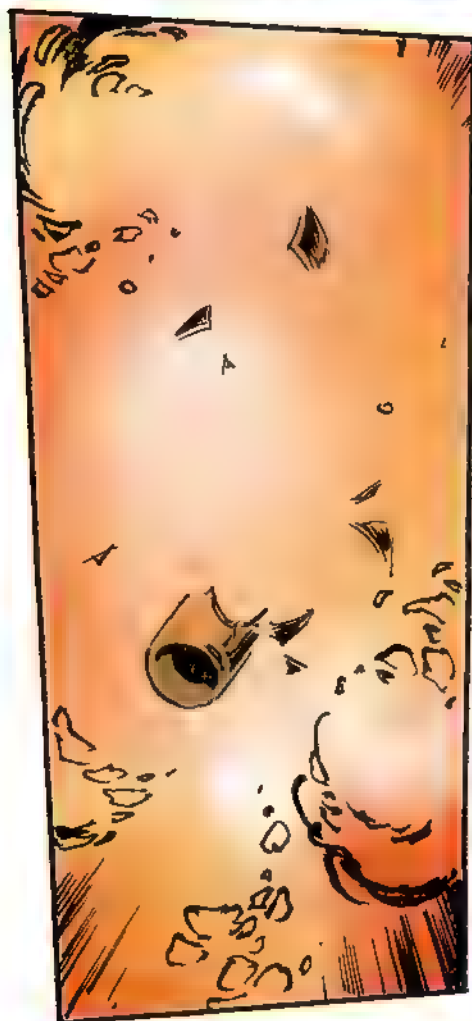


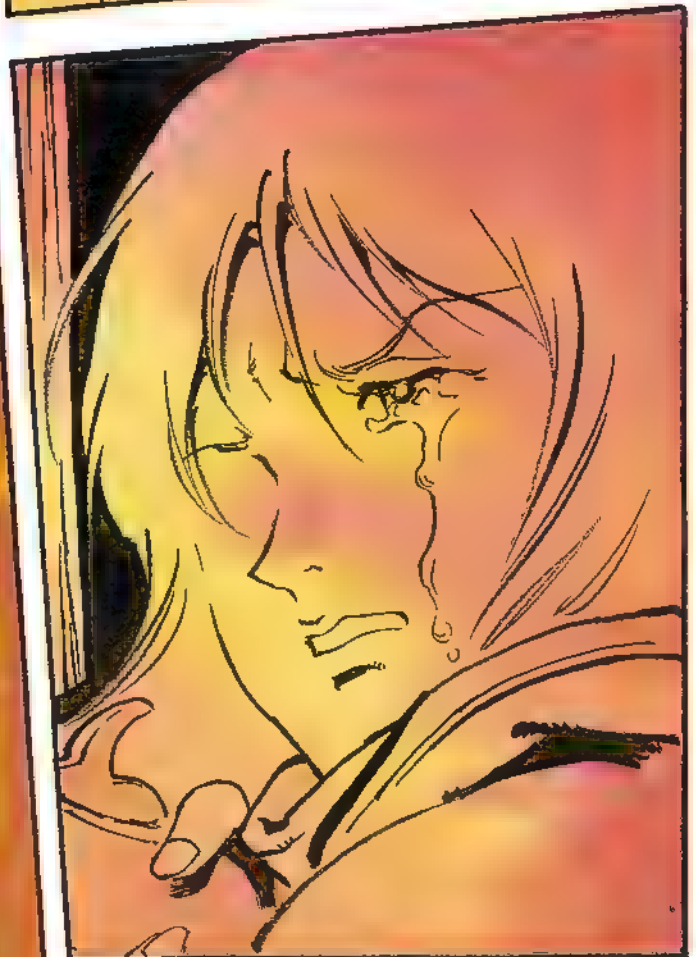
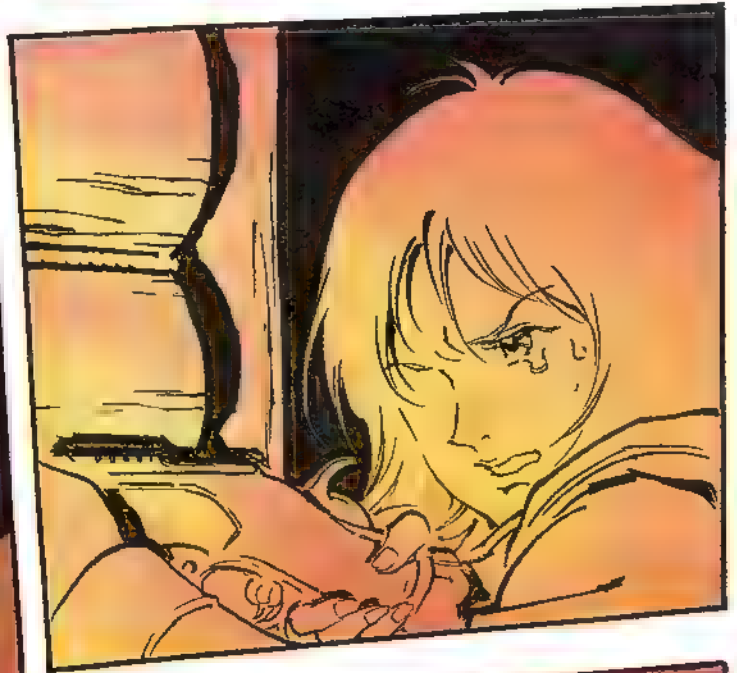
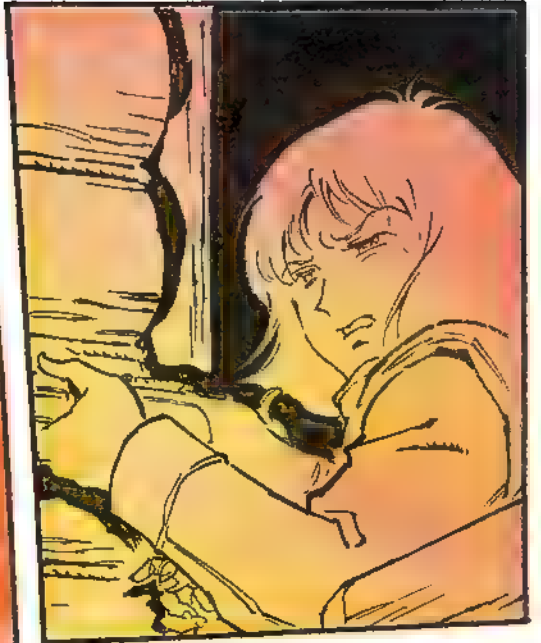
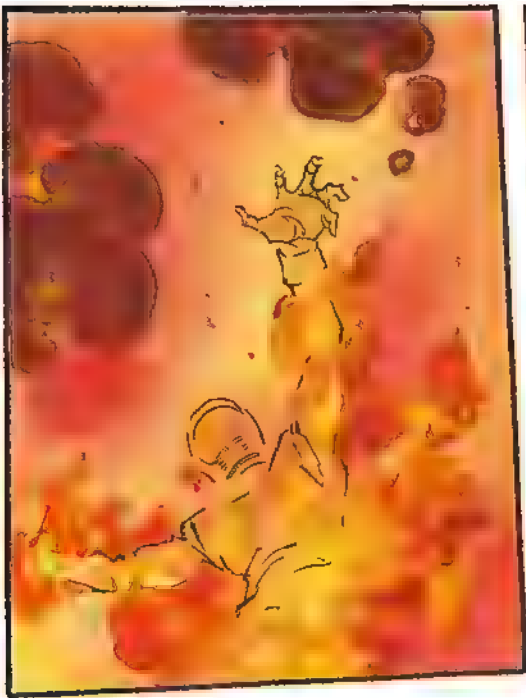


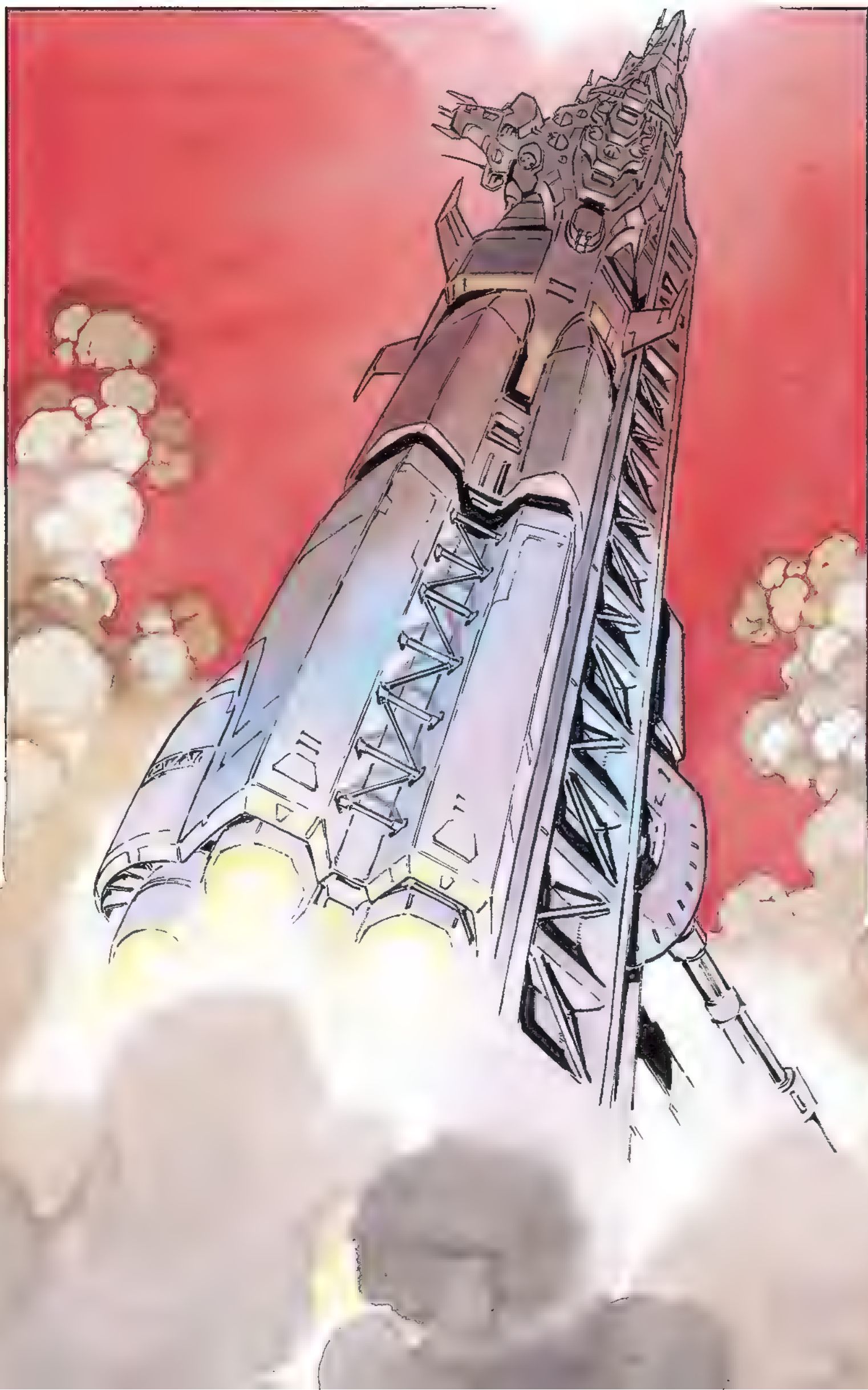


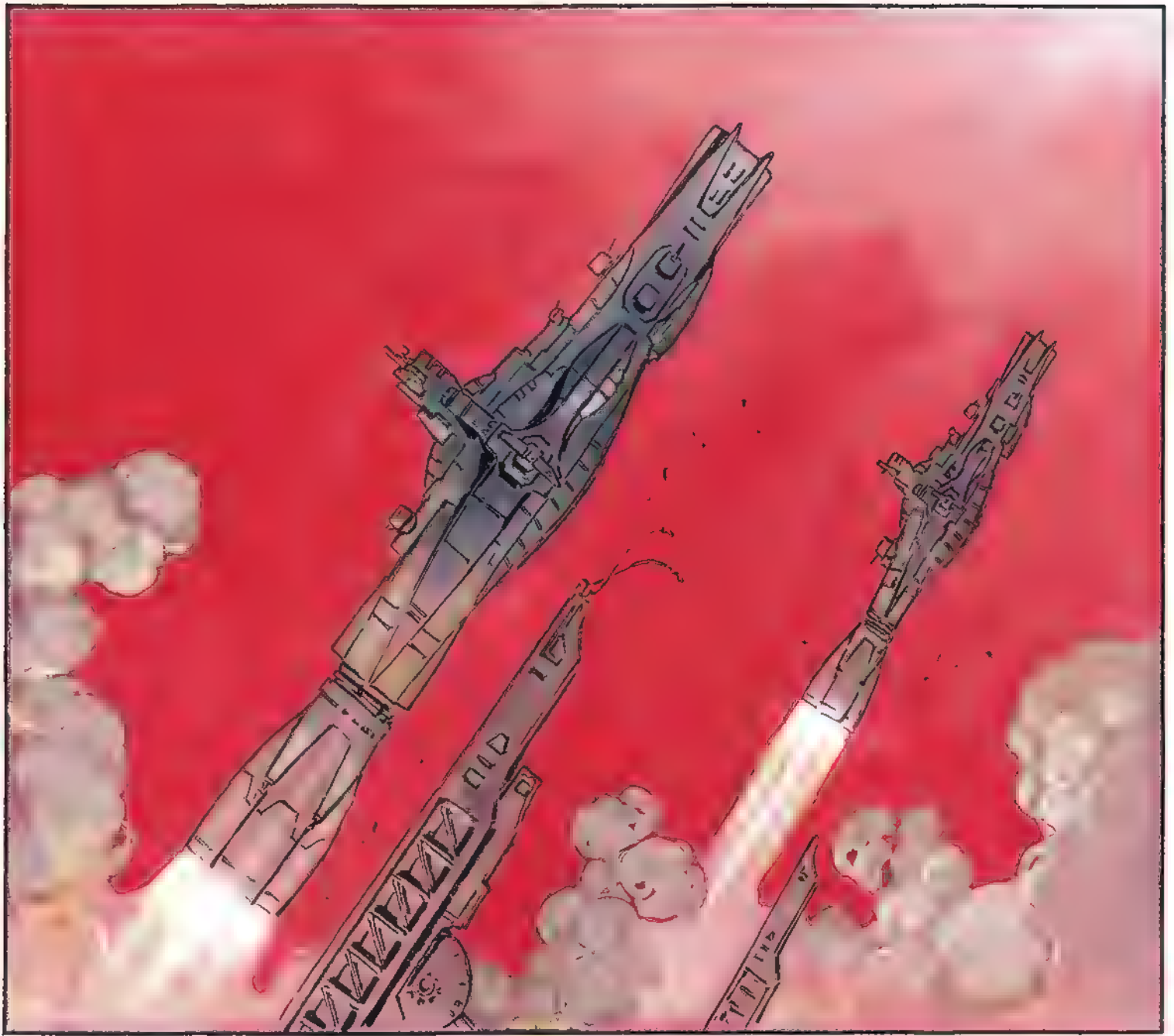


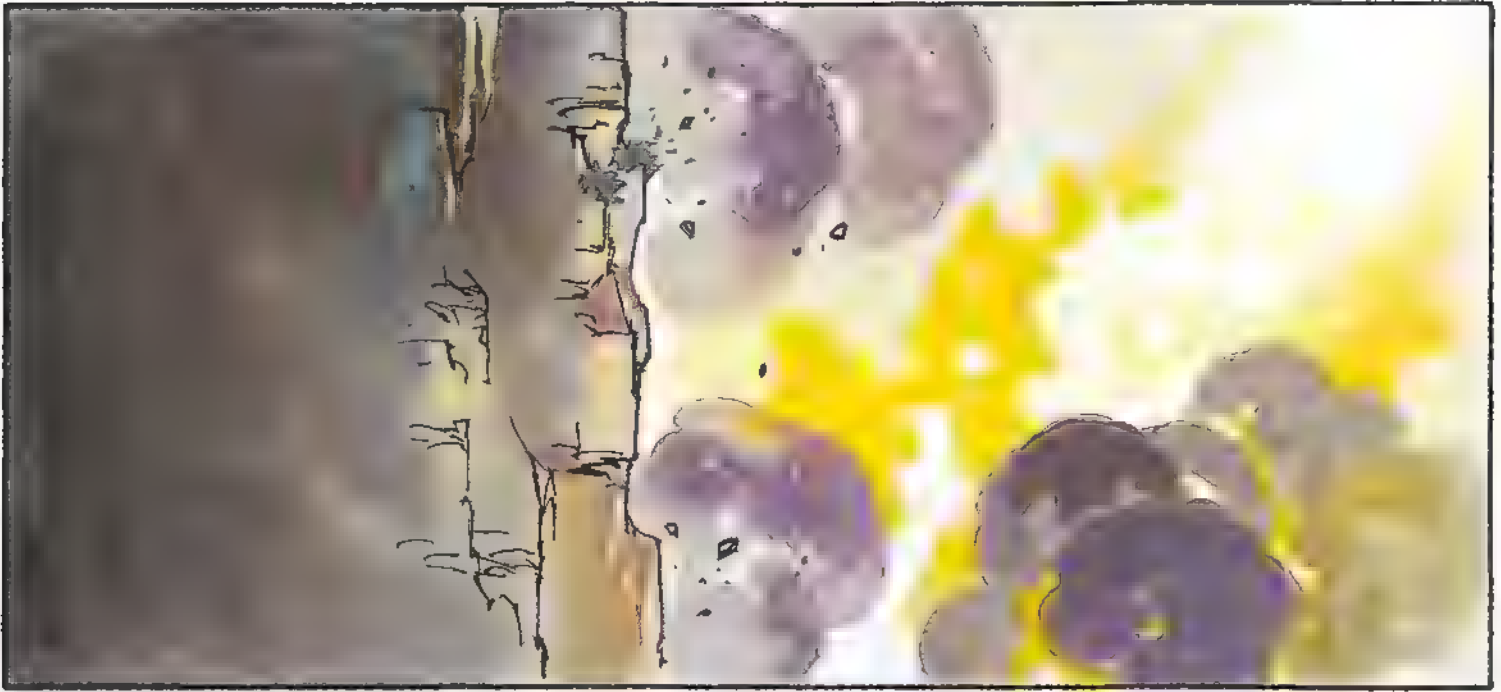


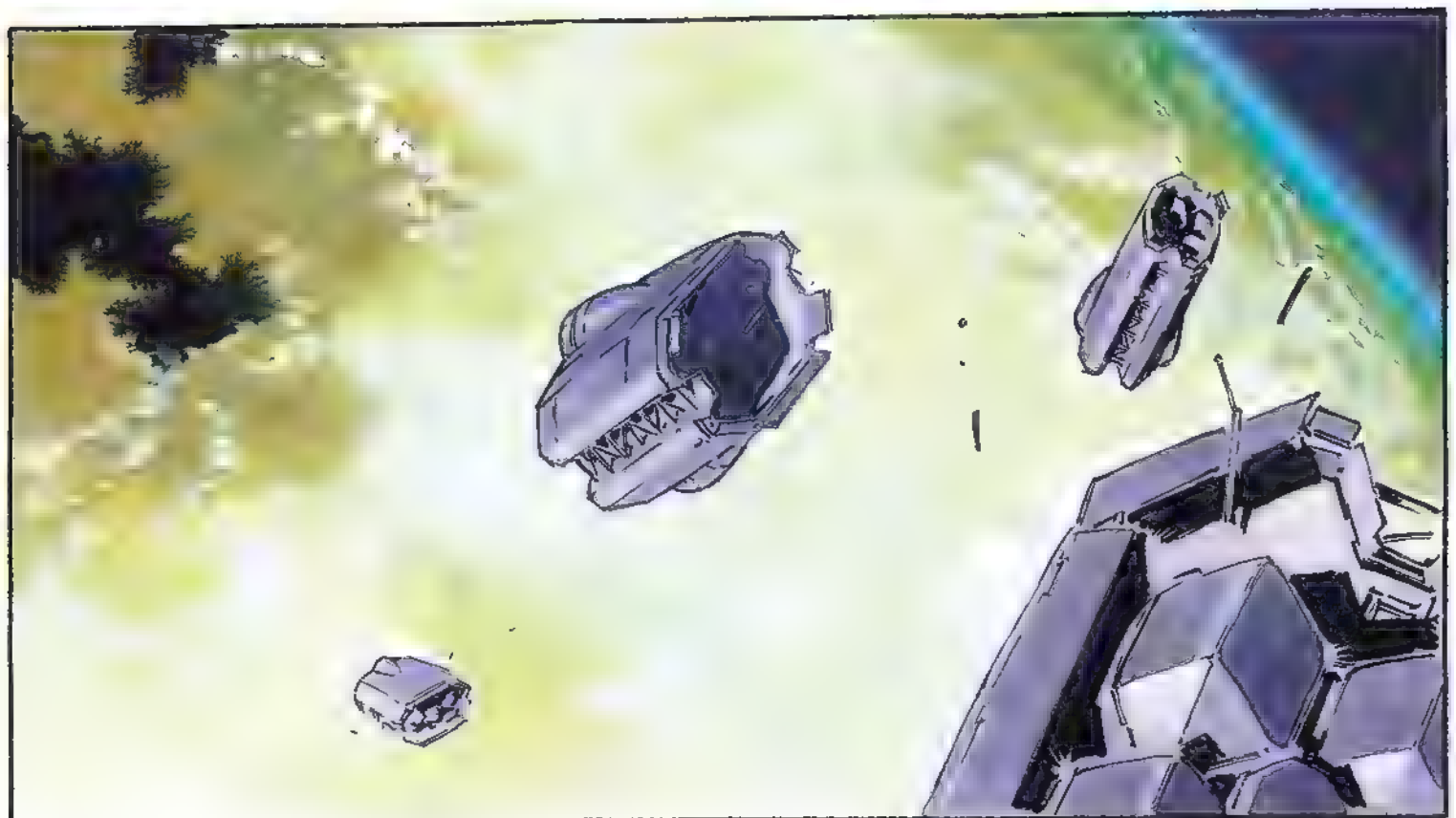
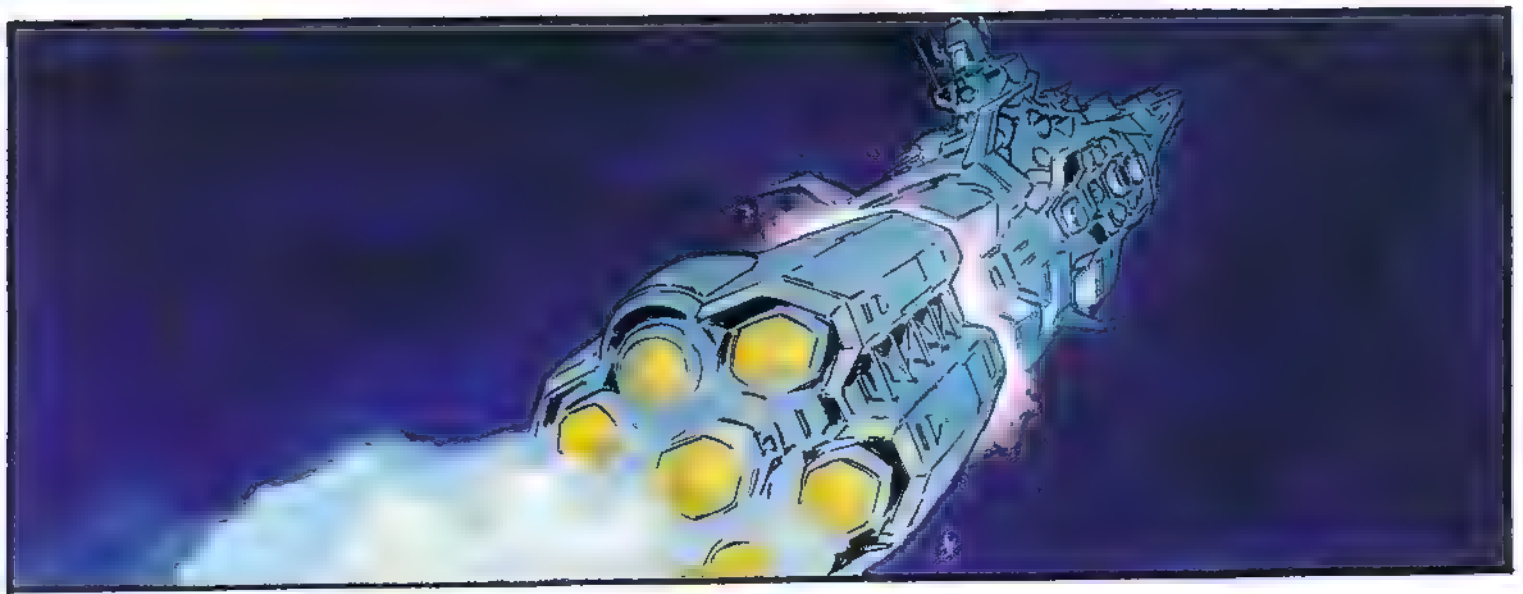


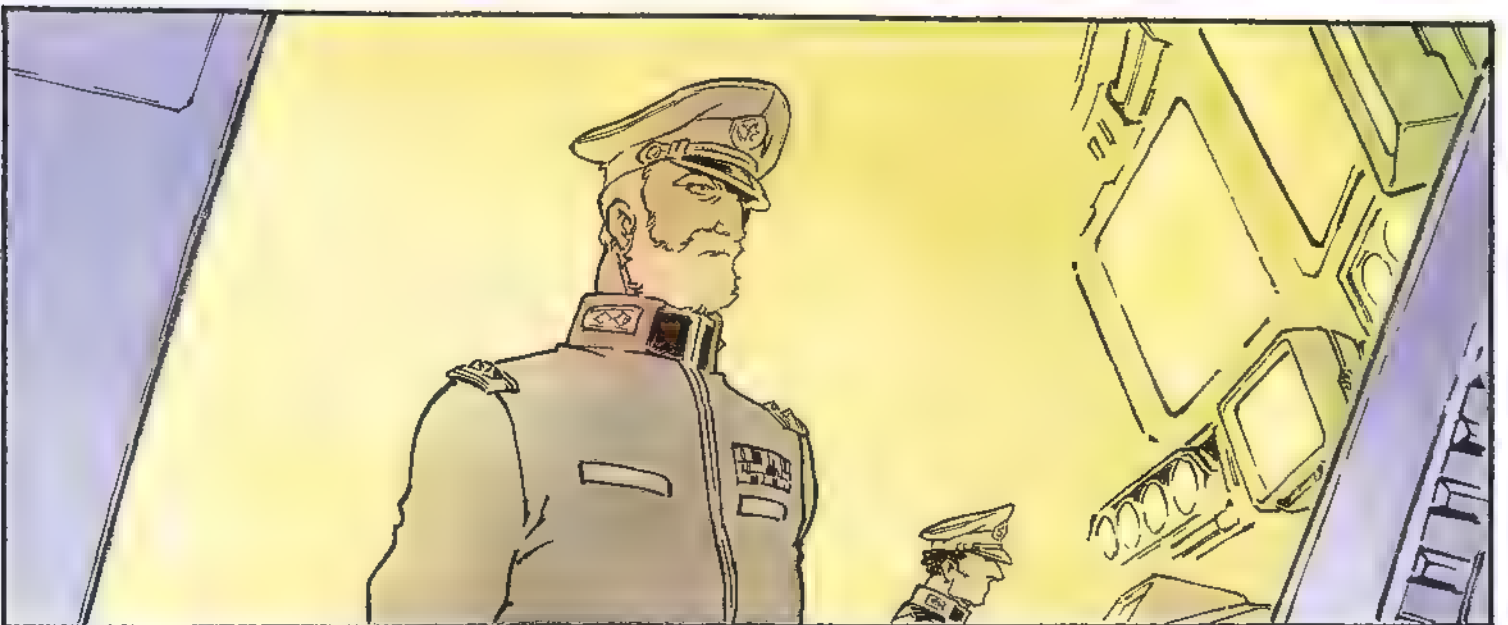
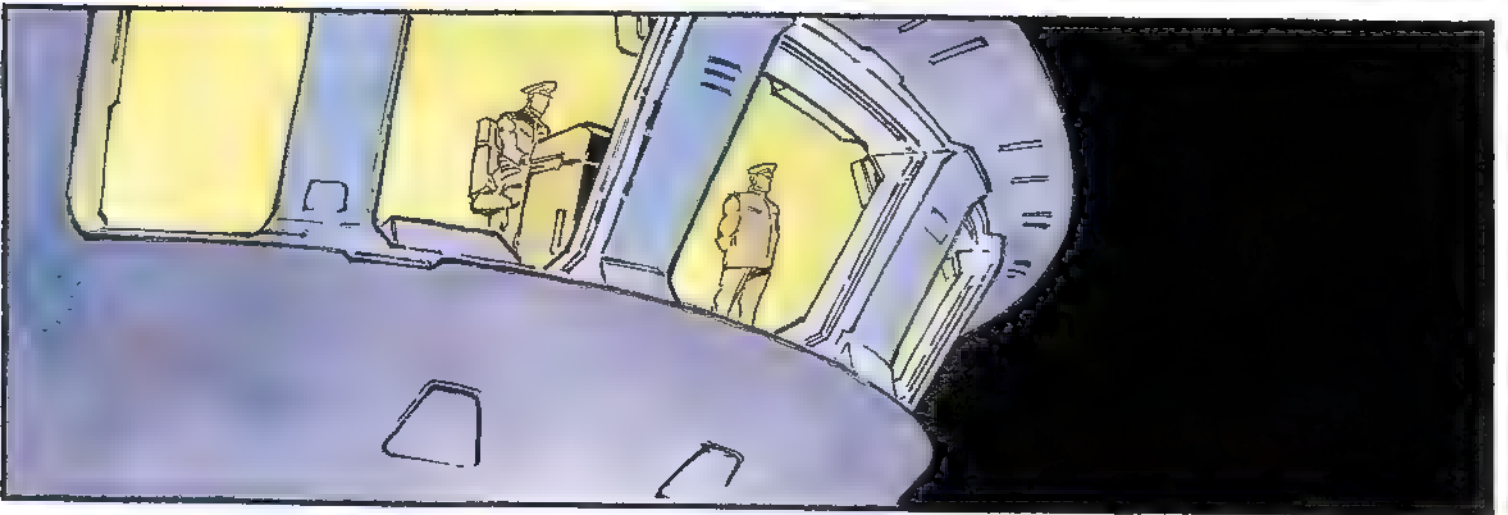
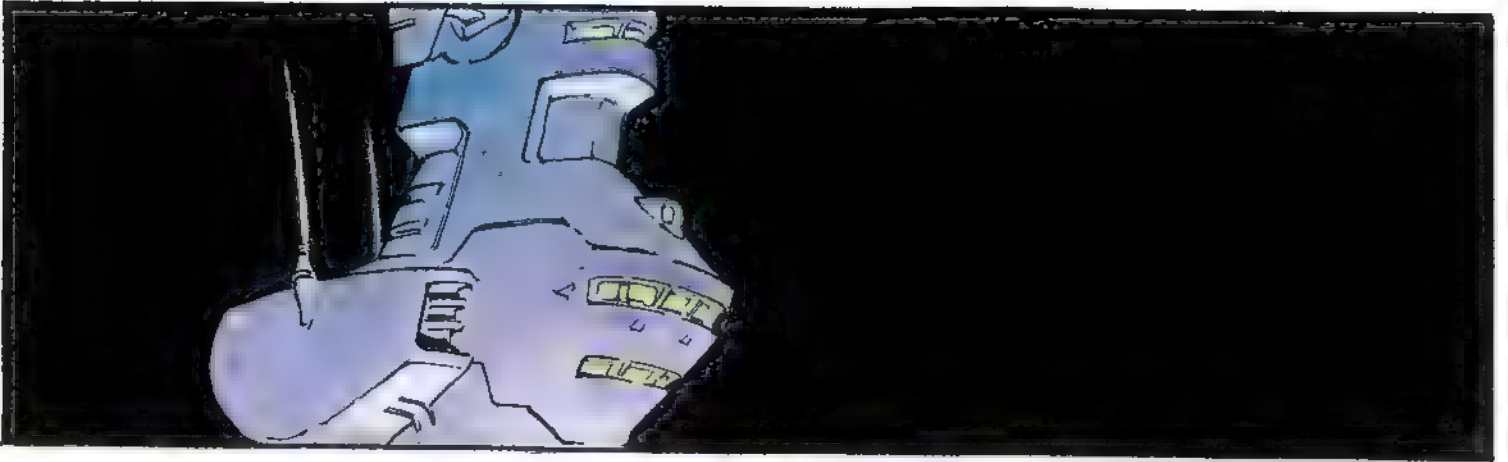






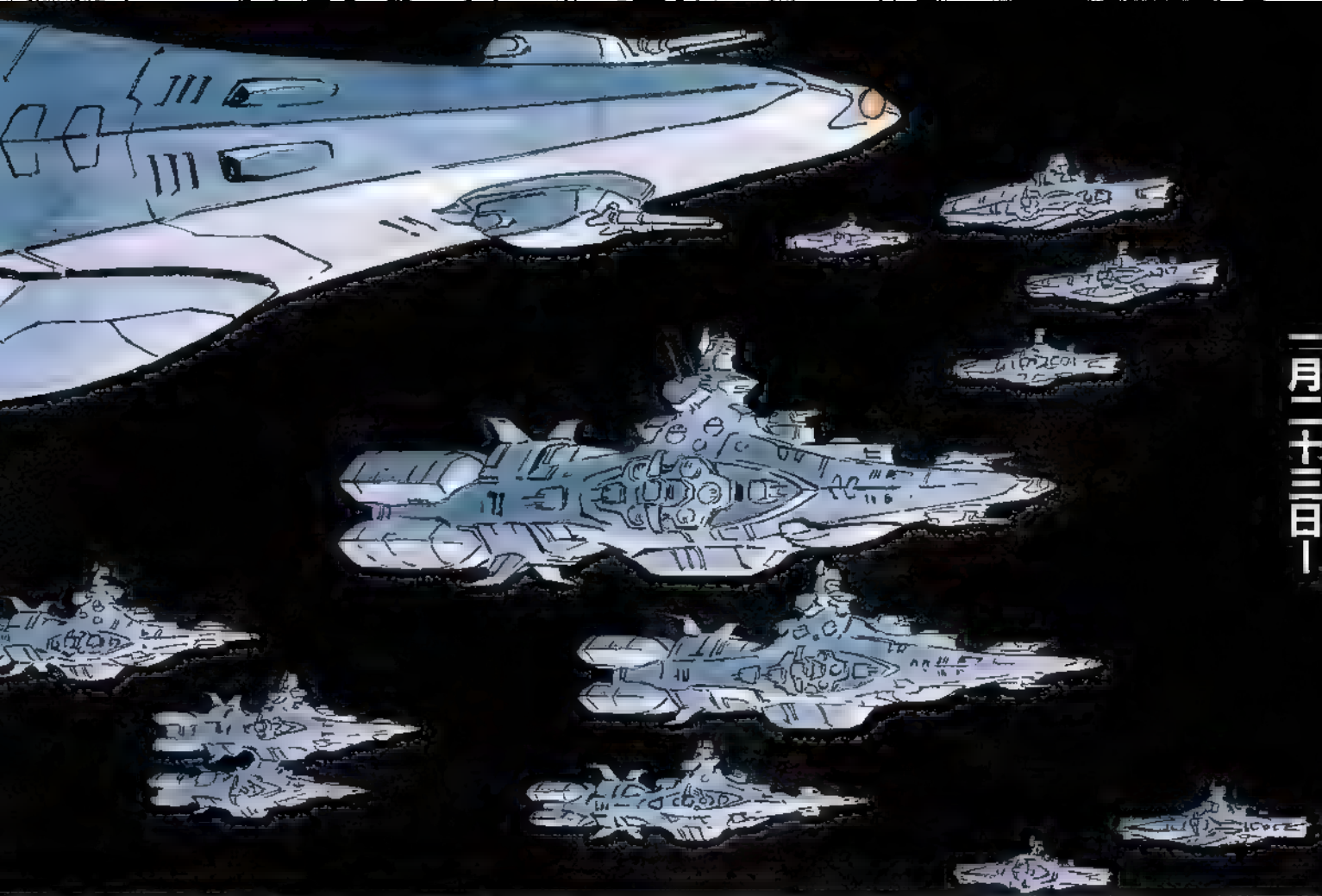




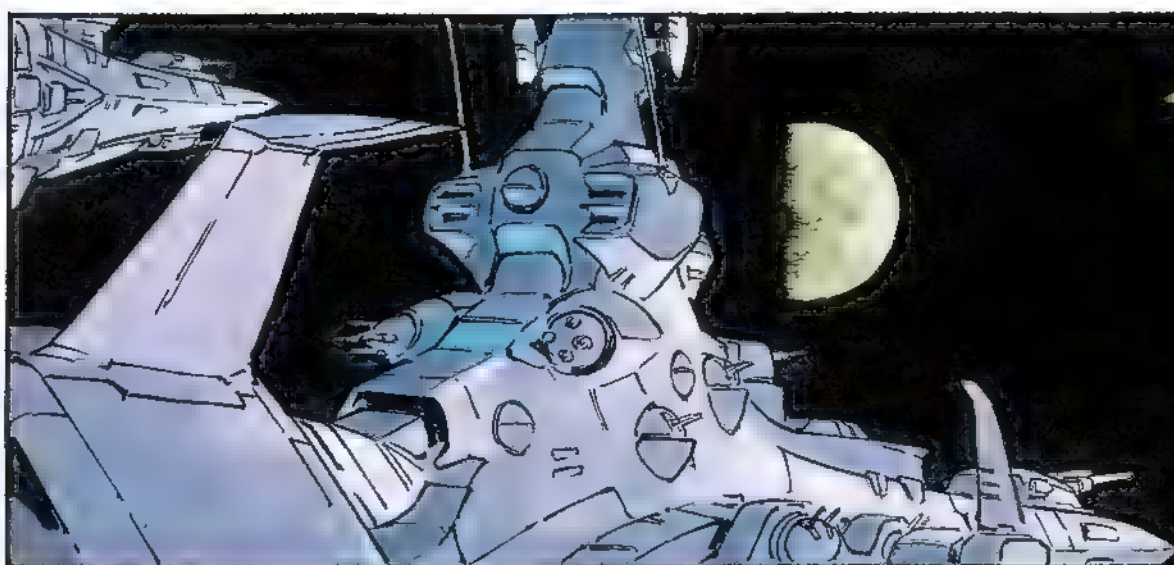


100079

二月二十三日



レヒル將軍麾下の
連邦宇宙軍艦隊は
ルウムへ進発した



ジオン総軍をはるかに圧する
その戦力で連邦は

一気に戦局の
帰趨を決する
つもりだった

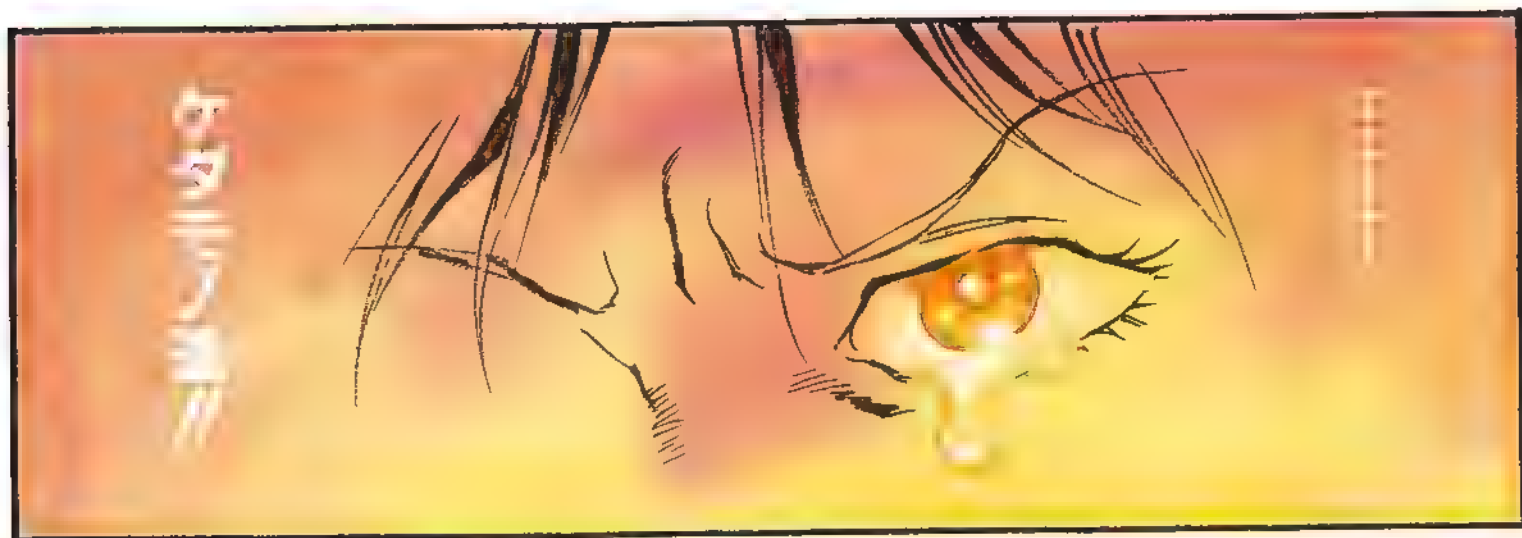
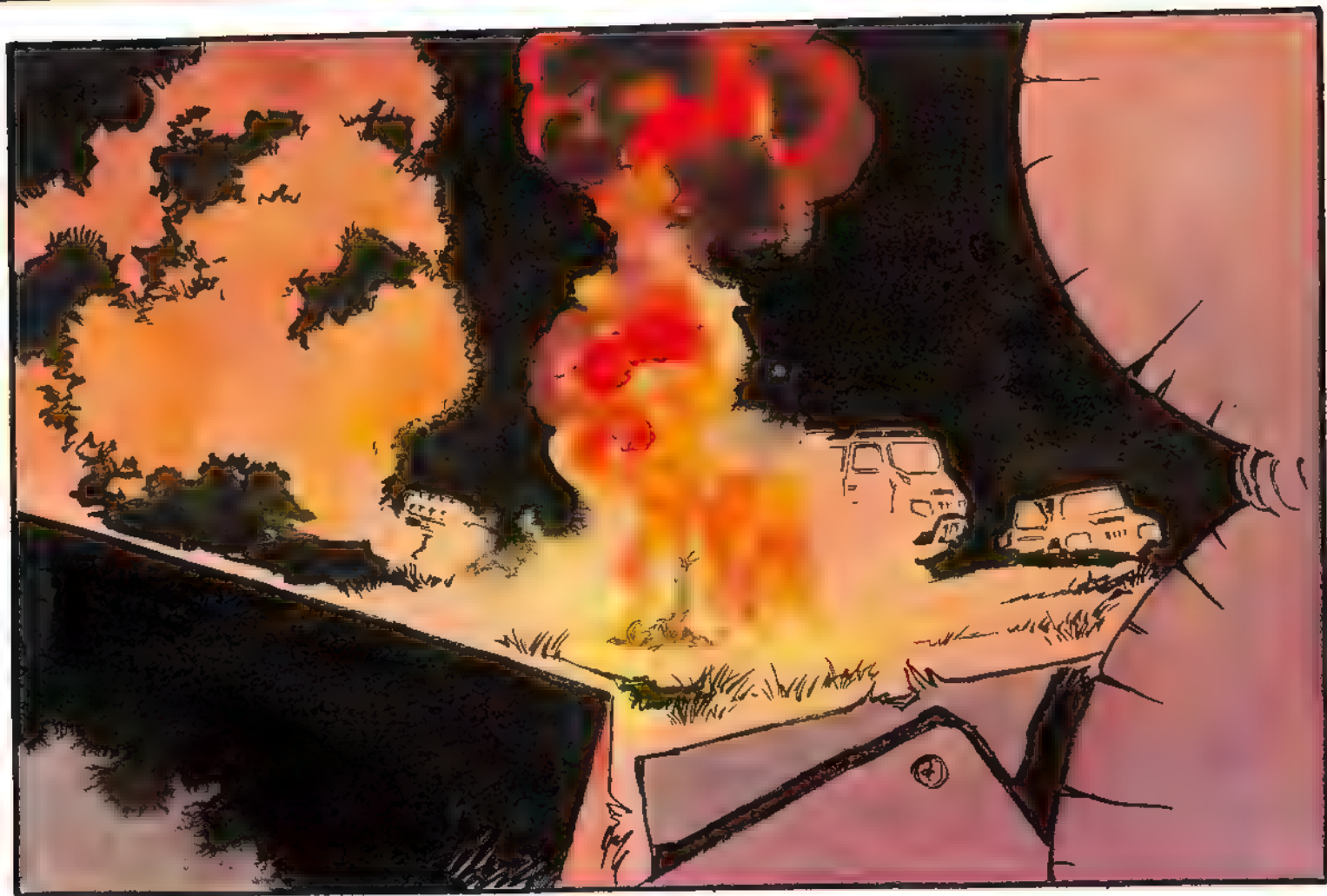
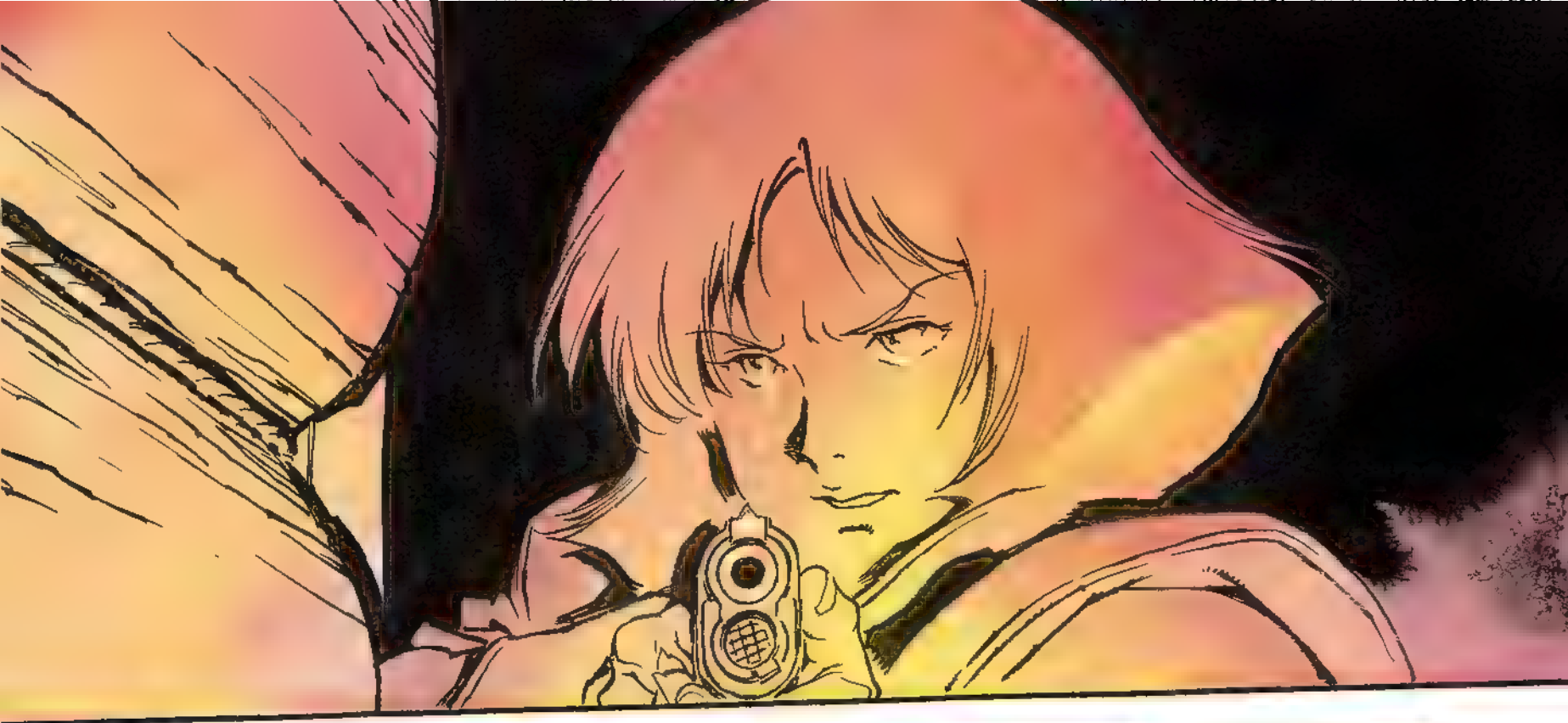


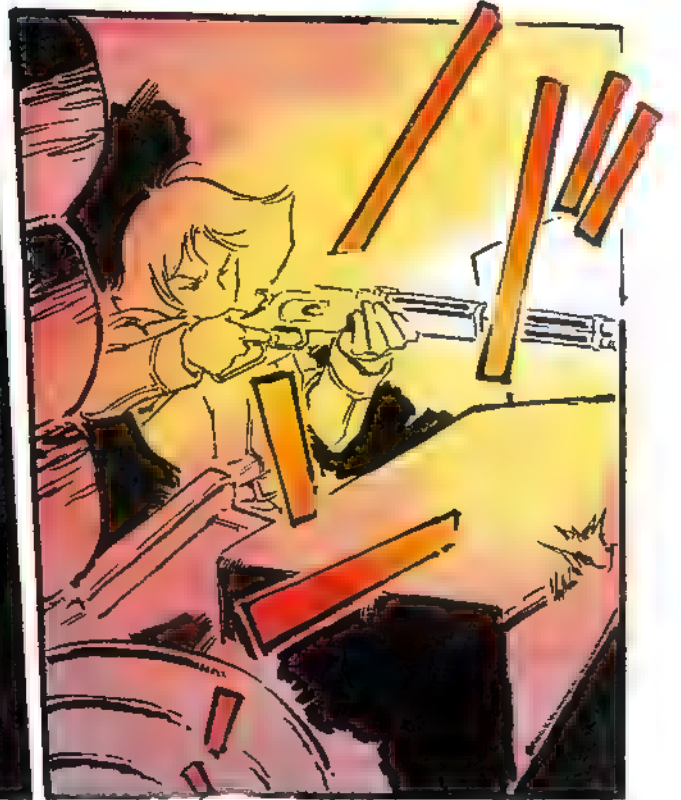
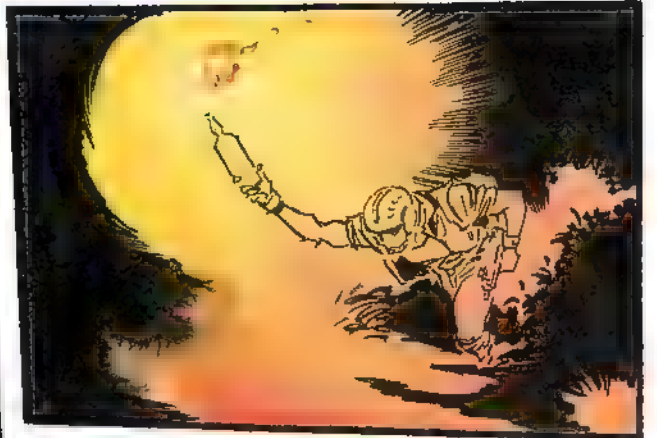
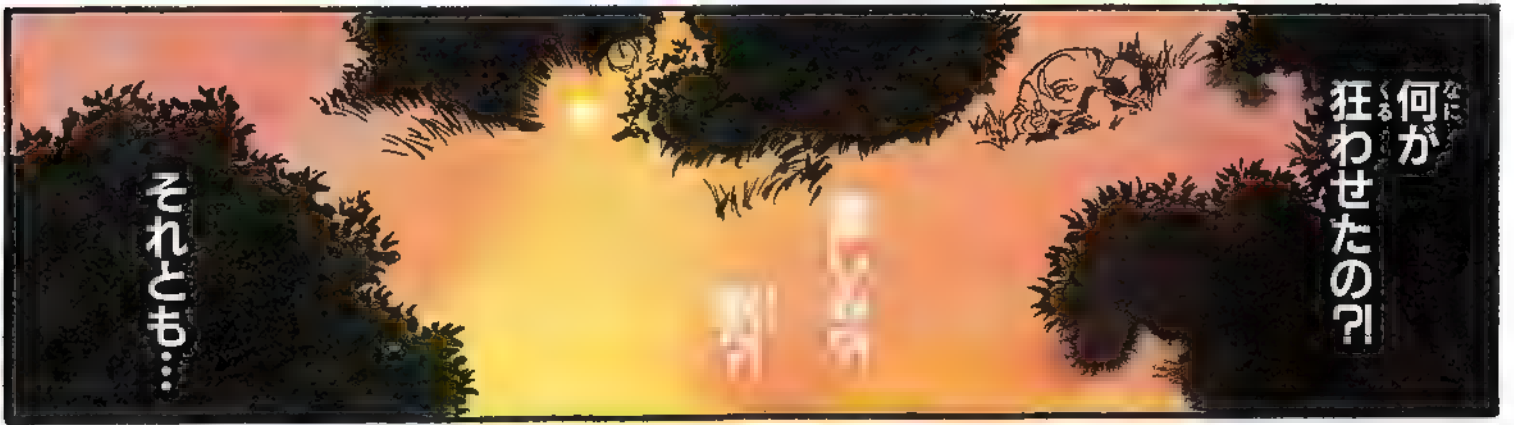
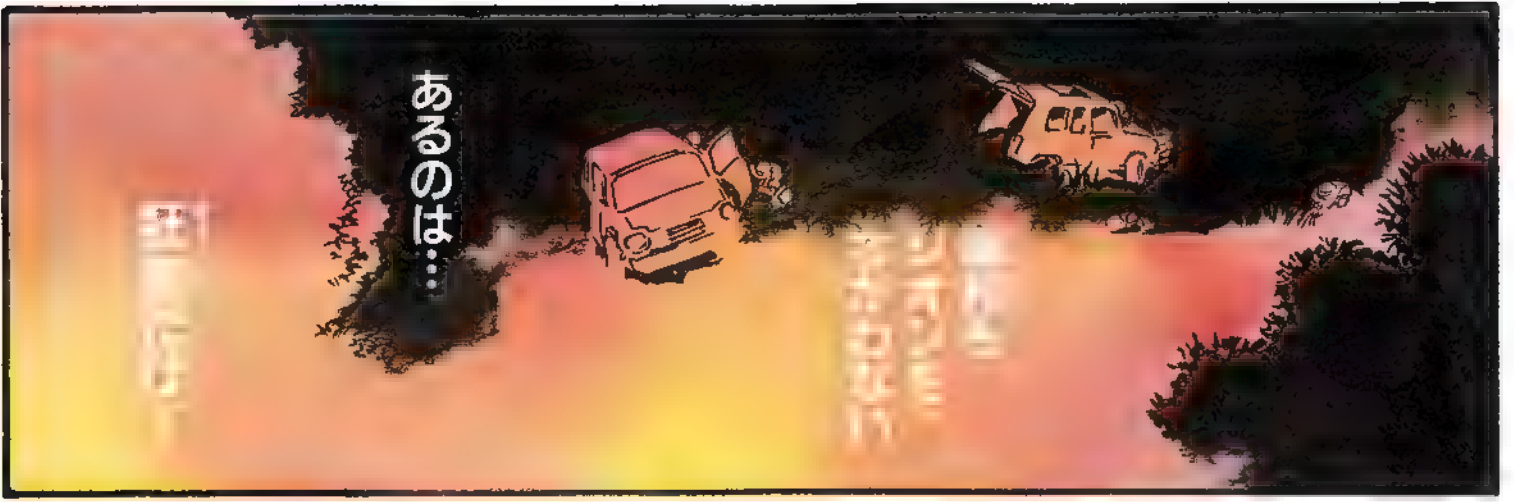


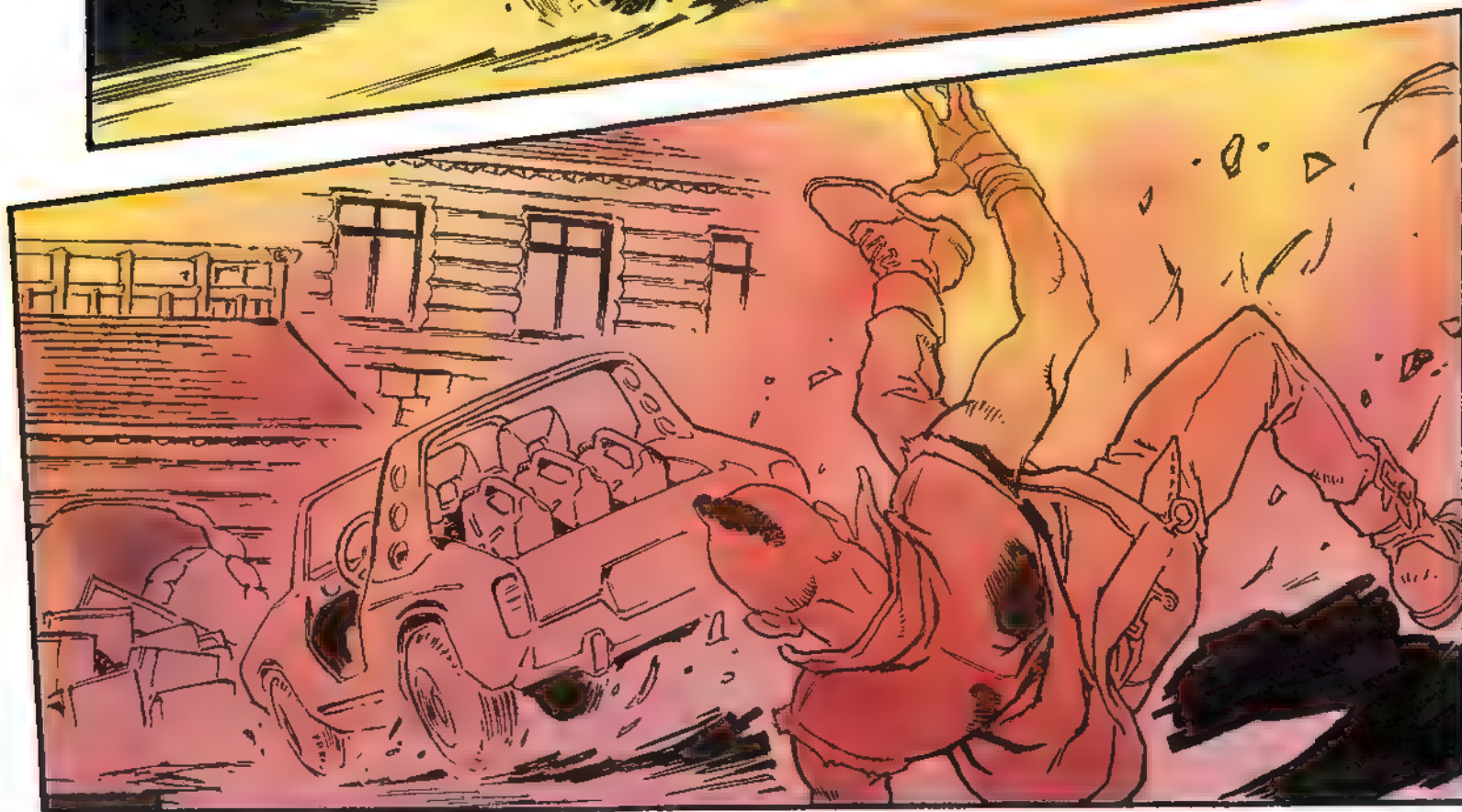
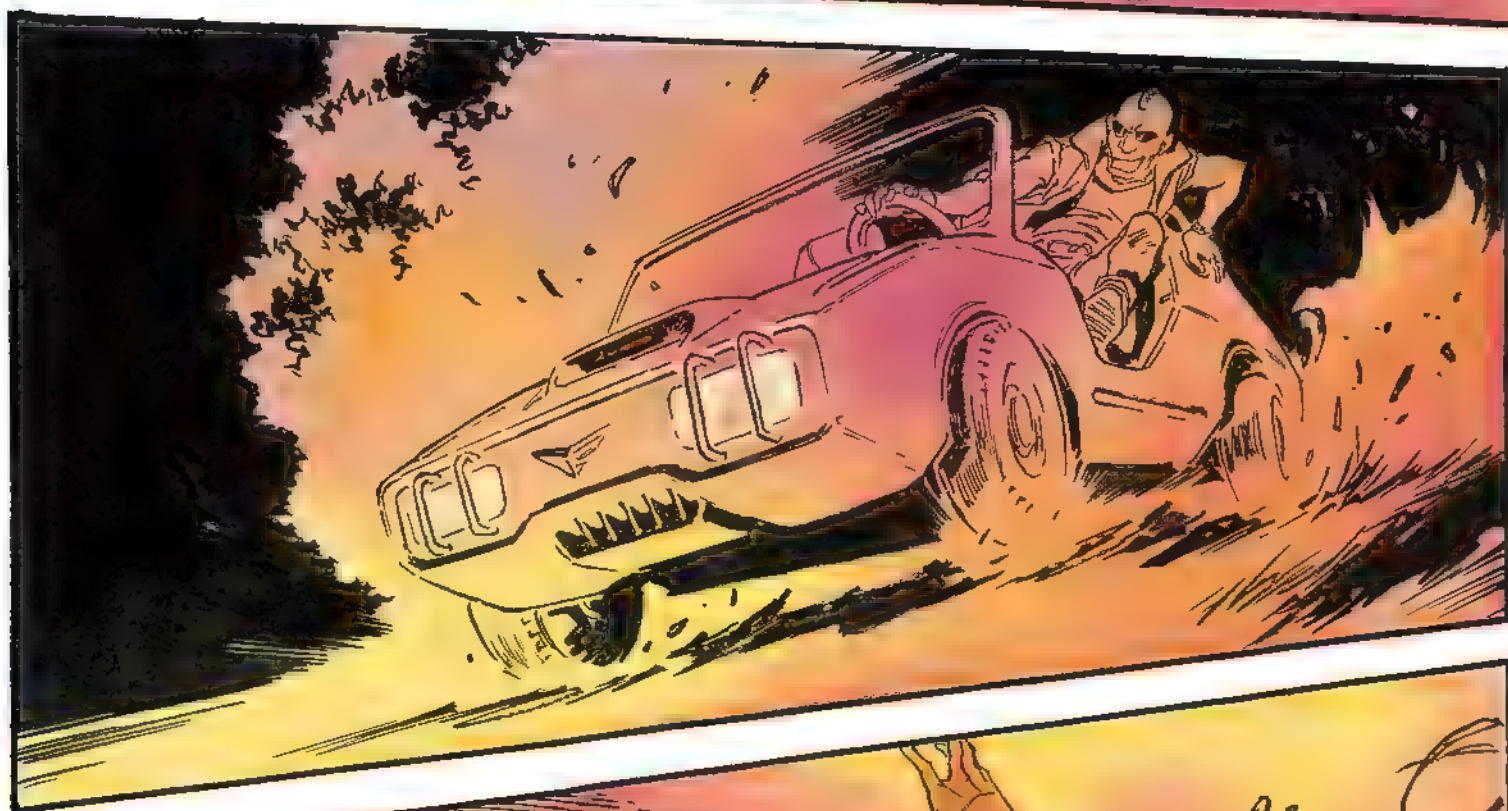
—ルウム編・前—

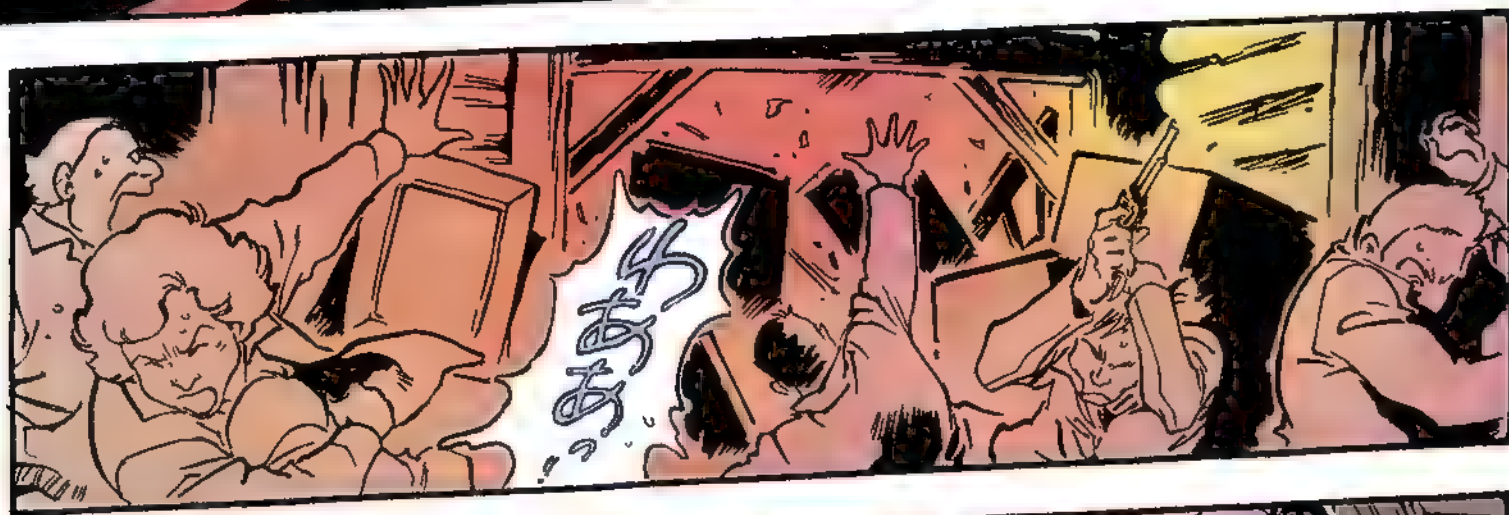
SECTION
IV

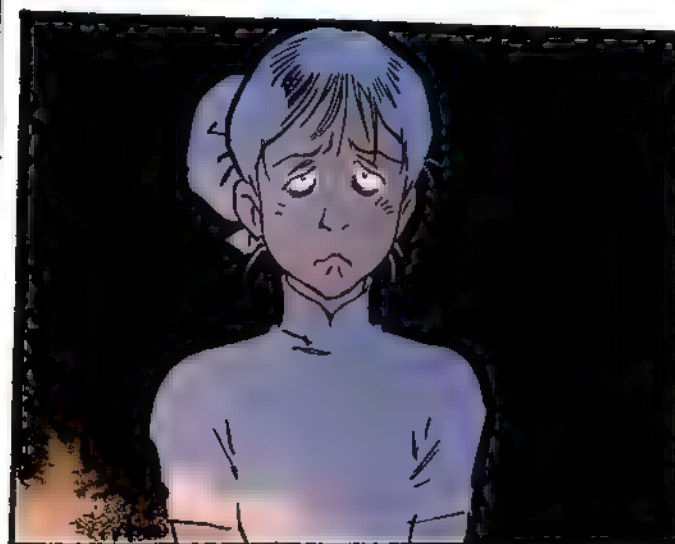
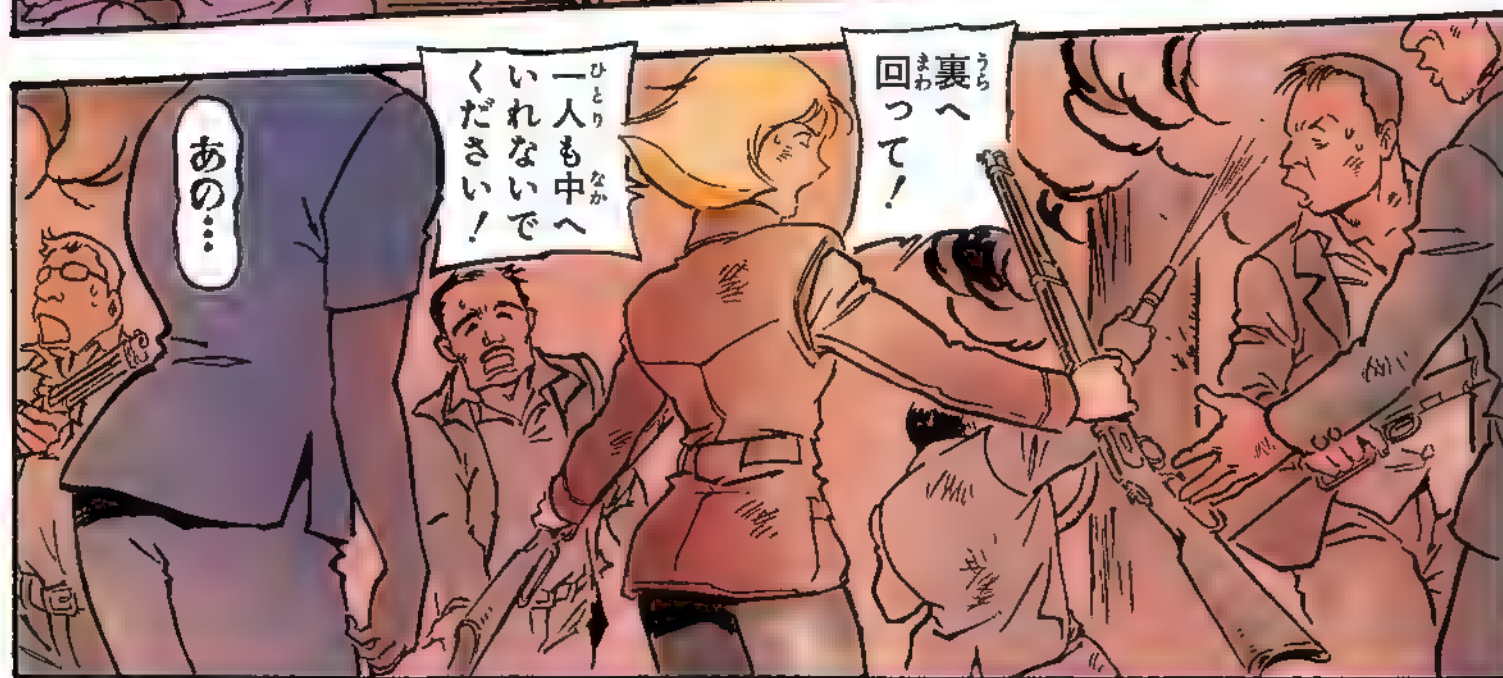


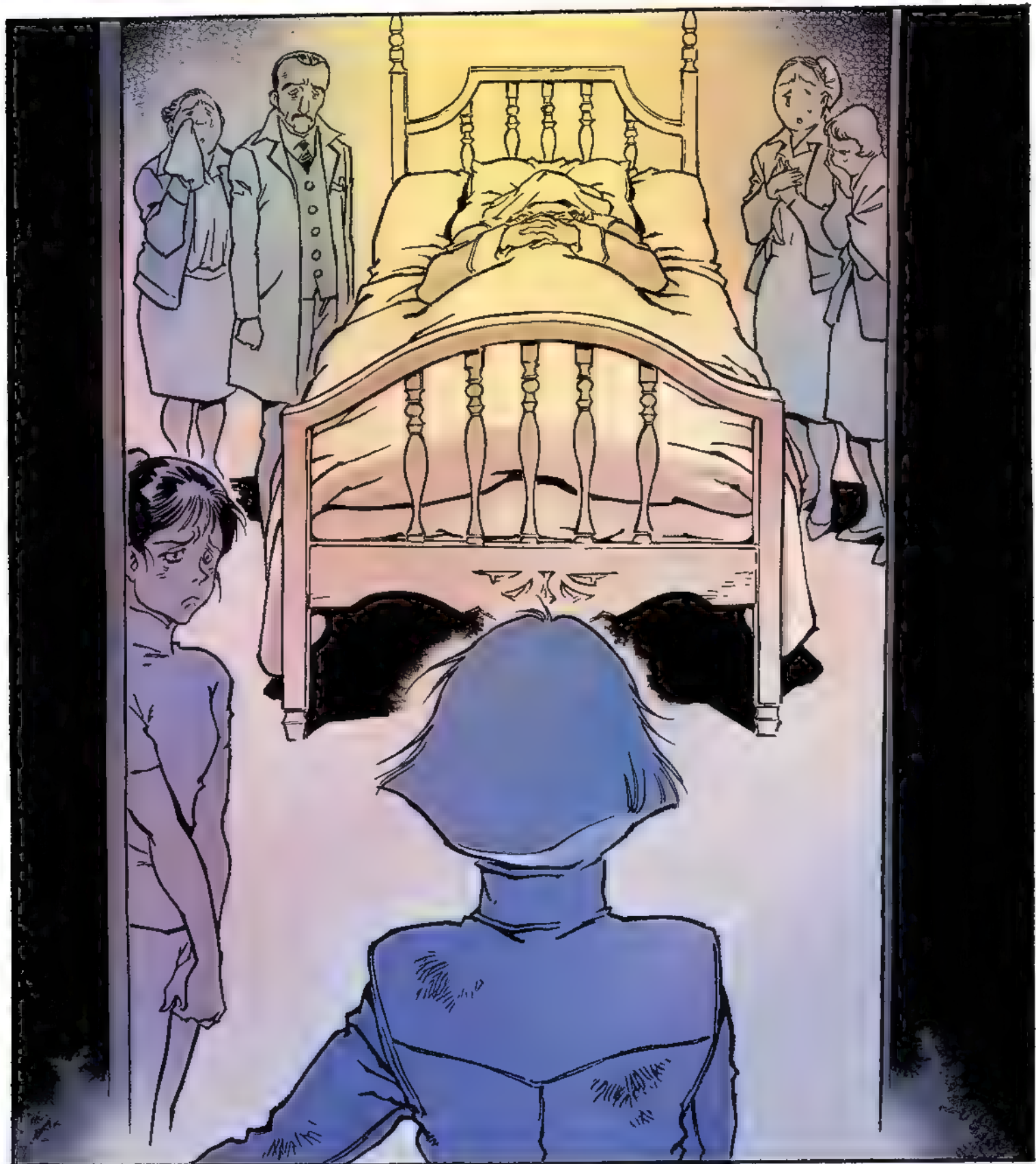
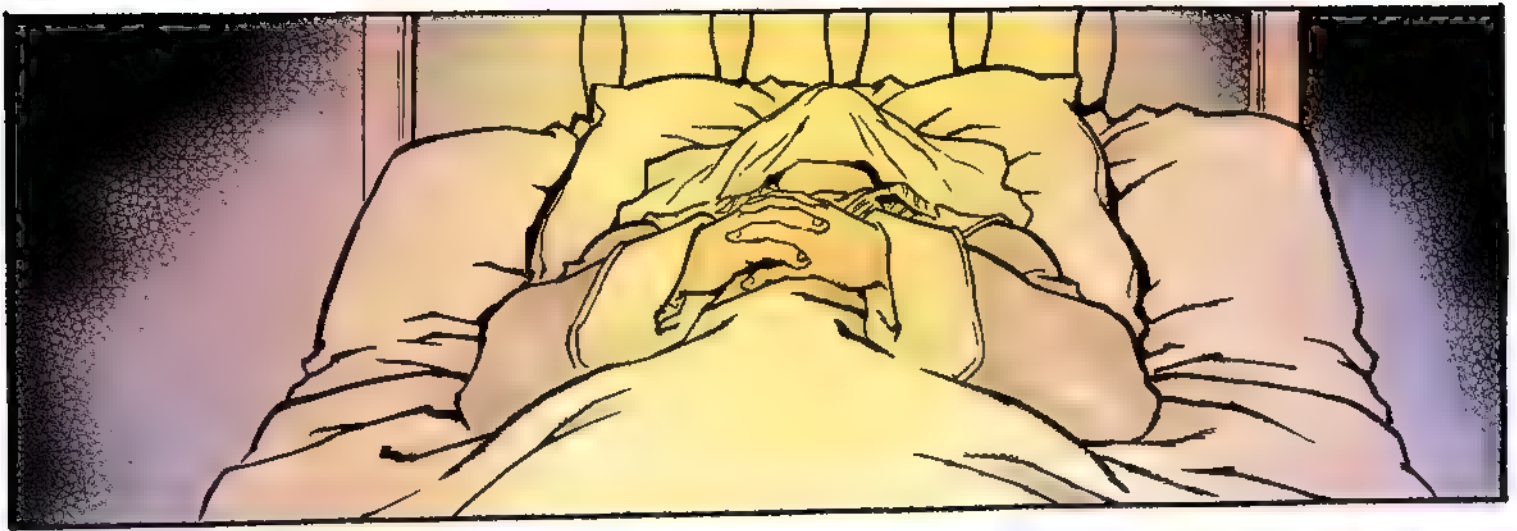


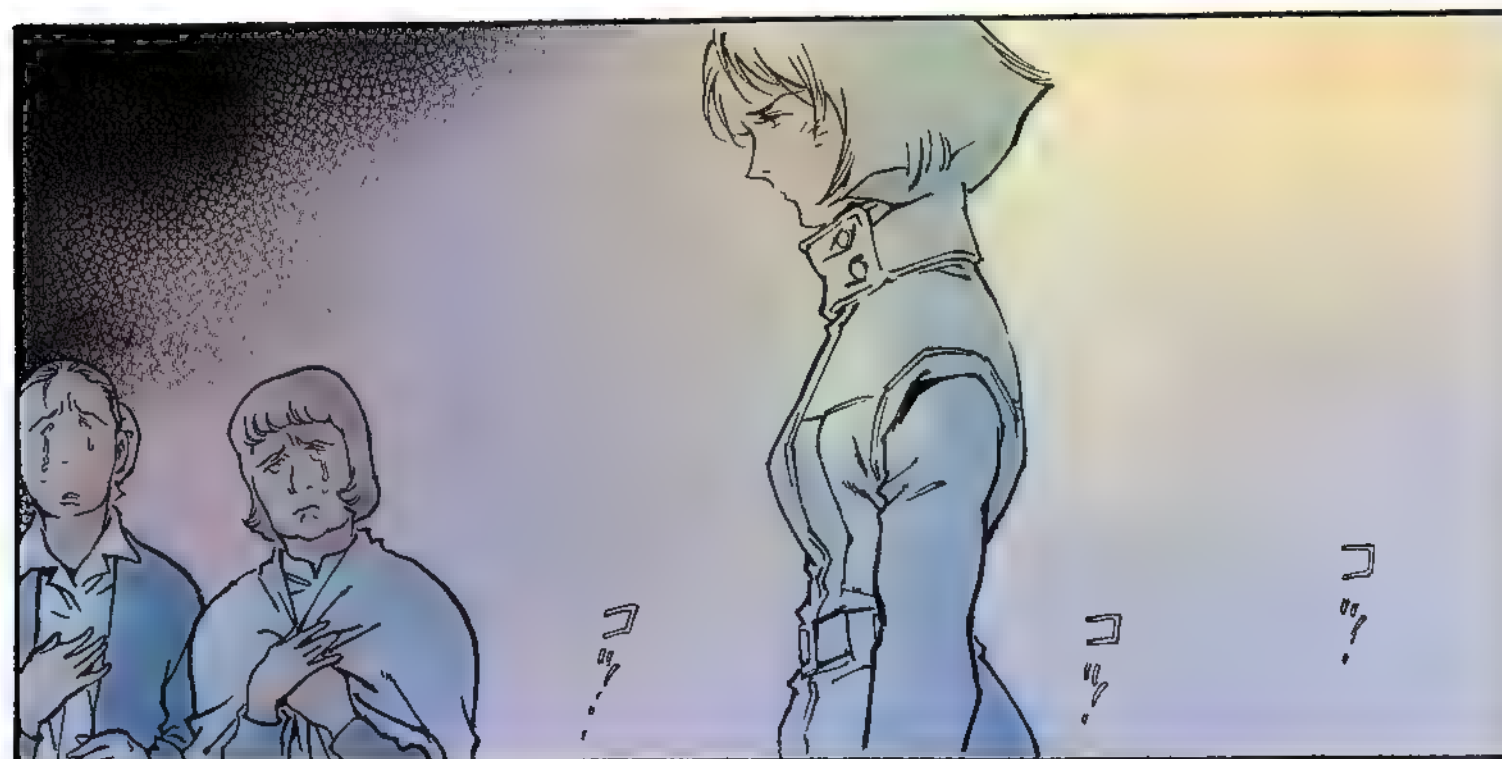
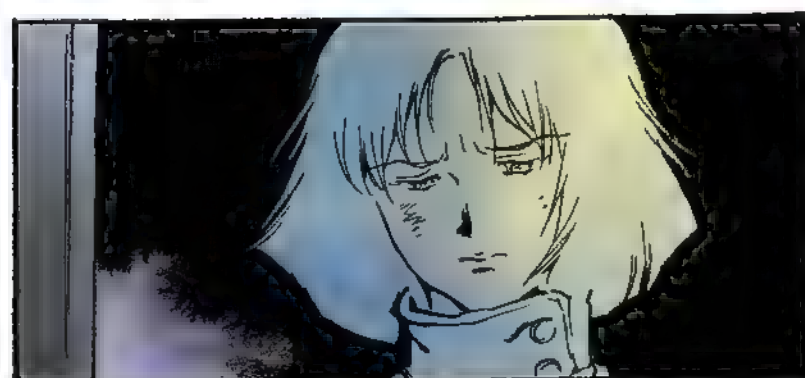
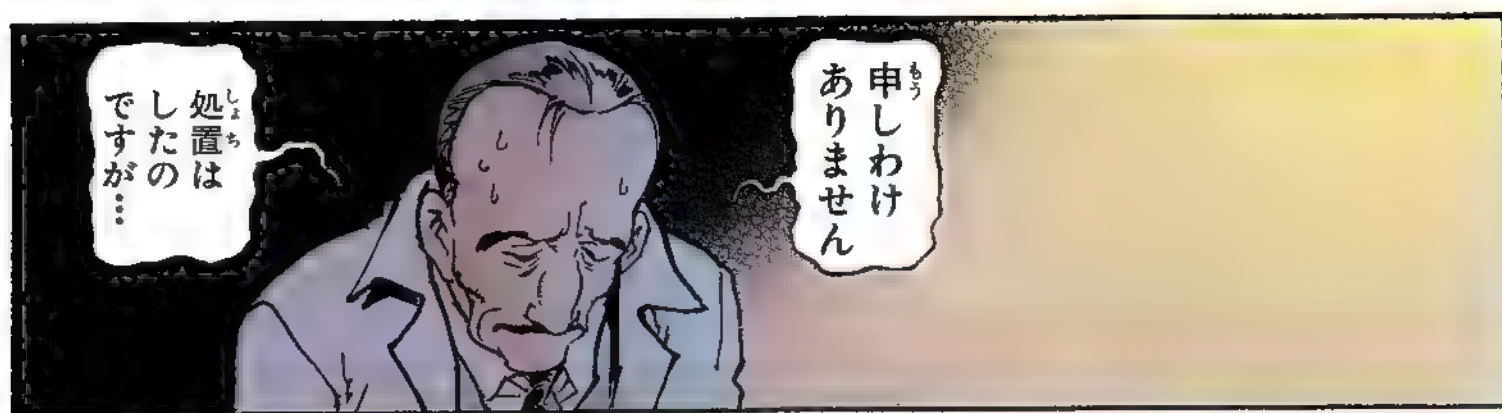
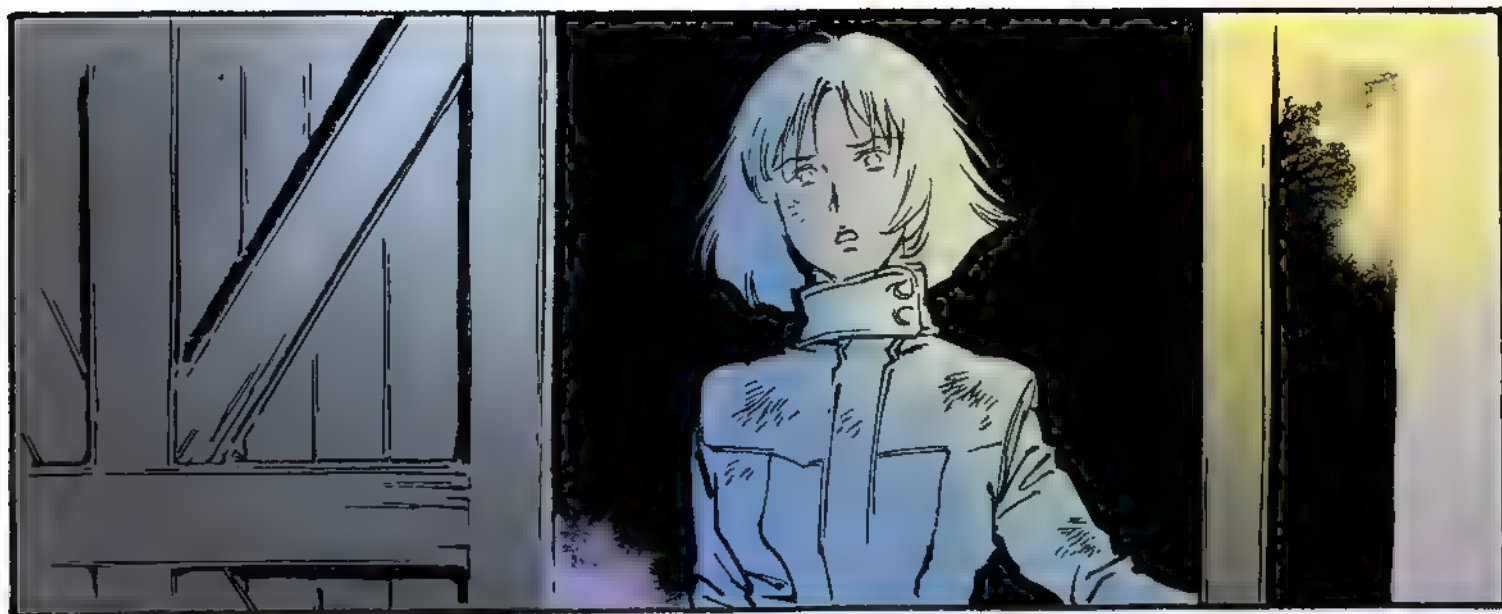


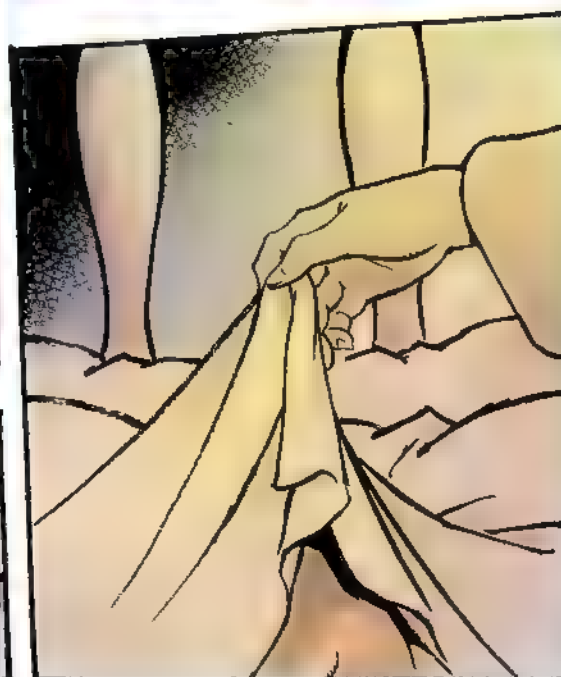
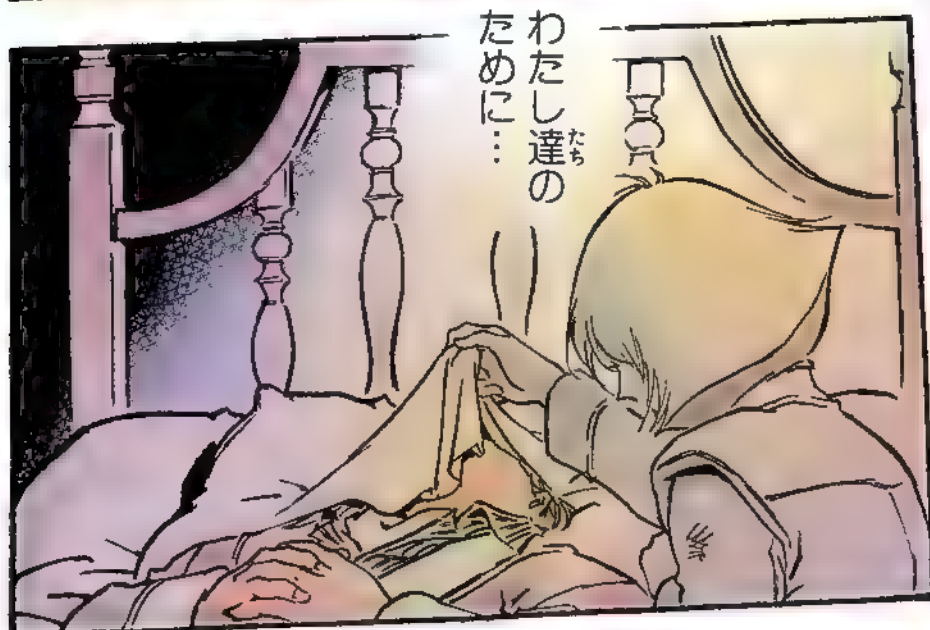
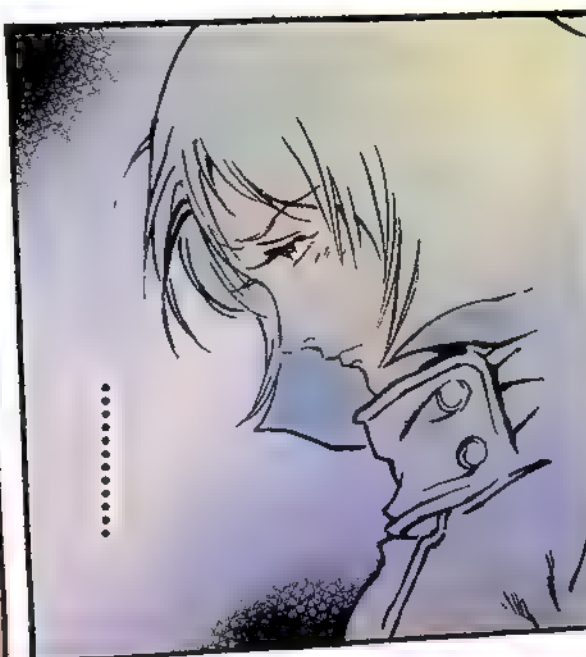
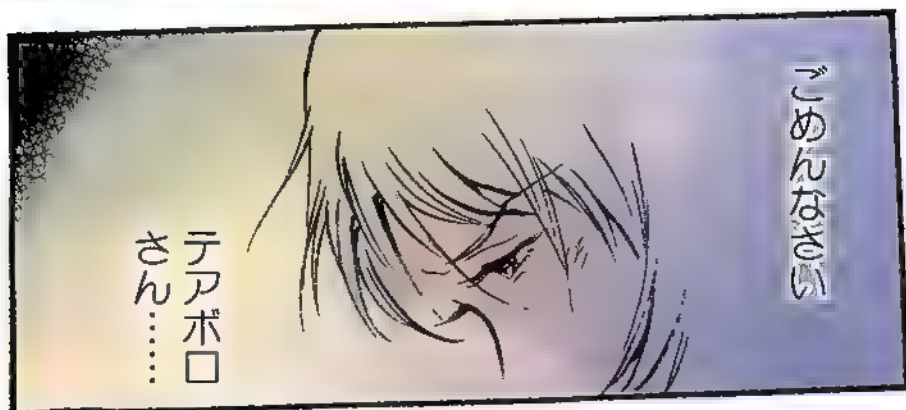
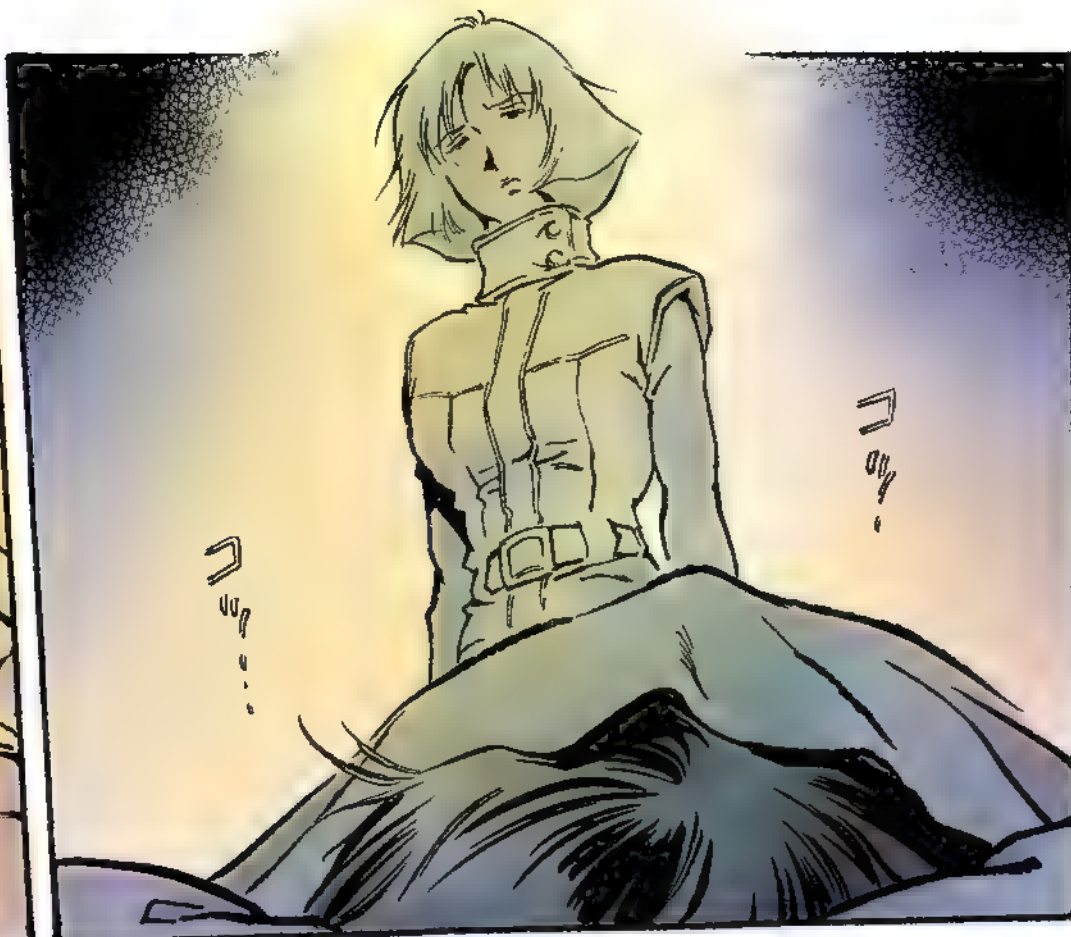


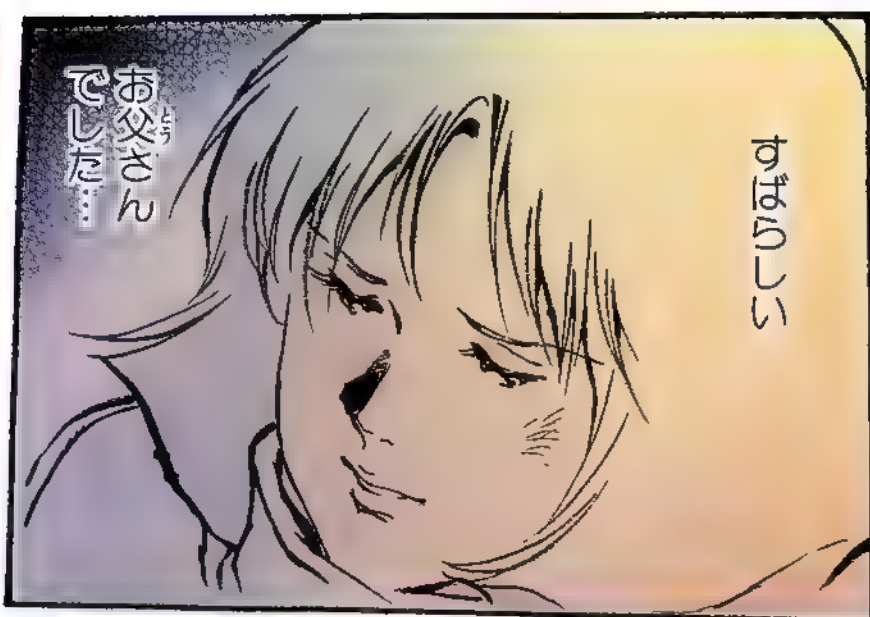
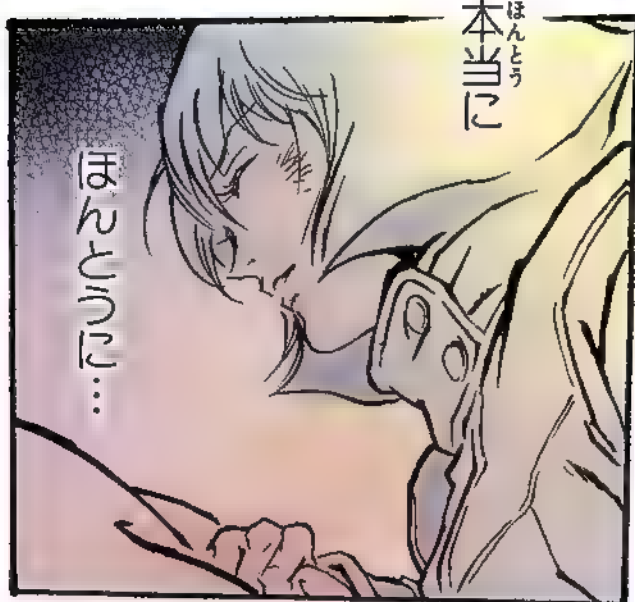


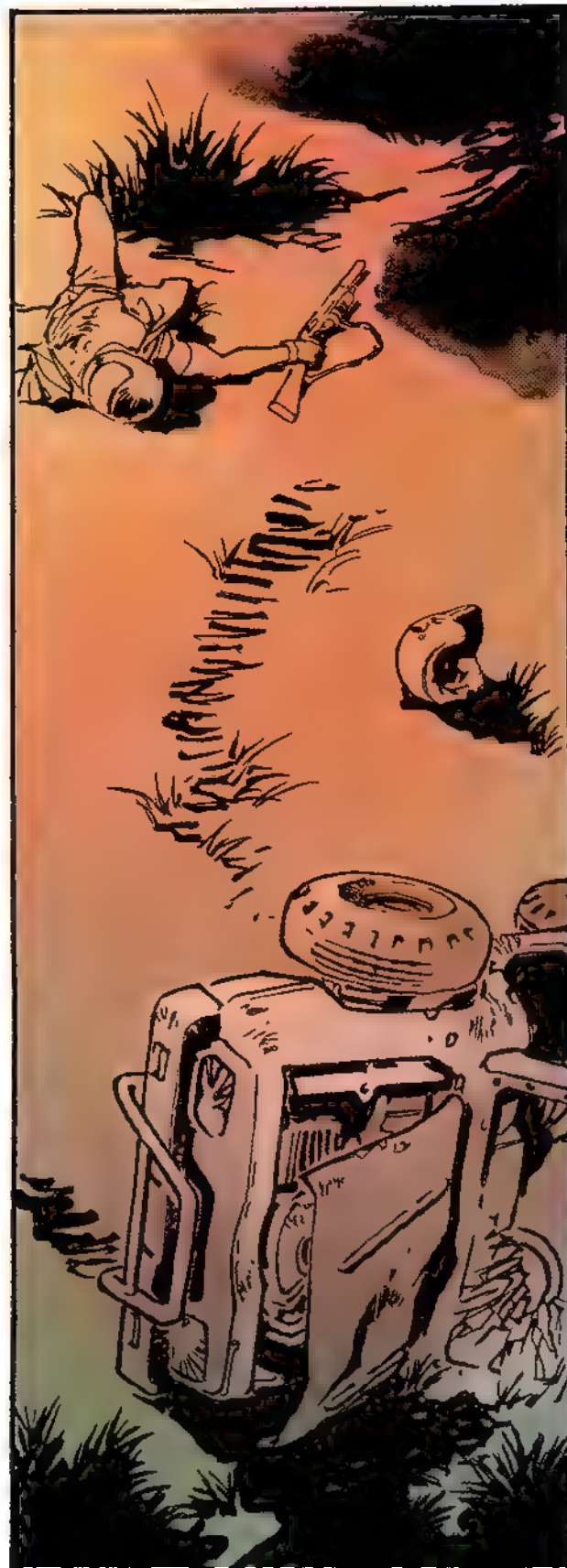
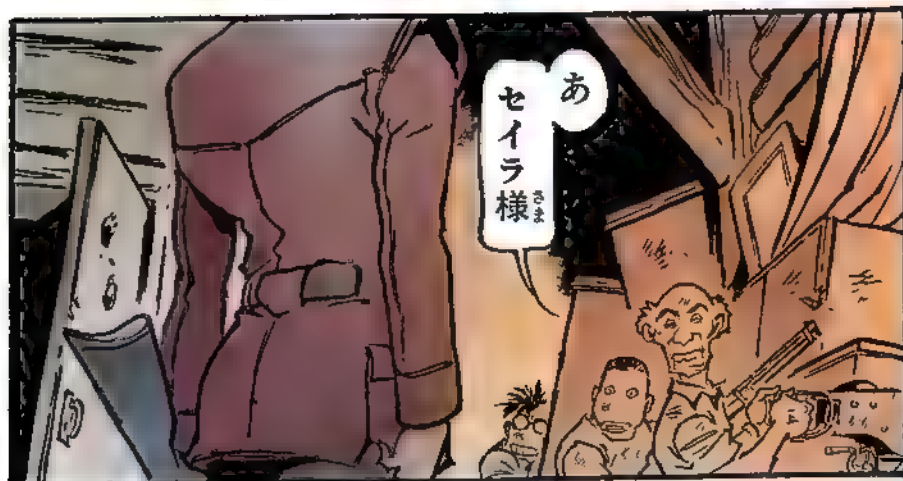


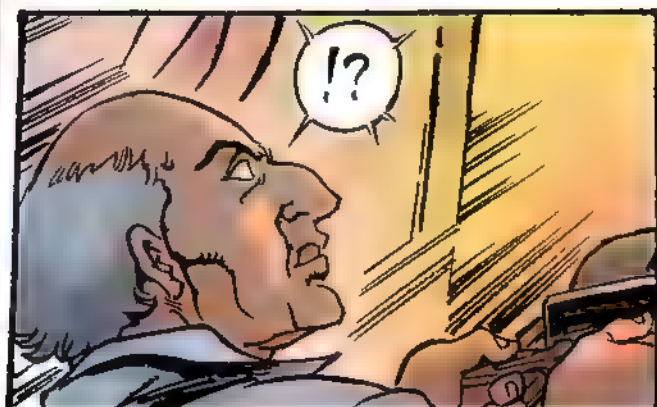
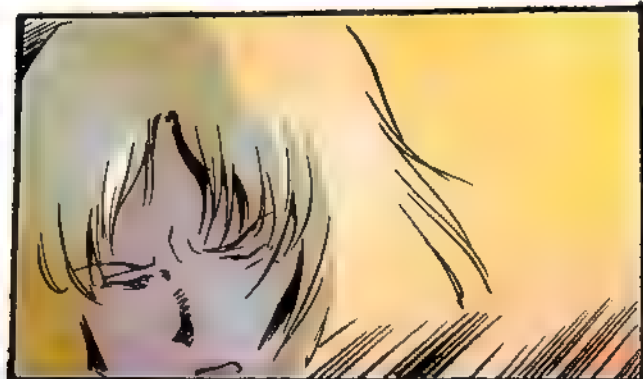
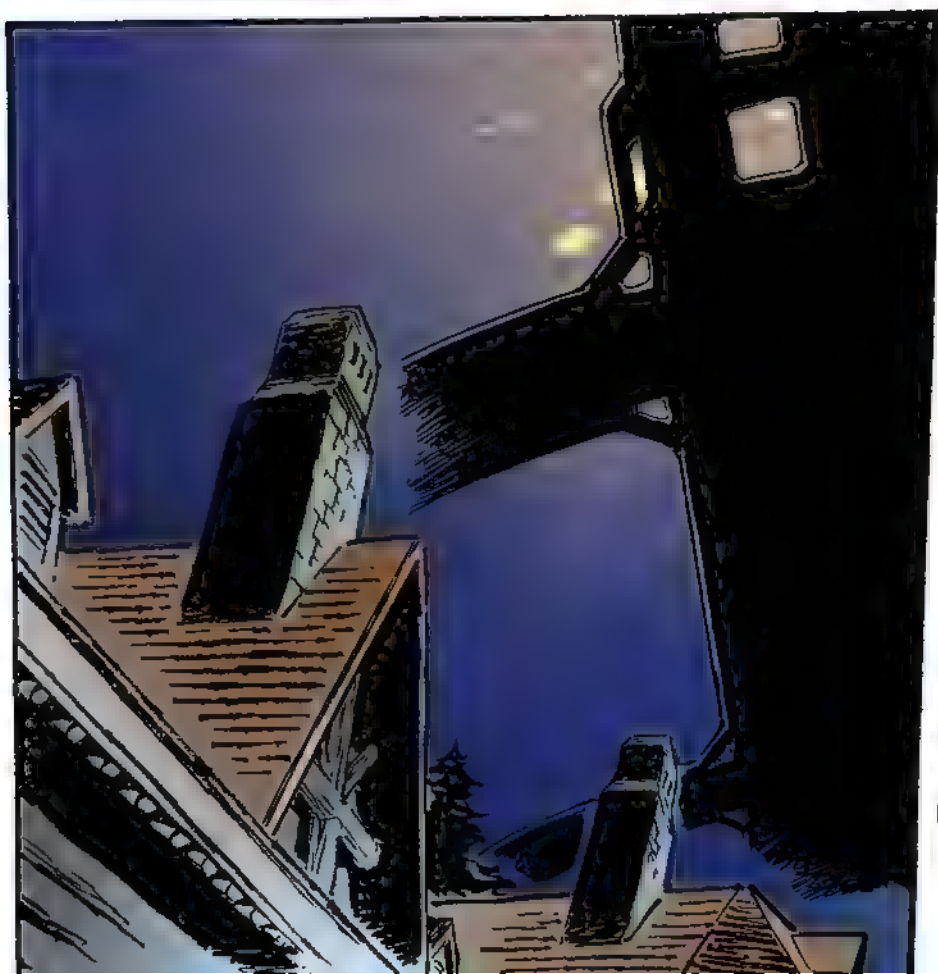
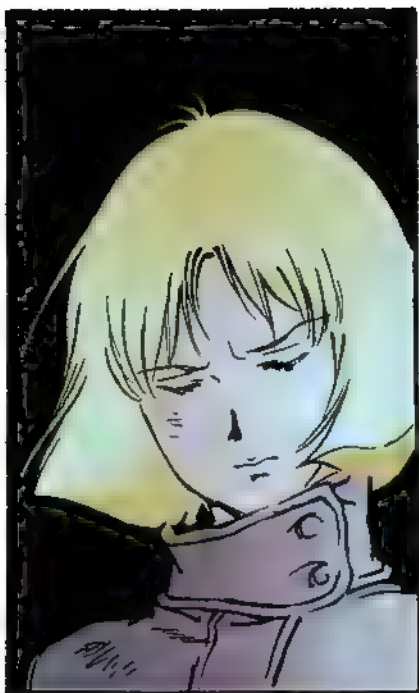


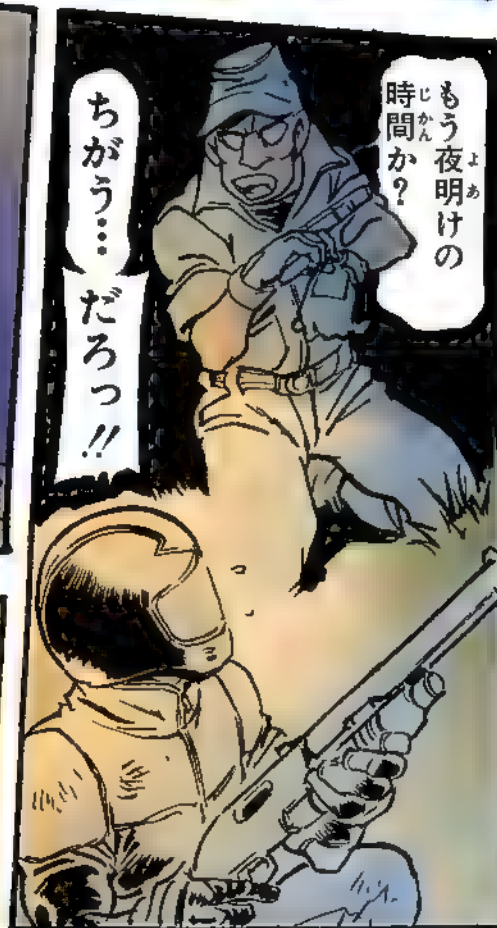
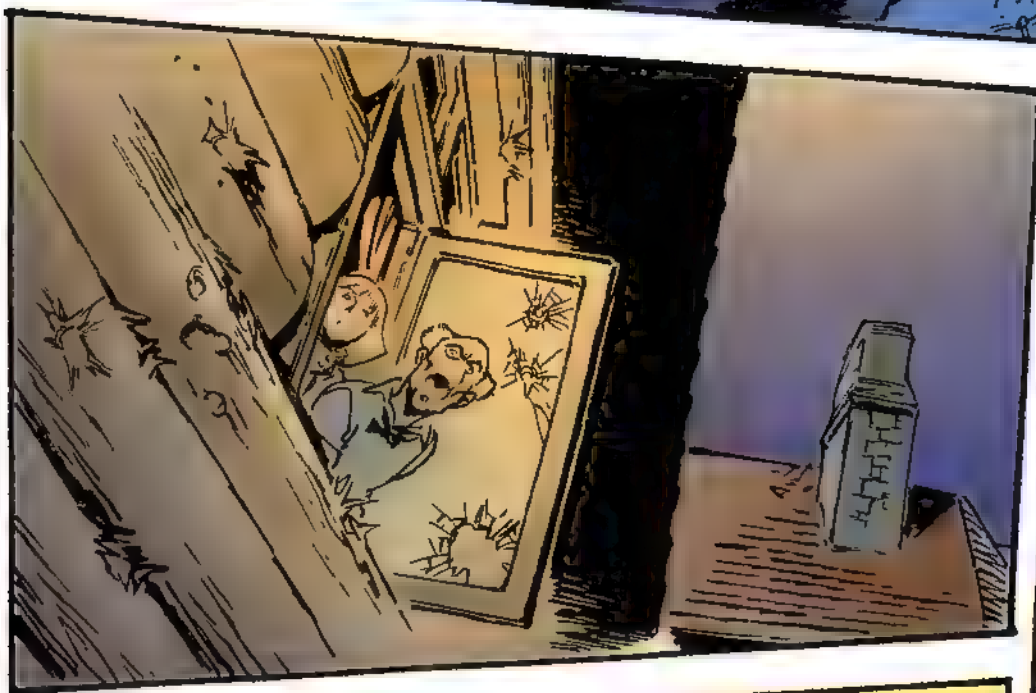
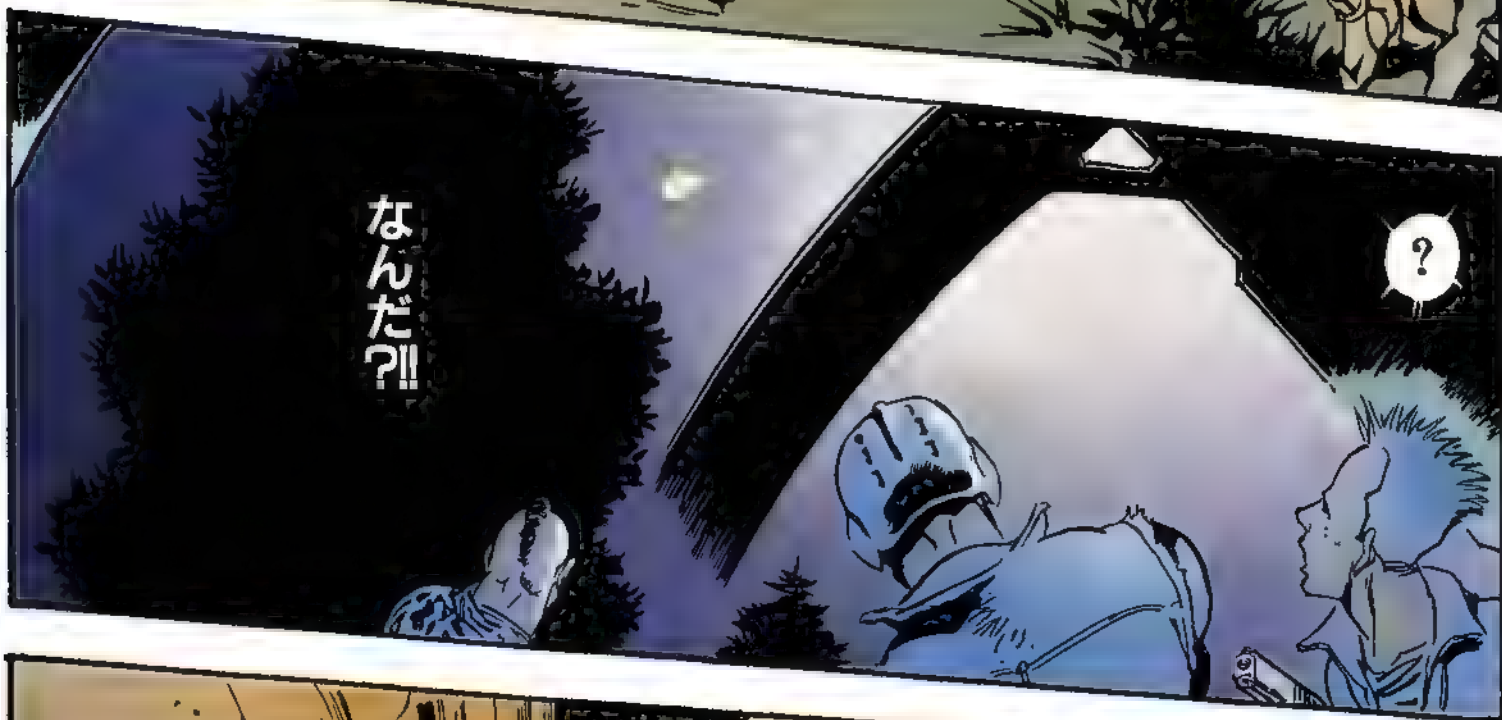
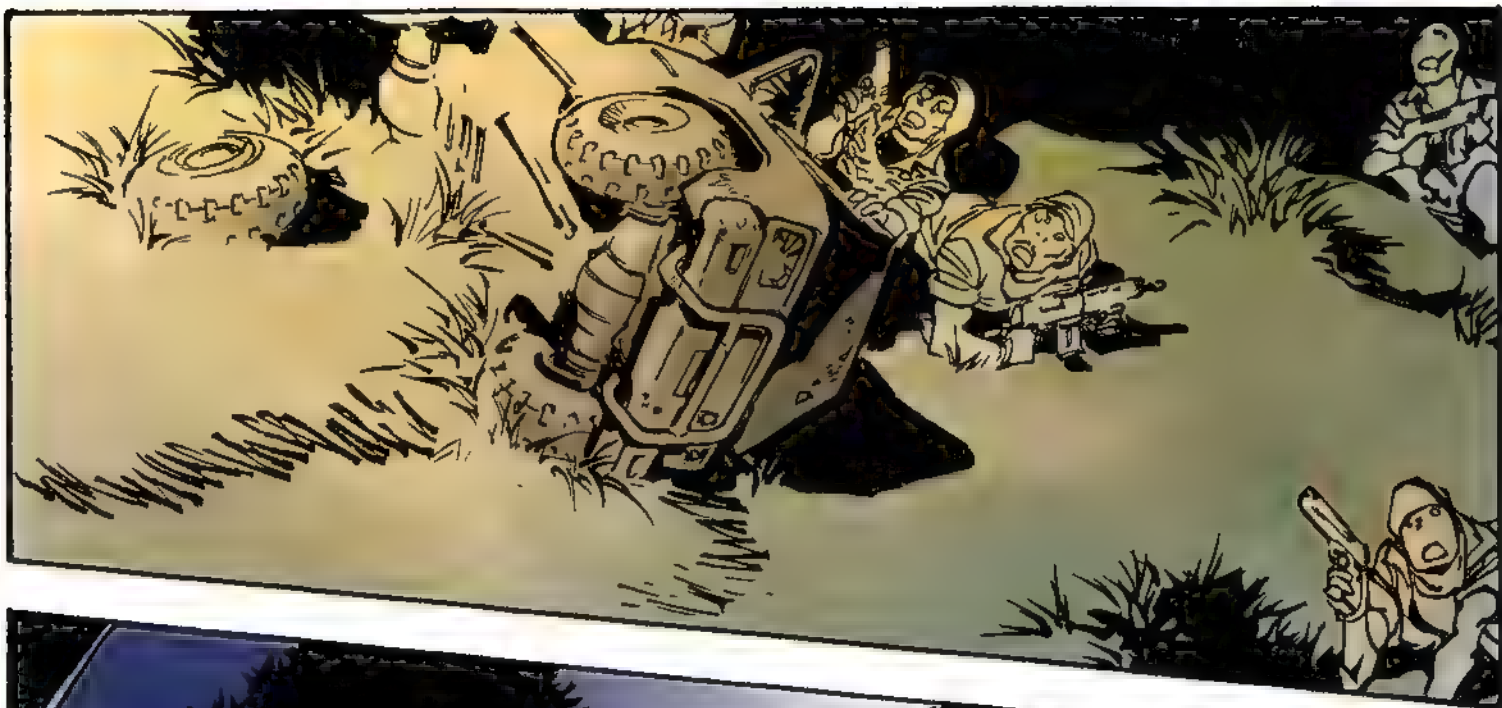


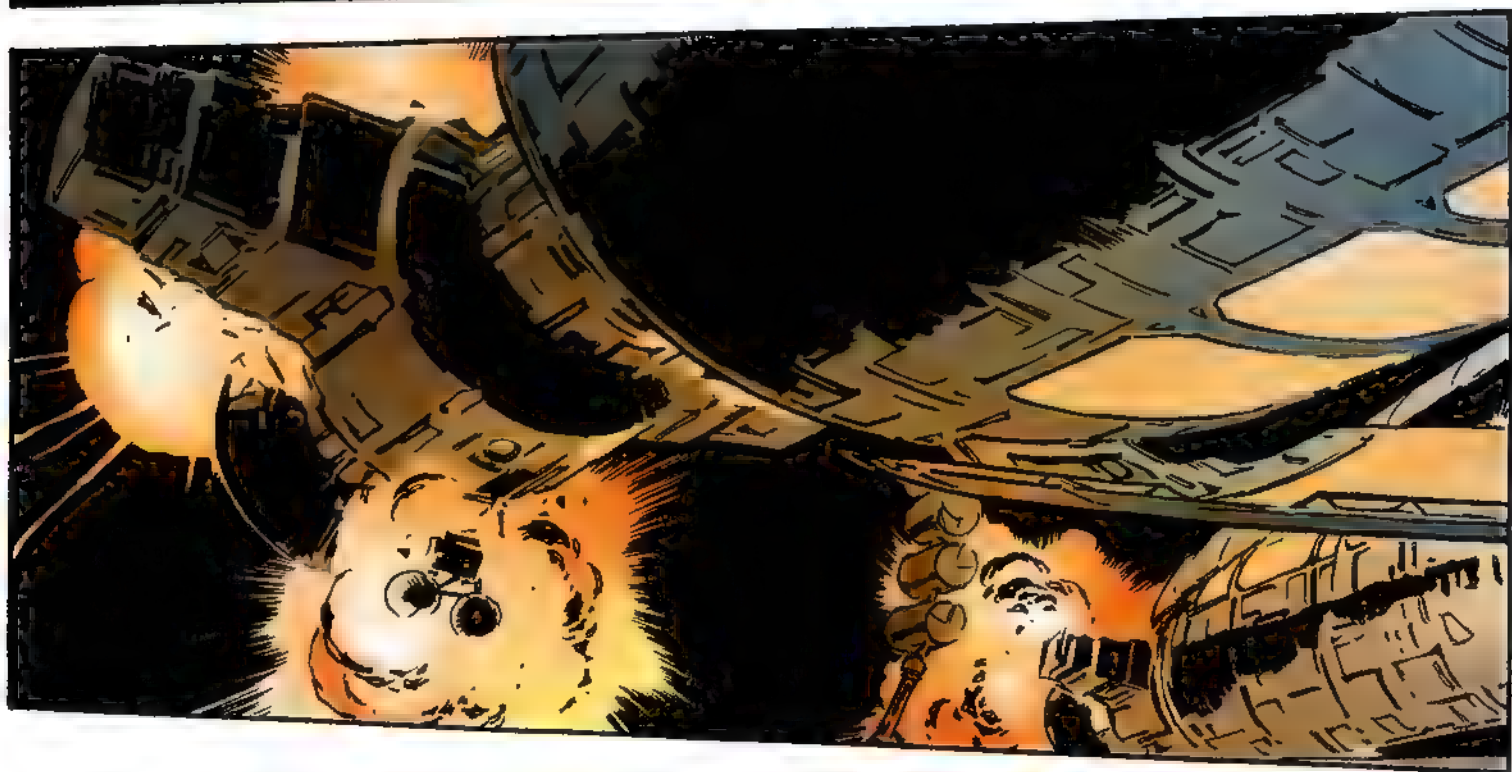
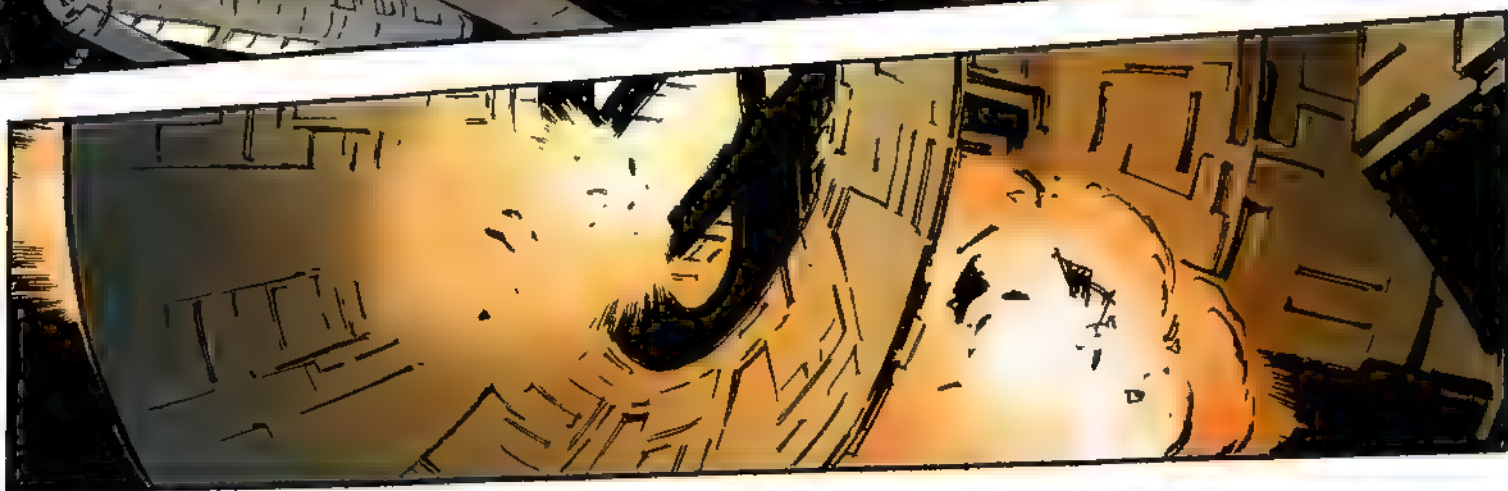
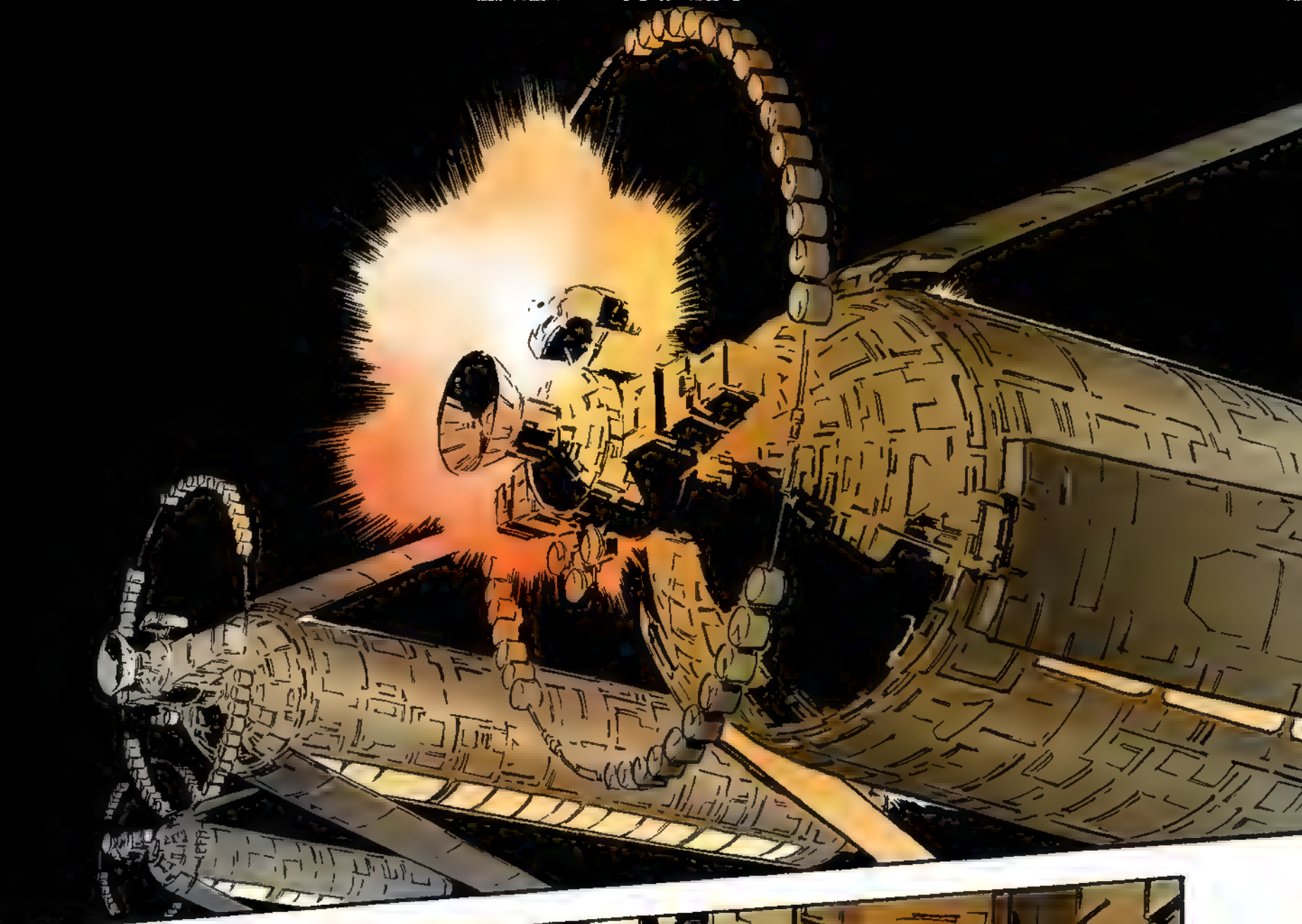




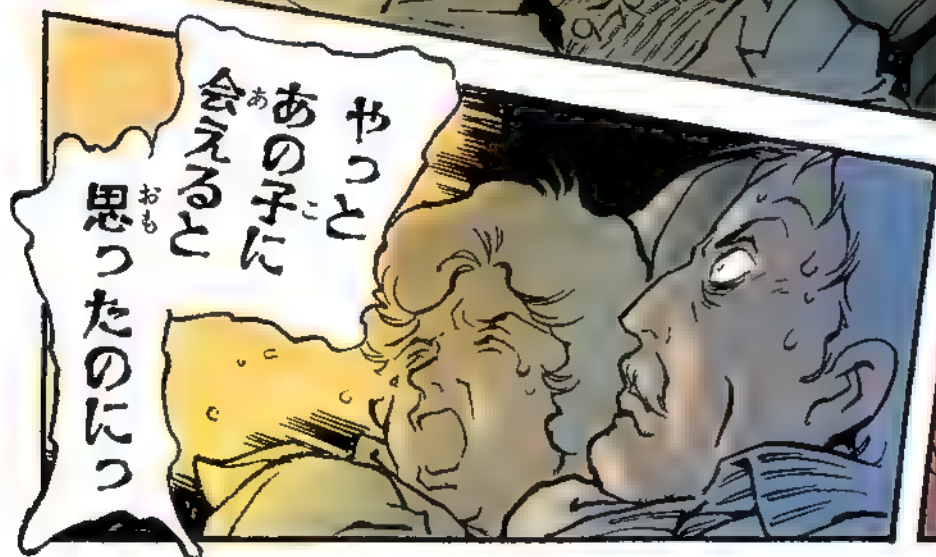
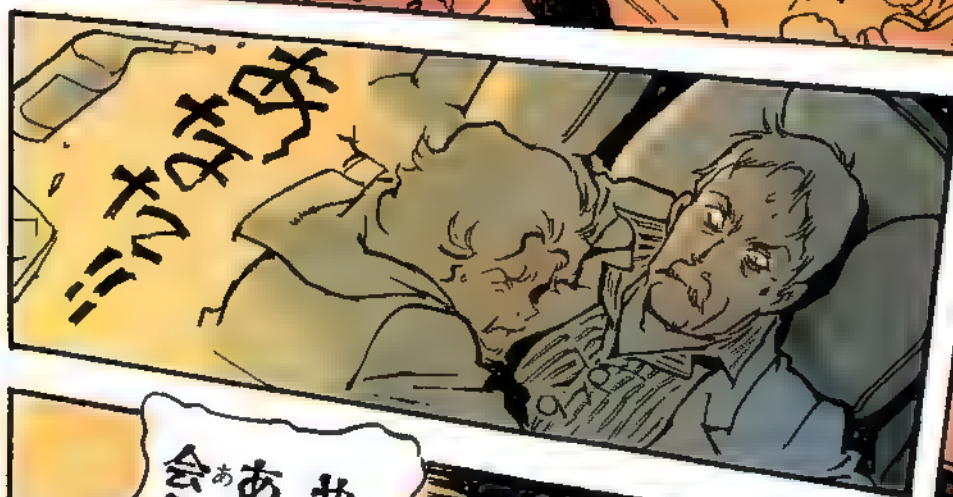
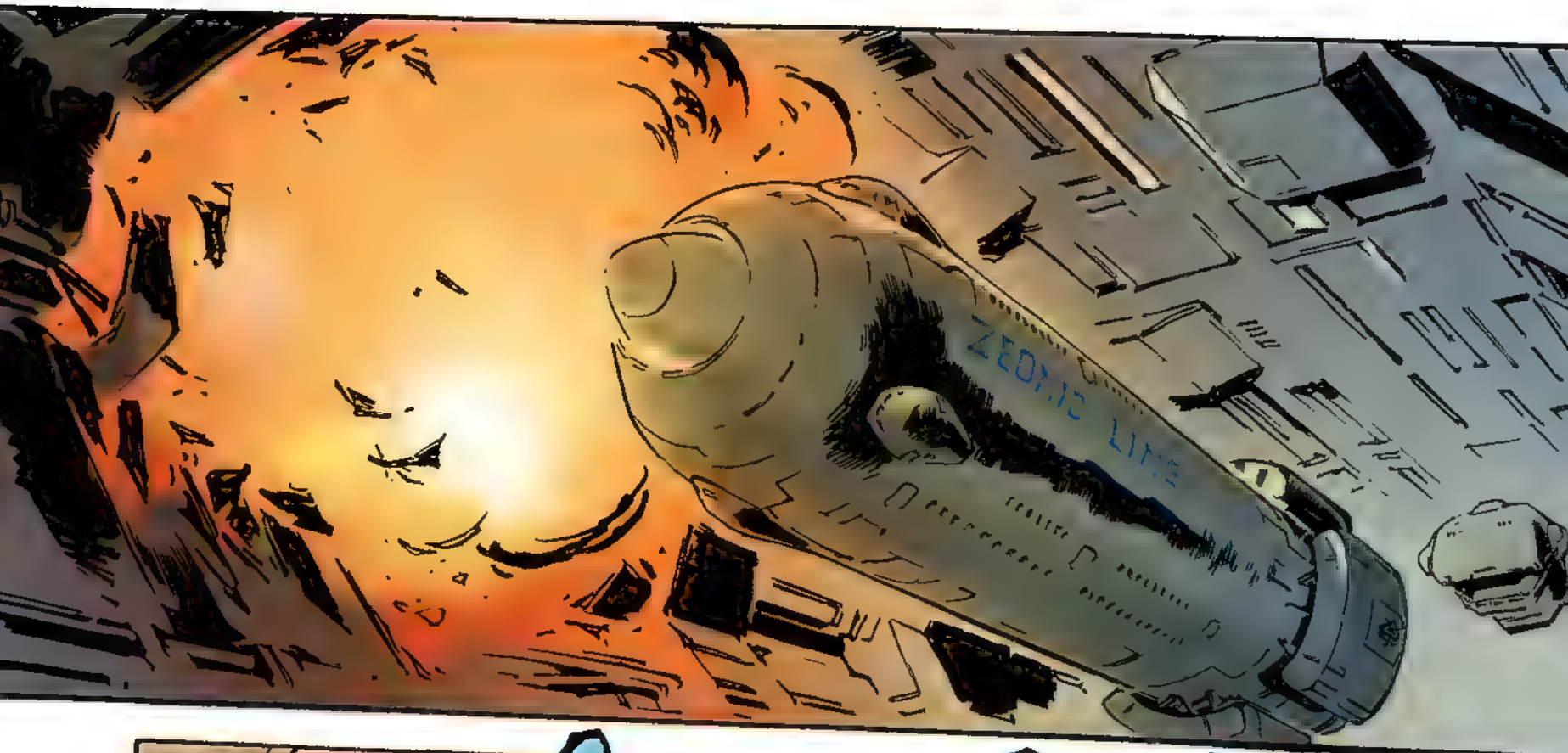




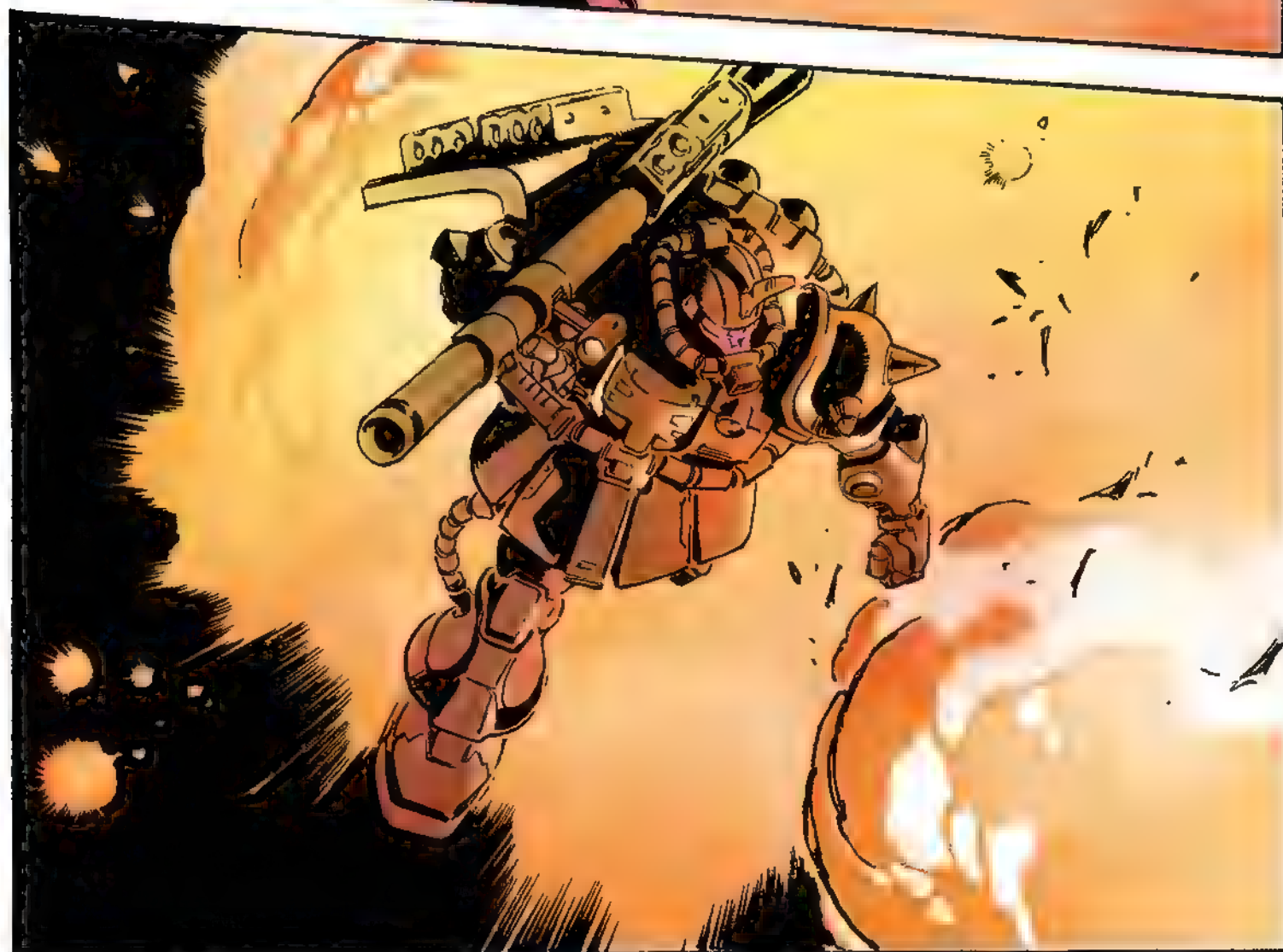
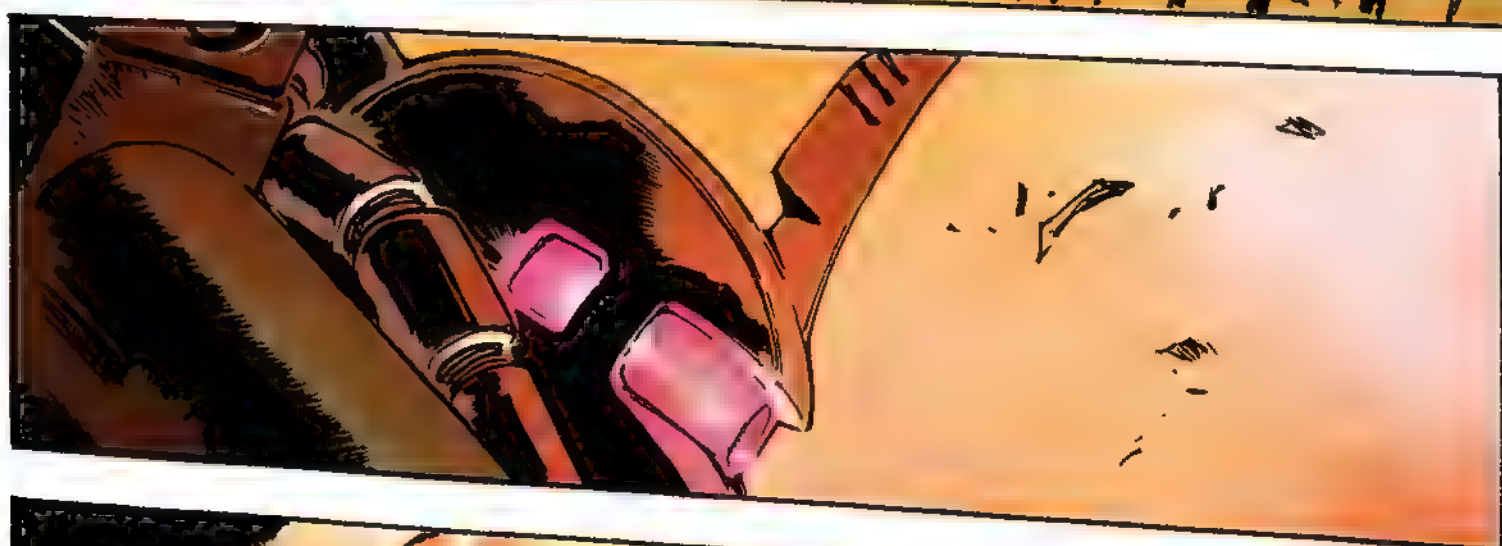
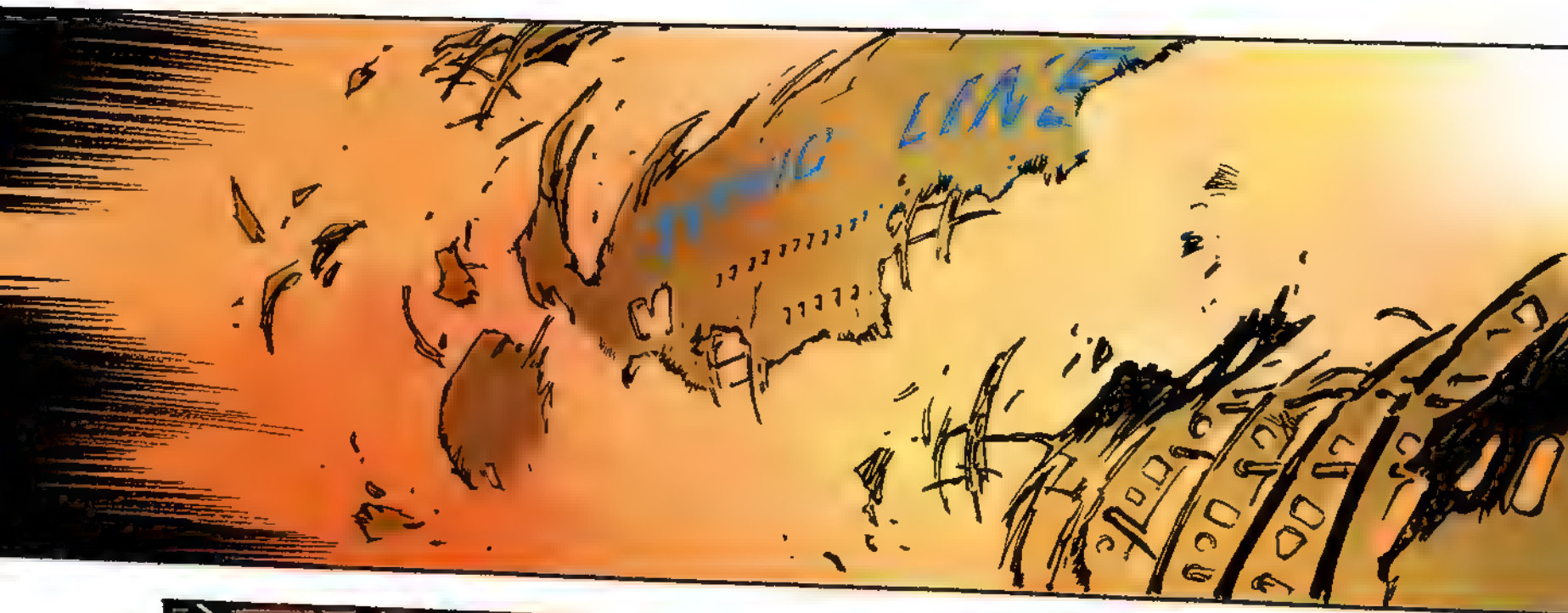


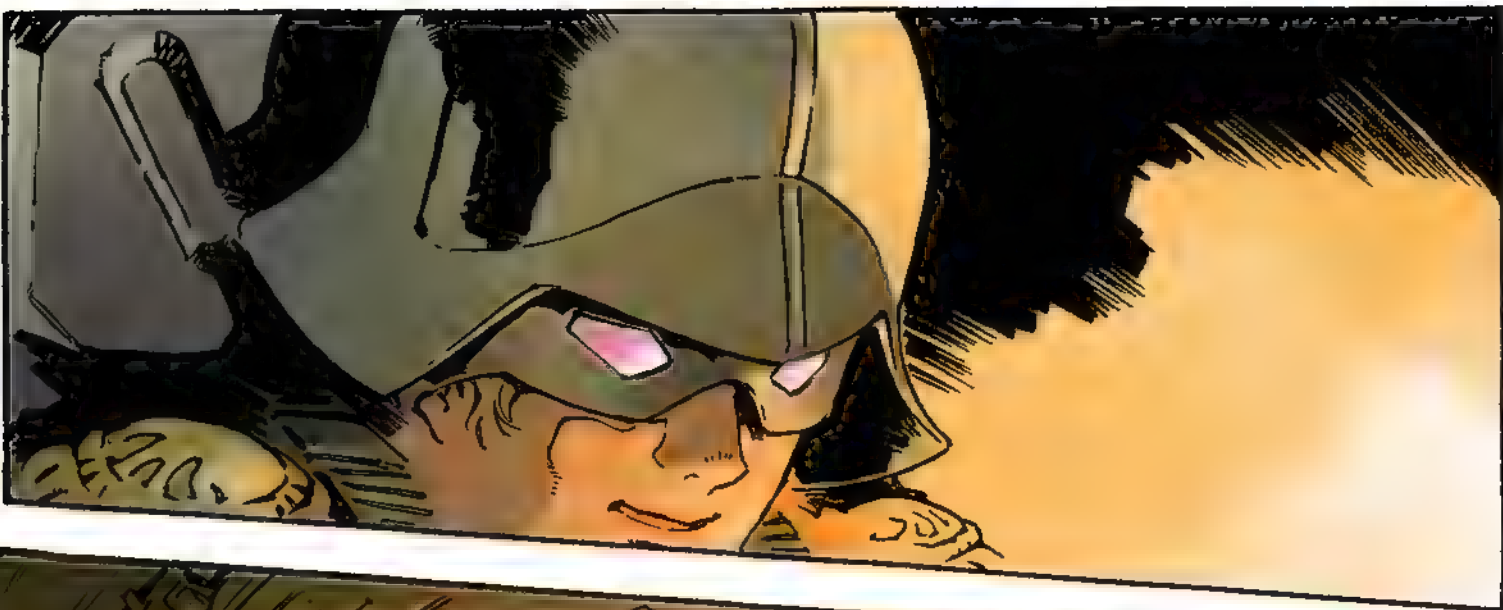




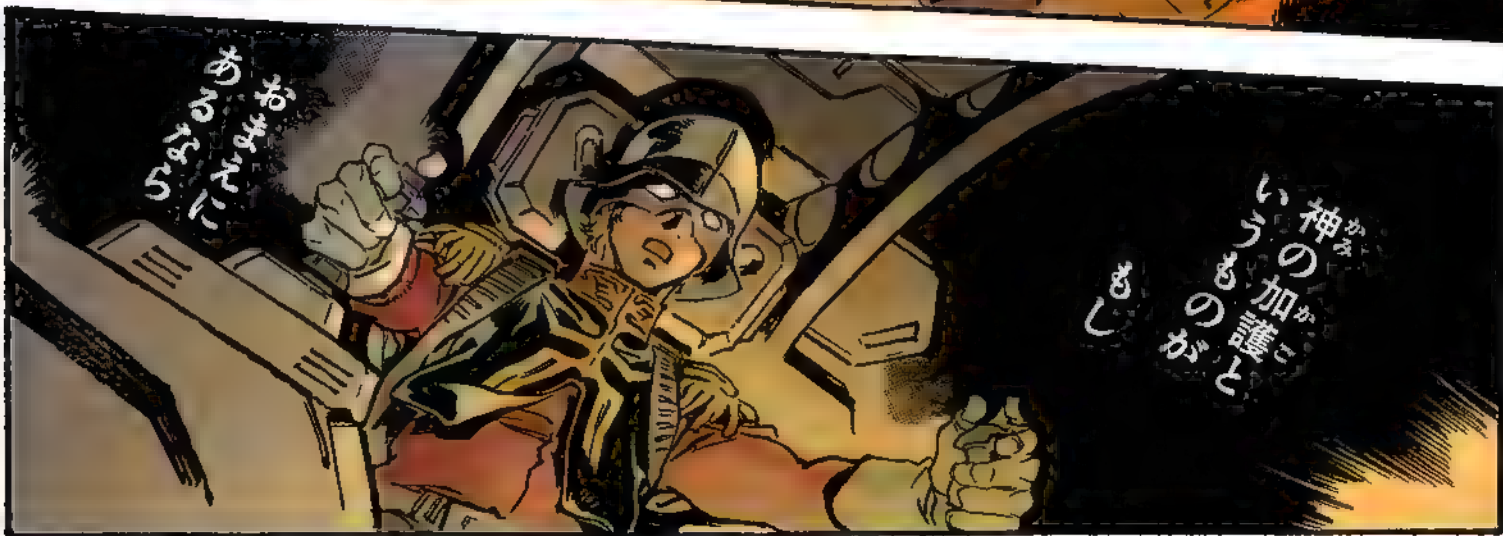






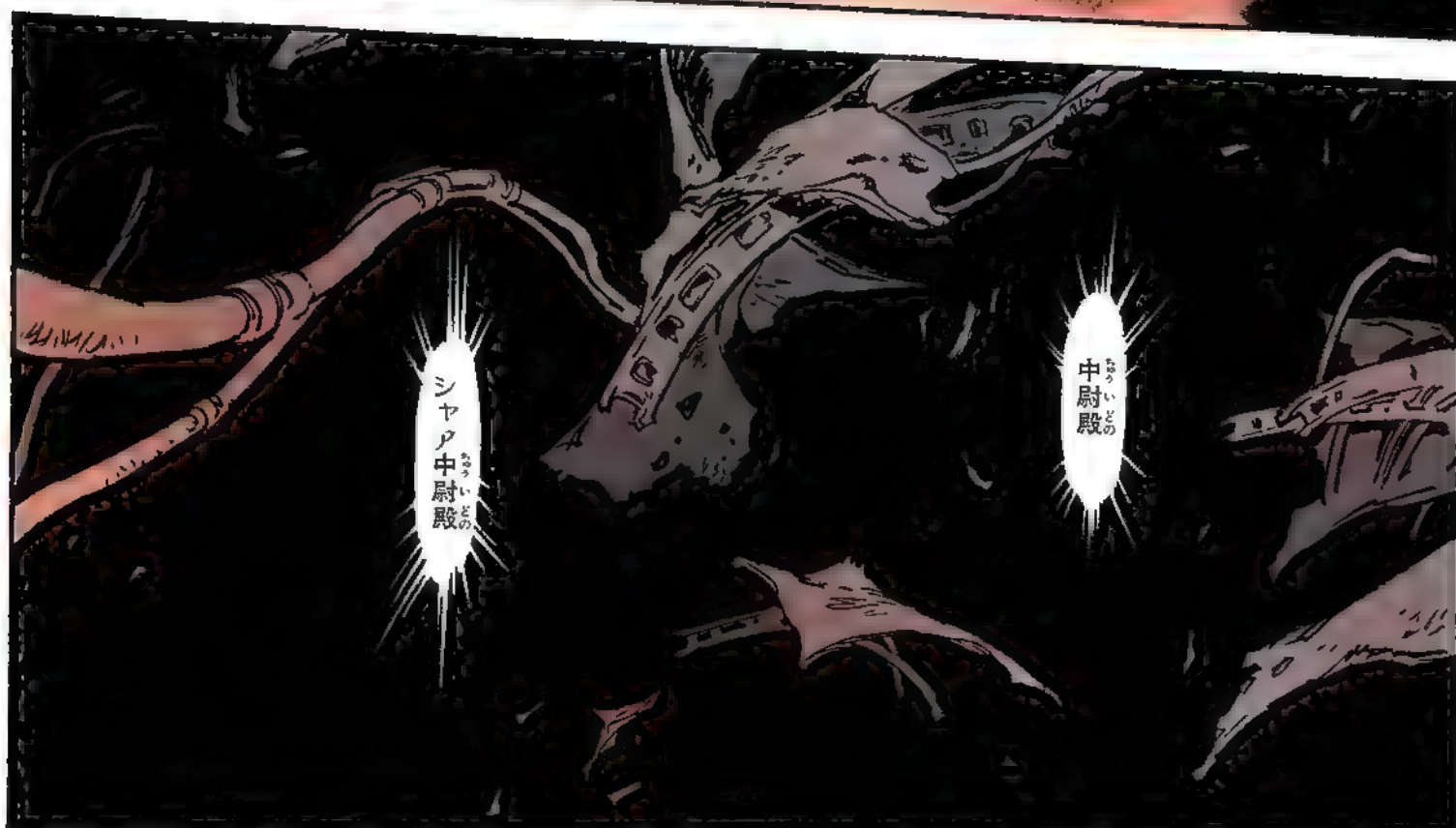
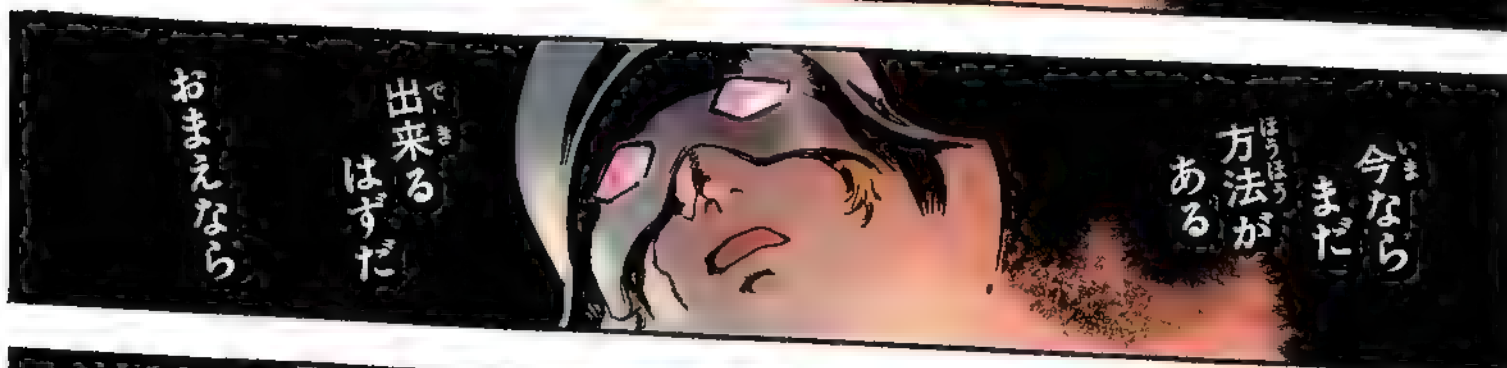
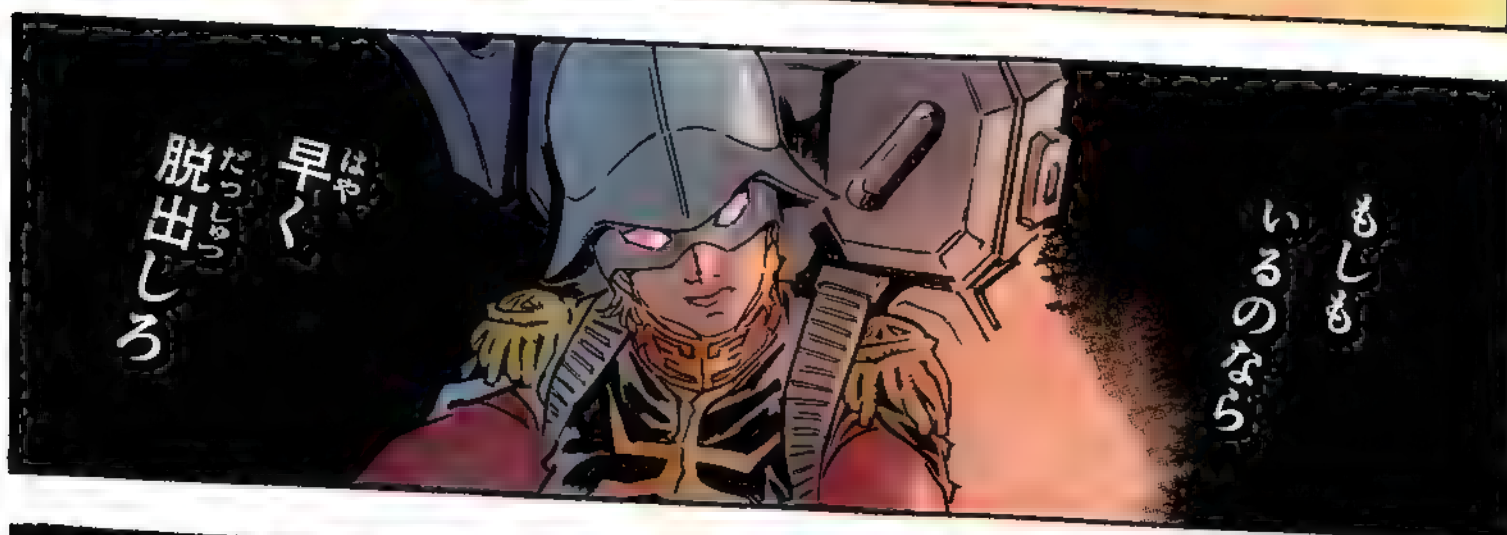
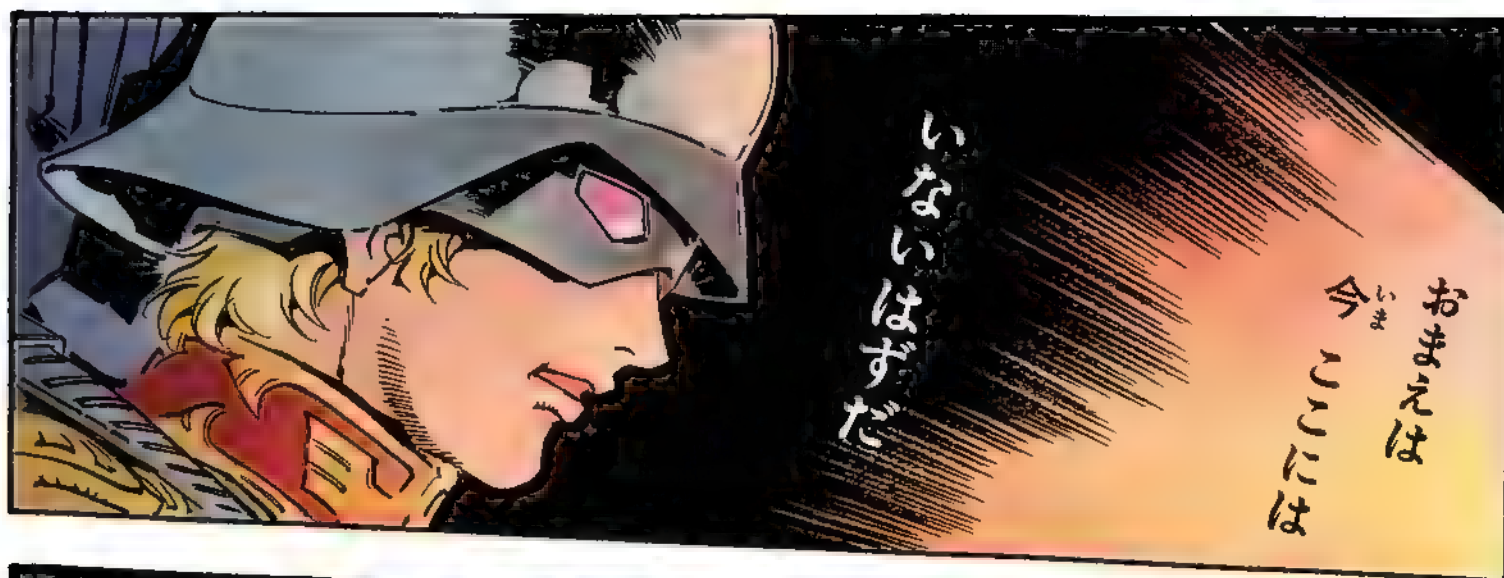


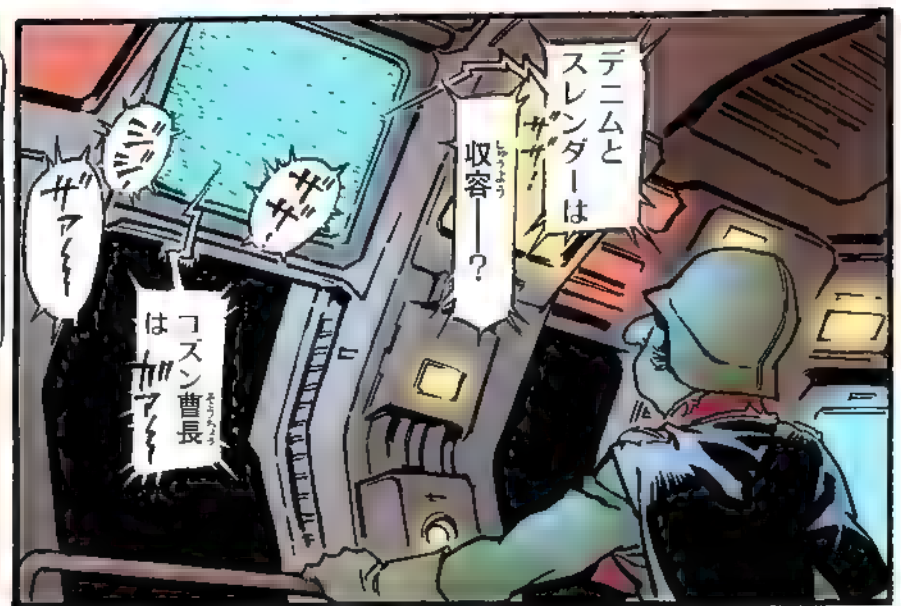
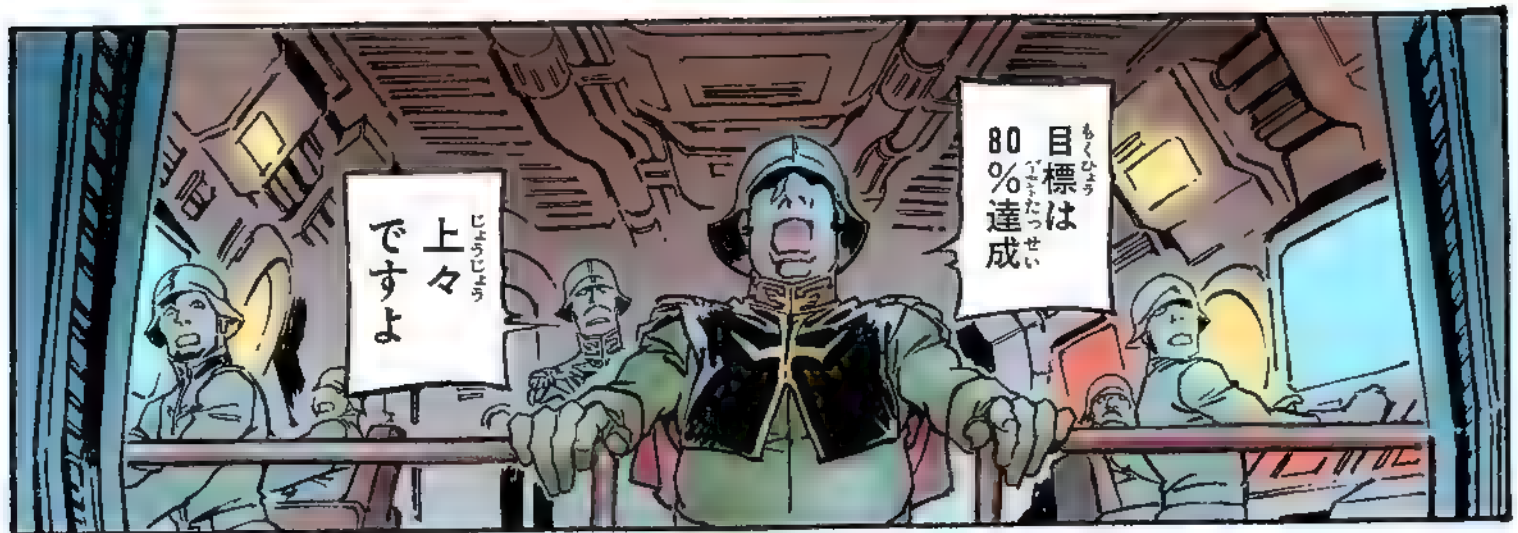
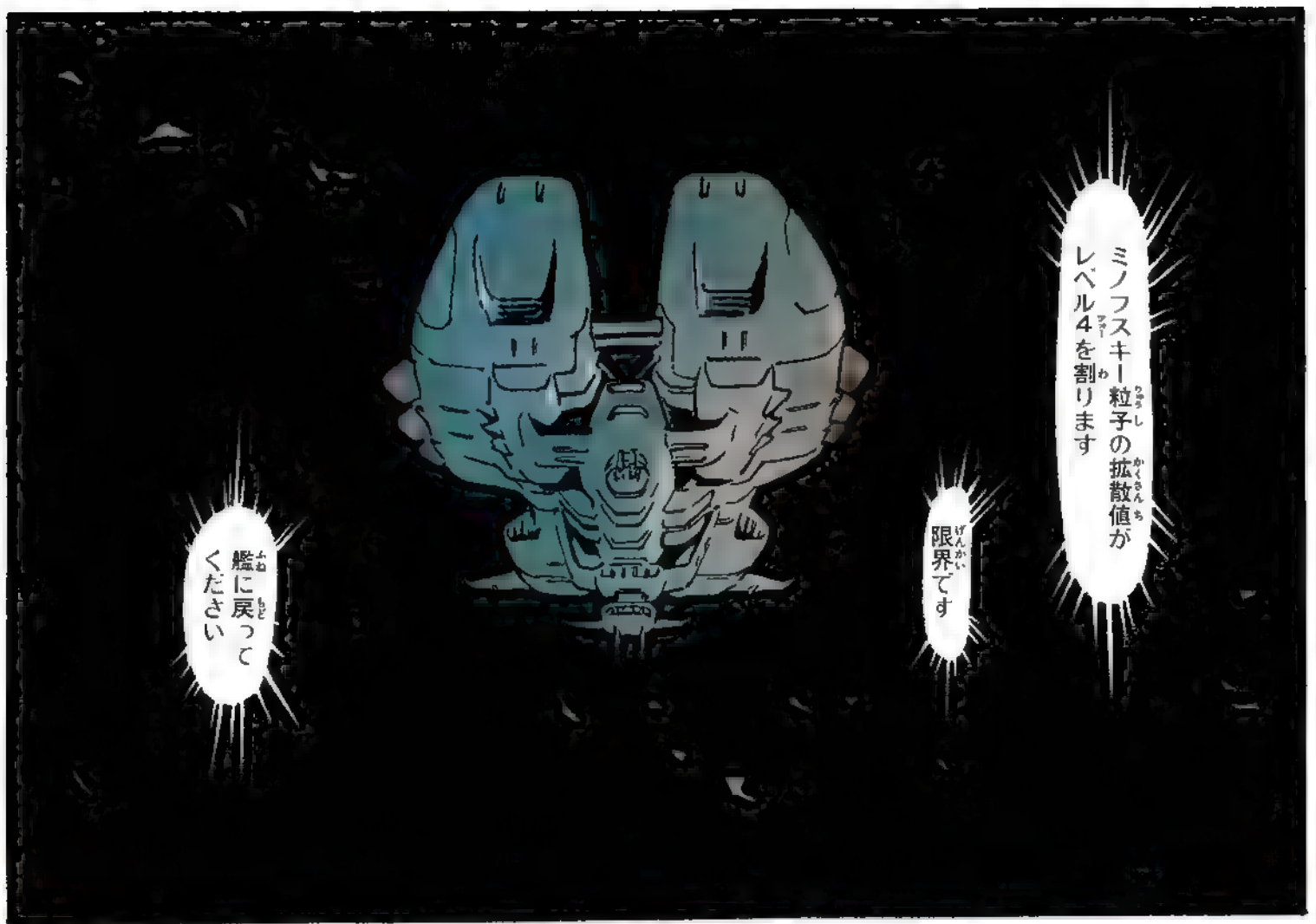
アルテイシア……

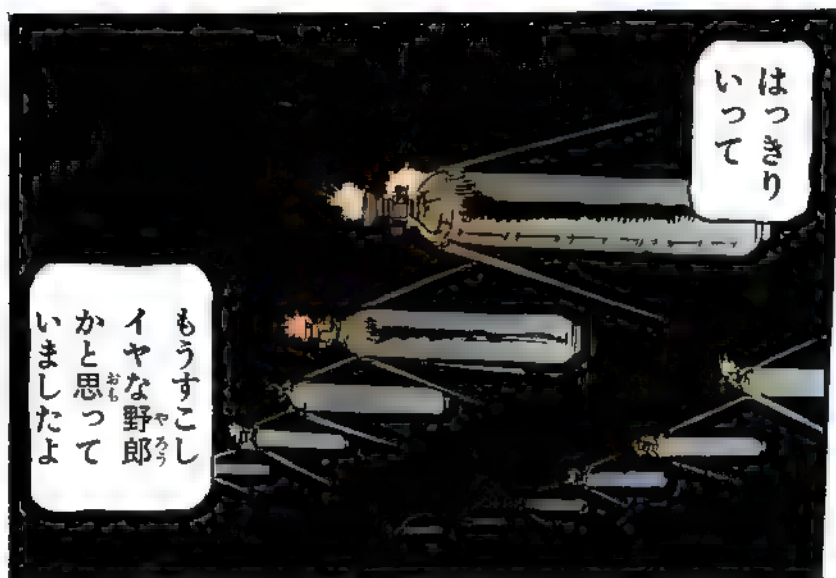
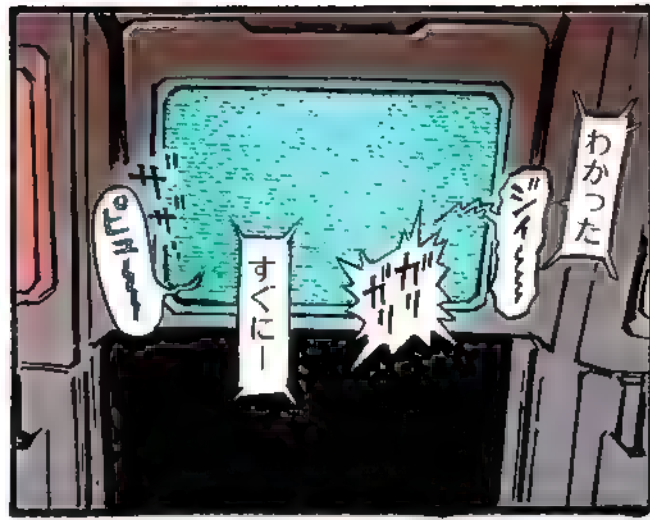
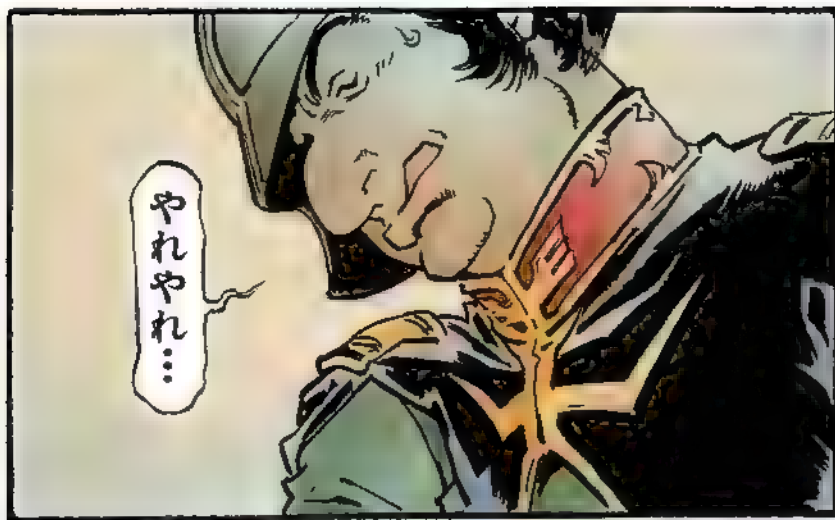


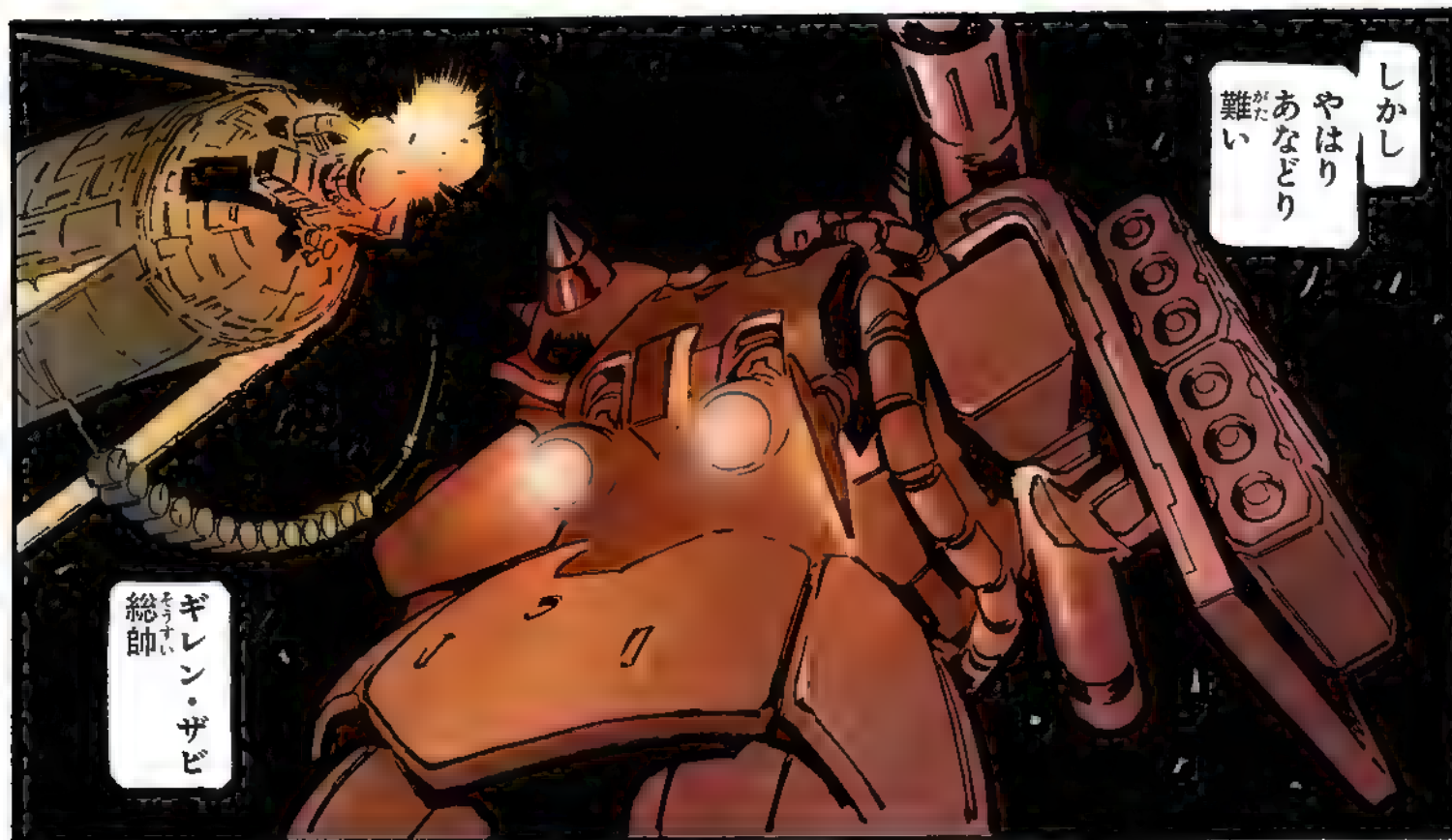
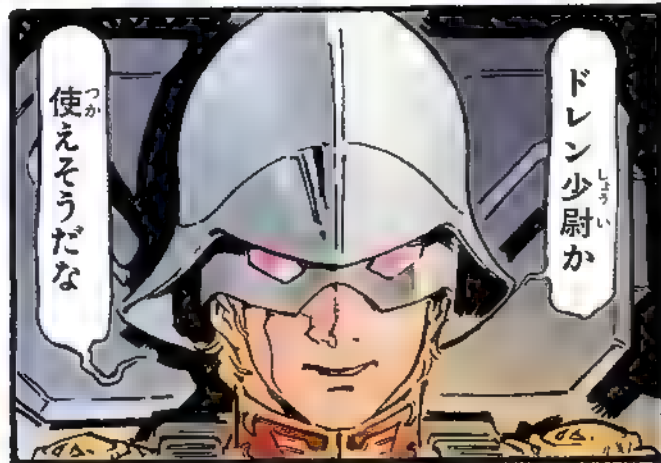
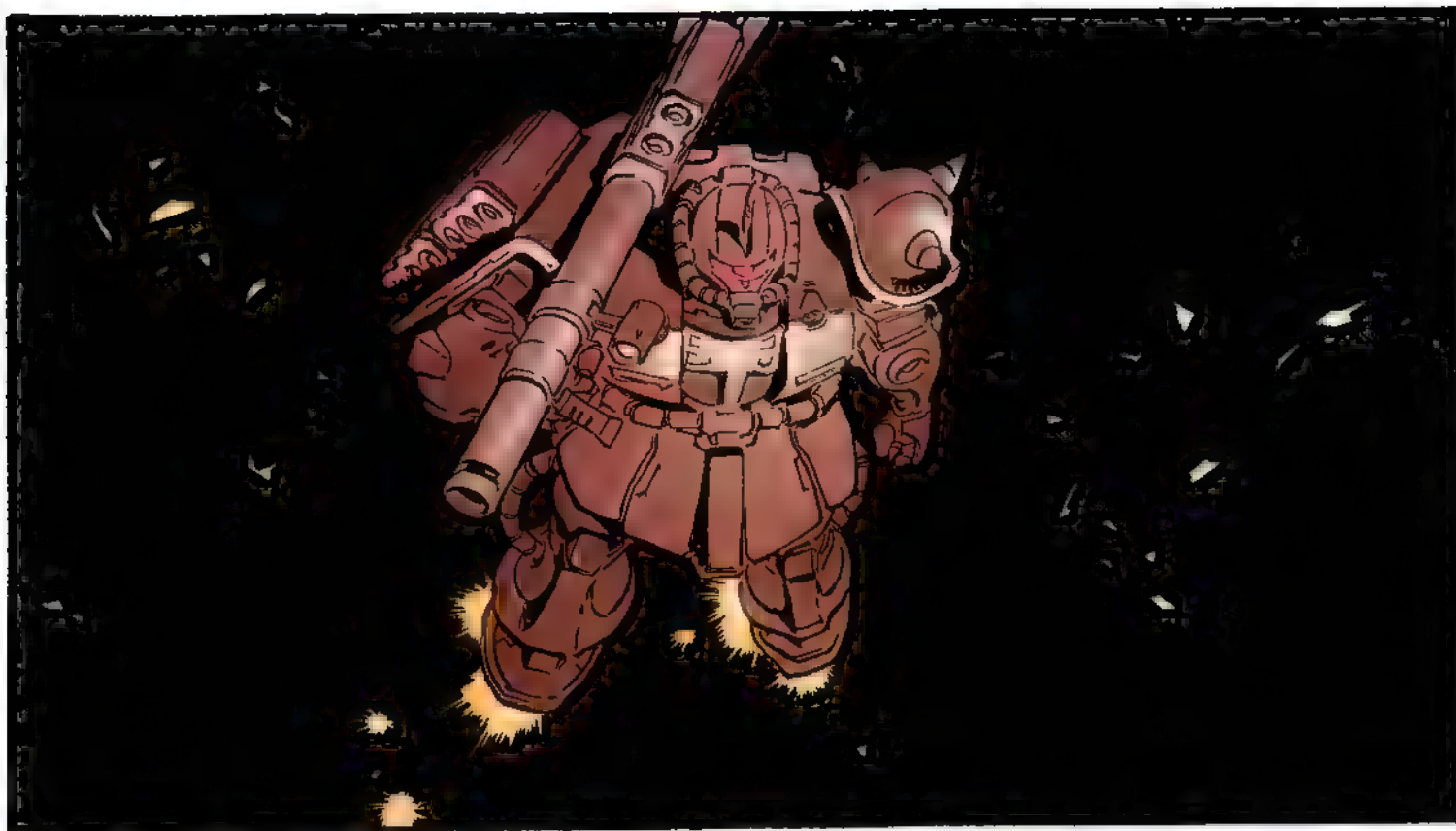
神の加護と
いうものが
も

おれは
アルテイシア











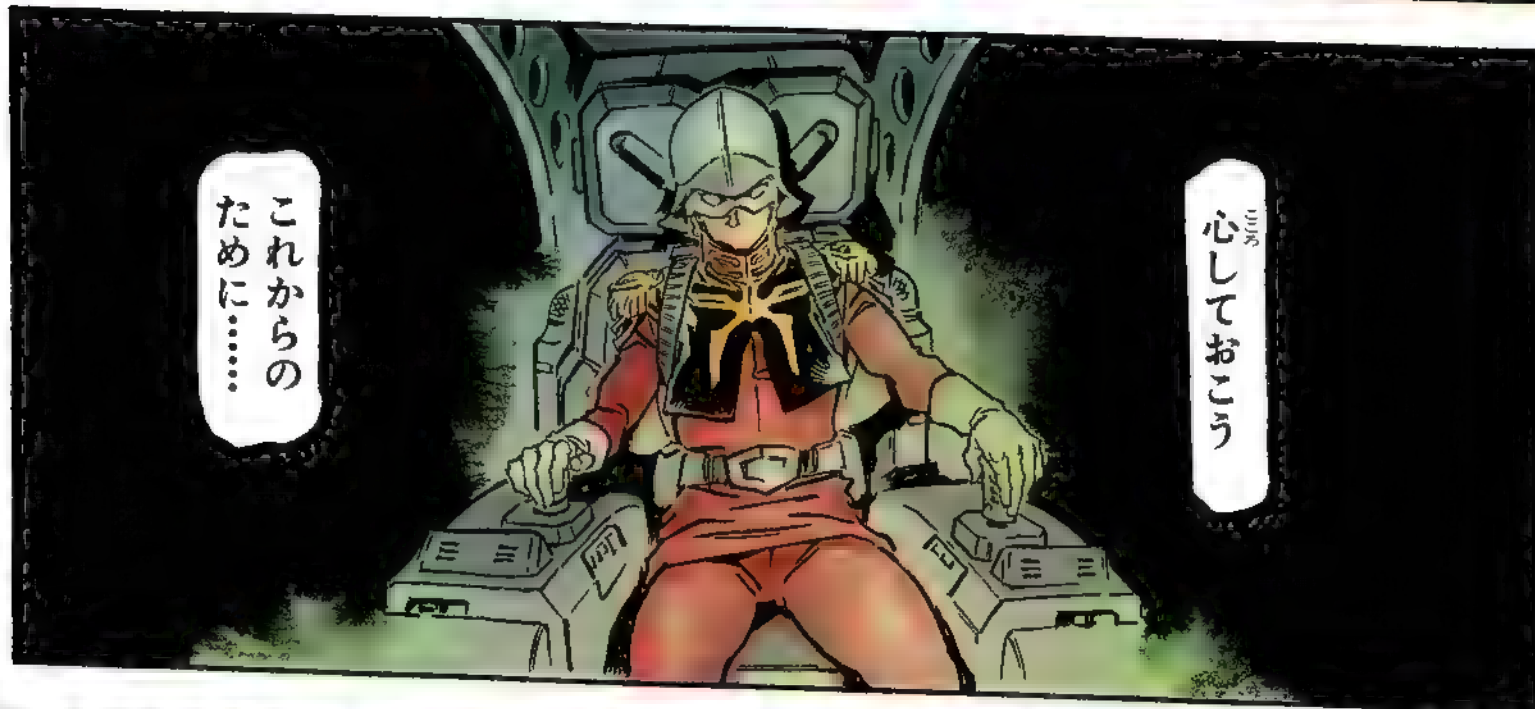
『総力をあげて先ず
ティアンムの艦隊に当る』

などと...



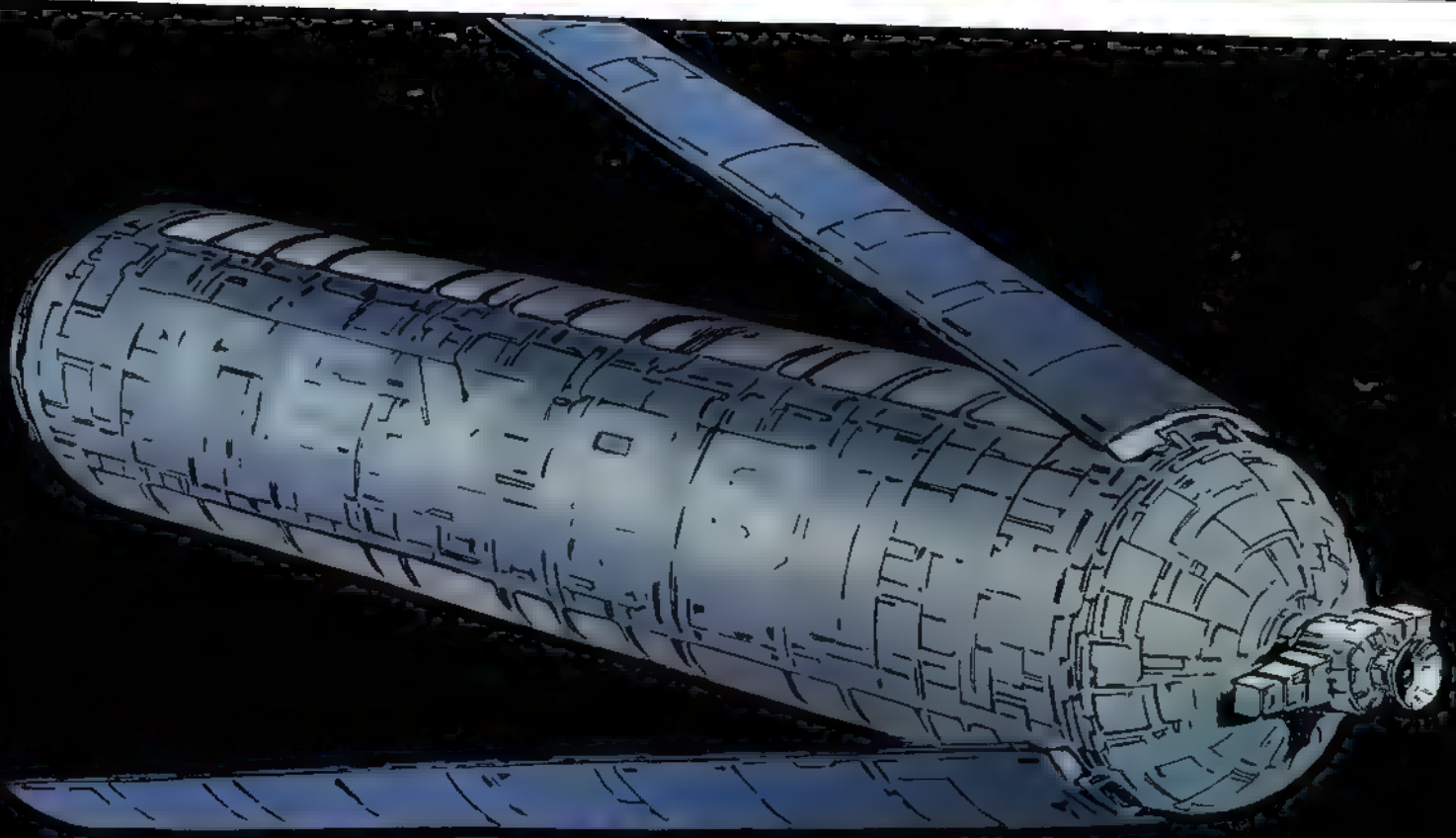
御前会議の
内容をリーク
させてまで

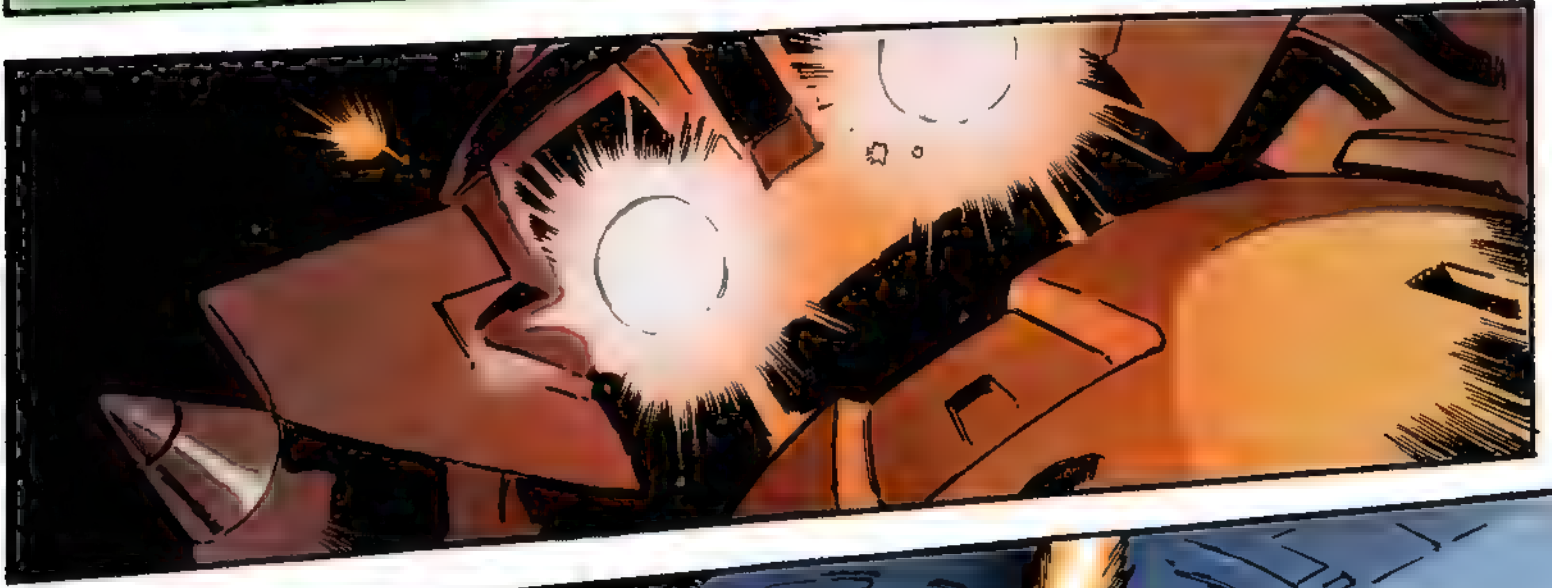
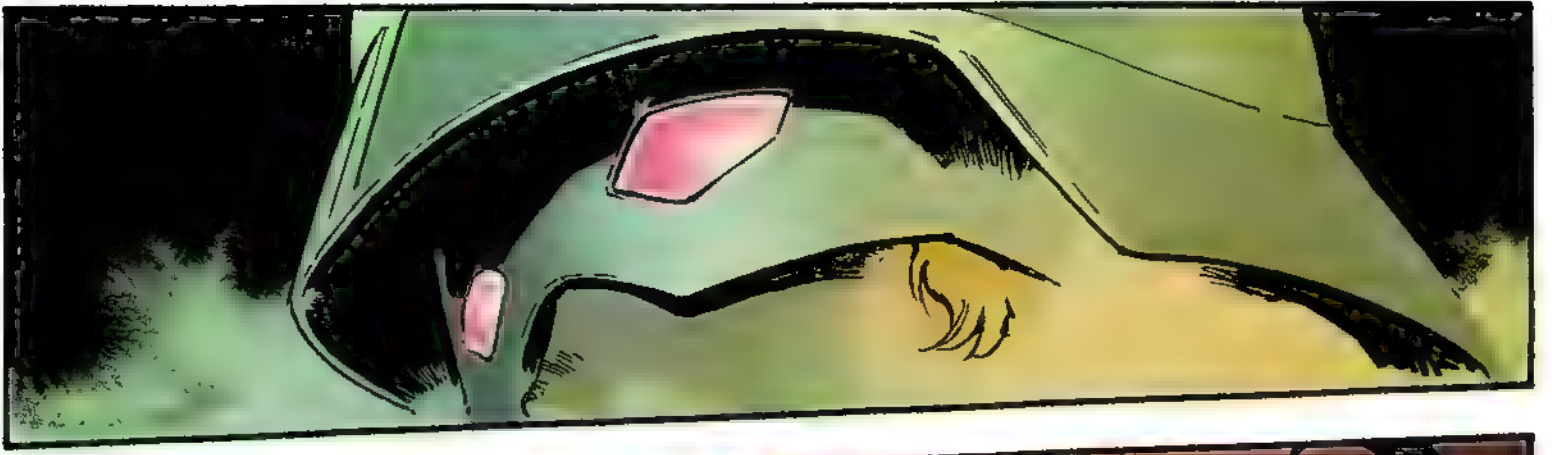
敵を欺くか

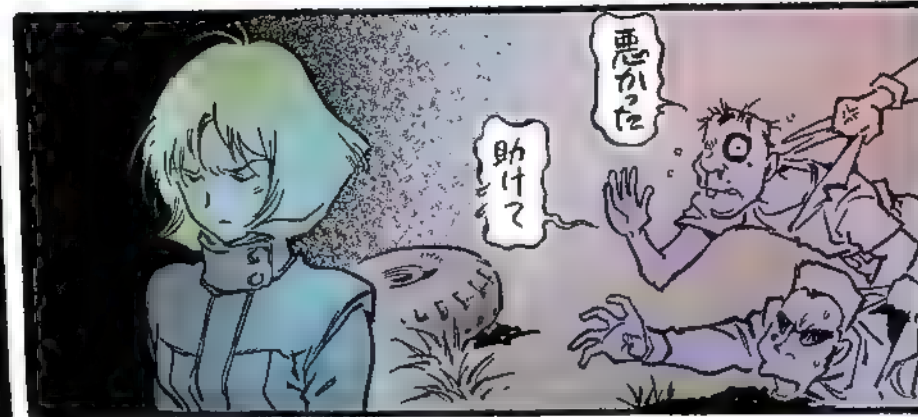
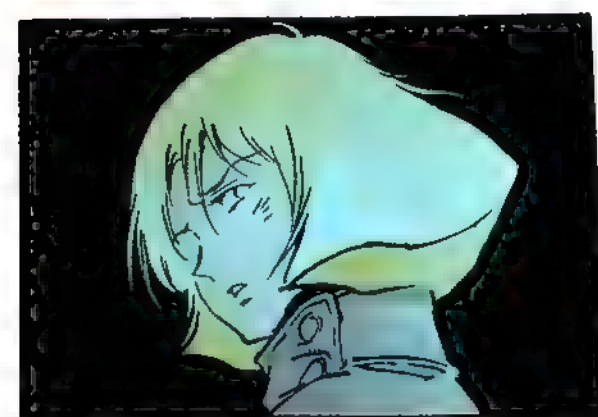
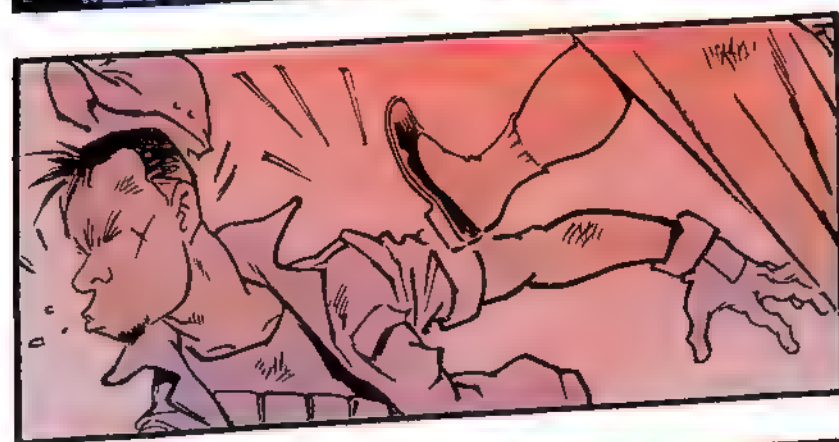


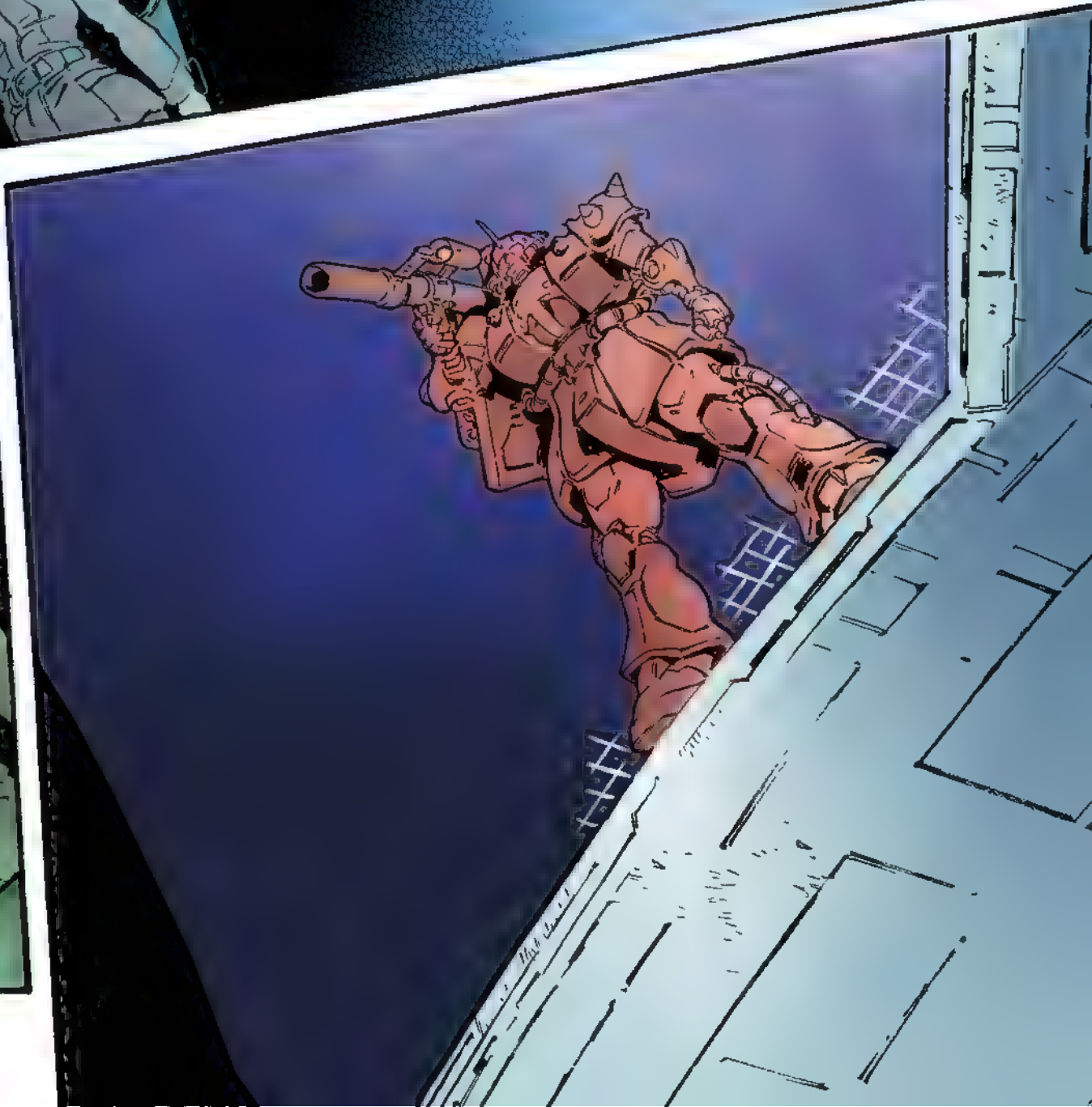
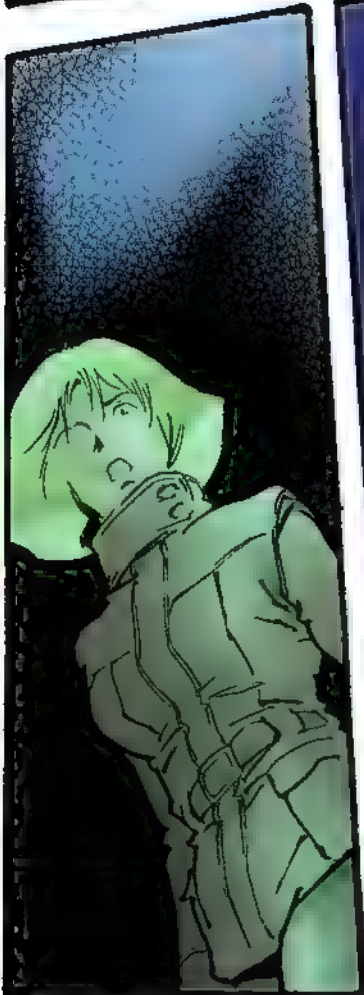
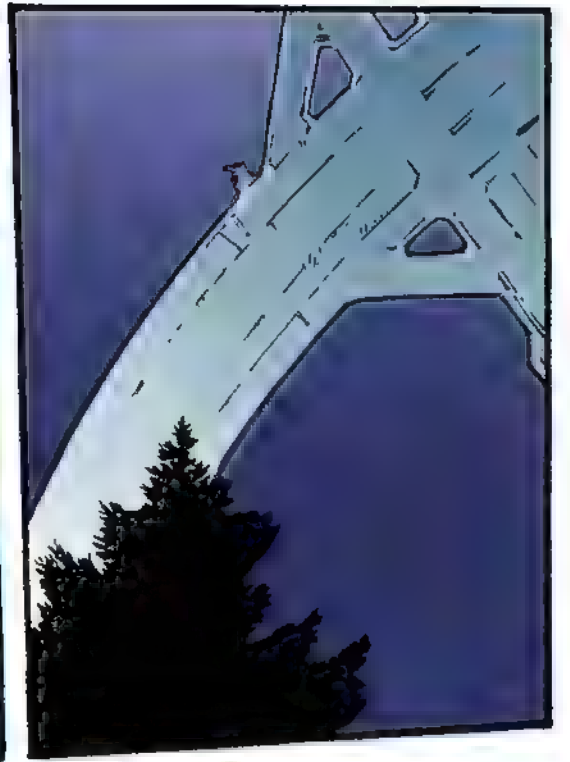
心しておこう

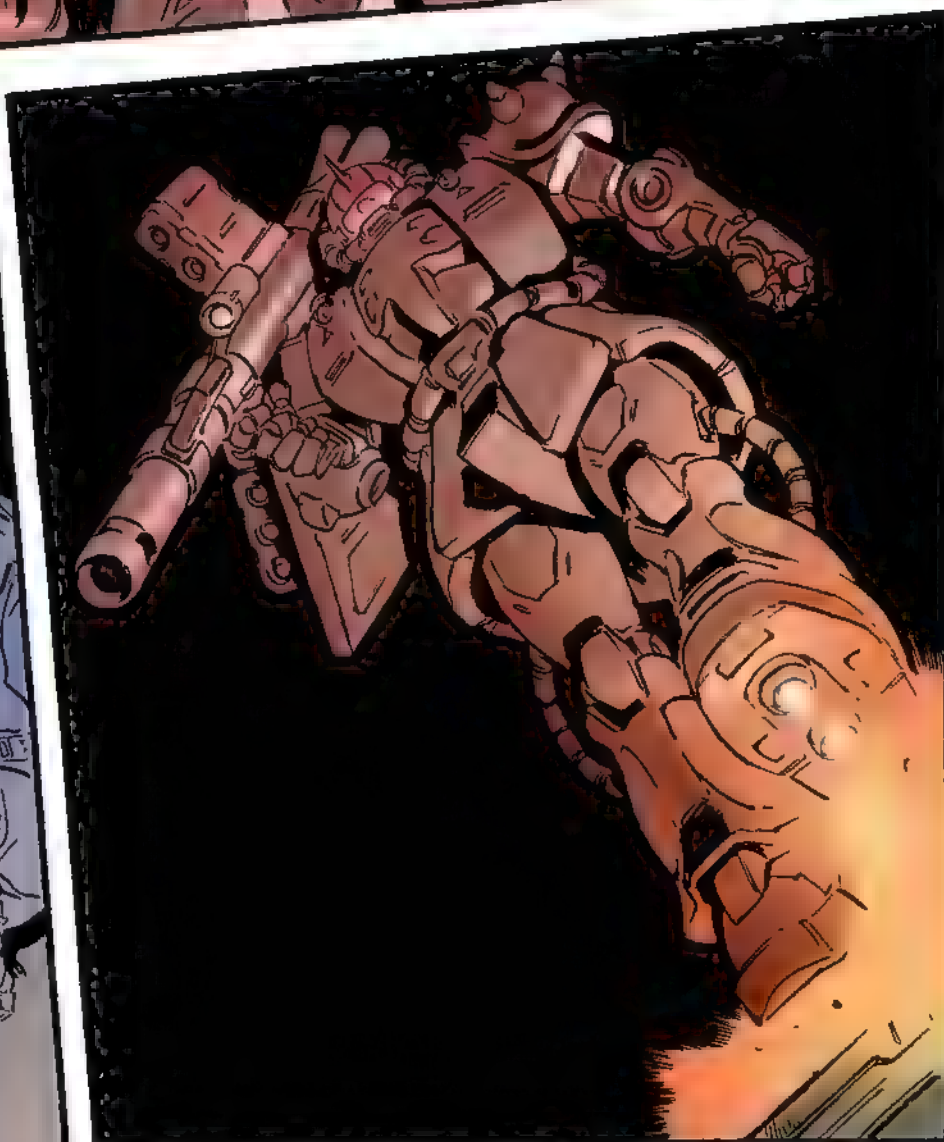
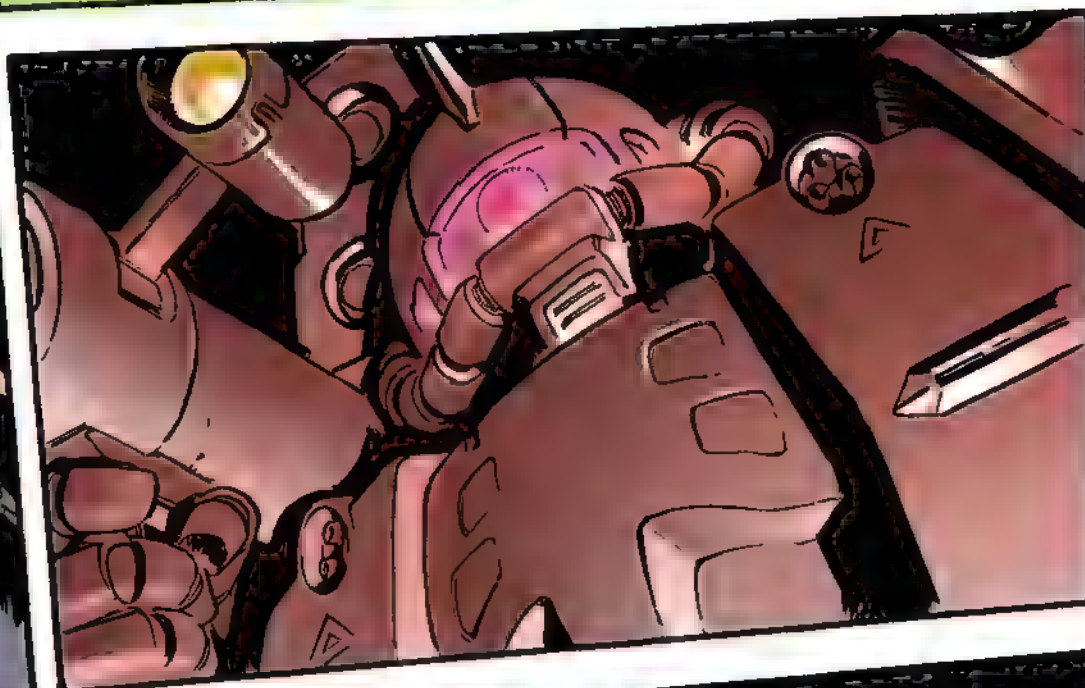
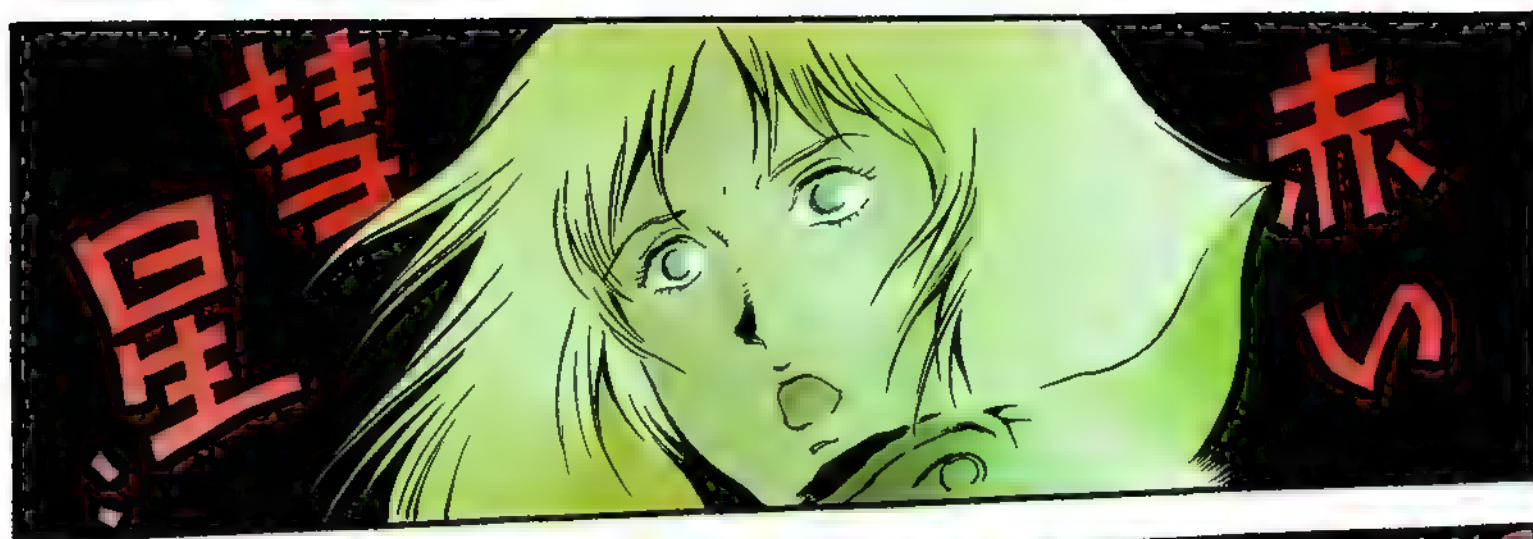
これからの
ために...

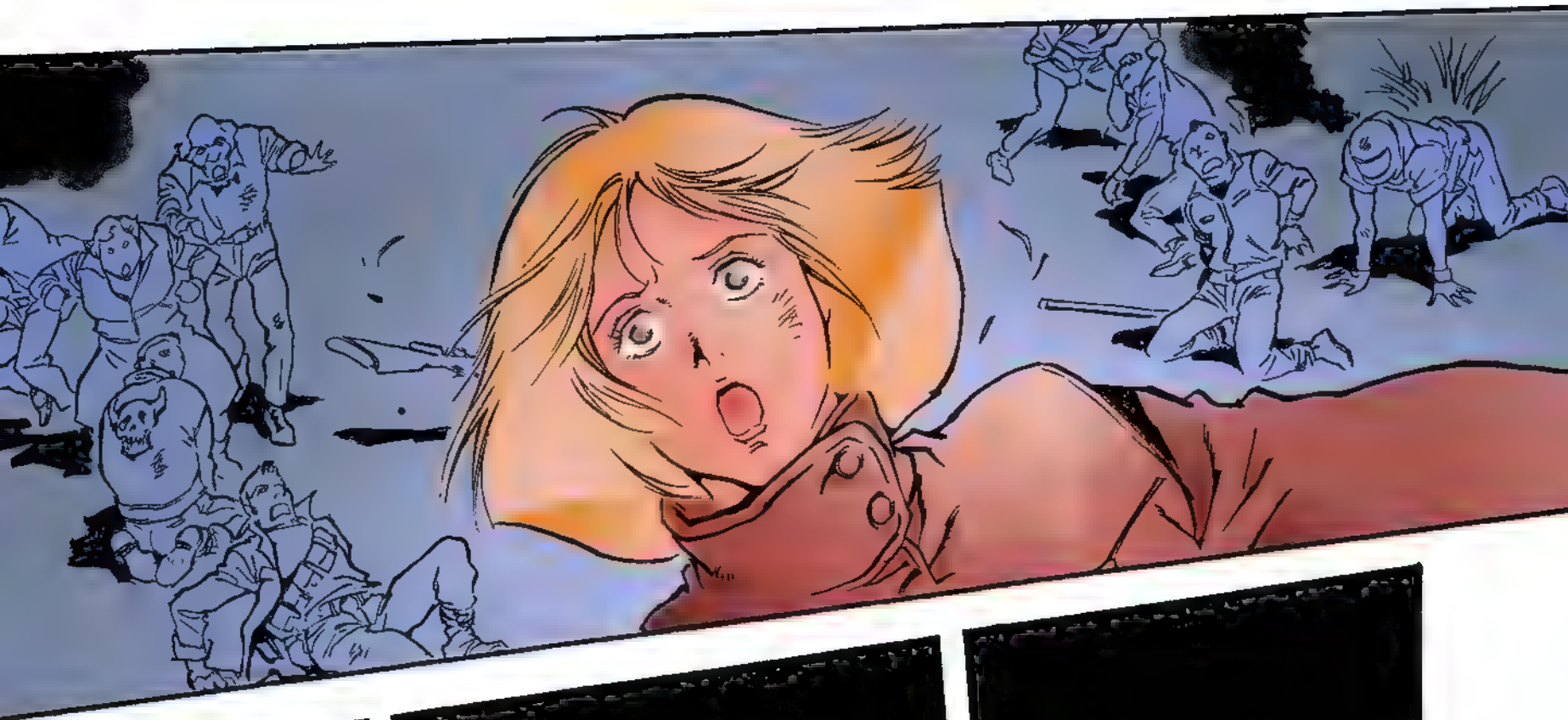


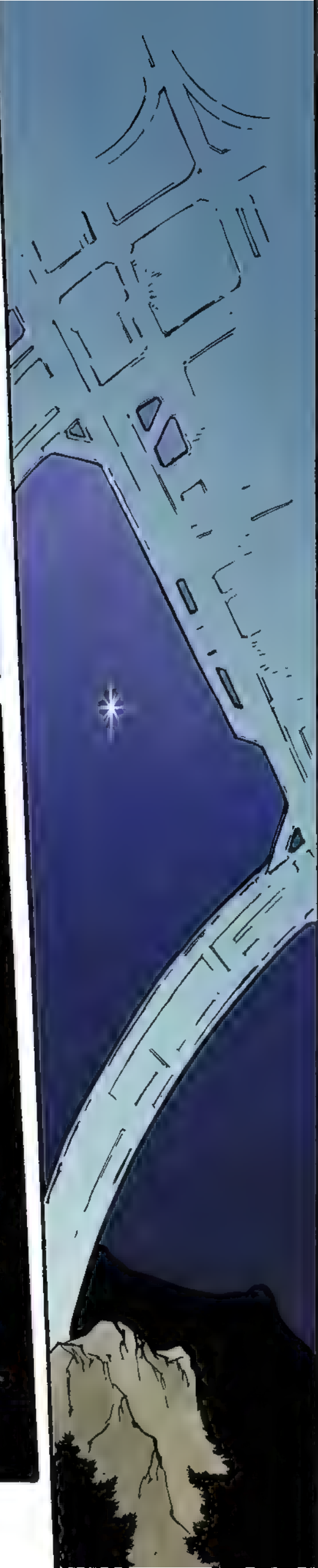
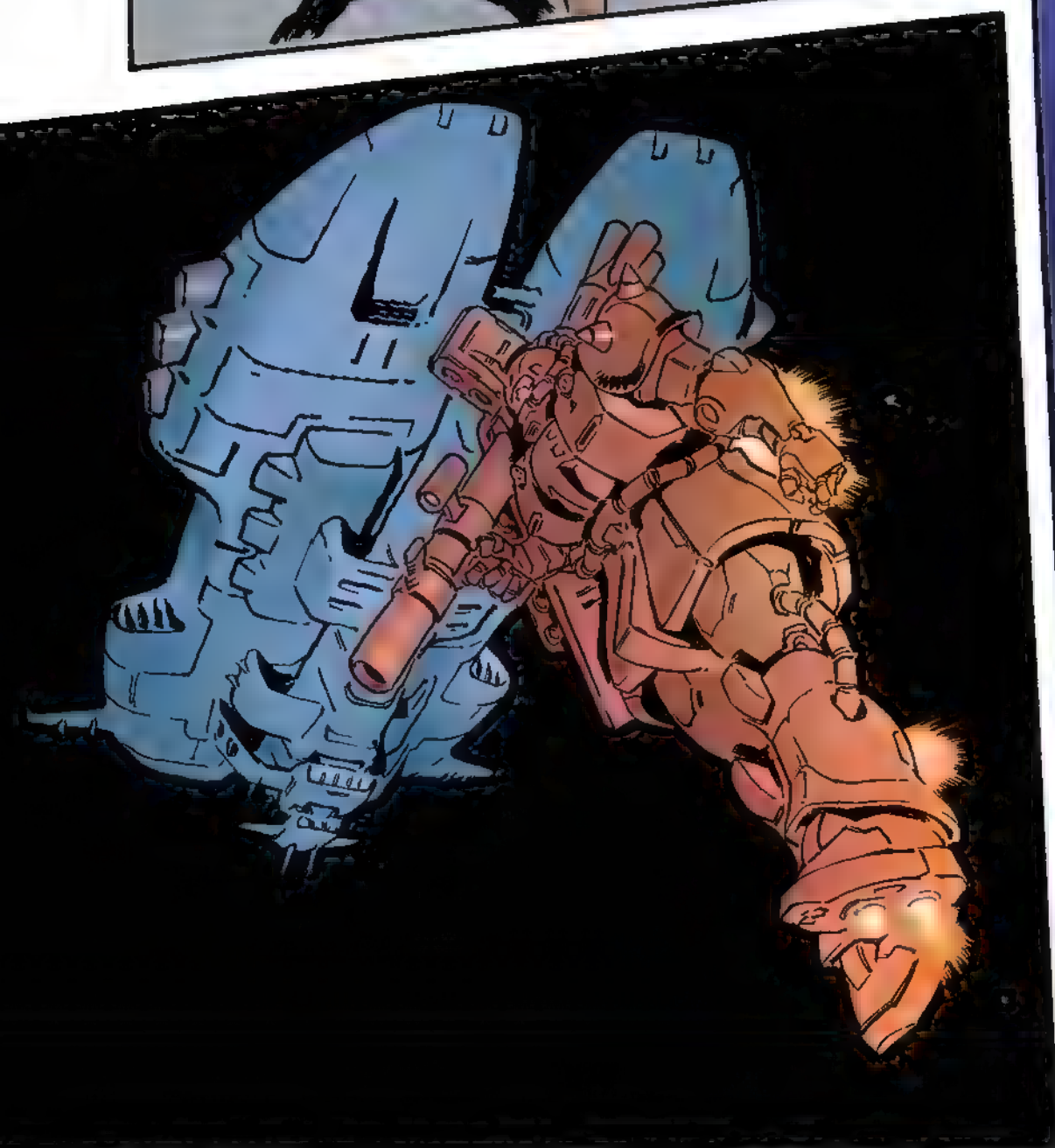
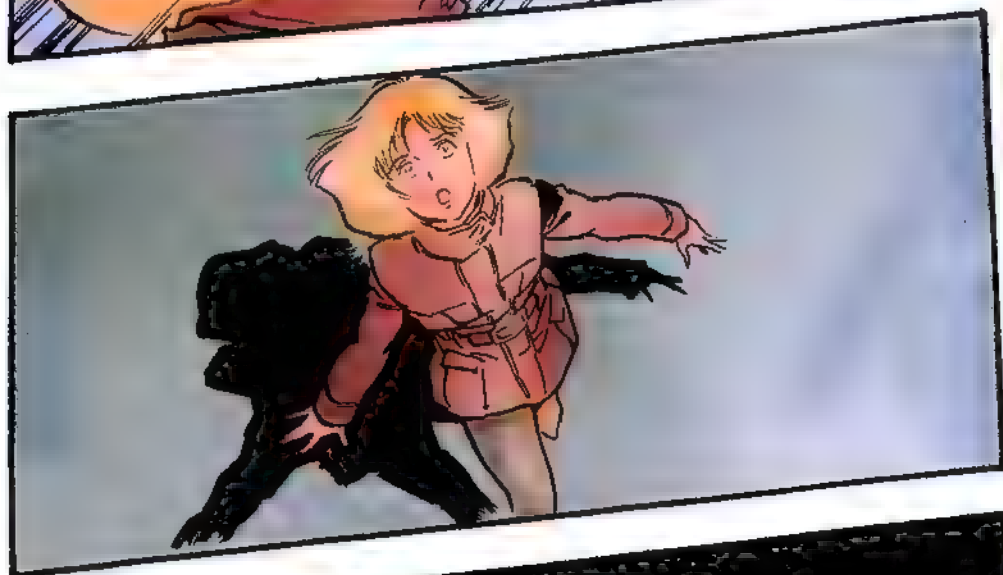
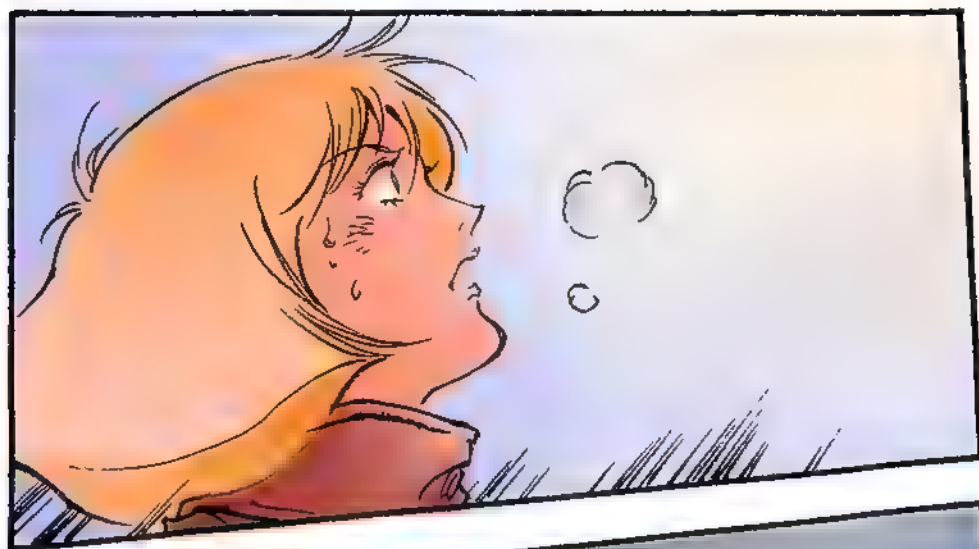


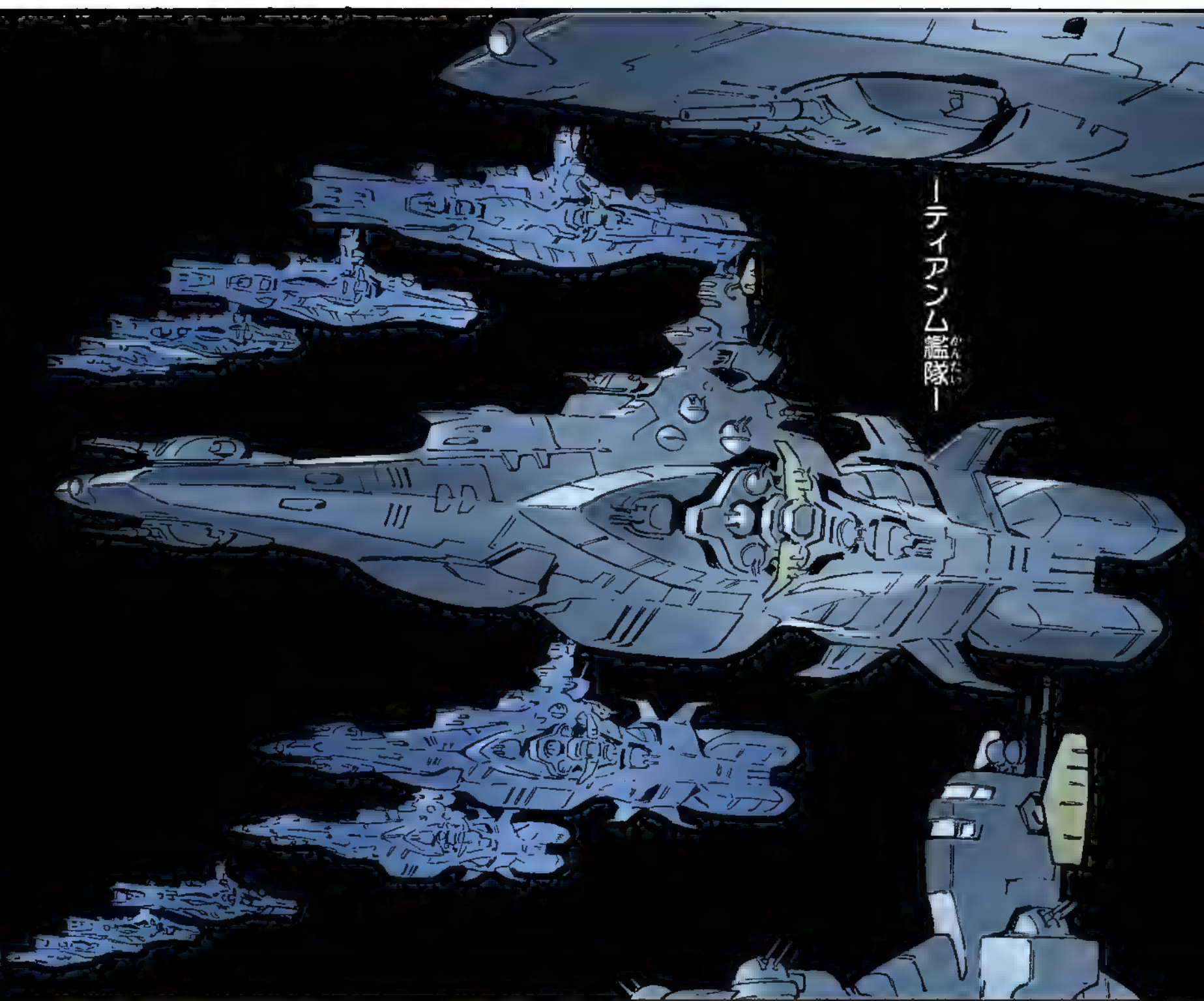










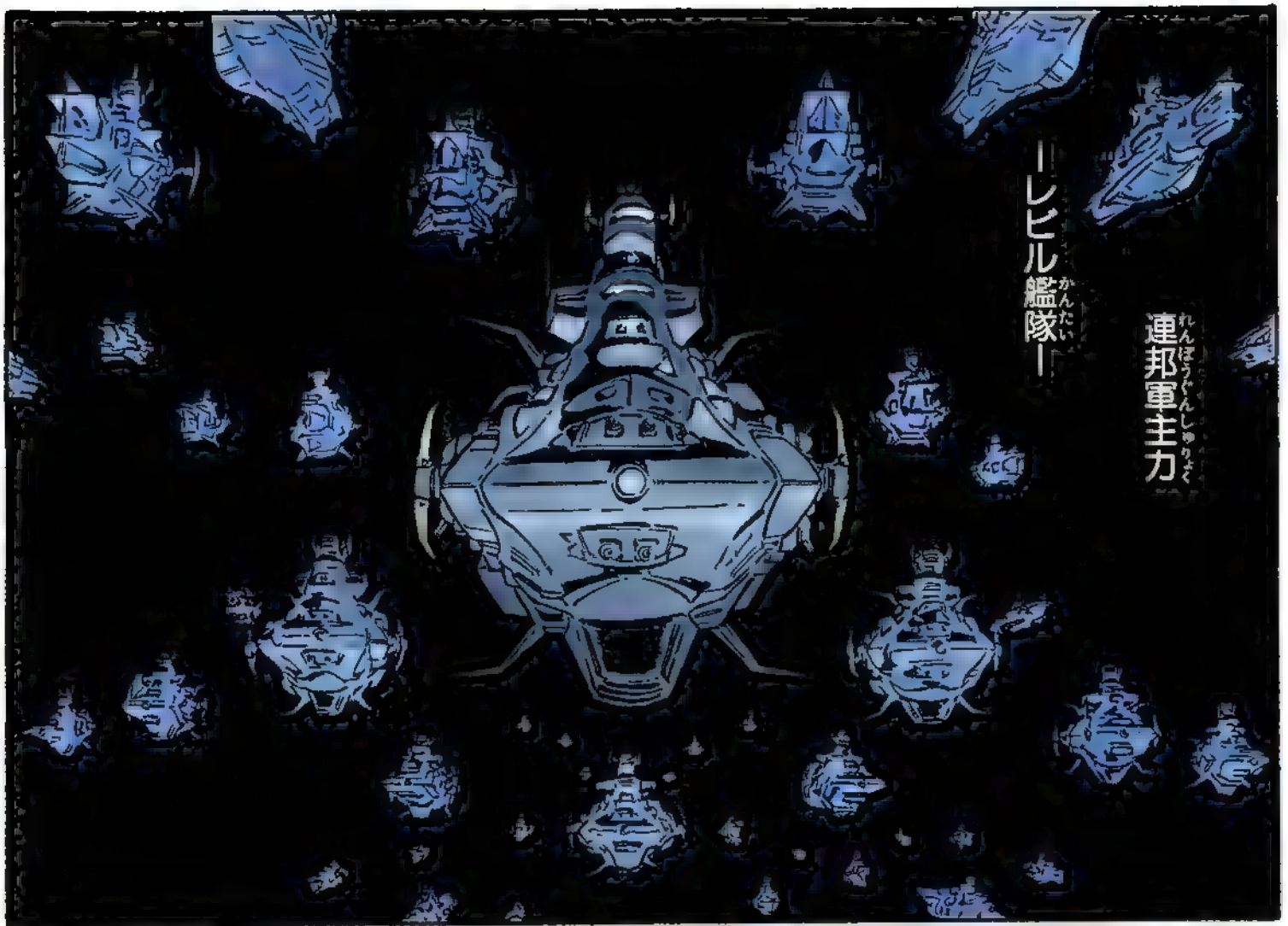


—ティアンム艦隊—
かんたう



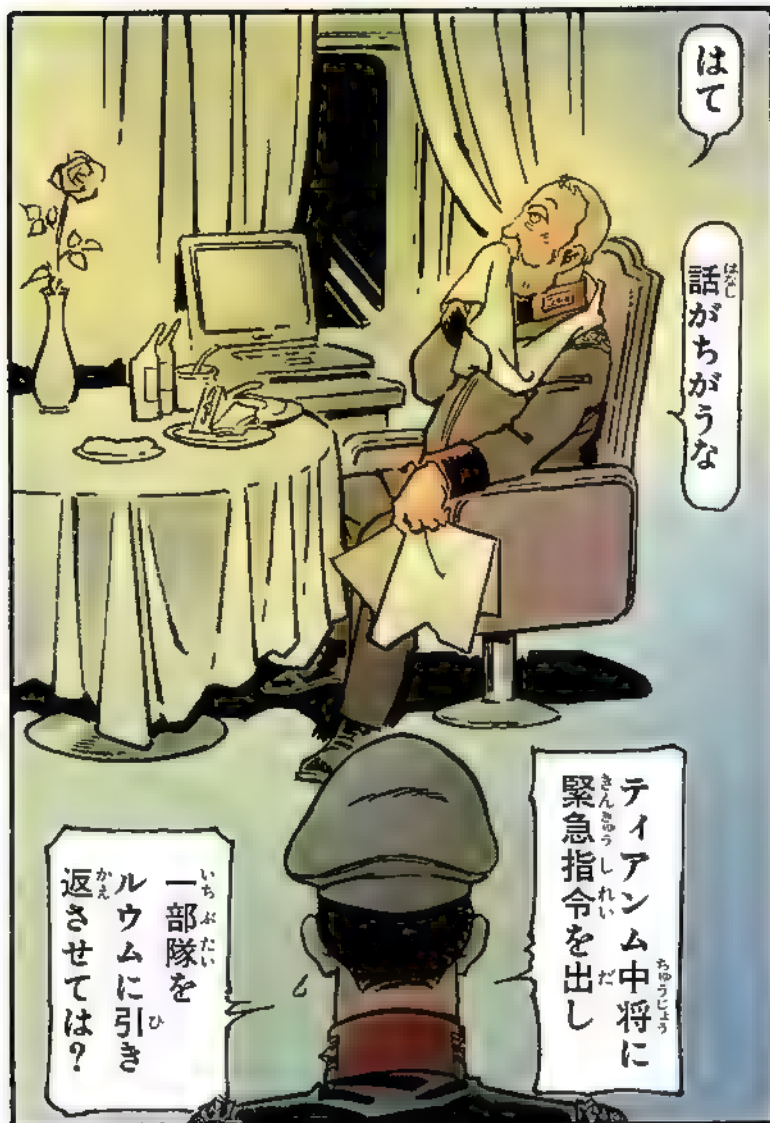
ルウムが

攻撃
された?!!



レibel艦隊

連邦軍主力

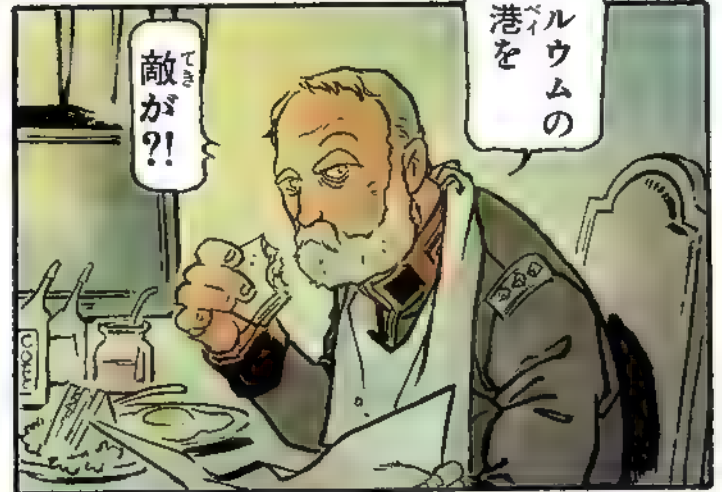


はて

話がちがうな

ティアンム中將に
緊急指令を出し

一部隊を
ルウムに引き
返させては?



ルウムの
港を

敵が?!



攻撃は一過性の
ものかとも思われ
ますが被害は
甚大なようです

ルウム政府は
救援を要請して
来ていますが

いかがいたし
ますか?!

そうも
いくまい

彼の正面には
ジオンのほぼ
全軍がいる

一艦たりとも
さきたくは
ないだろう

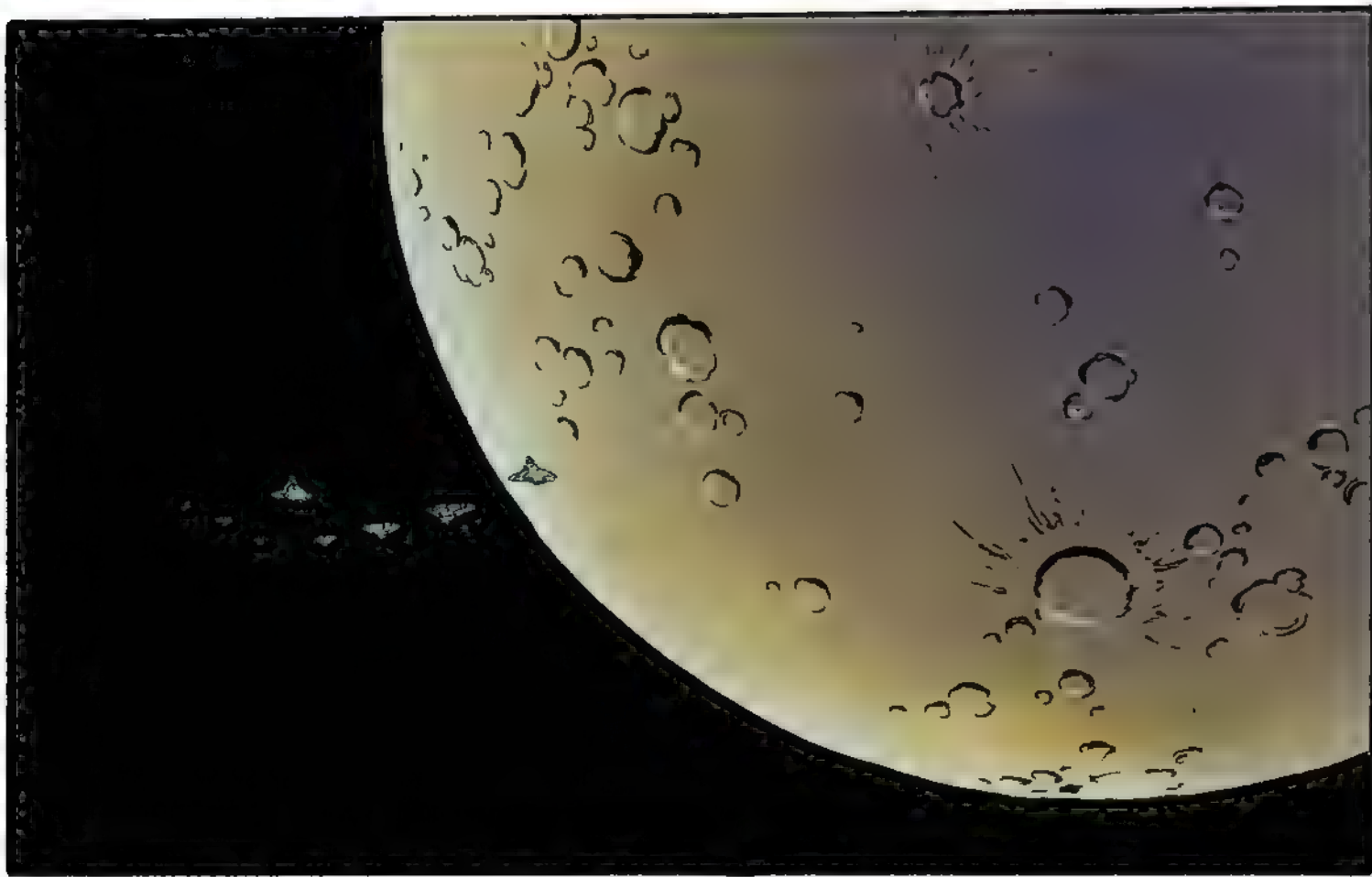
さりとして
無視は
できん

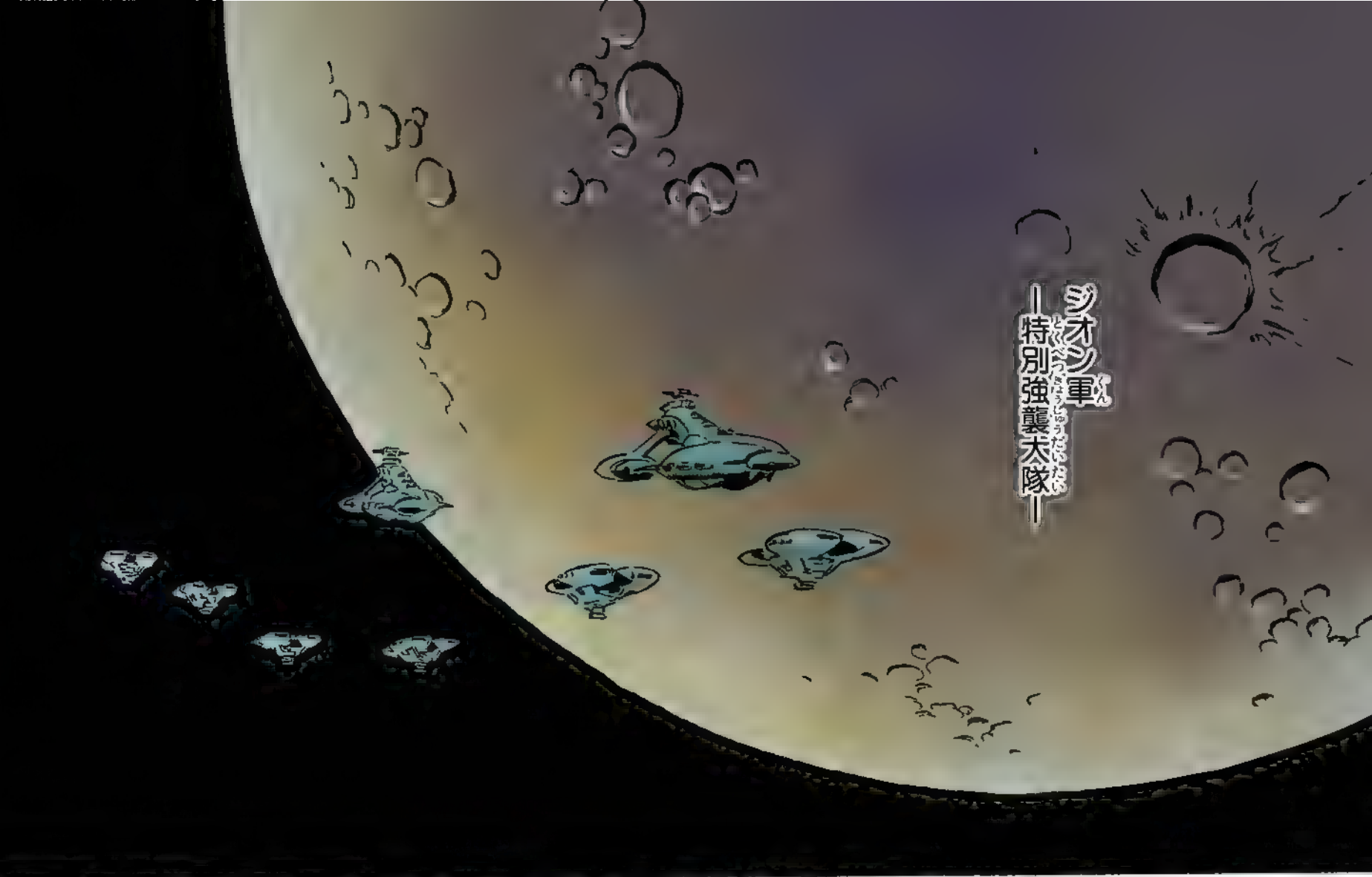
ペイを潰されては
ルウムは丸腰も
同然だからな...

カニングムと
ワッケインの
部隊を
ルウムに回せ

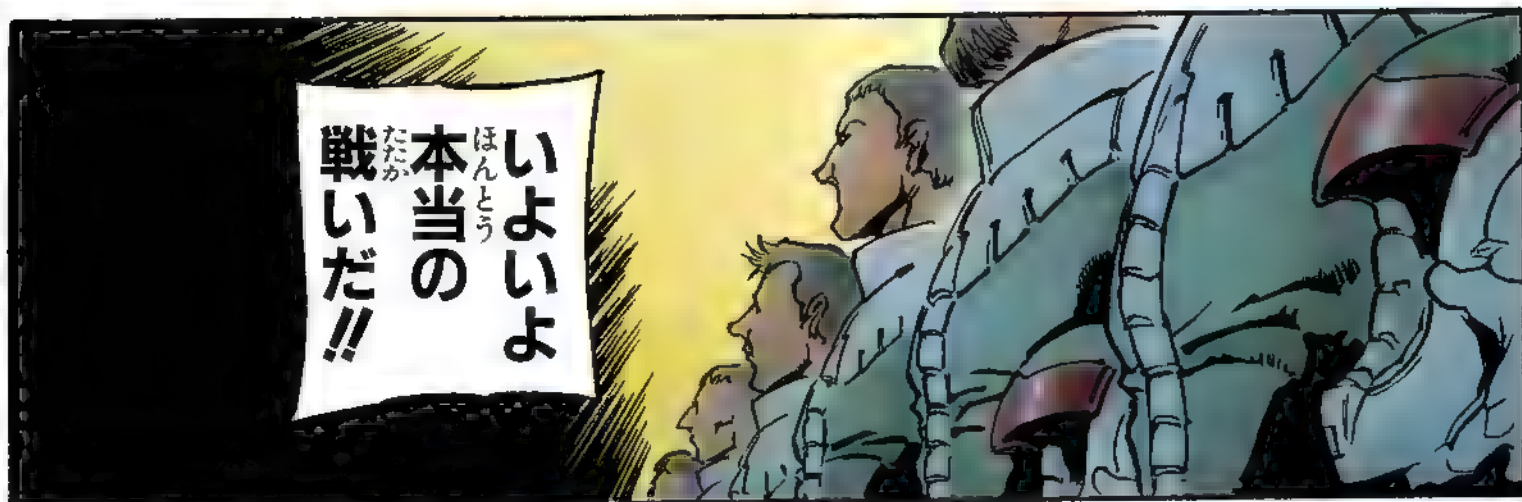
あと
市民の救難の
ために補給艦と
強襲揚陸艦を
相当数

はいっ!!





ジオン軍
— 特別強襲大隊 —

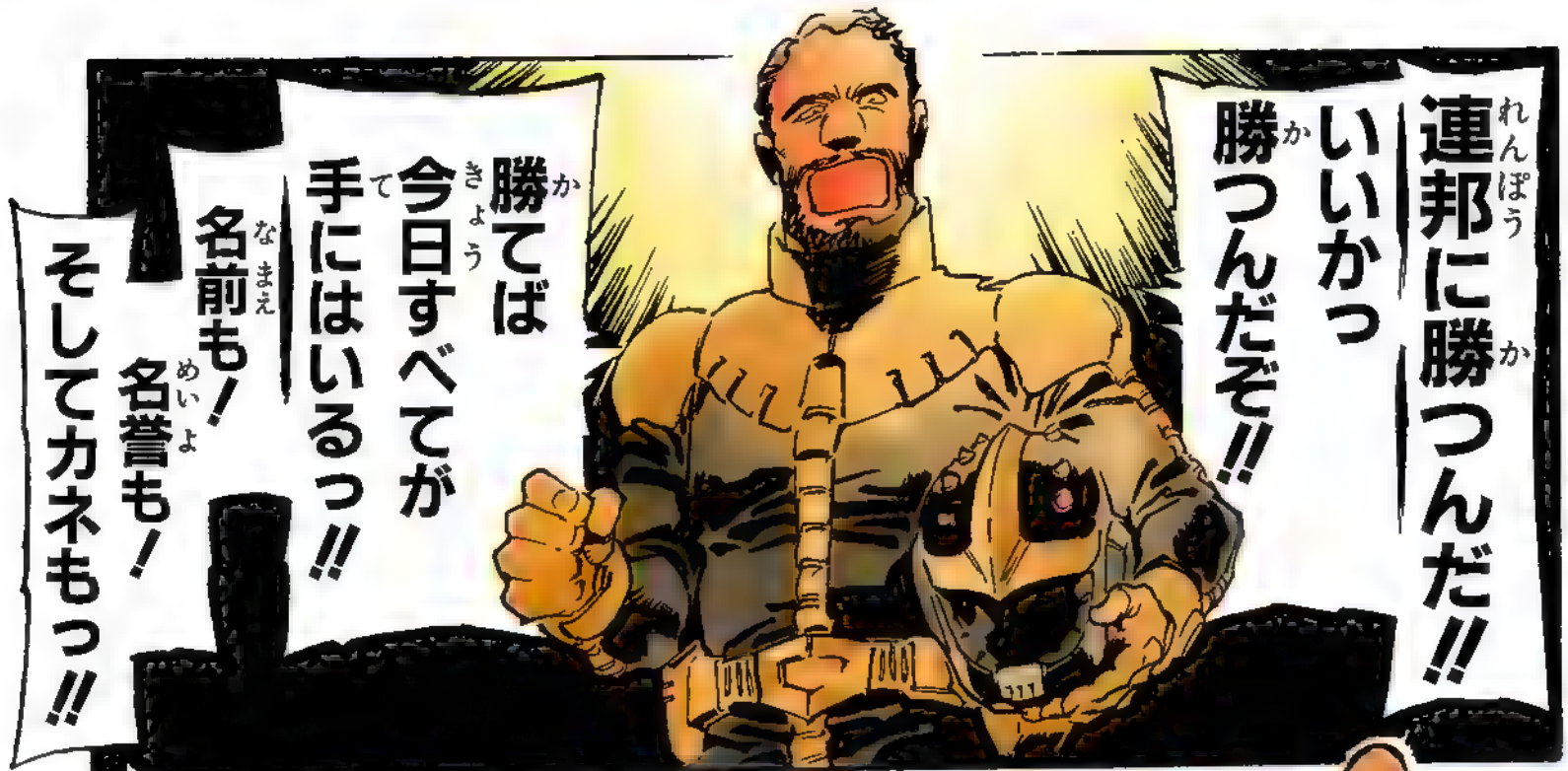


いよいよ
ほんとう
本当の
戦いだ!!



あた
新しい
せん
戦争の
まくあ
幕開けだ!!

おまえ
達
その主役
に
なるんだ!!



連邦に勝つんだ!!
れんぽう

いいかつ

勝つんだぞ!!
か

勝てば
か

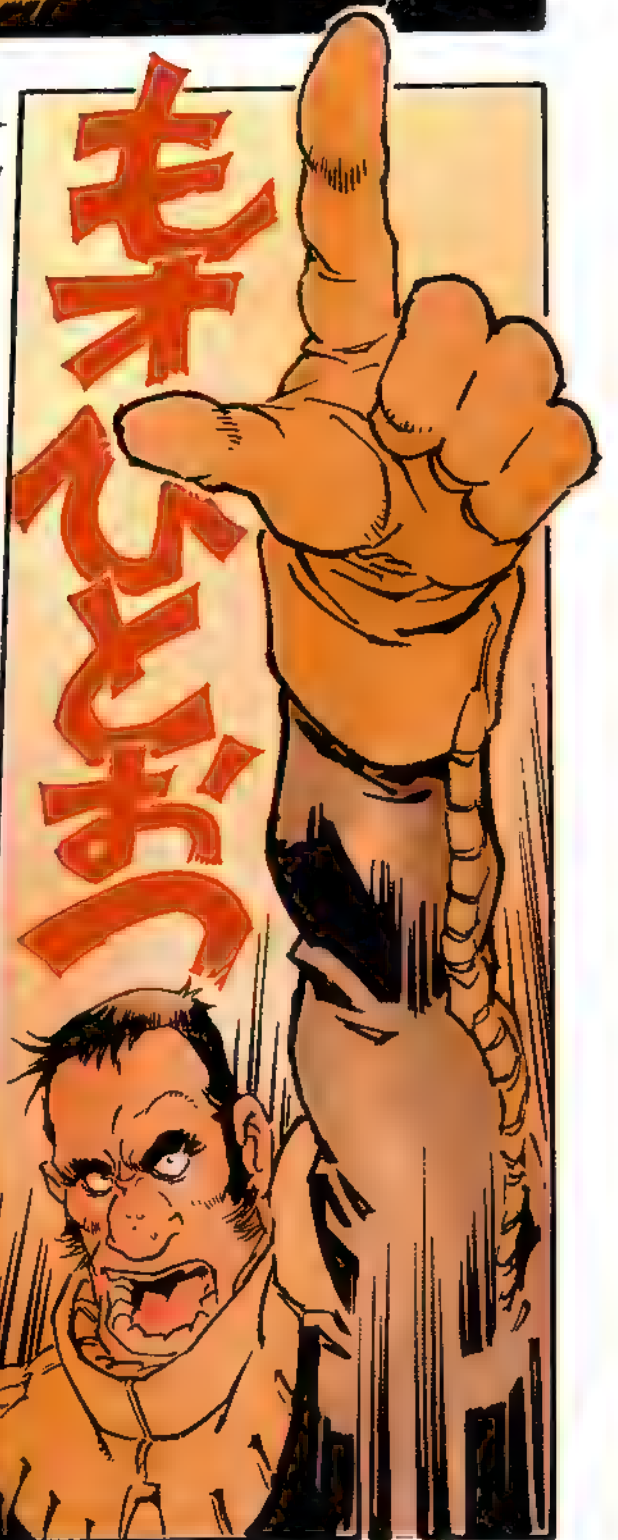
今日すべてが
きょう

手にはいるっ!!
て

名前も!
なまえ

名誉も!
めいよ

そしてカネもっ!!



モオ、いとお、



シャアという
あか

赤いヘンな
やろ

野郎がいるっ
やろう

こいつにも

勝つん
か

だっ!!



一番の
いちばん

美味い所を
うま

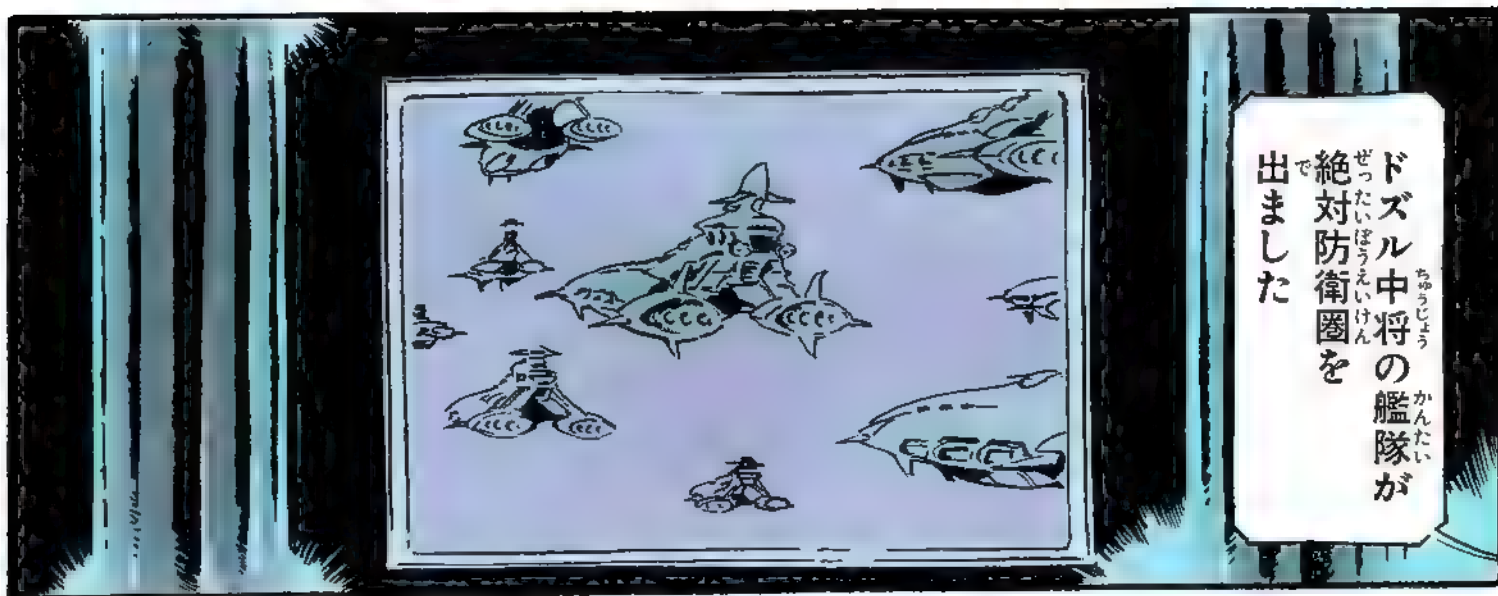
ヤツに奪られ
と

ないように

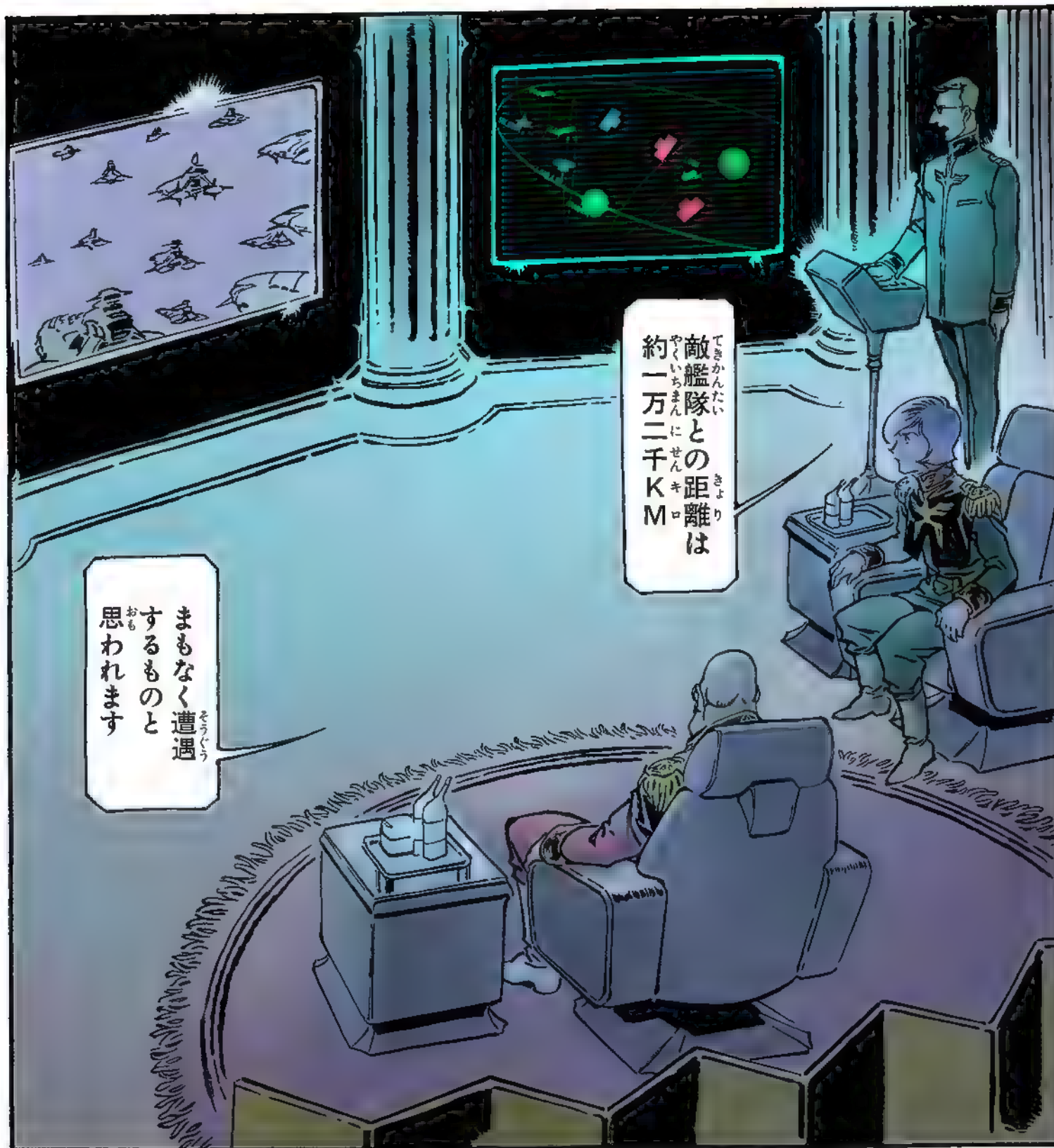
しろっ!!







ドブル中將の艦隊が
絶対防衛圏を
出しました



敵艦隊との距離は
約一万二千KM

まもなく遭遇
するものと
思われます



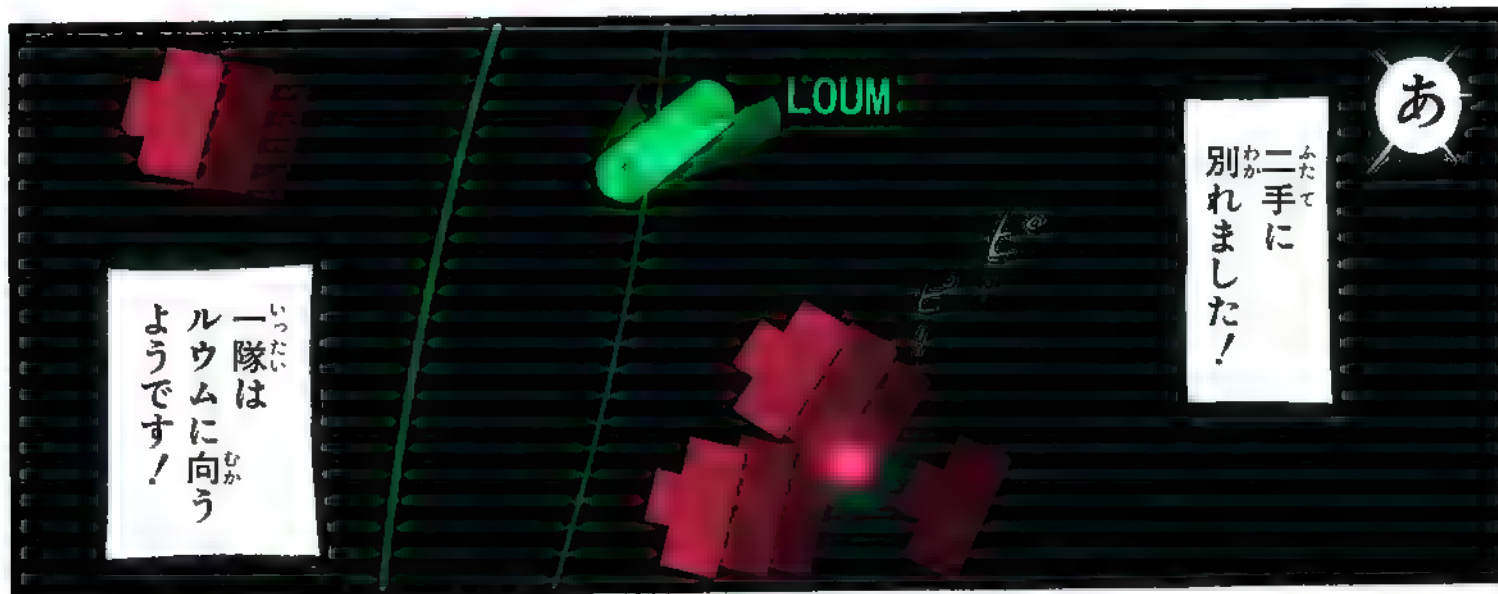
レベル艦隊は
まだ...

後続の
敵主力



既に艦隊は
戦闘隊形
です

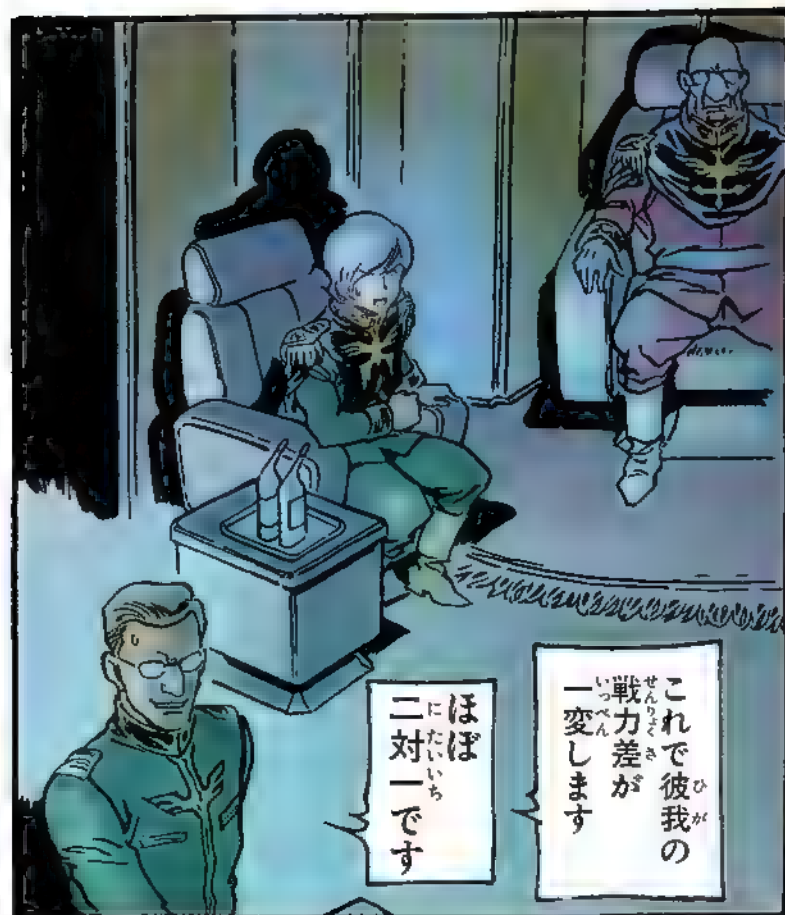
敵艦隊も
両翼を
展開中



あ

ふたて
二手に
別れました！

いったい
一隊は
ルウムに向う
ようです！

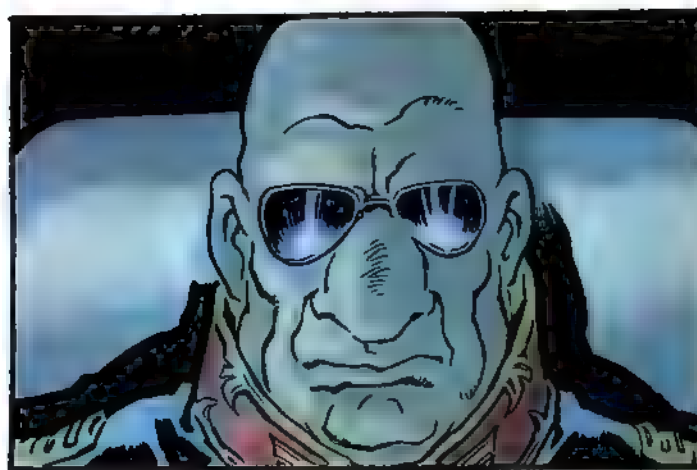


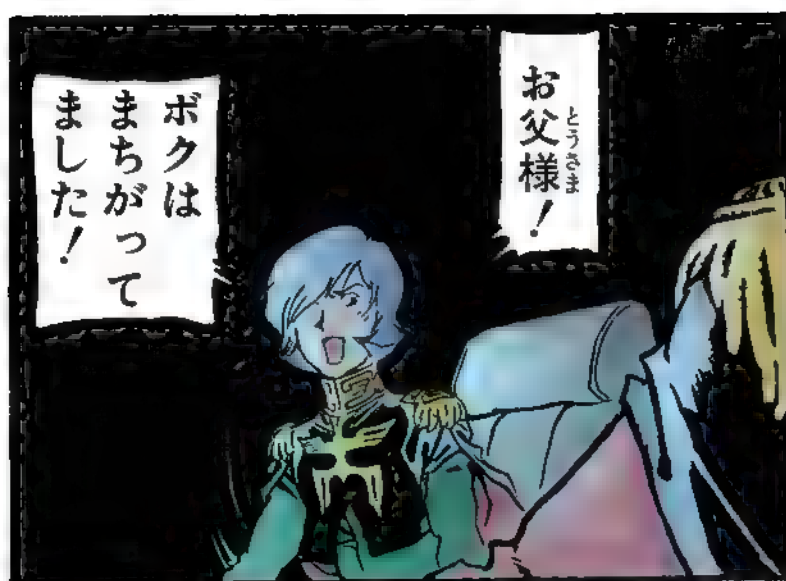
ほぼ
二対一です

これで彼
の戦力差が
一変します



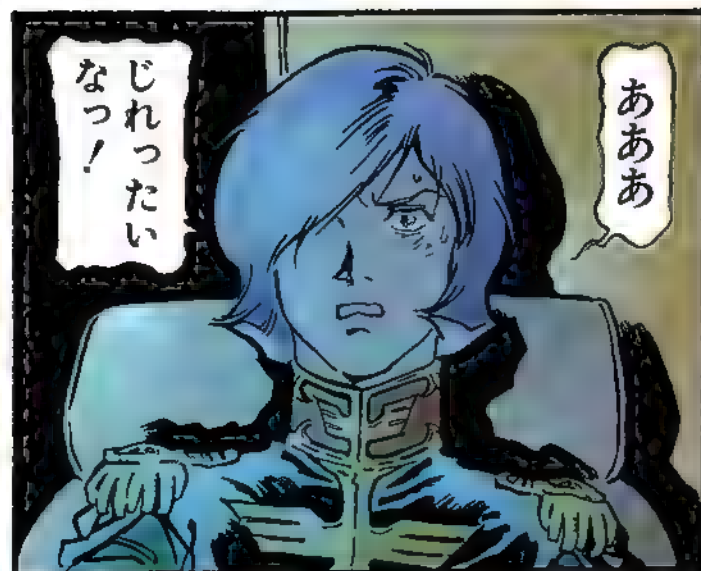
我が軍の
陽動作戦に
乗ったようです





ボクは
まちがって
ました！

お父様！
おとうさま



あああ

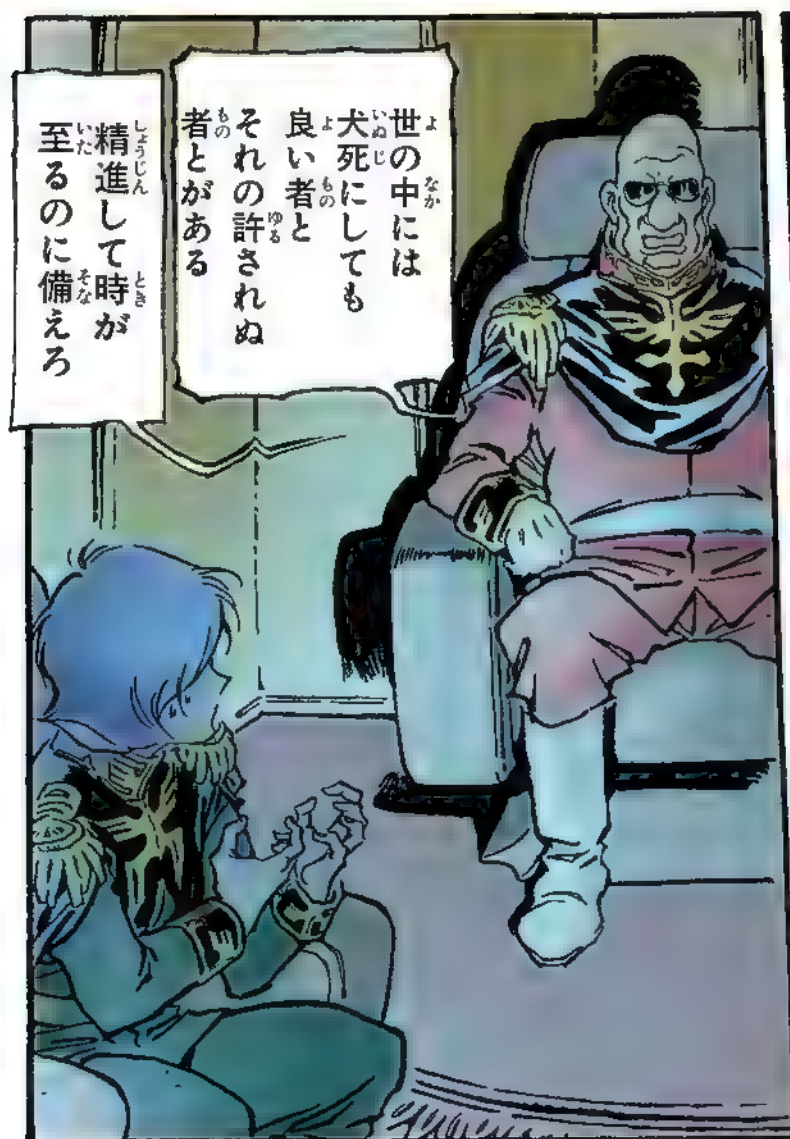
じれったい
なっ！



地上じゃなくて
宇宙軍配属を
希望するんだった
ちじょう
うちゅうぐんはいぞく
きぼうするんだった

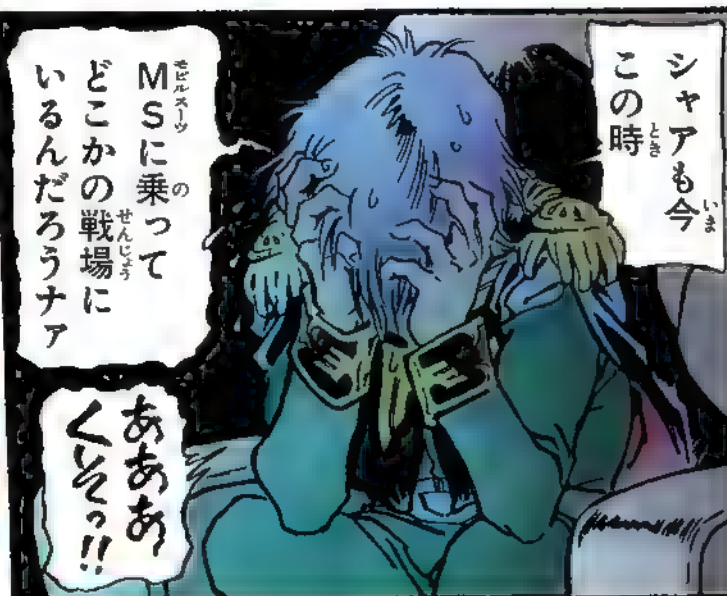
こんな
大事な時に
こんな
だいじなとき

こうやって
ただ見ている
だけしか
できない
なんて…
こうやって
ただみている
だけしか
できない
なんて…



精進して時が
至るのに備えろ
しょうじん
いたしてとき
そな

世の中には
犬死にしても
良い者と
その許されぬ
者がある
よなか
いぬじ
のもの
ゆる
もの
がある



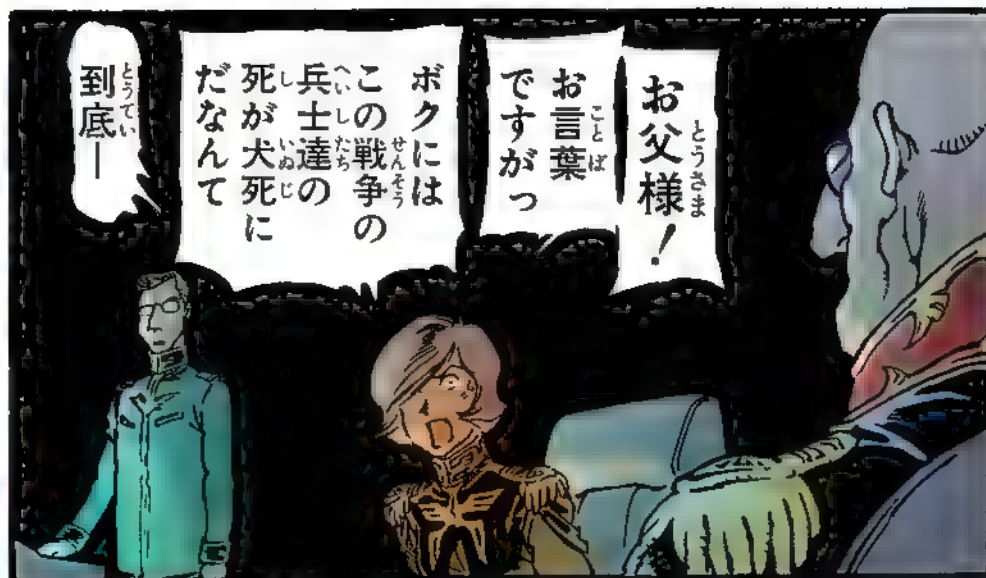
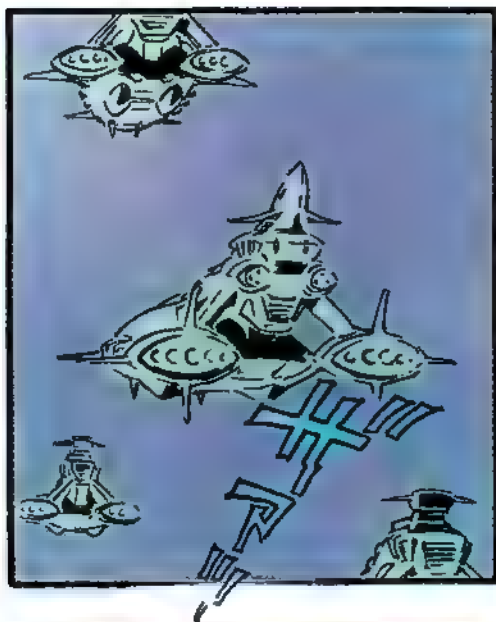
シャアも今
この時
シャアもいま
このとき

MSに乗って
どこかの戦場に
いるんだろうナア
モビルスーツ
の
せんじやう
に

あああ
くっくっ!!



おちつけ
ガルマ！
おちつけ
ガルマ

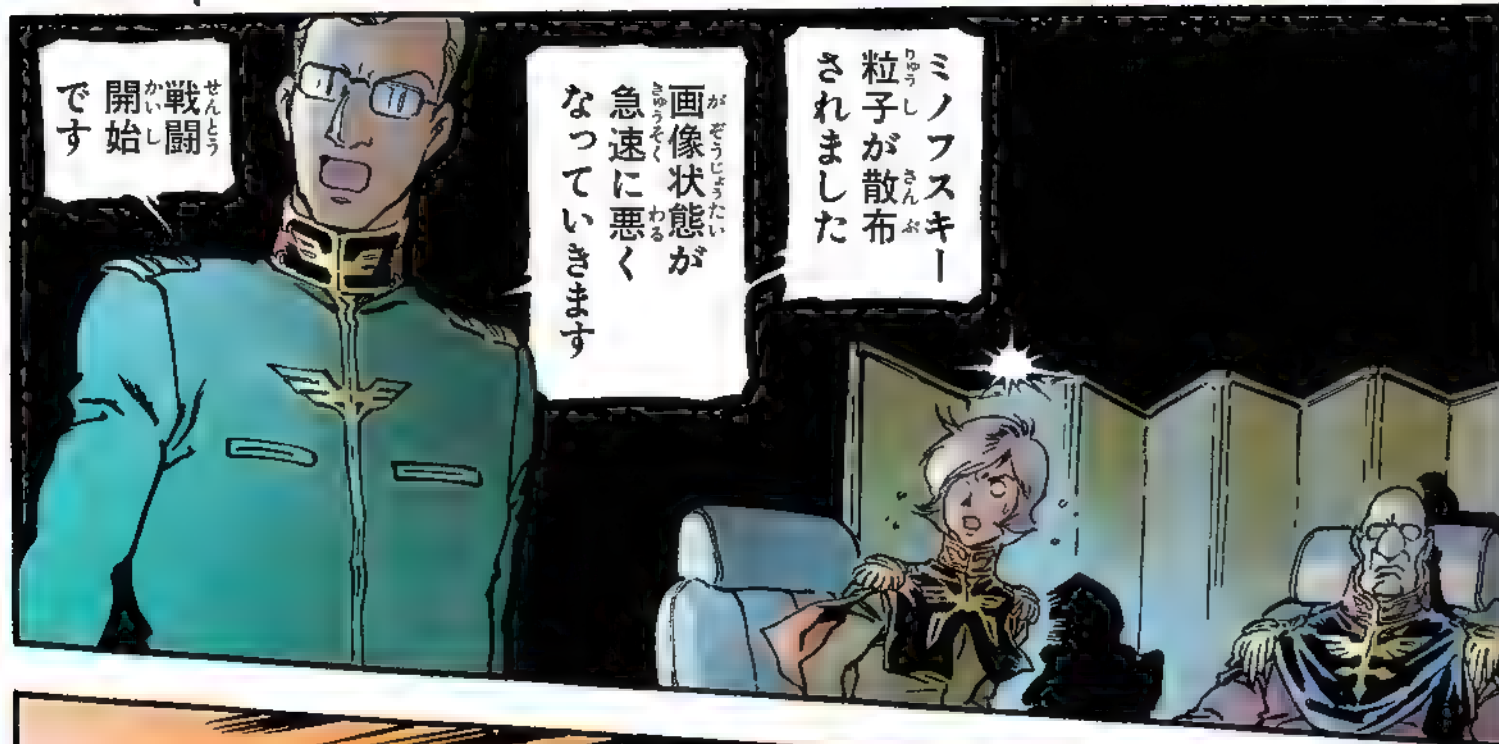


到底—

ボクには
この戦争の
兵士達の
死が犬死に
だなんて

お言葉
ですがっ

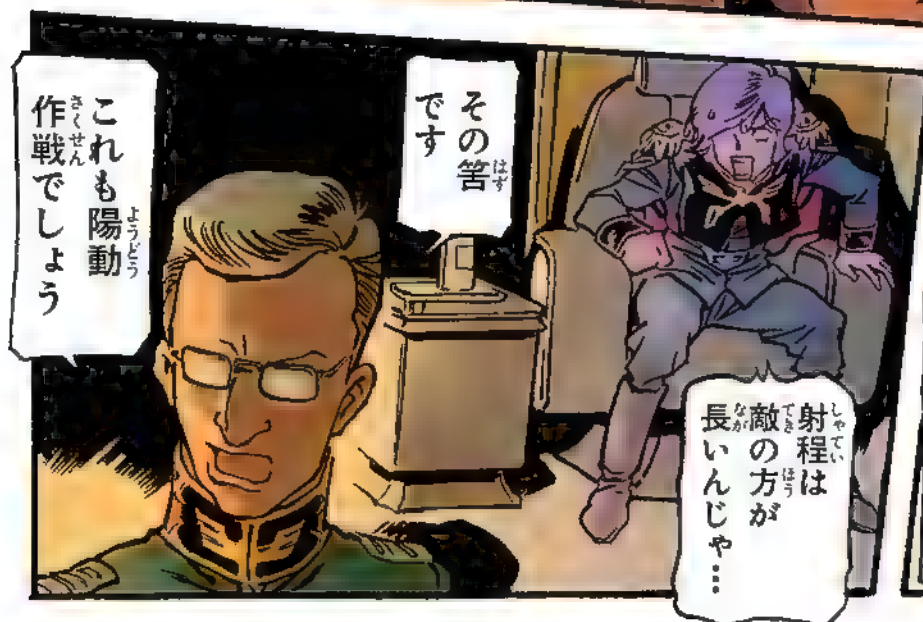
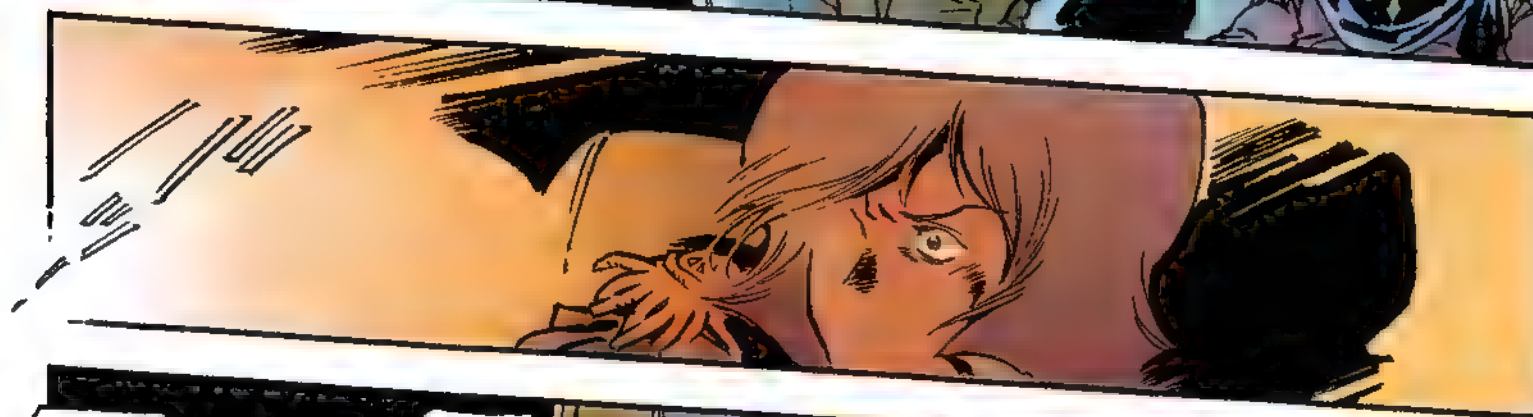
お父様!



戦闘開始
です

画像状態が
急速に悪く
なっています

ミノフスキー
粒子が散布
されました



これも陽動
作戦でしょう

その筈
です

射程は
敵の方が
長いんじゃない



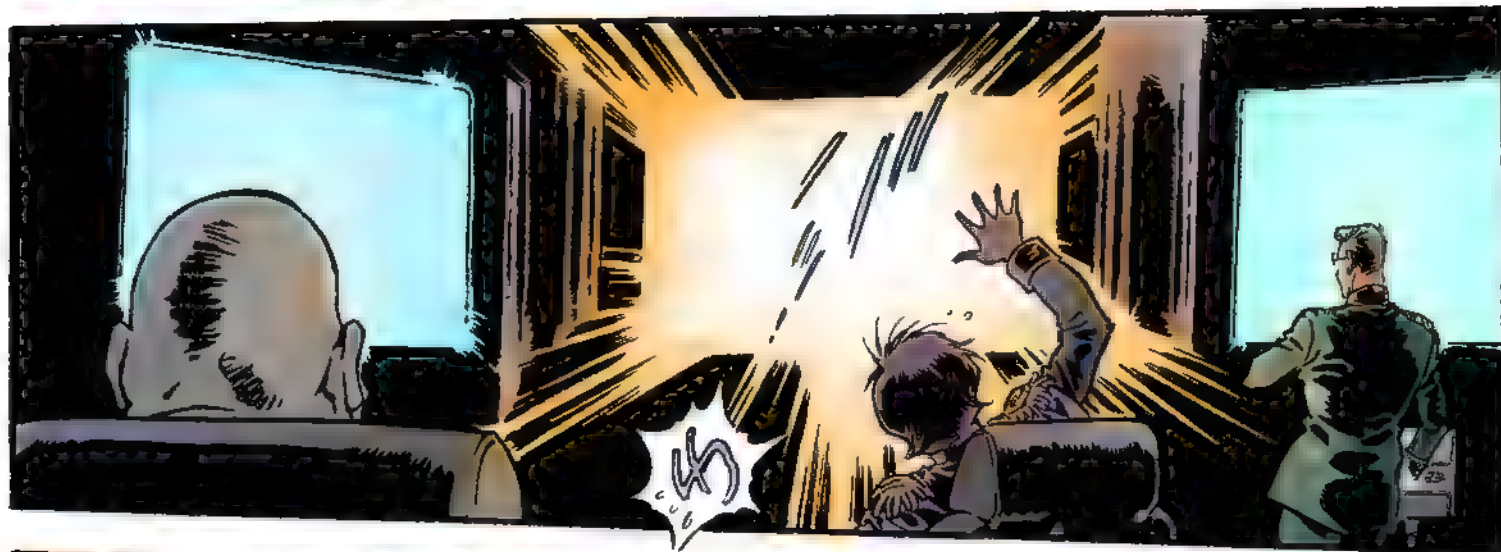
初弾は
我が艦隊
です

有効射程範囲
ギリギリの
所です

火力では
劣りますが
我が軍の
ムサイ級は
船体断面の
小さな為
に被弾経始
が良好であ
り

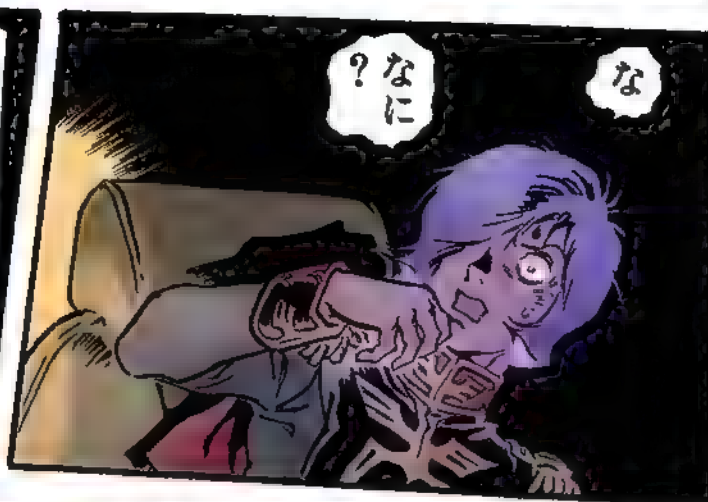
かつまた

ノズル配置から
来る運動性能
を以て容易に
回避行動を...



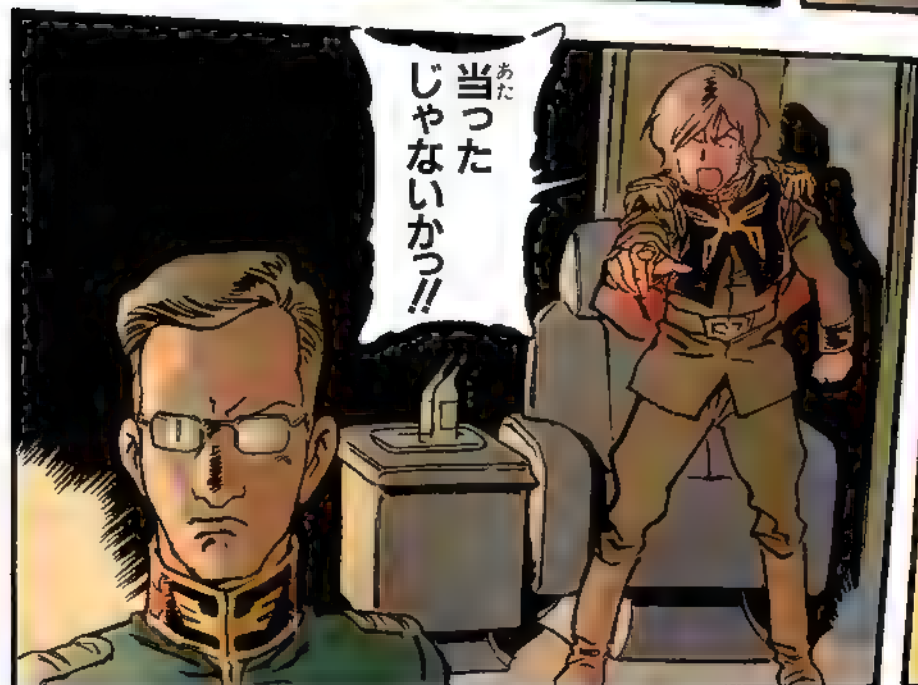
直撃の
ようです

一隻被弾
しました

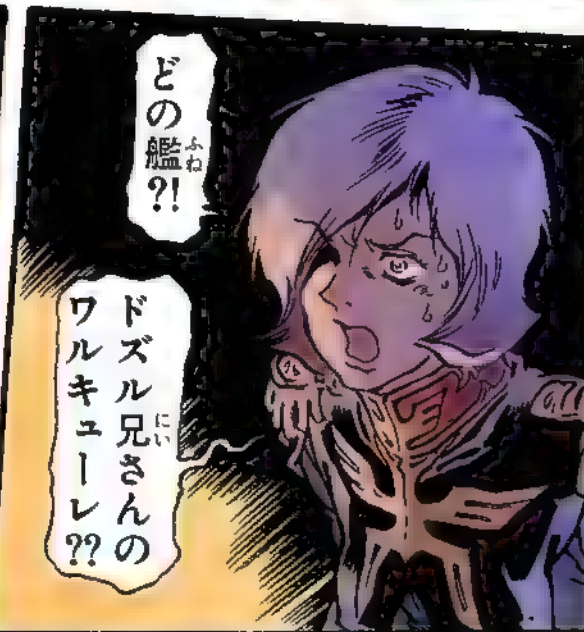


なに？

な



あ
た
当
つ
た
じ
ゃ
な
い
か
つ
!!

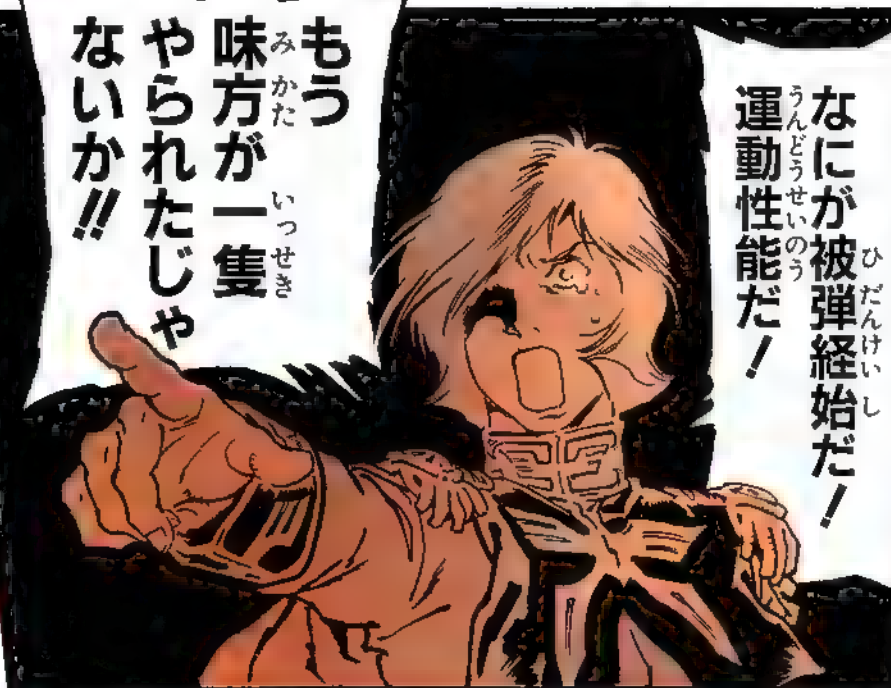


どの艦?!

ドズル兄さんの
ワルキューレ??

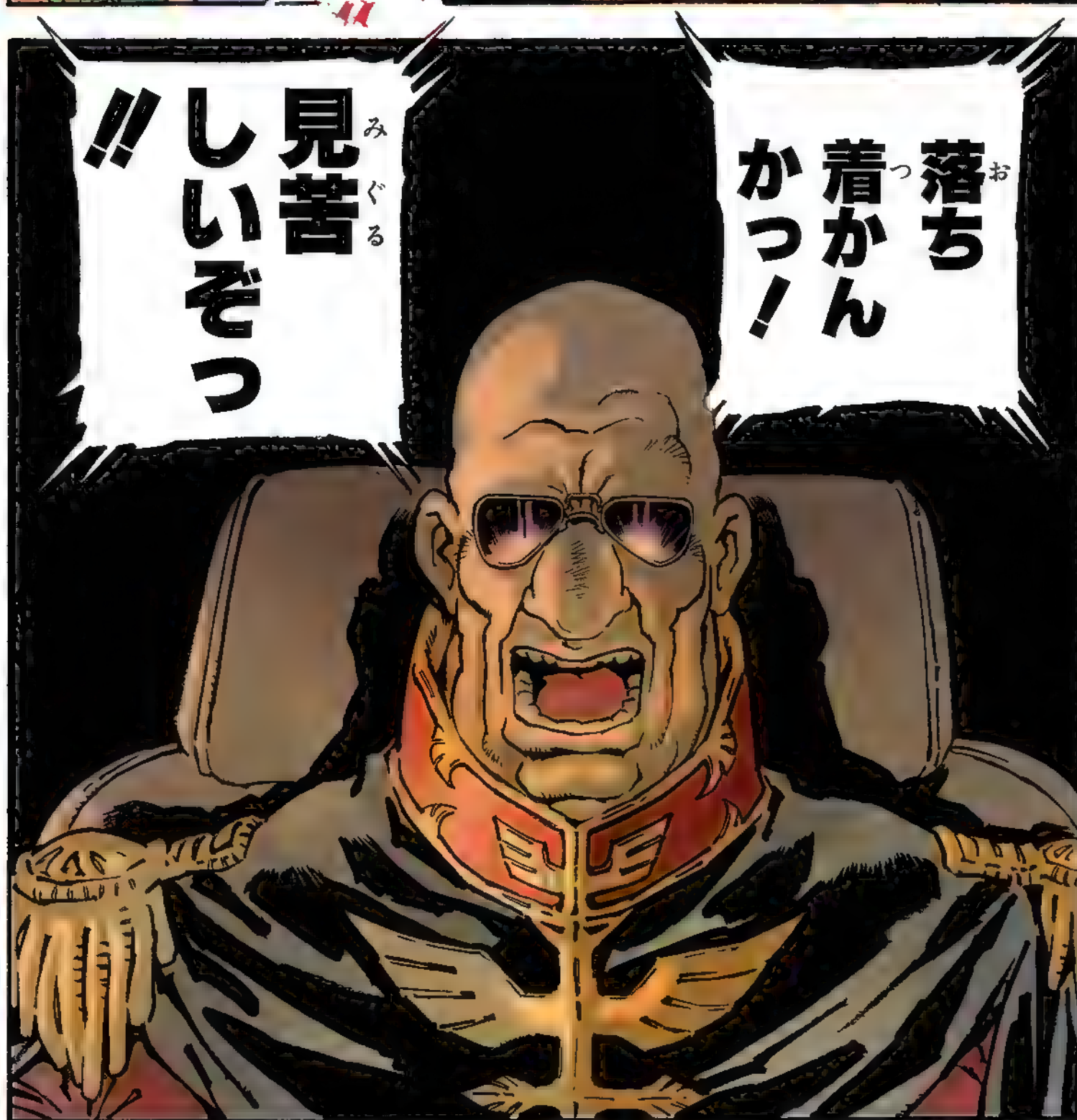
なにが被弾^{ひだん}経始^{けいし}だ!
うんどうせい^{うんどうせい}のう
運動性能だ!

もう
みかた^{みかた}いつせき^{いつせき}
味方が一隻
やられたじや
ないか!!



落ち^お着^つかん
かっ!
!!

見^み苦^{ぐる}
しいぞっ
!!

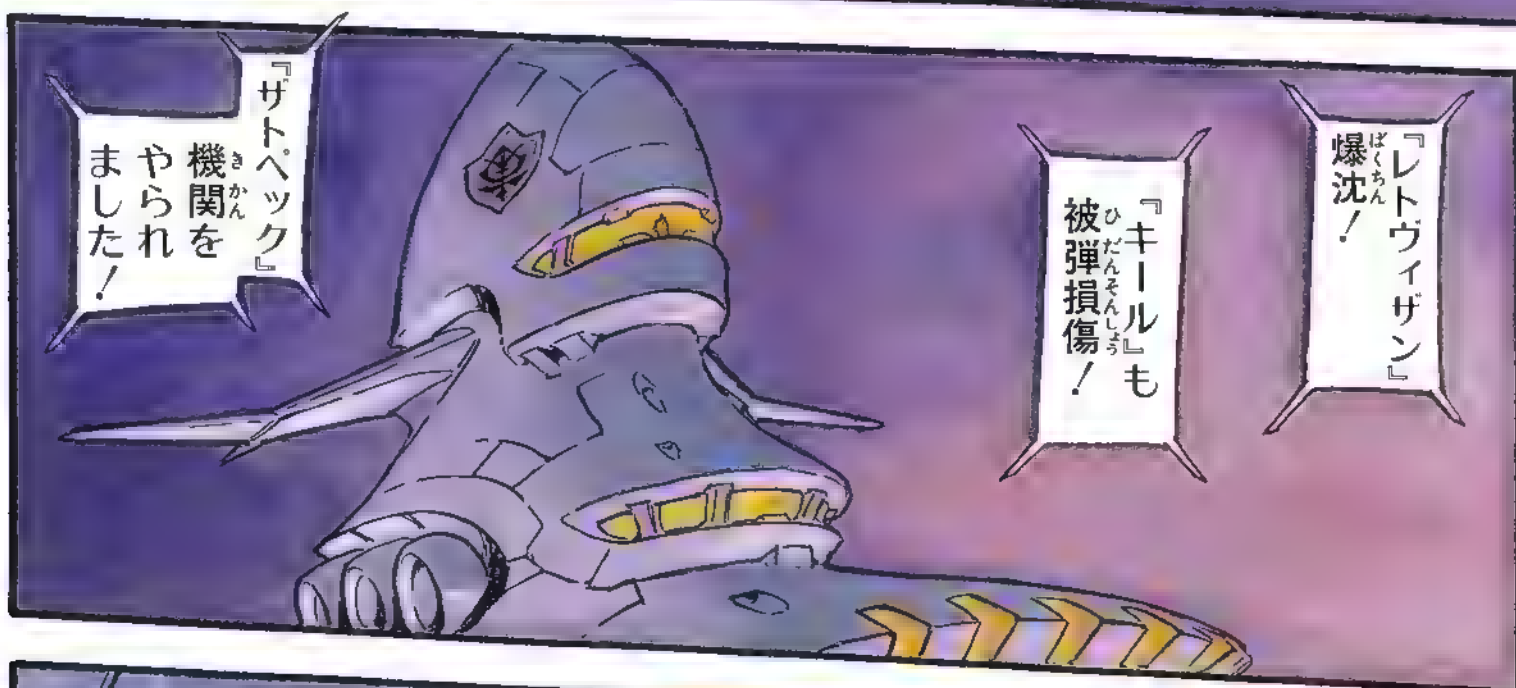




「レトヴィザン」
爆沈！
ばくちん

「キール」も
被弾損傷！
ひだんそんじょう

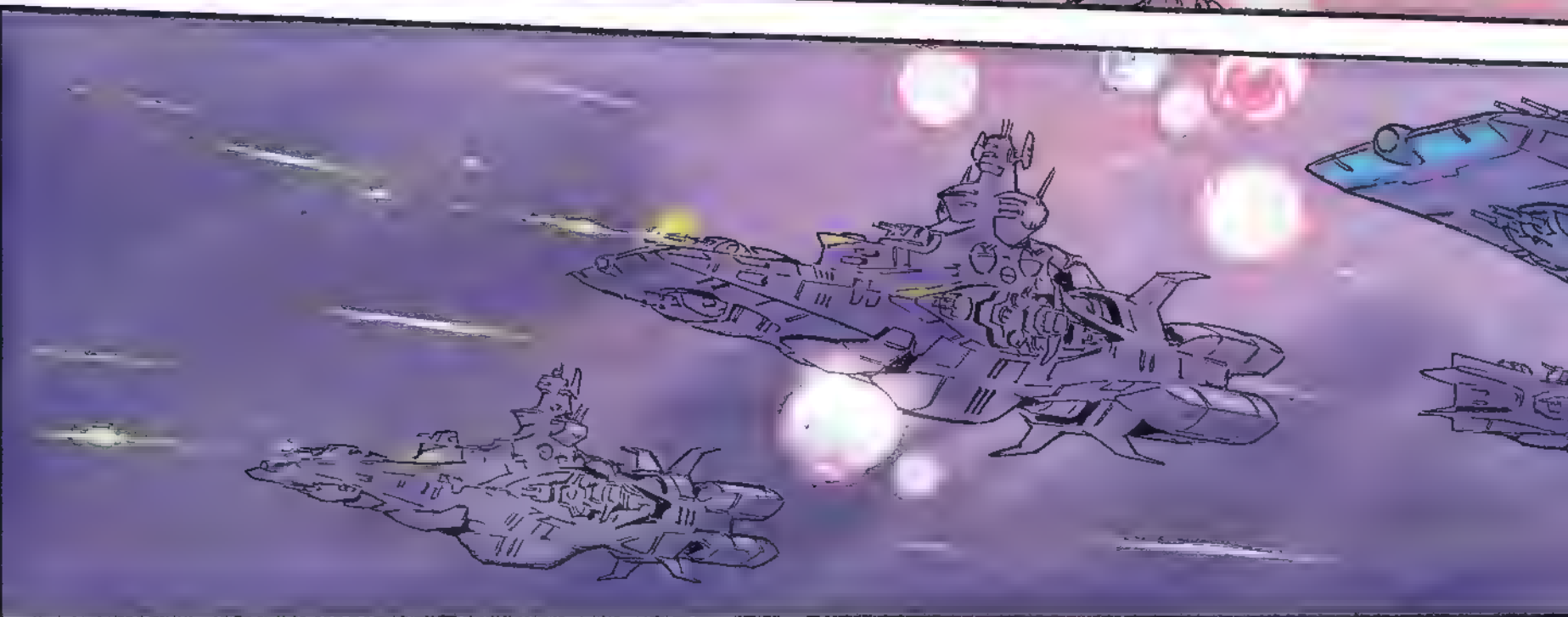
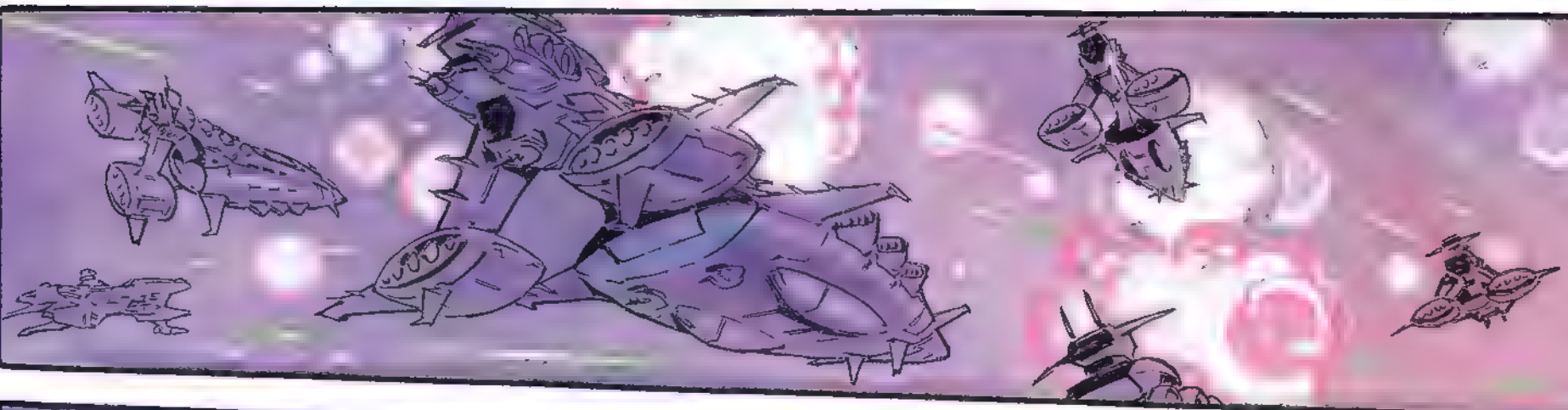
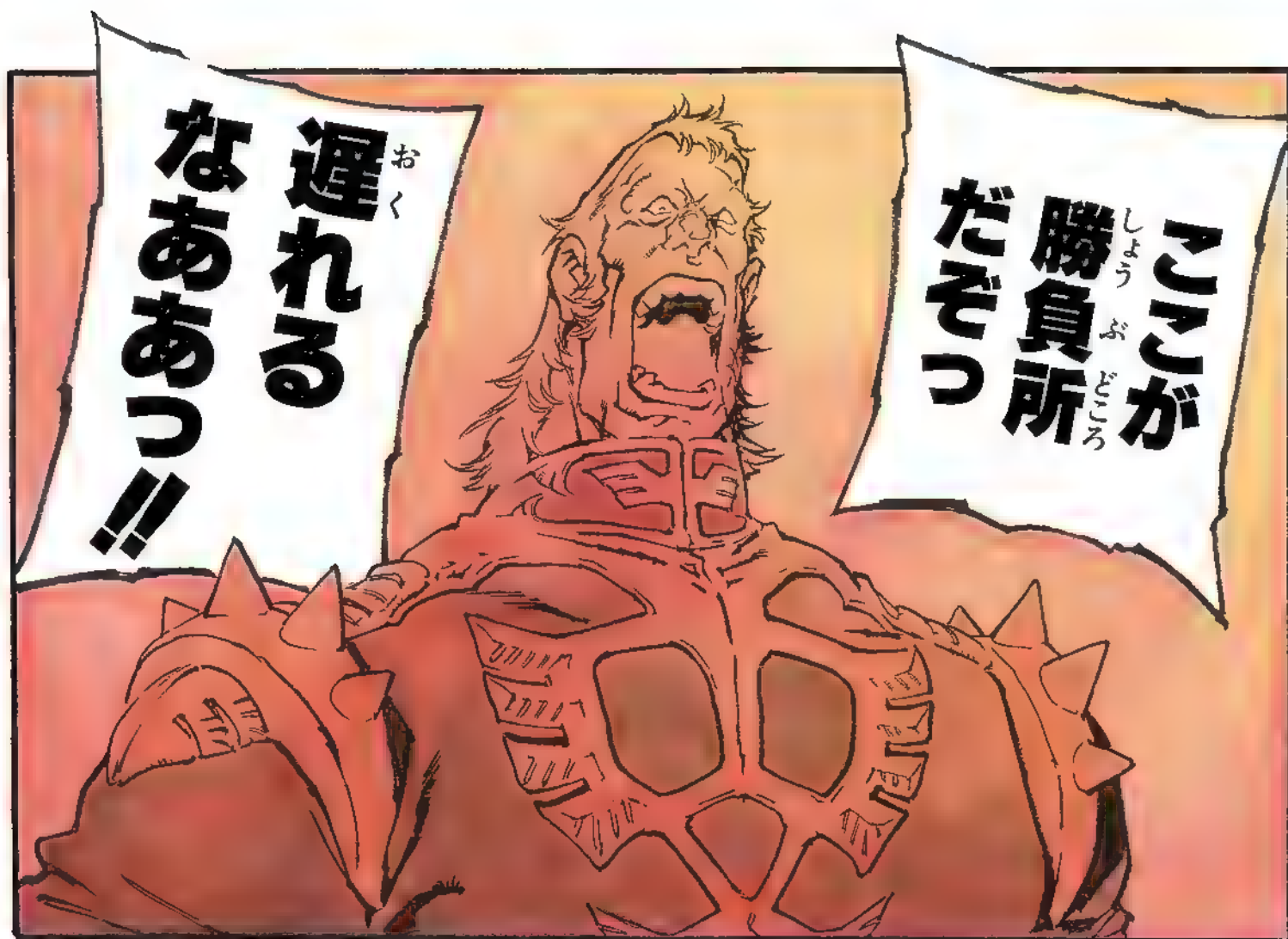
「ザトヘック」
機関を
やられ
ました！
きかん

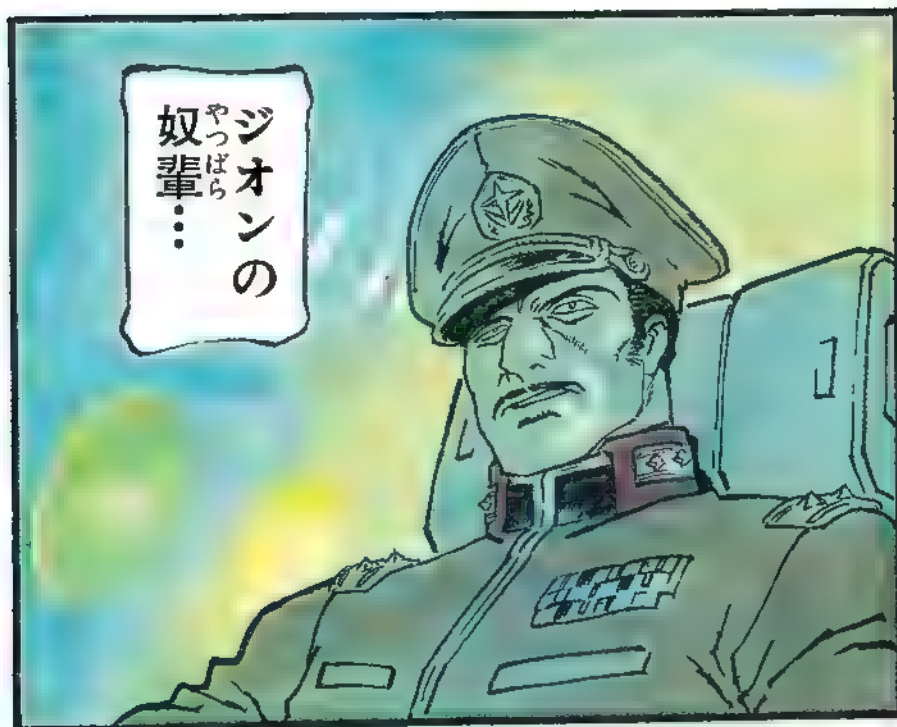


ひるむ
なあつ

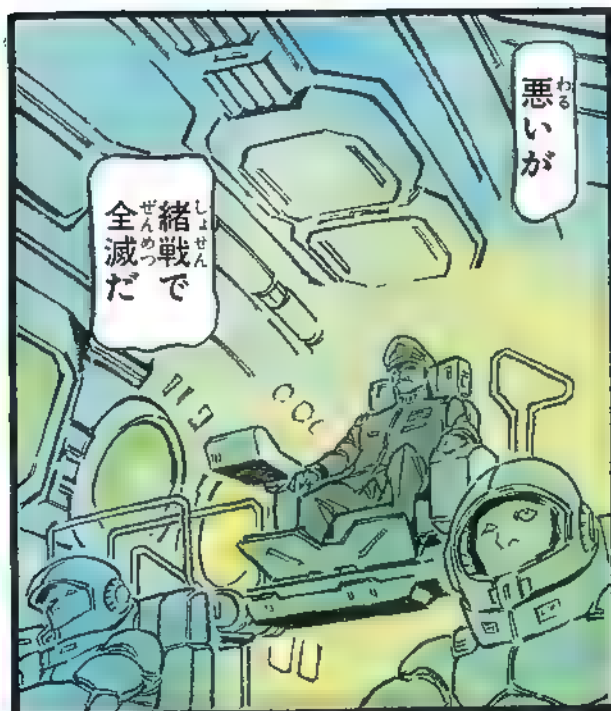
おうしや
応射しつ
さんかいてんしん
散開転進！！





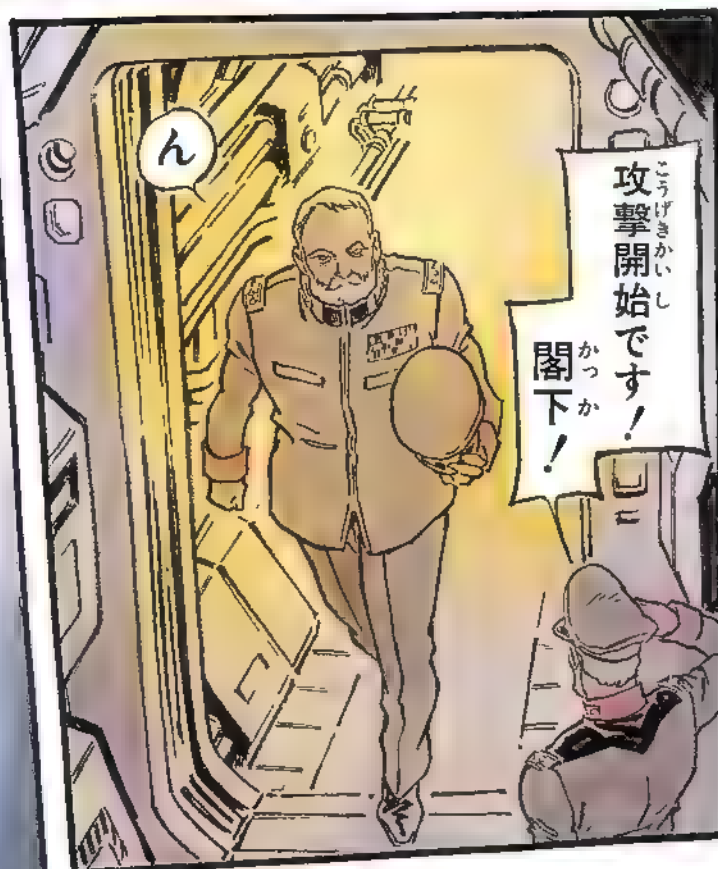
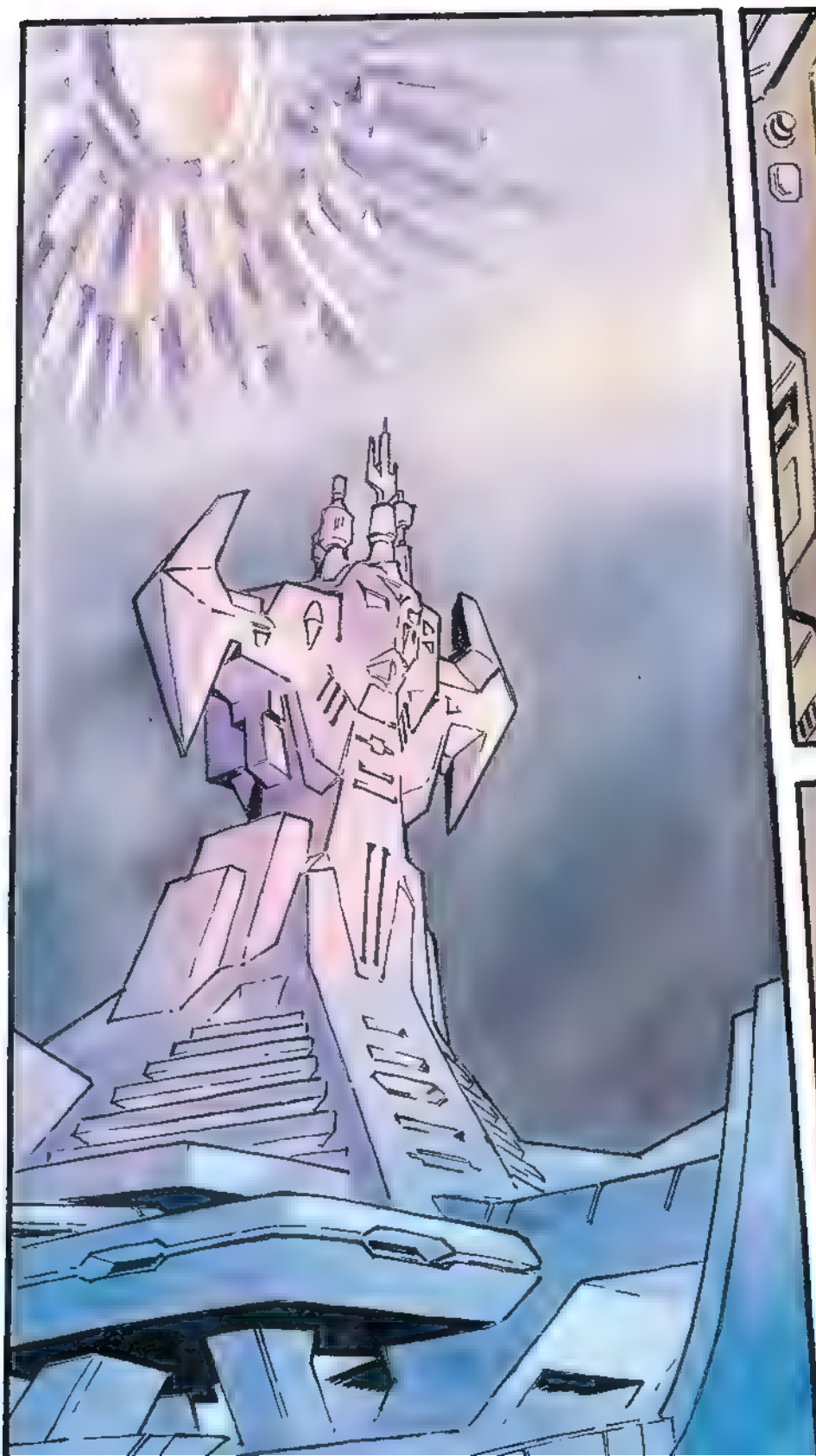


ジオンの
奴輩…



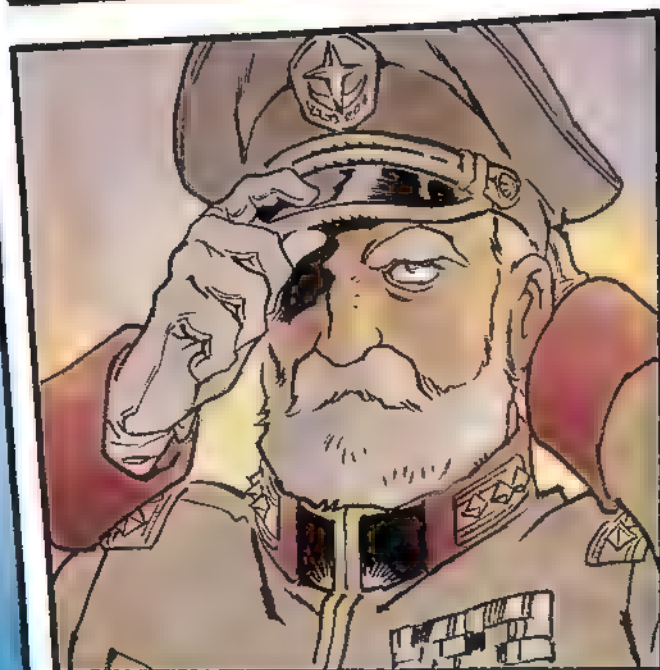
悪いが

緒戦で
全滅だ



ん

攻撃開始です！
閣下！





to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?

角川コミックス・エース

フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN^⑬

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

2022年3月26日 発行
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行
発行 株式会社KADOKAWA
<https://www.kadokawa.co.jp/>

●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)
カラーリスト 凸版印刷株式会社



BOOK★WALKER